

宮崎県子どもの生活状況調査
報告書

令和5年3月

宮崎県

はじめに

この報告書は、宮崎県が令和4年度に実施した「子どもの生活状況調査」の結果を取りまとめたものです。

現在、本県においては、「第2期宮崎県子どもの貧困対策推進計画」（計画期間：令和2年度から令和5年度まで）に基づき、全庁的に各種施策に取り組んでいるところですが、令和5年度には、令和6年度を始期とする次期計画を策定することとしております。

本調査は、コロナ禍の長期化が生活困窮世帯の子どもに与える影響が懸念される中、生活状況や必要なニーズを把握することなどを目的に、県内全域を対象とした本県初の調査として実施したもので、市町村をはじめ関係機関・団体と調査結果を共有し、より一層きめ細かな施策の運用を図るとともに、次期計画改定のための基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

最後に、調査の実施に当たりまして、御協力いただきました県民の皆様からお礼を申し上げます。

令和5年3月

宮崎県福祉保健部福祉保健課

目次

1 調査の概要	1
1.1. 調査実施方法等の概要	1
1.1.1. 調査の目的	1
1.1.2. 調査の仕様	1
1.2. 調査回答者の基本属性等	4
1.2.1. 保護者	4
1.2.2. 子ども	13
1.3. 分析結果の概要	14
1.3.1. 保護者の生活状況	14
1.3.2. 子どもの生活状況	22
2 分析結果	30
2.1. 保護者の生活状況	30
2.1.1. 経済的な状況、暮らしの状況	30
2.1.2. 就労の状況	44
2.1.3. 保育の状況	47
2.1.4. 子どもとの関わり方	50
2.1.5. 学校等との関わり・参加	66
2.1.6. 進学期待・展望	72
2.1.7. 頼れる人の有無・相手	77
2.1.8. 日常的な生活の状況	89
2.2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況.....	93
2.2.1. 学習の状況	93
2.2.2. 進学希望	105
2.2.3. 部活動等への参加状況	116
2.2.4. 日常的な生活の状況	121
2.2.5. 子どもの心理的な状態	136
2.2.6. 子どもの学力・体力の状態	139
2.2.7. 逆境体験	143
2.3. 新型コロナウイルス感染症の影響	146
2.3.1. 保護者の状況	146
2.3.2. 子どもの状況	160
2.4. 支援の利用状況や効果等	177
2.4.1. 保護者の状況	177
2.4.2. 子どもの状況	183
3 参考資料	199
3.1. 調査票	199
3.1.1. 保護者票	199
3.1.2. 中学生票	212
3.2. 集計表及び自由回答一覧	223
3.2.1. 保護者票	223
3.2.2. 中学生票	297
3.3. 収入の水準に関する参考資料	341
3.3.1. 等価世帯収入の算出	341

1 調査の概要

1.1. 調査実施方法等の概要

1.1.1. 調査の目的

子どもの貧困対策を進めるに当たっての課題や施策の効果等を確認するための基礎資料を得ることを目的として、「宮崎県子どもの生活状況調査」を実施した。

この調査では、宮崎県内の子ども（中学2年生）及びその保護者に対し、現在の生活・経済状態、将来の貧困に影響を与える可能性のある行動実態、子どもの貧困対策に関連する施策の利用状況、新型コロナウイルス感染症による影響等について把握するための項目を設けた。

この報告書は、上記の調査結果について、子ども及びその保護者の回答をセットとして集計・分析を行ったものである。集計・分析は、下記のA～Eの観点を踏まえて実施した。

- A 子どもと保護者の生活・行動実態を明らかにし、課題等の把握を行う
- B 子どもと保護者の生活・行動実態に関して、現在の貧困等との関連性を把握し、「貧困の連鎖」等のリスクの状況を明らかにする
- C 新型コロナウイルス感染症の影響を明らかにする
- D 子どもの貧困対策に関連する施策の利用状況や効果等を明らかにする
- E 内閣府が実施した「令和2年度 子供の生活状況調査」（以下、「全国調査」という。）と比較する

1.1.2. 調査の仕様

（1）調査対象者、標本数、サンプリング方法

宮崎県内の中学2年生がいる世帯（子ども及びその保護者）を調査対象とし、該当する10,047世帯の中から、市町村ごとの世帯数の比率に応じ、5,500世帯のうち5,014世帯について無作為抽出を行った。

延岡市については、本調査における調査項目を含む調査を独自に実施したため、宮崎県が実施する調査の対象から延岡市分486世帯を除外し、調査終了後に延岡市が実施した調査の回答データを加えることで回答データを補完した。

（2）調査方法、調査期間、有効回収数・回収率

調査票を調査対象世帯に郵送し、回答方法は調査票に同封した返信用封筒にて返信する方法、又は調査票に掲載したオンライン調査システムへリンクされたURLから回答する方法のいずれかを回答者が選択することができるようにした。

調査期間は令和4年10月31日（月）～11月30日（水）として実施し、延岡市分を含む有効回収数は1,944件（組）、回収率は35.3%であった。

(3) 調査委託機関

本調査は、協同組合鹿児島みらい研究所への委託により実施した。

(4) 本報告書を読む際の留意点

- 設問文の末尾に示した「SA」は単一回答形式 (Single Answer)、「MA」は複数回答形式 (Multiple Answer) を示している。
- 図表内の「n=〇〇」はその設問についての有効回答者数 (集計対象件数) を示している。
- 回答の比率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、単一回答の設問の各選択肢の回答に関する数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

(5) 調査の設問

調査項目は、全国調査及び「令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書」(内閣府)を基本とし、宮崎県子どもの貧困対策協議会委員、市町村担当課及び県庁内関係所属の意見を踏まえ、下記のとおり一部文言の追加・修正を行ったほか、調査項目を追加した。

ア 保護者票

- 問 11 働いていない最も主な理由の選択肢について、全国調査の「家族の介護・介助のため」を「子どもの病気・障がい」と「その他の家族の介護・介助」に分割
- 問 14 「あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。」に「e ニュースの話をする」「f SNS等の話をする」「g 夕食は子どもに作ってもらう」「h 夕食は一緒に食べる」を追加
- 問 15 「あなたは、次のようなことをどの程度していますか」に「c 部活や校外活動に参加している」を追加
- 問 26 コロナ前後の生活の変化について、「g 家にいる時間」を追加
- 問 28 「あなたは、問 27 の制度以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。」を追加

イ 中学生票

- 問 5 「あなたは学校にどのくらい通っていますか。」を追加
- 問 11 「あなたはどのくらい、食事をしていますか。」に「d 土・日曜日・祝日の昼食」を追加
- 問 11-2 「あなたは主に誰と食事をしていますか。」を追加
- 問 15 ここ半年の状況について、「p 私は、学力が低下している。」「q 私は、体力が低下している。」を追加
- 問 16 コロナ前後の生活の変化について、「h ずっと家にいると息が詰まったりすること」を追加
- 問 18 「あなたは、次のような場所や支援を利用したことがありますか。」に「d こども宅食・フードバンク」「e スクールソーシャルワーカー」を追加
- 問 20 「あなたは、自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。」を追加
- 問 21 お小遣いがある場合、「その金額はどのくらいですか。」を追加
- 問 22 「あなたは、どのような支援があるとよいと思いますか。」を追加

1.2. 調査回答者の基本属性等

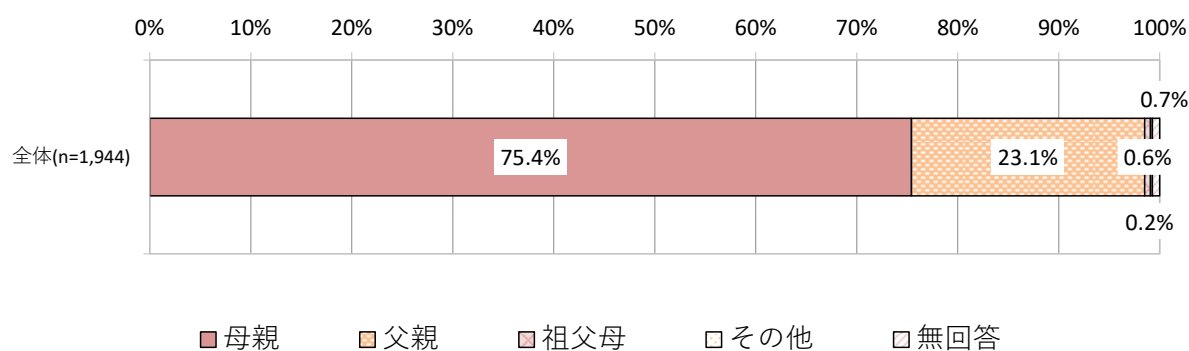
1.2.1. 保護者

(1) 子どもとの続柄

保護者票問1

お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(SA)

調査回答者の、子どもからみた続柄は、「母親（継母を含む。）」が75.4%、「父親（継父を含む。）」が23.1%、「祖父母」が0.6%、「その他」が0.2%となっている。



(2) 居住している市町村

保護者票問2

あなたがお住まいの市町村をお答えください。(SA)

居住する市町村は、「宮崎市」が 32.3%、「延岡市」が 17.3%、「都城市」が 11.0%などとなっている。

市町村名	割合
宮崎市	32.3%
都城市	11.0%
延岡市	17.3%
日南市	3.3%
小林市	2.5%
日向市	3.9%
串間市	1.5%
西都市	1.3%
えびの市	1.5%

市町村名	割合
三股町	2.4%
高原町	0.8%
国富町	2.5%
綾町	1.1%
高鍋町	3.1%
新富町	3.0%
西米良村	0.3%
木城町	1.0%
川南町	2.9%

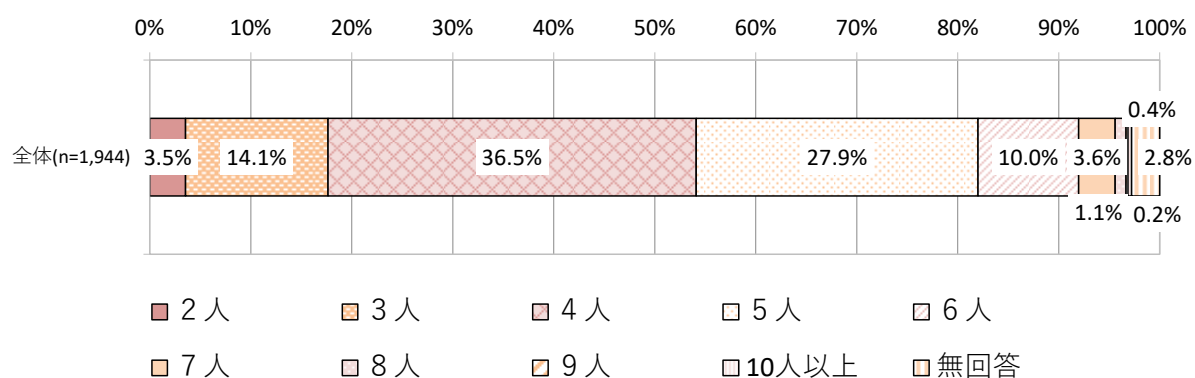
市町村名	割合
都農町	1.2%
門川町	2.2%
諸塚村	0.2%
椎葉村	0.5%
美郷町	0.8%
高千穂町	1.9%
日之影町	0.5%
五ヶ瀬町	0.4%
無回答	0.4%

(3) 同居家族の人数

保護者票問3

お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(SA)

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数は、「4人」が36.5%、「5人」が27.9%、「3人」が14.1%となっている。

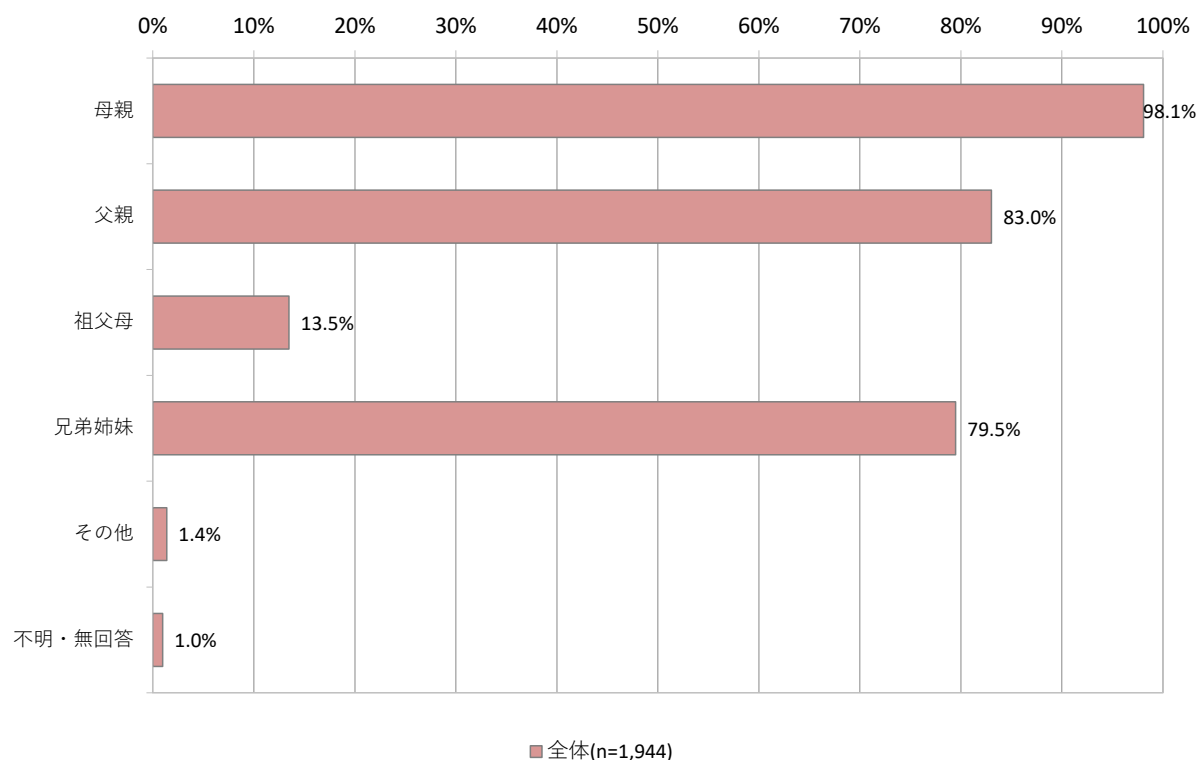


(4) 同居家族に含まれる方

保護者票問3

お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(SA)

子どもと同居し、生計を同一にしている家族に含まれる方としては、「母親」が98.1%、「父親」が83.0%、「祖父母」が13.5%、「兄弟姉妹」が79.5%、「その他」が1.4%となっている。



(5) 親の年齢

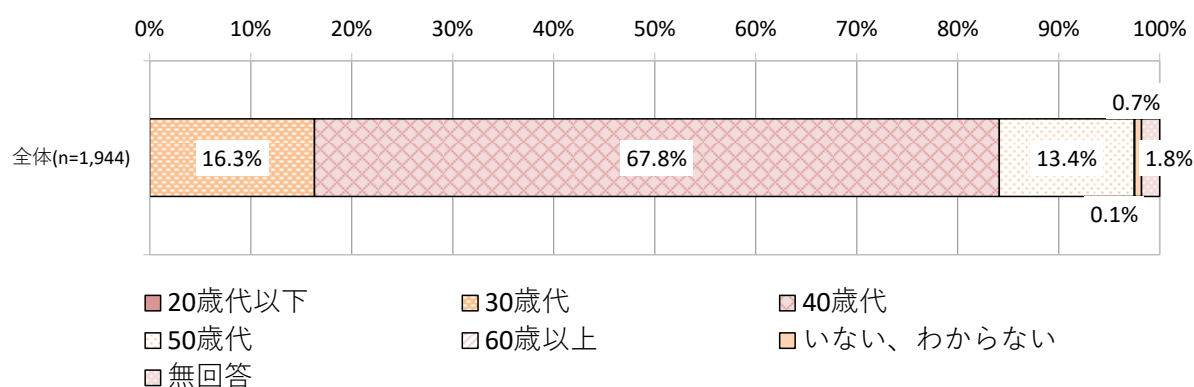
保護者票問4

お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。(数値記入)

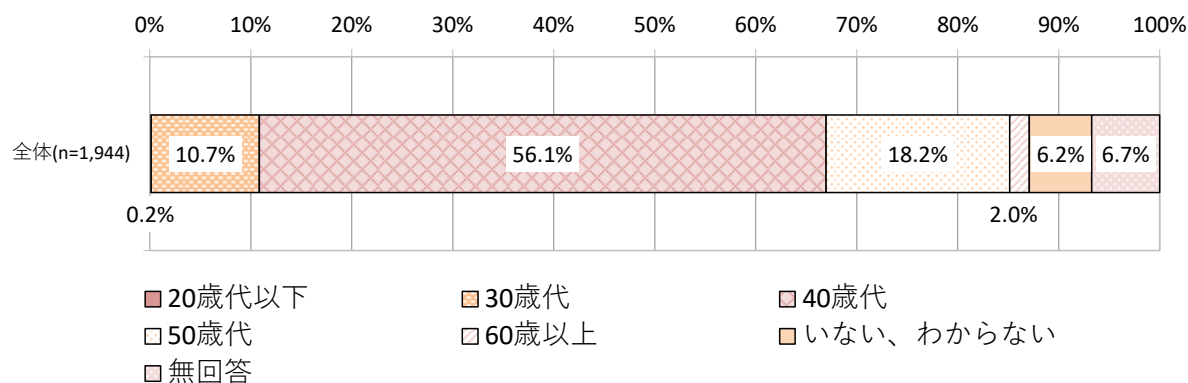
親の年齢に関し、「母親」については、「30歳代」が16.3%、「40歳代」が67.8%、「50歳代」が13.4%、「60歳以上」が0.1%、「いない、わからない」が0.7%となっている。

「父親」については、「20歳代以下」が0.2%、「30歳代」が10.7%、「40歳代」が56.1%、「50歳代」が18.2%、「60歳以上」が2.0%、「いない、わからない」が6.2%となっている。

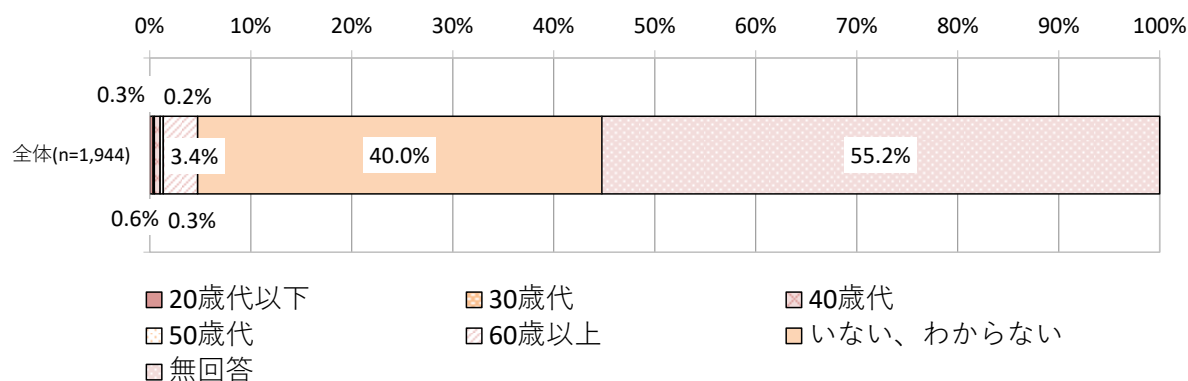
※母親



※父親



※母親・父親にかわる保護者

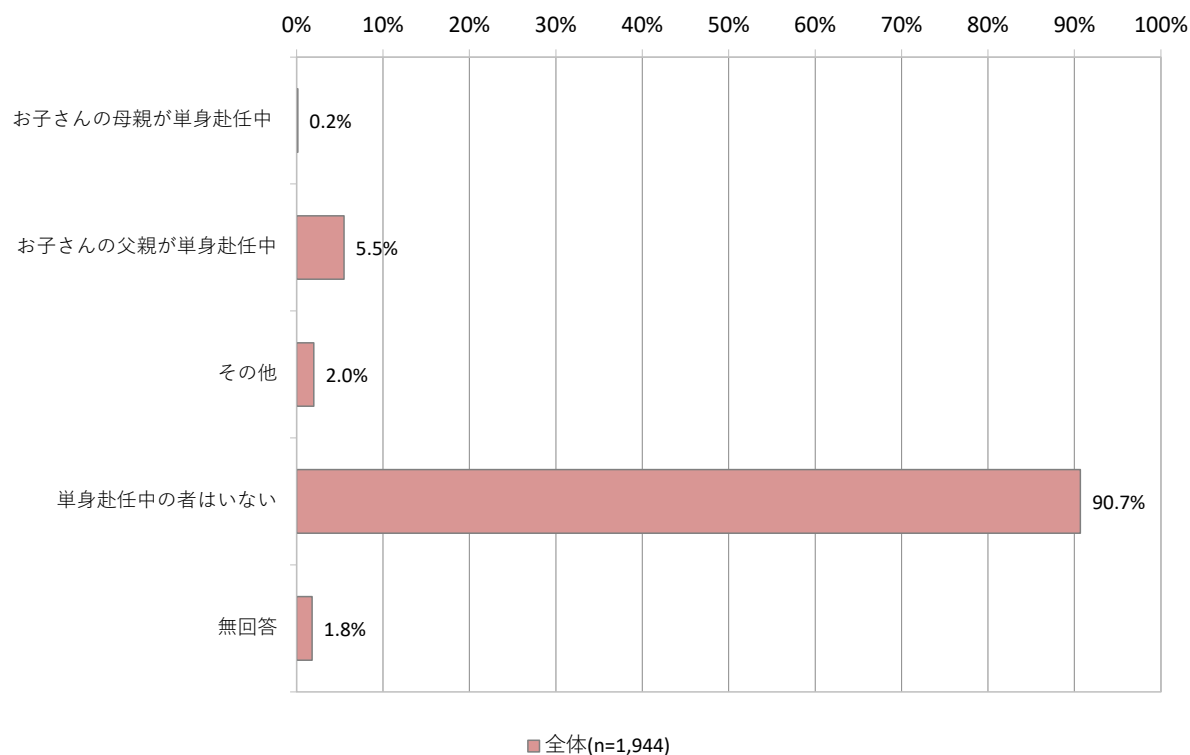


(6) 単身赴任中の家族の有無

保護者票問5

お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(MA)

単身赴任中の家族の有無は、「お子さんの母親が単身赴任中」が0.2%、「お子さんの父親が単身赴任中」が5.5%、「その他」が2.0%、「単身赴任中の者はいない」が90.7%となっている。



(7) 婚姻の状況

保護者票問6

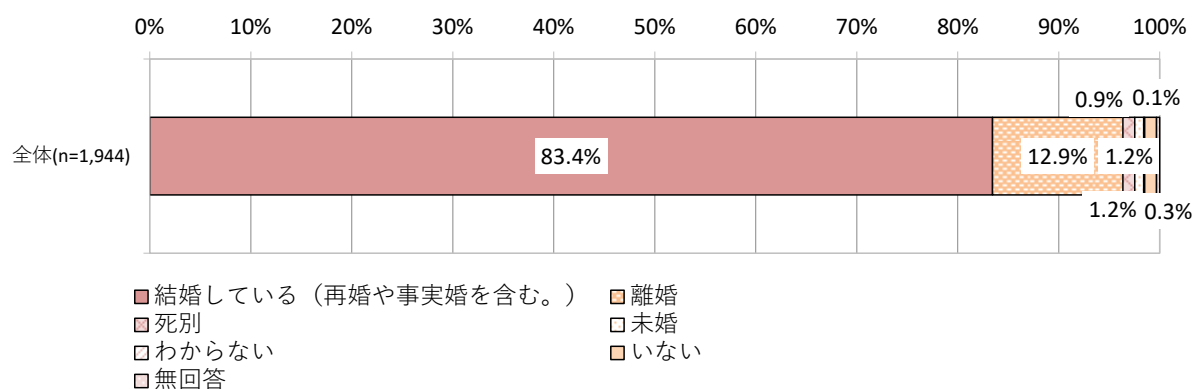
お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(SA)

子どもの親の婚姻状況は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が 83.4%、「離婚」が 12.9%、「死別」が 1.2%、「未婚」が 0.9%となっている。

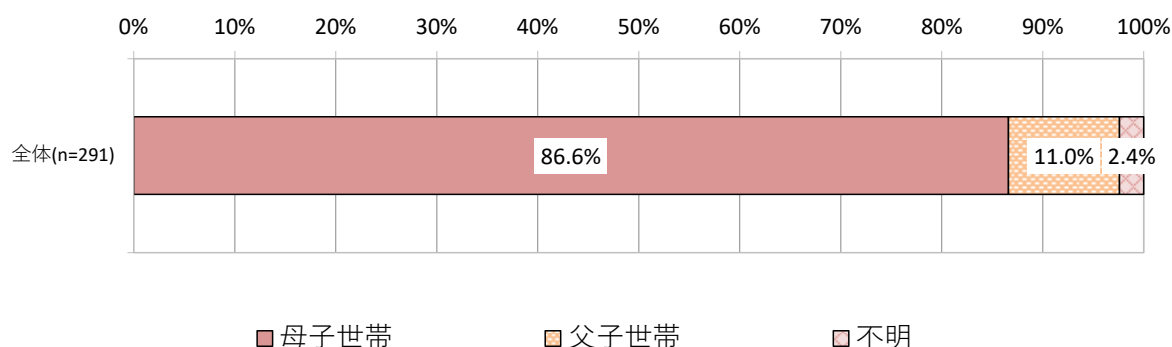
「離婚」、「死別」、「未婚」は合わせて 15.0%であり、これらは「ひとり親世帯」であると考えられる。また、「調査回答者の子どもとの続柄に関する回答」から、「母子世帯」であるか「父子世帯」であるかを判別すると、ひとり親世帯であると考えられる世帯のうち 11.0%は父子世帯となっている。

このほか、「ふたり親世帯」、「ひとり親世帯」それぞれについて、同居家族に祖父母が含まれている割合をみると、「ふたり親世帯」で祖父母と同居している割合は 10.5%、「ひとり親世帯」では 23.4%となっている。

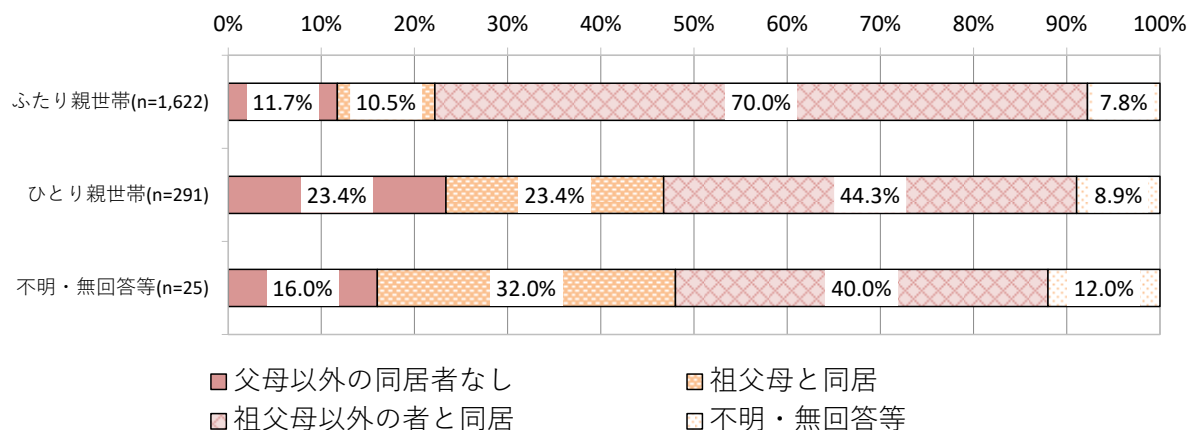
※子どもの親の婚姻状況



※ひとり親世帯の内訳



※祖父母等との同居状況

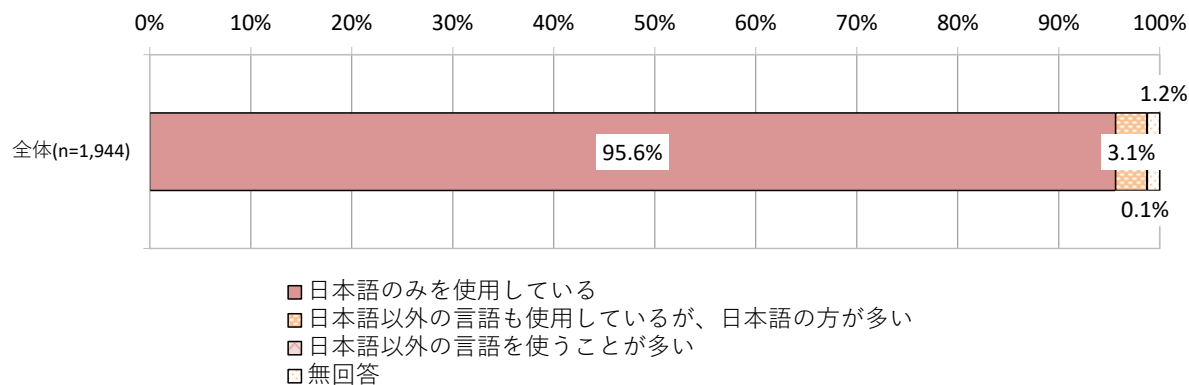


(8) 日本語以外の言語使用

保護者票問 8

ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(SA)

家庭での使用言語については、「日本語のみを使用している」が 95.6%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.1%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.1%となっている。



(9) 最終学歴（卒業した学校）

保護者票問9

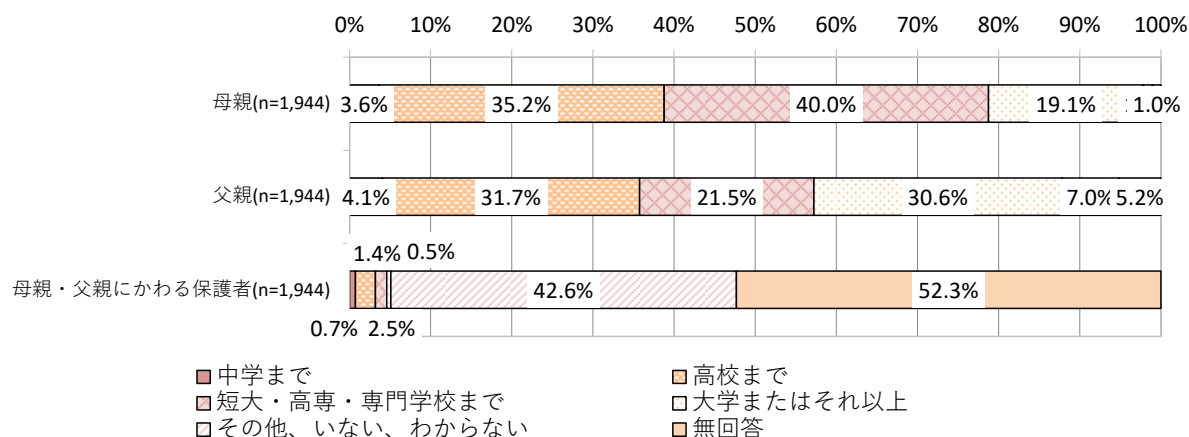
お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。(SA)

子どもの親の最終学歴（卒業した学校）に関し、「母親」については、「短大・高専・専門学校まで」が40.0%、「高校まで」が35.2%、「大学またはそれ以上」が19.1%となっている。

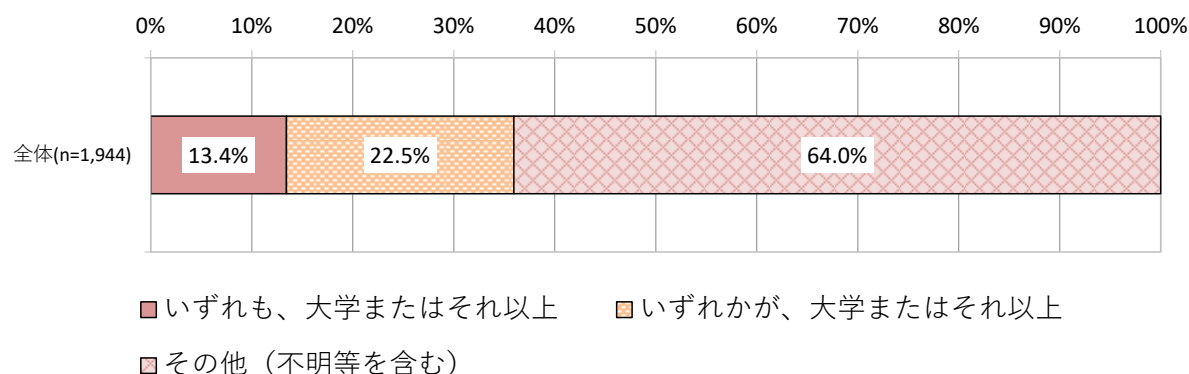
「父親」については、「高校まで」が31.7%、「大学またはそれ以上」が30.6%、「短大・高専・専門学校まで」が21.5%となっている。

母親・父親の最終学歴の組み合わせとして、「いずれも、大学またはそれ以上」、「いずれかが、大学またはそれ以上」、「その他（不明等を含む）」の3つの分類で判別すると、それぞれ、割合は13.4%、22.5%、64.0%となっている。

※保護者の最終学歴



※母親・父親の最終学歴の組み合わせ

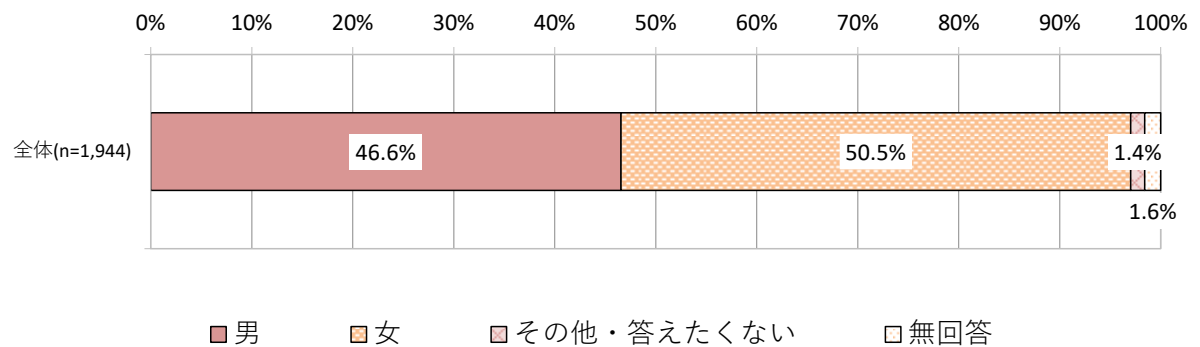


1.2.2.子ども

(1) 性別

中学生票問1
あなたの性別を教えてください。(SA)

調査に回答した子どもの性別は、「男」が46.6%、「女」が50.5%、「その他・答えたくない」が1.4%となっている。



1.3. 分析結果の概要

本報告書では、保護者・子どもの生活状況について、宮崎県内の実態を把握するとともに、「等価世帯収入」の水準と「親の婚姻状況」別に比較分析を行った。分析の結果、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、子どもの学習・生活・心理など様々な面が影響を受けていた。

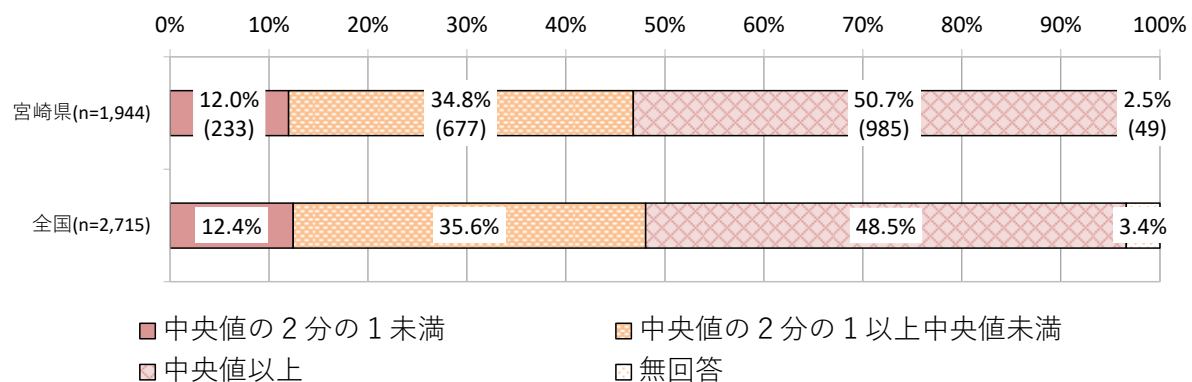
特に「等価世帯収入が中央値の2分の1未満」でもっとも収入が低い水準の世帯や、ひとり親世帯が、親子ともに多くの困難に直面している。ただし、「等価世帯収入が中央値の2分の1以上だが中央値未満」の、いわば収入が中低位の水準の世帯でも、多様な課題が生じていた。

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活状況がさらに厳しくなっている可能性がある。

1.3.1. 保護者の生活状況

(1) 生活・行動実態、課題等

2021年の世帯全員のおおよその年間収入について、家族の人数を踏まえて「等価世帯収入」の水準により分類した。等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当するのは12.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは34.8%、「中央値以上」に該当するのは50.7%であった。

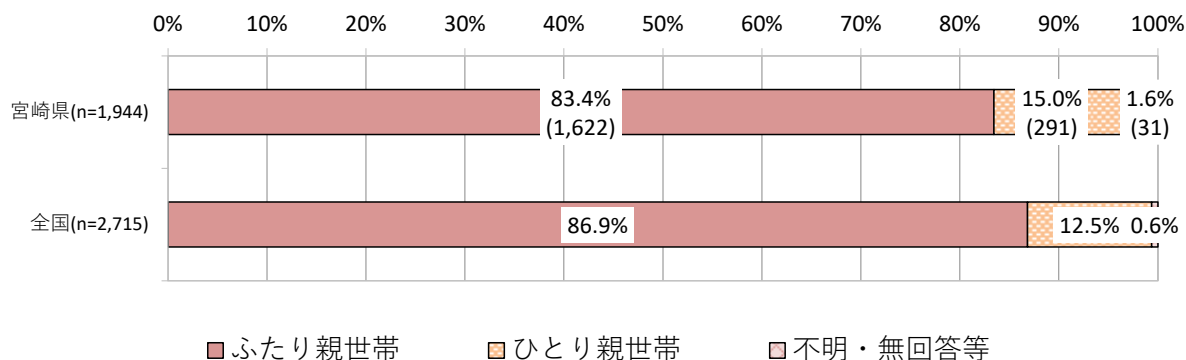


※括弧内の数値は回答者数。

本調査における「等価世帯収入の中央値」は 245.97 万円、「等価世帯収入の中央値の2分の1」は 122.98 万円（参考：全国調査における「等価世帯収入の中央値」は 317.54 万円、「等価世帯収入の中央値の2分の1」は 158.77 万円）。

子どもの親の婚姻状況は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が 83.4%、「離婚」が 12.9%、「死別」が 1.2%、「未婚」が 0.9%であった。「離婚」、「死別」、「未婚」は合わせて 15.0%であり、これらを「ひとり親世帯」として集計した。

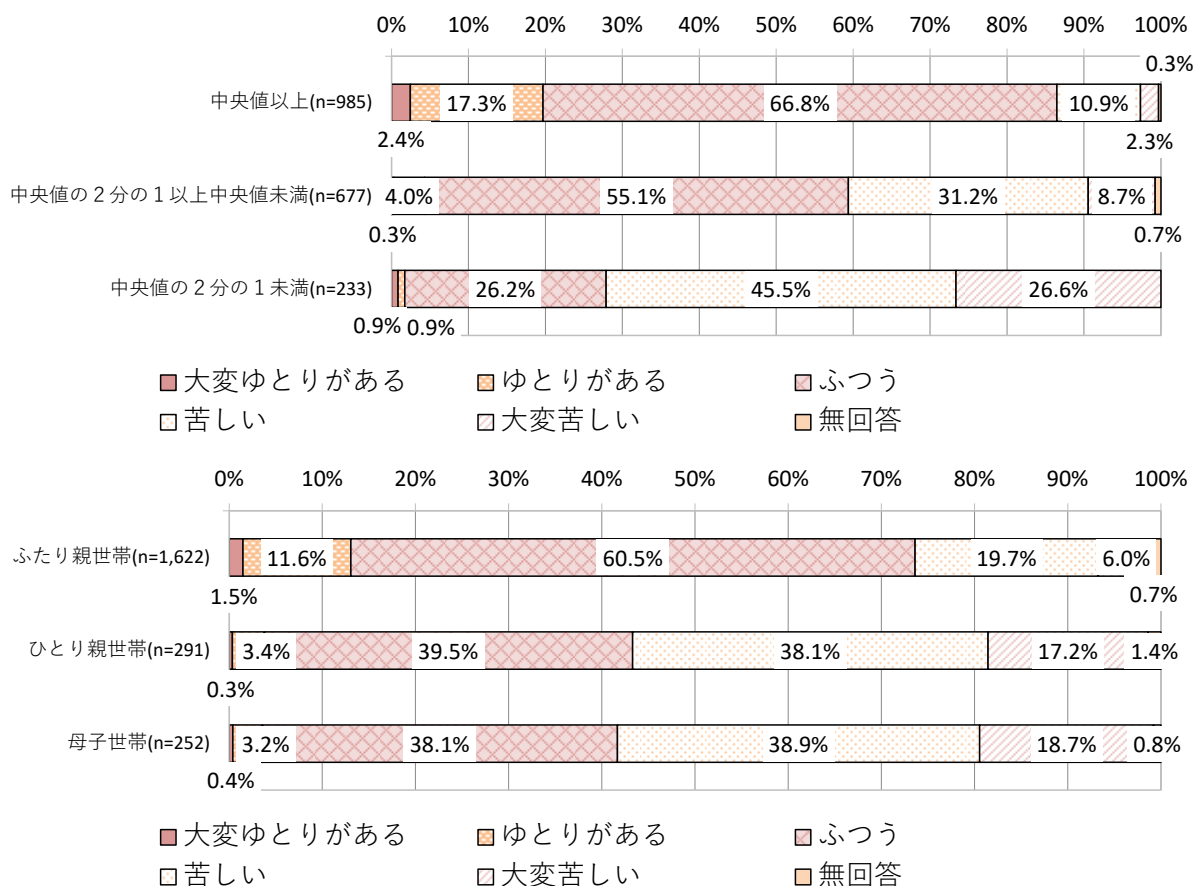
「ひとり親世帯」である割合 15.0%は、全国調査の 12.5%と比較して高い。



※括弧内の数値は回答者数。

現在の暮らしの状況について「苦しい」又は「大変苦しい」と回答した割合は、ひとり親世帯では全体の約 1.8 倍、もっとも収入の水準が低い世帯では全体の約 2.4 倍に及んだ。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、全体では 30.1%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 39.9%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 72.1%、「ひとり親世帯」全体では 55.3%、「母子世帯」のみでは 57.5%であった。



収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、「食料が買えなかった経験」や「衣服が買えなかった経験」、「公共料金の未払い」が生じている割合が高い。

「食料が買えなかった経験」が「あった」とする割合は、全体では 17.3%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 21.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 51.1%、「ひとり親世帯」全体では 38.8%、「母子世帯」のみでは 40.9%であった。

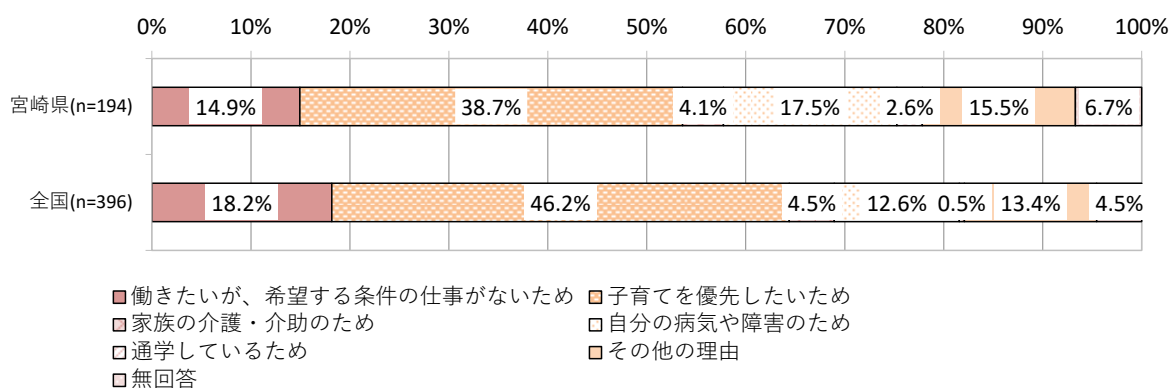
「衣服が買えなかった経験」が「あった」とする割合は、全体では 20.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 26.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 53.2%、「ひとり親世帯」全体では 41.6%、「母子世帯」のみでは 45.2%であった。

「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」のいずれか1つ以上で未払いが発生している割合は、全体では 7.8%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 8.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 30.0%、「ひとり親世帯」全体では 18.2%、「母子世帯」のみでは 19.4%であった。

母親・父親の学歴の違いや就労状況の違いが収入の水準と関連している。母親・父親が働いていない理由として、収入が低い世帯やひとり親世帯では「病気や障害のため」の回答割合が高い。また、「病気や障害のため」の回答割合は全国調査と比較して高い。

等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、母親・父親の学歴について「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合では 3.1%、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」の場合では 5.0%、「その他（不明等を含む）」の場合では 10.9%であった。

母親が働いていない理由として「自分の病気や障害のため」と回答した割合は、全体では 17.5%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 15.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 46.9%、「ひとり親世帯（母子世帯）」では 58.3%であった。また、全体の「自分の病気や障害のため」と回答した割合 17.5%は、全国調査の 12.6%と比較して高い。



※「母親の働いていない理由」に関する集計結果

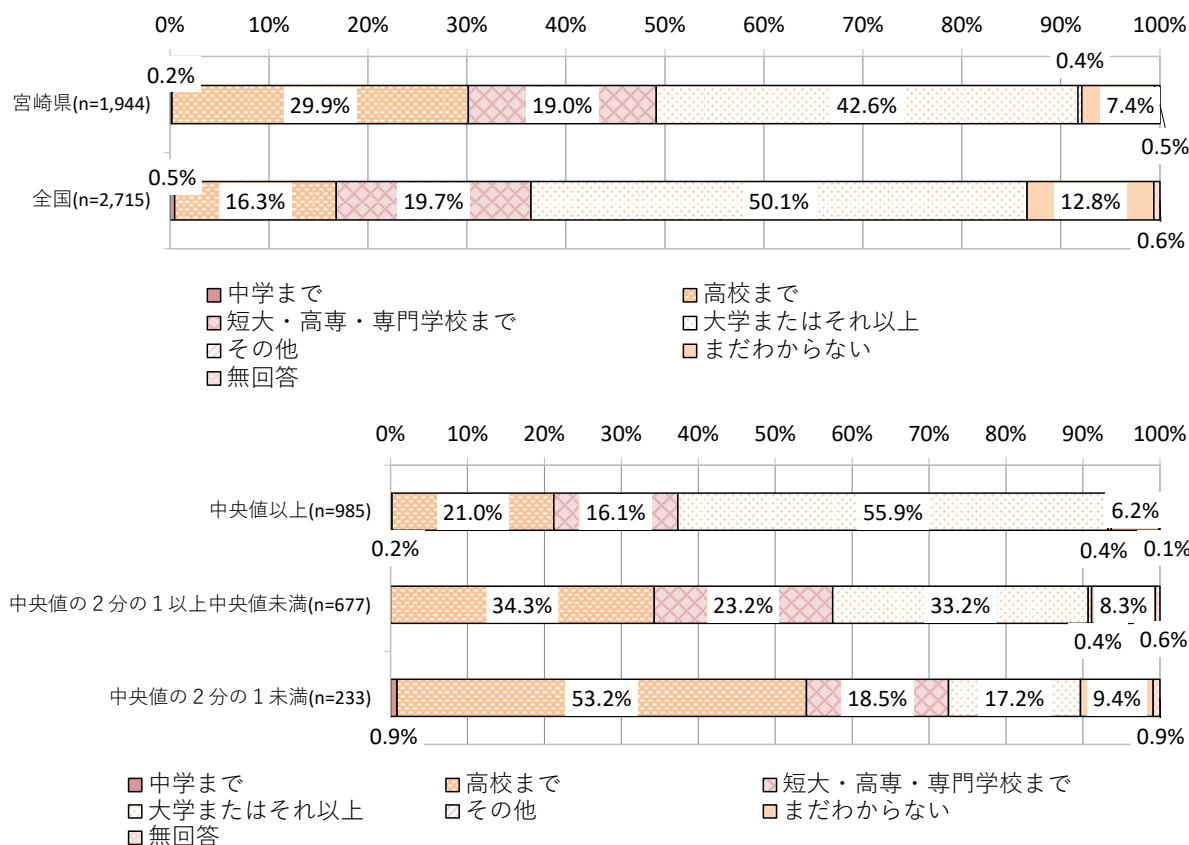
収入の水準や世帯の状況の違いは、「子どもとの関わり方」や「学校との関わり・参加」の状況の差異にも関連する。

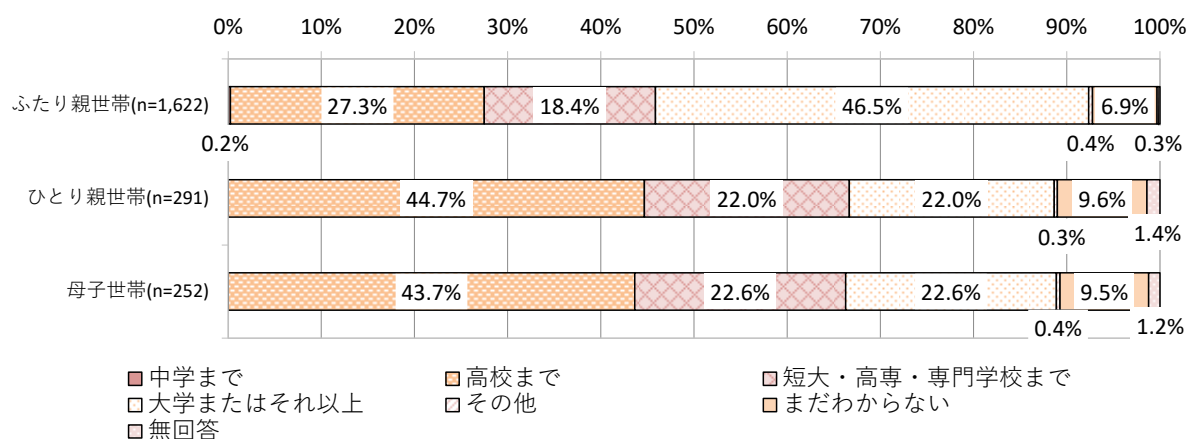
一例として、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」かについて、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、全体では 32.9%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 34.8%、「ひとり親世帯」全体では 44.0%、「母子世帯」のみでは 42.5%であった。

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、子どもが将来どの段階まで進学するかの希望・展望に関して「大学またはそれ以上」と回答した割合が低い。また、「大学またはそれ以上」と回答した割合は全国調査と比較して低い。

「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 42.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 33.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 17.2%、「ひとり親世帯」全体では 22.0%、「母子世帯」のみでは 22.6%であった。

「大学またはそれ以上」と回答した割合 42.6%は、全国調査の 50.1%と比較して低い。





収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、頼れる人がいないと回答した割合が高い。また、心理的な状況として、うつ・不安障がい疑われる状況にある者の割合が高い。

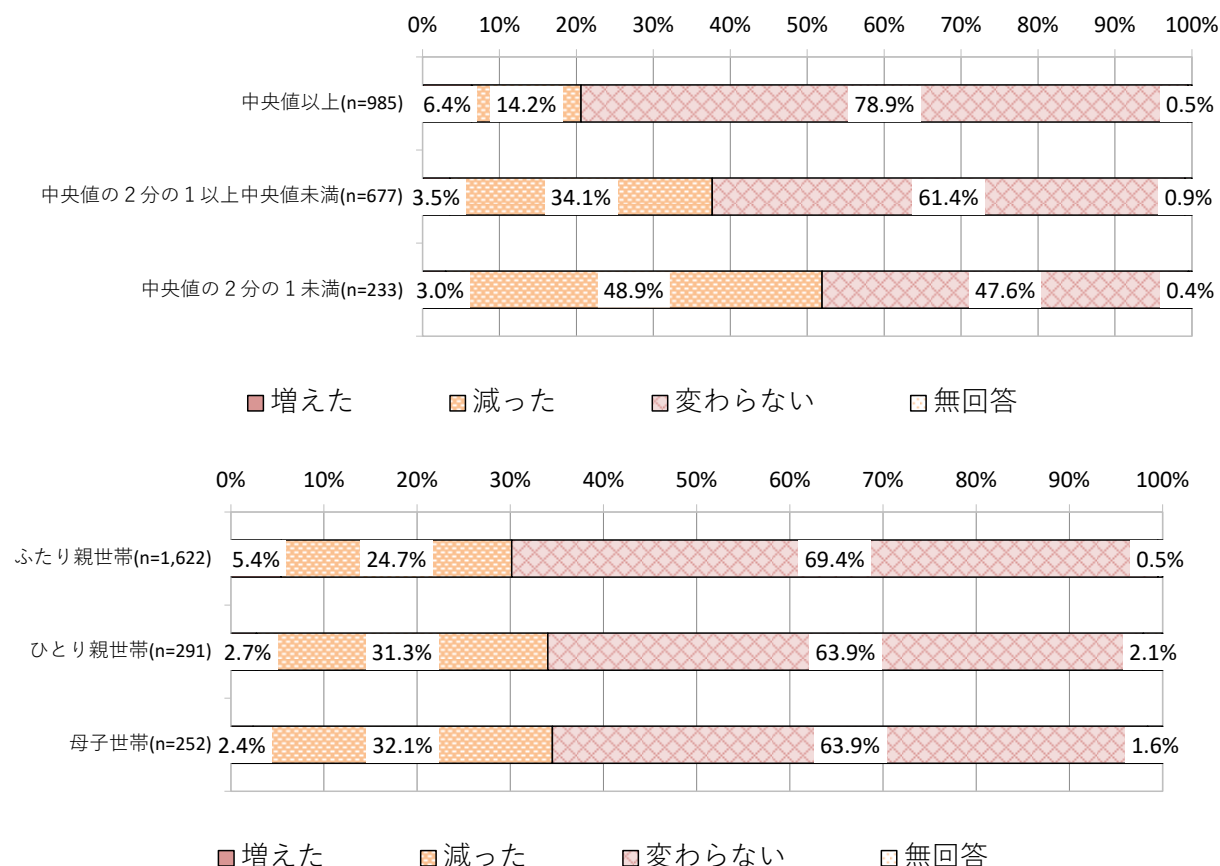
一例として、「いざというときのお金の援助に関して頼れる人」について、「いない」の割合は、全体では 15.1%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 18.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 27.9%、「ひとり親世帯」全体では 28.2%、「母子世帯」のみでは 28.6%であった。

保護者の心理的な状況に関して、「うつ・不安障がい相当」にあると考えられる割合は、全体では 8.2%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 9.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 20.2%、「ひとり親世帯」全体及び「母子世帯」のみでは 17.5%であった。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症の拡大による「世帯全体の収入の変化」について「減った」と回答した割合が高い。

「世帯全体の収入の変化」について「減った」と回答した割合は、全体では 25.8%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 34.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 48.9%、「ひとり親世帯」全体では 31.3%、「母子世帯」のみでは 32.1%であった。



「生活に必要な支出の変化」、「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」、「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」について「増えた」と回答した割合は、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で高い。

「生活に必要な支出の変化」について「増えた」と回答した割合は、全体では 60.2%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 66.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 72.1%、「ひとり親世帯」全体では 66.0%、「母子世帯」のみでは 66.3%であった。「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」について「増えた」と回答した割合は、全体では 15.8%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 20.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 41.6%、「ひとり親世帯」全体では 27.5%、「母子世帯」のみでは 29.0%であった。

「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」について「増えた」と回答した割合は、全体では 32.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 38.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 44.2%、「ひとり親世帯」全体では 40.5%、「母子世帯」のみでは 42.9%であった。

新型コロナウイルス感染症の拡大による世帯の収入の変化は、現在の保護者の心理的な状況の差異にも関連する。

「うつ・不安障がい相当」にあると考えられる割合は、「世帯全体の収入の変化」について「増えた」と回答した場合は 5.2%、「変わらない」と回答した場合は 6.2%、「減った」と回答した場合は 14.1%であった。

(3) 支援の利用状況等

支援制度の利用状況について、収入の水準がもっとも低い世帯でも、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用割合は5割前後であり、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」の利用割合は1割未満と低い。

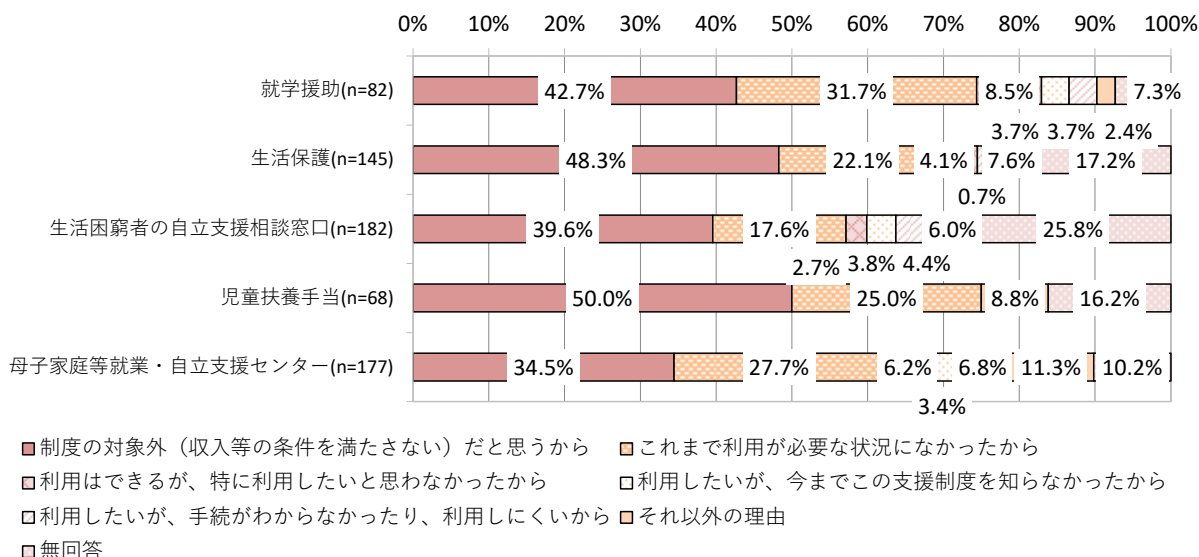
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯で、「現在利用している」との回答割合は、「就学援助」は54.1%、「児童扶養手当」は46.4%であった。「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」は、いずれも1割未満であった。

「ひとり親世帯」全体で「現在利用している」との回答割合は、「就学援助」は51.9%、「児童扶養手当」は66.3%であった。「母子世帯」のみでは、「就学援助」は57.1%、「児童扶養手当」は69.8%であった。

収入の水準がもっとも低い世帯では、各支援制度を利用していない理由について、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」に関しては、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた回答が約1割となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯で、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた回答は、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」に関しては約1割であった。

「ひとり親世帯」で、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた回答は、「就学援助」、「母子家庭等就業・自立支援センター」に関しては約1割であった。



※「等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯」における集計結果

1.3.2. 子どもの生活状況

(1) 生活・行動実態、課題等（「貧困の連鎖」等のリスクの状況）

収入の水準がもっとも低い世帯やひとり親世帯では、学校への通学頻度について「毎日」と回答した割合が低い。

学校への通学頻度について「毎日（週5日）」と回答した割合は、全体では94.4%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では88.8%、「ひとり親世帯」全体では87.3%、「母子世帯」のみでは87.7%であった。

「学校の授業以外で勉強はしない」と回答した割合、学校がある日に授業以外の勉強を「まったくしない」と回答した割合は、収入の水準がもっとも低い世帯で高い。

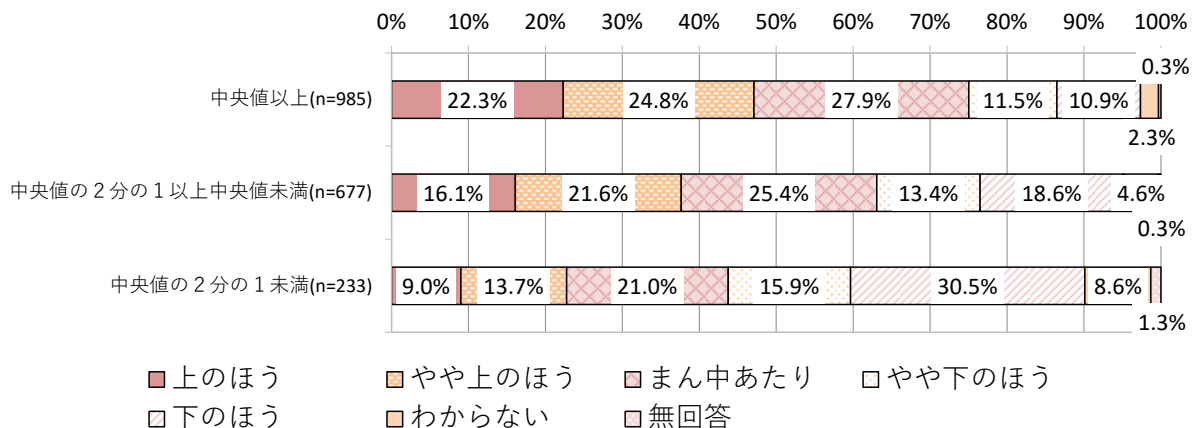
「学校の授業以外で勉強はしない」と回答した割合は、全体では5.2%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では5.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では10.3%であった。

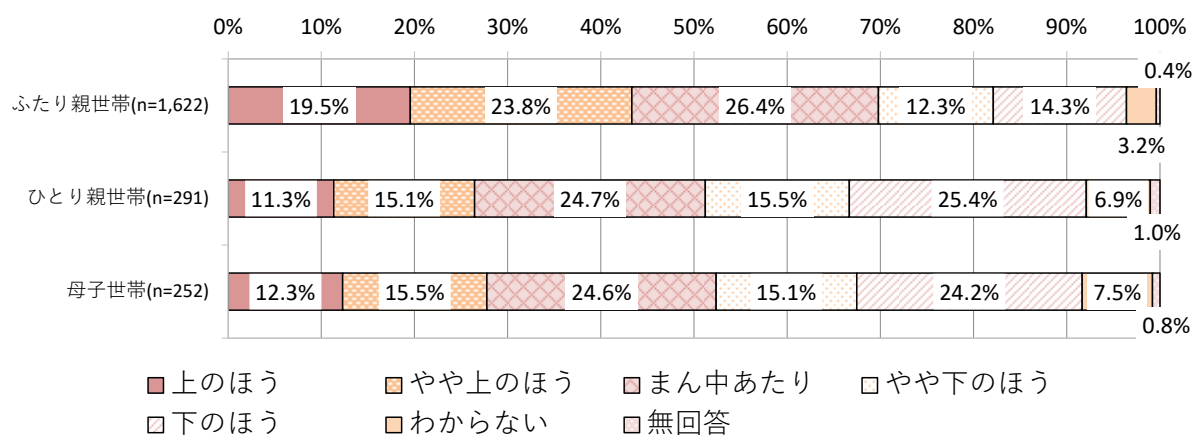
学校がある日に学校の授業以外の勉強を「まったくしない」と回答した割合は、全体では3.8%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では8.2%であった。

クラスの中での成績について「下のほう」と回答した割合、学校の授業について「わからない」と回答した割合は、それぞれ収入の水準がもっとも低い世帯やひとり親世帯で高い。

クラスの中での成績について「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合は、全体では29.0%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では46.4%、「ひとり親世帯」全体では40.9%、「母子世帯」のみでは39.3%であった。

学校の授業について「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、全体では9.2%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では17.2%、「ひとり親世帯」全体では14.1%、「母子世帯」のみでは13.9%であった。

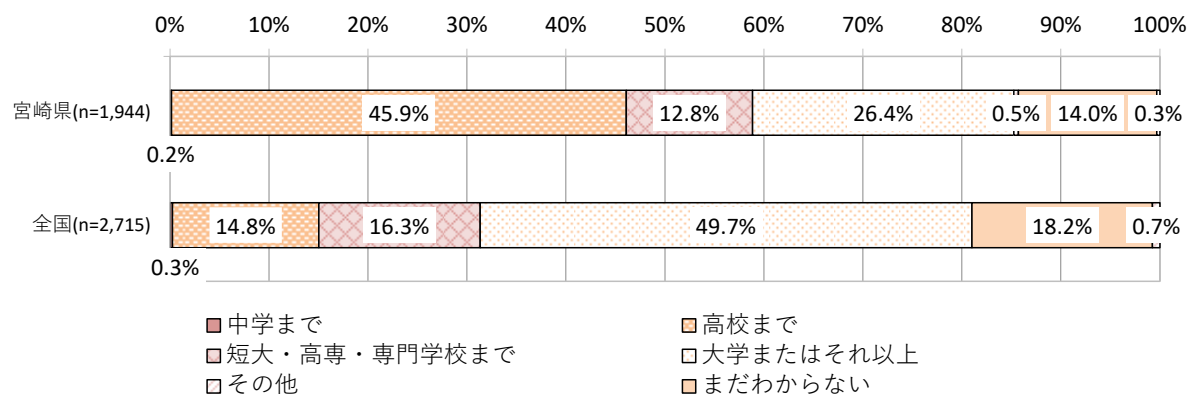




※「クラスの中での成績」に関する集計結果

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、進学したいと思う教育段階について「大学またはそれ以上」と回答した割合が低い。また、「大学またはそれ以上」と回答した割合は全国調査と比較して低い。

「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 26.4%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 22.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 12.4%、「ひとり親世帯」全体では 16.2%、「母子世帯」のみでは 17.1%であった。また、全体の「大学またはそれ以上」と回答した割合 26.4%は、全国調査の 49.7%と比較して低い。



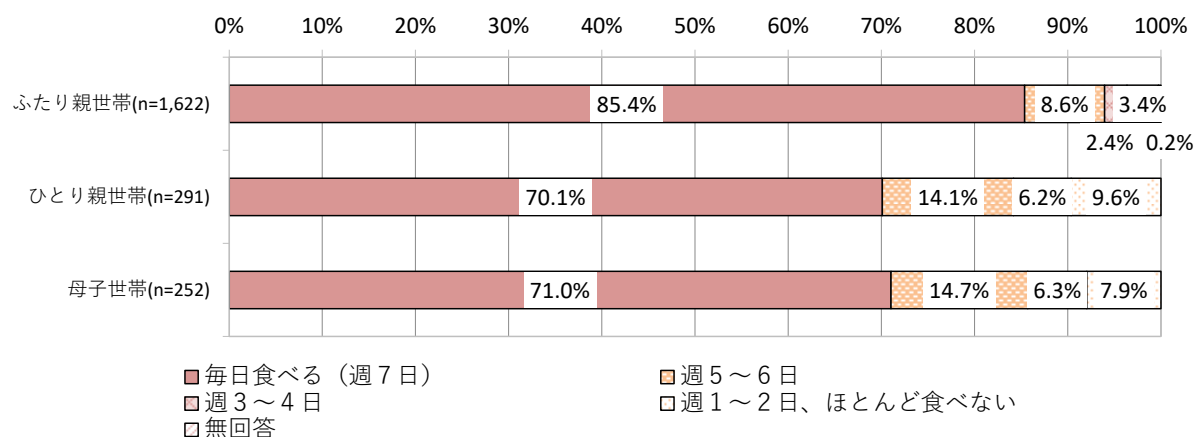
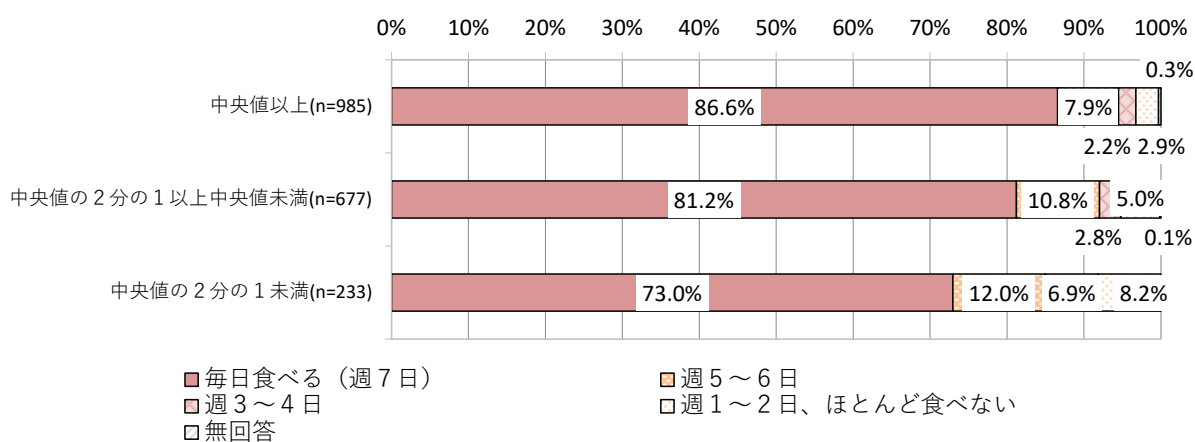
収入の水準がもっとも低い世帯やひとり親世帯では、「朝食」や「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」、「土・日曜日・祝日の昼食」について「毎日食べる」と回答した割合が低い。また、就寝時間についてほぼ同じ時間に寝ていると回答した割合が低い。

「朝食」について「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では83.1%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では81.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では73.0%、「ひとり親世帯」全体では70.1%、「母子世帯」のみでは71.0%であった。

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、全体では86.5%であったのに対し、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では86.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では79.0%、「ひとり親世帯」全体では77.7%、「母子世帯」のみでは76.6%であった。

「土・日曜日・祝日の昼食」について「毎回食べる」と回答した割合は、全体では90.9%であったのに対し、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では90.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では85.8%、「ひとり親世帯」全体では83.2%、「母子世帯」のみでは82.5%であった。

「ふだんほぼ同じ時間に寝ているか」について、「そうである」と回答した割合は、全体では33.8%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.8%、「ひとり親世帯」全体では27.5%、「母子世帯」のみでは27.4%であった。



※「朝食」に関する集計結果

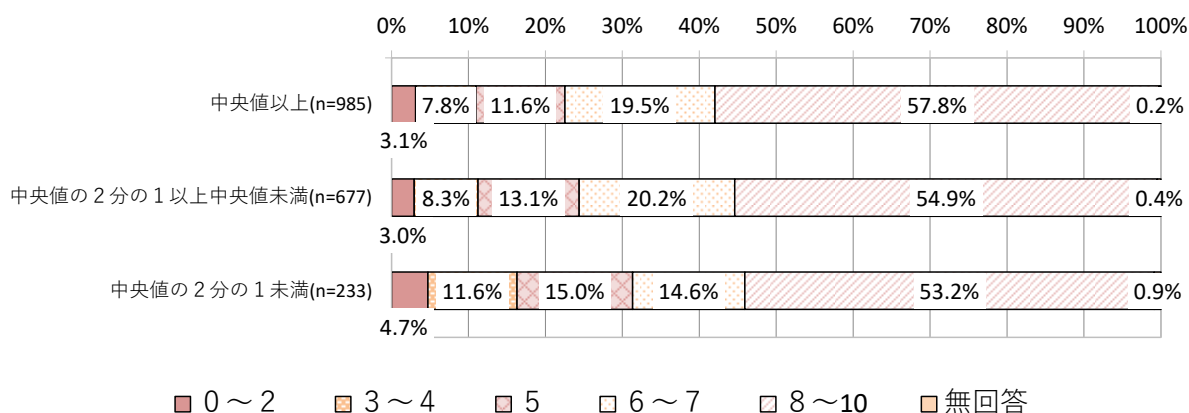
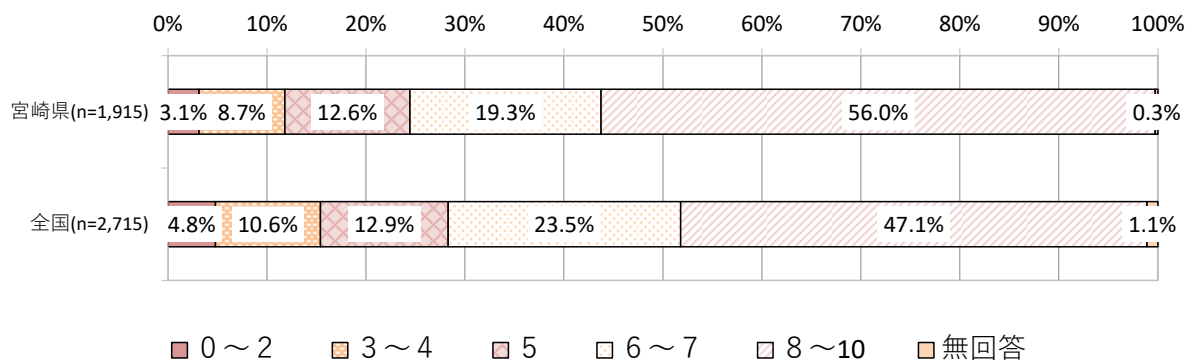
収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、部活動等に参加していない割合が高い。また、部活動に参加していない理由として、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、「費用がかかるから」と回答した割合が高い。

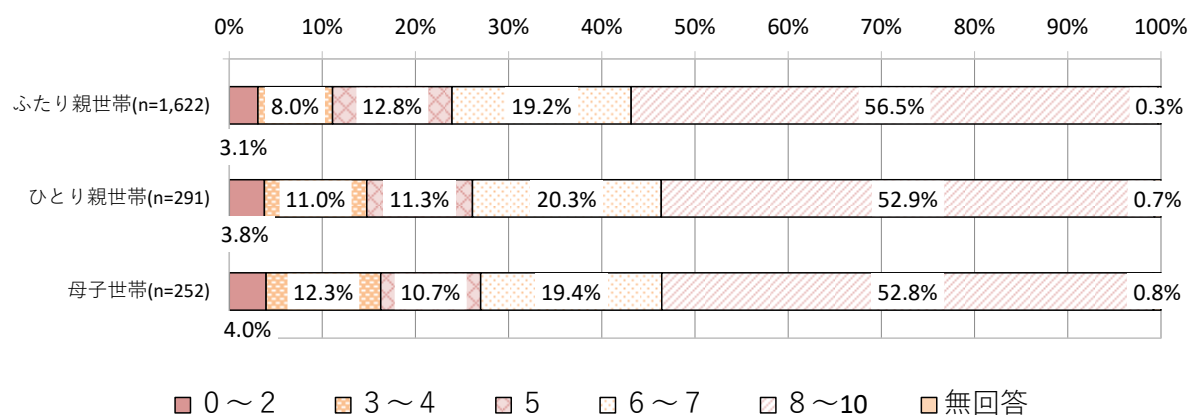
部活動等に「参加していない」と回答した割合は、全体では14.6%であったのに対し、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では16.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.2%、「ひとり親世帯」全体では26.1%、「母子世帯」のみでは25.4%であった。

部活動等に参加していない理由として「費用がかかるから」と回答した割合は、全体では11.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では10.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では22.1%、「ひとり親世帯」全体では18.4%、「母子世帯」のみでは17.2%であった。

収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、生活満足度が低い。また、生活満足度は全国調査と比較して高い。

生活満足度について、「6～10」（満足度が高い方の回答）に該当する割合は、全体では75.3%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では75.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では67.8%、「ひとり親世帯」全体では73.2%、「母子世帯」のみでは72.2%であった。また、「6～10」（満足度が高い方の回答）に該当する割合75.3%は、全国調査の70.5%と比較して高い。





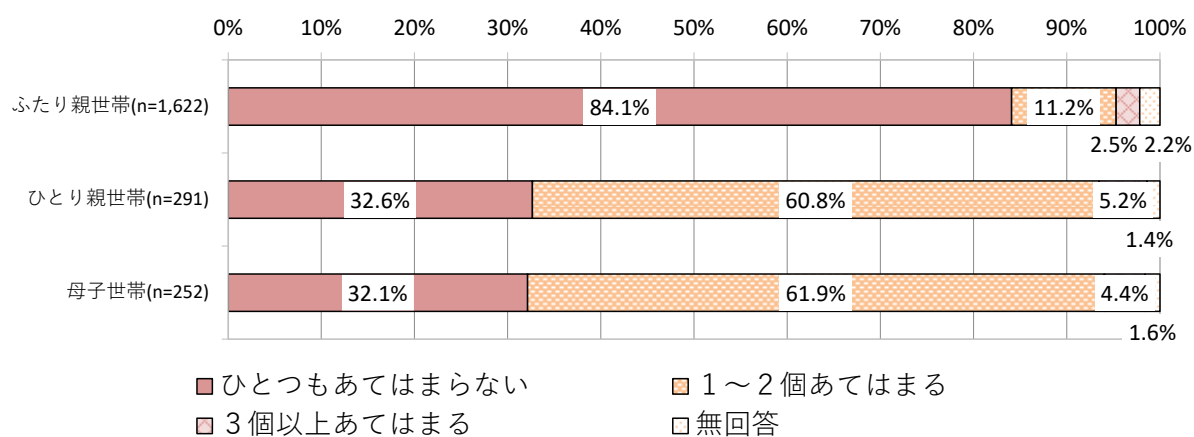
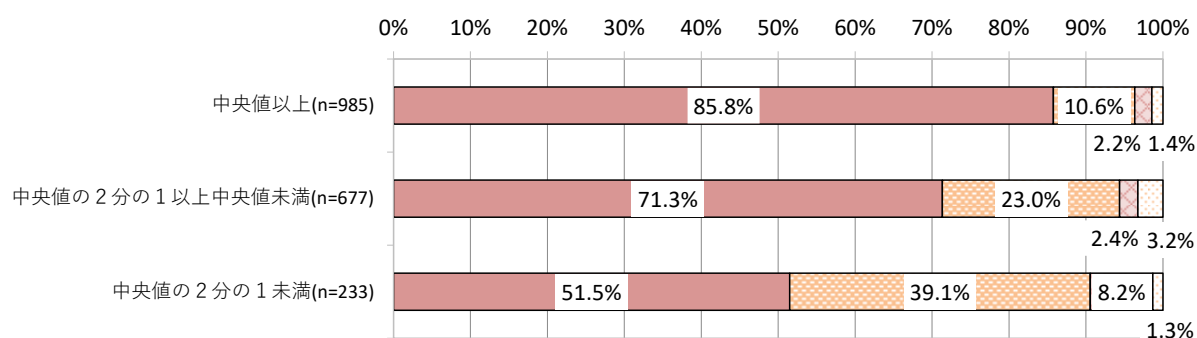
子どもの心理的な状況に関して、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、「情緒の問題」のスコアが高い。

「強さと困難さアンケート」のうち、「情緒の問題」に関するスコア（値が高い方が課題があると考えられる）の平均値は、全体では 3.22 であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 3.28、「中央値の2分の1未満」の世帯では 3.64、「ひとり親世帯」全体では 3.48、「母子世帯」のみでは 3.51 であった。

収入の水準が低い世帯では、「逆境体験」を経験している割合が高い。また、「逆境体験」を経験している場合には、現在の生活満足度が低いという関連性がある。

「逆境体験」に関する8項目について、「ひとつもあてはまらない（0個）」と回答した割合は、等価世帯収入の水準が「中央値以上」の世帯では85.8%であったのに対し、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では71.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.5%であった。

生活満足度の平均値は、逆境体験について0個の場合では7.58、1個以上該当する場合には6.62であった。



(2) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大による変化として「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した割合は、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で高い。

「増えた」と回答した割合は、全体では 26.7%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 28.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 38.6%、「ひとり親世帯」全体では 35.4%、「母子世帯」のみでは 35.7%であった。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって学校の授業がわからないと感じることが増えることと、現在の生活満足度には関連性がみられる。

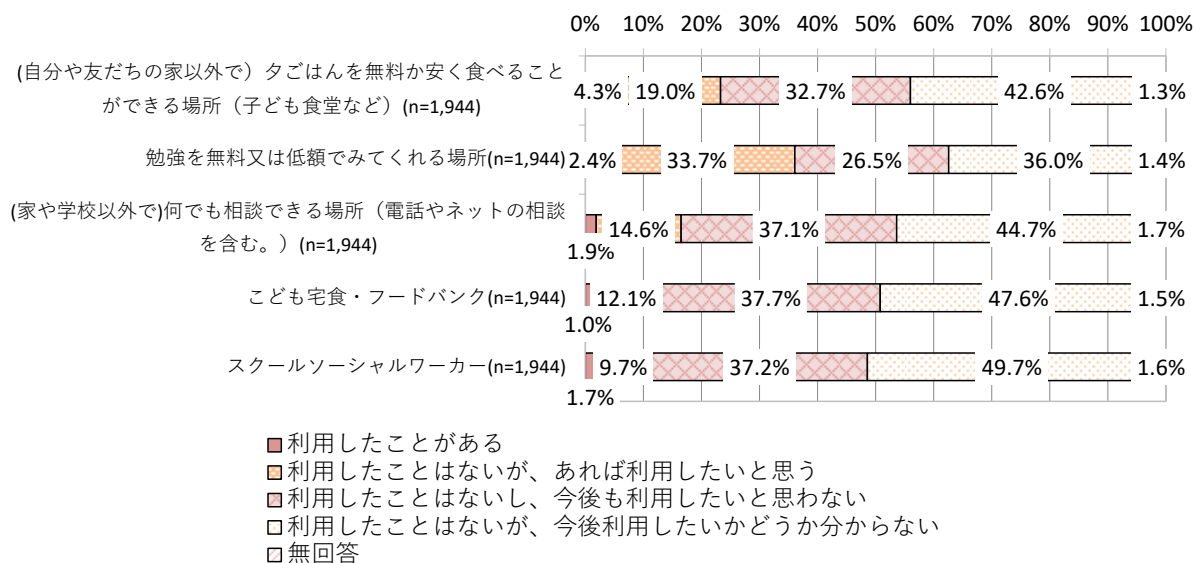
生活満足度の平均値は、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は 6.74、「変わらない」と回答した場合は 7.55、「減った」と回答した場合は 7.89 であった。

(3) 支援の利用状況等

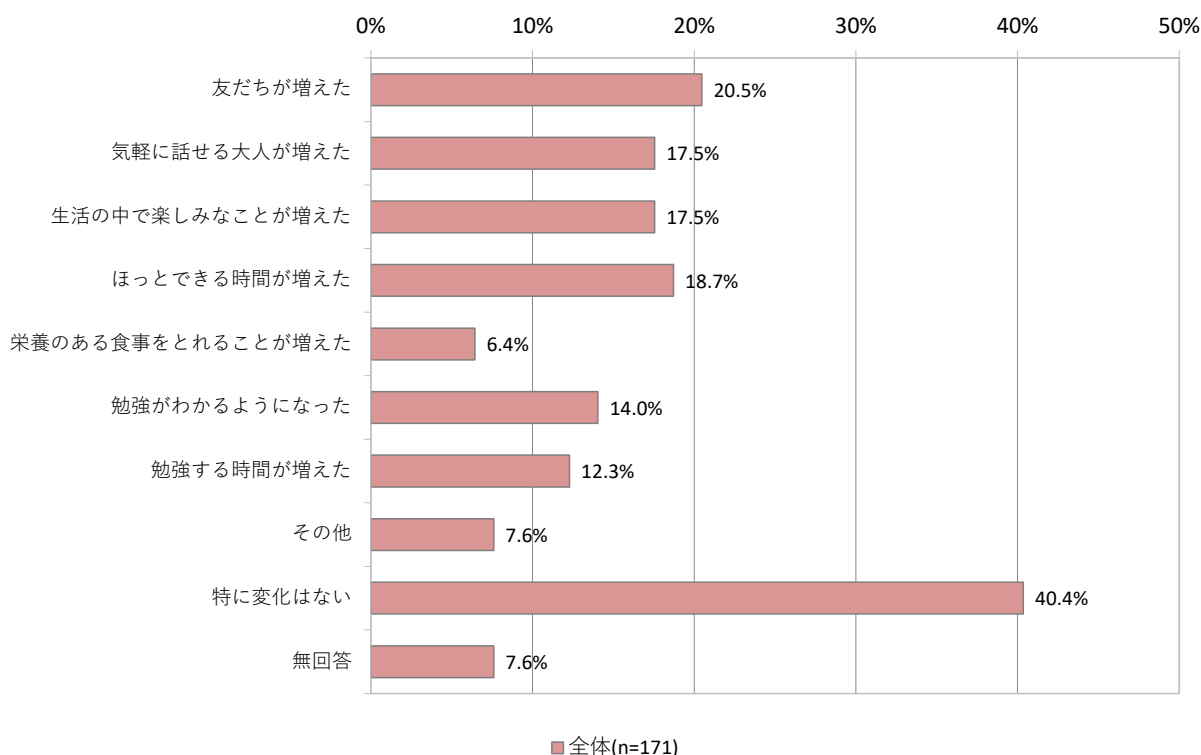
支援制度・居場所等の利用状況について、例えば、「勉強を無料又は低額でみてくれる場所」を利用したことがある子どもの割合は全体の2.4%である。ただし、33.7%が「あれば利用したいと思う」と回答している。

支援制度・居場所等の利用によって、「友だちが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」などの変化が認識されている。

利用による変化をどのように考えているかについて、全体では、「友だちが増えた」が20.5%、「ほっとできる時間が増えた」が18.7%、「気軽に話せる大人が増えた」と「生活の中で楽しみなことが増えた」がそれぞれ17.5%であった。



※「支援制度・居場所等の利用状況」に関する集計結果



※「支援制度・居場所等の利用による変化」に関する集計結果

2 分析結果

2.1. 保護者の生活状況

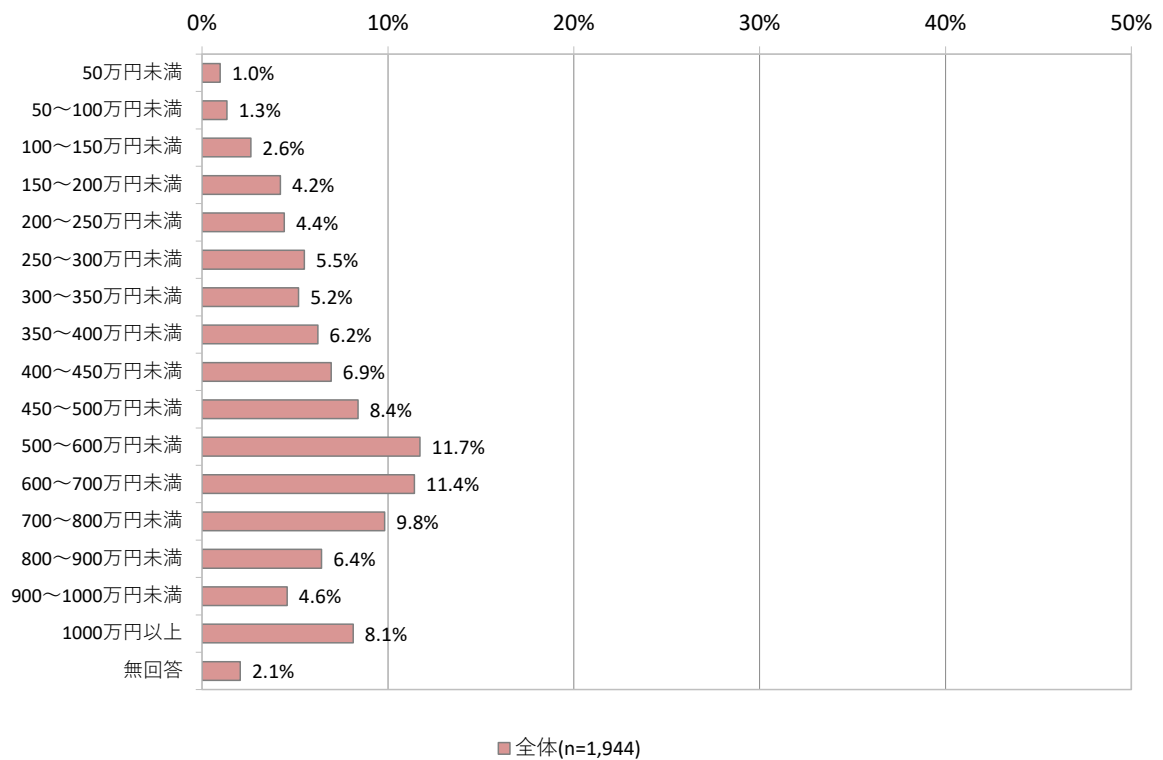
2.1.1. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 世帯全体の年間収入

保護者票問 20

世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

令和3年のおおよその年間収入(税込)については、「500～600万円未満」が11.7%と最も高く、次いで、「600～700万円未満」の11.4%、「700～800万円未満」の9.8%の順となっている。



本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、「令和3年 子供の生活状況調査の分析報告書」（内閣府・令和3年12月）を参考に、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえた下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行った。

- ① 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「50万円未満」は25万円、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- ② 上記の値を、世帯人数の平方根をとったもので除す。
例) 「3人世帯」が世帯収入を「300～350万円」と回答した場合
【世帯収入】325万円 ÷ 【世帯人数の平方根】 $\sqrt{3}$
= 【等価世帯収入】187.6万円
- ③ 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、「中央値の2分の1未満である層」「中央値の2分の1以上中央値未満である層」「中央値以上である層」に分類した。（本調査における「等価世帯収入の中央値」は245.97万円）

分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当するのは12.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは34.8%、「中央値以上」に該当するのは50.7%となった。

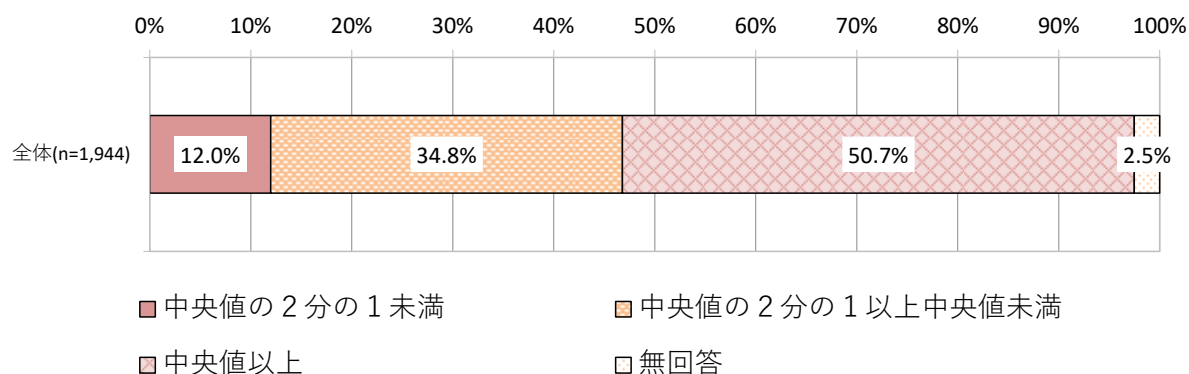
本報告書では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

世帯の状況別に等価世帯収入の水準をみると、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」では39.5%、「母子世帯」のみでは43.7%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

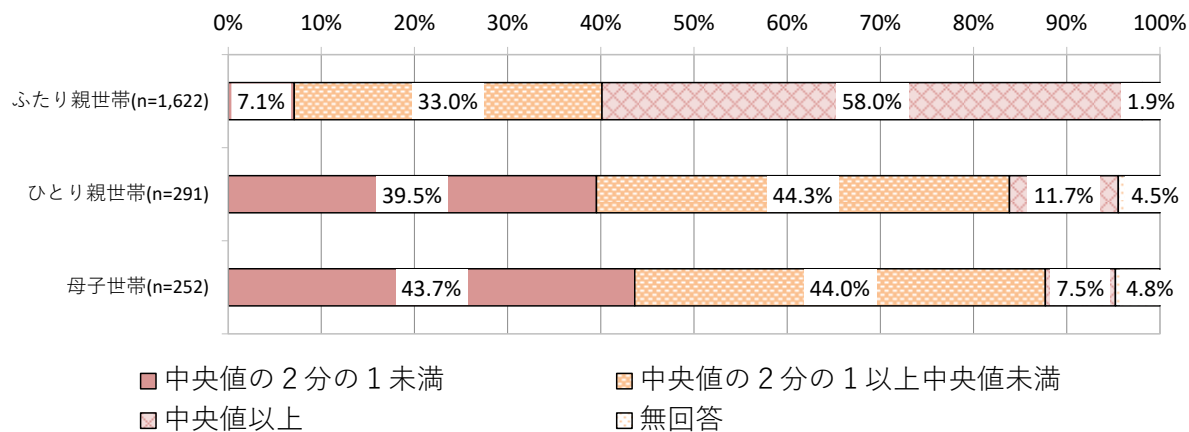
母親・父親の学歴の状況別にみると、母親・父親ともに、学歴が高いほど等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は低くなっている。母親・父親の学歴の組み合わせでみた場合には、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合は3.1%、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」の場合には5.0%、「その他（不明等を含む）」の場合には16.3%となっている。

また、家庭での使用言語の状況（日本語以外の言語使用の状況）別にみると、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」又は「日本語以外の言語を使うことが多い」に該当する世帯では、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」である割合は26.2%で、「日本語のみを使用している」世帯と比べて高くなっている。

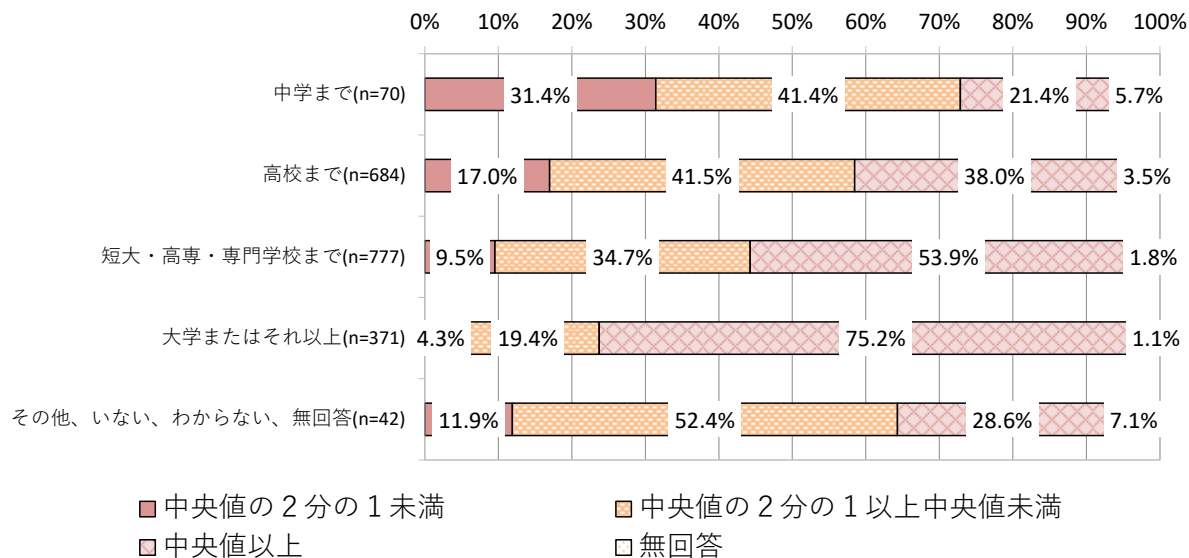
※「等価世帯収入」による分類（全体）



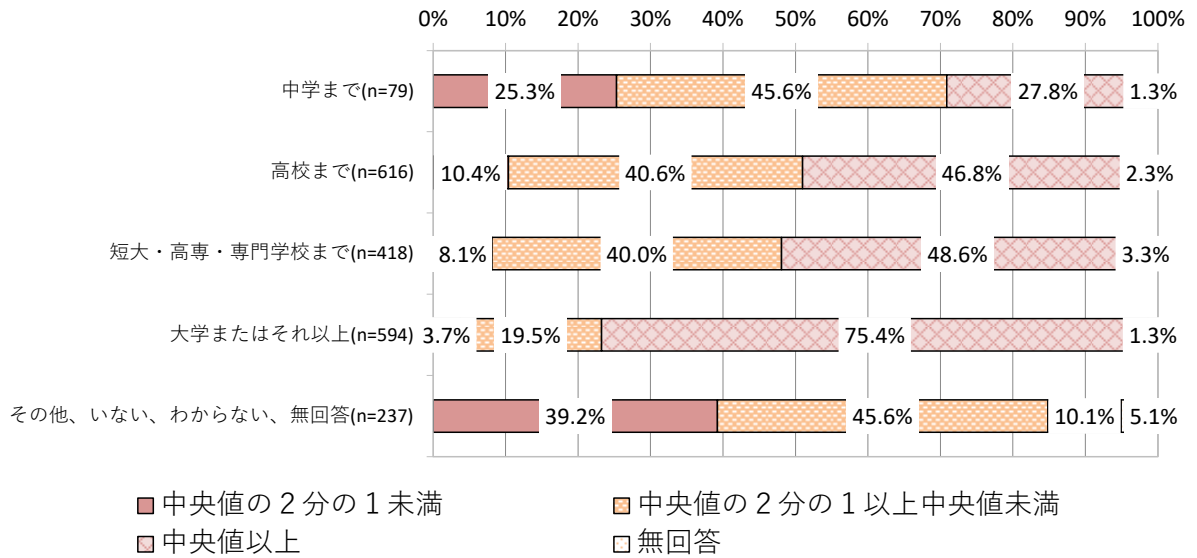
※「等価世帯収入」による分類（世帯の状況別）



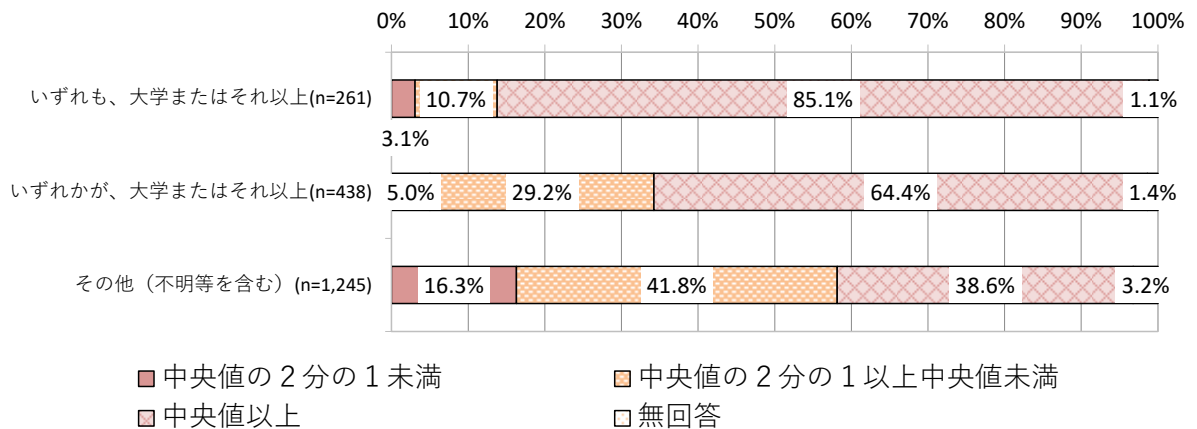
※「等価世帯収入」による分類（母親の最終学歴別）



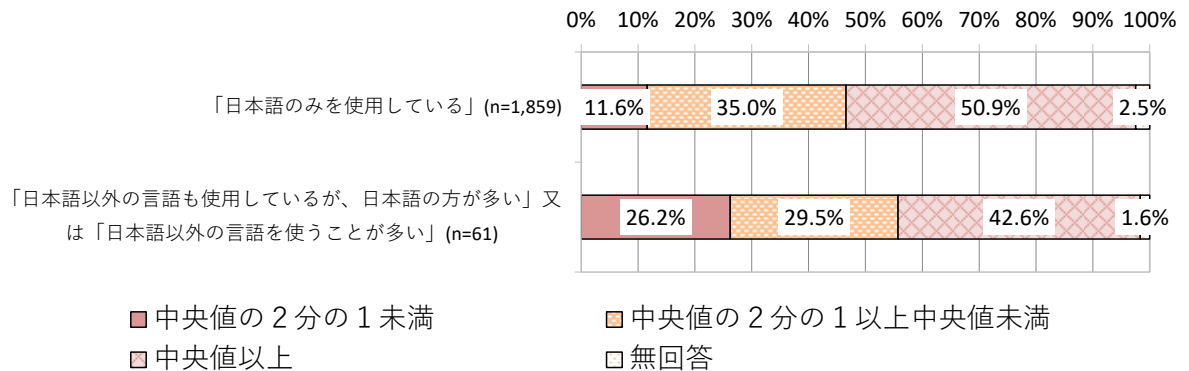
※「等価世帯収入」による分類（父親の最終学歴別）



※「等価世帯収入」による分類（母親・父親の最終学歴別）



※「等価世帯収入」による分類（日本語以外の言語使用別）



(2) 暮らしの状況についての認識

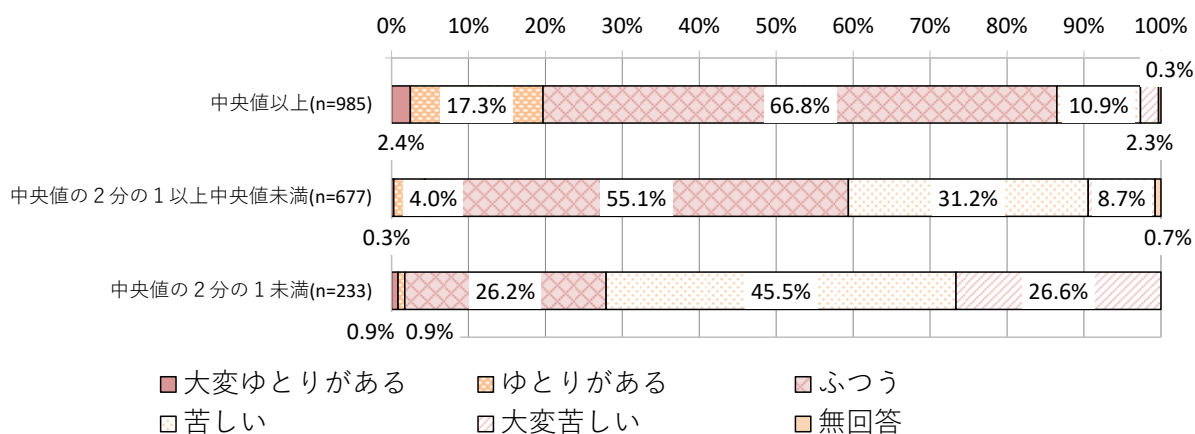
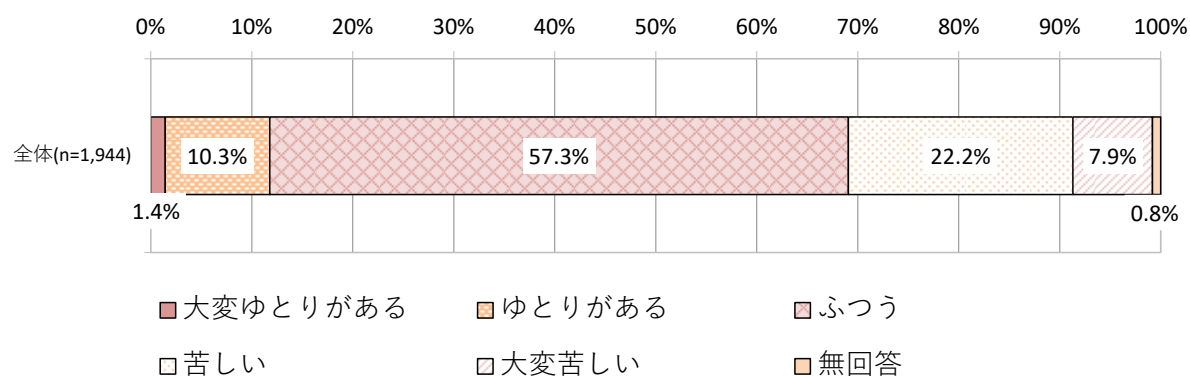
保護者票問 19

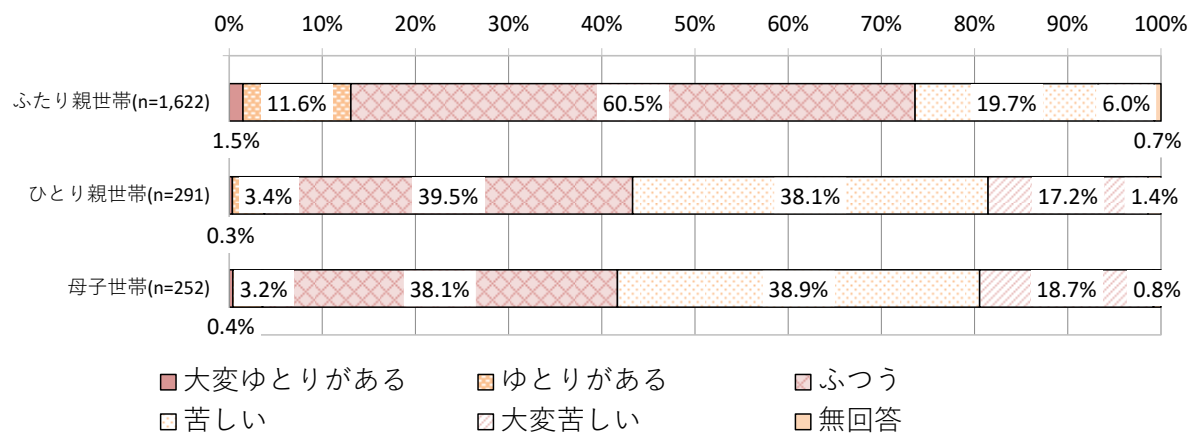
あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(SA)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」が 1.4%、「ゆとりがある」が 10.3%、「ふつう」が 57.3%となっており、合わせて 69.1%となっている。他方で、「苦しい」は 22.2%、「大変苦しい」は 7.9%となっており、合わせた割合は 30.1%となっている。

「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 13.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 39.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 72.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 25.7%、「ひとり親世帯」全体では 55.3%、「母子世帯」のみでは 57.5%となっている。





(3) 食料が買えなかった経験

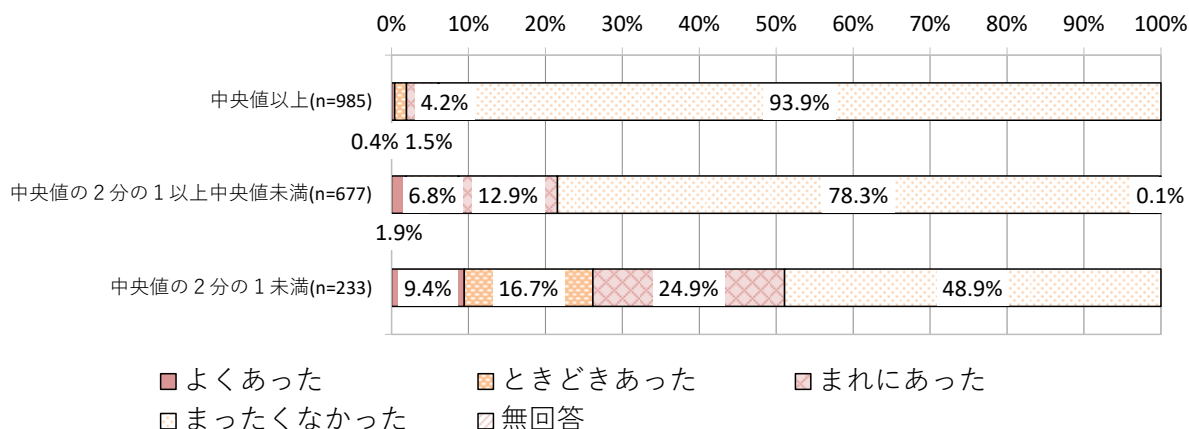
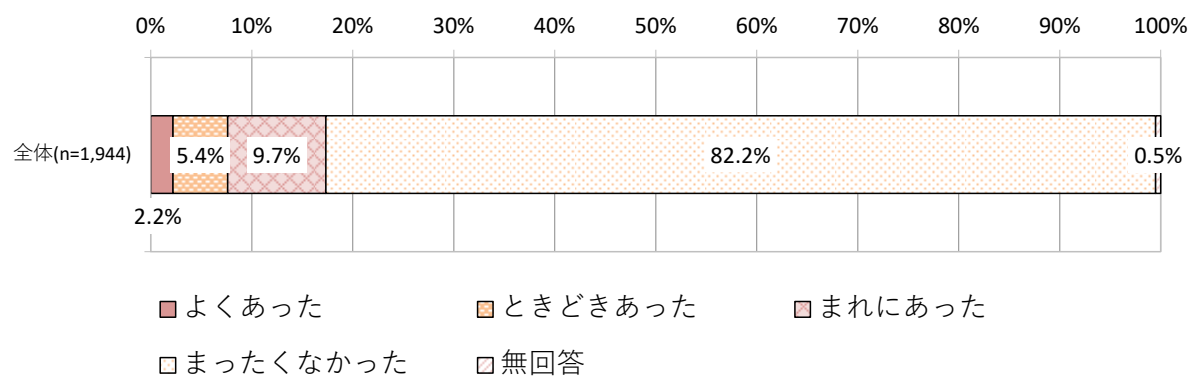
保護者票問 21

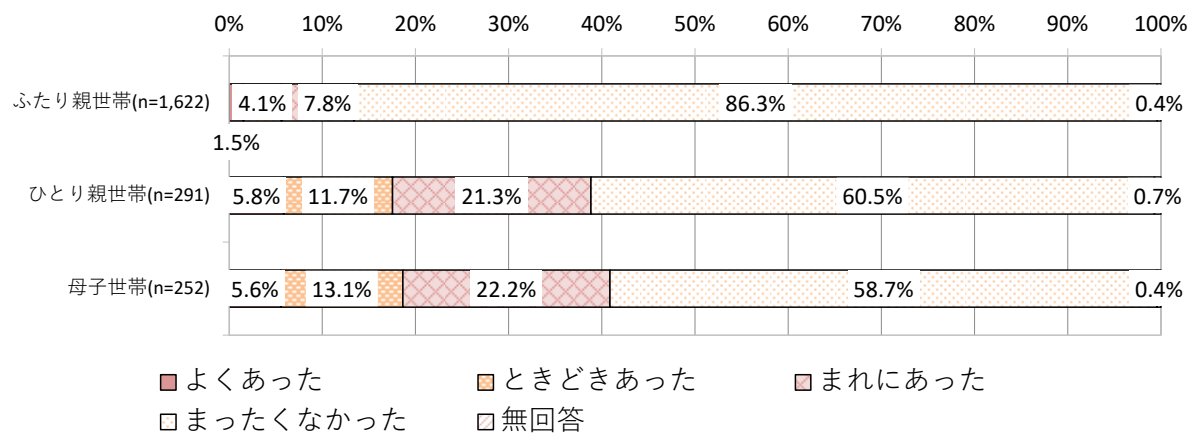
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(SA)

過去1年間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が2.2%、「ときどきあった」が5.4%、「まれにあった」が9.7%となっており、合わせた割合は17.3%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では21.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では13.4%、「ひとり親世帯」全体では38.8%、「母子世帯」のみでは40.9%となっている。





(4) 衣服が買えなかった経験

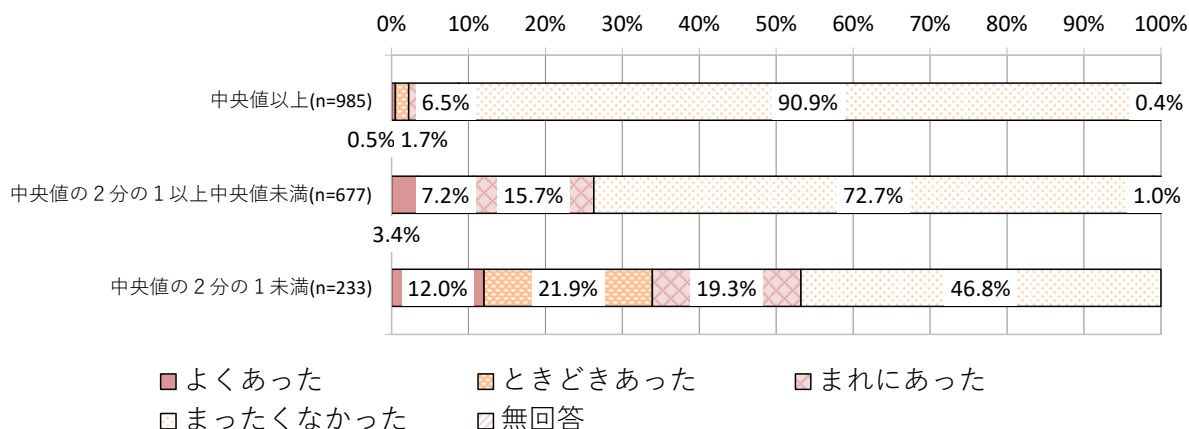
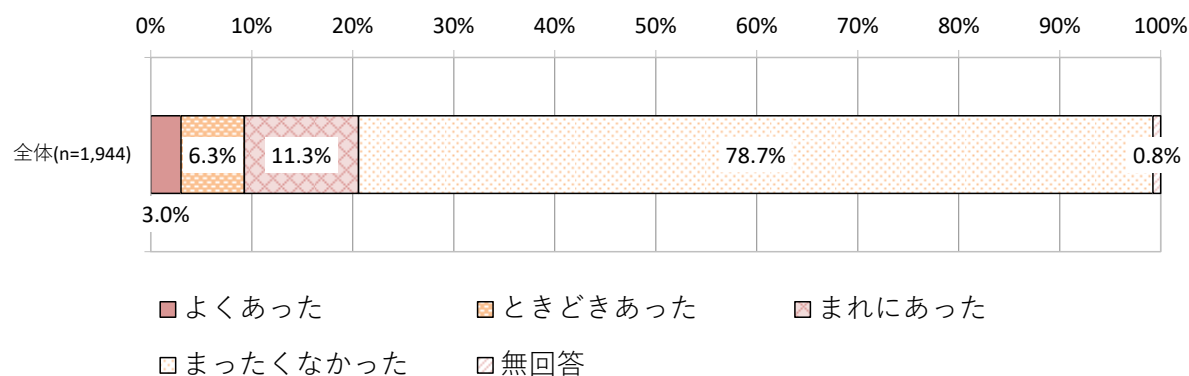
保護者票問 22

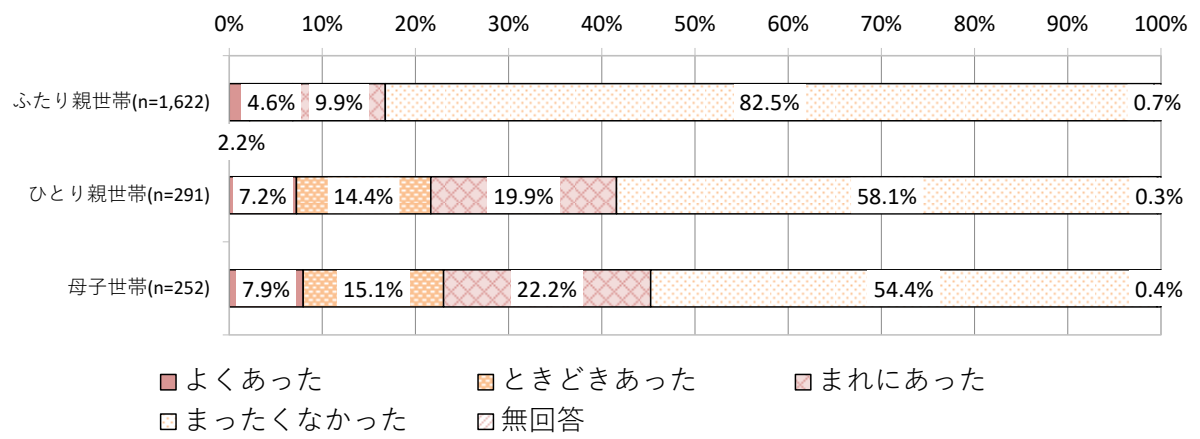
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(SA)

過去1年間に必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が3.0%、「ときどきあった」が6.3%、「まれにあった」が11.3%となっており、合わせた割合は20.6%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では8.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では26.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では53.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では16.8%、「ひとり親世帯」全体では41.6%、「母子世帯」のみでは45.2%となっている。





(5) 公共料金における未払いの経験

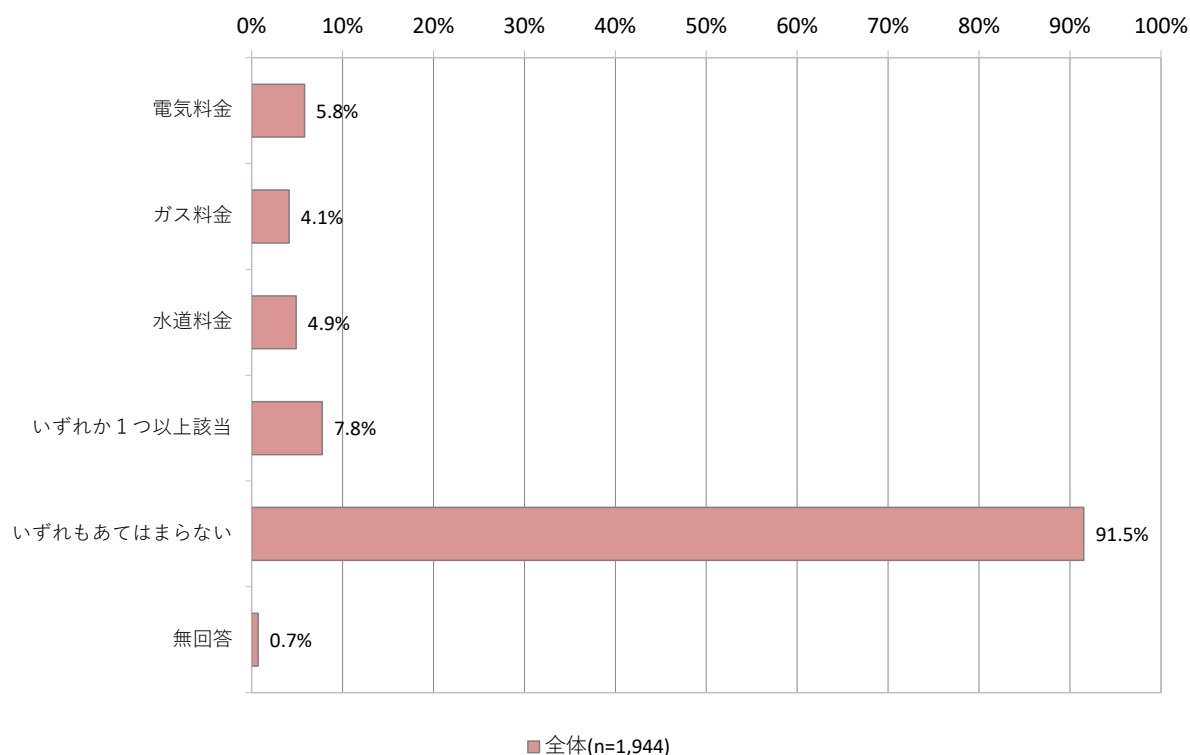
保護者票問 23

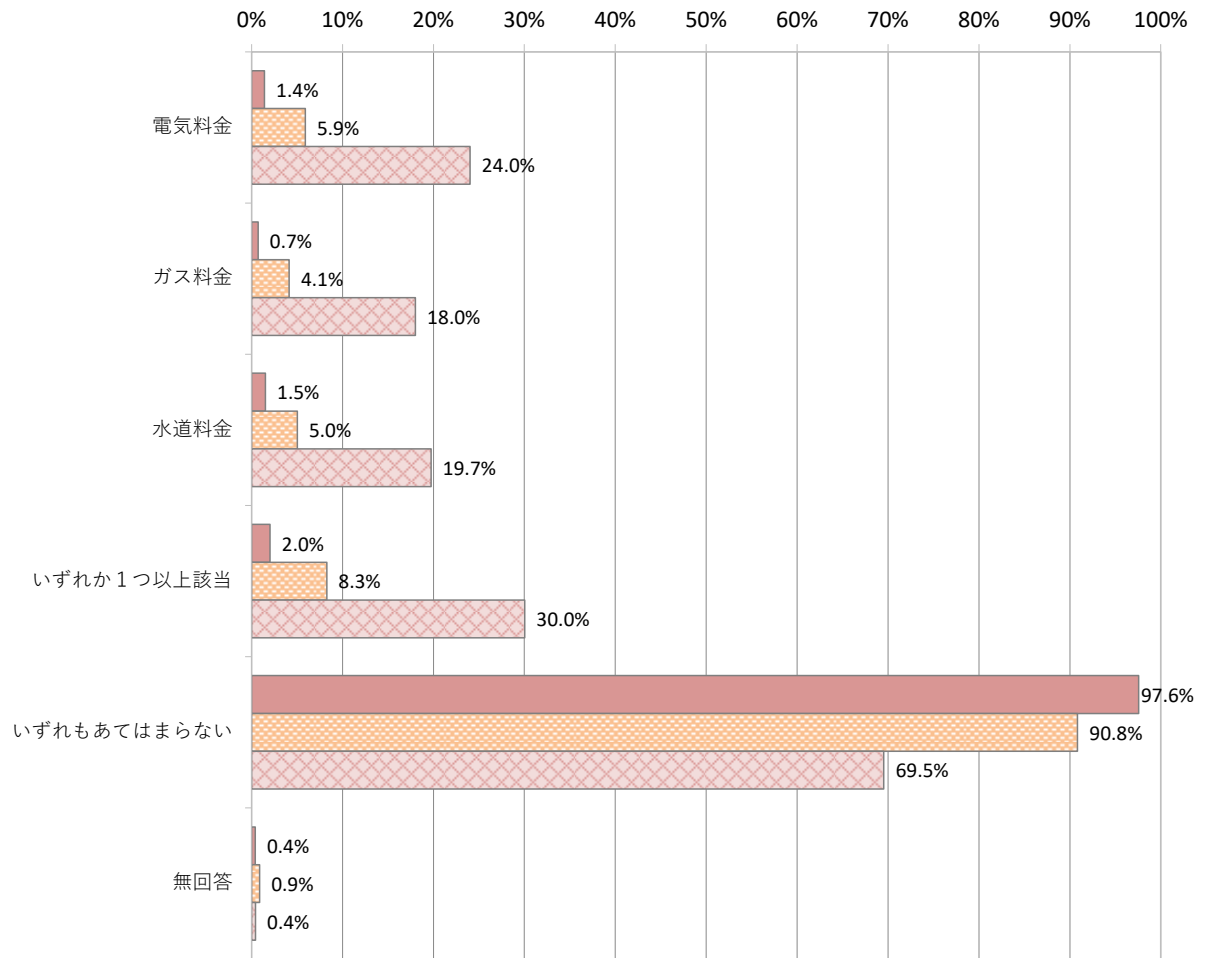
あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(SA)

過去1年間に、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「あった」(該当)の割合は、それぞれ5.8%、4.1%、4.9%となっている。また、いずれか1つ以上該当する割合は7.8%となっている。

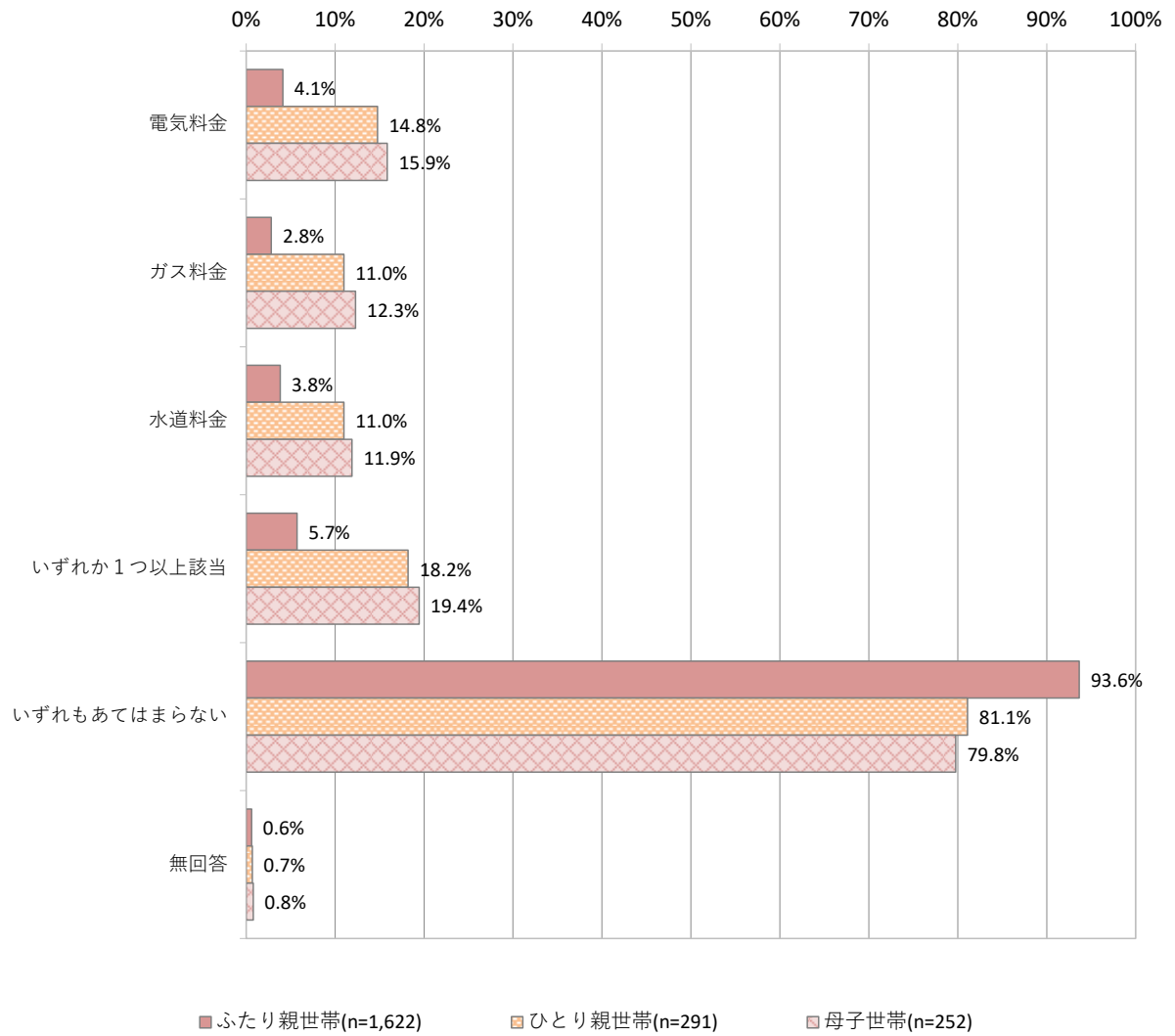
未払いの経験について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は24.0%、「ガス料金」は18.0%、「水道料金」は19.7%が「あった」(該当)となっている。いずれか1つ以上該当する割合は、「中央値以上」の世帯では2.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では30.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」は14.8%、「ガス料金」は11.0%、「水道料金」は11.0%が「あった」(該当)と回答している。いずれか1つ以上該当する割合は、「ふたり親世帯」では5.7%、「ひとり親世帯」全体では18.2%、「母子世帯」のみでは19.4%となっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(6) 養育費の取り決めの有無

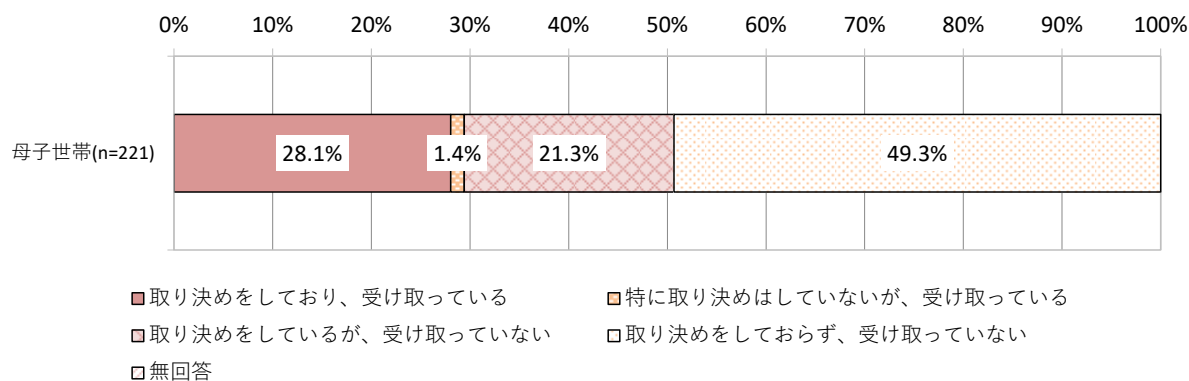
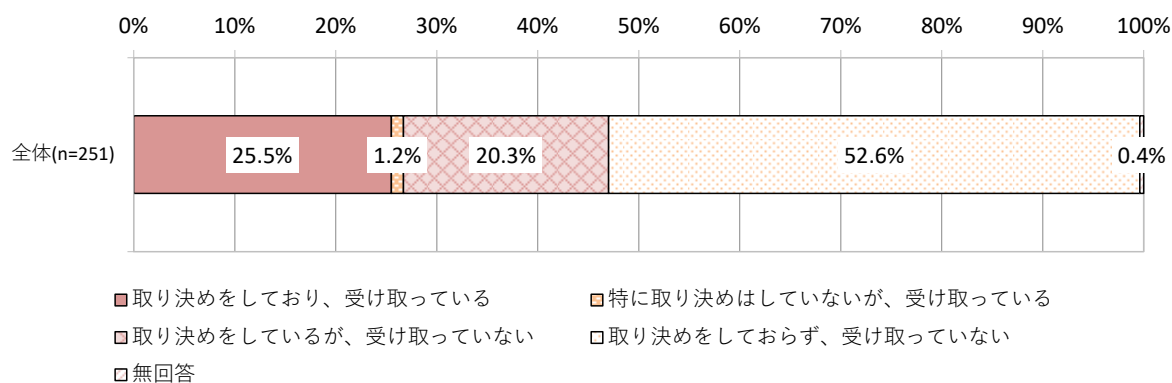
保護者票問7

婚姻の状況の問で「離婚」と答えた場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(SA)

婚姻の状況について「離婚」と回答した方に関し、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて尋ねた。

取り決めの状況について、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が25.5%、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」が1.2%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が20.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が52.6%となっている。「受け取っていない」との回答は、合わせると72.9%となっている。

母子世帯のみで集計すると、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が21.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が49.3%となっており、合わせた割合は70.6%となっている。



2.1.2. 就労の状況

(1) 保護者の就労状況

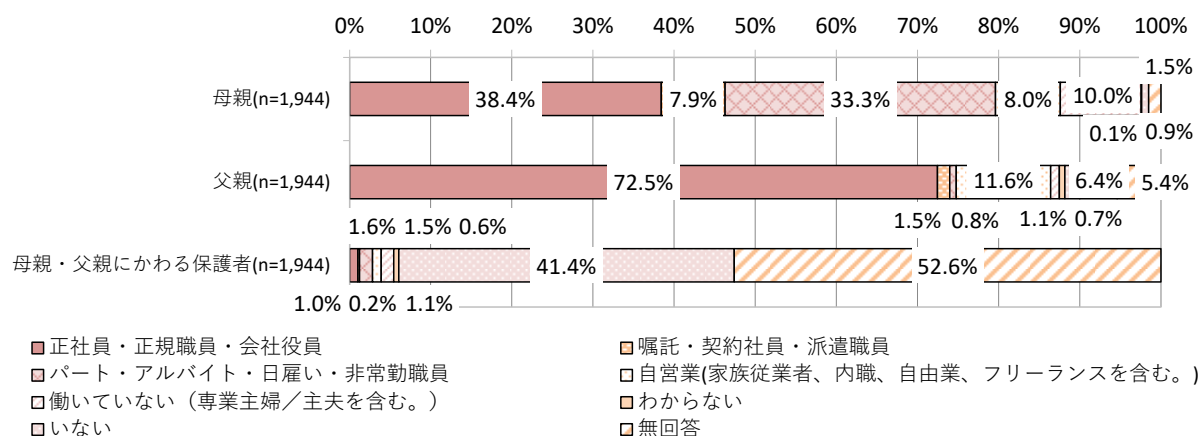
保護者票問 10

お子さんの親又は親にかわる保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(SA)

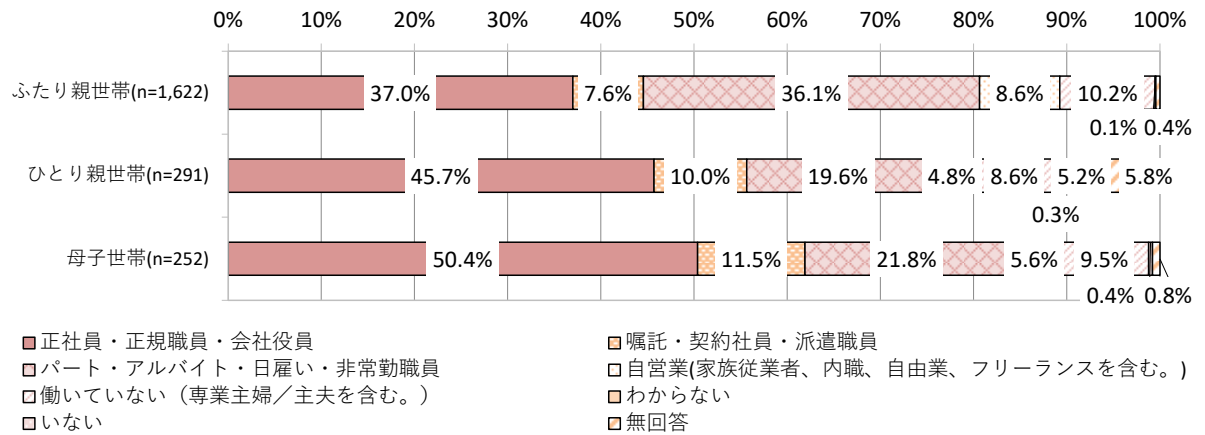
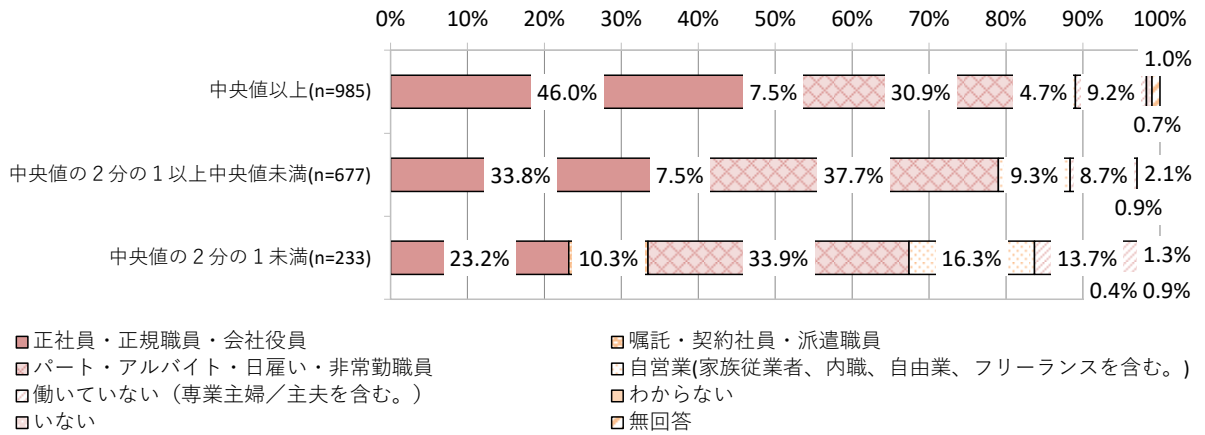
「母親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が 38.4%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 33.3%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が 10.0%となっている。また、「父親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が 72.5%、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 11.6%となっている。

「母親」の就労状況について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 33.9%となっており、他方で、「正社員・正規職員・会社役員」は 23.2%と低くなっている。「父親」に関しては、「中央値の2分の1未満」の世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が 28.8%と他の世帯と比べて低くなっており、他方で、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」「いない」がそれぞれ 21.0%、23.6%と高くなっている。

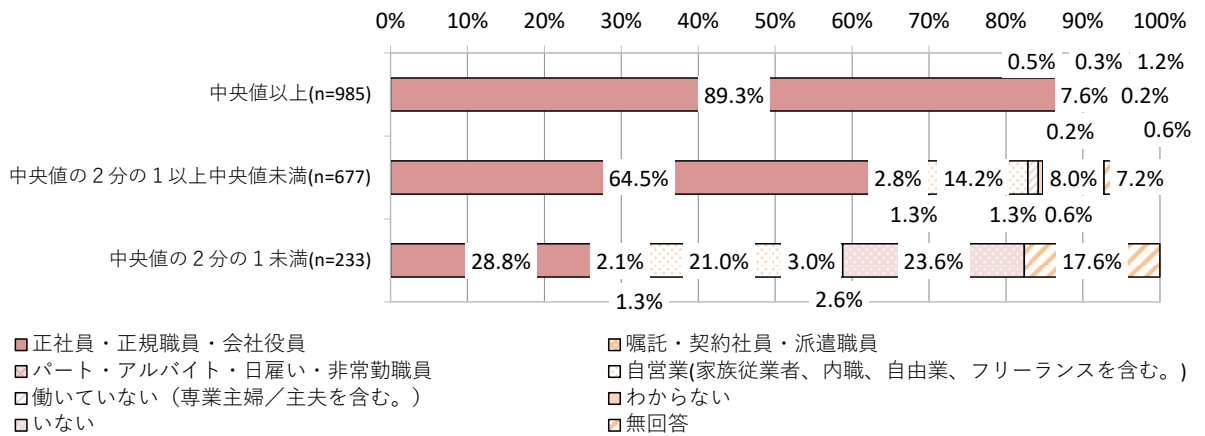
また、「母親」の就労状況について世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 37.0%、「ひとり親世帯」全体では 45.7%、「母子世帯」のみでは 50.4%となっている。



※母親



※父親



(2) 働いていない理由

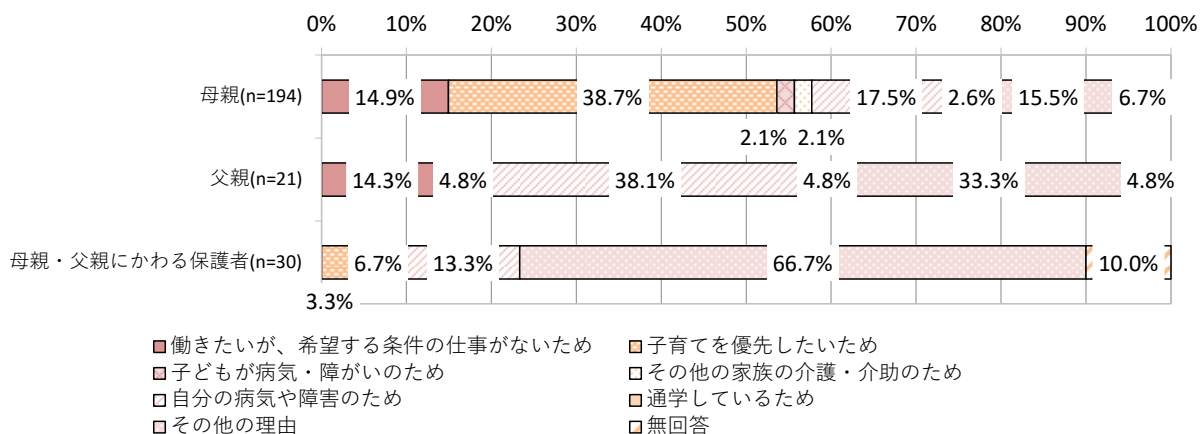
保護者票問 11

就労状況の問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(SA)

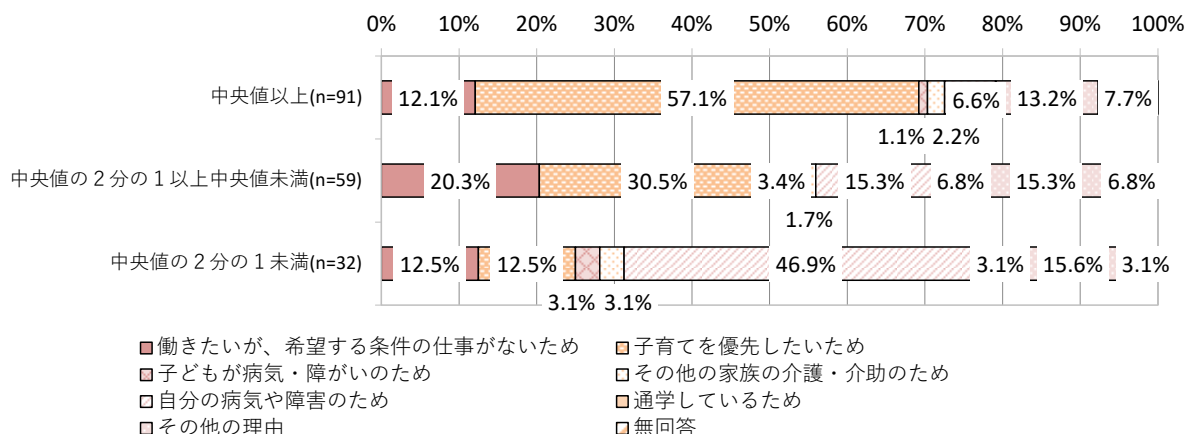
就労状況について「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」と回答した方に関し、働いていない理由を尋ねた。

働いていない最も主な理由として、「母親」では、「子育てを優先したいため」が 38.7%、「自分の病気や障がいのため」が 17.5%となっている。

「母親」が働いていない理由について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の病気や障害のため」が 46.9%で、他の世帯と比べて高くなっている。



※母親



2.1.3. 保育の状況

(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

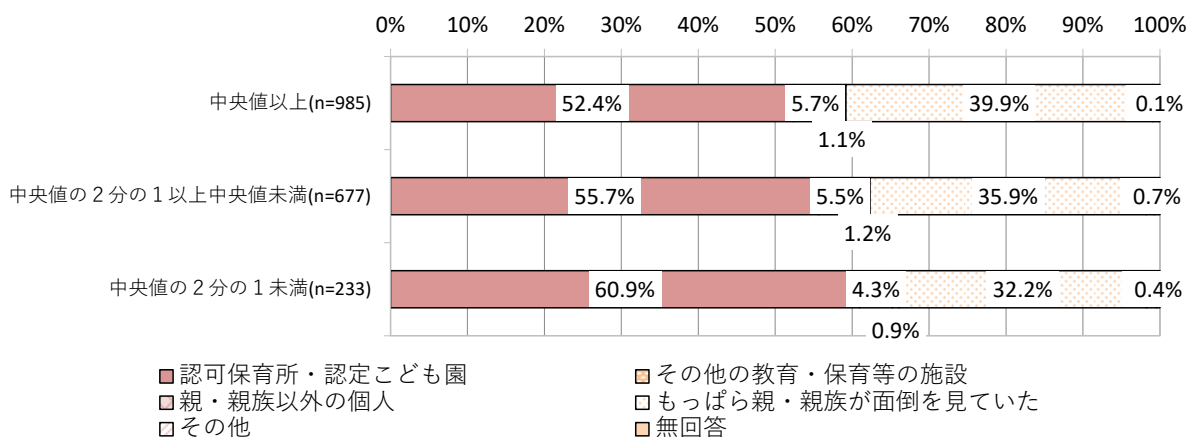
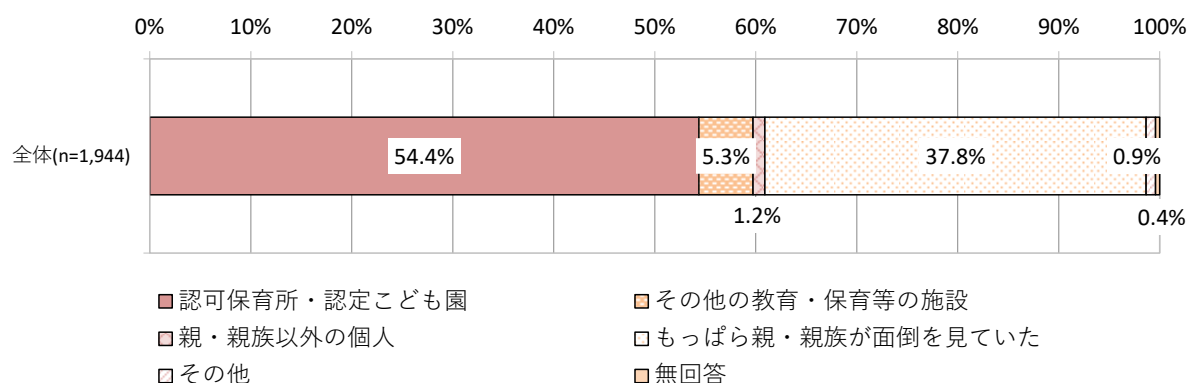
保護者票問 12

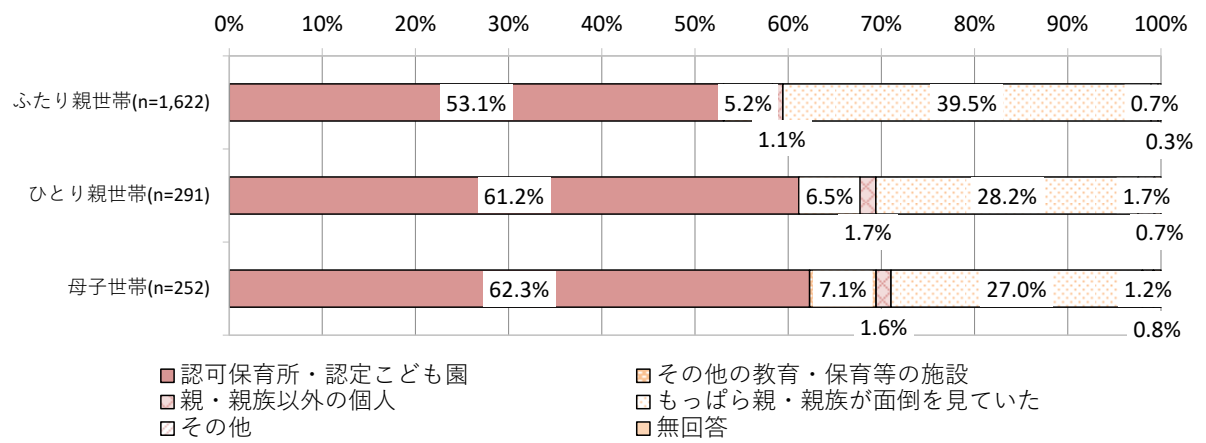
お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。(SA)

子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「認可保育所・認定こども園」が54.4%、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」が37.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」は32.2%で他の世帯と比べて低く、「認可保育所・認定こども園」は60.9%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっばら親・親族が面倒を見ていた」の割合が低く、「認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっている。





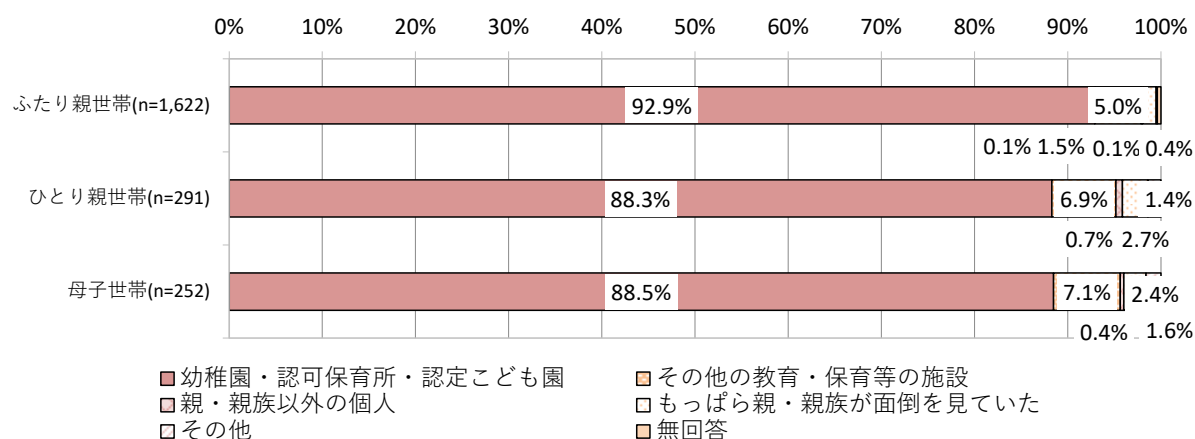
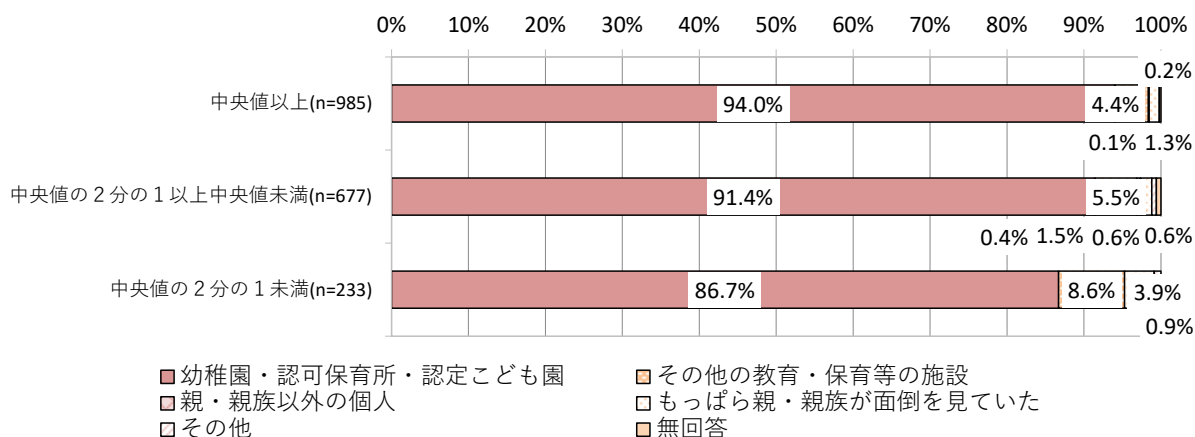
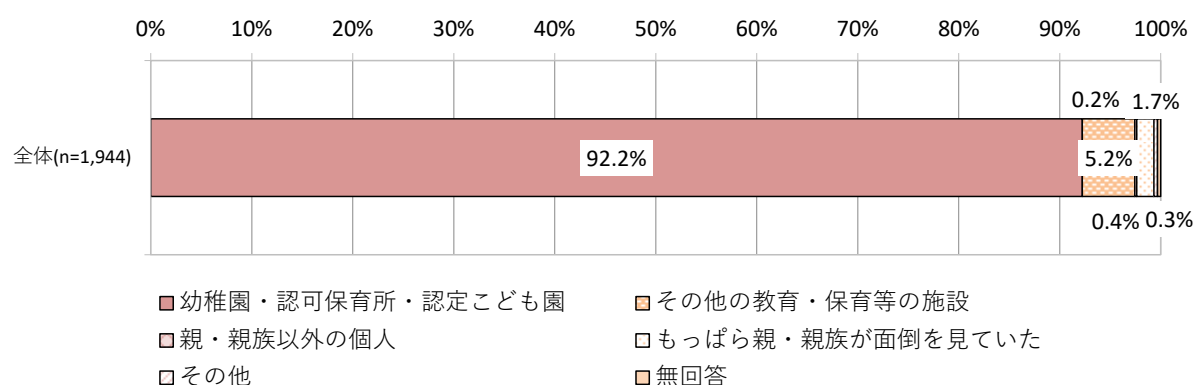
(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

保護者票問 13

お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（SA）

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等は、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が92.2%、「その他の教育・保育等の施設」が5.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「認可保育所・認定こども園」は86.7%で他の世帯と比べて低く、「その他の教育・保育等の施設」は8.6%と高くなっている。



2.1.4. 子どもとの関わり方

(1) テレビ等のルールについて

保護者票問 14

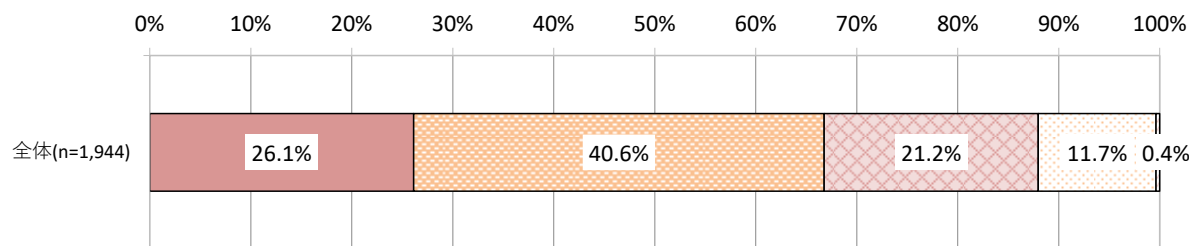
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

a. テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

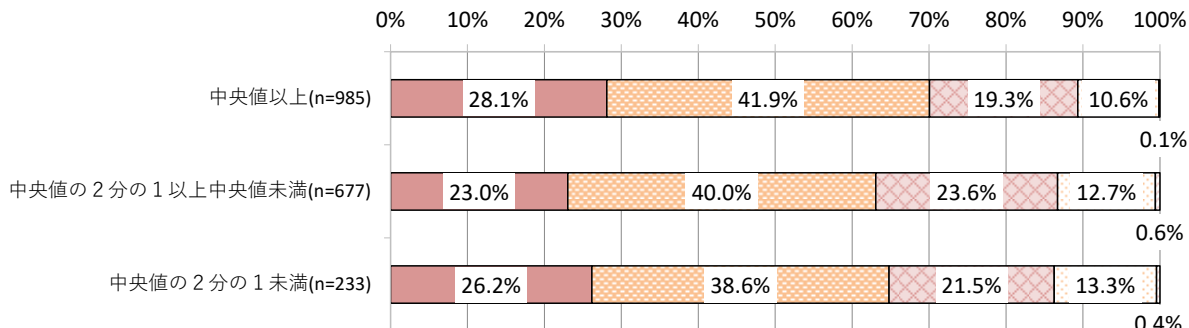
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」は 26.1%、「どちらかといえば、あてはまる」は 40.6%となっており、合わせた割合は 66.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 21.2%、「あてはまらない」は 11.7%となっており、合わせた割合は 32.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 29.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 34.8%となっている。

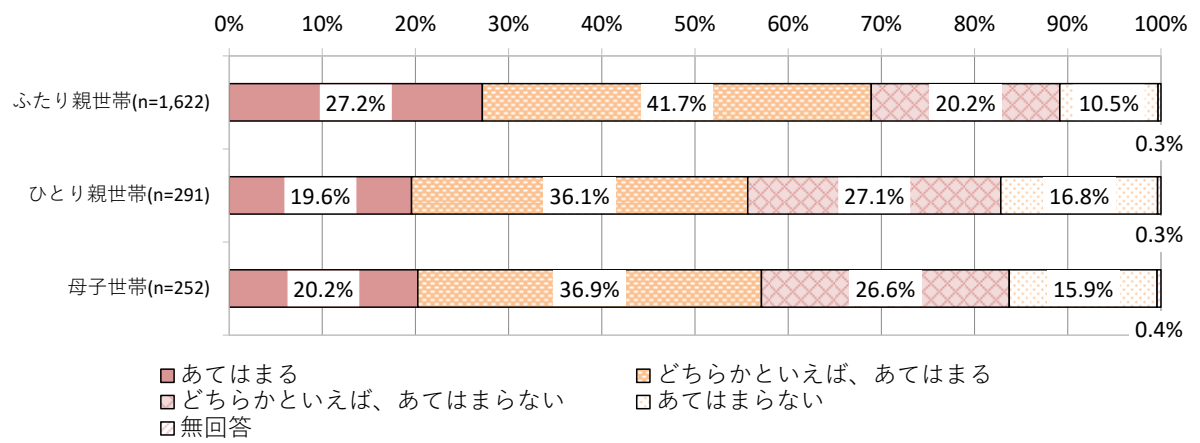
世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では30.8%、「ひとり親世帯」全体では44.0%、「母子世帯」のみでは 42.5%となっている。



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



(2) 本や新聞を読むことについて

保護者票問 14

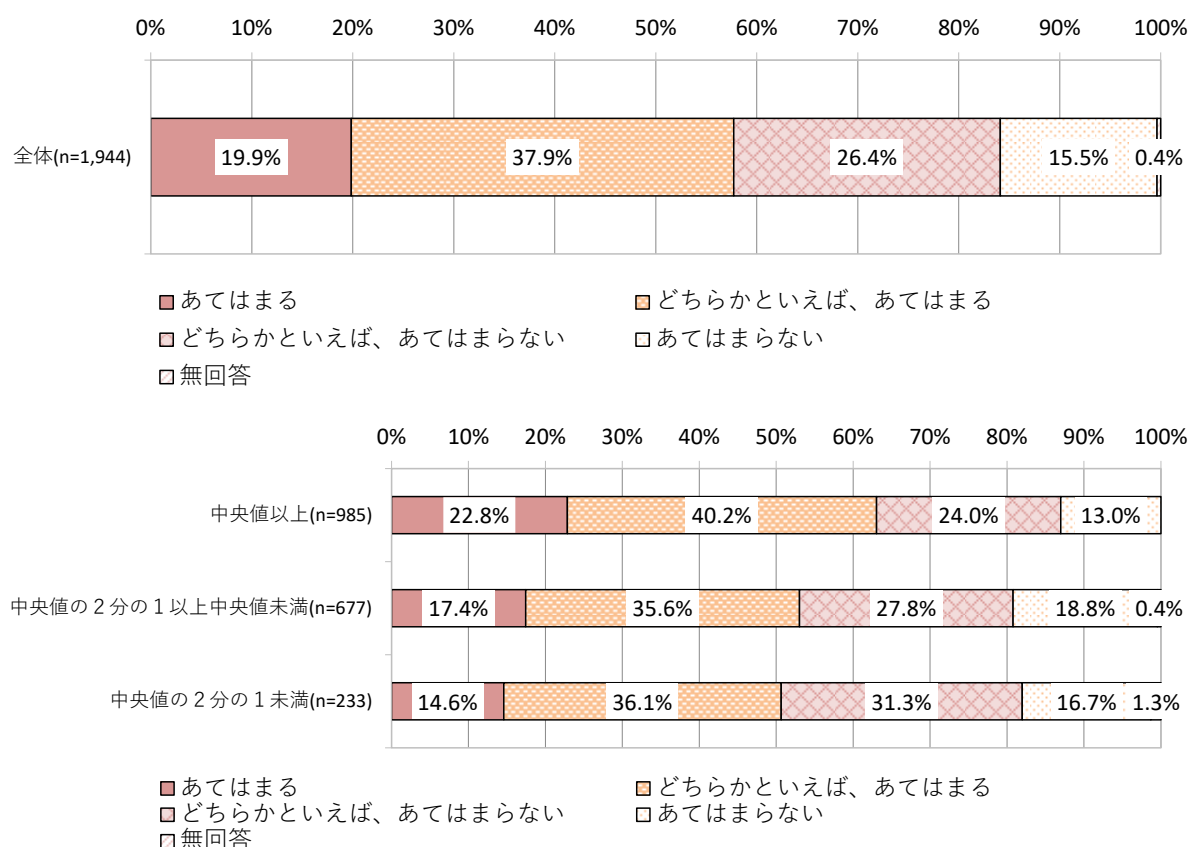
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

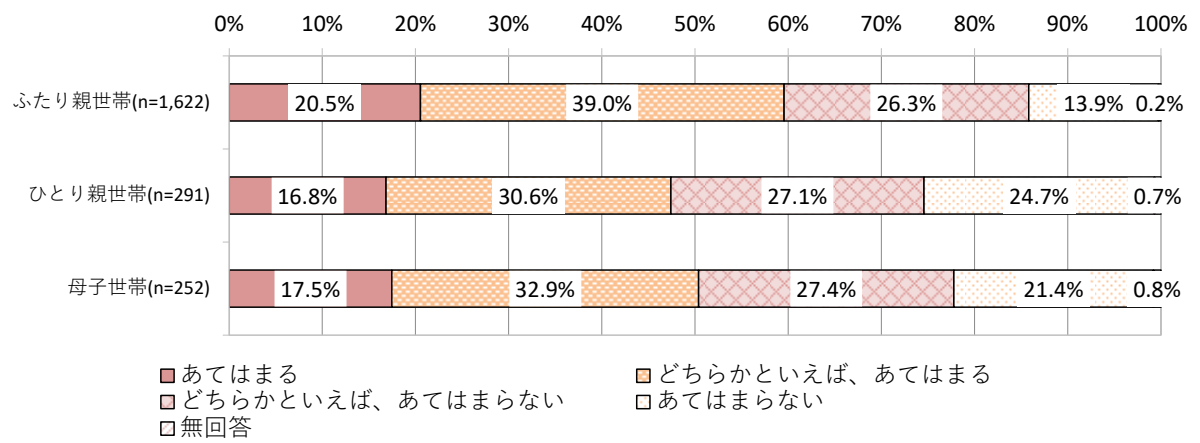
b. お子さんに本や新聞を読むように勧めている

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」は 19.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 37.9%となっており、合わせた割合は 57.7%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 26.4%、「あてはまらない」は 15.5%となっており、合わせた割合は 41.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 37.0%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 46.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 48.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 40.2%、「ひとり親世帯」全体では 51.9%、「母子世帯」のみでは 48.8%となっている。





(3) 絵本の読み聞かせについて

保護者票問 14

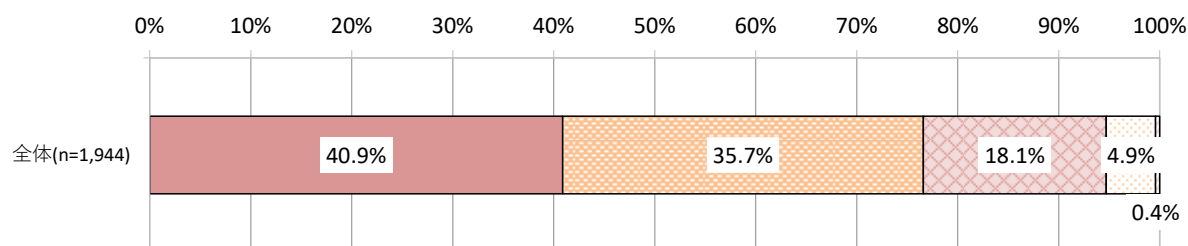
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

c. お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

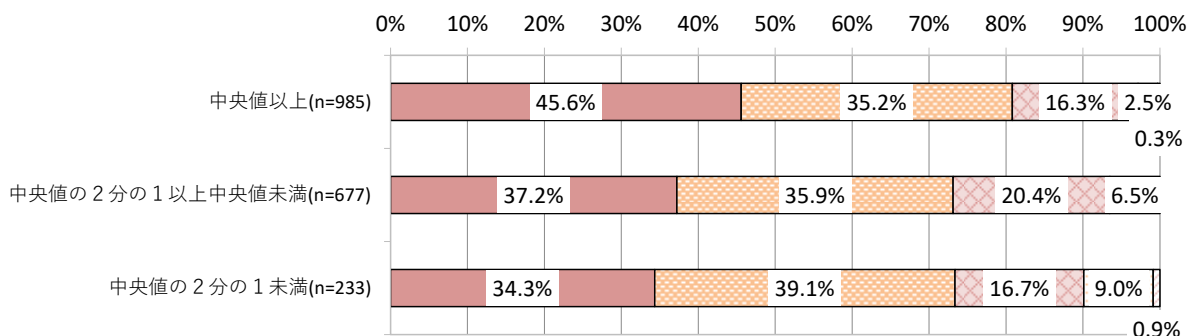
子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」は 40.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 35.7%となっており、合わせた割合は 76.6%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.1%、「あてはまらない」は 4.9%となっており、合わせた割合は 23.0%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 18.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 26.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 25.8%となっている。

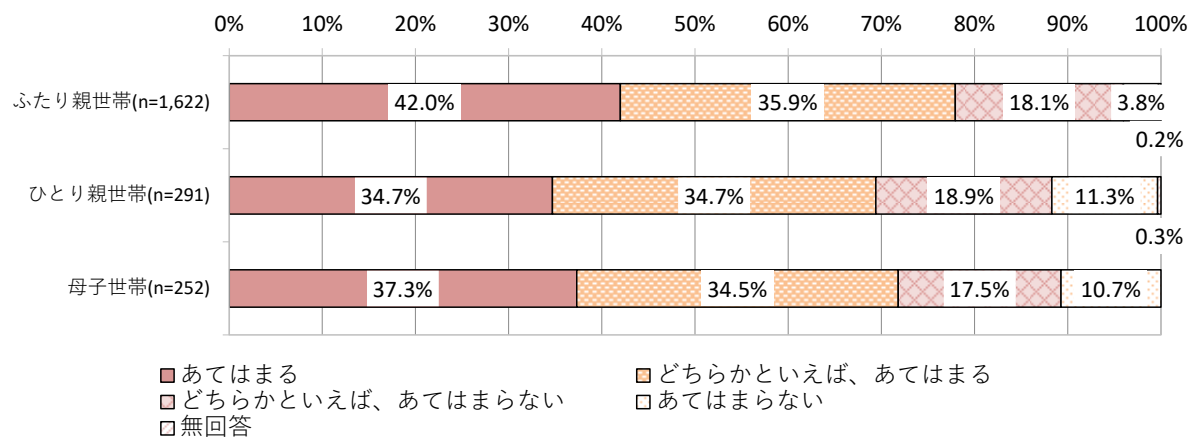
世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 21.8%、「ひとり親世帯」全体では 30.2%、「母子世帯」のみでは 28.2%となっている。



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



■ あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまる
 ■ どちらかといえば、あてはまらない
 ■ あてはまらない
 □ 無回答



(4) 勉強や成績のことについて

保護者票問 14

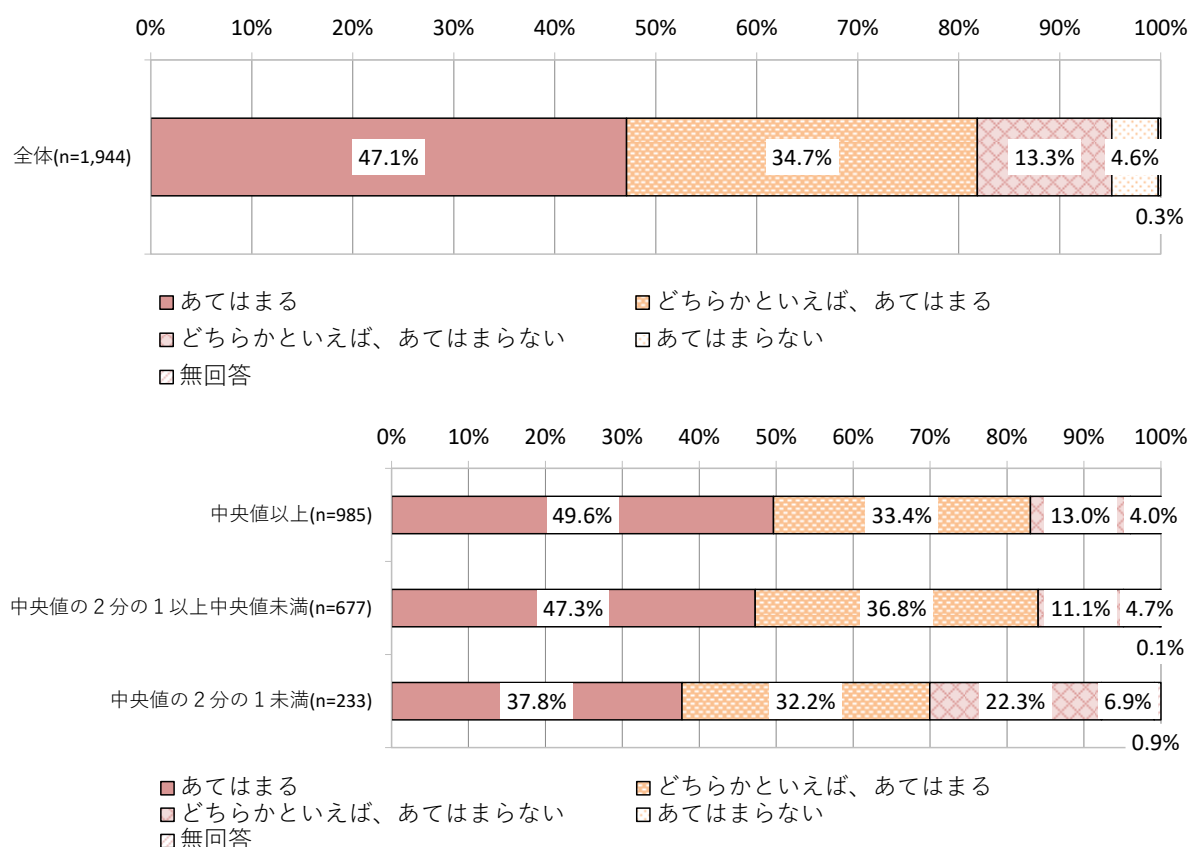
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

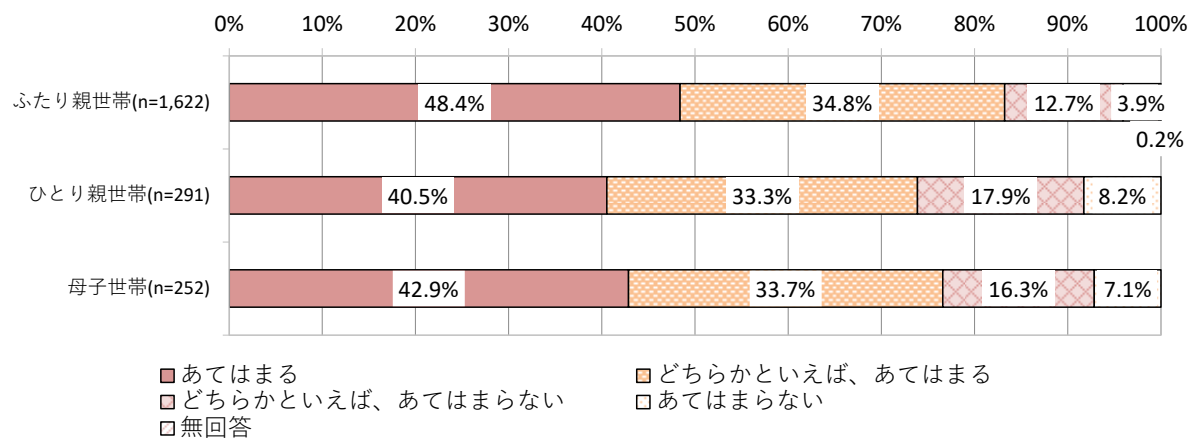
d. お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」は47.1%、「どちらかといえば、あてはまる」は34.7%となっており、合わせた割合は81.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は13.3%、「あてはまらない」は4.6%となっており、合わせた割合は17.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では17.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では16.6%、「ひとり親世帯」全体では26.1%、「母子世帯」のみでは23.4%となっている。





(5) ニュースの話について

保護者票問 14

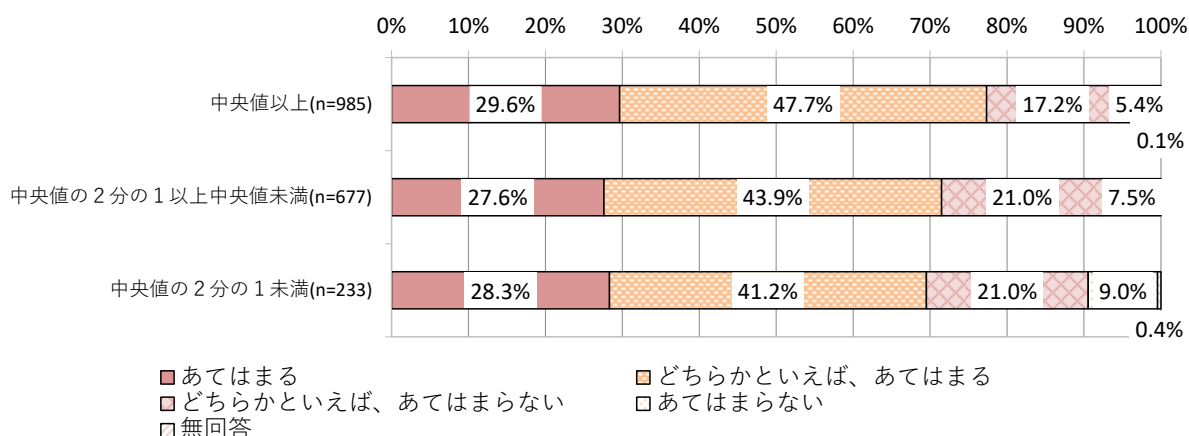
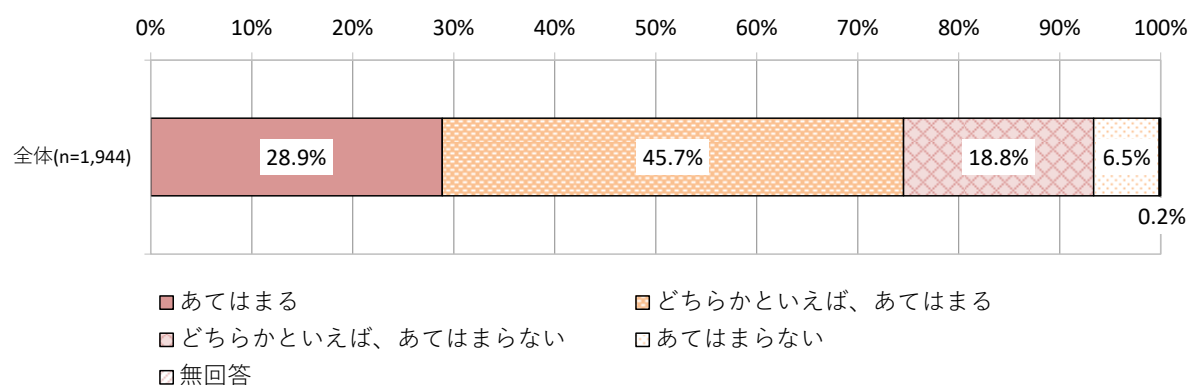
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

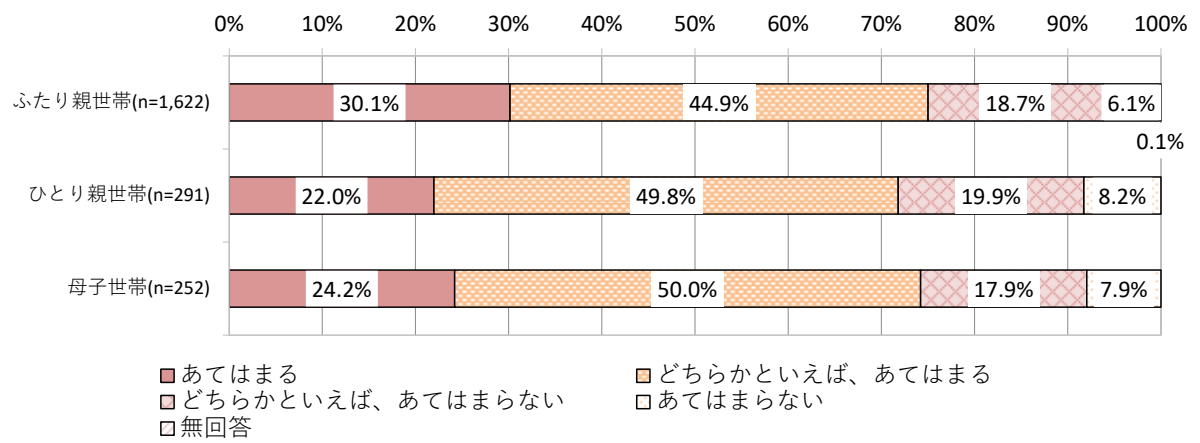
e. ニュースの話をする

ニュースの話をするかについて、「あてはまる」は 28.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は 45.7%となっており、合わせた割合は 74.5%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.8%、「あてはまらない」は 6.5%となっており、合わせた割合は 25.3%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 22.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 28.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 30.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 24.8%、「ひとり親世帯」全体では 28.2%、「母子世帯」のみでは 25.8%となっている。





(6) SNS 等の話について

保護者票問 14

あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

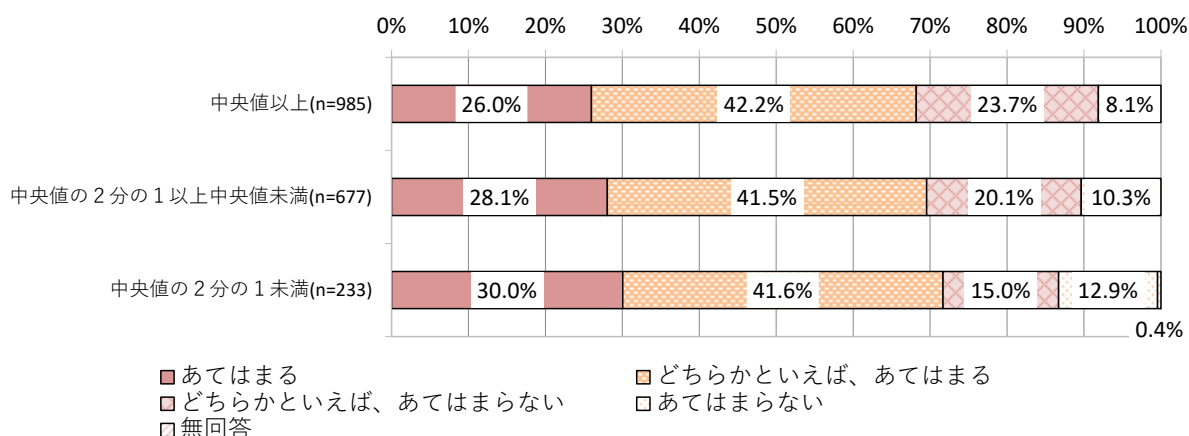
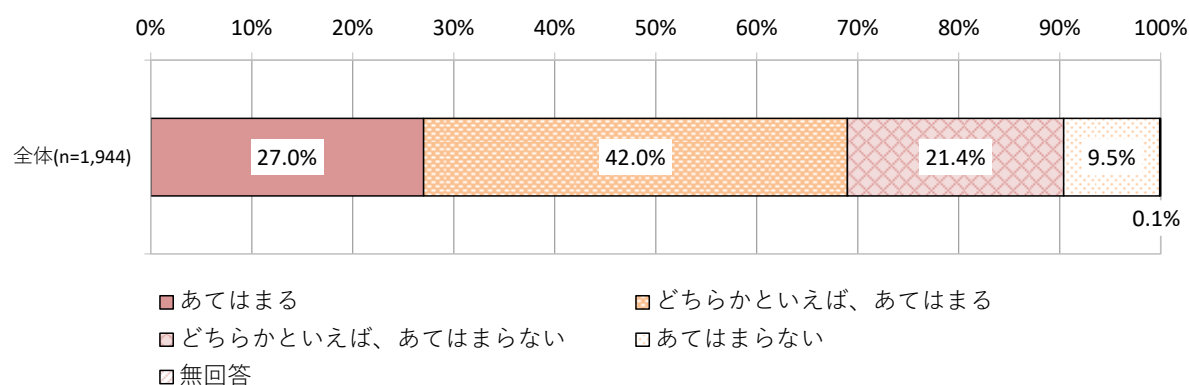
(SA)

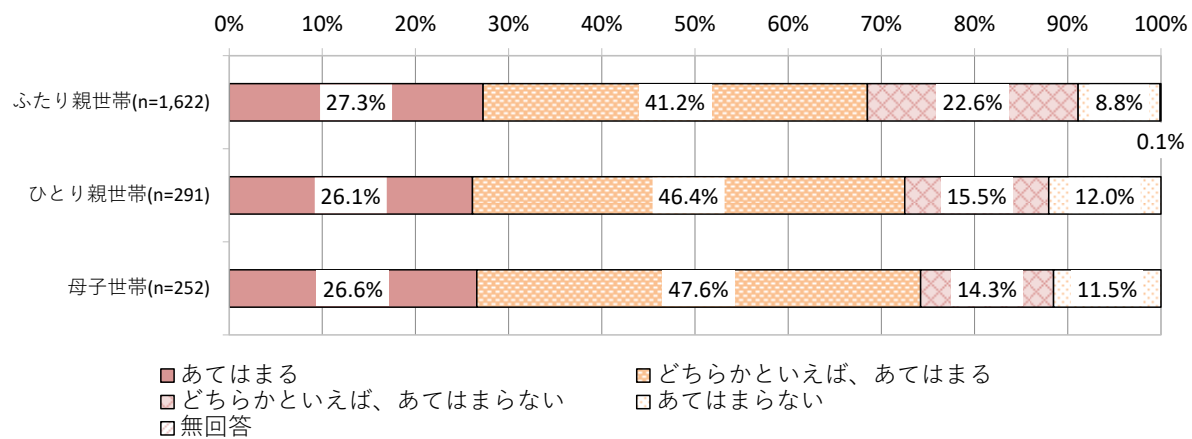
f. SNS 等の話をする

SNS 等の話をするかについて、「あてはまる」は27.0%、「どちらかといえば、あてはまる」は42.0%となっており、合わせた割合は69.0%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は21.4%、「あてはまらない」は9.5%となっており、合わせた割合は30.9%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では31.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では30.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では31.4%、「ひとり親世帯」全体では27.5%、「母子世帯」のみでは25.8%となっている。





(7) 子どもに夕食を作ってもらうことについて

保護者票問 14

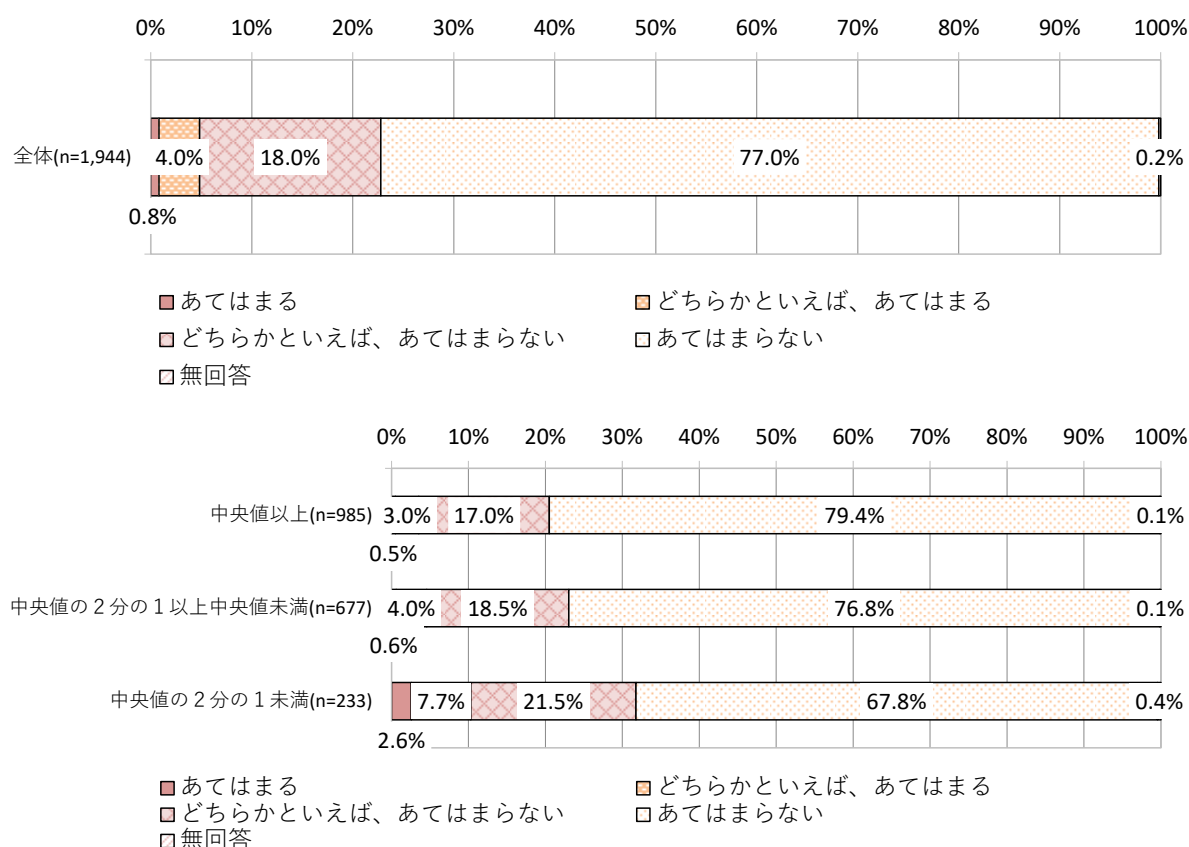
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

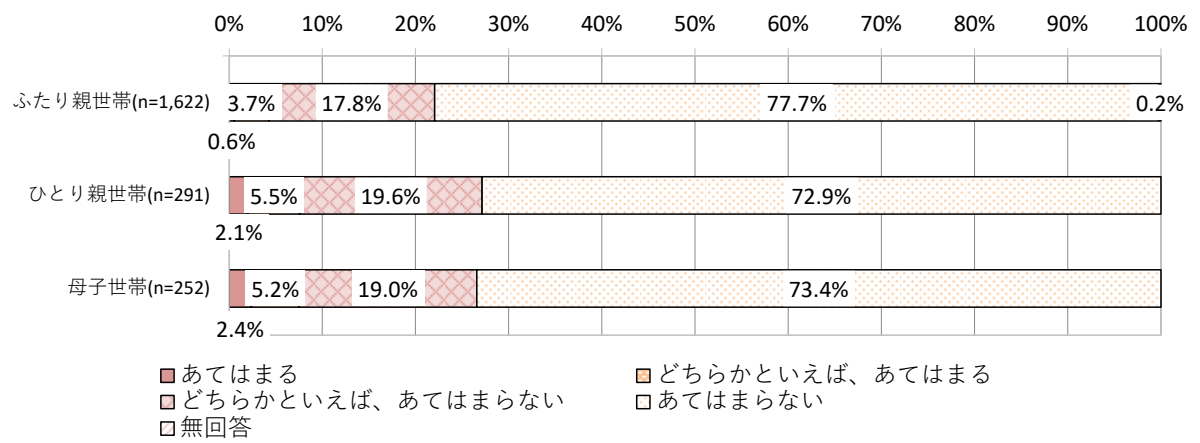
g. 夕食は子どもに作ってもらう

夕食は子どもに作ってもらうかについて、「あてはまる」は 0.8%、「どちらかといえば、あてはまる」は 4.0%となっており、合わせた割合は 4.8%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 18.0%、「あてはまらない」は 77.0%となっており、合わせた割合は 95.0%となっている。

「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 3.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 4.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 10.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 4.3%、「ひとり親世帯」全体では 7.6%、「母子世帯」のみでは 7.5%となっている。





(8) 夕食を一緒に食べることについて

保護者票問 14

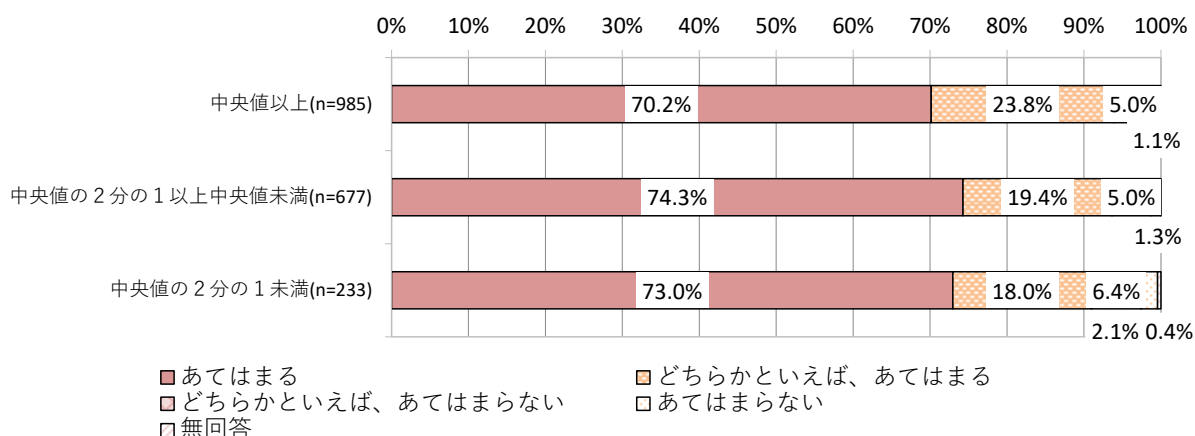
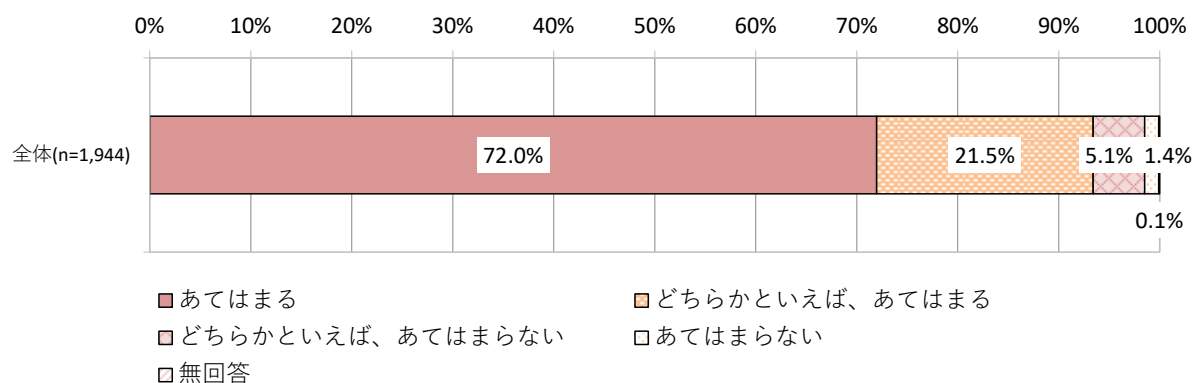
あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(SA)

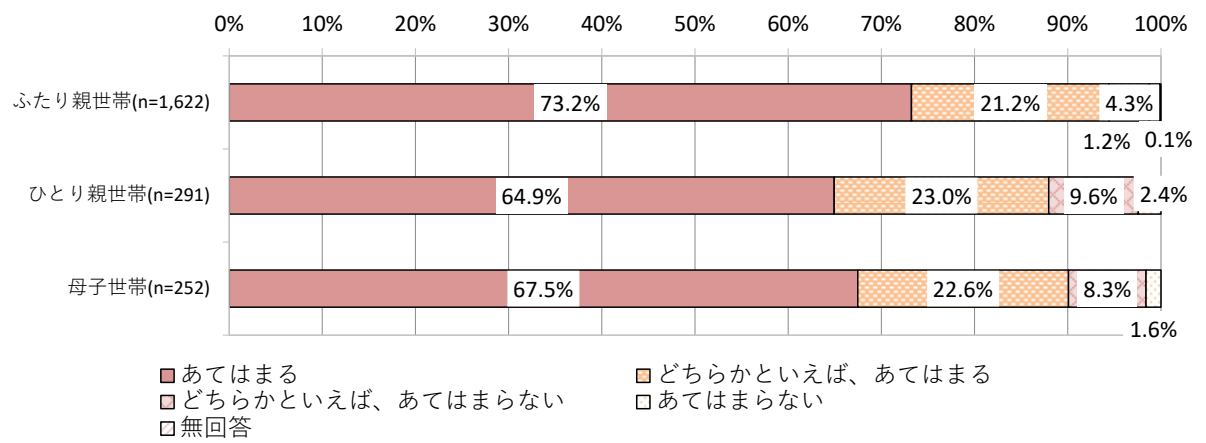
h. 夕食は一緒に食べる

夕食は一緒に食べるかについて、「あてはまる」は 72.0%、「どちらかといえば、あてはまる」は 21.5%となっており、合わせた割合は 93.4%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は 5.1%、「あてはまらない」は 1.4%となっており、合わせた割合は 6.6%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 6.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 8.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 5.5%、「ひとり親世帯」全体では 12.0%、「母子世帯」のみでは 9.9%となっている。





2.1.5. 学校等との関わり・参加

(1) 学校行事への参加

保護者票問 15

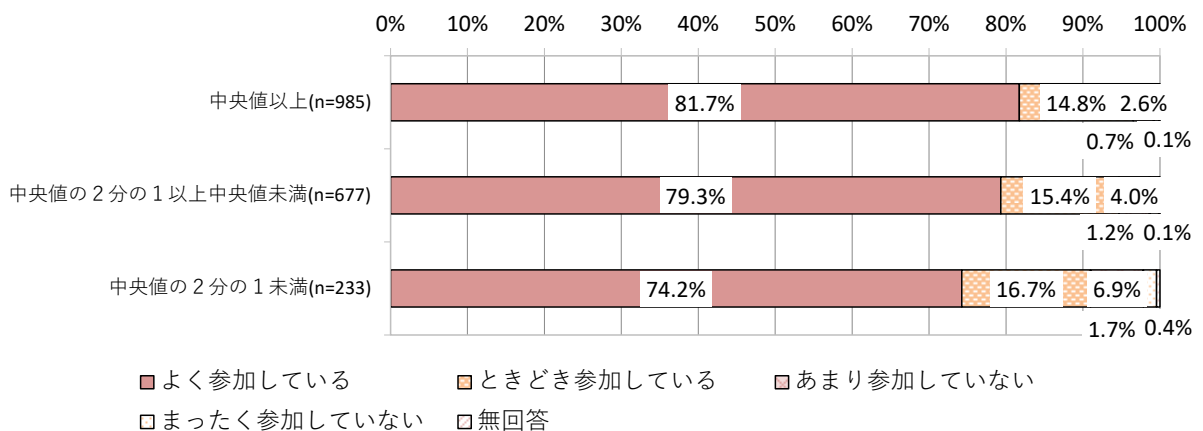
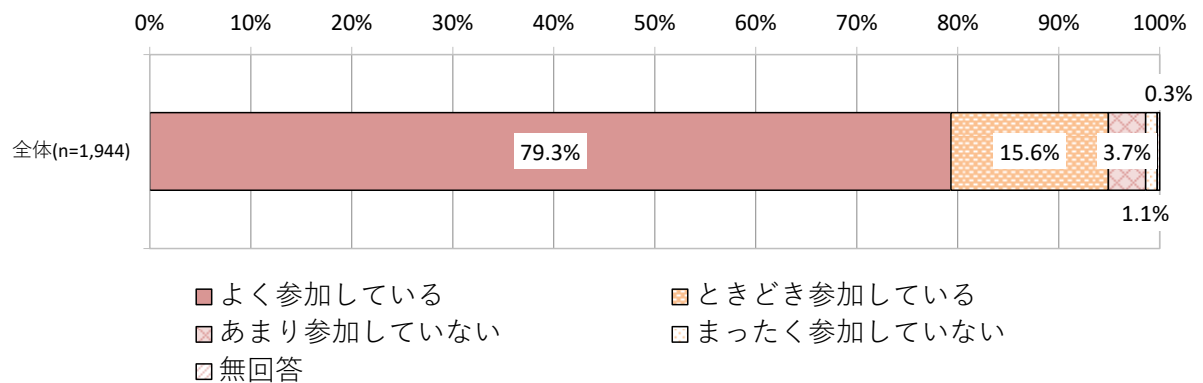
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

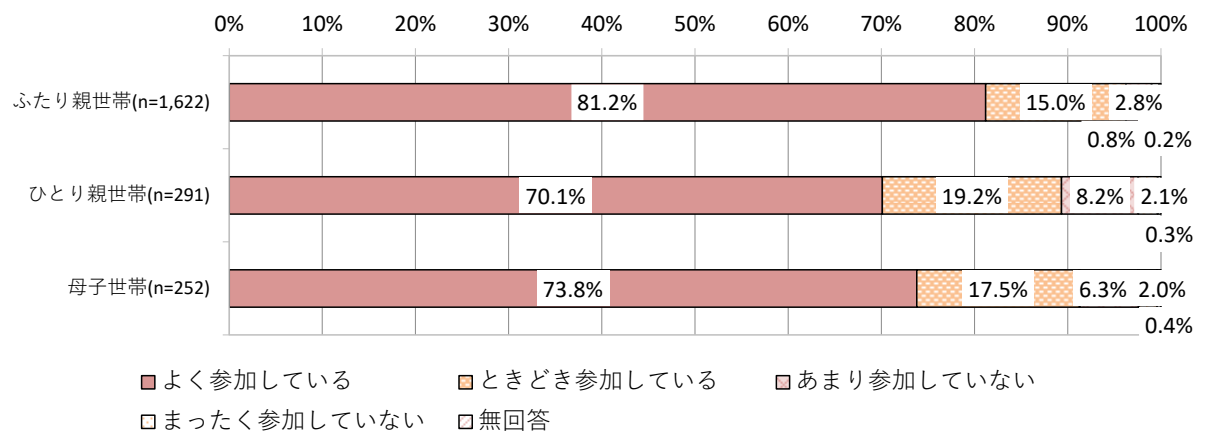
a. 授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事について、「よく参加している」は 79.3%、「ときどき参加している」は 15.6%となっており、合わせた割合は 94.9%となっている。他方で、「あまり参加していない」は 3.7%、「まったく参加していない」は 1.1%となっており、合わせた割合 4.8%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 96.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 94.7%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 91.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 96.2%、「ひとり親世帯」全体では 89.3%、「母子世帯」のみでは 91.3%となっている。





(2) P T A活動等への参加

保護者票問 15

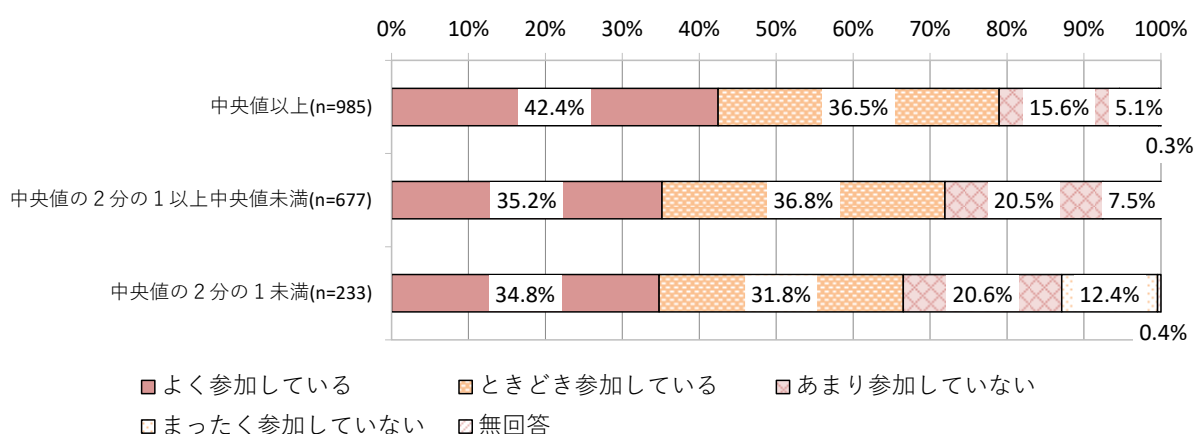
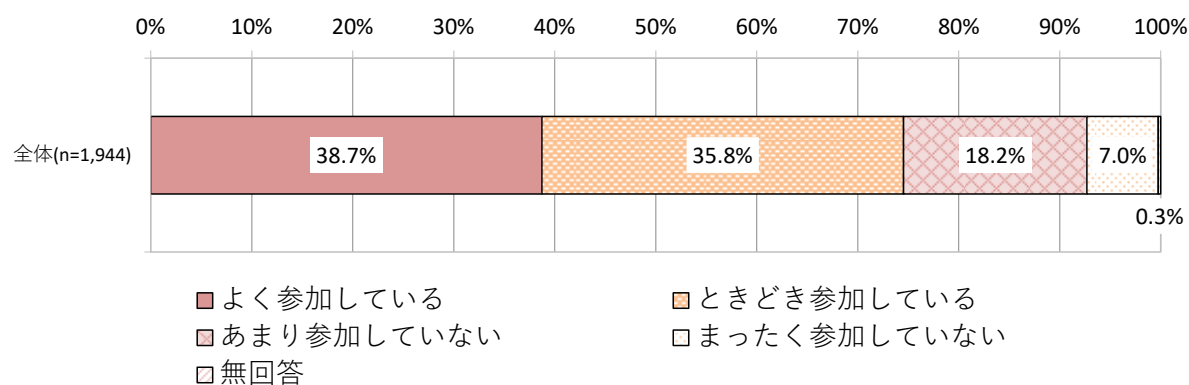
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

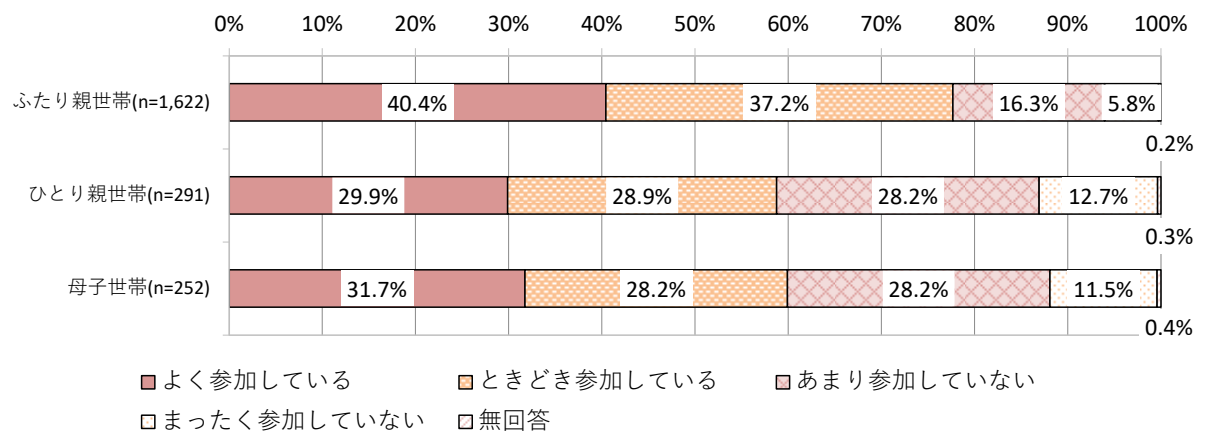
b. P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、「よく参加している」は 38.7%、「ときどき参加している」は 35.8%となっており、合わせた割合は 74.5%となっている。他方で、「あまり参加していない」は18.2%、「まったく参加していない」は7.0%となっており、合わせた割合は 25.2%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 79.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では71.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では66.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では77.7%、「ひとり親世帯」全体では58.8%、「母子世帯」のみでは59.9%となっている。





(3) 部活や校外活動への参加

保護者票問 15

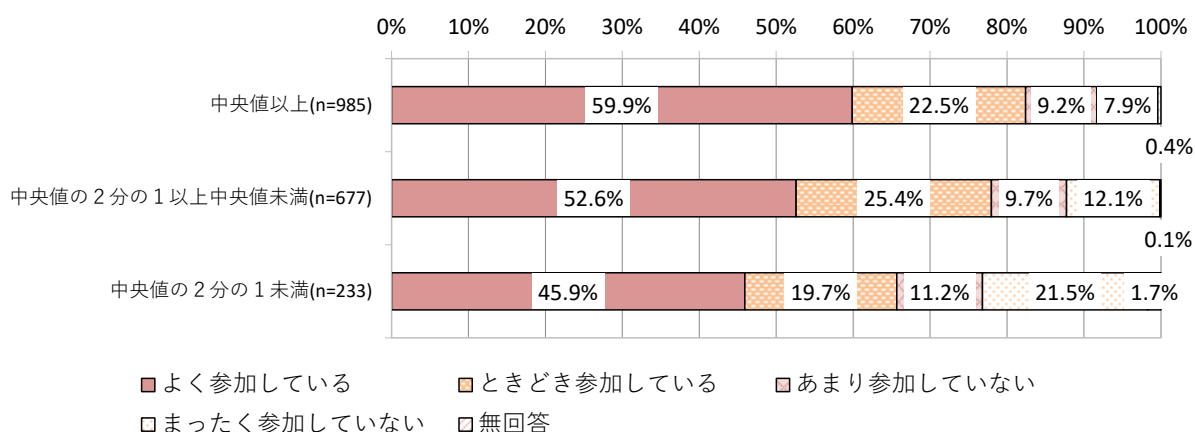
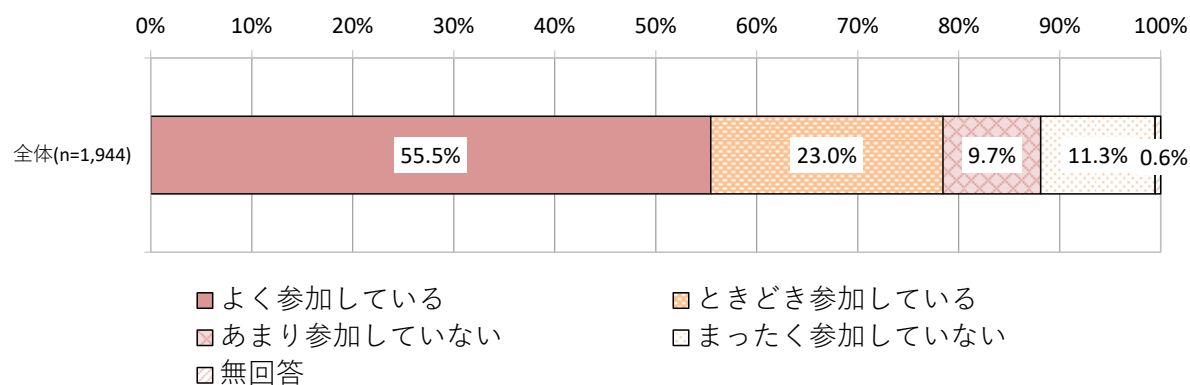
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(SA)

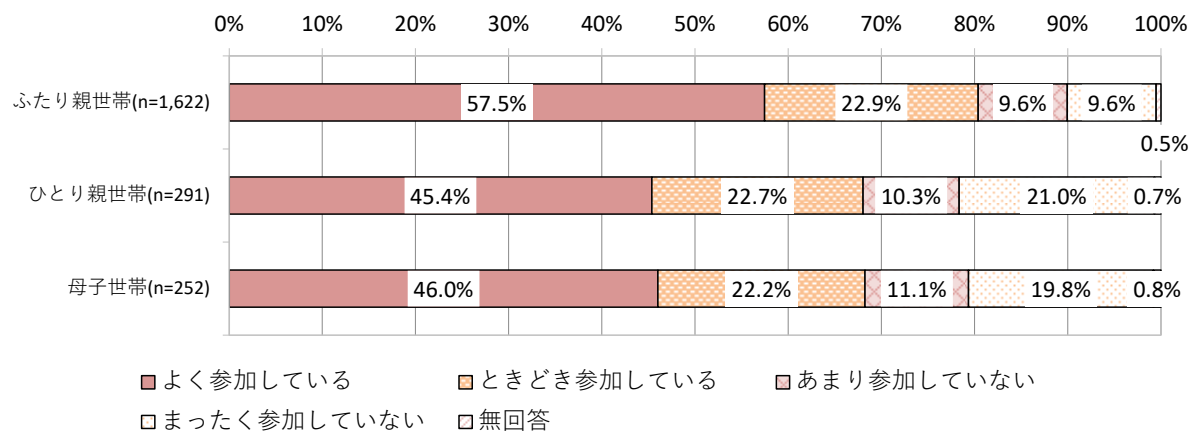
c. 部活や校外活動への参加

部活や校外活動について、「よく参加している」は 55.5%、「ときどき参加している」は 23.0%となっており、合わせた割合は 78.4%となっている。他方で、「あまり参加していない」は 9.7%、「まったく参加していない」は 11.3%となっており、合わせた割合は 21.0%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 82.4%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 78.0%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 65.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 80.4%、「ひとり親世帯」全体では 68.0%、「母子世帯」のみでは 68.3%となっている。





2.1.6. 進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

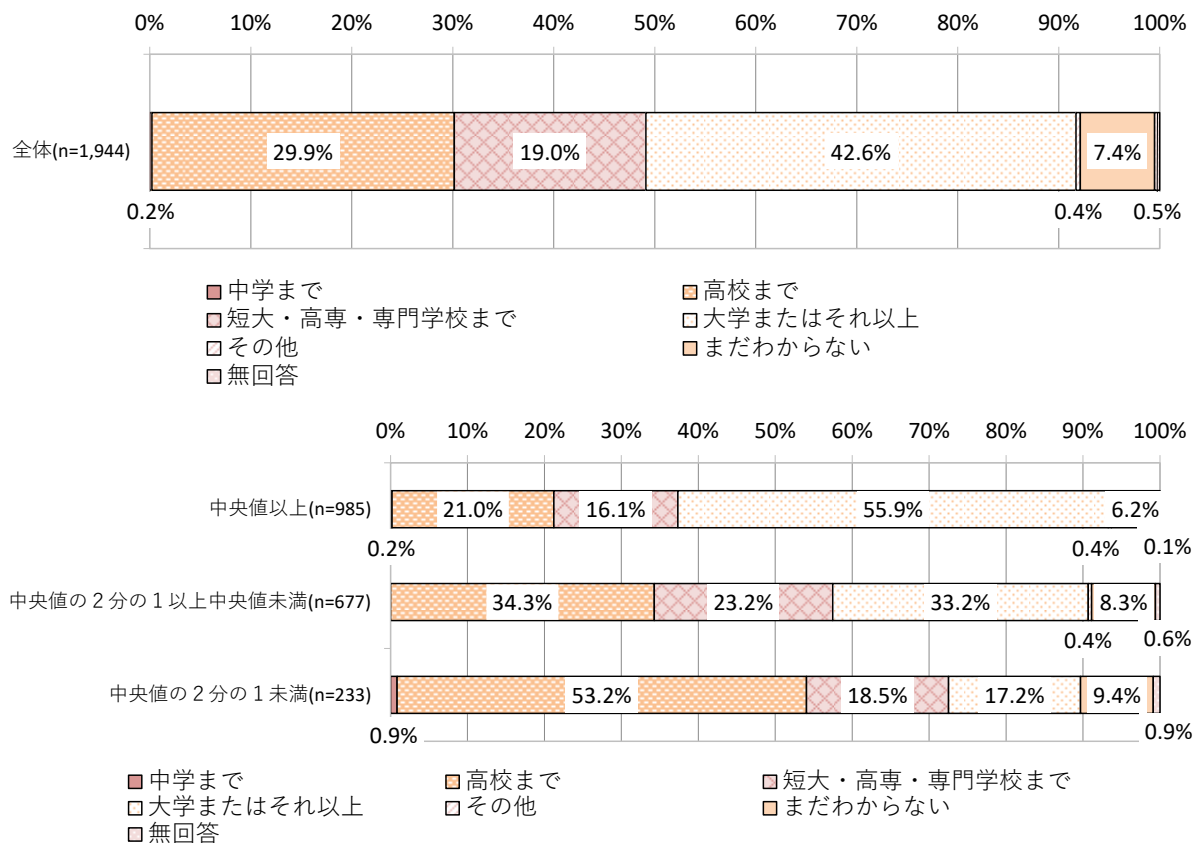
保護者票問 16

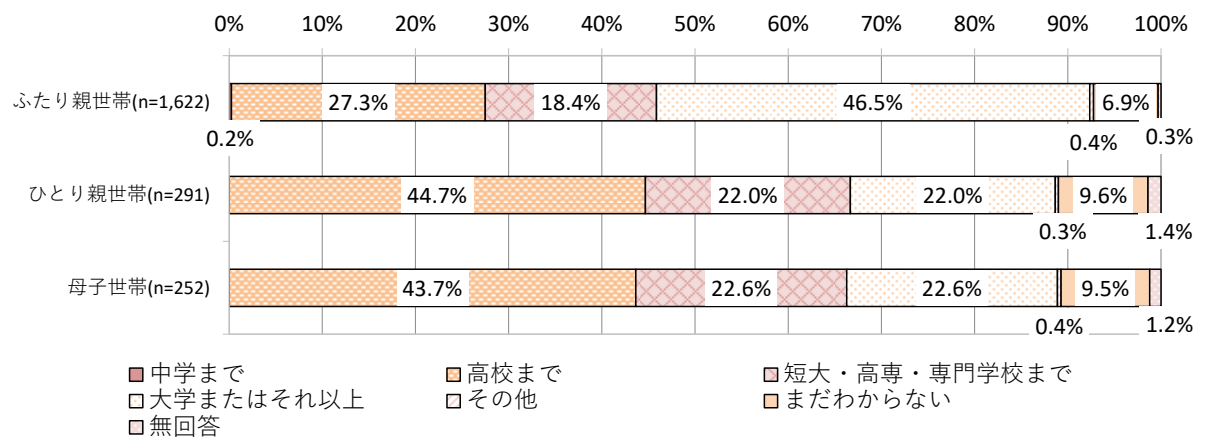
お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(SA)

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについては、「大学またはそれ以上」が 42.6%、「高校まで」が 29.9%、「短大・高専・専門学校まで」が 19.0%、「まだわからない」が 7.4%、「その他」が 0.4%、「中学まで」が 0.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では 55.9%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 33.2%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 17.2%となっている。「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「高校まで」の回答割合が 53.2%で、他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では 46.5%、「ひとり親世帯」全体では 22.0%、「母子世帯」のみでは 22.6%となっている。「ひとり親世帯」では、「高校まで」の回答割合が 44.7%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。





(2) 進学段階に関する展望についてそう考える理由

保護者票問 17

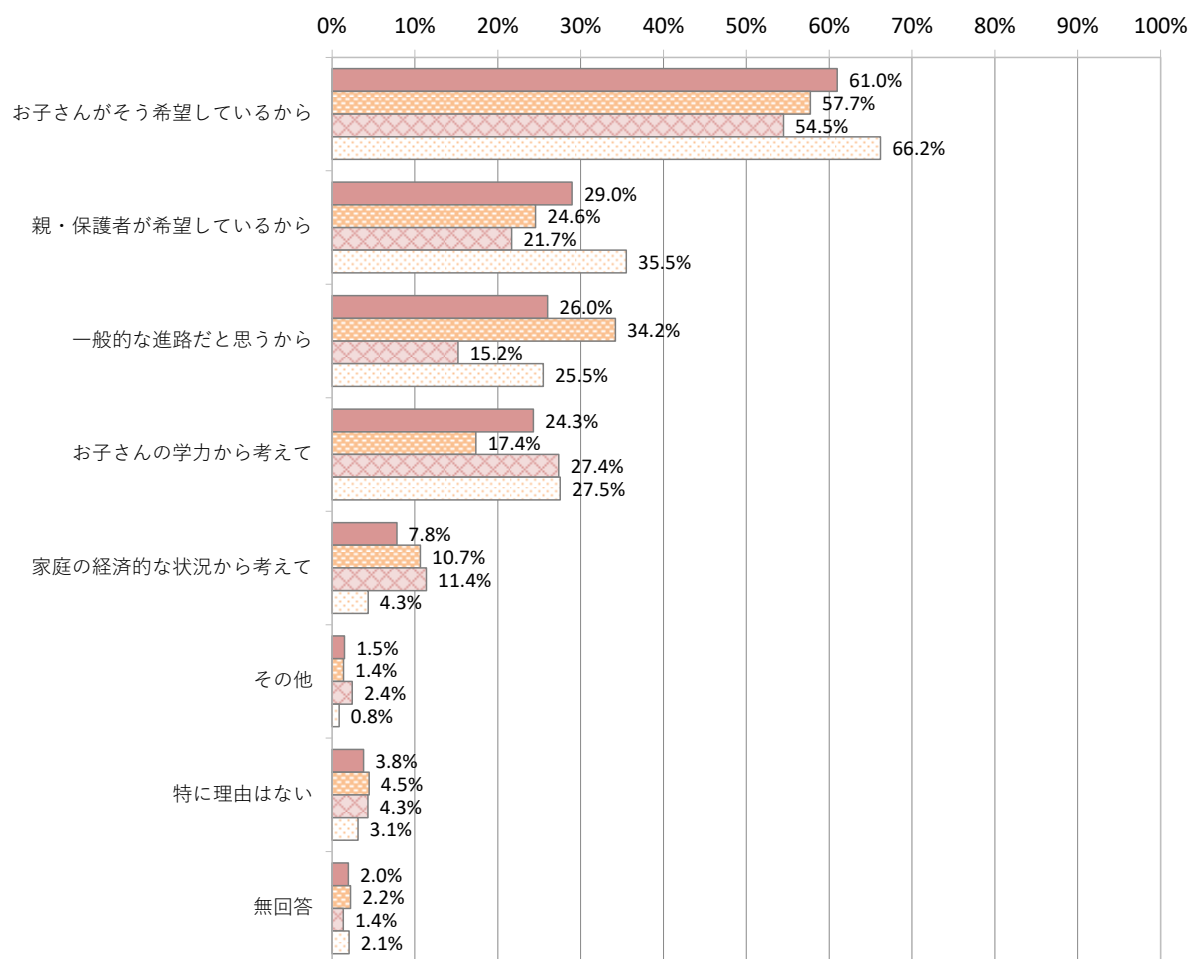
子どもの進学段階に関する希望・展望の問でそう答えた理由は何ですか。(MA)

子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由としては、「お子さんがそう希望しているから」が61.0%、「親・保護者が希望しているから」が29.0%、「一般的な進路だと思うから」が26.0%となっている。

子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、「高校まで」と回答した場合は、「一般的な進路だと思うから」が34.2%で、「短大・高専・専門学校まで」や「大学またはそれ以上」と回答した場合と比べて高くなっている。他方で、「お子さんの学力から考えて」の回答割合は低くなっている。

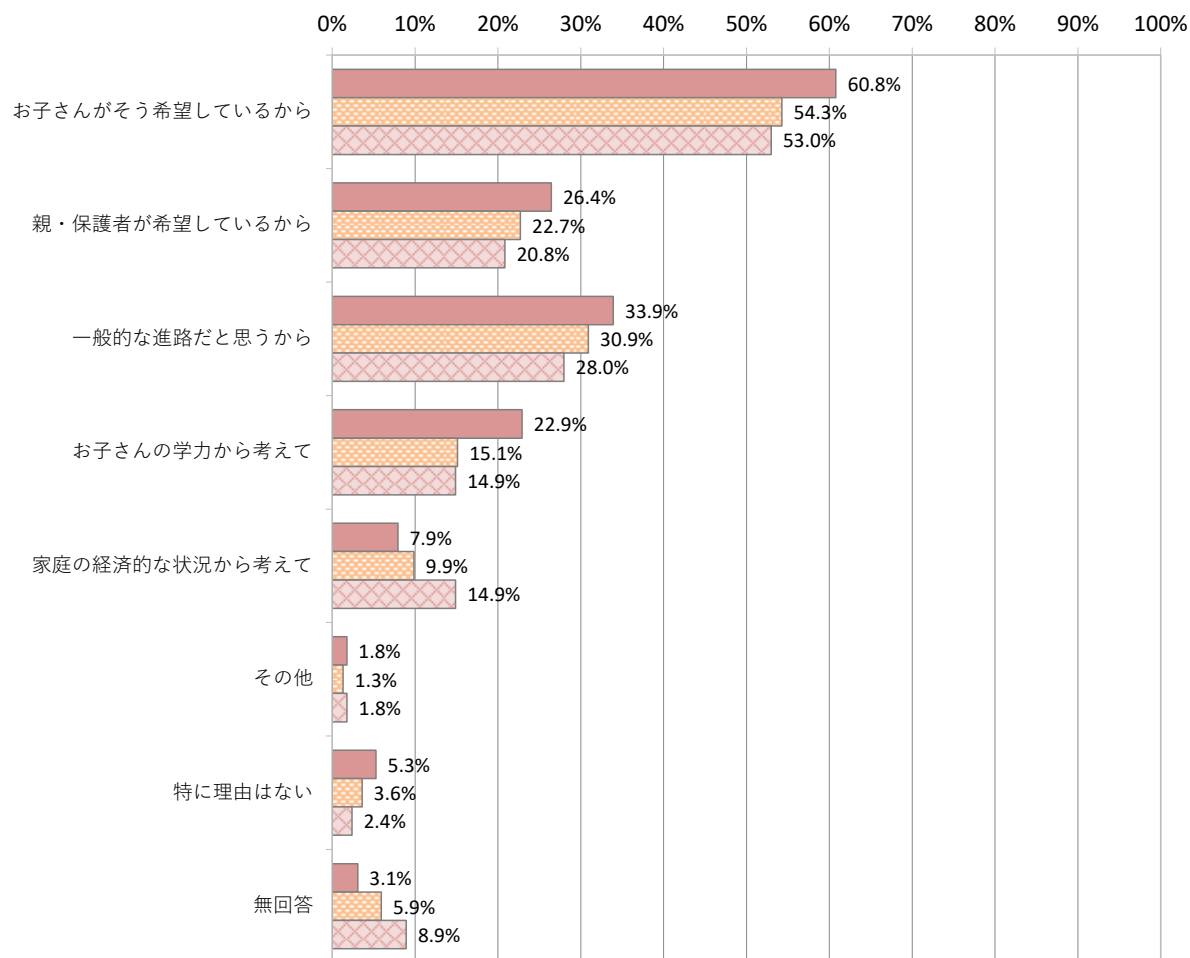
「高校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が他の世帯と比べて高くなっている。

また、「高校まで」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

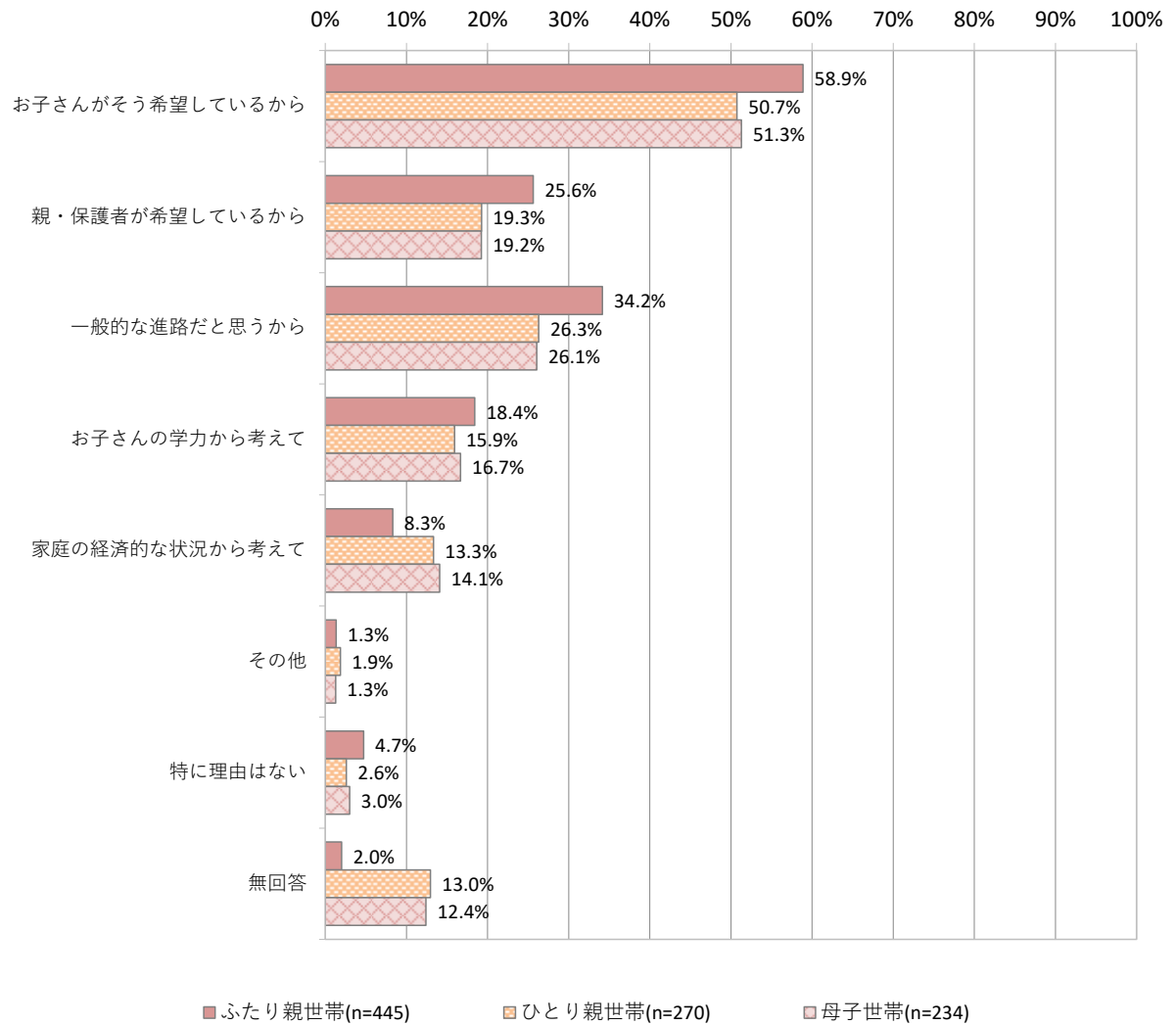


■全体(n=1,791) ■高校まで(n=582) ■短大・高専・専門学校まで(n=369) □大学またはそれ以上(n=828)

※高校までと考える理由



■ 中央値以上(n=227) ▨ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=304) ▩ 中央値の2分の1未満(n=168)



2.1.7. 頼れる人の有無・相手

(1) 子育てに関する相談

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

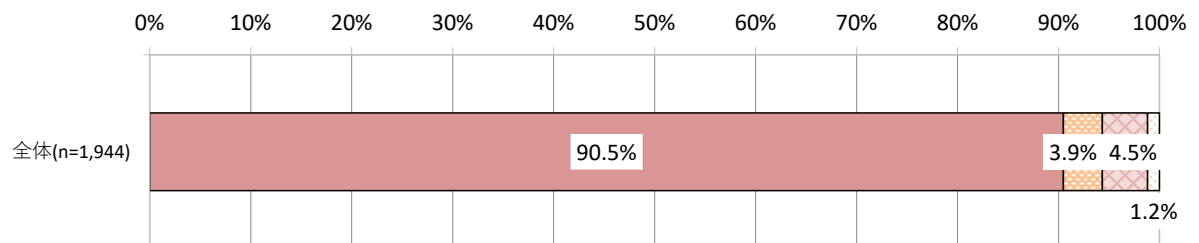
a. 子育てに関する相談

子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」は 90.5%、「いない」は 3.9%、「そのことでは人に頼らない」は 4.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が 90.7%、「友人・知人」が 54.6%、「職場の人」が 30.1%となっている。

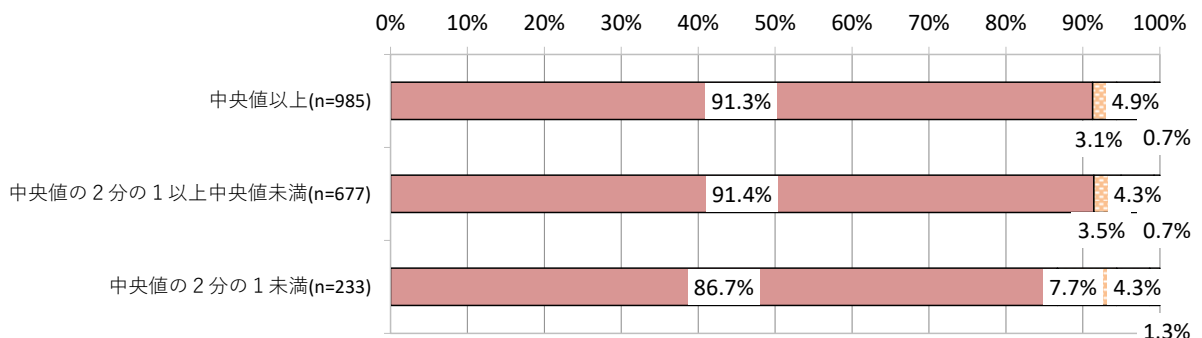
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 3.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 3.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 7.7%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家族・親族」の割合が 85.6%、「職場の人」の割合が 23.3%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯」全体では 6.5%、「母子世帯」のみでは 5.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合が 84.6%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

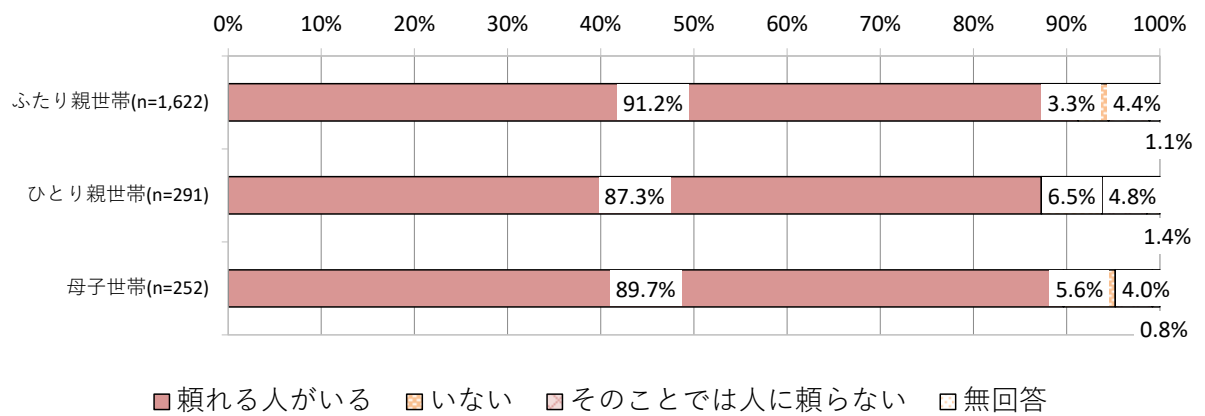
※頼れる人の有無



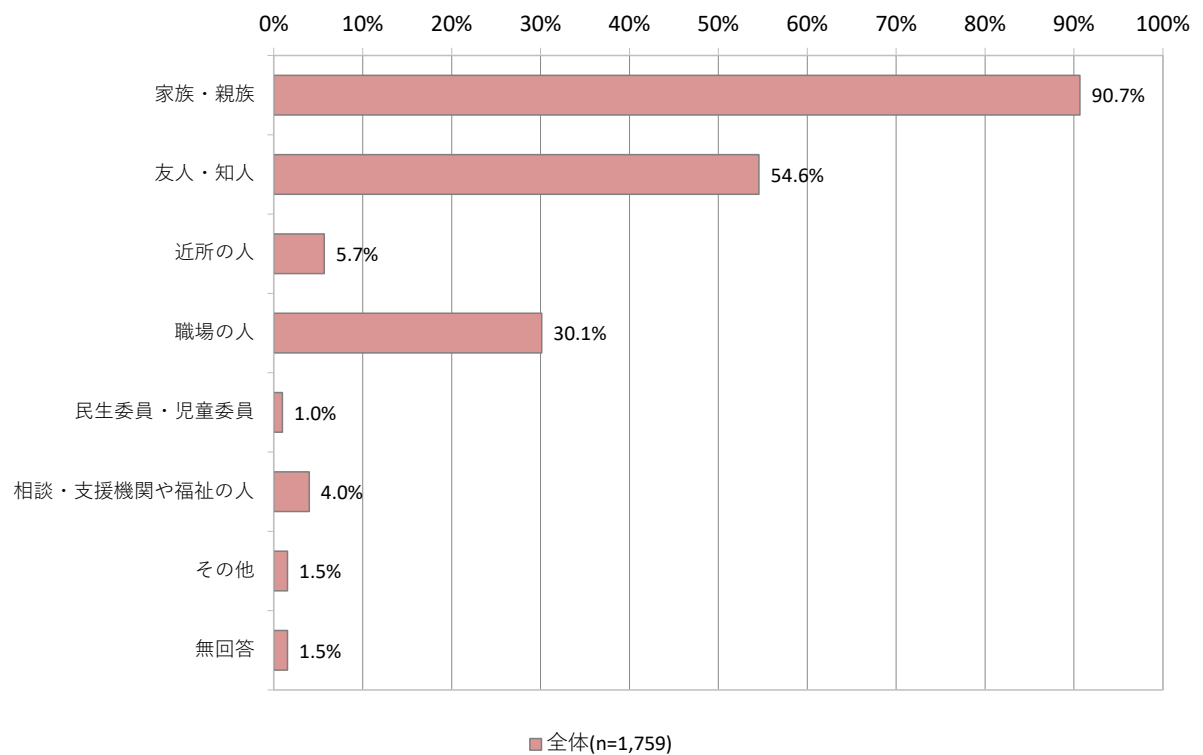
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

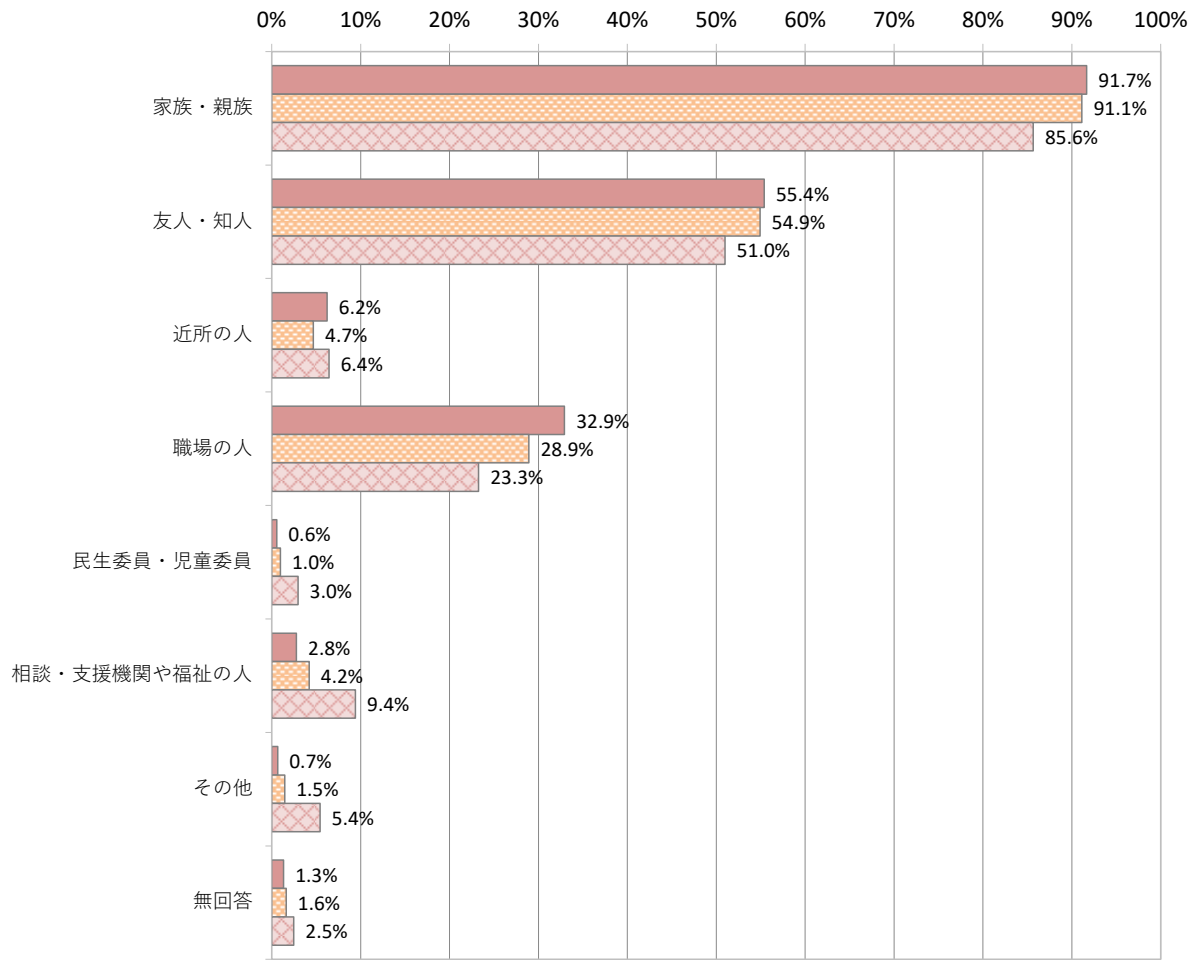


■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

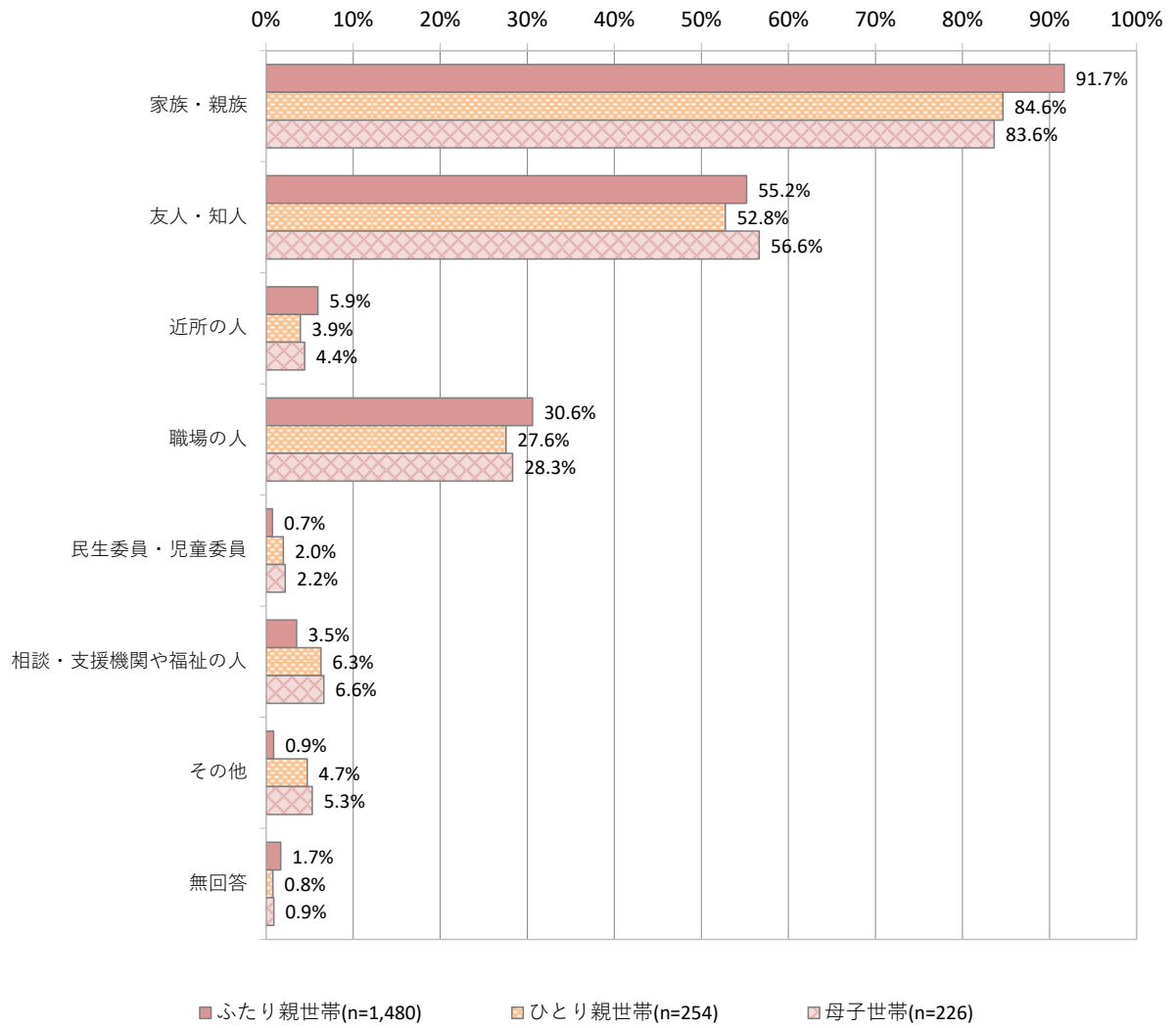


※相談相手





■ 中央値以上(n=899) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=619) ■ 中央値の2分の1未満(n=202)



(2) 重要な事柄の相談

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

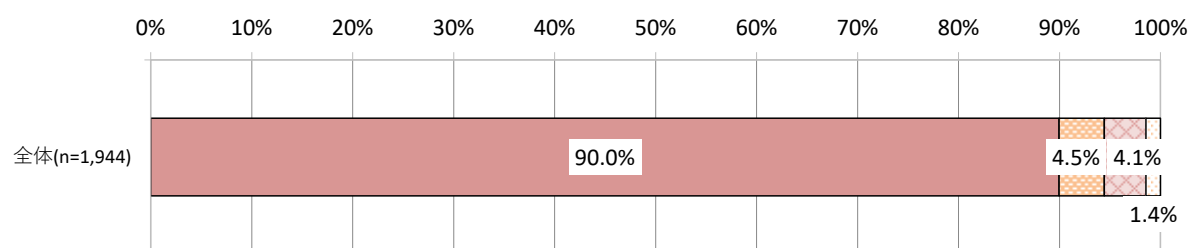
b. 重要な事柄の相談

重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」は 90.0%、「いない」は 4.5%、「そのことでは人に頼らない」は 4.1%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が 93.8%、「友人・知人」が 29.6%となっている。

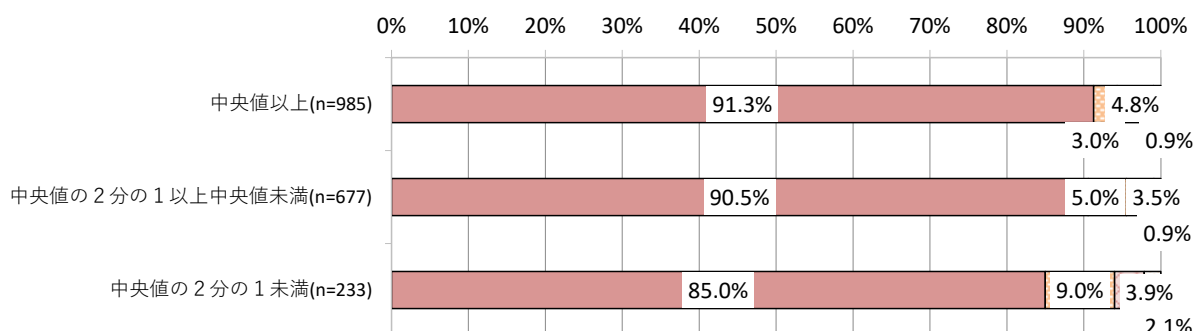
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では 3.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 5.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 9.0%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家族・親族」の割合が 87.9%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では 3.5%、「ひとり親世帯」全体では 9.6%、「母子世帯」のみでは 9.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合が 88.2%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。他方で、「友人・知人」の回答割合は高くなっている。

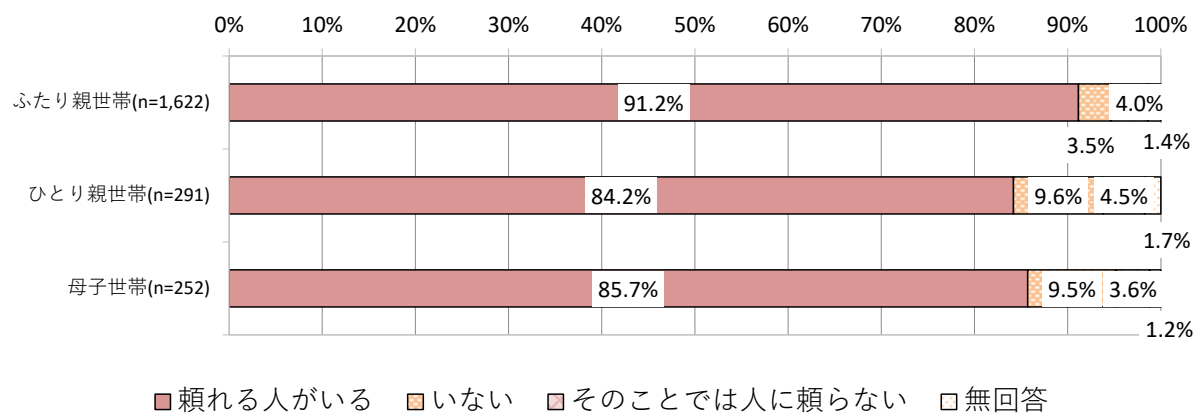
※頼れる人の有無



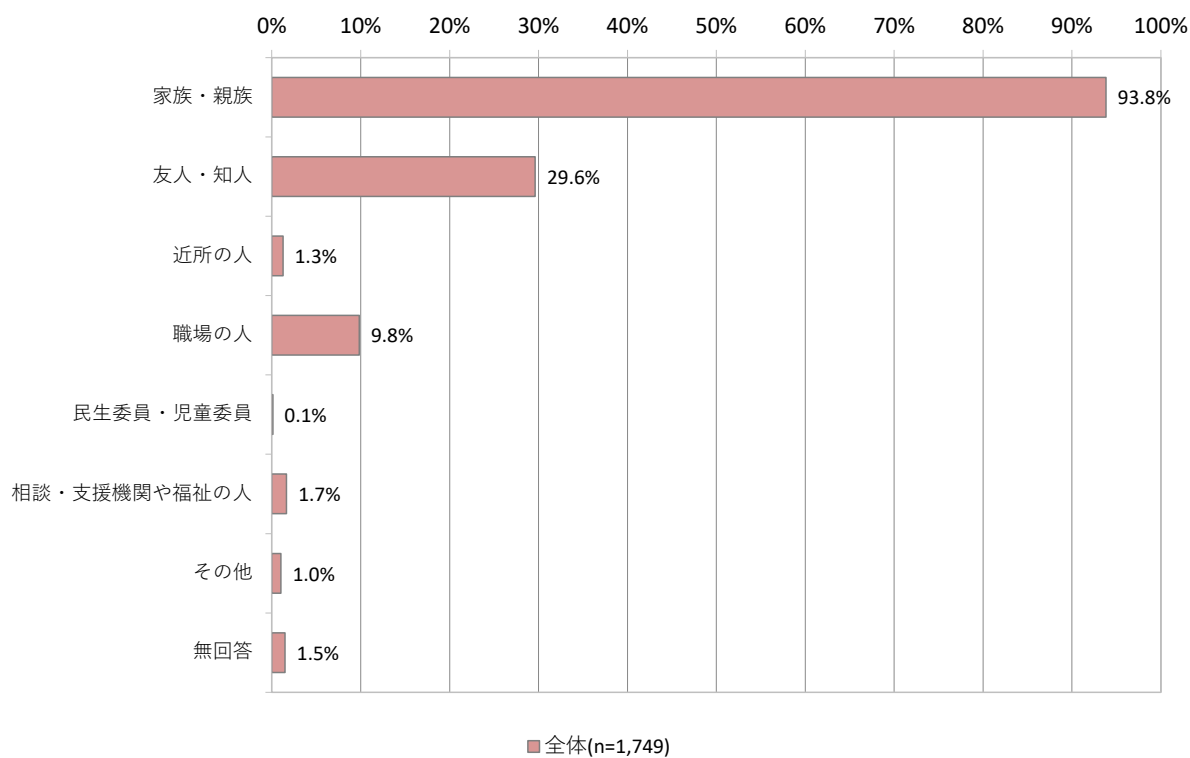
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

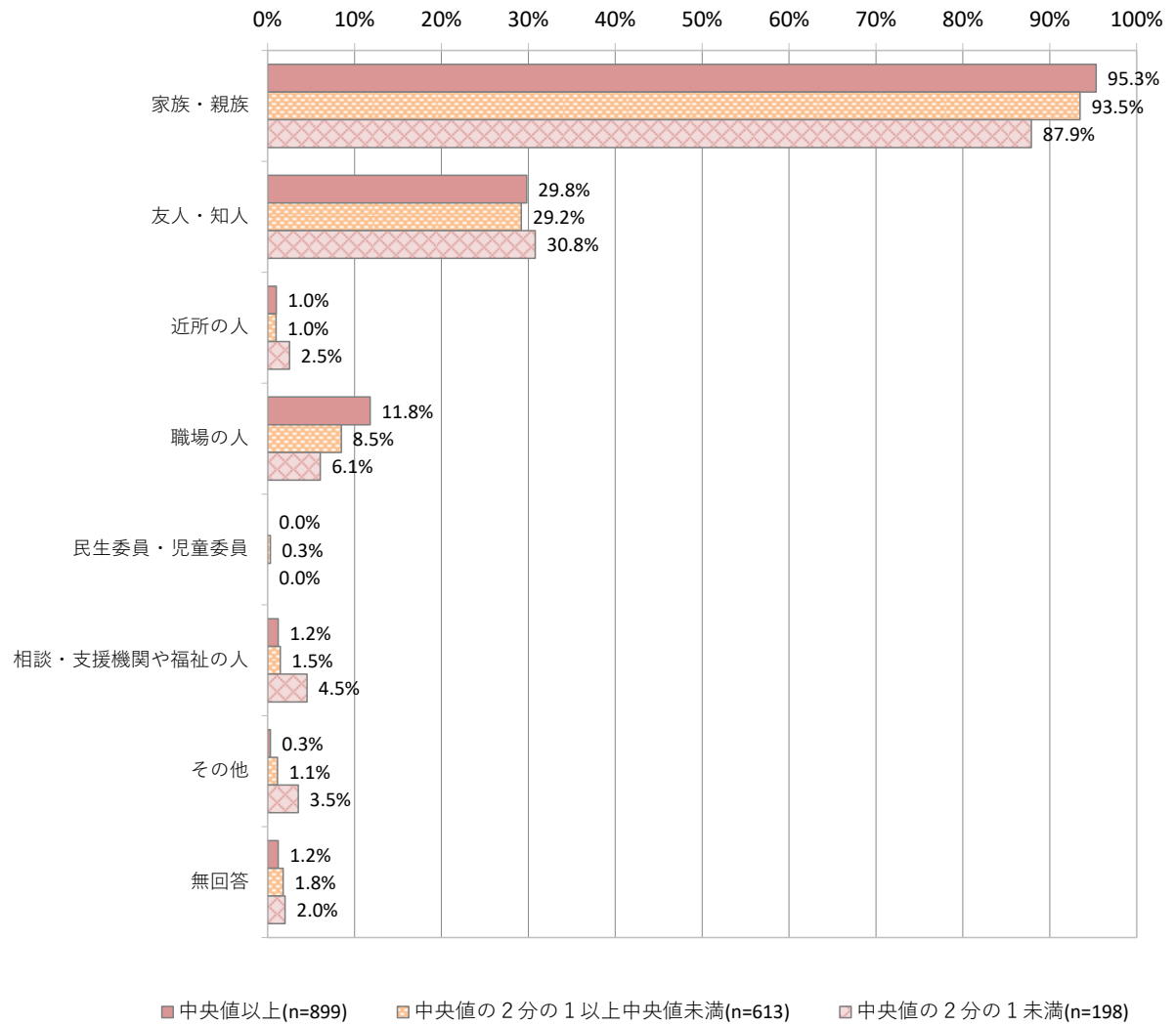


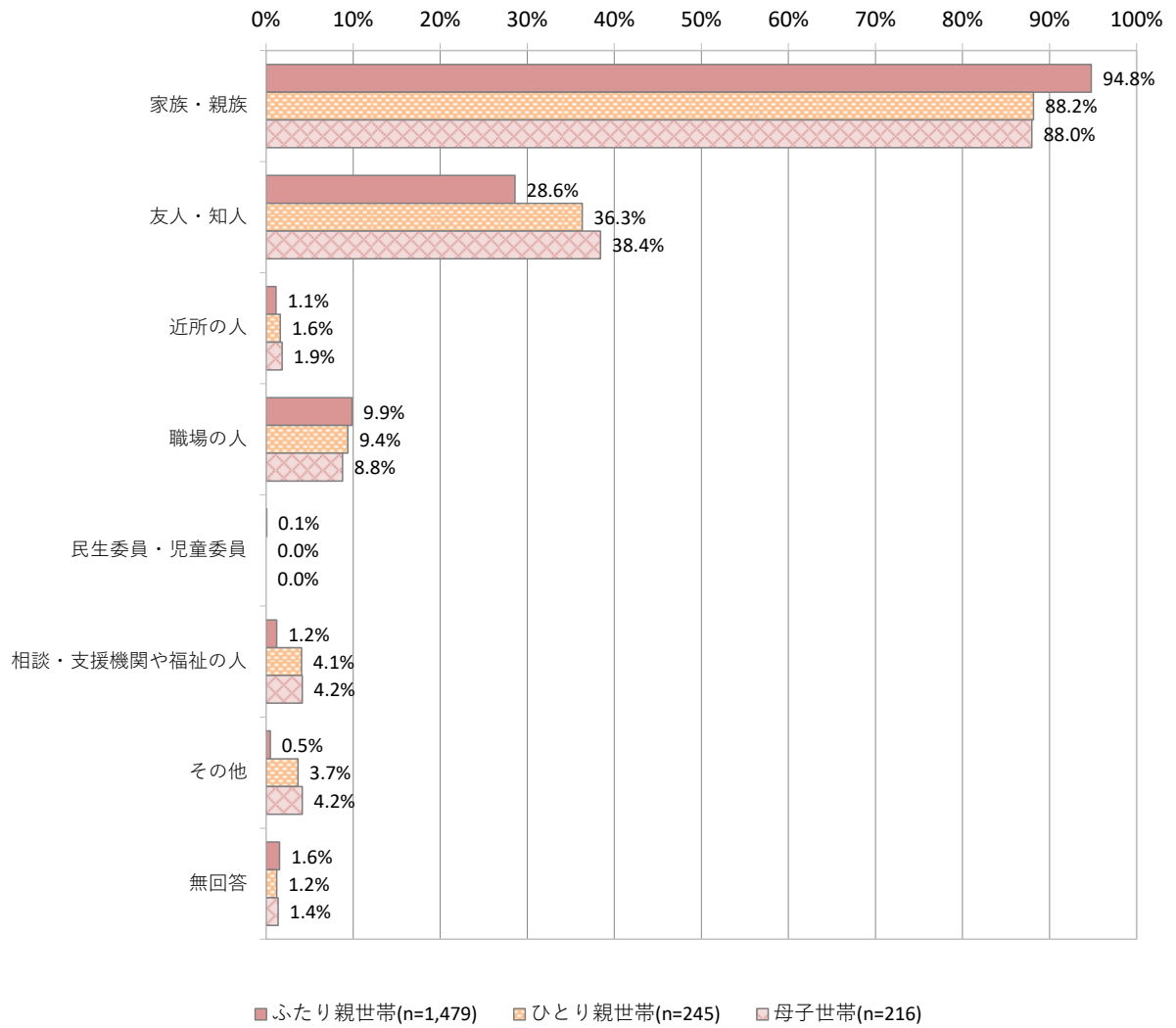
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答



※相談相手







(3) いざという時のお金の援助

保護者票問 18

あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(SA)

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(MA)

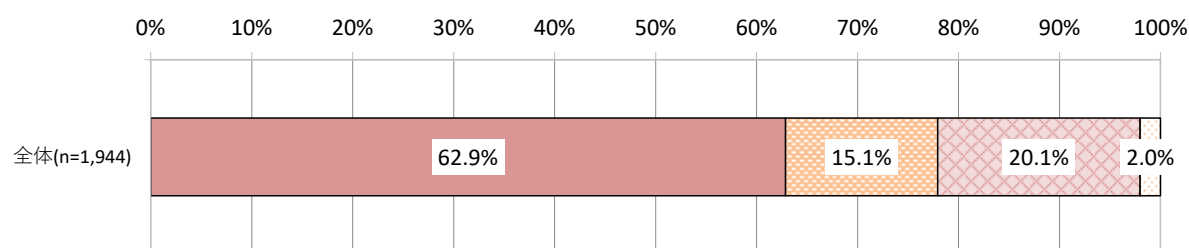
c. いざという時のお金の援助

いざという時のお金の援助について、「頼れる人がいる」は62.9%、「いない」は15.1%、「そのことでは人に頼らない」は20.1%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が97.0%となっている。

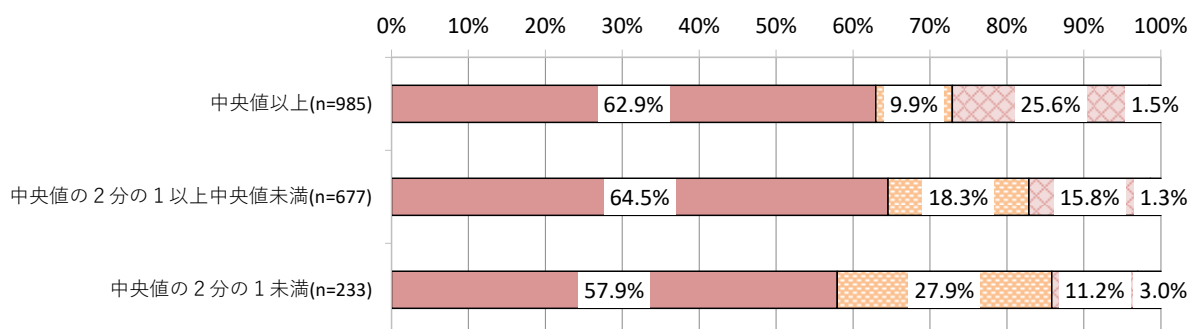
等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では9.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では18.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.9%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「友人・知人」の割合が8.1%、「相談・支援機関や福祉の人」が4.4%で、それぞれ他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では12.5%、「ひとり親世帯」全体では28.2%、「母子世帯」のみでは28.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では、「友人・知人」の割合が8.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が3.1%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

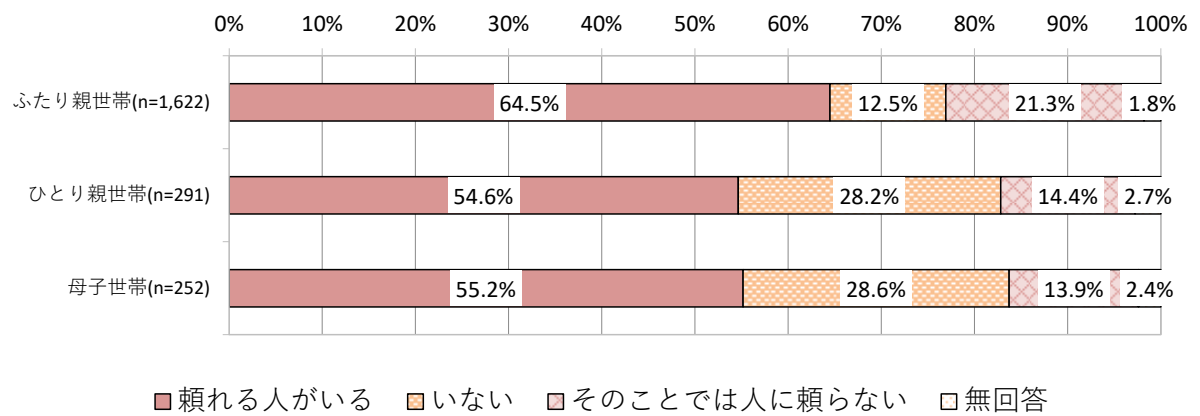
※頼れる人の有無



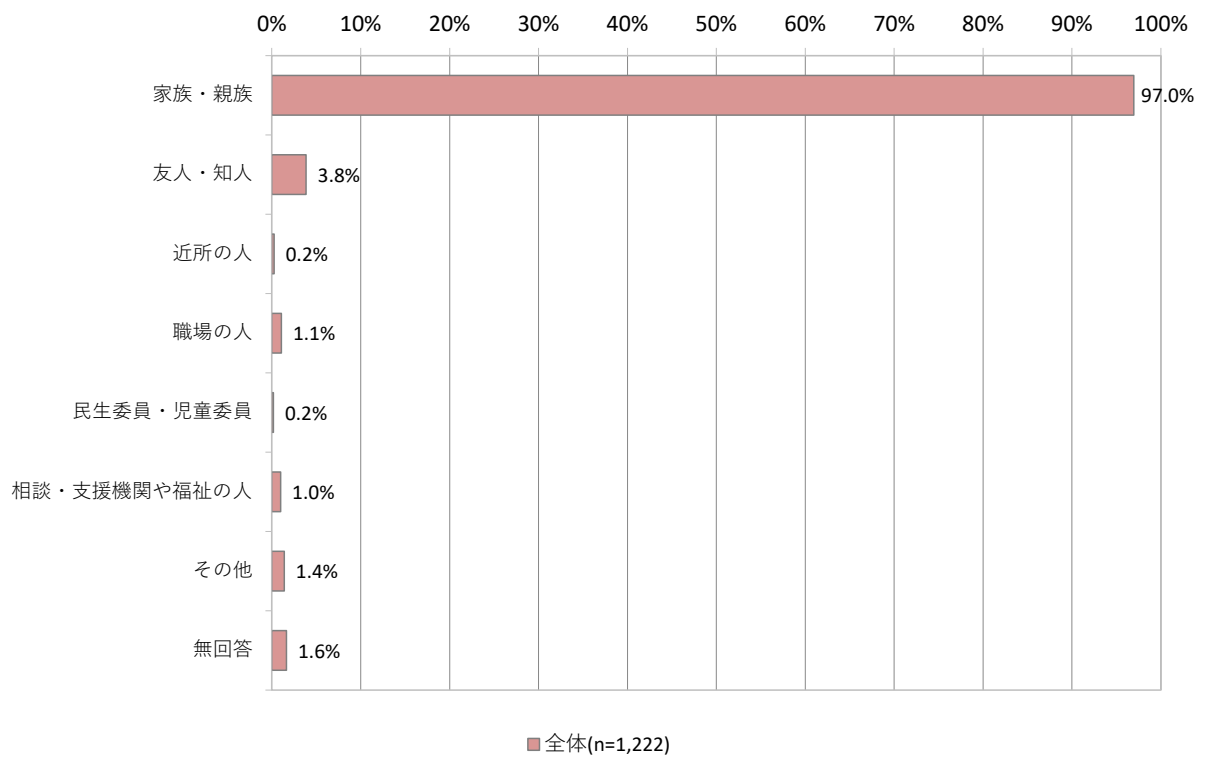
■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

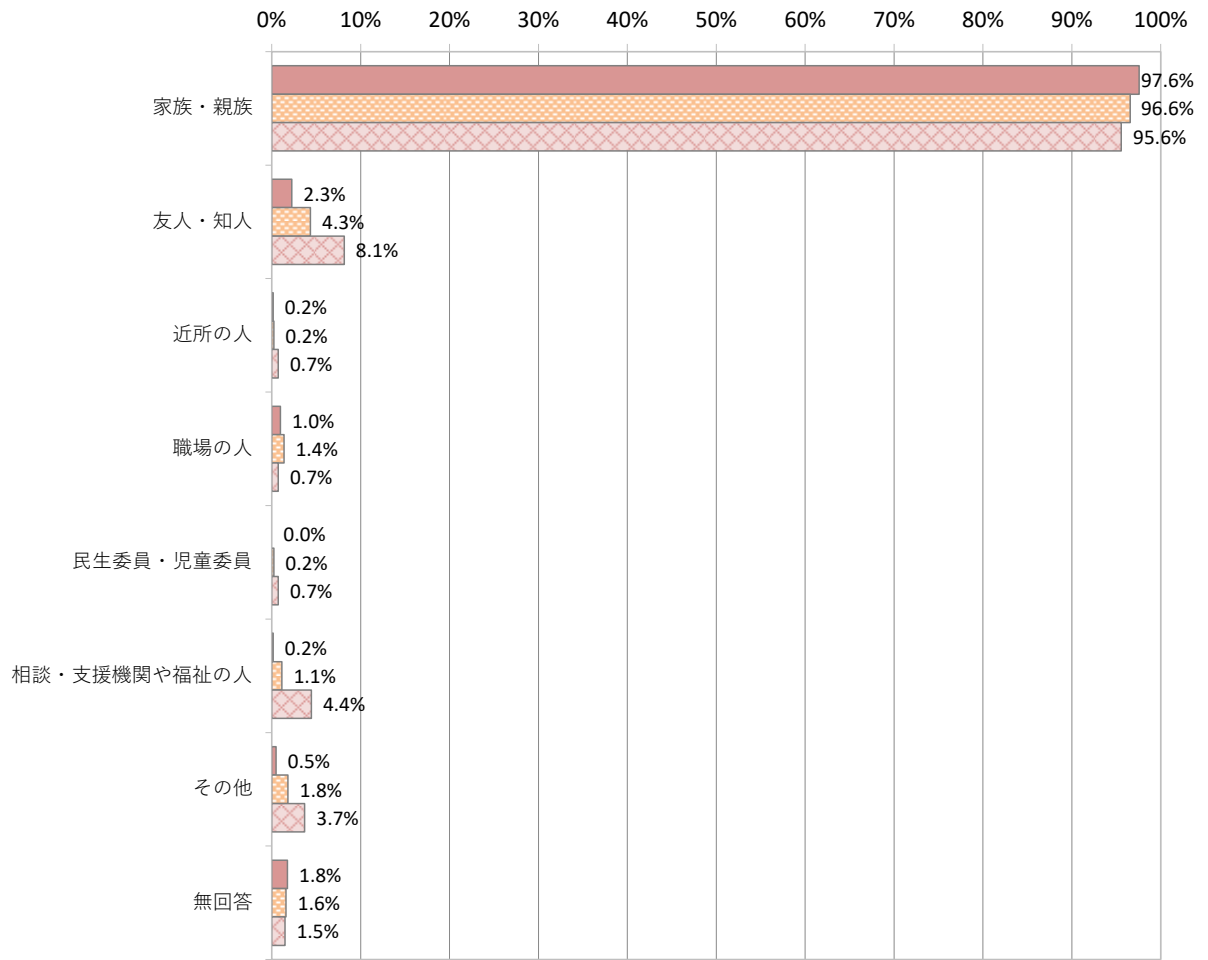


■ 頼れる人がいる ■ いない ■ そのことでは人に頼らない □ 無回答

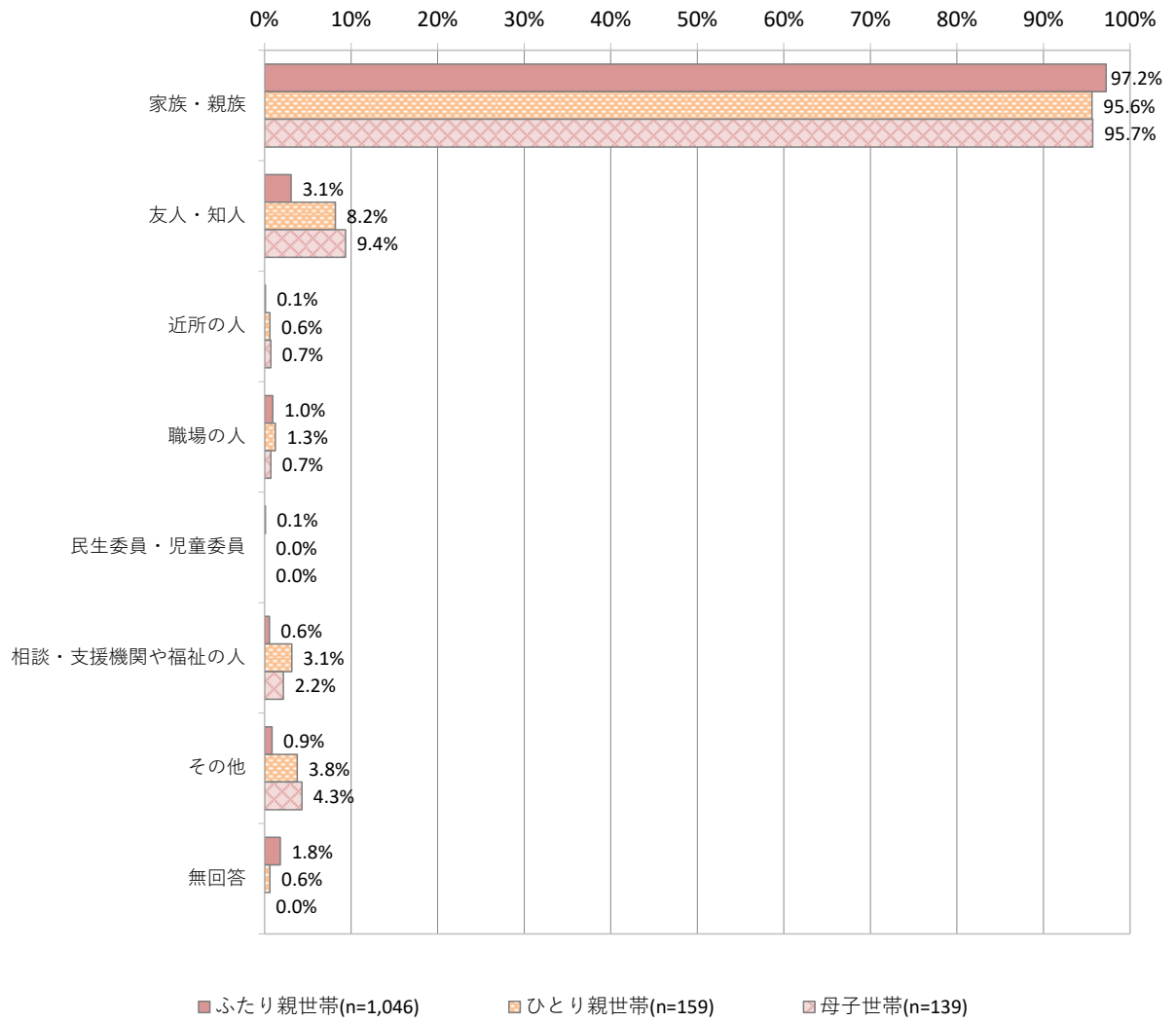


※相談相手





■ 中央値以上(n=620) ▨ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=437) ▩ 中央値の2分の1未満(n=135)



2.1.8. 日常的な生活の状況

(1) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24

次の項目について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。(SA)

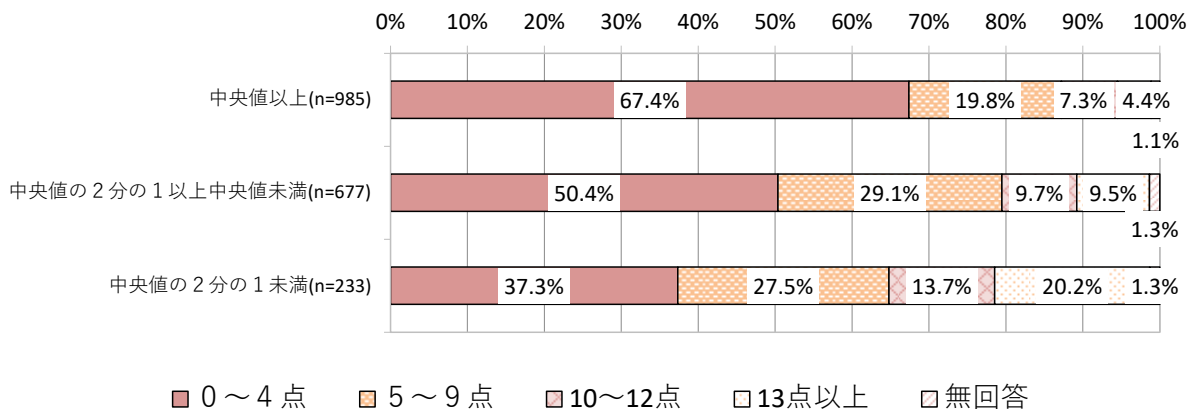
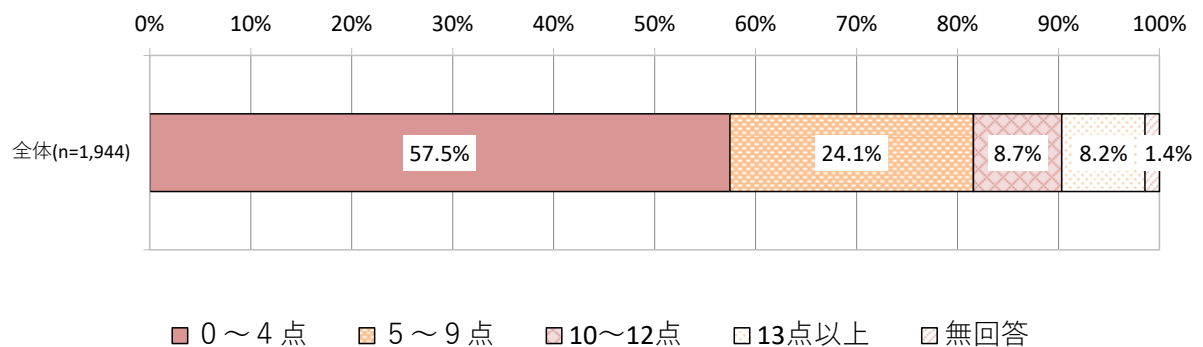
- a. 神経過敏に感じた
- b. 絶望的だと感じた
- c. そわそわ、落ち着かなく感じた
- d. 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e. 何をするのも面倒だと感じた
- f. 自分は価値のない人間だと感じた

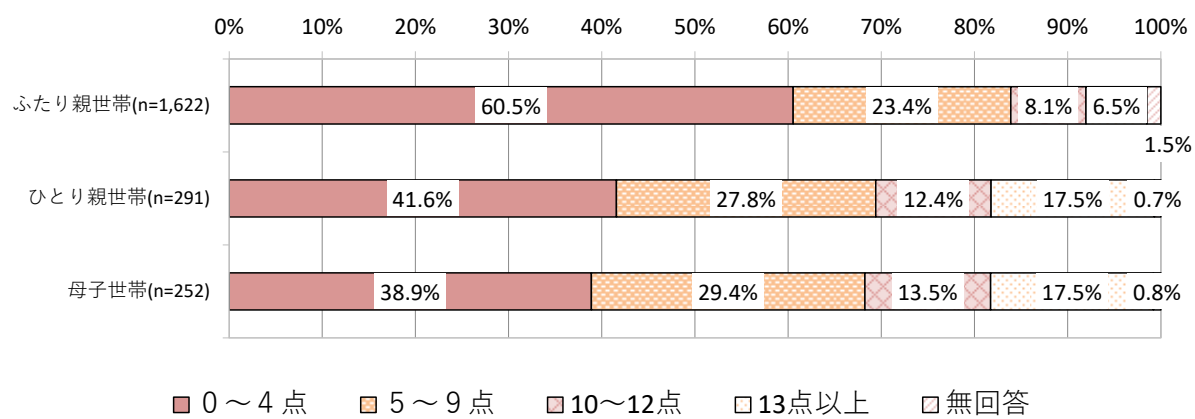
「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定した。

この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出した(0~24点)。「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は8.2%であった。

等価世帯収入の水準別にみると、K6のスコアが「13点以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では4.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では20.2%となっている。

世帯の状況別に見ると、K6のスコアが「13点以上」の割合は、「ふたり親世帯」では6.5%、「ひとり親世帯」全体では17.5%、「母子世帯」のみでは17.5%となっている。





(2) 生活満足度

保護者票問 25

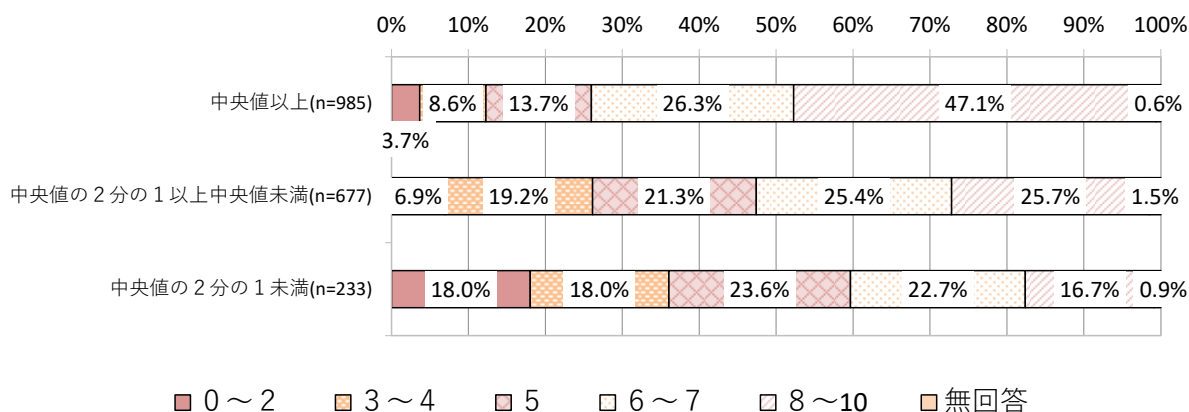
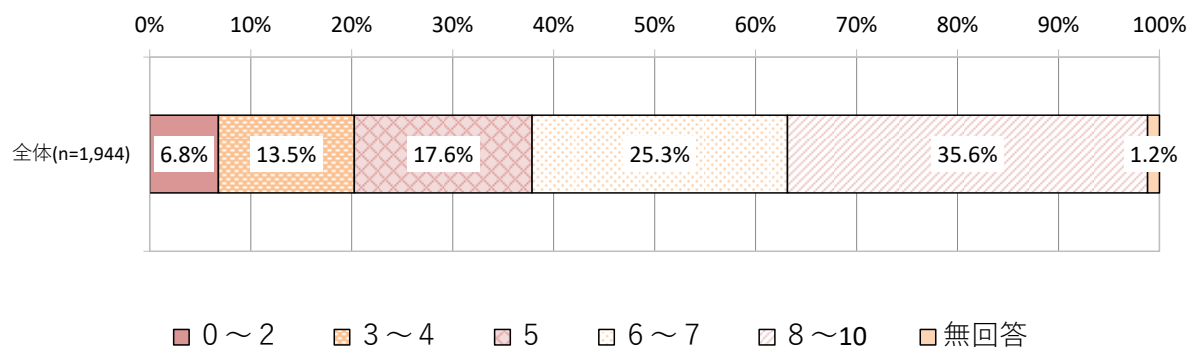
全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（SA）

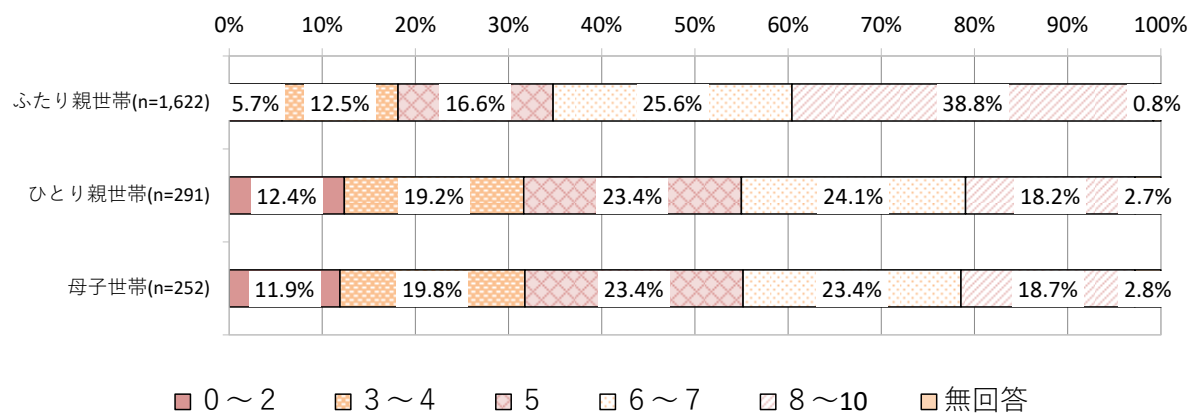
最近の生活の満足度については、「0～2」に該当する割合が6.8%、「3～4」に該当する割合が13.5%、「5」に該当する割合が17.6%、「6～7」に該当する割合が25.3%、「8～10」に該当する割合が35.6%となっている。

満足度が高い方の回答（6～10）割合は61.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は39.5%で、「中央値以上」の世帯と比べて生活満足度が低くなっている。

世帯の状況別についてみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は42.3%で、「ふたり親世帯」と比べて生活満足度が低くなっている。





2.2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

2.2.1. 学習の状況

(1) ふだんの勉強の仕方

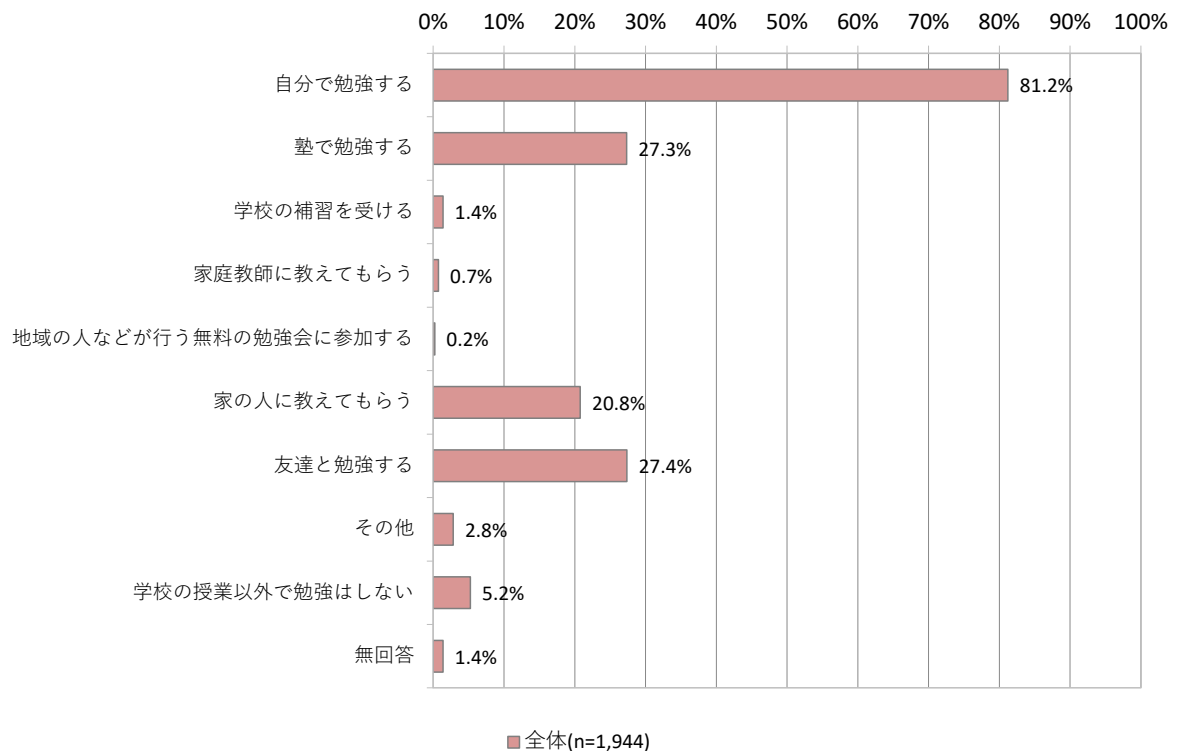
中学生票問2

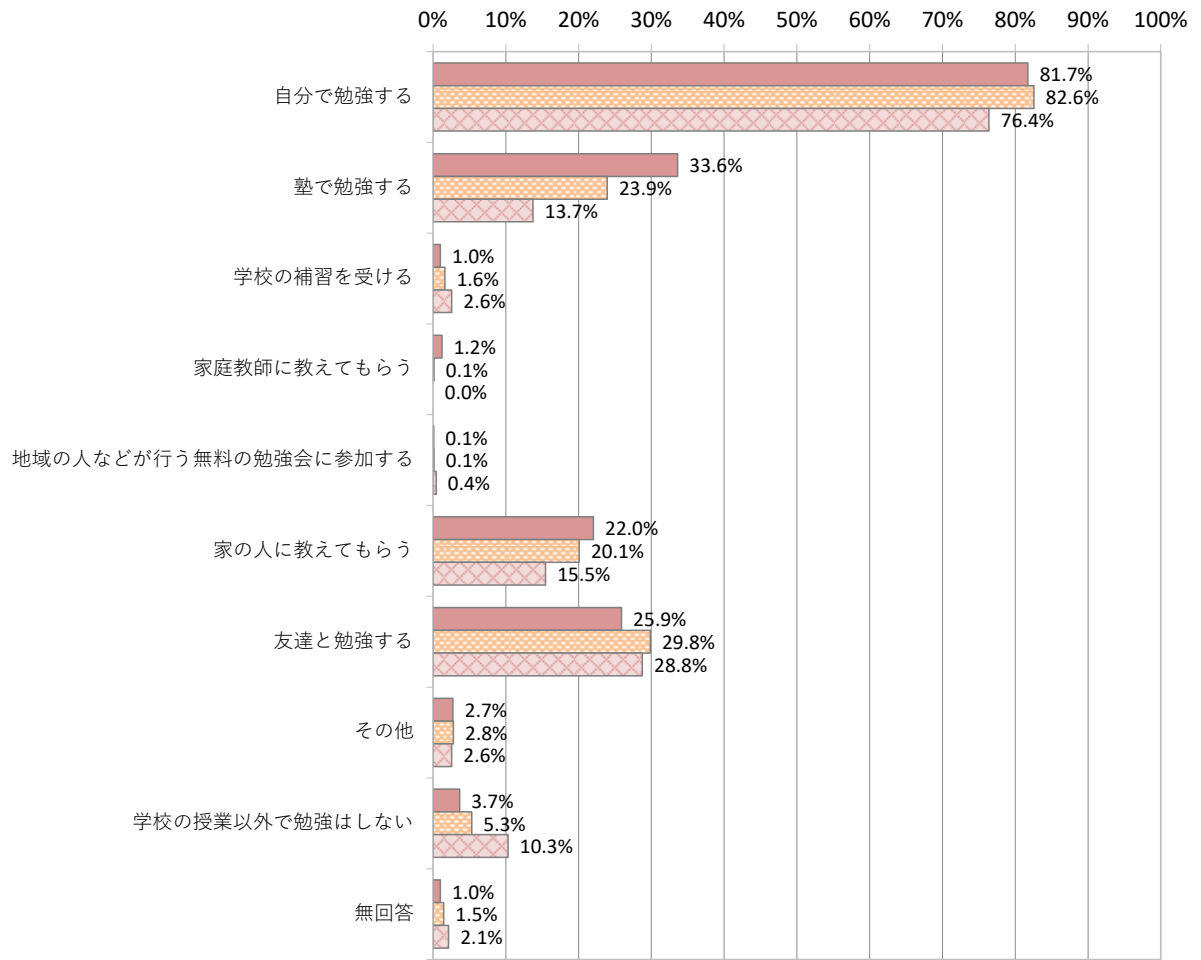
あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が81.2%、「友達と勉強する」が27.4%、「塾で勉強する」が27.3%となっている。なお、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合は5.2%となっている。

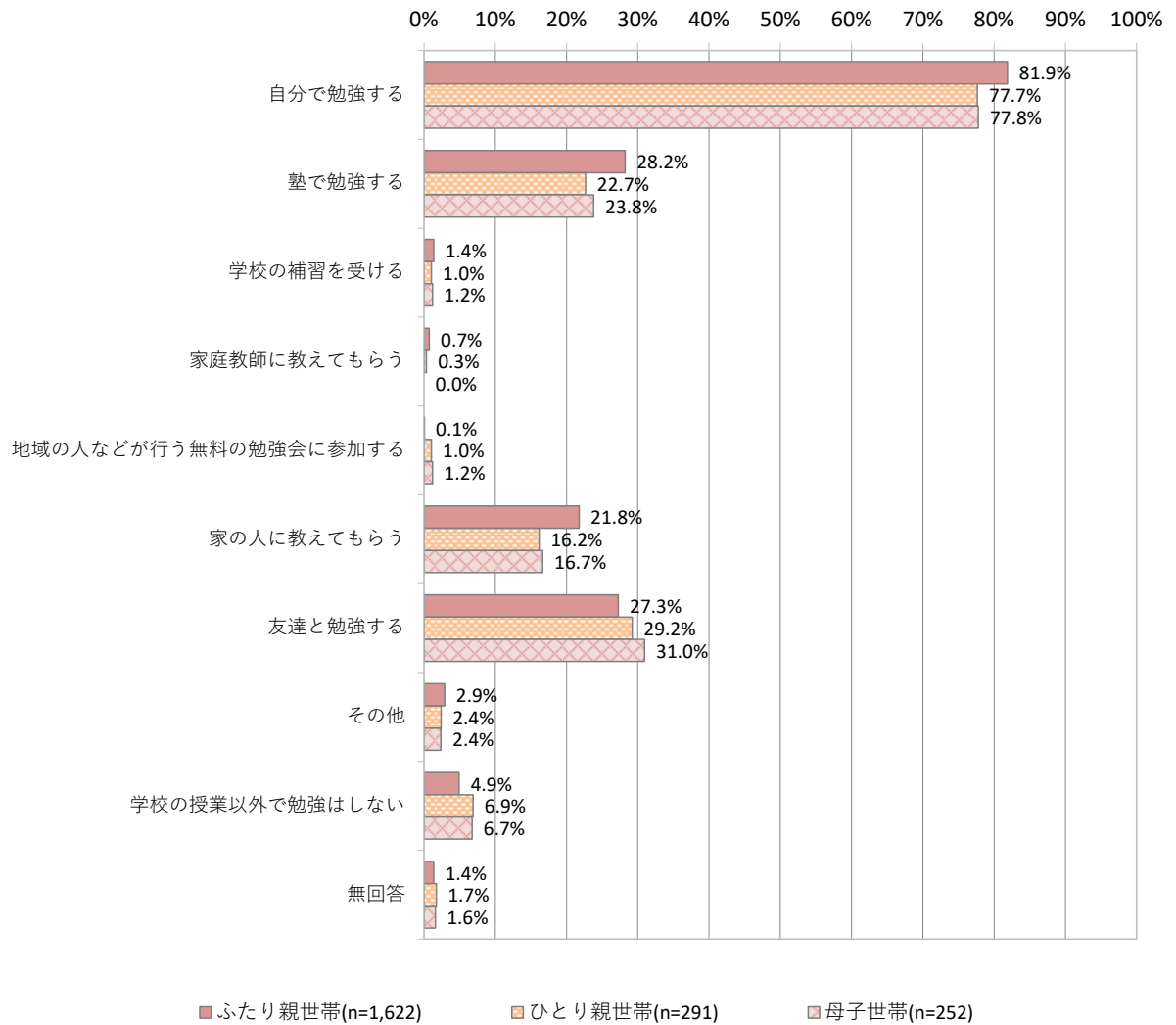
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分で勉強する」が76.4%、「塾で勉強する」が13.7%、「家の人に教えてもらう」が15.5%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。他方で、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合は10.3%で、他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」の場合には、「塾で勉強する」が22.7%、「家の人に教えてもらう」が16.2%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(2) 1日あたりの勉強時間

中学生票問3

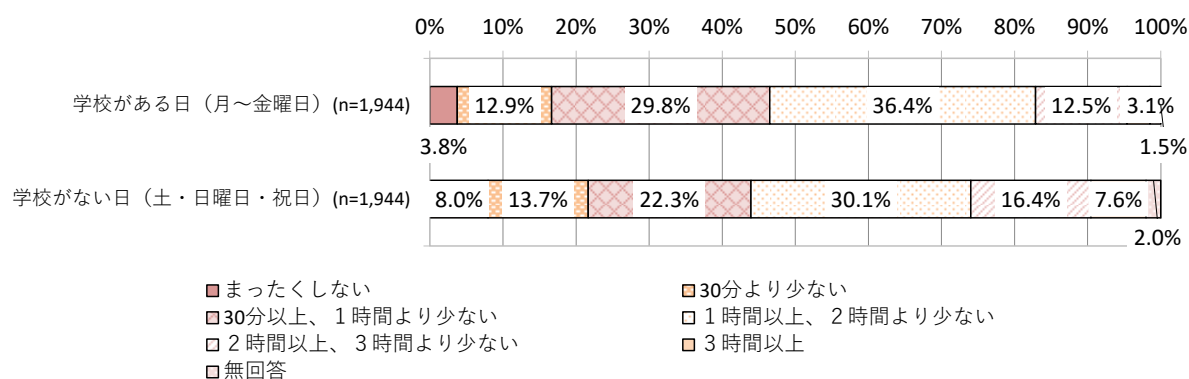
あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(SA)

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がある日(月～金曜日)」では、「1時間以上、2時間より少ない」が36.4%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が29.8%となっている。また、「まったくしない」は3.8%となっている。

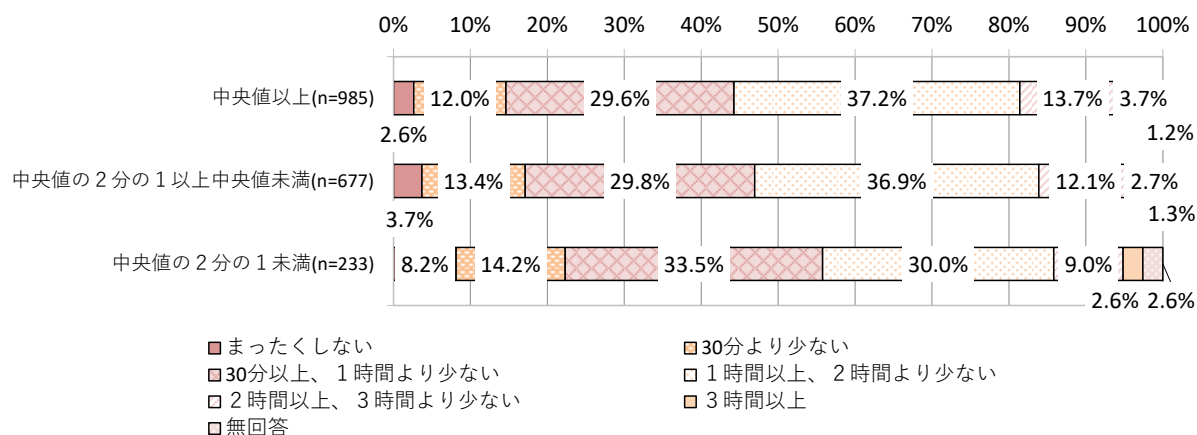
「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では、「30分以上、1時間より少ない」が30.1%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が22.3%となっている。「まったくしない」は8.0%となっている。

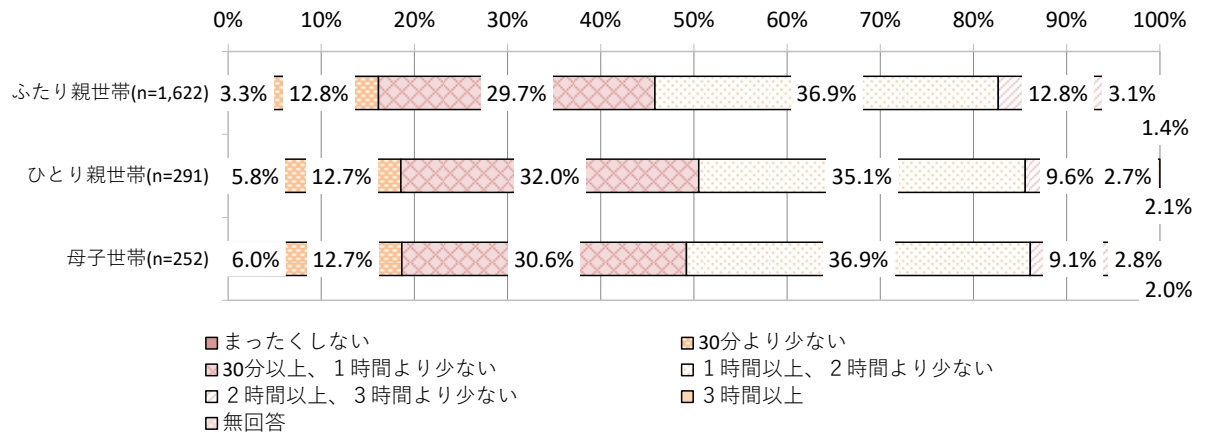
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日(月～金曜日)」では8.2%、「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では16.3%となっており、それぞれそれ以外の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日(月～金曜日)」では5.8%、「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では13.1%となっており、それ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

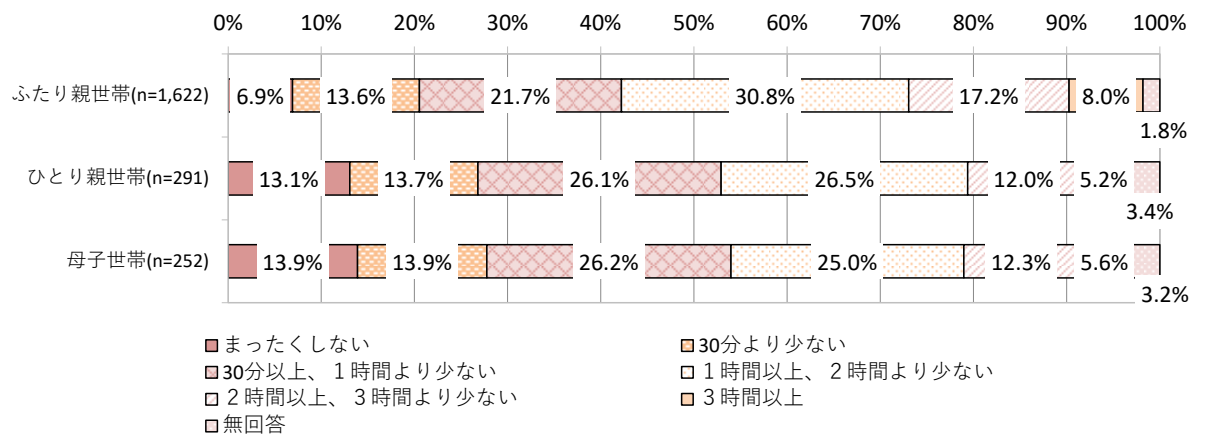
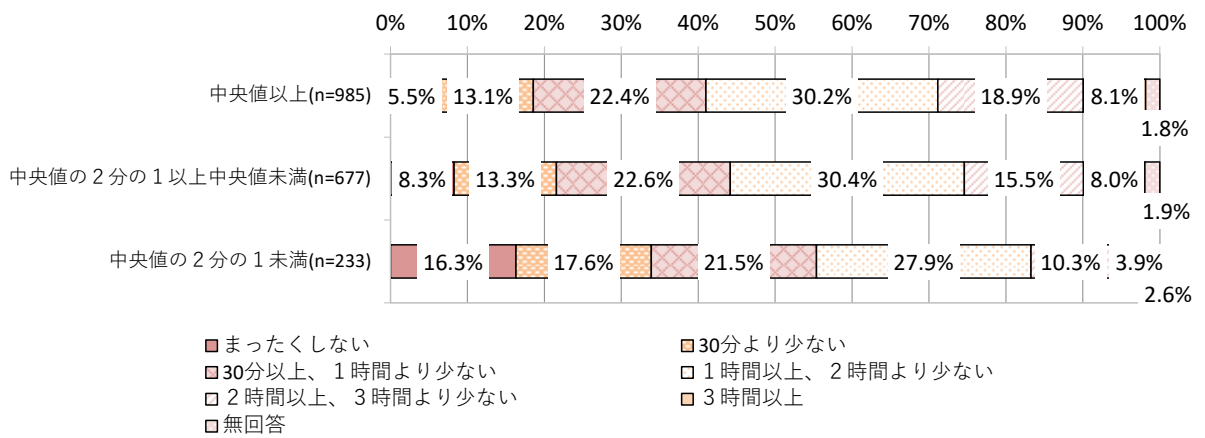


※学校がある日(月～金曜日)





※学校がない日（土・日曜日・祝日）



(3) クラスの中での成績

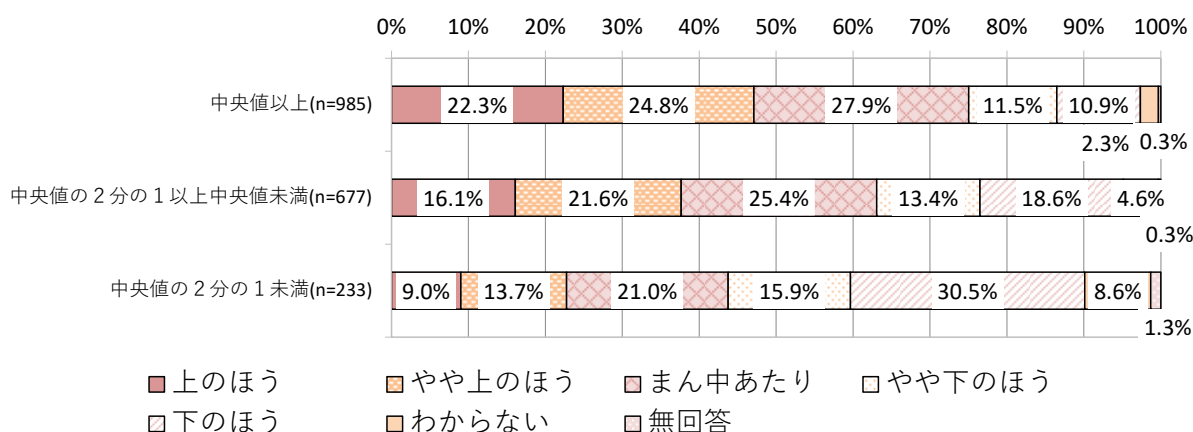
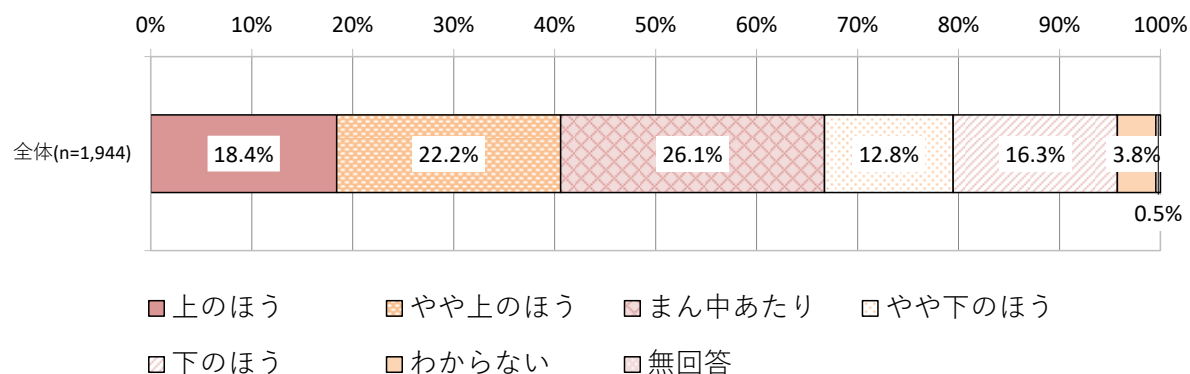
中学生票問4

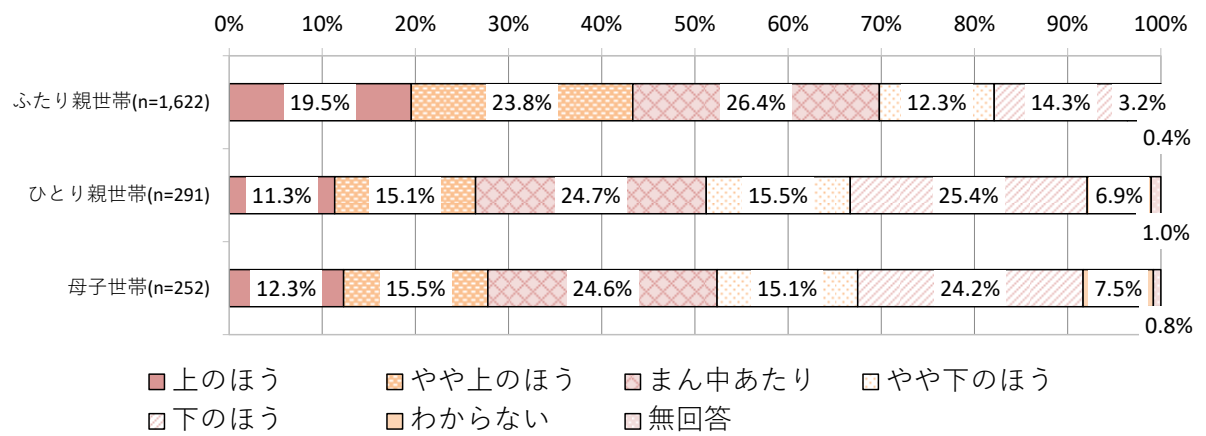
あなたの成績は、クラスまたは学年の中でどのくらいだと思いますか。(SA)

クラスの中での成績については、「上のほう」は18.4%、「やや上のほう」は22.2%、「まん中あたり」は26.1%、「やや下のほう」は12.8%、「下のほう」は16.3%、「わからない」は3.8%となっている。「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は29.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では22.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では46.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「ふたり親世帯」では26.6%、「ひとり親世帯」全体では40.9%、「母子世帯」のみでは39.3%となっている。





(4) 学校への通学状況

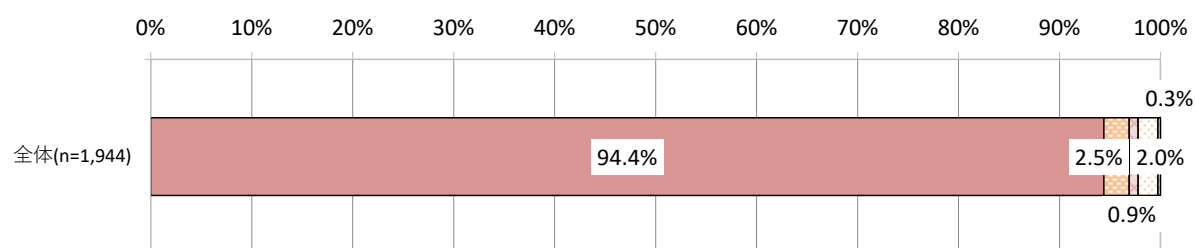
中学生票問5

あなたは学校にどのくらい通っていますか。(SA)

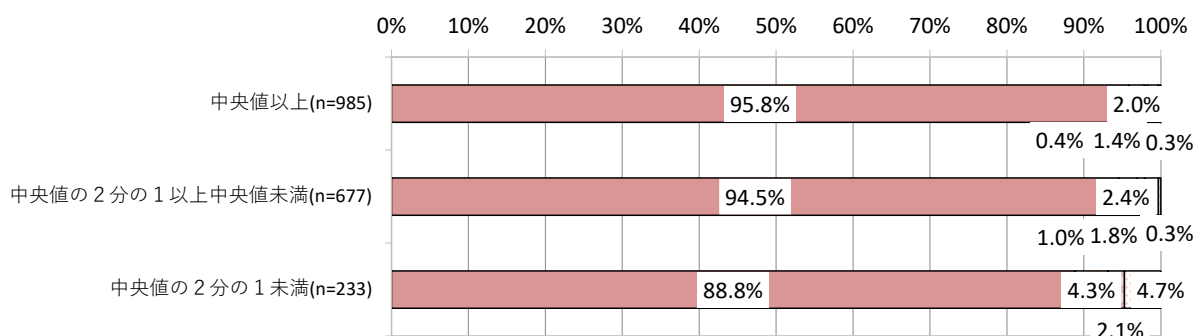
学校への通学状況については、「毎日（週5日）」が94.4%、「週3～4日」が2.5%、「週1～2日」が0.9%、「ほとんど通っていない」が2.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「毎日（週5日）」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では95.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では94.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では88.8%となっている。

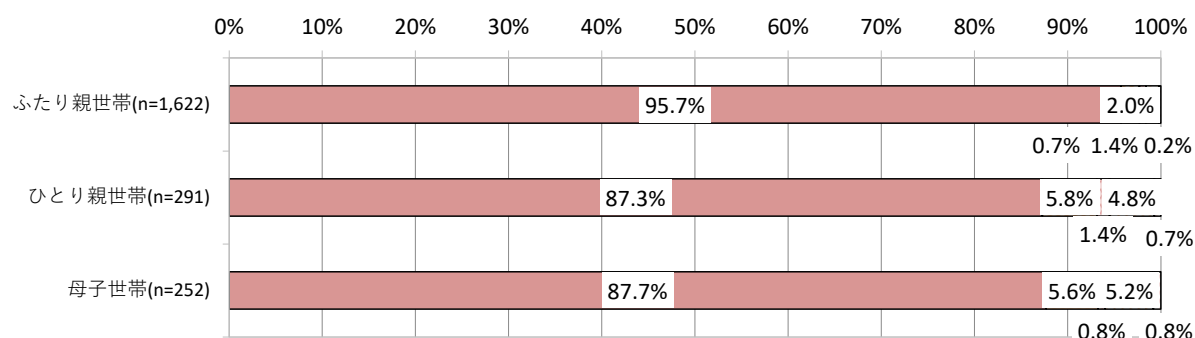
世帯の状況別にみると、「毎日（週5日）」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では95.7%、「ひとり親世帯」全体では87.3%、「母子世帯」のみでは87.7%となっている。



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答

(5) 授業の理解状況

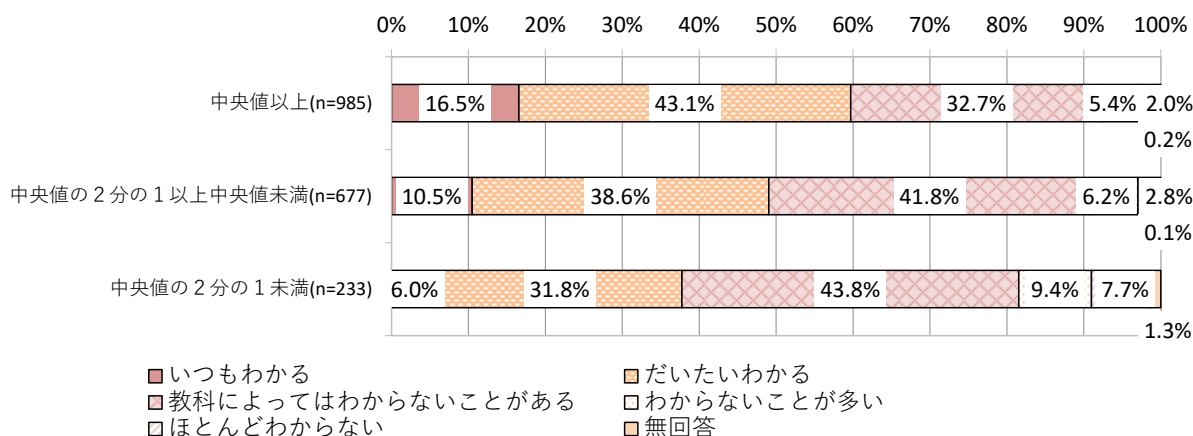
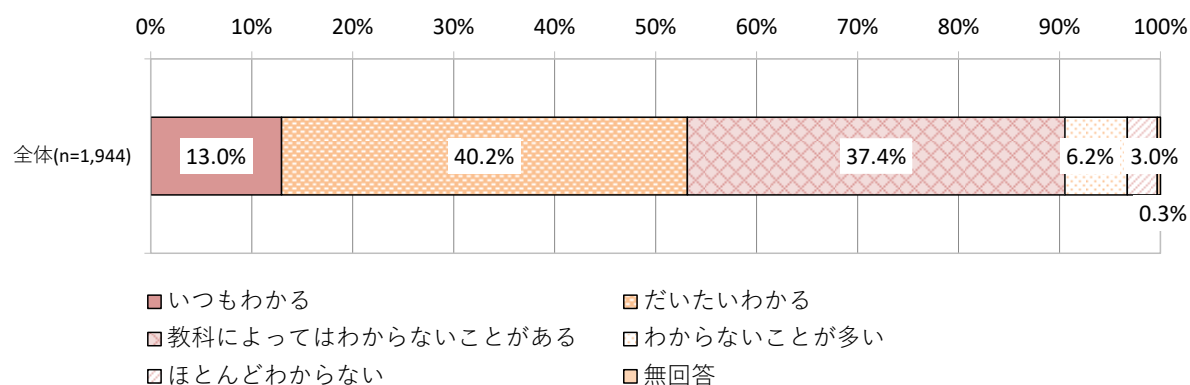
中学生票問5-2

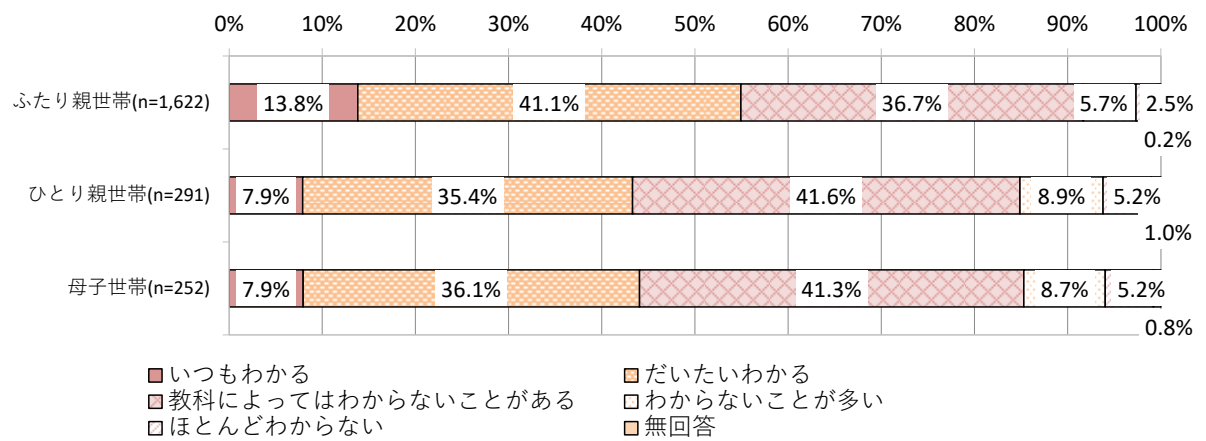
あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」が13.0%、「だいたいわかる」が40.2%、「教科によってはわからないことがある」が37.4%、「わからないことが多い」が6.2%、「ほとんどわからない」が3.0%となっている。「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は9.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では7.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では17.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では8.1%、「ひとり親世帯」全体では14.1%、「母子世帯」のみでは13.9%となっている。





(6) 授業がわからなくなった時期

中学生票問6

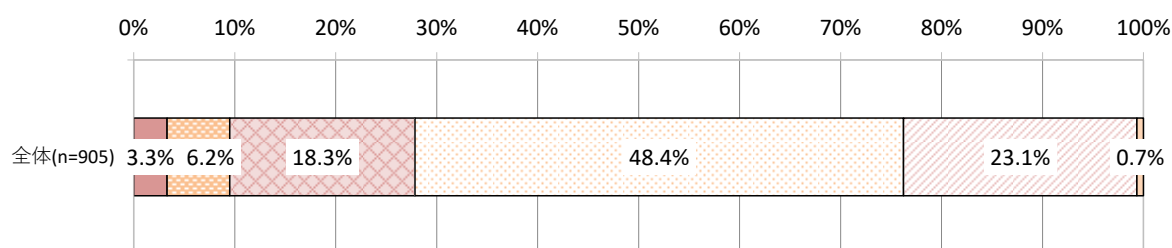
授業の理解状況の間で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を選んだ場合、いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(SA)

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が3.3%、「小学3・4年生のころ」が6.2%、「小学5・6年生のころ」が18.3%、「中学1年生のころ」が48.4%、「中学2年生になってから」が23.1%となっている。

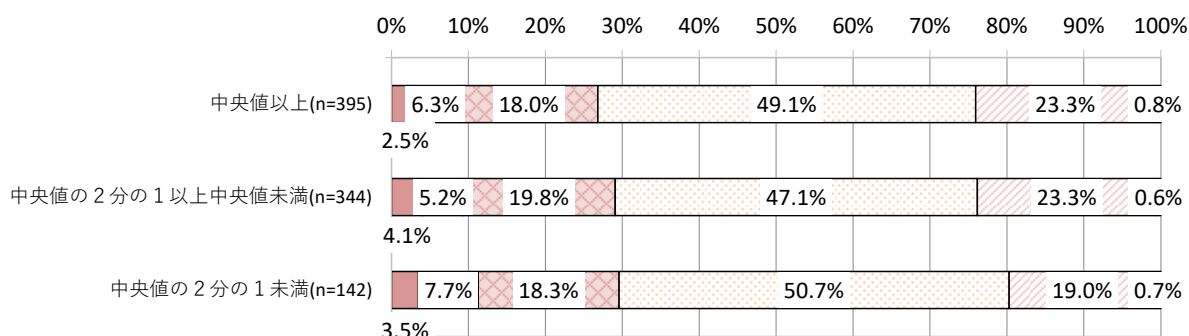
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、授業がわからなくなった時期について「中学2年生になってから」の割合が19.0%で他の世帯と比べて低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「中学2年生になってから」の割合が19.1%で「ふたり親世帯」と比べて低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。

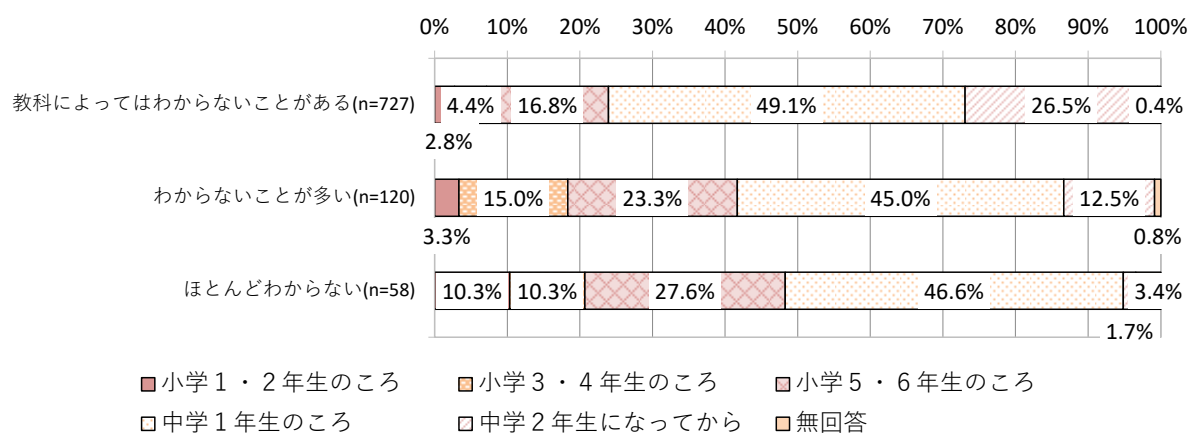
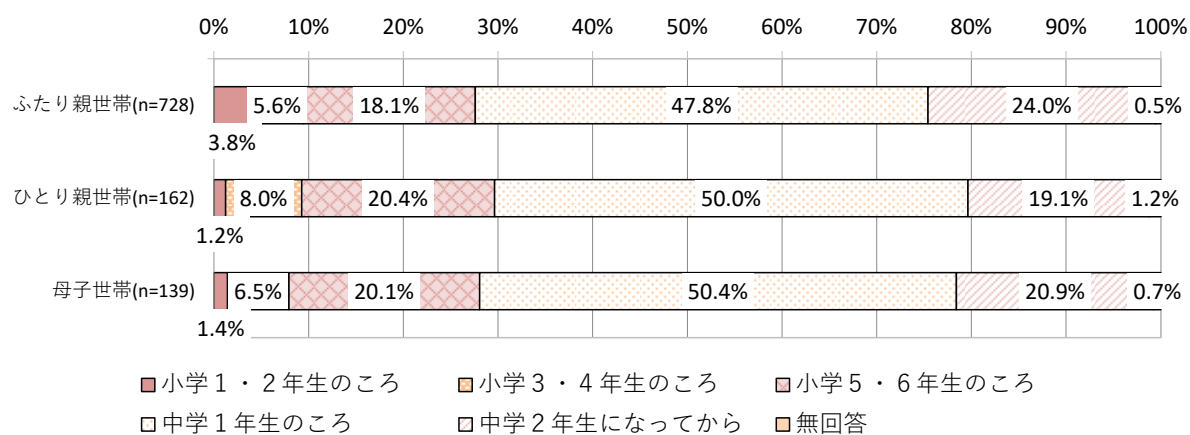
また、授業がわからなくなった時期について授業の理解状況別にみると、授業の理解状況の回答がいずれの場合も、授業がわからなくなった時期の回答は「中学1年生のころ」の割合が最も高いが、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」と回答した場合には、「小学5・6年生のころ」の回答割合が2割超、さらにそれよりも早い時期であるとの回答が約2割となっており、早期からわからなくなったと回答する割合が高くなっている。



■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ
 ■ 小学5・6年生のころ □ 中学1年生のころ
 □ 中学2年生になってから ■ 無回答



■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ ■ 小学5・6年生のころ
 □ 中学1年生のころ □ 中学2年生になってから ■ 無回答



※授業の理解状況別集計結果

2.2.2. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

中学生票問7

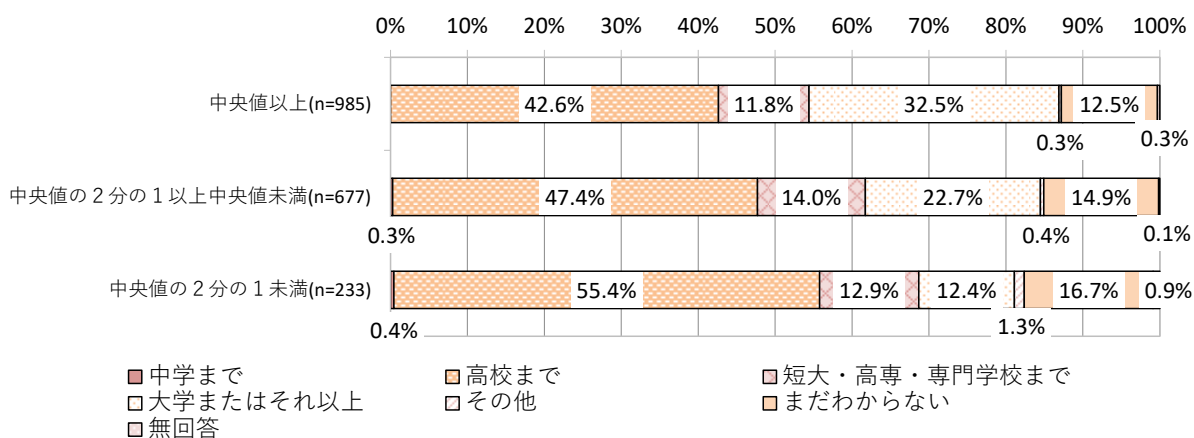
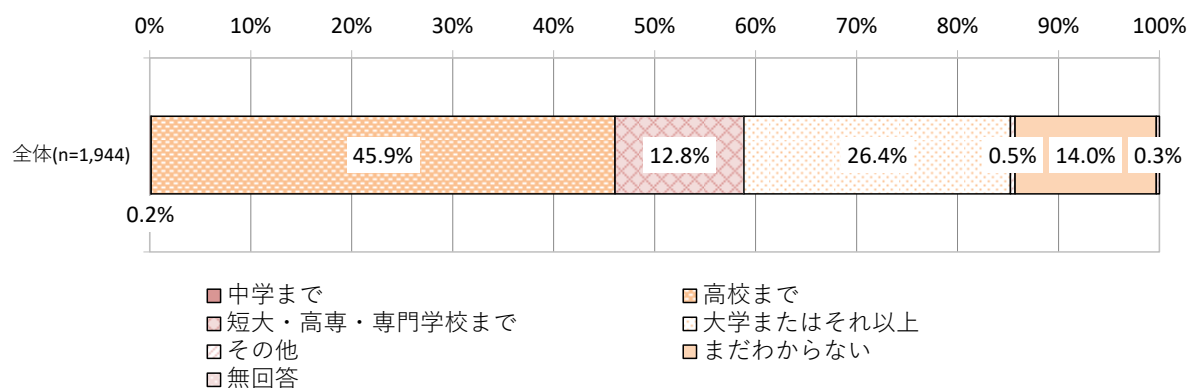
あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(SA)

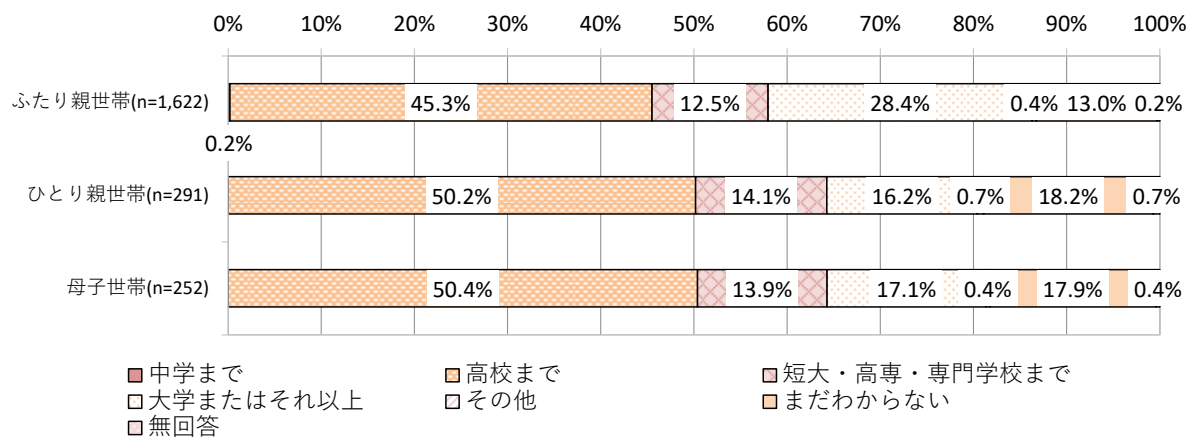
将来どの段階まで進学したいかについては、「高校まで」が45.9%、「大学またはそれ以上」が26.4%、「まだわからない」が14.0%、「短大・高専・専門学校まで」が12.8%、「その他」が0.5%、「中学まで」が0.2%、となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では32.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では22.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では12.4%となっている。

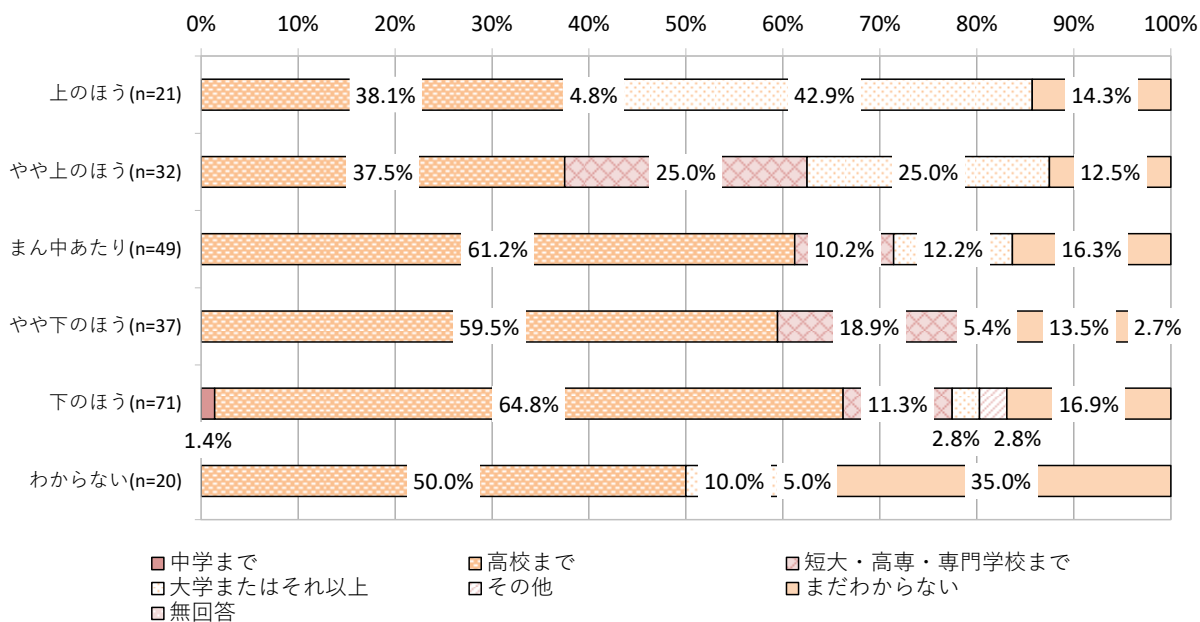
世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では28.4%、「ひとり親世帯」全体では16.2%、「母子世帯」のみでは17.1%となっている。

また、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の場合に、クラスの中での成績別にみると、収入の水準が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、進学したいと思う教育段階について「大学またはそれ以上」の割合が42.9%と比較的高くなっている。





※クラス中での成績別集計結果

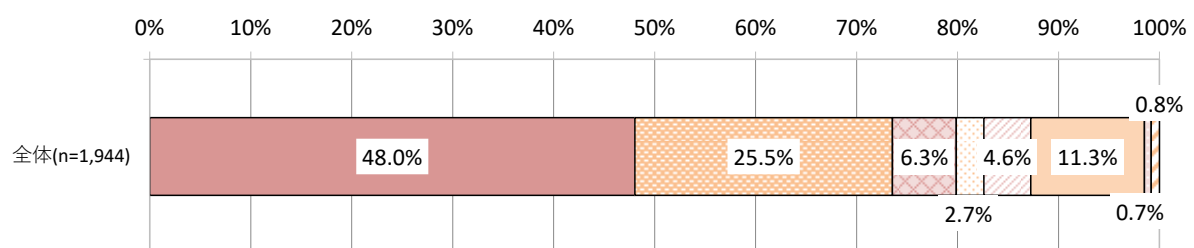


(2) 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

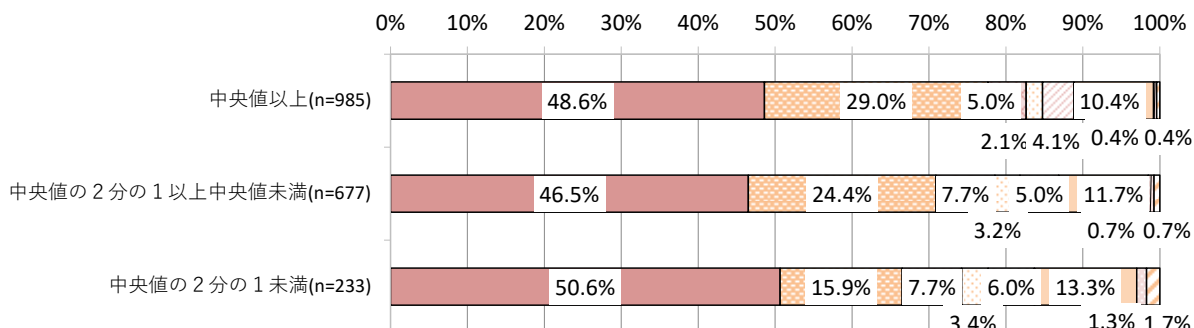
保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望の回答と、子ども自身が進学したいと思う教育段階の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した。その結果、「教育段階一致」の割合は48.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」の割合は、「中央値以上」の世帯では48.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では46.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では50.6%となっている。

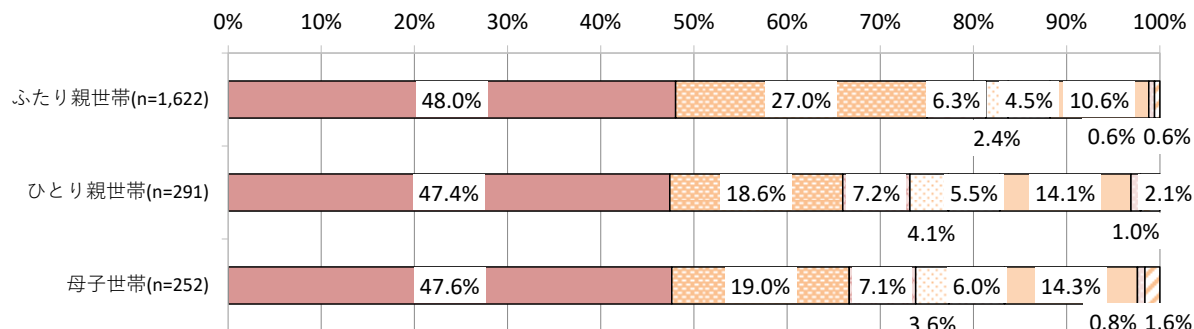
世帯の状況別にみると、「教育段階一致」の割合は、「ふたり親世帯」では48.0%、「ひとり親世帯」全体では47.4%、「母子世帯」のみでは47.6%となっている。



- 教育段階一致
- 保護者の方が高い段階
- 子どもの方が高い段階
- 保護者・子どもともに未定
- 保護者未定
- 子ども未定
- 不明
- 無回答



- 教育段階一致
- 保護者の方が高い段階
- 子どもの方が高い段階
- 保護者・子どもともに未定
- 保護者未定
- 子ども未定
- 不明
- 無回答



- 教育段階一致
- 保護者の方が高い段階
- 子どもの方が高い段階
- 保護者・子どもともに未定
- 保護者未定
- 子ども未定
- 不明
- 無回答

(3) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

中学生票問8

進学したいと思う教育段階の問で「まだわからない」以外を選んだ場合、その理由を答えてください。(MA)

進学希望の理由について、全体としては、「希望する学校や職業があるから」が 58.1%、「自分の成績から考えて」が 19.0%、「親がそう言っているから」が 16.5%となっている。

進学したいと思う教育段階別にみると、進学希望の教育段階が「高校まで」の場合には、「とくに理由はない」が 19.3%で、他の場合と比べて高くなっている。他方で、「希望する学校や職業があるから」の回答割合は低くなっている。

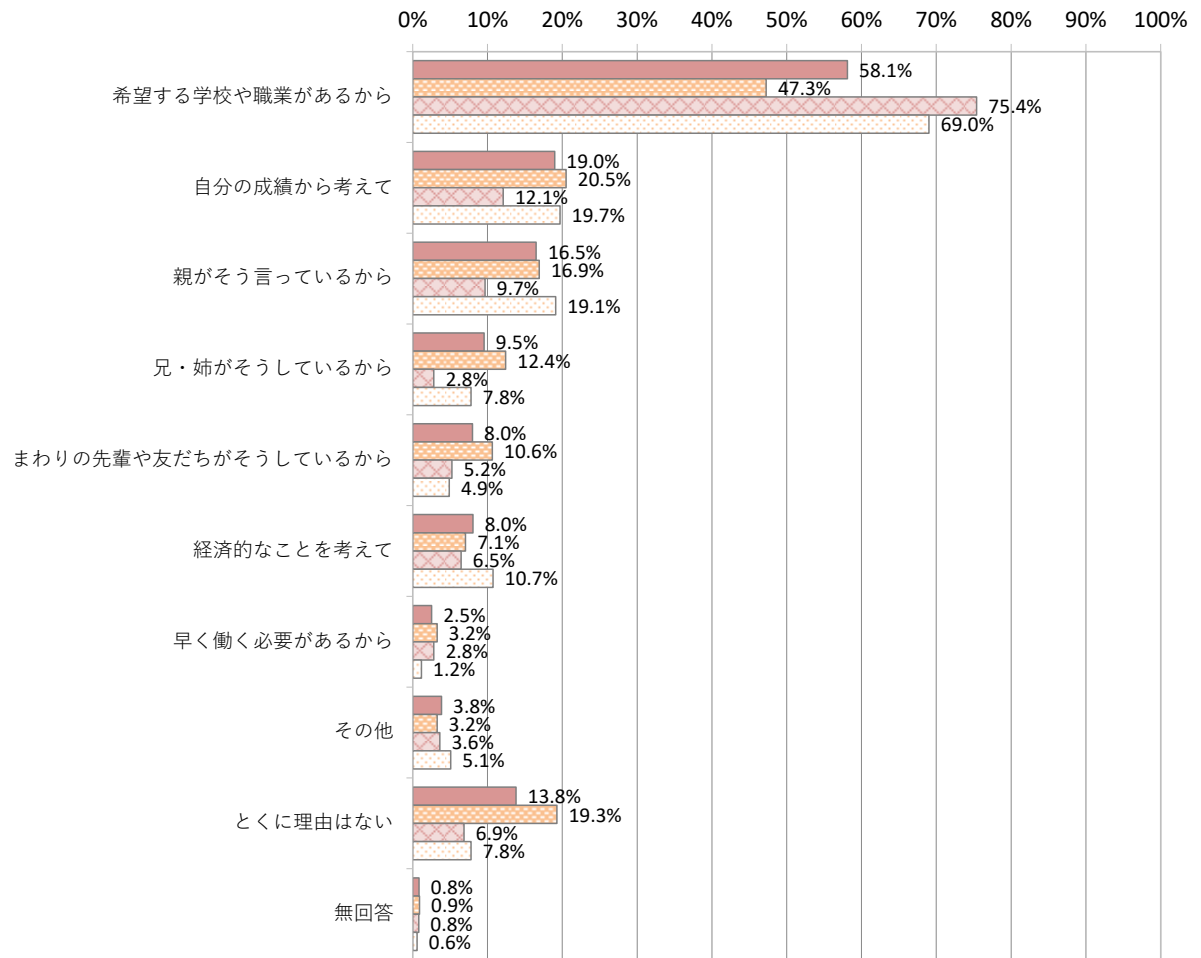
「短大・高専・専門学校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 90.0%、「経済的なことを考えて」の割合が 13.3%で、それぞれそれ以外の世帯と比べて高くなっている。他方で、「とくに理由はない」の回答割合は低くなっている。

「大学またはそれ以上」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の成績から考えて」の割合が 10.3%で、それ以外の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「高校まで」と回答した場合の理由について、「ひとり親世帯」では、「希望する学校や職業があるから」は 52.1%で「ふたり親世帯」と比べて高く、他方で、「自分の成績から考えて」が 16.4%と比較的低くなっている。

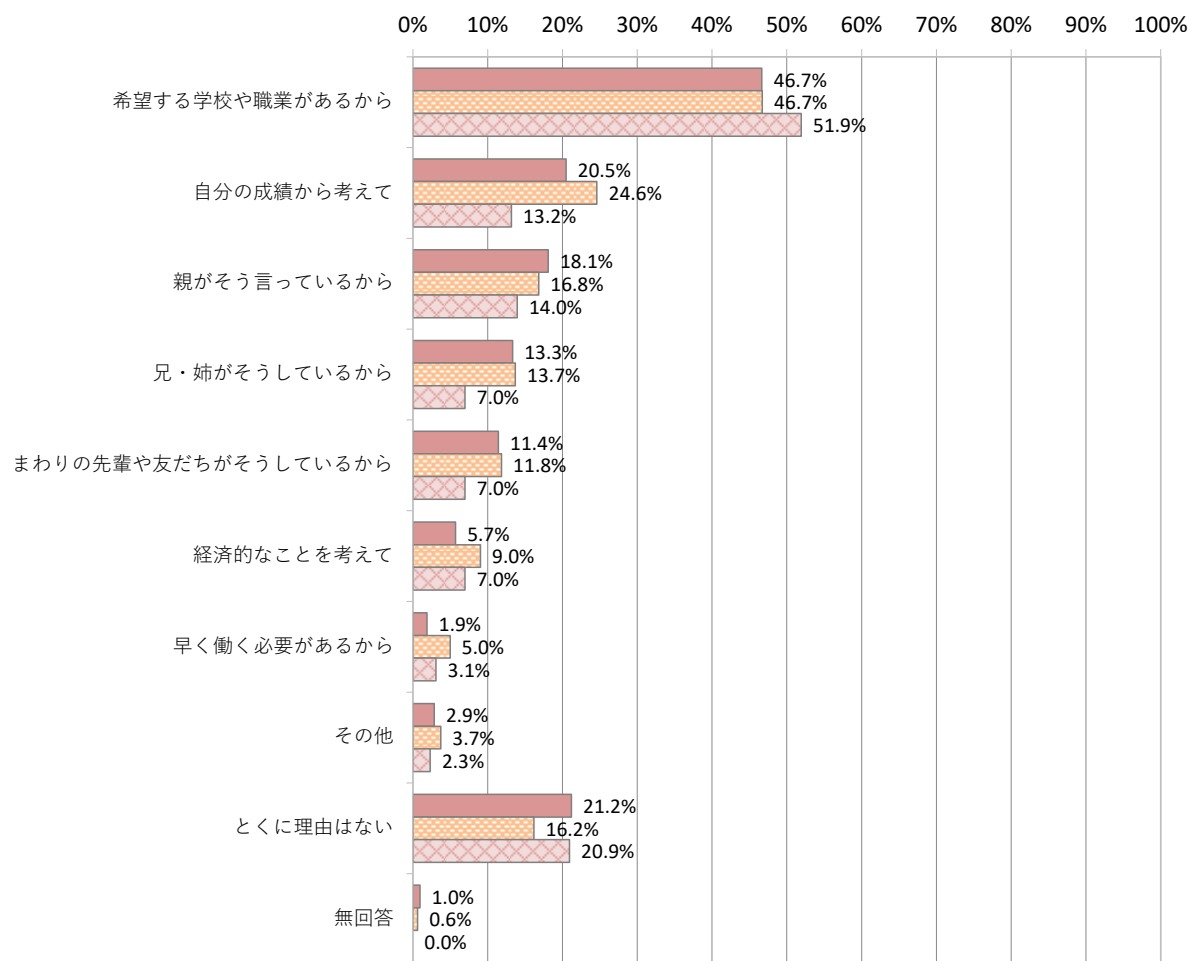
「短大・高専・専門学校まで」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 80.5%、「自分の成績から考えて」の割合が 19.5%、「経済的なことを考えて」の割合が 12.2%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

「大学またはそれ以上」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「兄・姉がそうしているから」の割合が 2.1%で、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

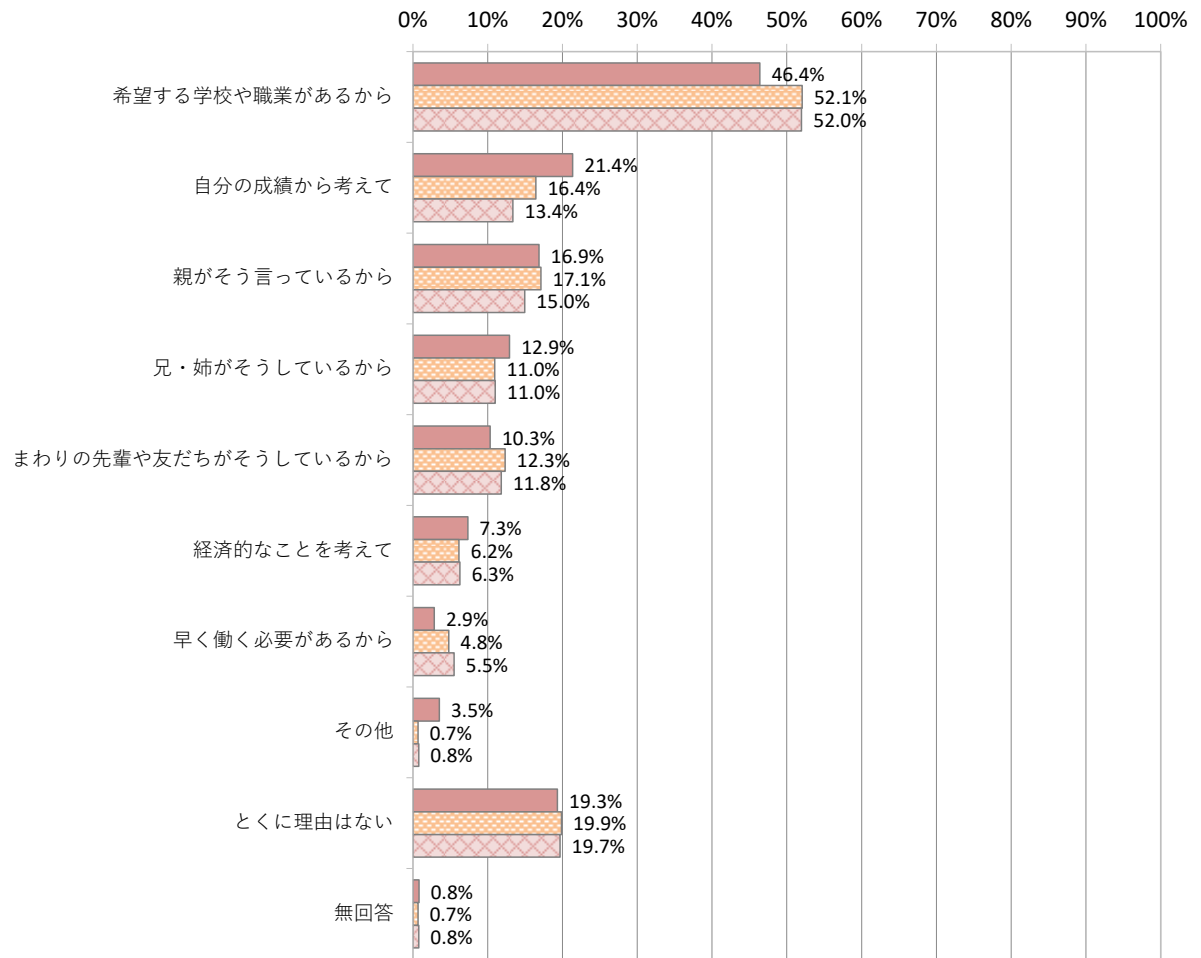


■全体(n=1,666) ■高校まで(n=893) ■短大・高専・専門学校まで(n=248) □大学またはそれ以上(n=513)

※「高校まで」と考える理由

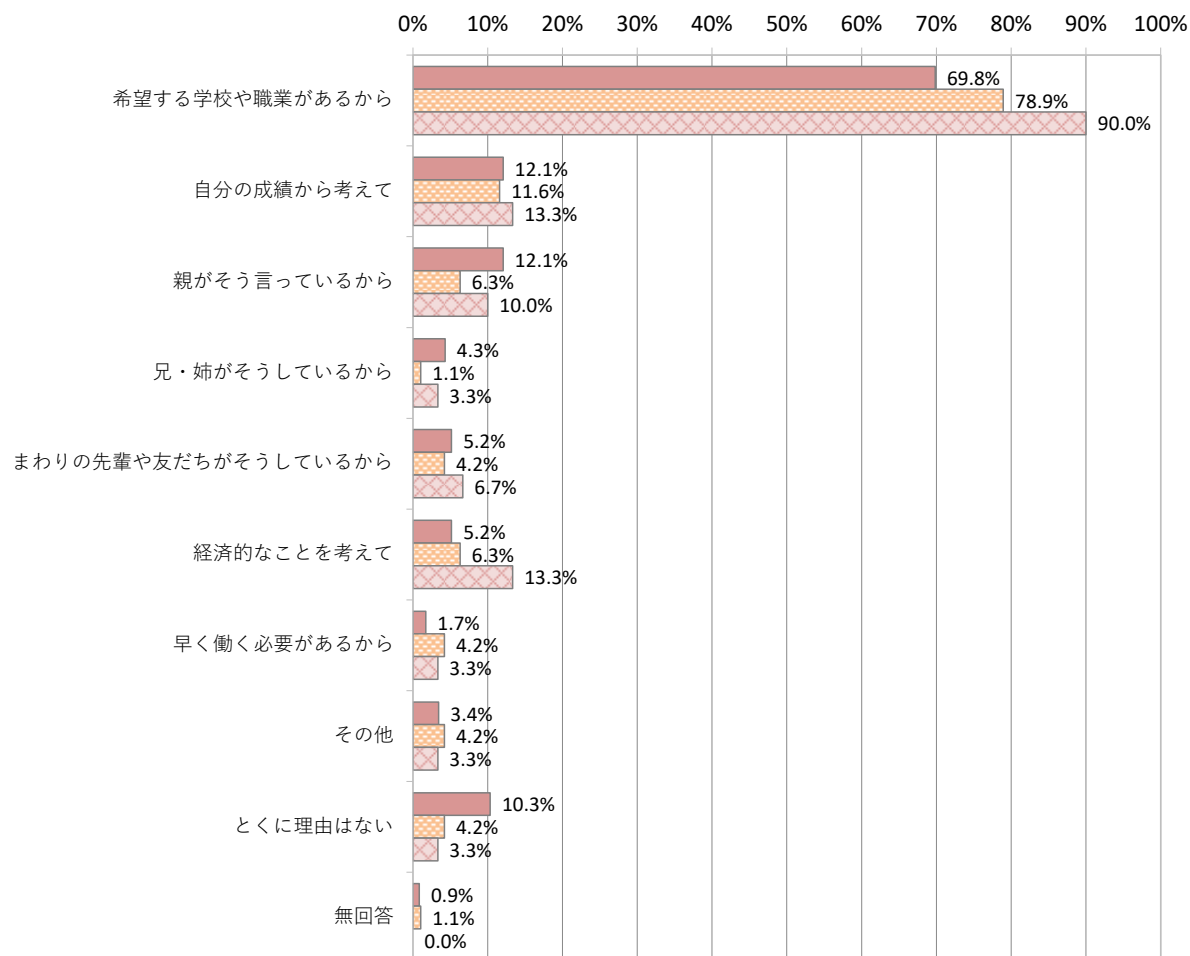


■ 中央値以上(n=420) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=321) ■ 中央値の2分の1未満(n=129)

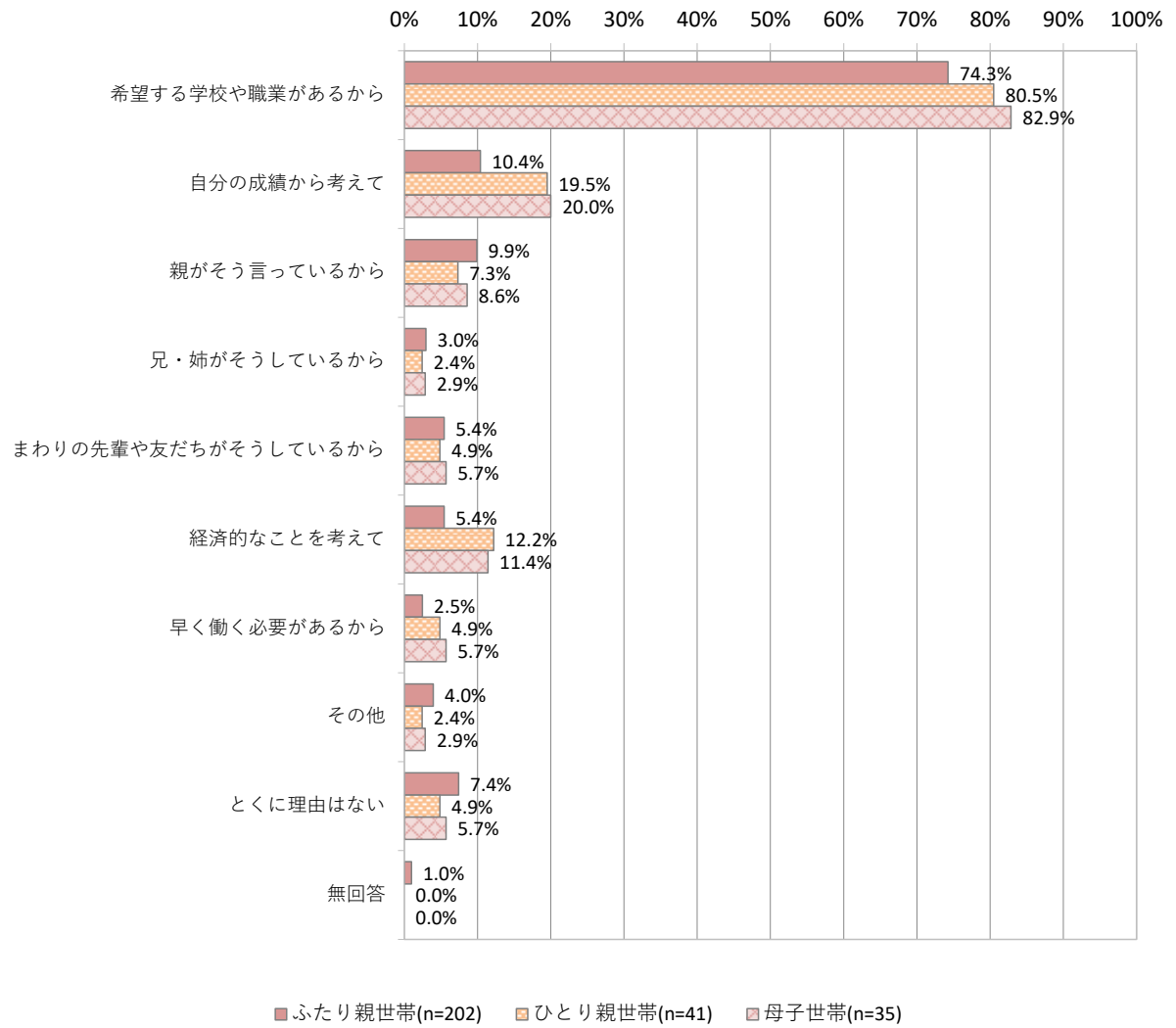


■ ふたり親世帯(n=735) ■ ひとり親世帯(n=146) ■ 母子世帯(n=127)

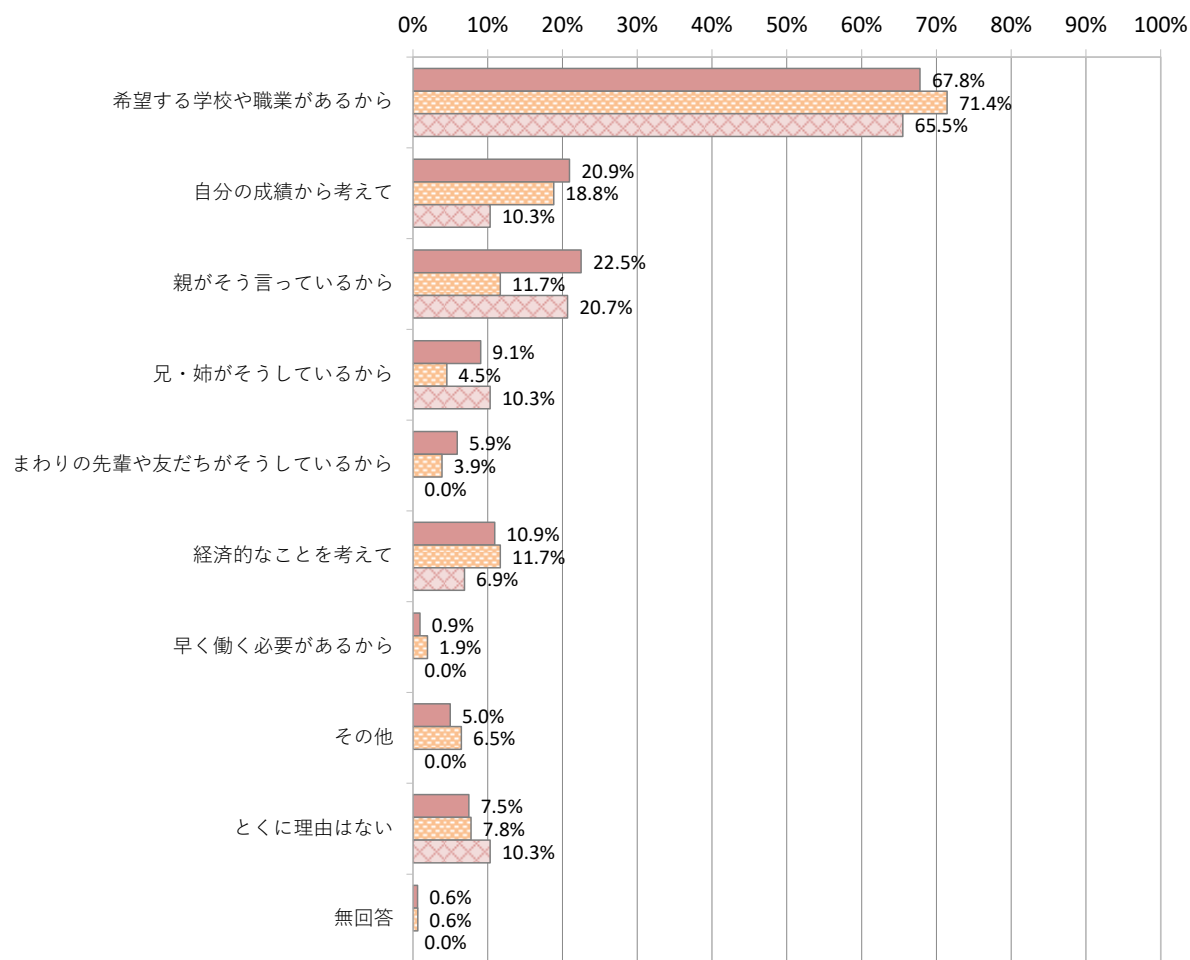
※「短大・高専・専門学校まで」と考える理由



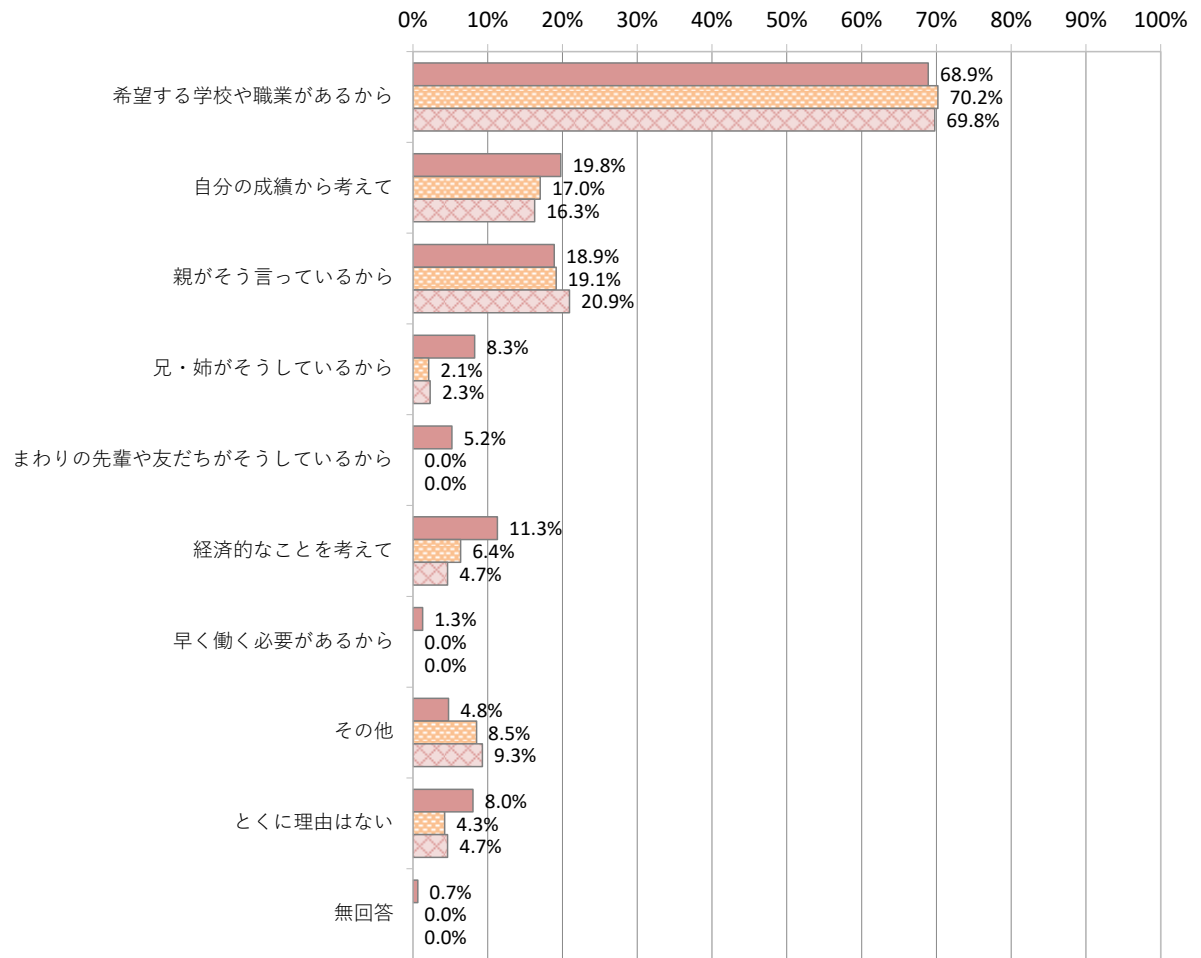
■ 中央値以上(n=116) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=95) ■ 中央値の2分の1未満(n=30)



※「大学またはそれ以上」と考える理由



■ 中央値以上(n=320) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=154) ■ 中央値の2分の1未満(n=29)



■ふたり親世帯(n=460) ■ひとり親世帯(n=47) ■母子世帯(n=43)

2.2.3. 部活動等への参加状況

(1) 部活動等への参加状況

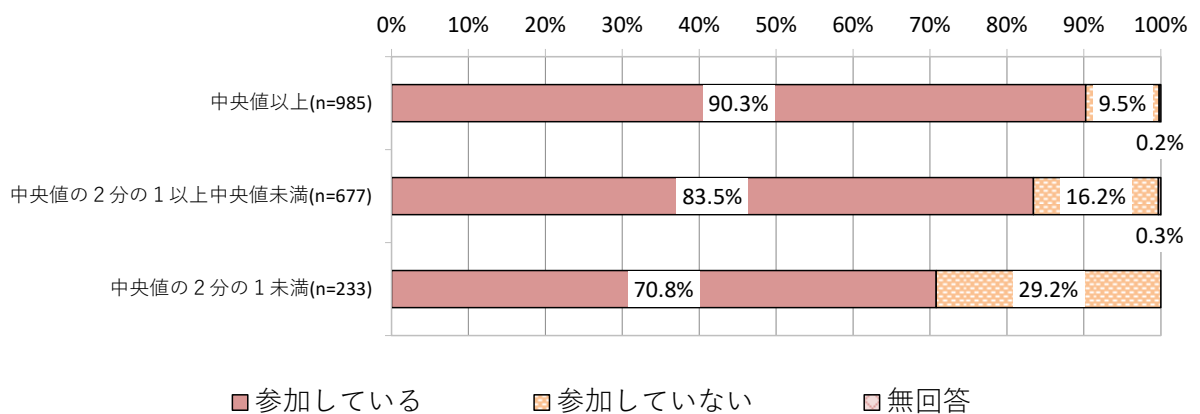
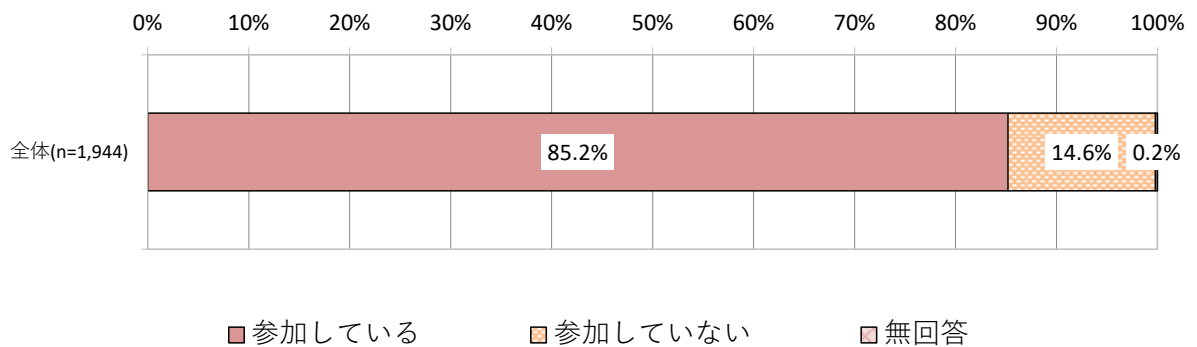
中学生票問9

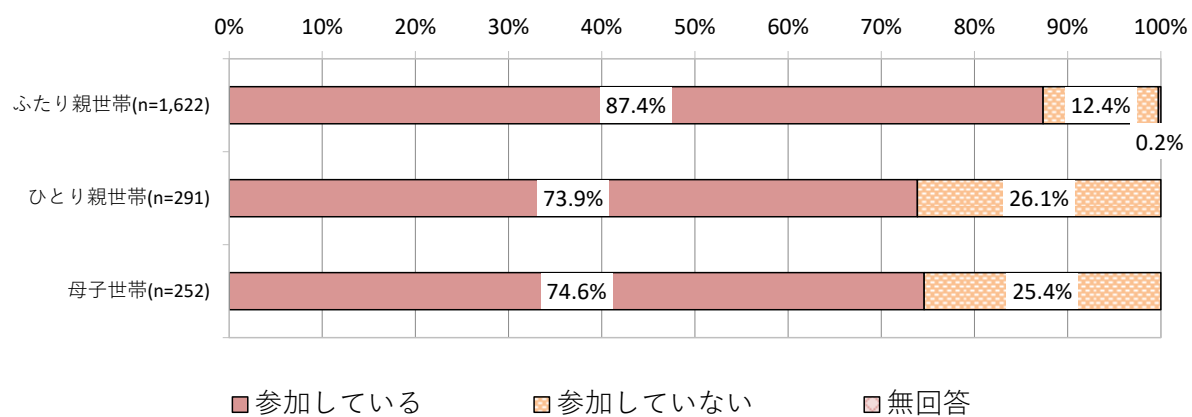
あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(SA)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況については、「参加している」が85.2%、「参加していない」が14.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では9.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では16.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では12.4%、「ひとり親世帯」全体では26.1%、「母子世帯」のみでは25.4%となっている。





(2) 部活動等に参加していない理由

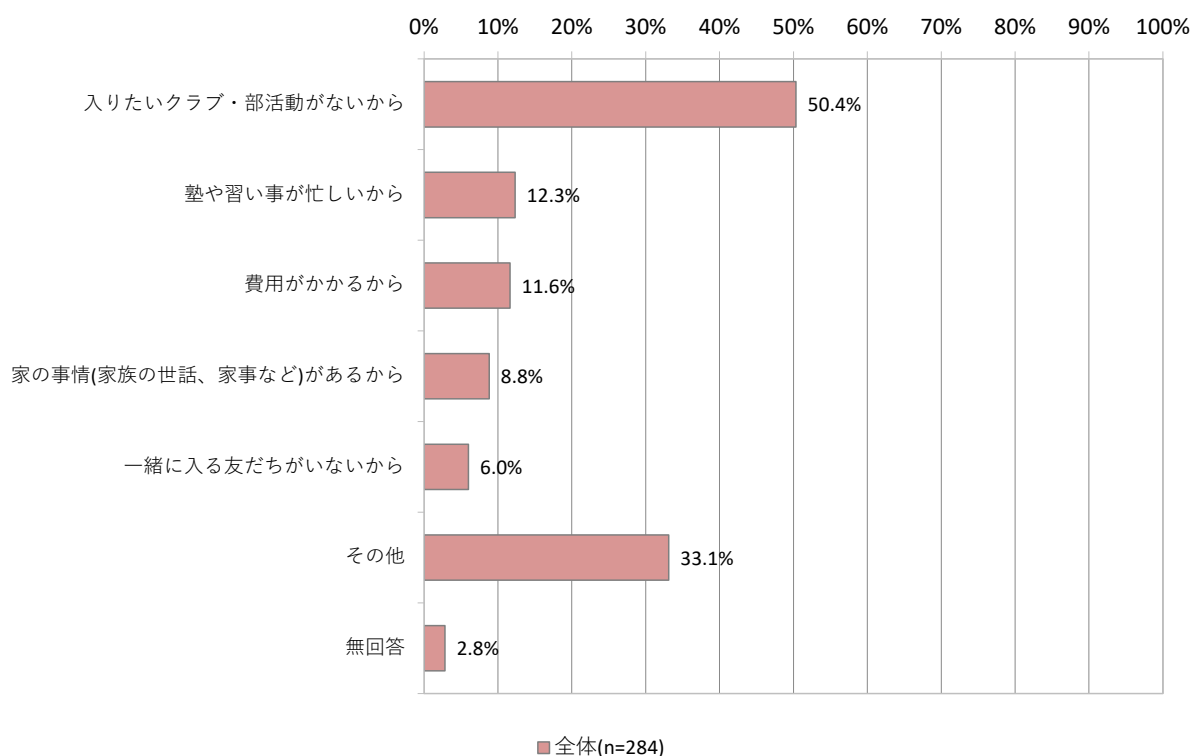
中学生票問 10

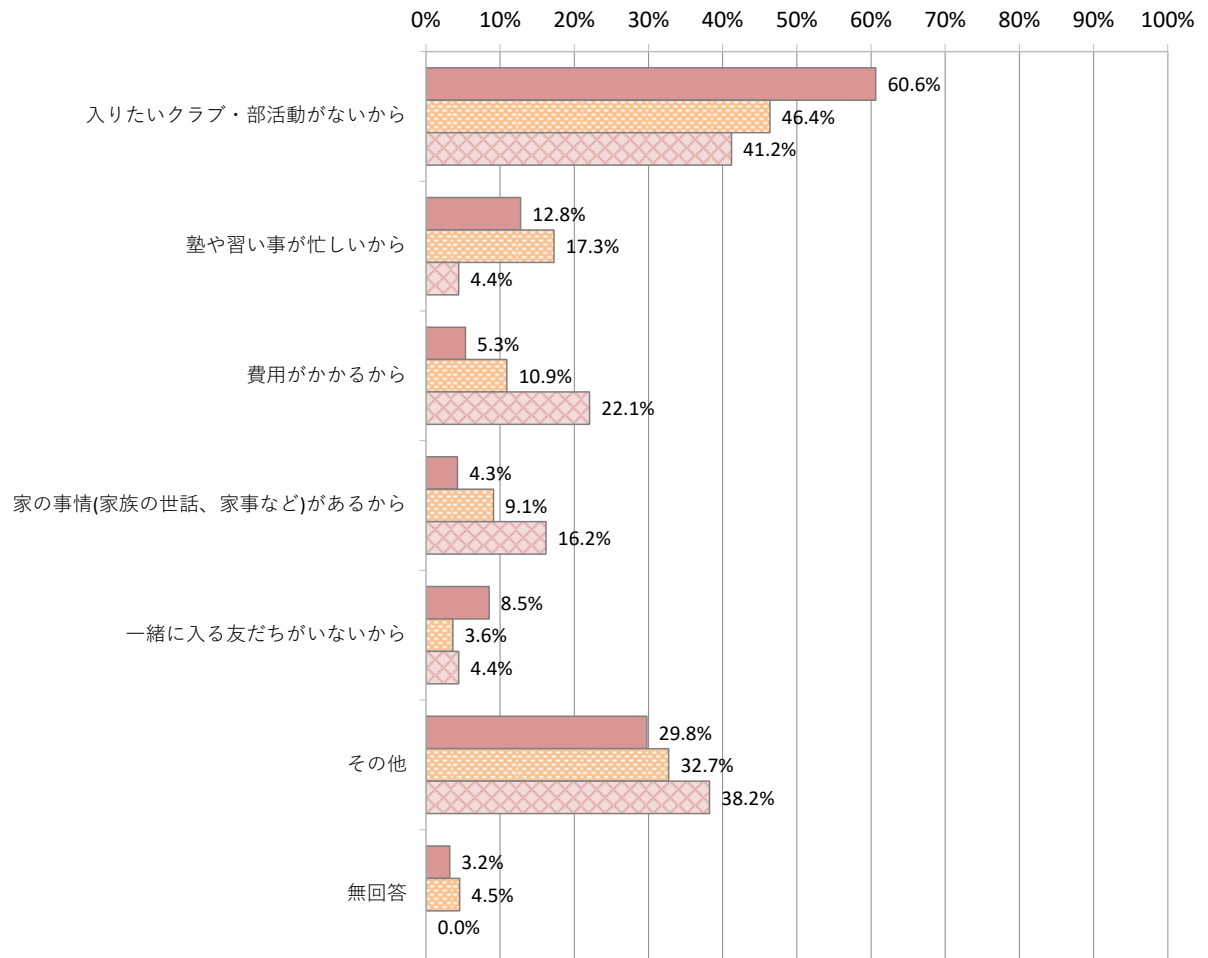
部活動等への参加状況の問で「参加していない」と答えた場合、参加していない理由は何ですか。(MA)

部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 50.4%、「その他」が 33.1%となっている。

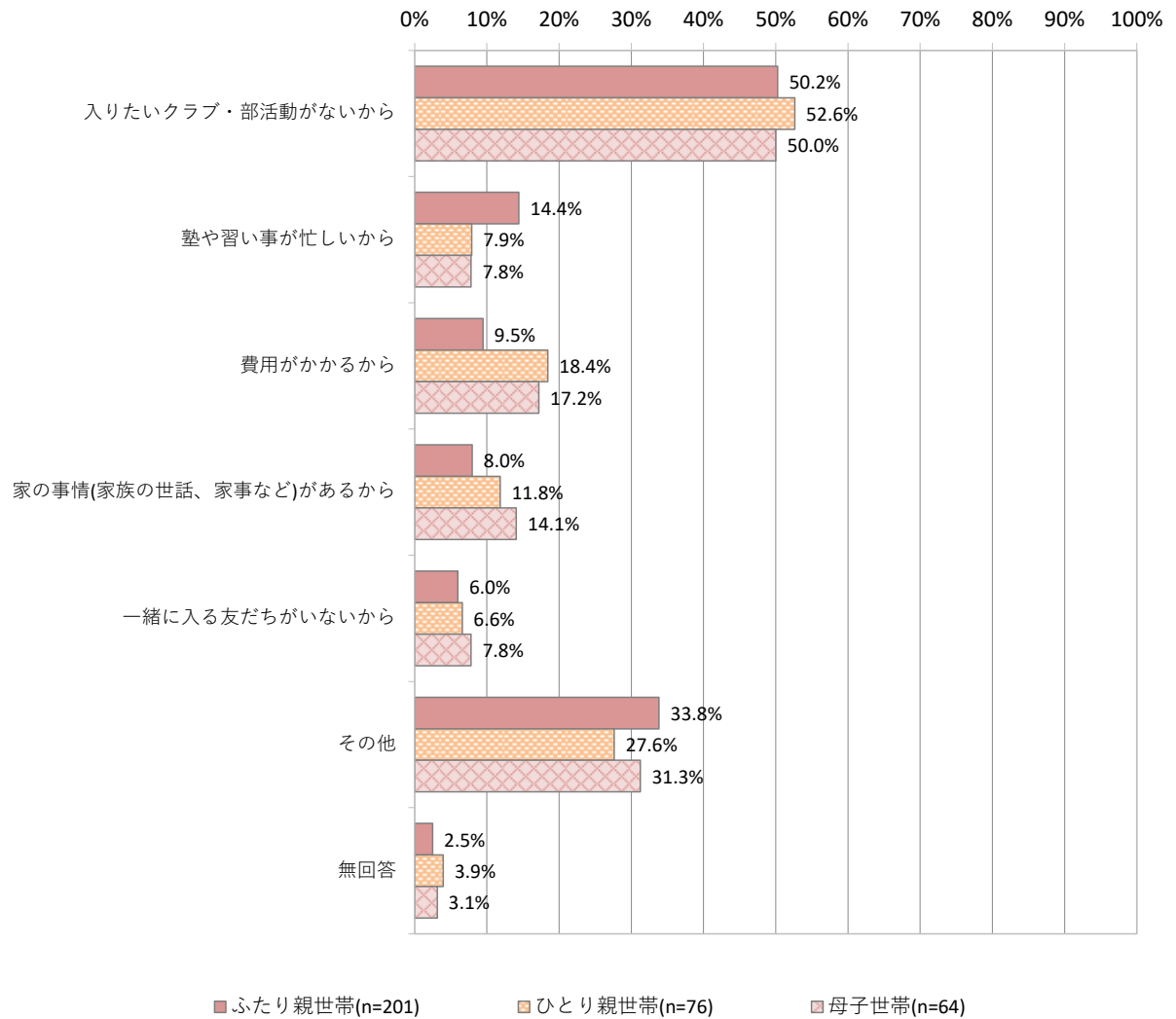
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「費用がかかるから」が 22.1%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が 16.2%で、他の世帯と比べて高くなっている。他方で、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 41.2%、「塾や習い事が忙しいから」は 4.4%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「費用がかかるから」が 18.4%で「ふたり親世帯」と比べて高く、「塾や習い事が忙しいから」は 7.9%で低くなっている。





■ 中央値以上(n=94) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=110) ■ 中央値の2分の1未満(n=68)



2.2.4. 日常的な生活の状況

(1) 食事の状況

中学生票問 11

あなたは、週にどのくらい、食事をしていますか。(SA)

- a. 朝食
- b. 夕食
- c. 夏休みや冬休みなどの期間の昼食
- d. 土・日曜日・祝日の昼食

食事の状況について、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が83.1%、「週5～6日」が9.4%、「週3～4日」が3.0%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.3%となっている。

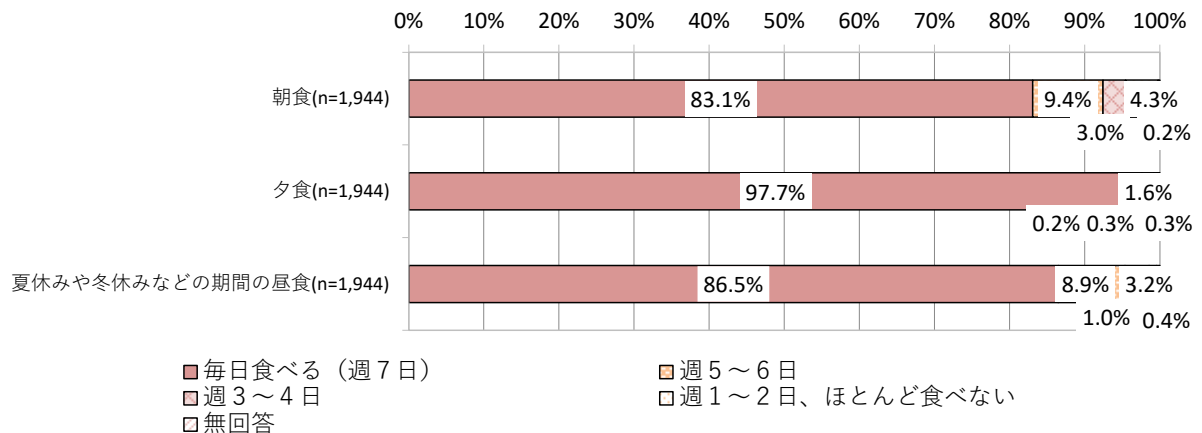
「夕食」については、「毎日食べる（週7日）」が97.7%、「週5～6日」が1.6%、「週3～4日」が0.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.3%となっている。

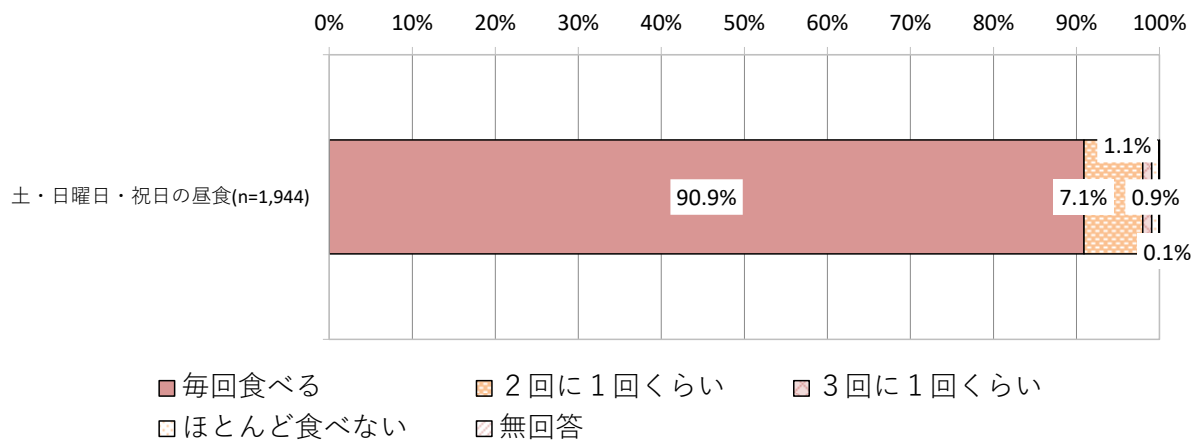
「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が86.5%、「週5～6日」が8.9%、「週3～4日」が3.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が1.0%となっている。

「土・日曜日・祝日の昼食」については、「毎回食べる」が90.9%、「2回に1回くらい」が7.1%、「3回に1回くらい」が1.1%、「ほとんど食べない」が0.9%となっている。

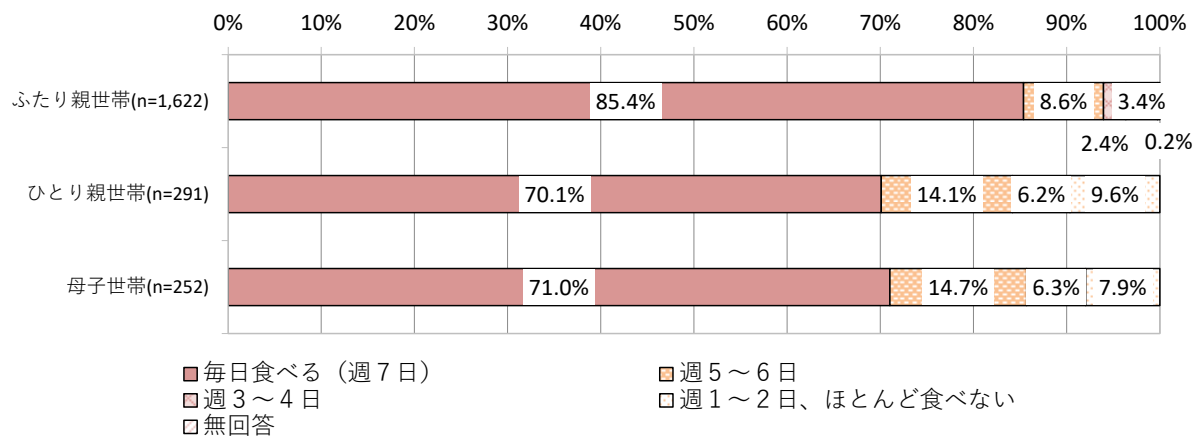
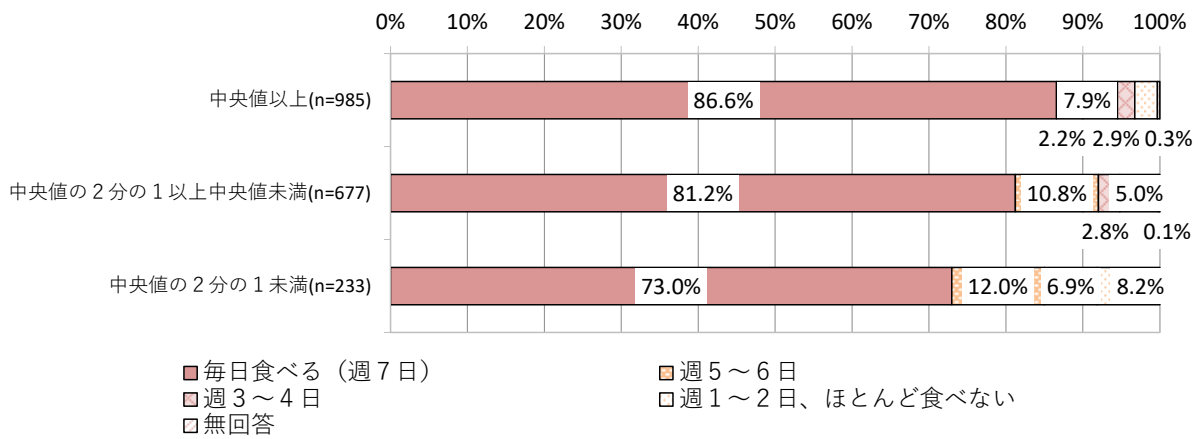
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「毎日食べる（週7日）」「毎回食べる」の割合が、「朝食」について73.0%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について79.0%、「土・日曜日・祝日の昼食」について85.8%と、他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「毎日食べる（週7日）」「毎回食べる」の割合が、「朝食」について70.1%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について77.7%、「土・日曜日・祝日の昼食」について83.2%と、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

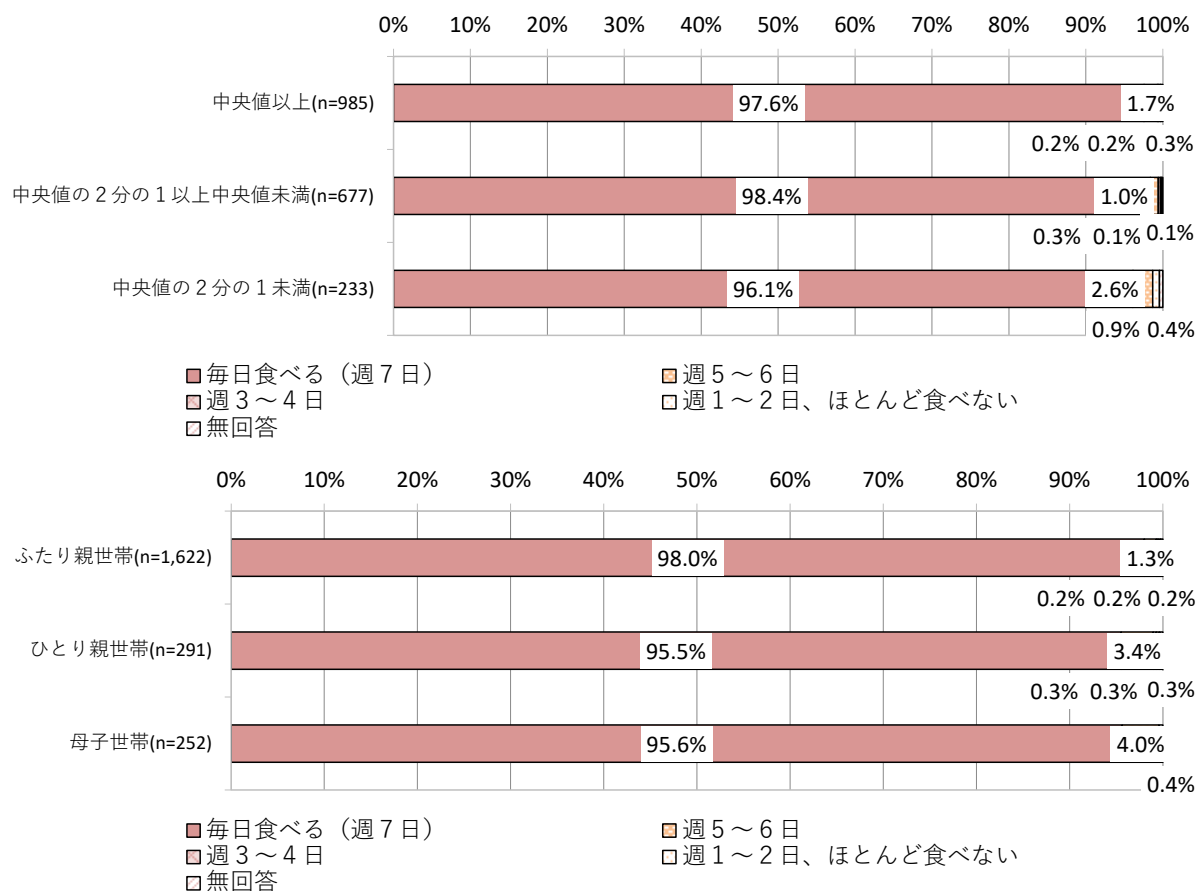




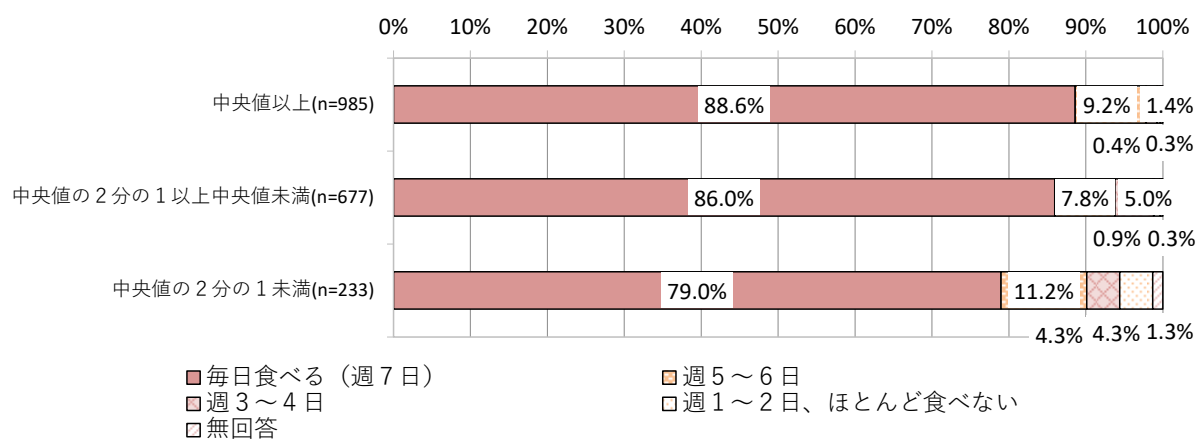
※朝食

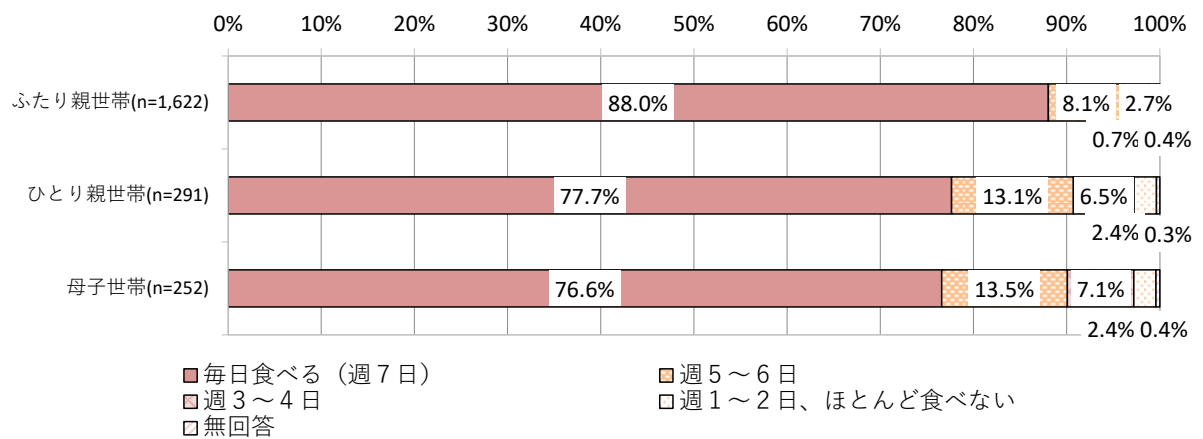


※夕食

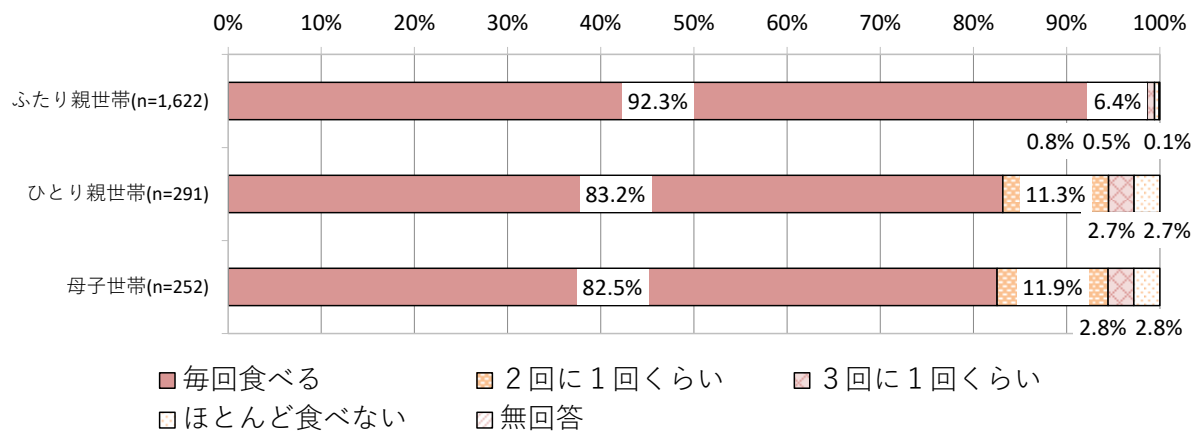
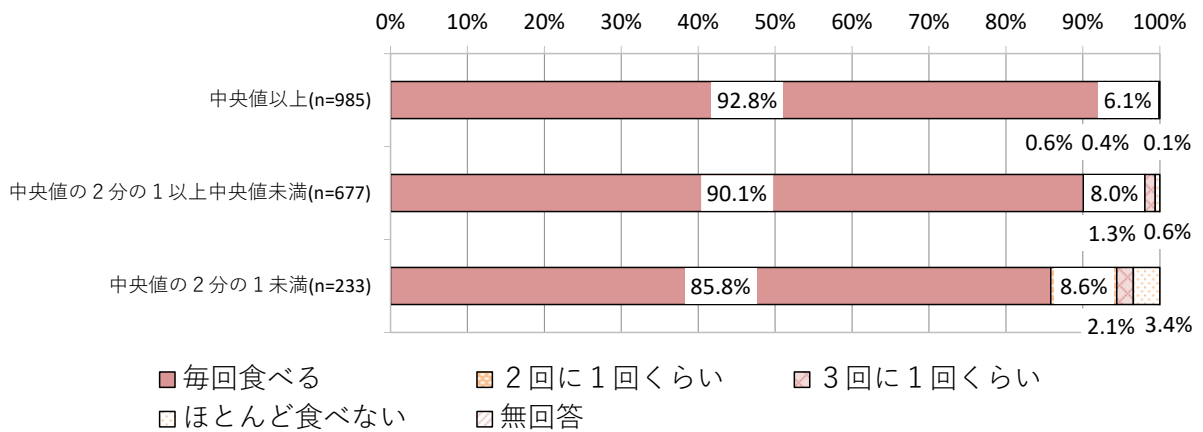


※夏休みや冬休みなどの期間の昼食





※土・日曜日・祝日の昼食



(2) 共食の状況

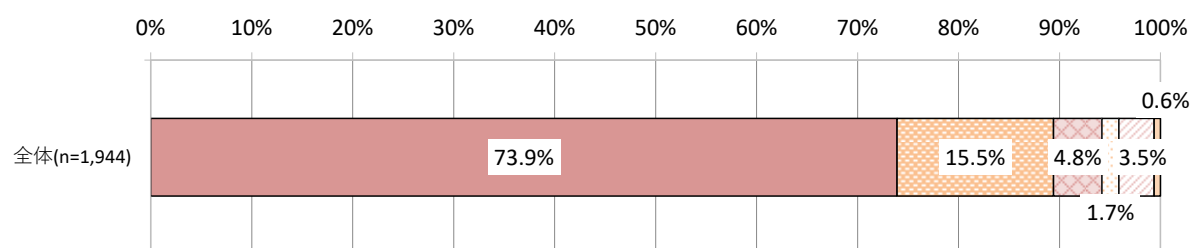
中学生票問 11-2

あなたは主に誰と食事をしていますか。(SA)

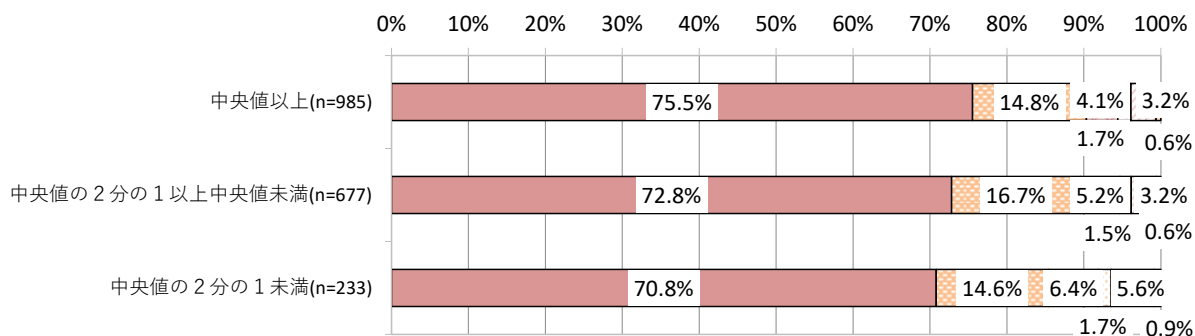
主に誰と食事をしているかについて、「家族全員」が73.9%、「親」が15.5%、「きょうだい」が4.8%、「その他」が1.7%、「1人で食事をしている」が3.5%となっている。「家族全員」と「親」を合わせた割合は89.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「家族全員」と「親」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では90.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では89.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では85.4%となっている。

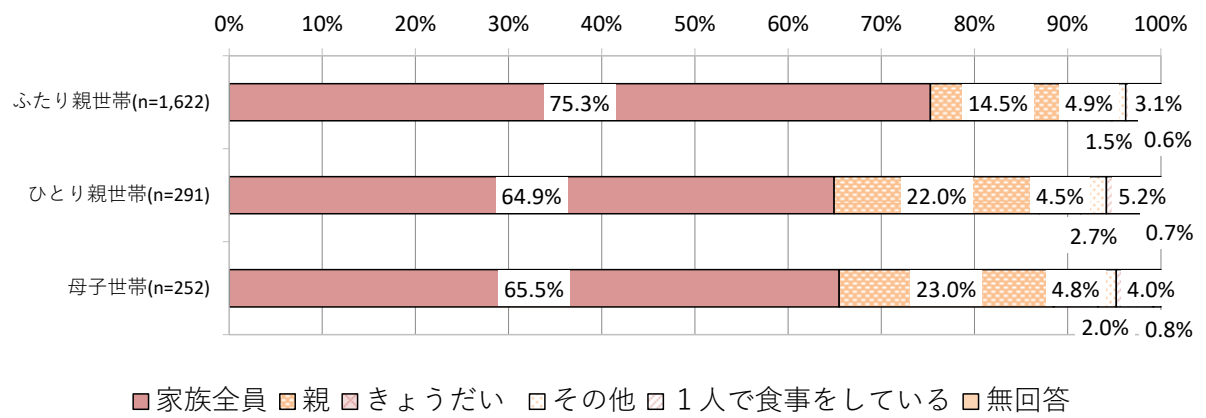
世帯の状況別にみると、「家族全員」と「親」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では89.8%、「ひとり親世帯」全体では86.9%、「母子世帯」のみでは88.5%となっている。



■ 家族全員 ■ 親 ■ きょうだい □ その他 □ 1人で食事をしている ■ 無回答



■ 家族全員 ■ 親 ■ きょうだい □ その他 □ 1人で食事をしている ■ 無回答



(3) 就寝時間

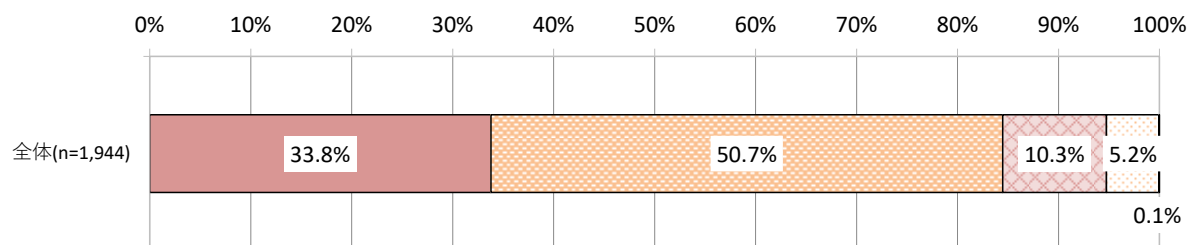
中学生票問 12

あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(SA)

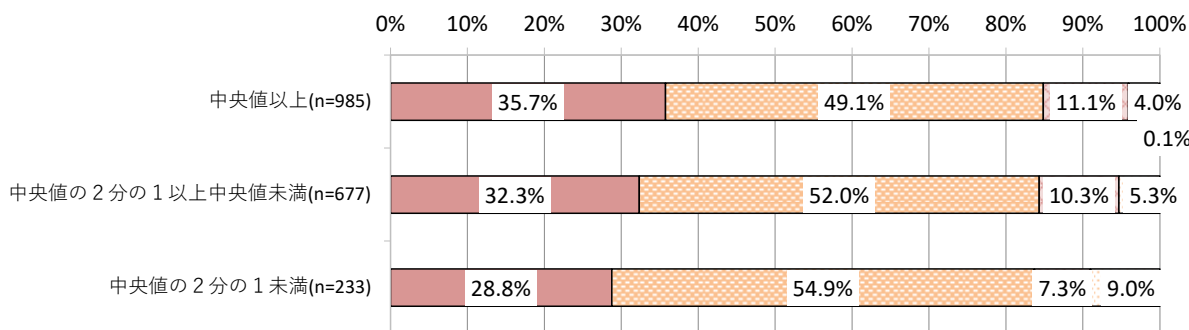
就寝時間に関して、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」が 33.8%、「どちらかといえばそうである」が 50.7%、「どちらかといえばそうではない」が 10.3%、「そうではない」が 5.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「そうである」の割合が 28.8%と他の世帯と比べて低くなっている。

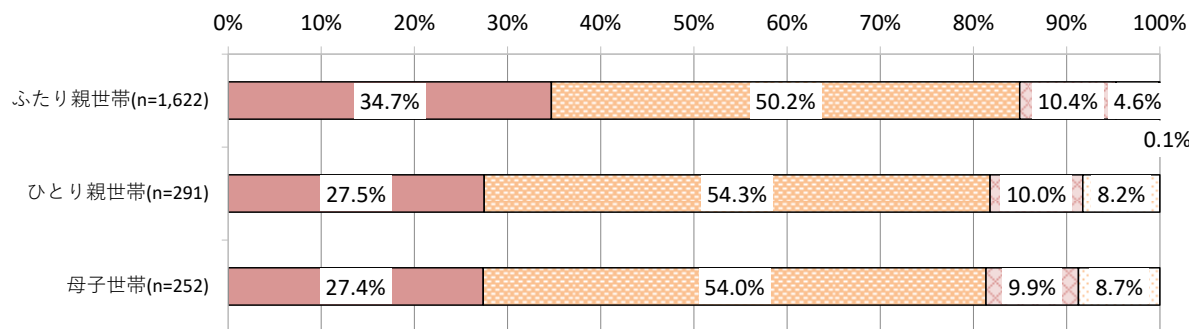
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「そうである」の割合が 27.5%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答

(4) 相談できると思う相手

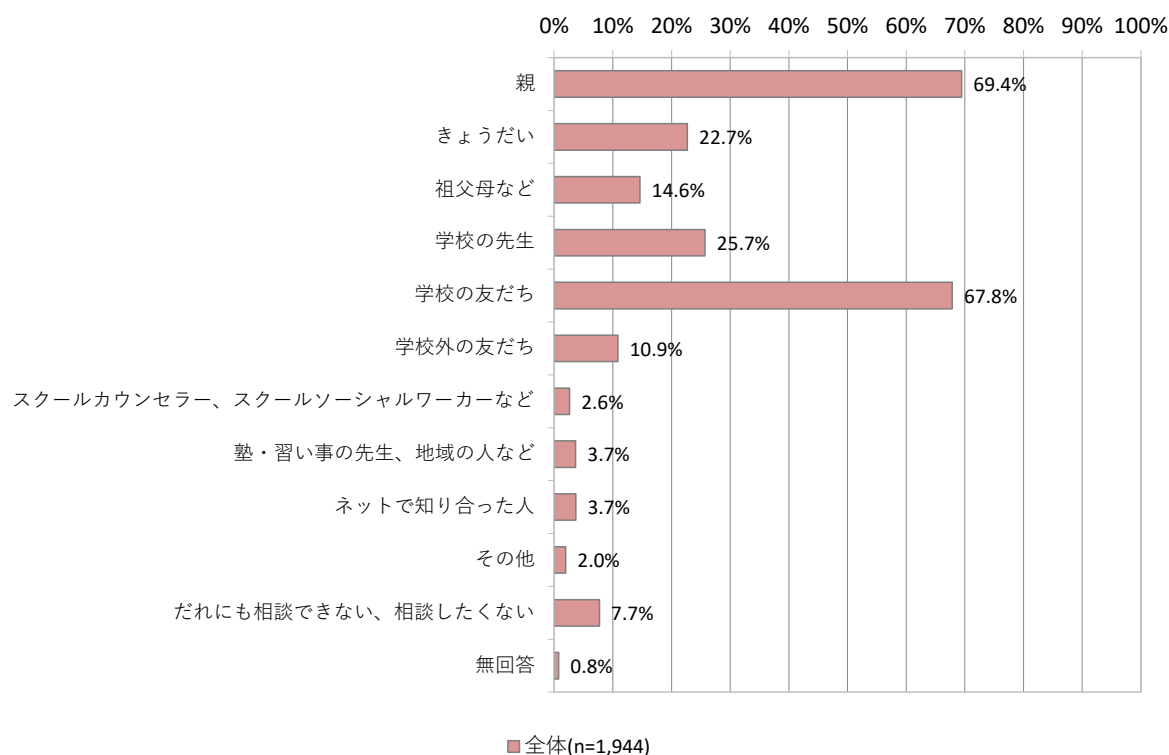
中学生票問 13

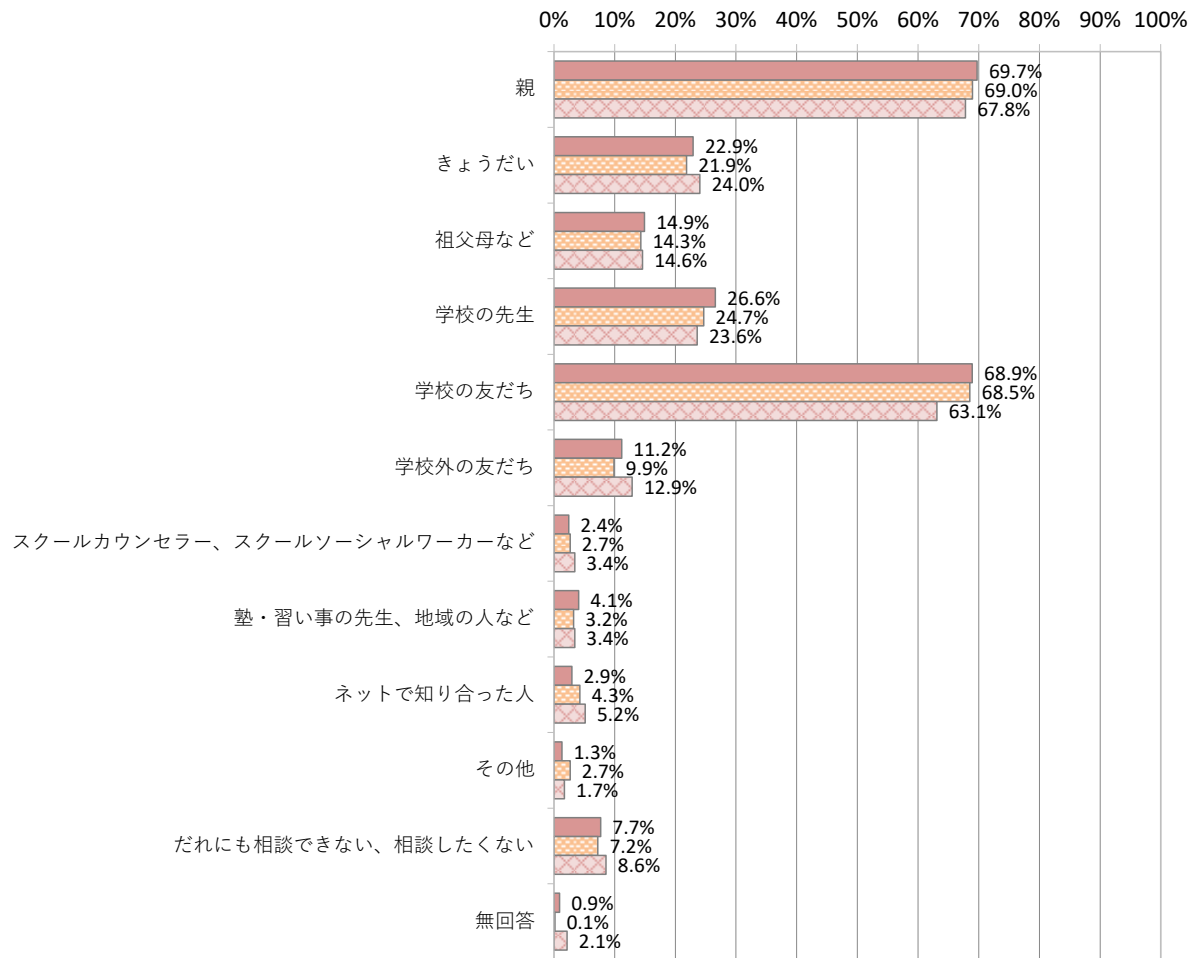
あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、「親」が 69.4%、「学校の友だち」が 67.8%、「学校の先生」が 25.7%となっている。

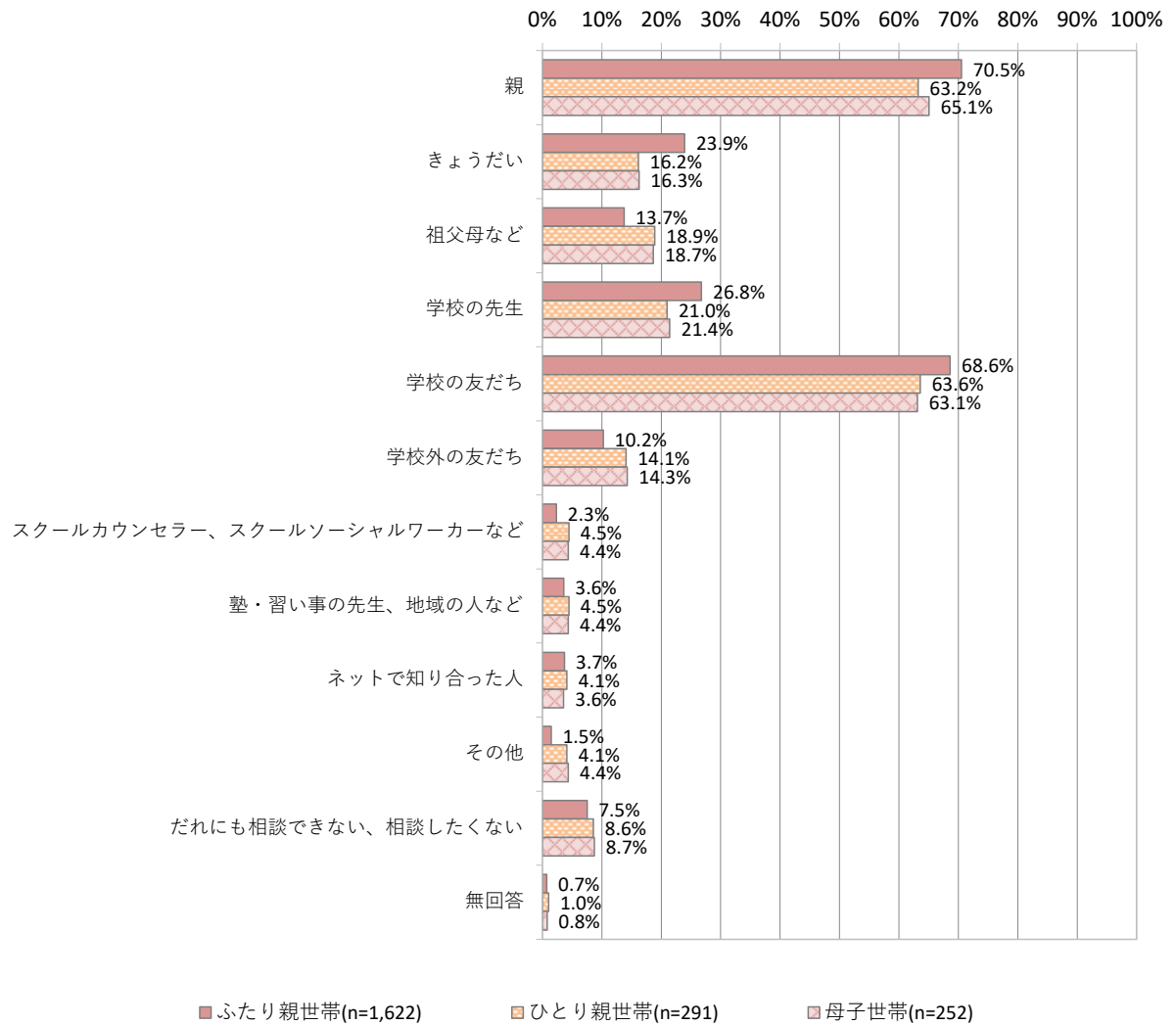
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「学校の友だち」が 63.1%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「親」が 63.2%、「きょうだい」が 16.2%、「学校の先生」が 21.0%、「学校の友だち」が 63.6%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(5) 生活満足度

中学生票問 14

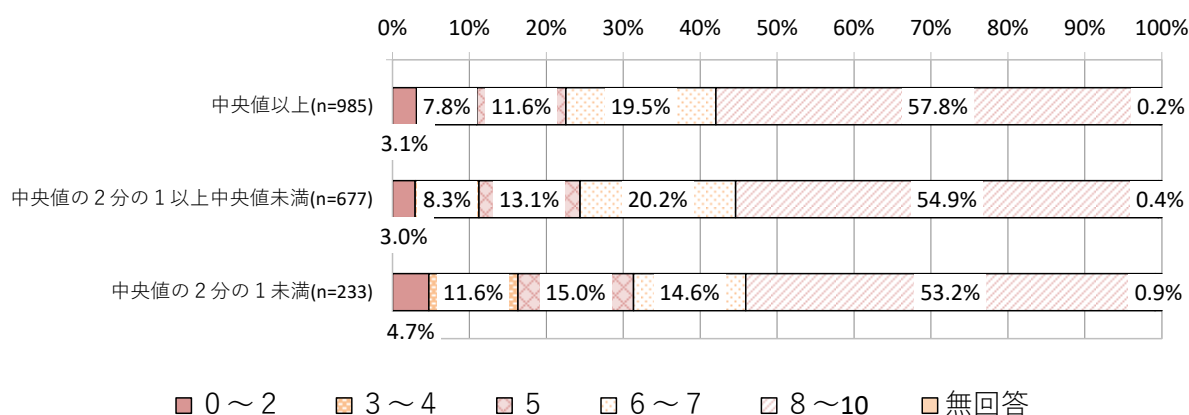
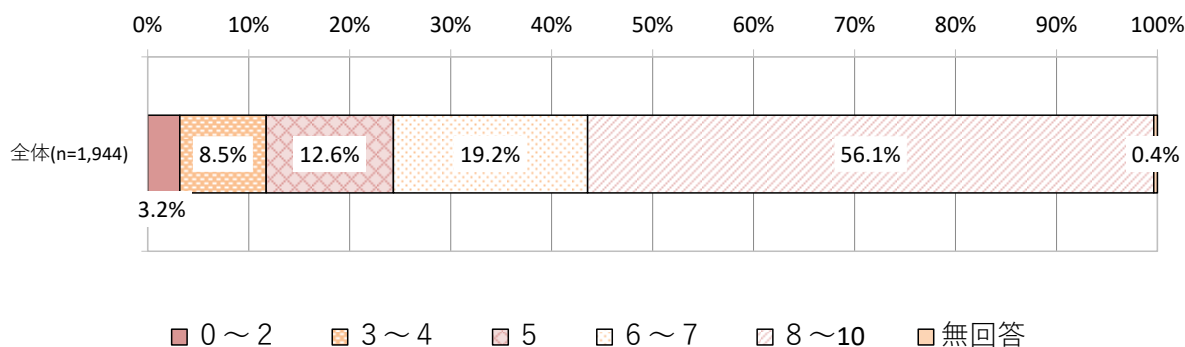
全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（SA）

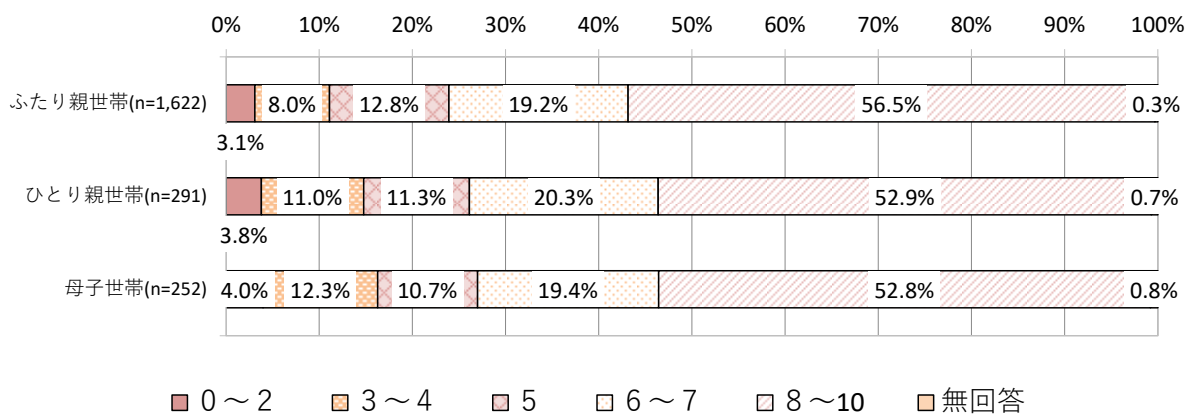
最近の生活の満足度については、「0～2」に該当する割合が3.2%、「3～4」に該当する割合が8.5%、「5」に該当する割合が12.6%、「6～7」に該当する割合が19.2%、「8～10」に該当する割合が56.1%となっている。

満足度が高い方の回答（6～10）割合は75.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は67.8%で、「中央値以上」の世帯と比べて生活満足度が低くなっている。

世帯の状況別についてみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は73.2%で、「ふたり親世帯」と比べて生活満足度が低くなっている。





(6) 自分で自由に使えるお金の有無

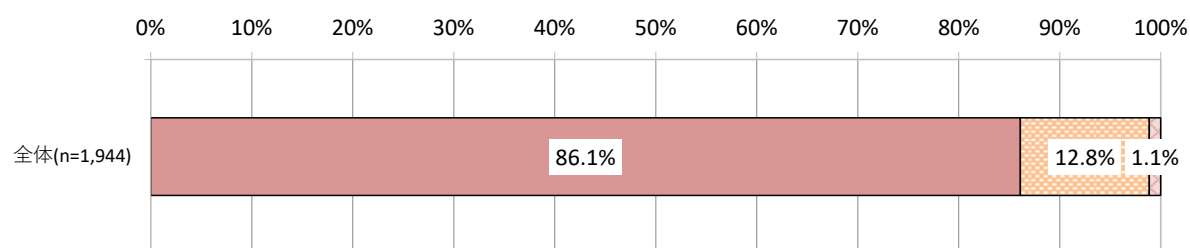
中学生票問 20

あなたは、自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。（SA）

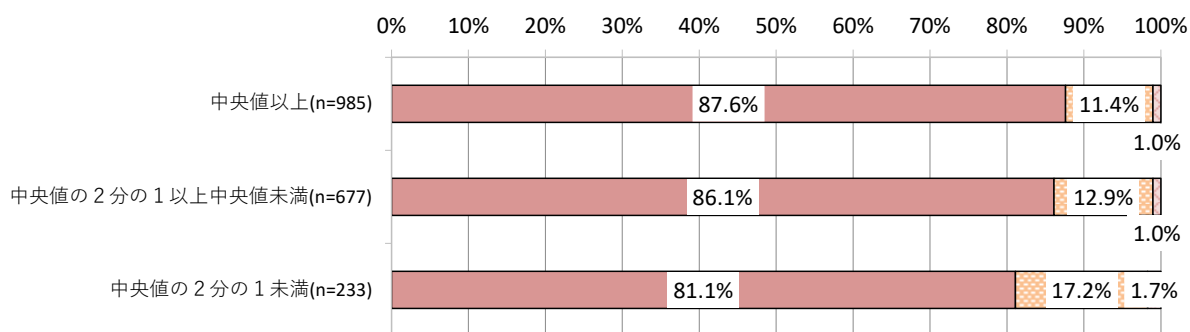
自分で自由に使えるお金の有無については、「ある」が 86.1%、「ない」が 12.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「ある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 87.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 86.1%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 81.1%となっている。

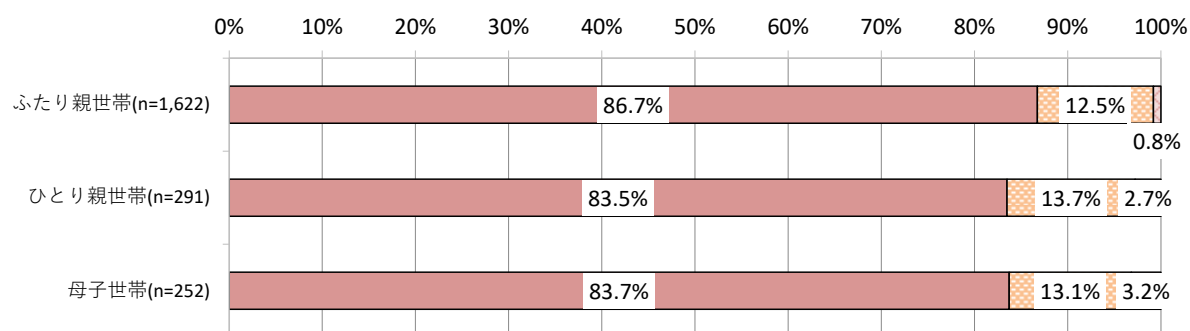
世帯の状況別にみると、「ある」の割合は、「ふたり親世帯」では 86.7%、「ひとり親世帯」全体では 83.5%、「母子世帯」のみでは 83.7%となっている。



■ ある ■ ない ■ 無回答



■ ある ■ ない ■ 無回答



■ ある ■ ない ■ 無回答

(7) 自分で自由に使えるお金の金額

中学生票問 21

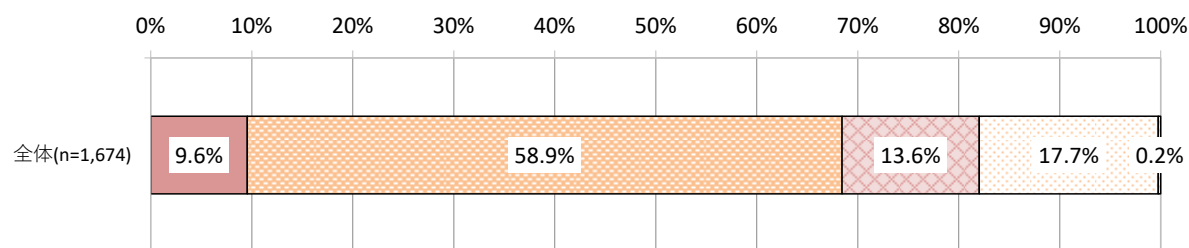
自分で自由に使えるお金の有無の間で、「ある」と答えた方にお聞きします。その金額はどのくらいですか。(SA)

自分で自由に使えるお金の金額の有無について「ある」と回答した方に関し、その金額を尋ねた。

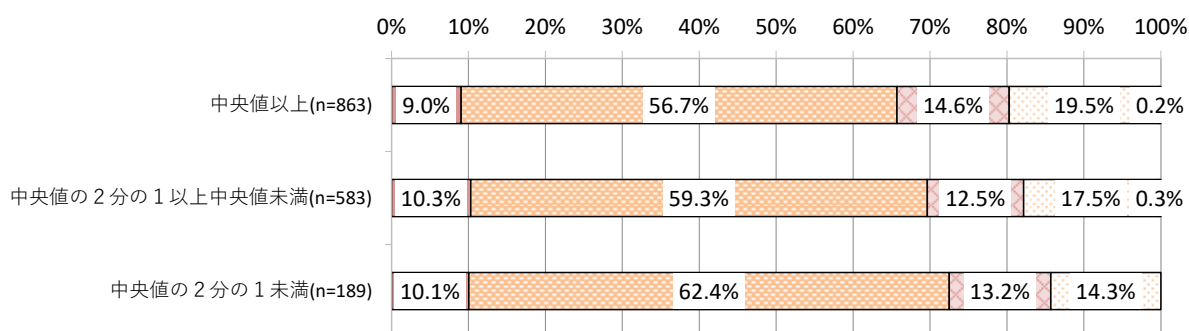
自分で自由に使えるお金の金額については、「1,000円未満」が9.6%、「1,000円～5,000円未満」が58.9%、「5,000円～10,000円未満」が13.6%、「10,000円以上」が17.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「10,000円以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では19.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では17.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では14.3%となっている。

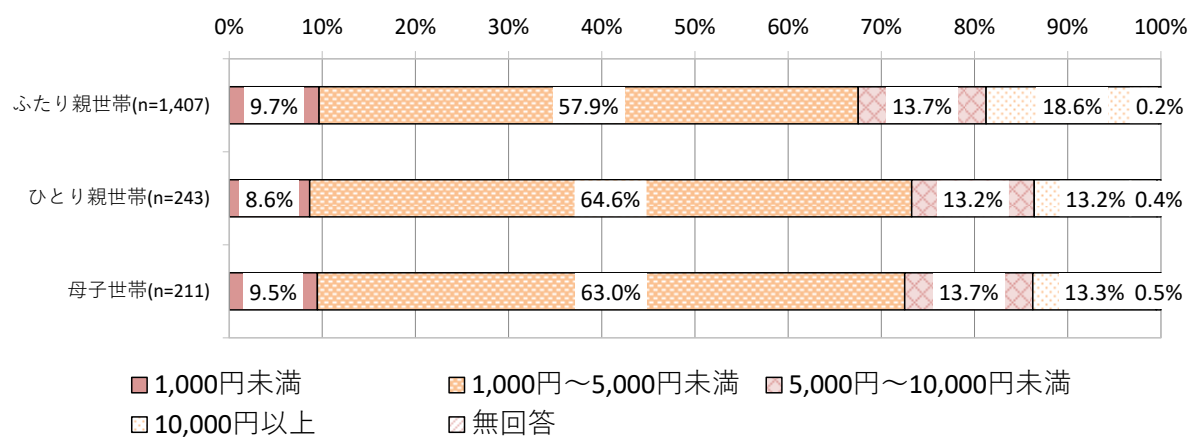
世帯の状況別にみると、「10,000円以上」の割合は、「ふたり親世帯」では18.6%、「ひとり親世帯」全体では13.2%、「母子世帯」のみでは13.3%となっている。



■ 1,000円未満 ■ 1,000円～5,000円未満 ■ 5,000円～10,000円未満
 □ 10,000円以上 □ 無回答



■ 1,000円未満 ■ 1,000円～5,000円未満 ■ 5,000円～10,000円未満
 □ 10,000円以上 □ 無回答



2.2.5. 子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

(1) 情緒の問題

中学生票問 15

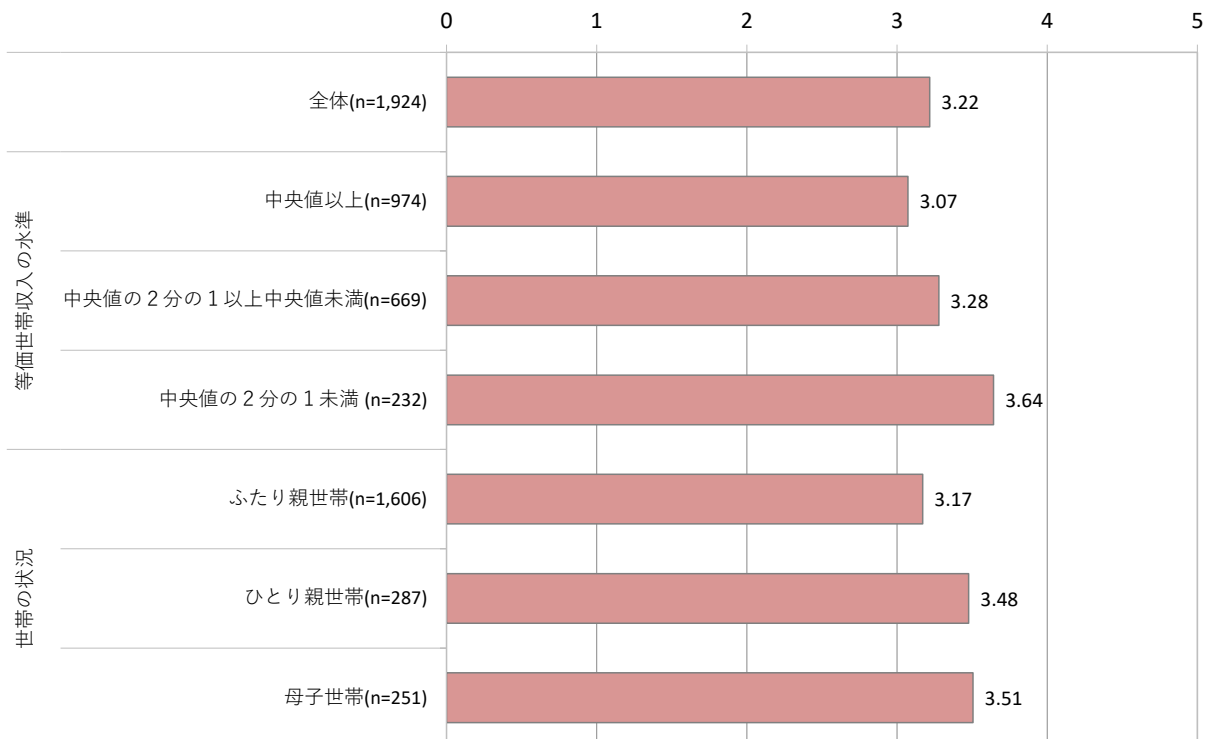
のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0~10 点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。全体の平均値は 3.22 となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では 3.07、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 3.28、「中央値の2分の1未満」の世帯では 3.64 となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では 3.17、「ひとり親世帯」全体では 3.48、「母子世帯」のみでは 3.51 となっている。



(2) 仲間関係の問題

中学生票問 15

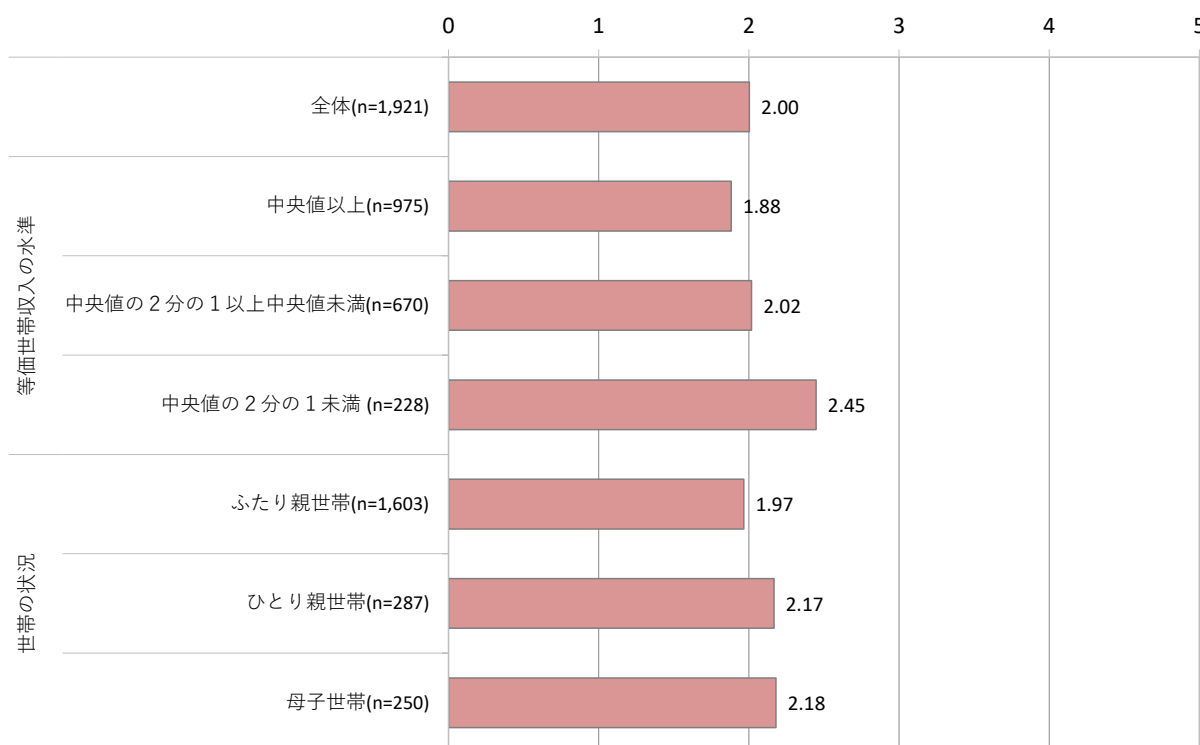
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。全体の平均値は2.00となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では1.88、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では2.02、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.45となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では1.97、「ひとり親世帯」全体では2.17、「母子世帯」のみでは2.18となっている。



(3) 向社会性

中学生票問 15

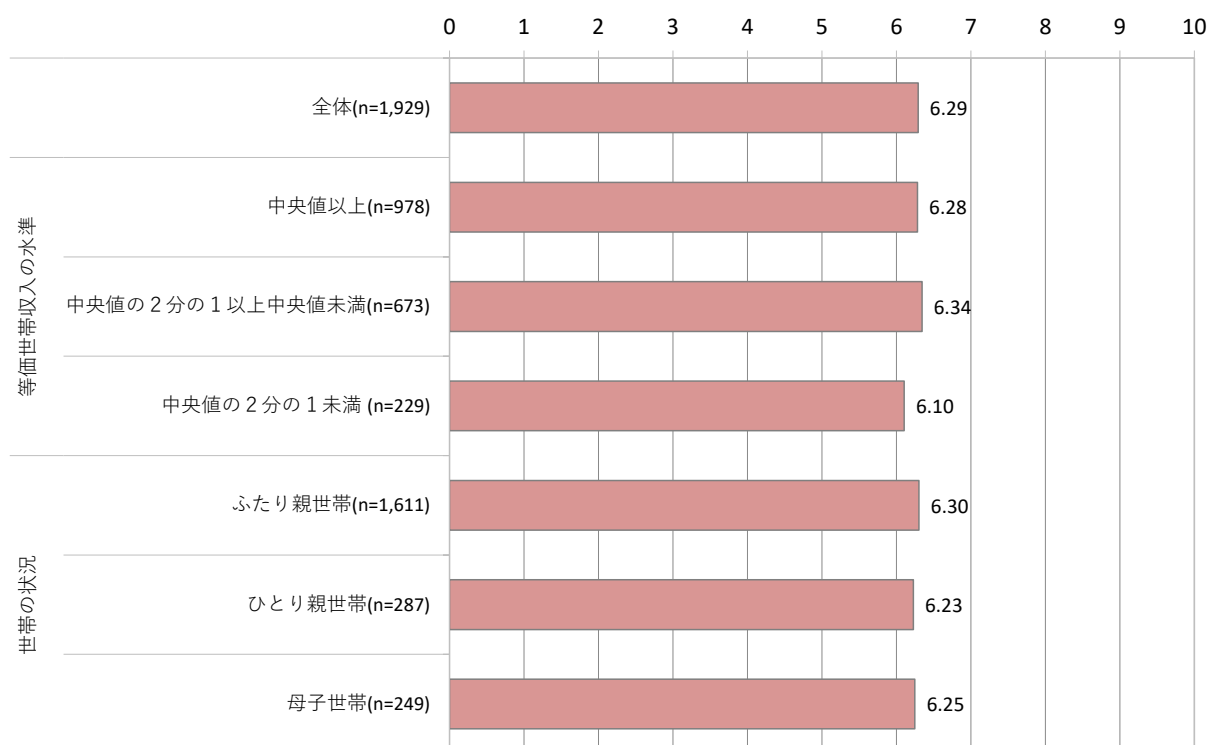
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の人たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。全体の平均値は6.29となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」の世帯では6.28、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では6.34、「中央値の2分の1未満」の世帯では6.10となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では6.30、「ひとり親世帯」全体では6.23、「母子世帯」のみでは6.25となっている。



2.2.6. 子どもの学力・体力の状態

(1) 学力の状態

中学生票問 15

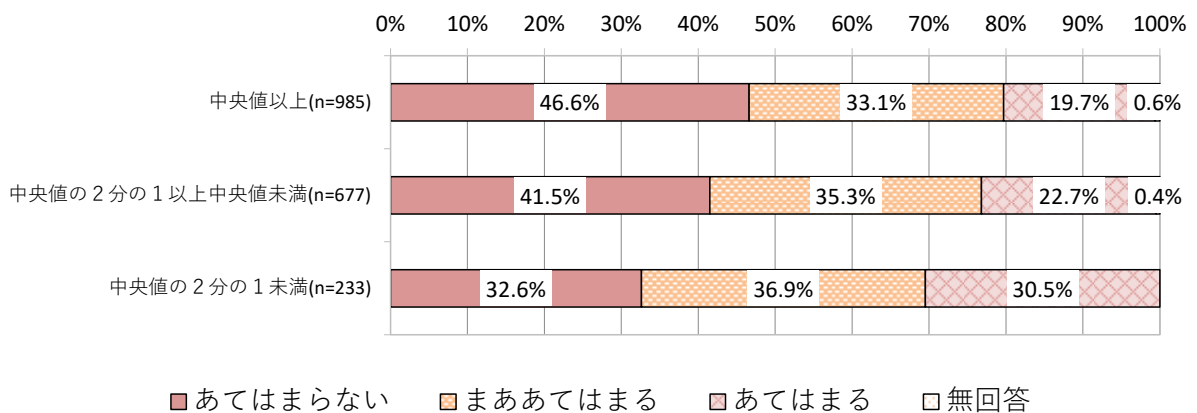
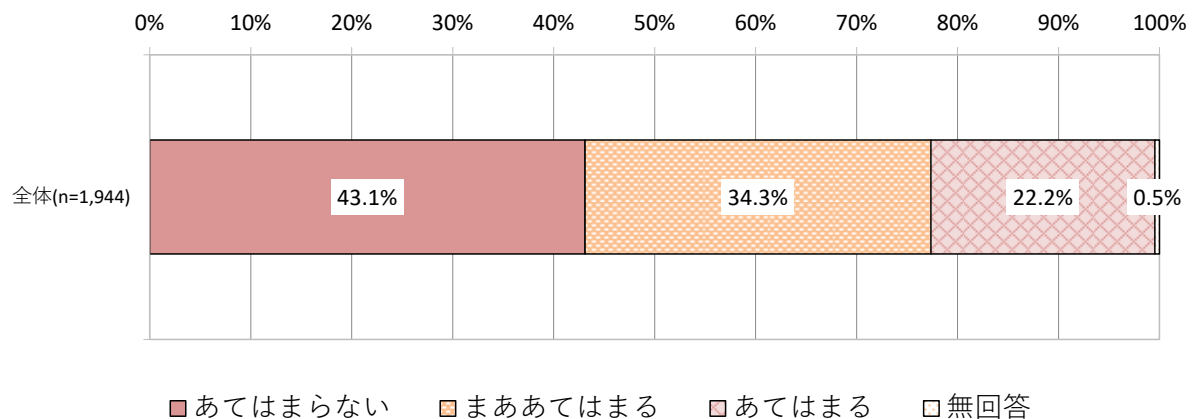
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

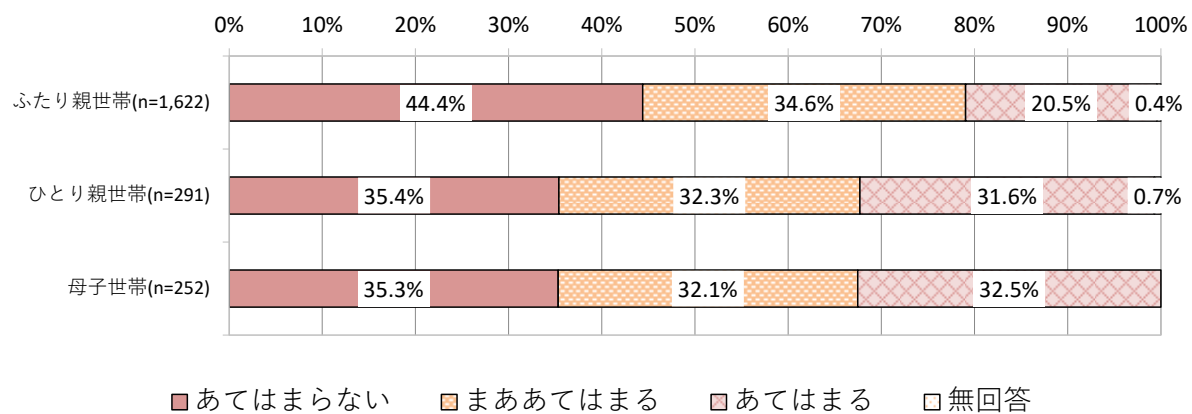
p. 私は、学力が低下している

学力低下の状態については、「あてはまらない」が43.1%、「まああてはまる」が34.3%、「あてはまる」が22.2%となっている。「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は56.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では52.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では58.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では67.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では55.2%、「ひとり親世帯」全体では63.9%、「母子世帯」のみでは64.7%となっている。





(2) 体力の状態

中学生票問 15

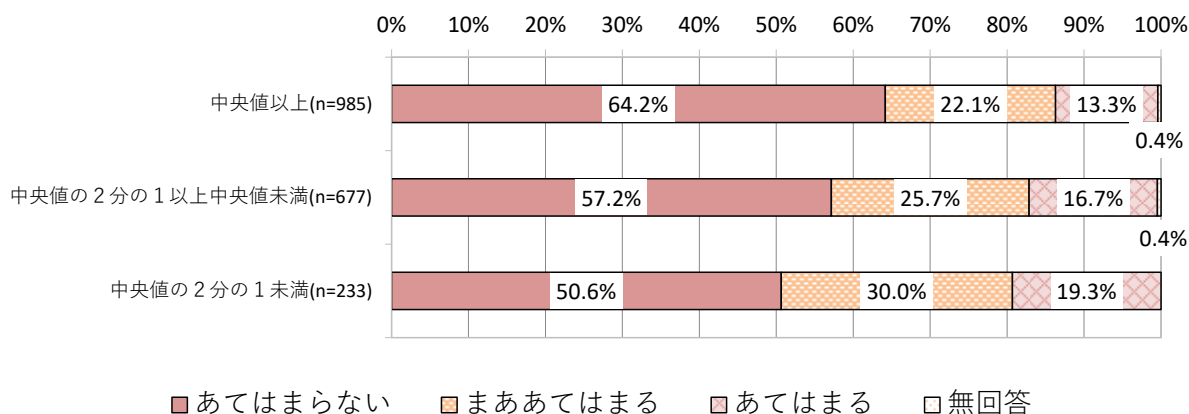
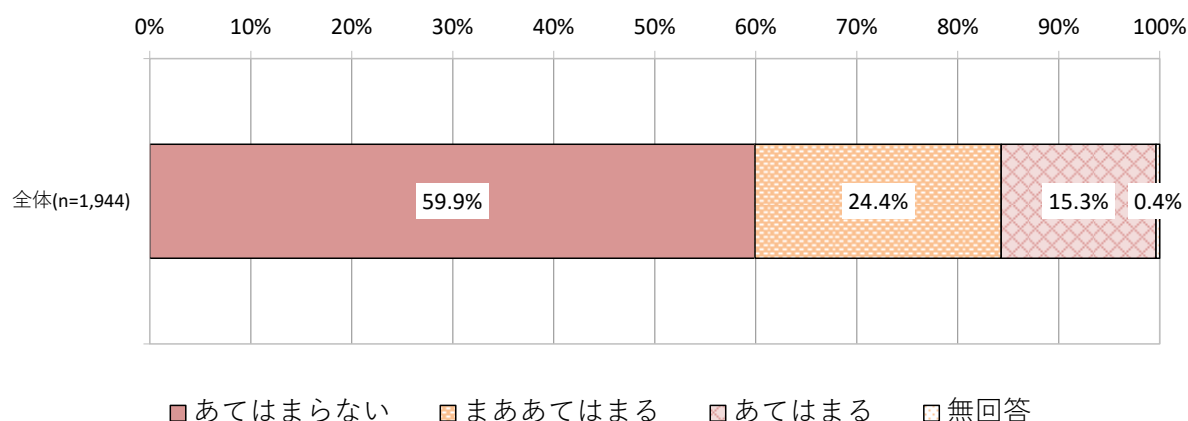
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

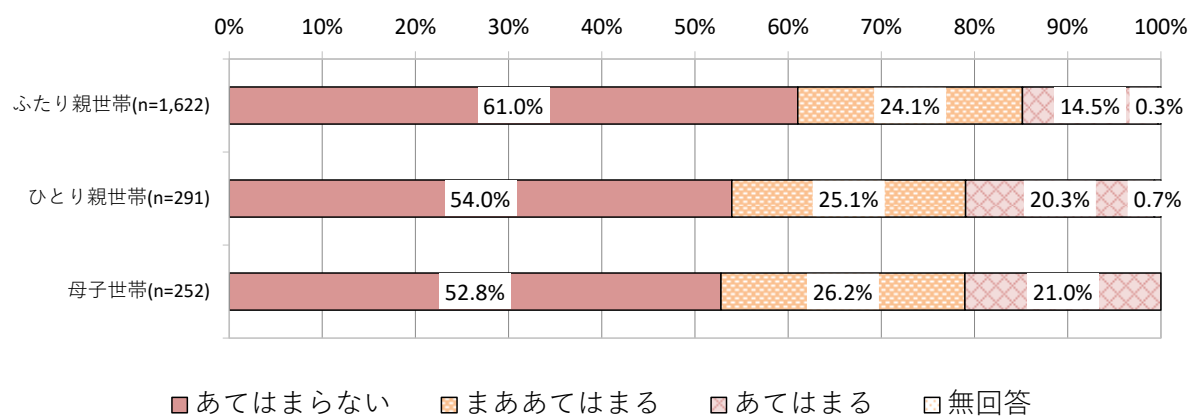
q. 私は、体力が低下している

体力低下の状態については、「あてはまらない」が59.9%、「まああてはまる」が24.4%、「あてはまる」が15.3%となっている。「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は39.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では35.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では42.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では49.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では38.7%、「ひとり親世帯」全体では45.4%、「母子世帯」のみでは47.2%となっている。





2.2.7. 逆境体験

(1) 逆境体験

中学生票問 17

あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。(SA)

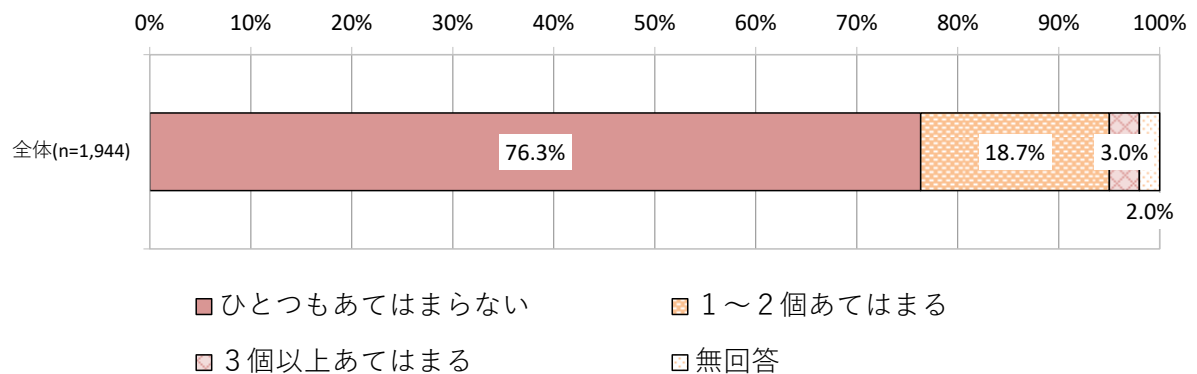
- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を大量に飲んだり麻薬を使ったりして、自分の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

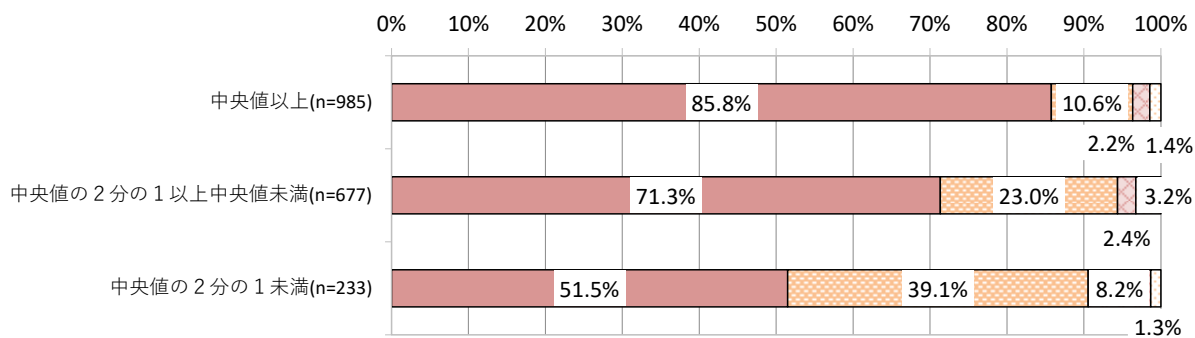
「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。

8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない(0個)」は76.3%、「1~2個あてはまる」は18.7%、「3個以上あてはまる」は3.0%となっている。

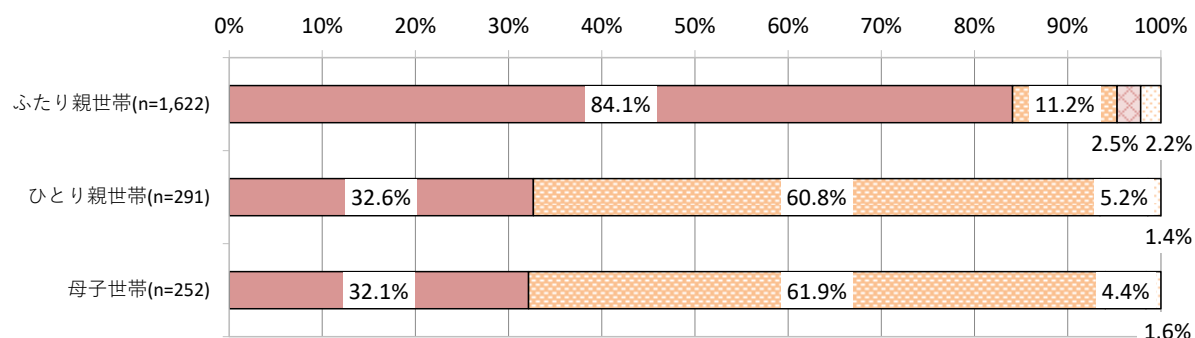
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が51.5%で他の世帯と比べて低くなっており、他方で、1個以上あてはまる割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとつもあてはまらない(0個)」は32.6%、「1~2個あてはまる」は60.8%、「3個以上あてはまる」は5.2%となっている。





■ ひとつもあてはまらない ■ 1～2個あてはまる
■ 3個以上あてはまる ■ 無回答



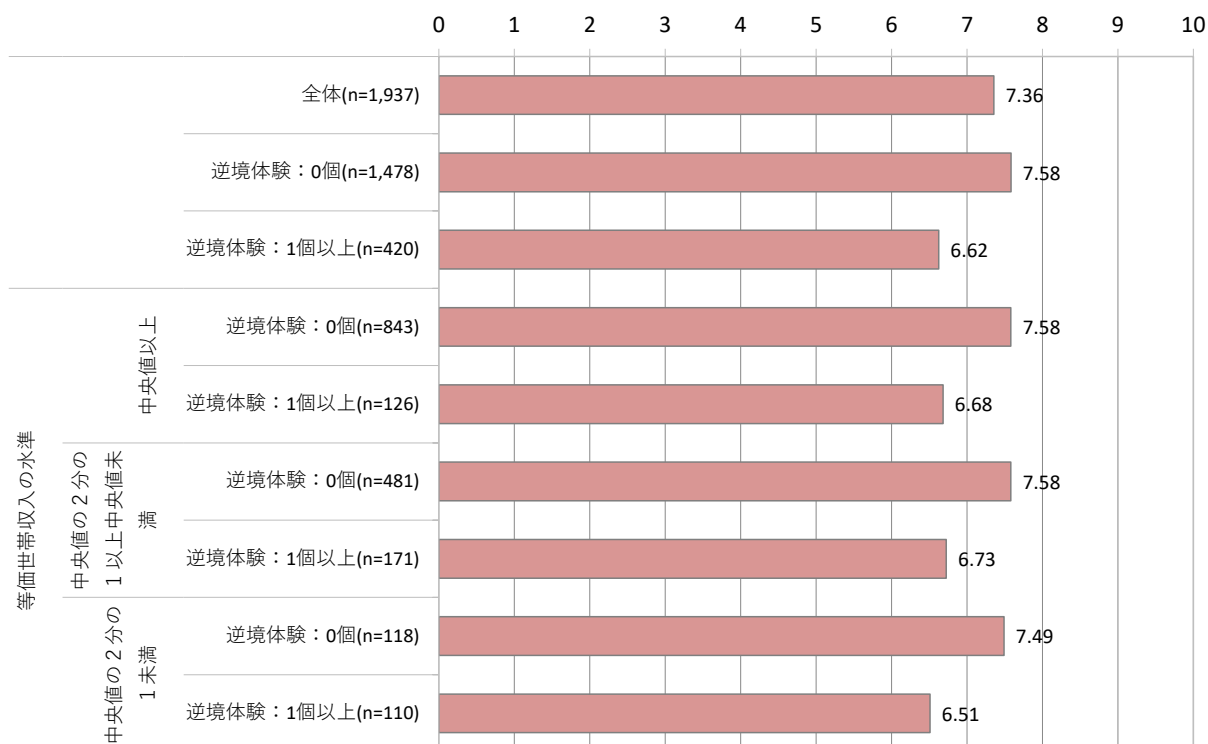
■ ひとつもあてはまらない ■ 1～2個あてはまる
■ 3個以上あてはまる ■ 無回答

(2) 逆境体験と子どもの状況

逆境体験の経験の有無（「ひとつもあてはまらない（0個）」であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較すると、逆境体験がない場合には生活満足度の平均値は7.58、逆境体験がある場合には6.62となっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

※生活満足度



2.3. 新型コロナウイルス感染症の影響

2.3.1. 保護者の状況

(1) 世帯全体の収入の変化

保護者票問 26

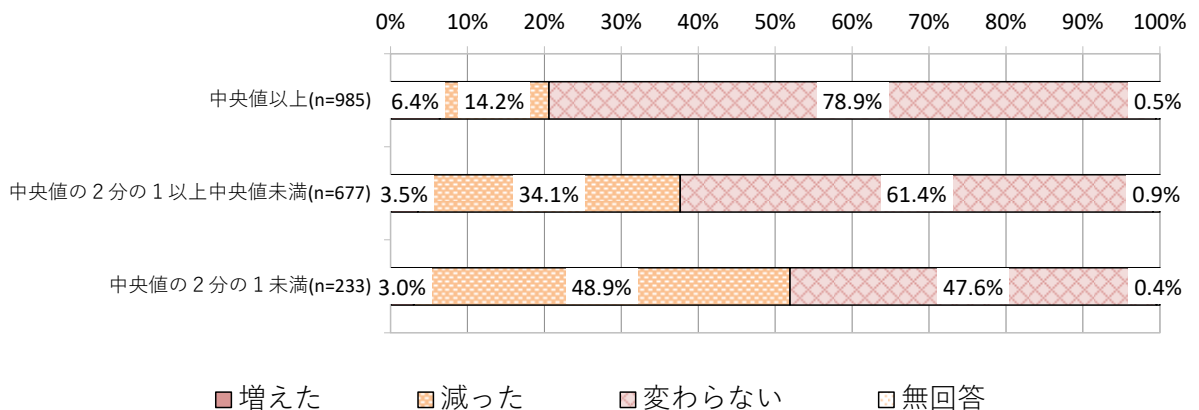
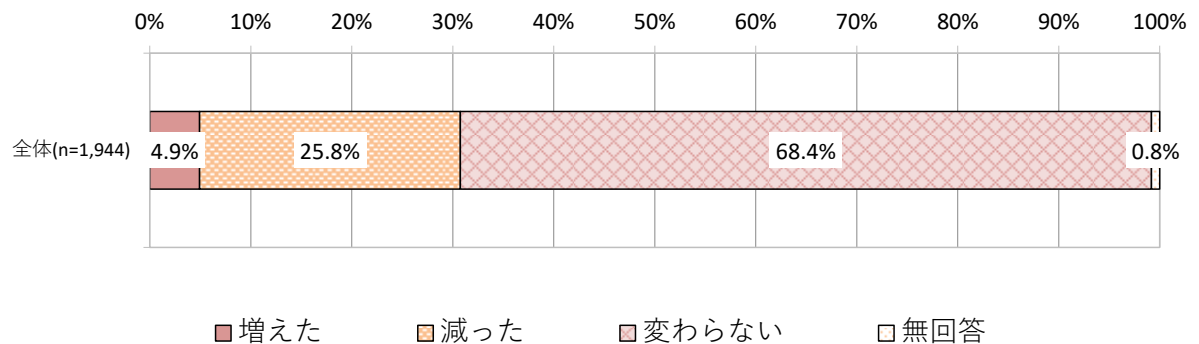
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

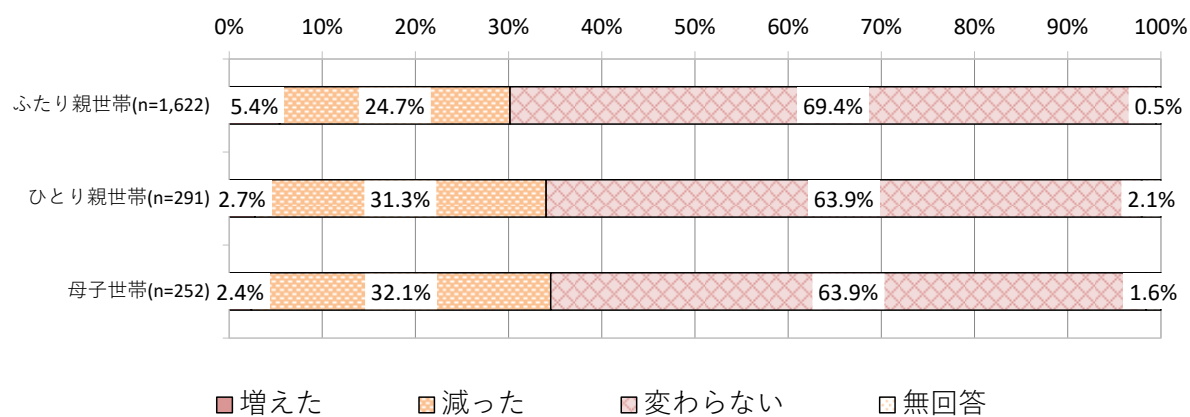
a. 世帯全体の収入の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「世帯全体の収入の変化」は、「増えた」が4.9%、「減った」が25.8%、「変わらない」が68.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では14.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では34.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では24.7%、「ひとり親世帯」全体では31.3%、「母子世帯」のみでは32.1%となっている。





(2) 生活に必要な支出の変化

保護者票問 26

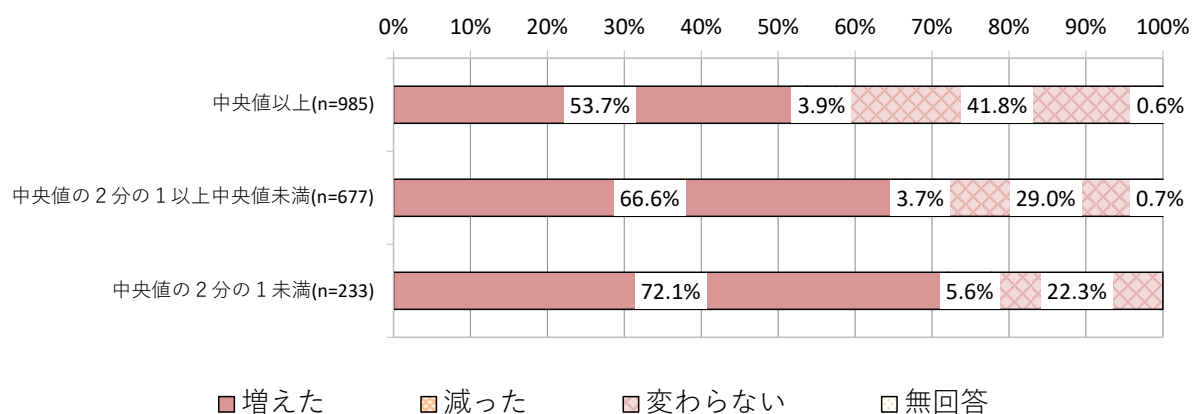
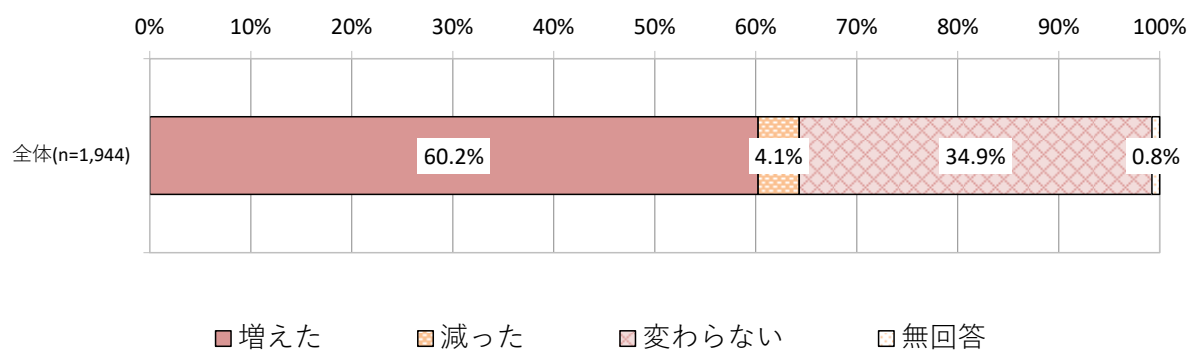
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

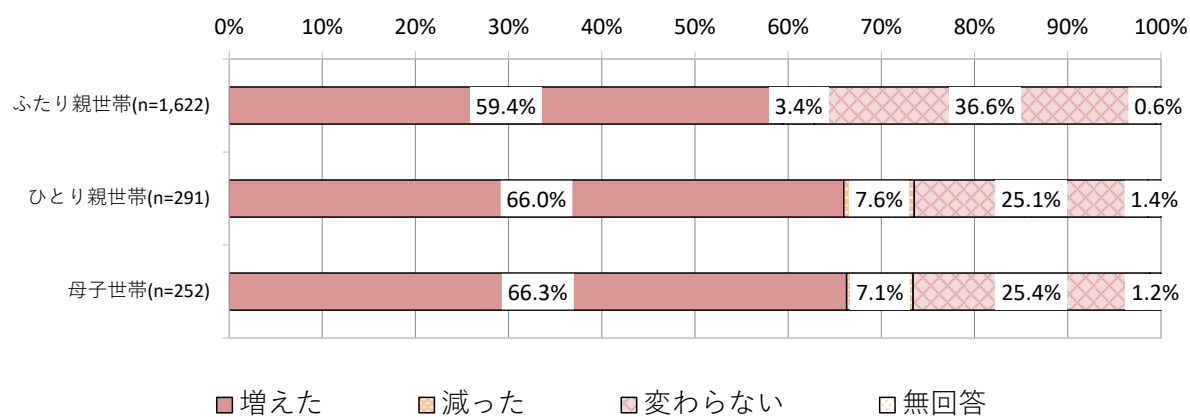
b. 生活に必要な支出の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「生活に必要な支出の変化」は、「増えた」が60.2%、「減った」が4.1%、「変わらない」が34.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では53.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では66.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では72.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では59.4%、「ひとり親世帯」全体では66.0%、「母子世帯」のみでは66.3%となっている。





(3) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

保護者票問 26

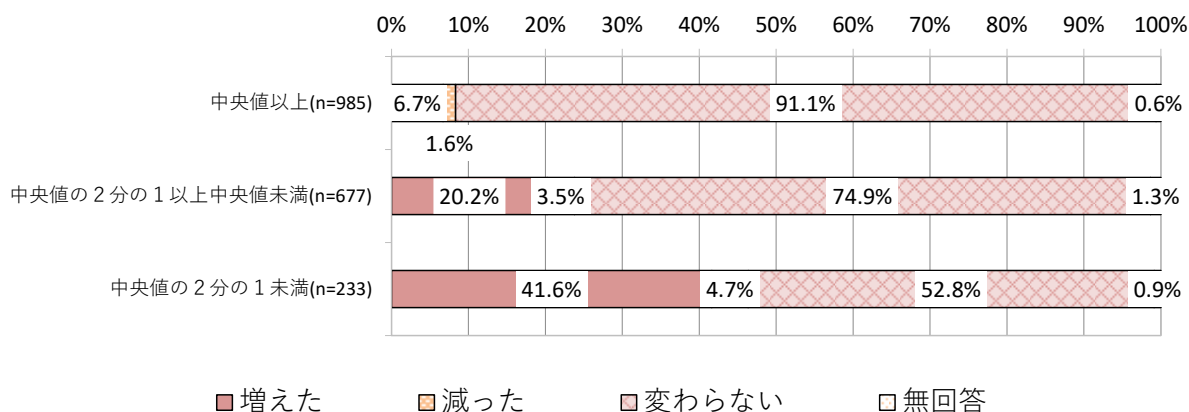
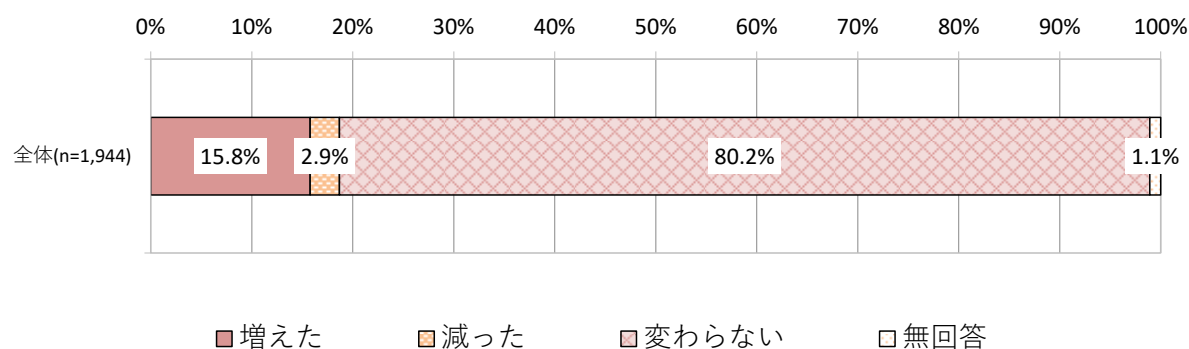
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

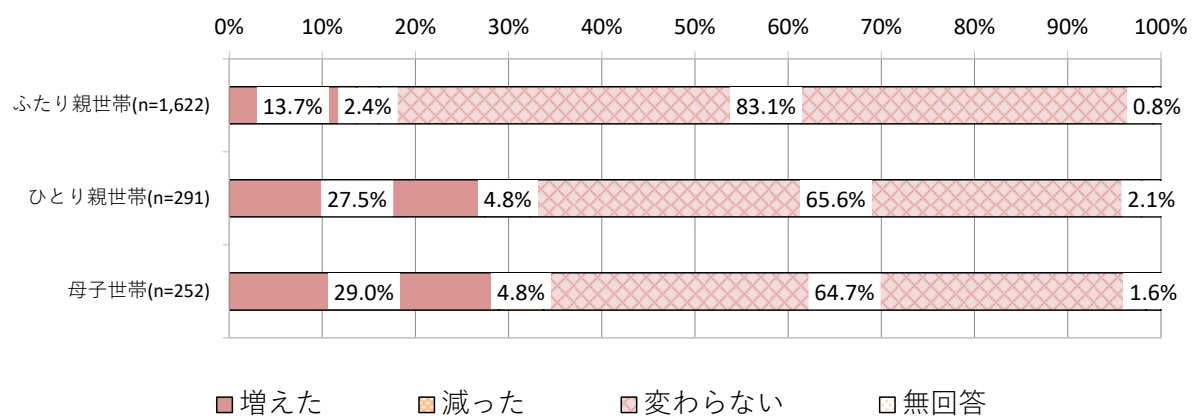
c. お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」は、「増えた」が15.8%、「減った」が2.9%、「変わらない」が80.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では6.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では20.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では41.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では13.7%、「ひとり親世帯」全体では27.5%、「母子世帯」のみでは29.0%となっている。





(4) お子さんと話をすること

保護者票問 26

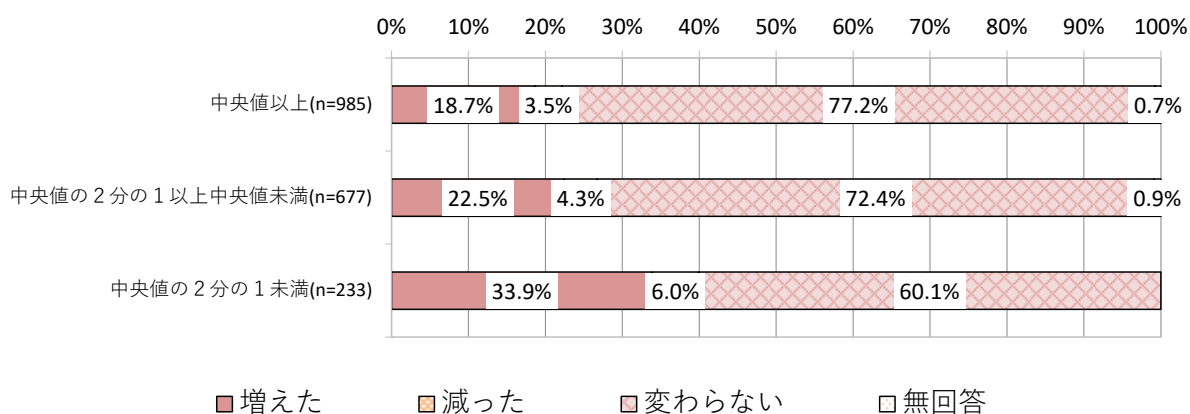
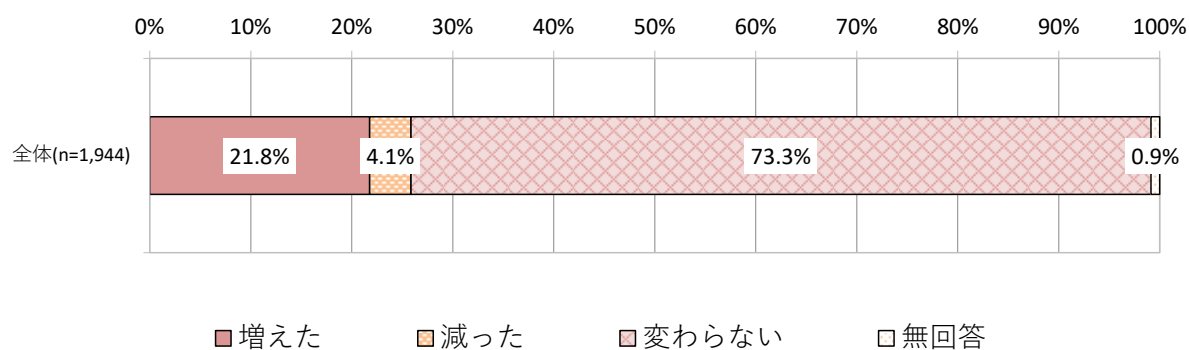
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

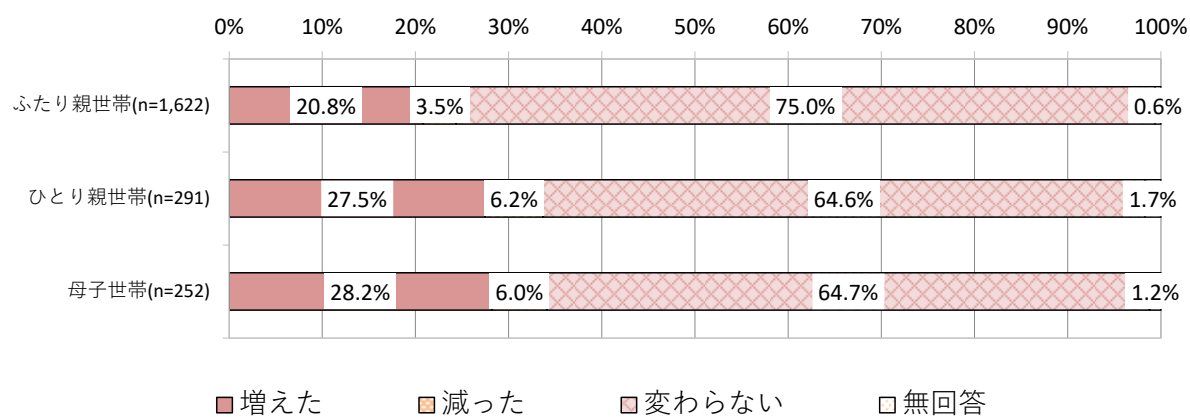
d. お子さんと話をすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お子さんと話をすること」は、「増えた」が21.8%、「減った」が4.1%、「変わらない」が73.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では3.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では4.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では6.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では3.5%、「ひとり親世帯」全体では6.2%、「母子世帯」のみでは6.0%となっている。





(5) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

保護者票問 26

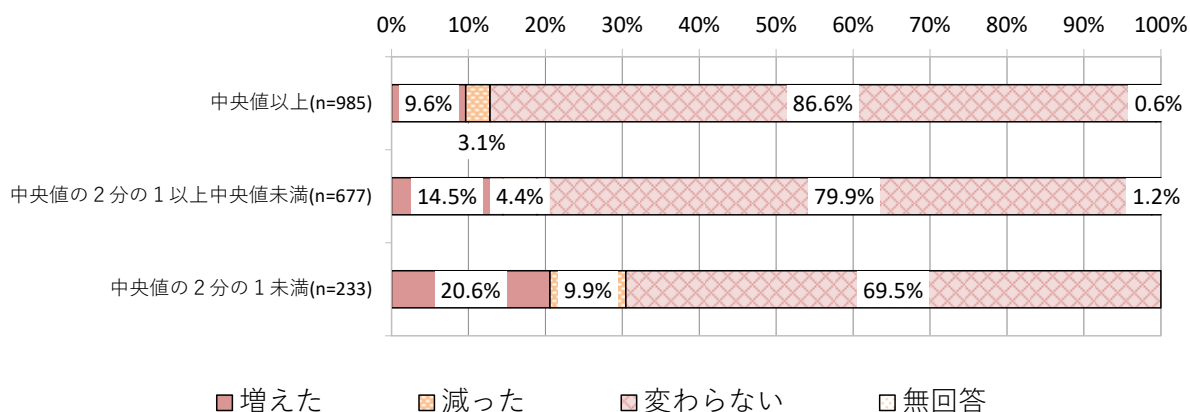
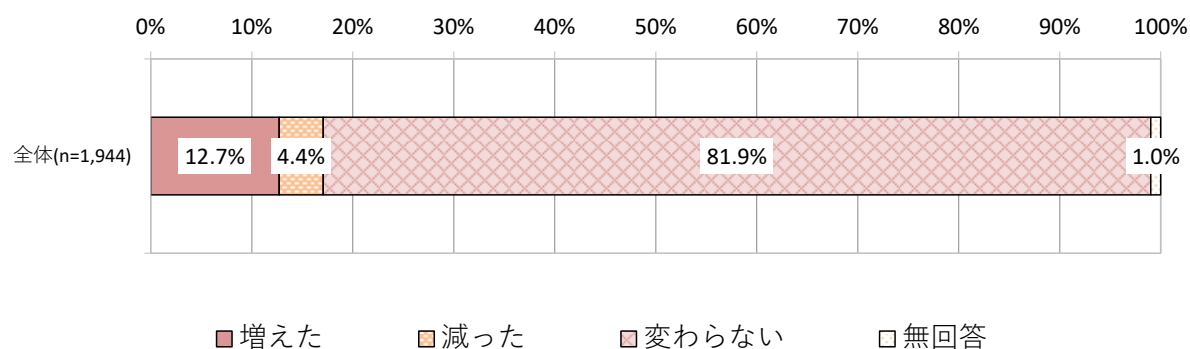
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

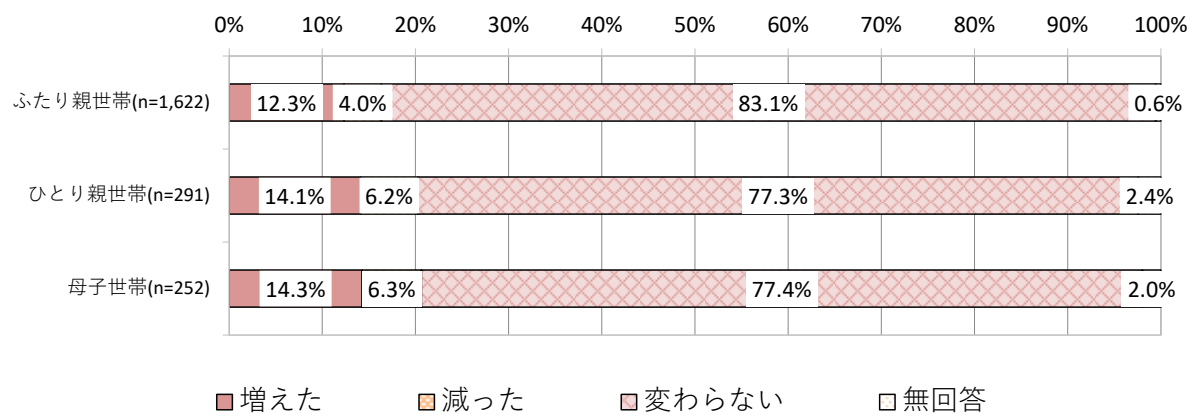
e. 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること」は、「増えた」が12.7%、「減った」が4.4%、「変わらない」が81.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では14.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では20.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では12.3%、「ひとり親世帯」全体では14.1%、「母子世帯」のみでは14.3%となっている。





(6) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

保護者票問 26

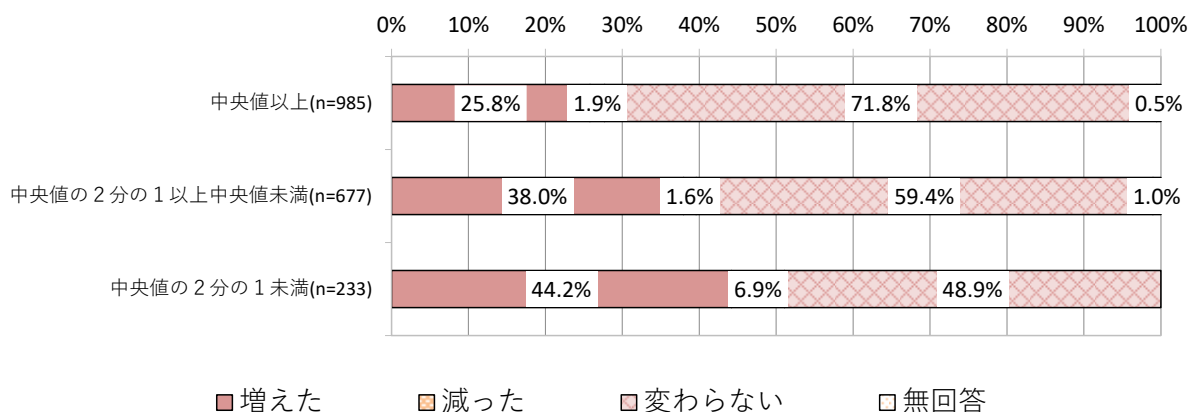
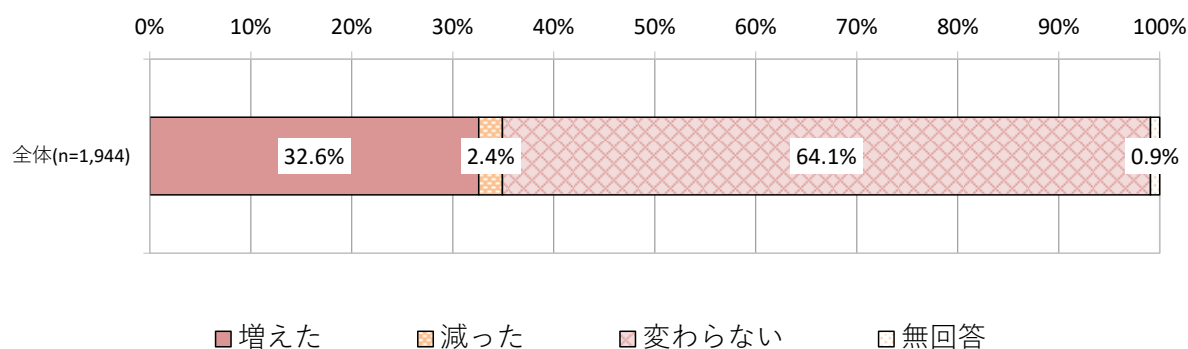
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

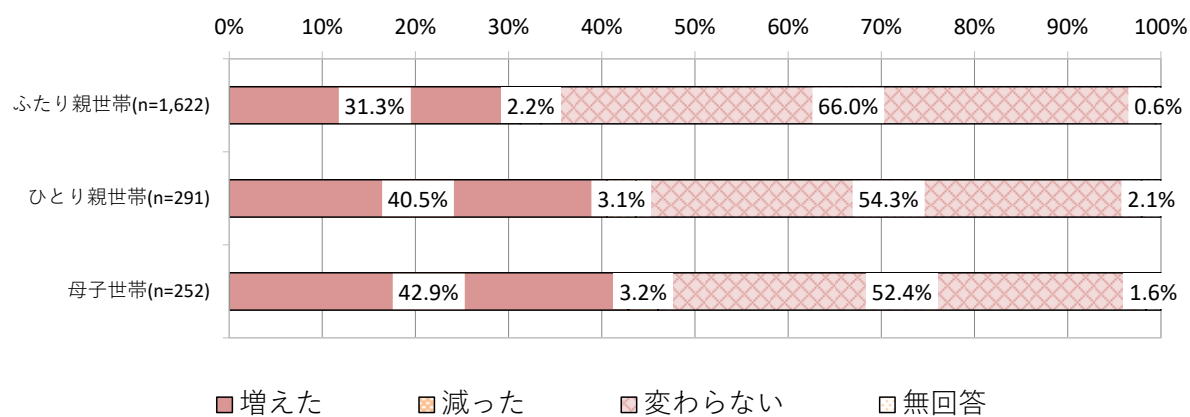
f. あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が32.6%、「減った」が2.4%、「変わらない」が64.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では25.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では38.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では44.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では31.3%、「ひとり親世帯」全体では40.5%、「母子世帯」のみでは42.9%となっている。





(7) 家にいる時間

保護者票問 26

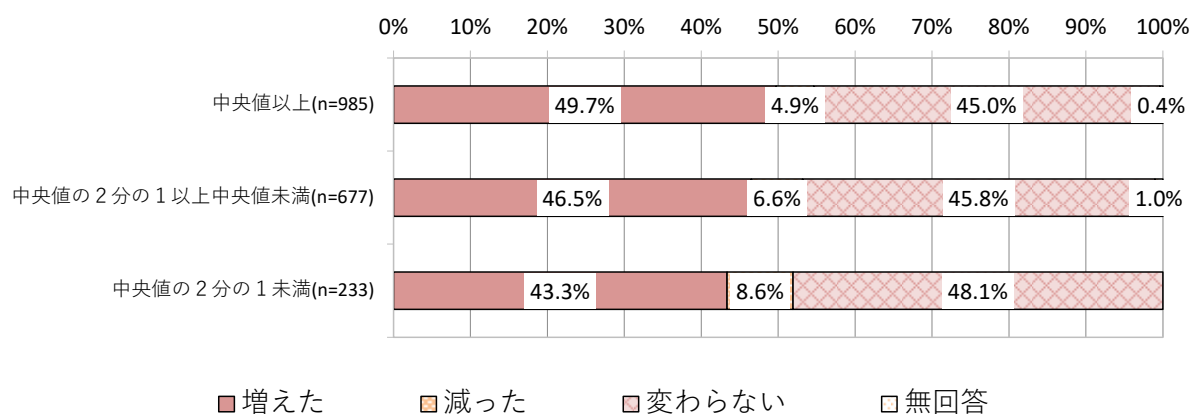
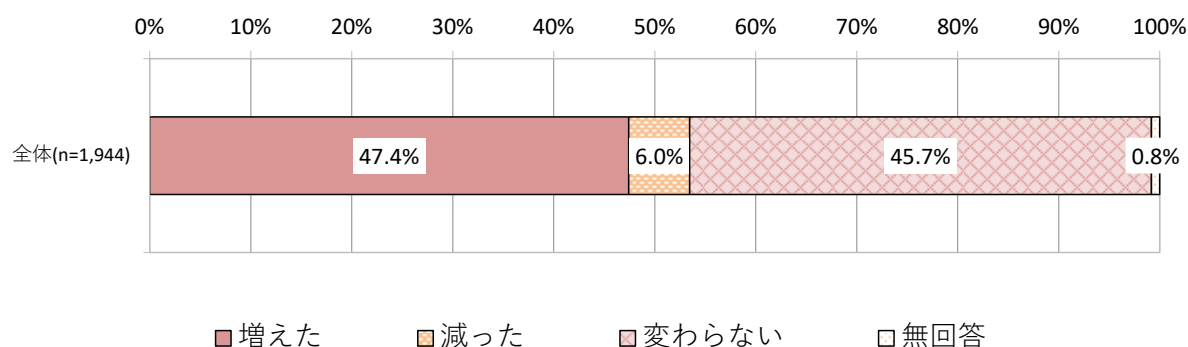
あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（SA）

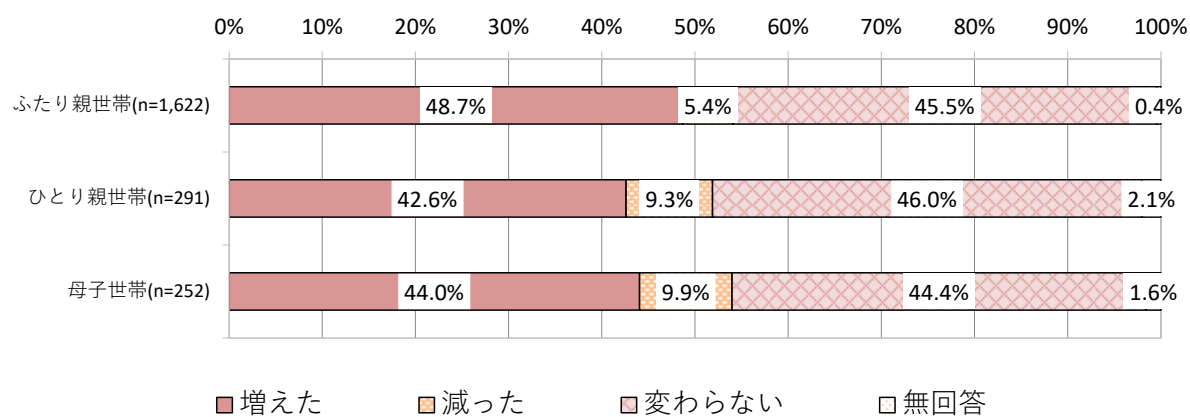
g. 家にいる時間

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「家にいる時間」は、「増えた」が47.4%、「減った」が6.0%、「変わらない」が45.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では49.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では46.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では43.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では48.7%、「ひとり親世帯」全体では42.6%、「母子世帯」のみでは44.0%となっている。





2.3.2. 子どもの状況

(1) 学校の授業以外で勉強する時間

中学生票問 16

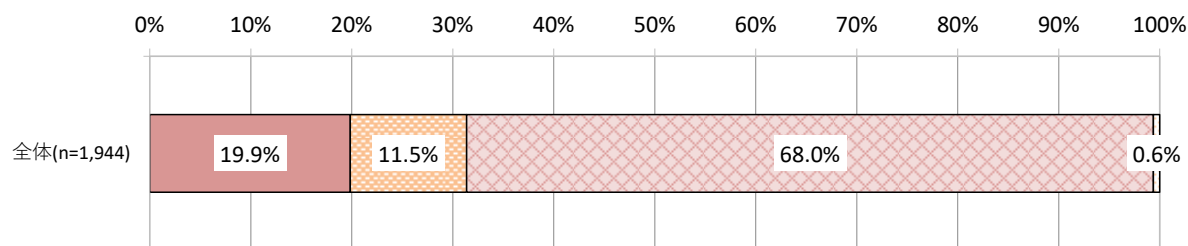
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

a. 学校の授業以外で勉強する時間

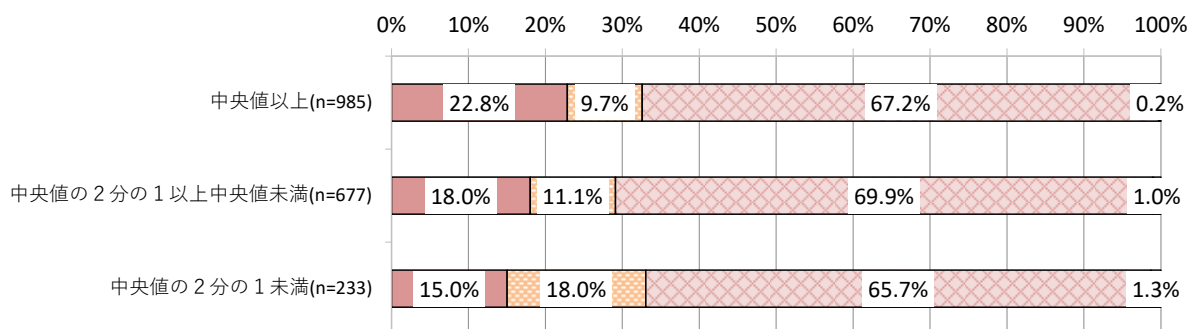
新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「学校の授業以外で勉強する時間」は、「増えた」が19.9%、「減った」が11.5%、「変わらない」が68.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では22.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では18.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では15.0%となっている。

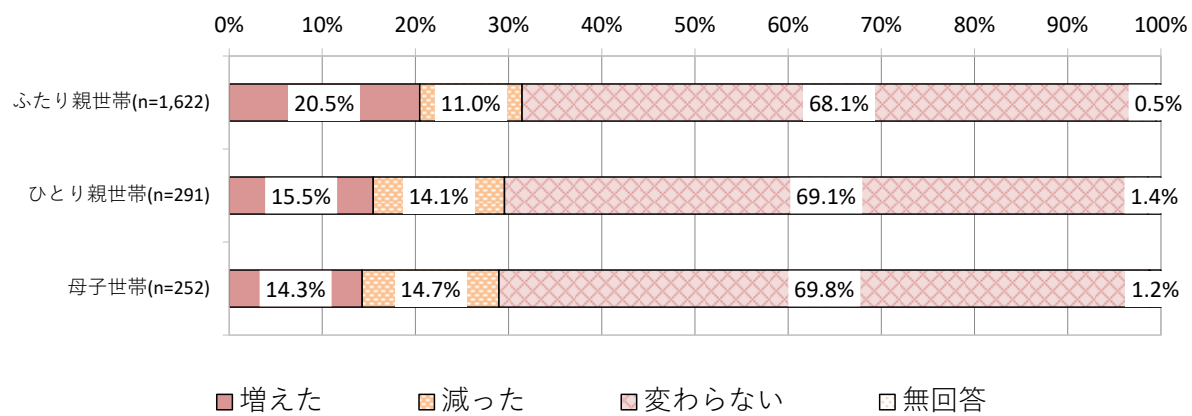
世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では20.5%、「ひとり親世帯」全体では15.5%、「母子世帯」のみでは14.3%となっている。



■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない □ 無回答



■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない □ 無回答



(2) 学校の授業がわからないと感じること

中学生票問 16

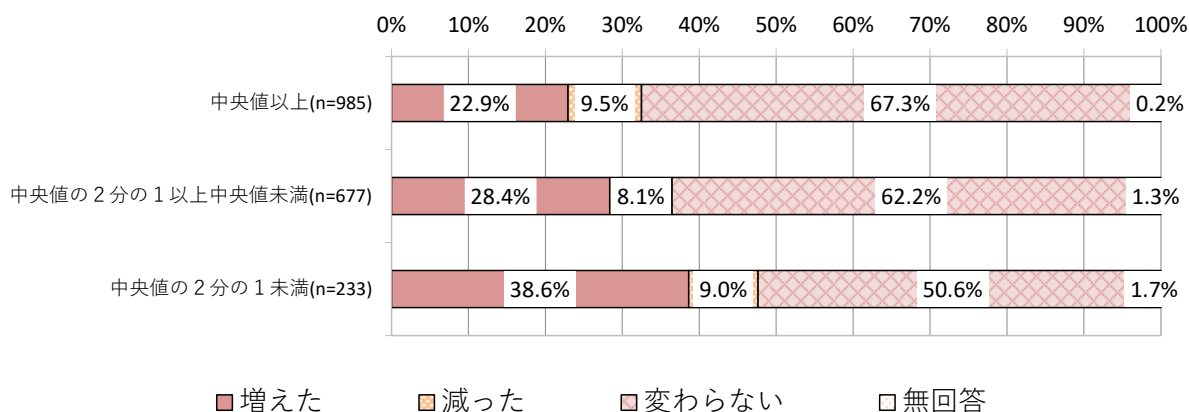
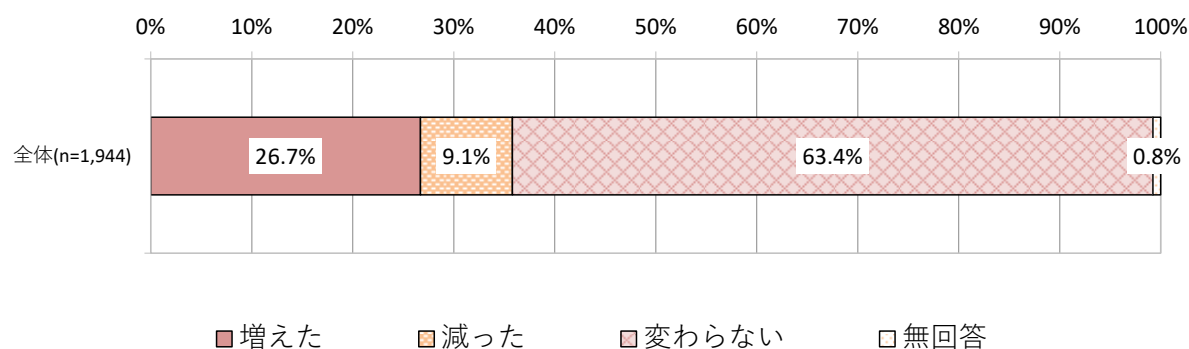
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

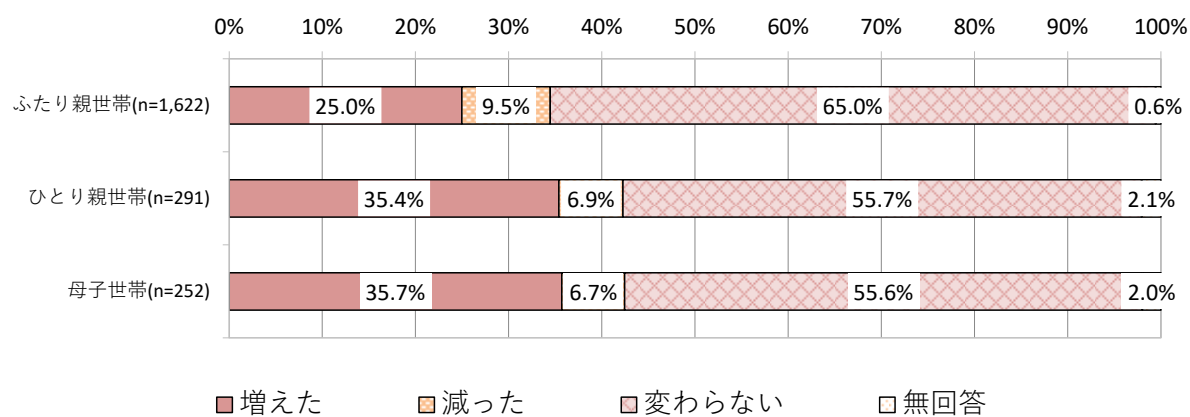
b. 学校の授業がわからないと感じること

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「学校の授業がわからないと感じること」は、「増えた」が26.7%、「減った」が9.1%、「変わらない」が63.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では22.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では28.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では38.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では25.0%、「ひとり親世帯」全体では35.4%、「母子世帯」のみでは35.7%となっている。





(3) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

中学生票問 16

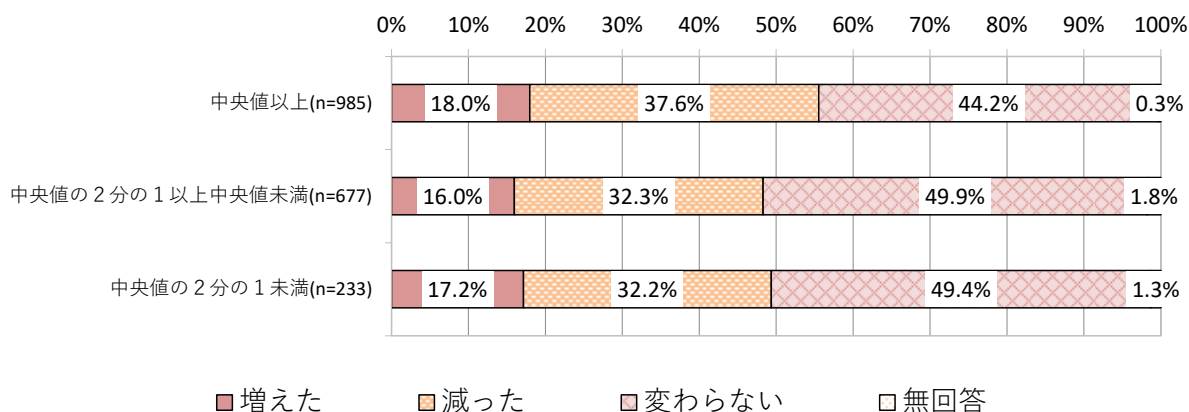
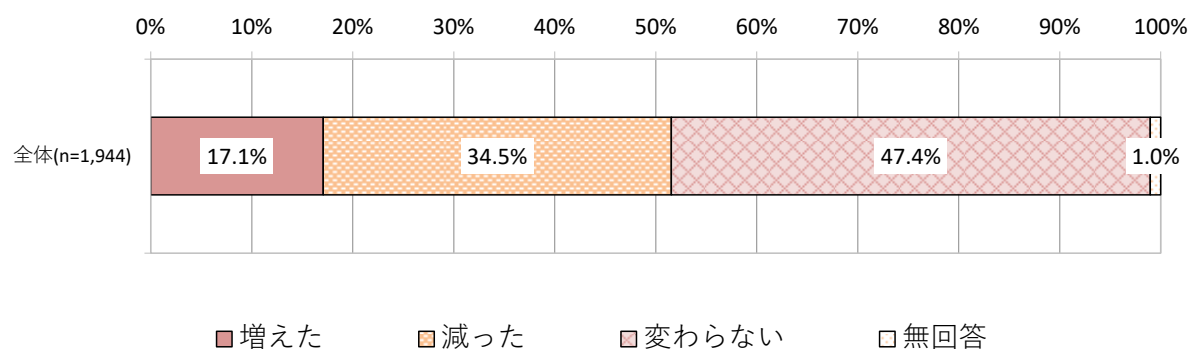
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

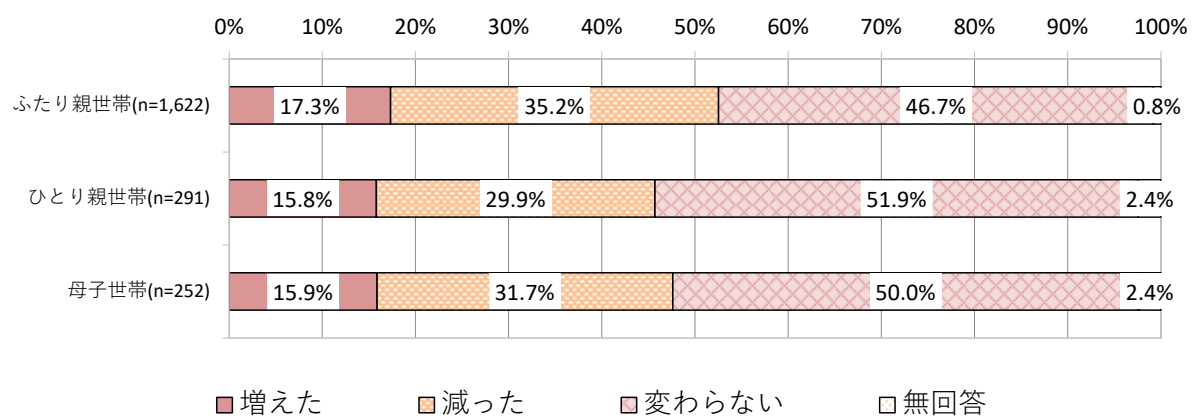
c. 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」は、「増えた」が17.1%、「減った」が34.5%、「変わらない」が47.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では37.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では32.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では35.2%、「ひとり親世帯」全体では29.9%、「母子世帯」のみでは31.7%となっている。





(4) 食事を抜く回数

中学生票問 16

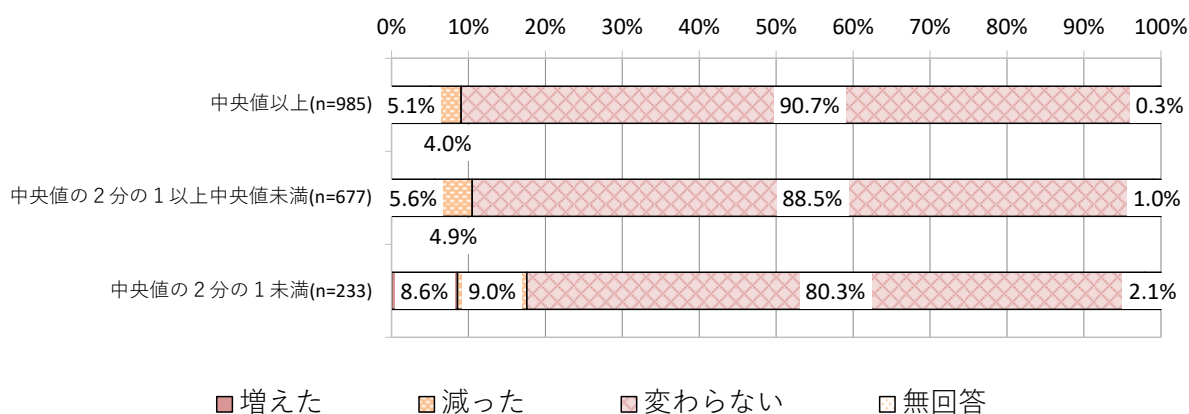
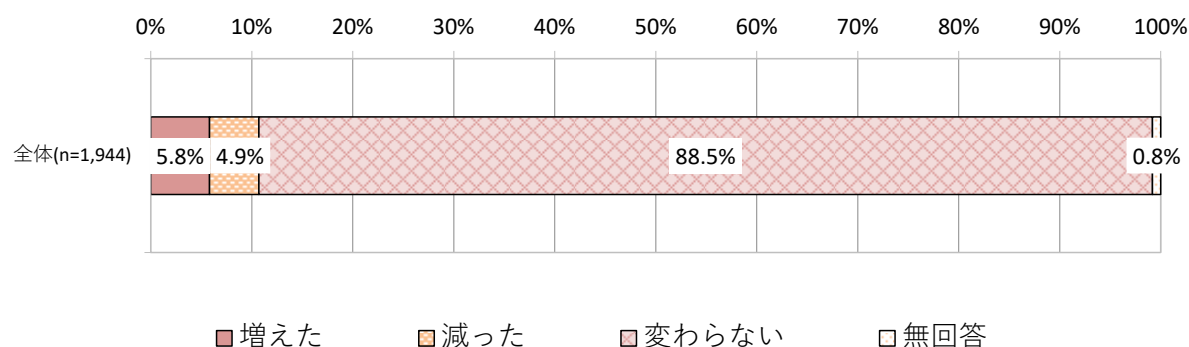
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

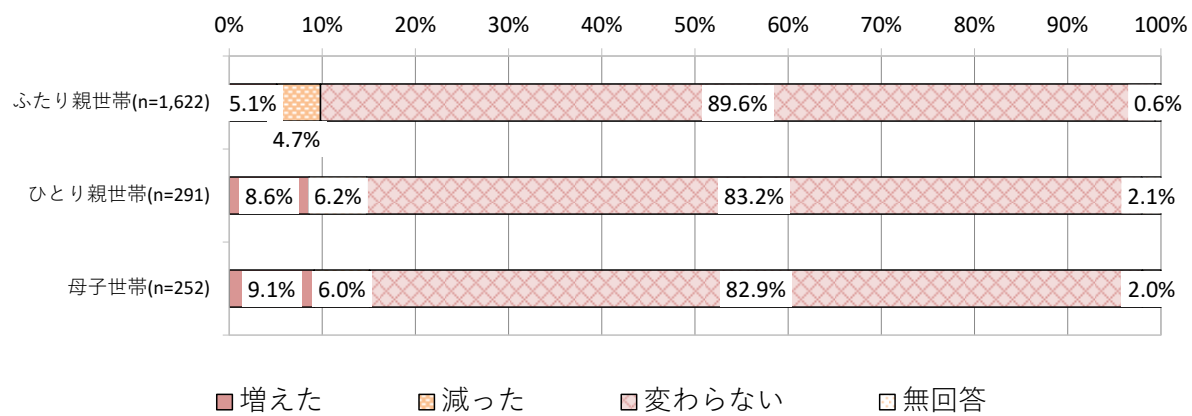
d. 食事を抜く回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「食事を抜く回数」は、「増えた」が5.8%、「減った」が4.9%、「変わらない」が88.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では5.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では5.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では8.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では5.1%、「ひとり親世帯」全体では8.6%、「母子世帯」のみでは9.1%となっている。





(5) 夜遅くまで起きている回数

中学生票問 16

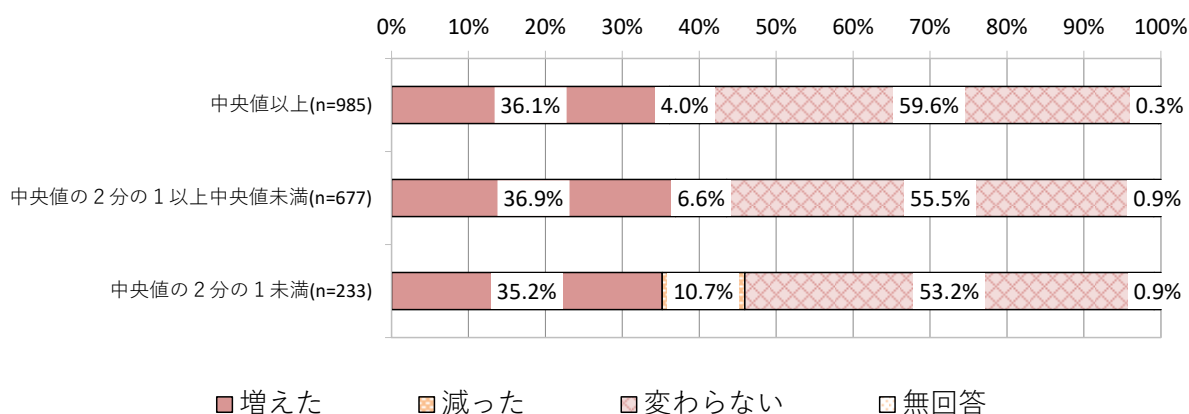
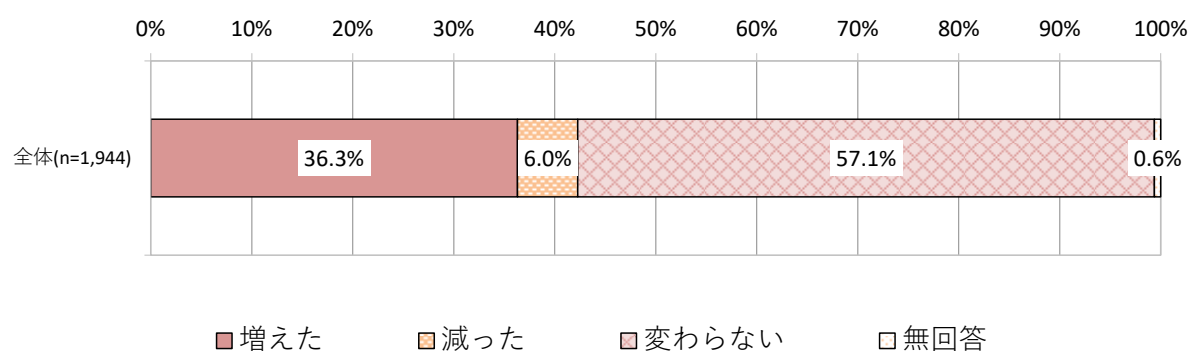
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

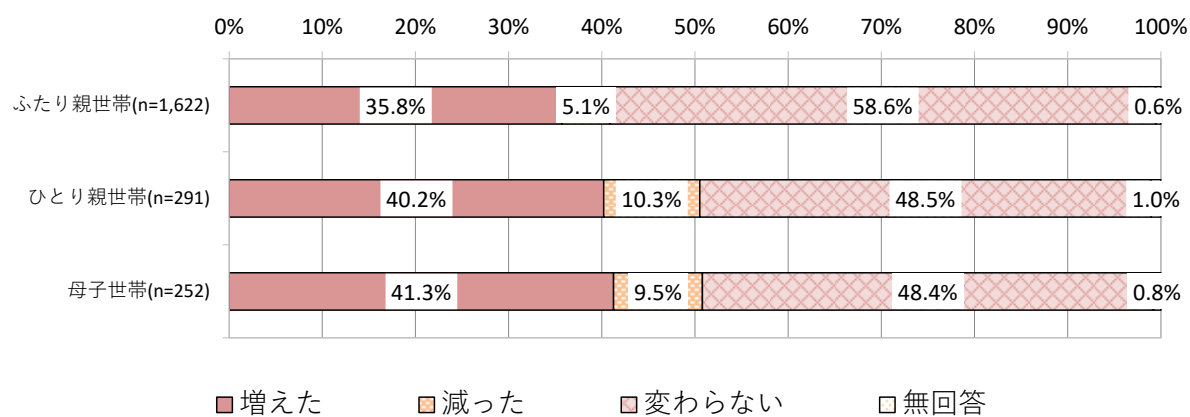
e. 夜遅くまで起きている回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「夜遅くまで起きている回数」は、「増えた」が36.3%、「減った」が6.0%、「変わらない」が57.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では36.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では35.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では35.8%、「ひとり親世帯」全体では40.2%、「母子世帯」のみでは41.3%となっている。





(6) 親以外の大人や友達と話をすること

中学生票問 16

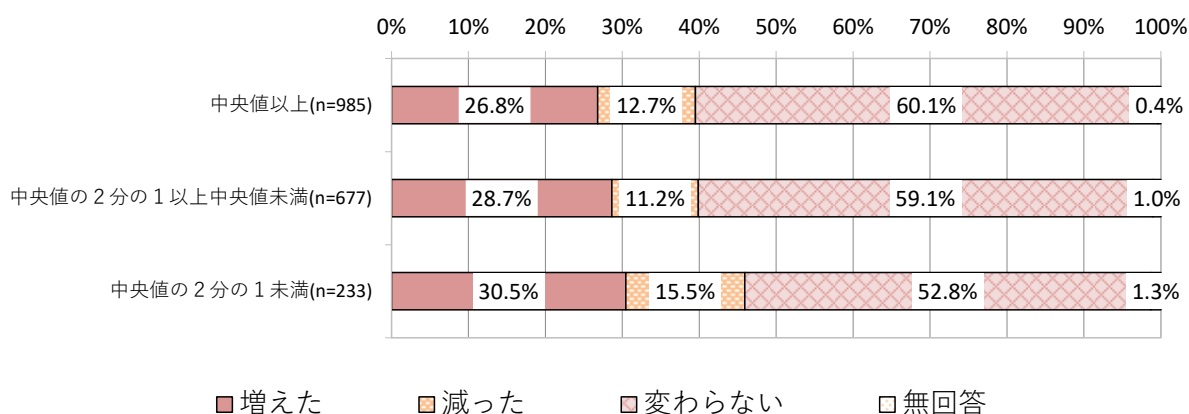
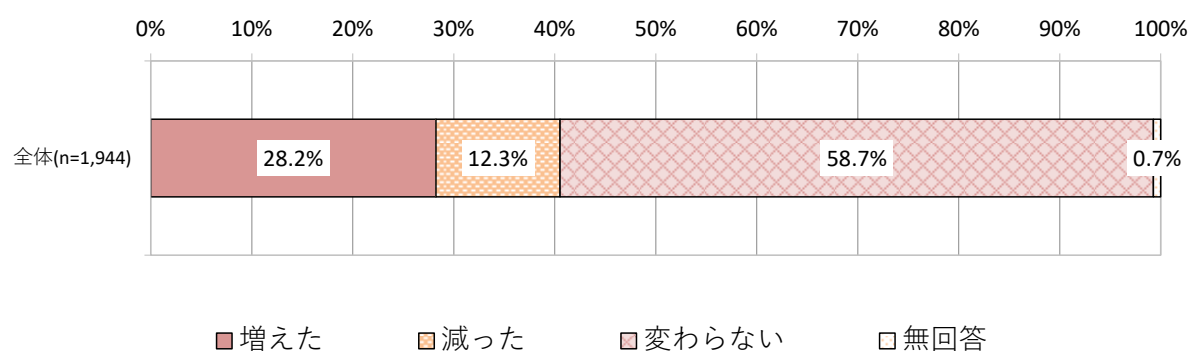
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

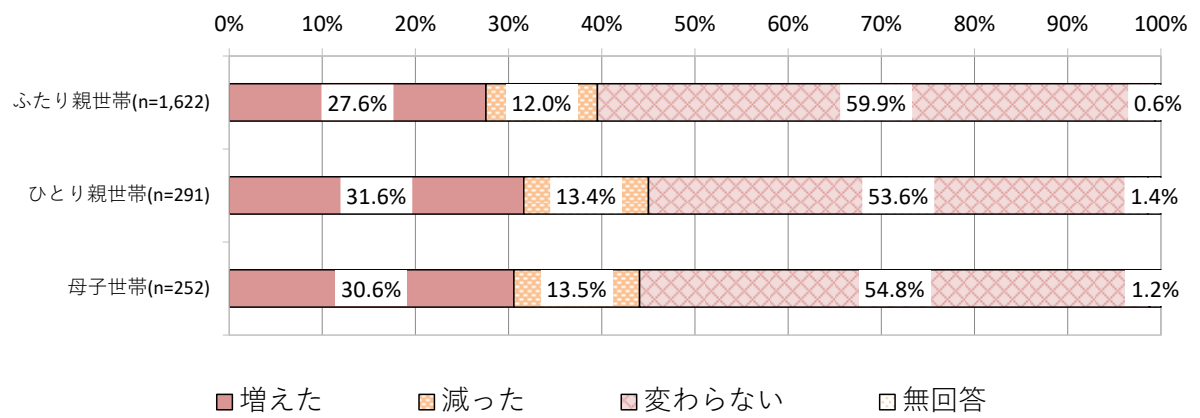
f. 親以外の大人や友達と話をすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「親以外の大人や友達と話をすること」は、「増えた」が 28.2%、「減った」が 12.3%、「変わらない」が 58.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では 12.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 11.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 15.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では 12.0%、「ひとり親世帯」全体では 13.4%、「母子世帯」のみでは 13.5%となっている。





(7) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

中学生票問 16

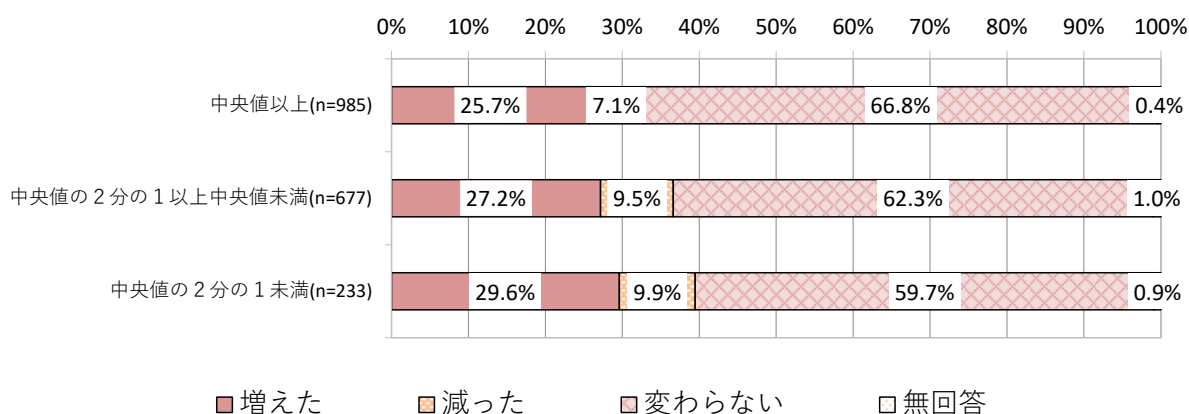
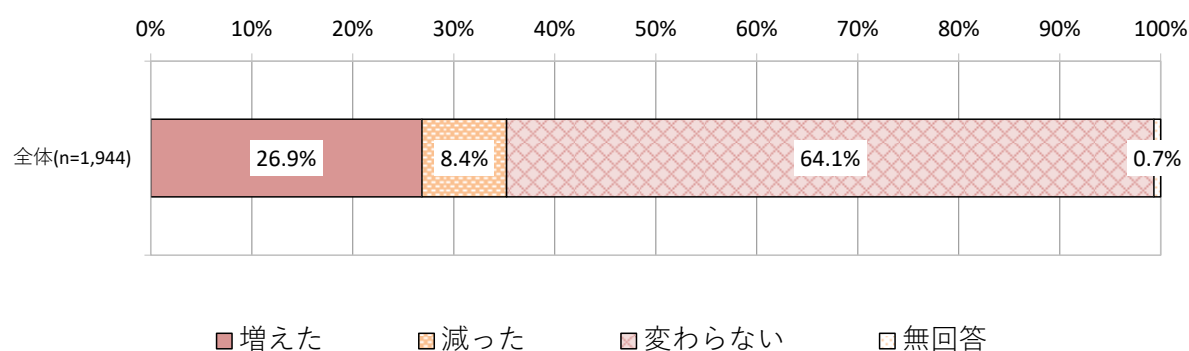
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

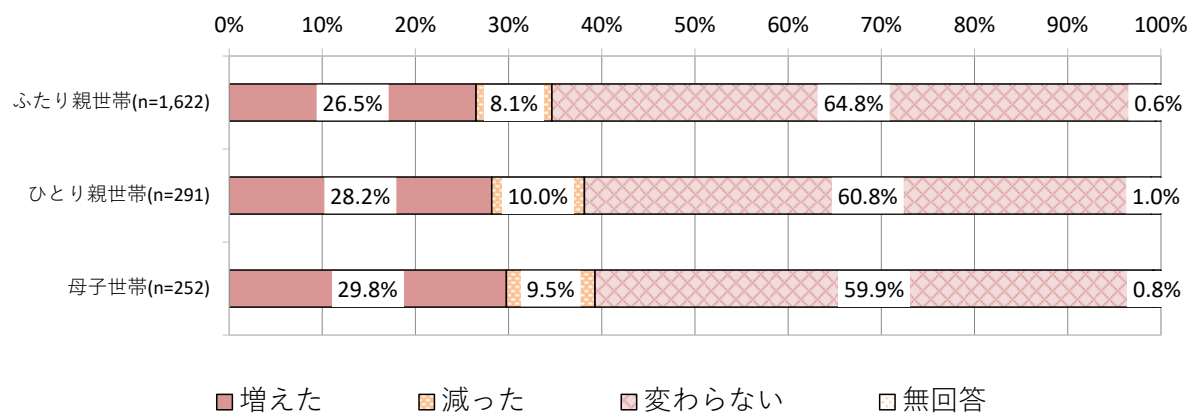
g. イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が26.9%、「減った」が8.4%、「変わらない」が64.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では25.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では27.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では26.5%、「ひとり親世帯」全体では28.2%、「母子世帯」のみでは29.8%となっている。





(8) ずっと家にいると息が詰まったりすること

中学生票問 16

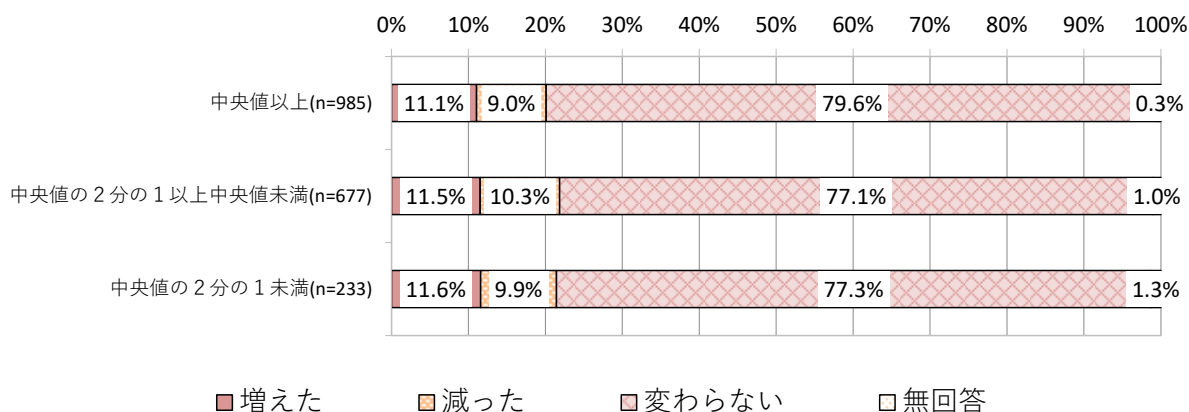
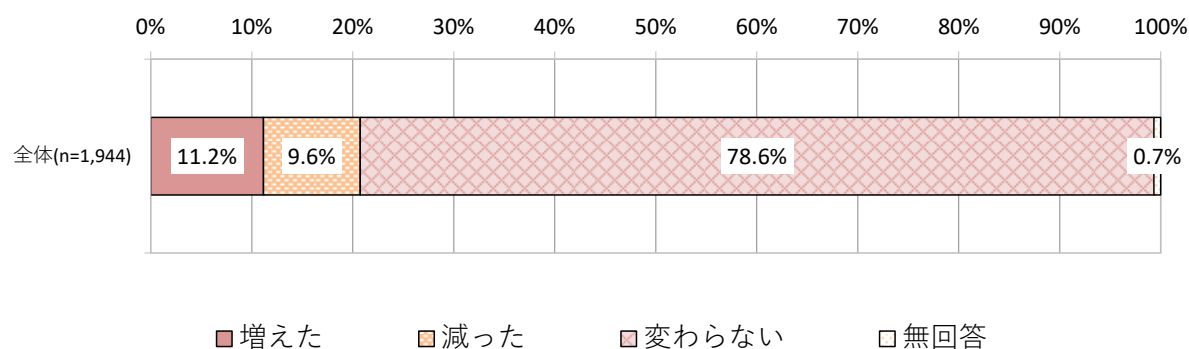
あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（SA）

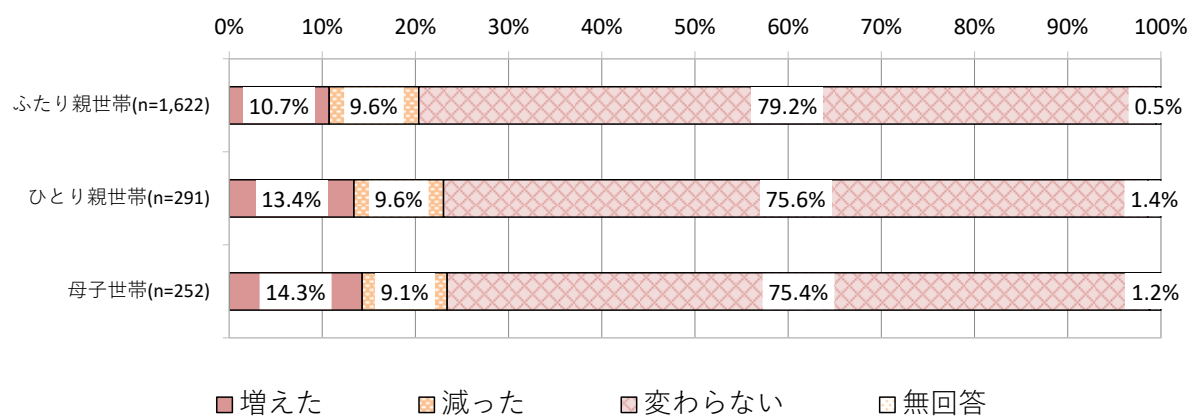
h. ずっと家にいると息が詰まったりすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「ずっと家にいると息が詰まったりすること」は、「増えた」が11.2%、「減った」が9.6%、「変わらない」が78.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では11.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では11.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では11.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では10.7%、「ひとり親世帯」全体では13.4%、「母子世帯」のみでは14.3%となっている。



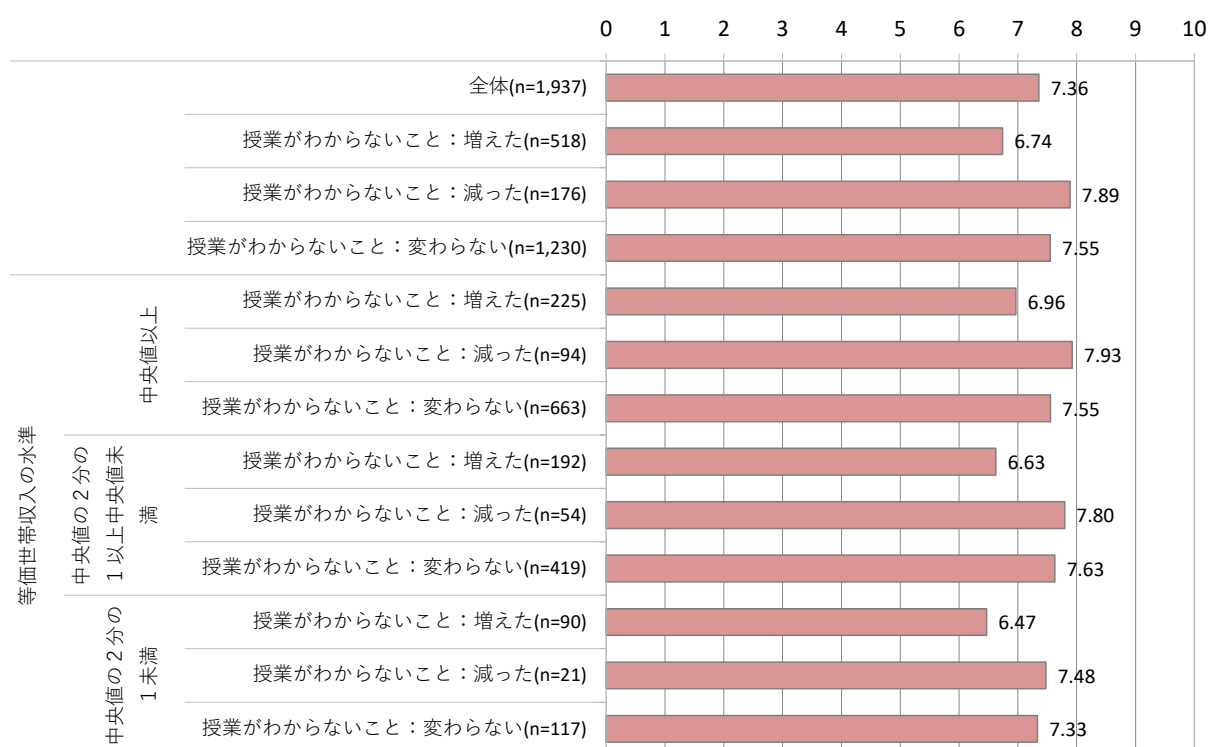


(9) 新型コロナウイルス感染症の影響と子どもの現在の状況との関係

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、生活満足度の平均値は、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は6.74、「減った」と回答した場合は7.89、「変わらない」と回答した場合は7.55となっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

※生活満足度



2.4. 支援の利用状況や効果等

2.4.1. 保護者の状況

(1) 支援制度の利用状況

保護者票問 27

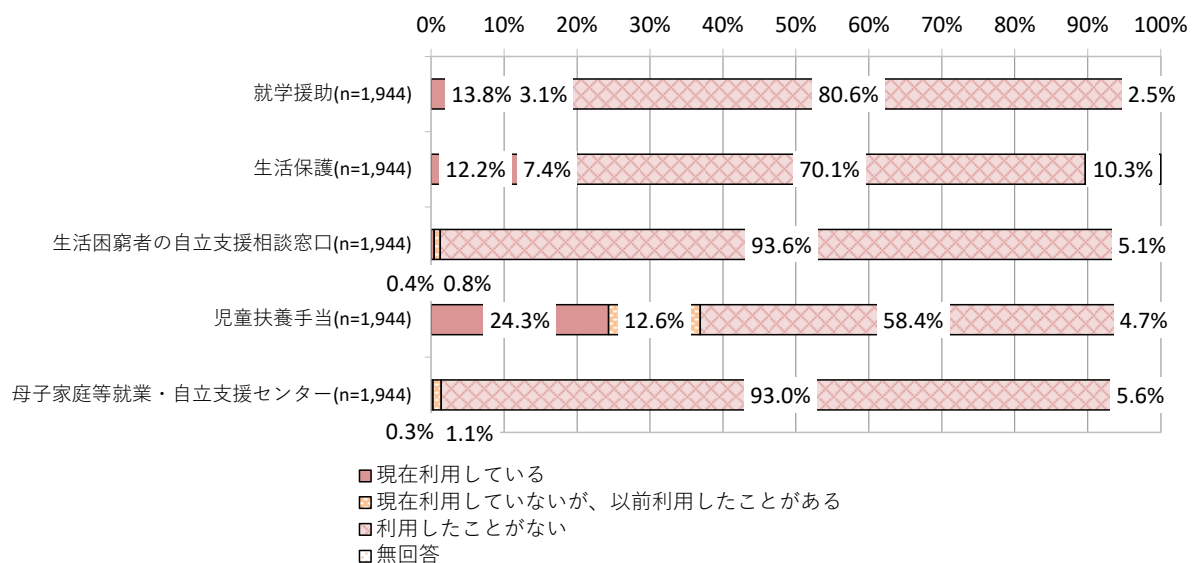
あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)

- a. 就学援助
- b. 生活保護
- c. 生活困窮者の自立支援相談窓口
- d. 児童扶養手当
- e. 母子家庭等就業・自立支援センター

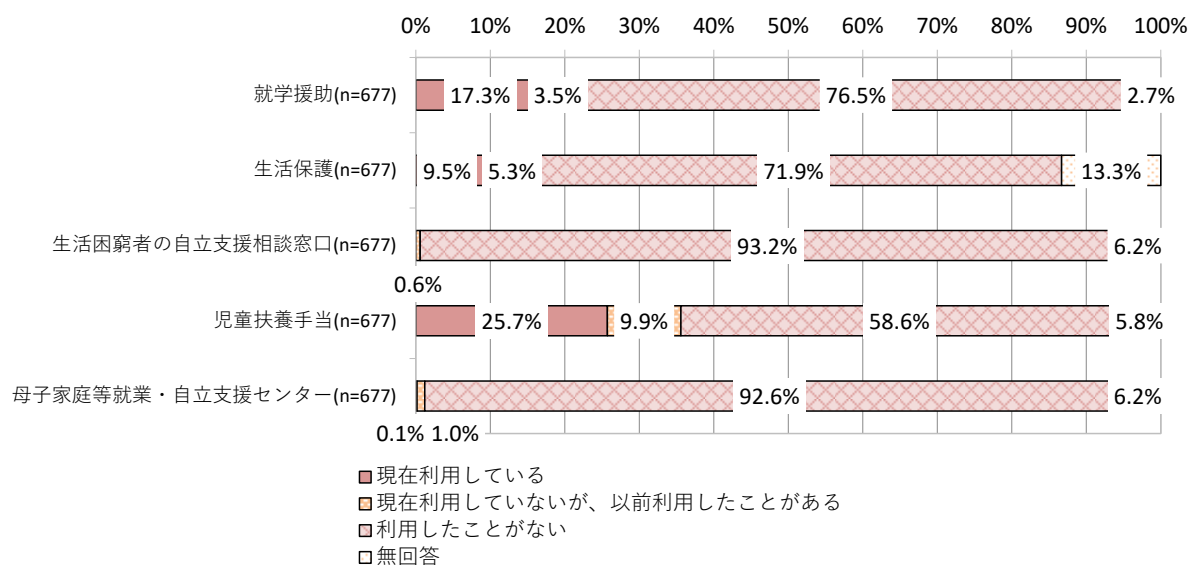
支援制度の利用状況について、「児童扶養手当」に関しては、「現在利用している」の割合が約2割、「就学援助」や「生活保護」に関しては、「現在利用している」の割合が約1割、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」について「現在利用している」の割合は1%以下となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については54.1%、「児童扶養手当」については46.4%となっている。それ以外は、「現在利用している」の割合は1割未満となっている。

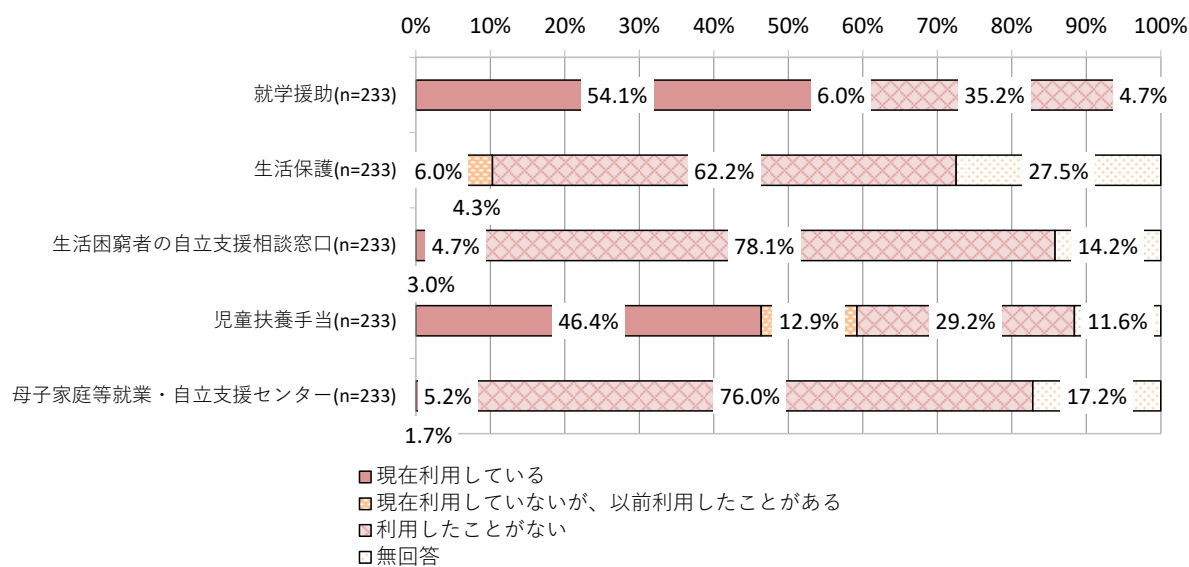
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については51.9%、「児童扶養手当」については66.3%となっている。「母子世帯」のみに限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については57.1%、「児童扶養手当」については69.8%となっている。



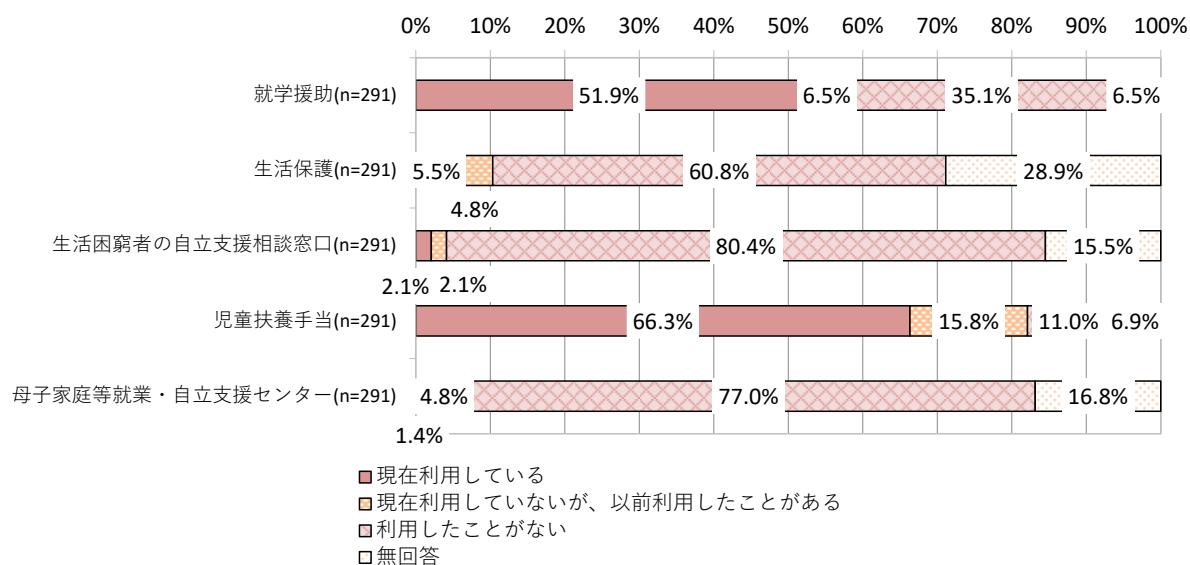
※等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯



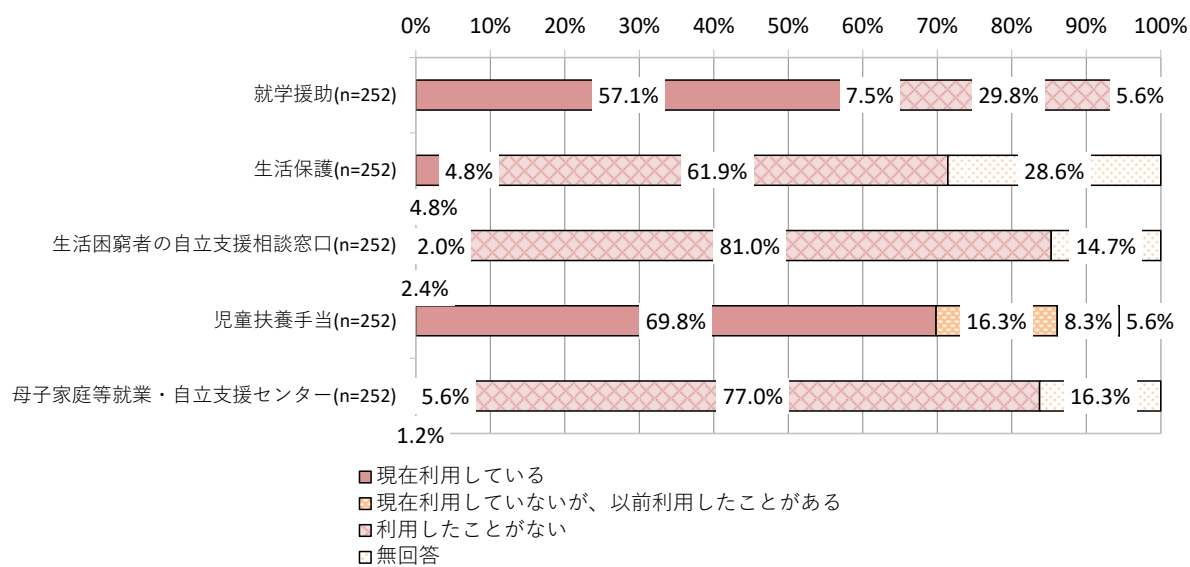
※等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯



※ひとり親世帯



※母子世帯



(2) 支援制度を利用していない理由

保護者票問 27

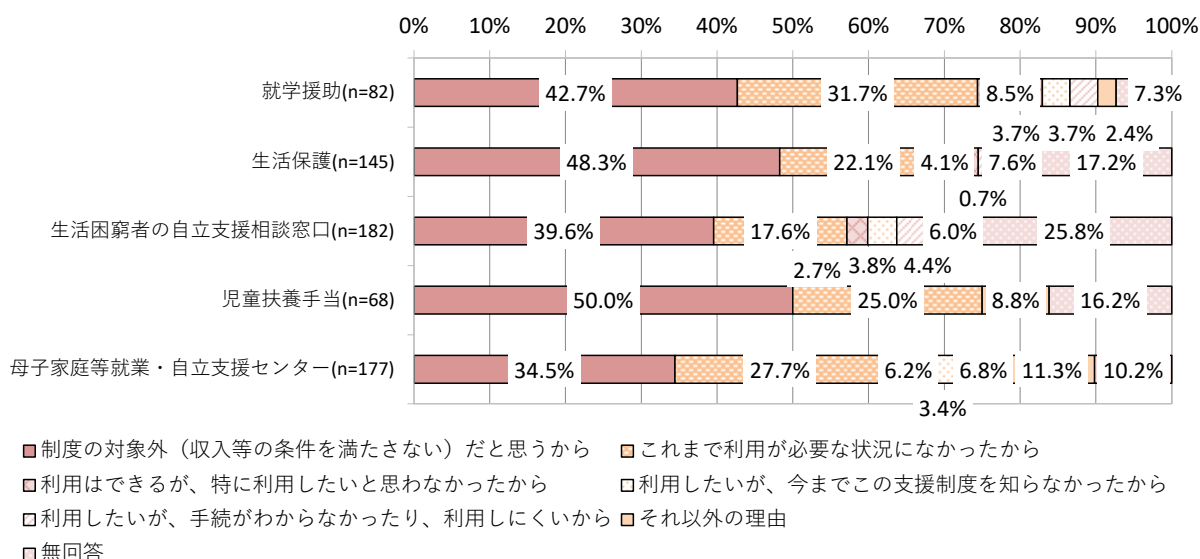
支援制度の利用状況の問で「利用したことがない」を選んだ場合、その理由は何ですか。
(SA)

- a. 就学援助
- b. 生活保護
- c. 生活困窮者の自立支援相談窓口
- d. 児童扶養手当
- e. 母子家庭等就業・自立支援センター

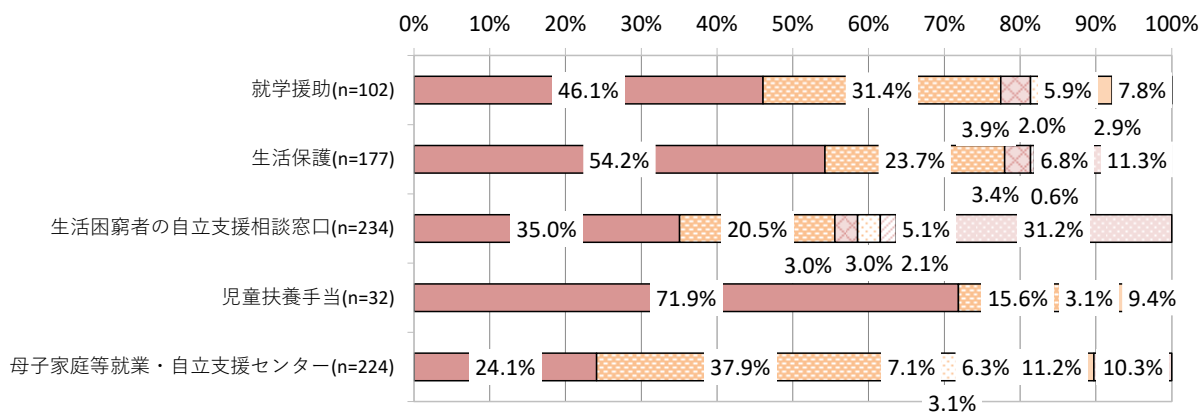
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた回答は、「母子家庭等就業・自立支援センター」に関して、約1割となっている。

「ひとり親世帯」に限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「母子家庭等就業・自立支援センター」に関して約1割となっている。「母子世帯」のみに限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「就学援助」「母子家庭等就業・自立支援センター」に関して約1割となっている。

※等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯

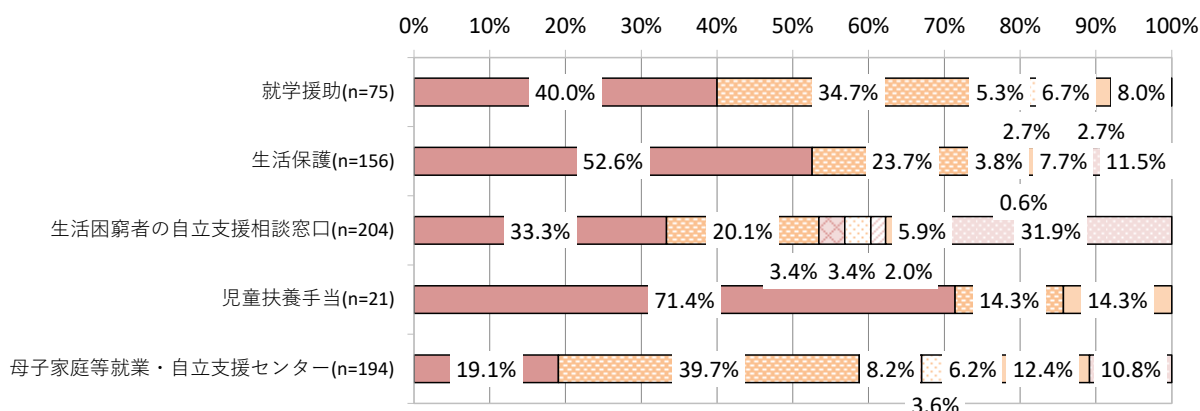


※ひとり親世帯



- 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
- これまで利用が必要な状況になかったから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

※母子世帯



- 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
- これまで利用が必要な状況になかったから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答

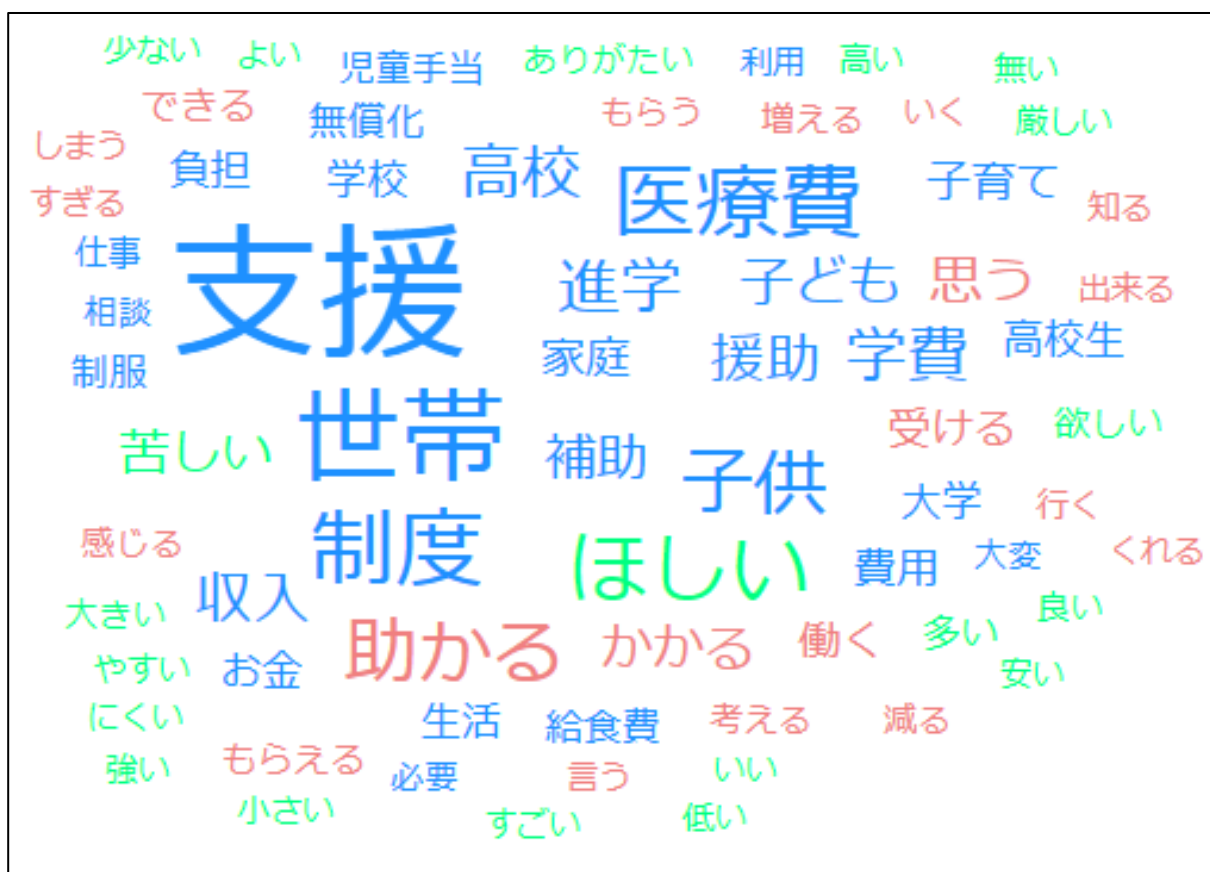
(3) 必要な支援

保護者票問 28

あなたは、問 27 の制度（「就学援助」「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「児童扶養手当」「母子家庭等就業・自立支援センター」）以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。自由に記入してください。（自由記入）

「就学援助」「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「児童扶養手当」「母子家庭等就業・自立支援センター」以外にあるとよいと思う支援について、子育てに係る費用に対する経済的支援を中心に回答があった。

また、回答内容について、AIを活用した文書解析（テキストマイニング）を実施したところ、結果は以下のとおりとなった。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<http://textmining.userlocal.jp/>) による分析結果

2.4.2. 子どもの状況

(1) タごはんを無料か安く食べることができる場所

中学生票問 18

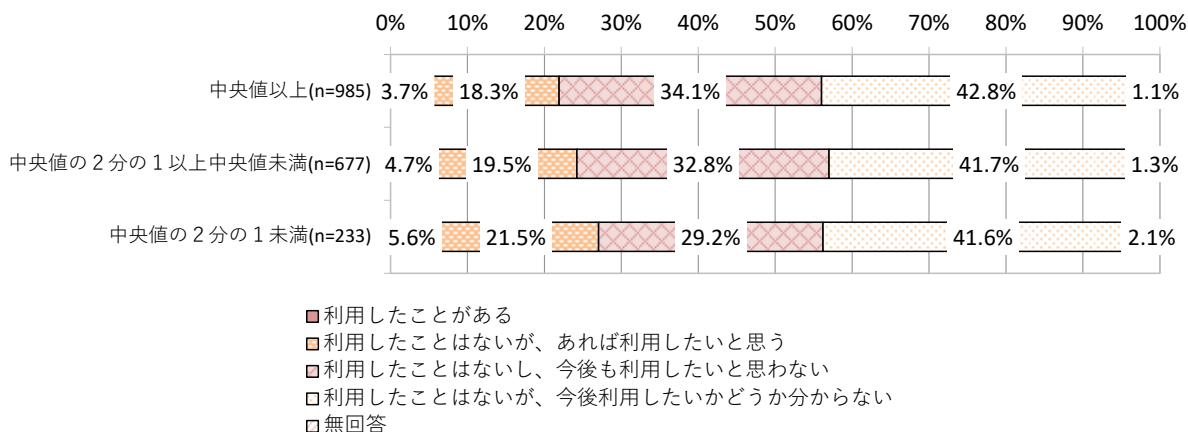
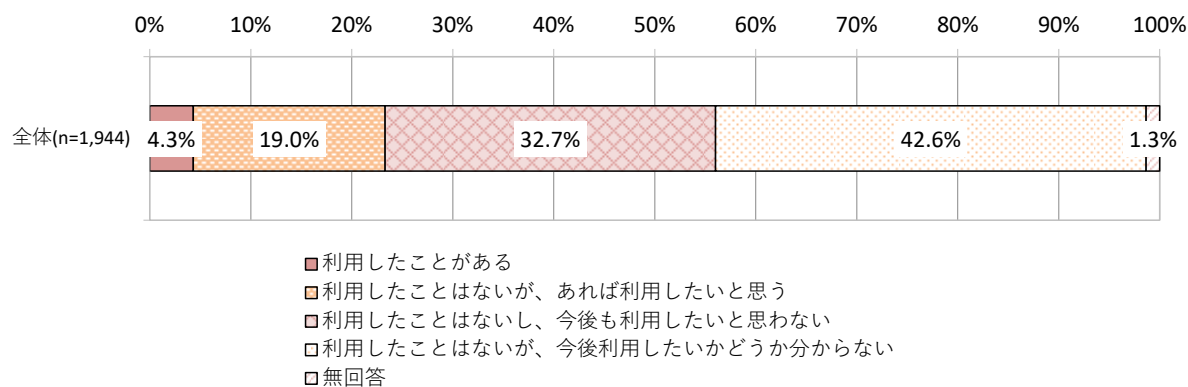
あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

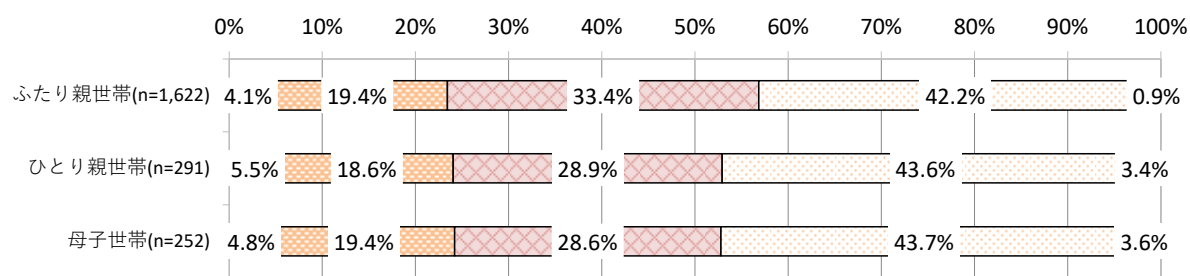
a. (自分や友だちの家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

支援制度・居場所等の利用状況について、「(自分や友だちの家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」に関しては、「利用したことがある」が 4.3%、「あれば利用したいと思う」が 19.0%、「今後も利用したいと思わない」が 32.7%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 42.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 3.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 4.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 5.6%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、18.3%、19.5%、21.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 4.1%、「ひとり親世帯」全体では 5.5%、「母子世帯」のみでは 4.8%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、19.4%、18.6%、19.4%となっている。





- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答

(2) 勉強を無料又は低額でみてくれる場所

中学生票問 18

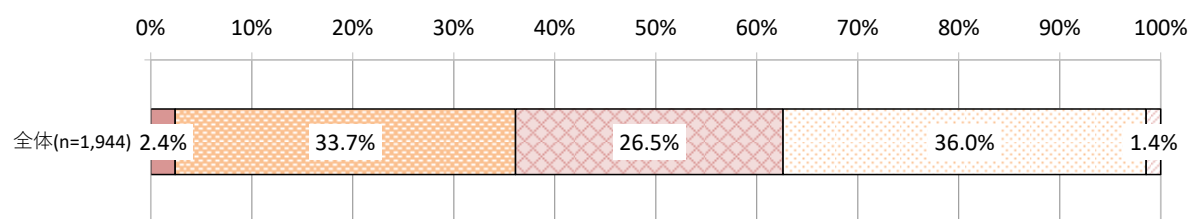
あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

b. 勉強を無料又は低額でみてくれる場所

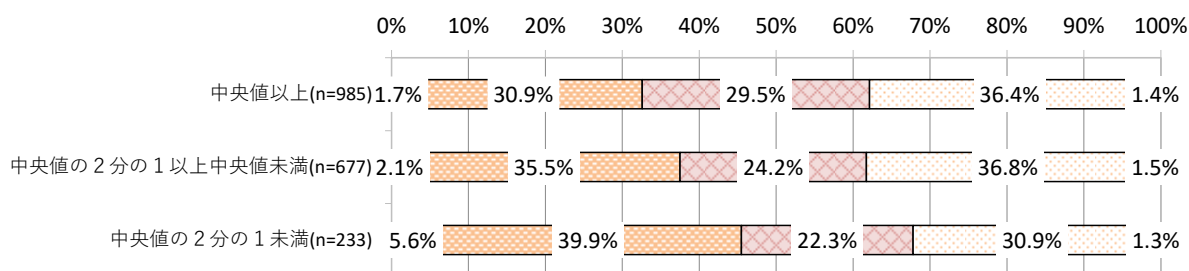
支援制度・居場所等の利用状況について、「勉強を無料又は低額でみてくれる場所」に関しては、「利用したことがある」が 2.4%、「あれば利用したいと思う」が 33.7%、「今後も利用したいと思わない」が 26.5%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 36.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 1.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 2.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 5.6%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、30.9%、35.5%、39.9%となっている。

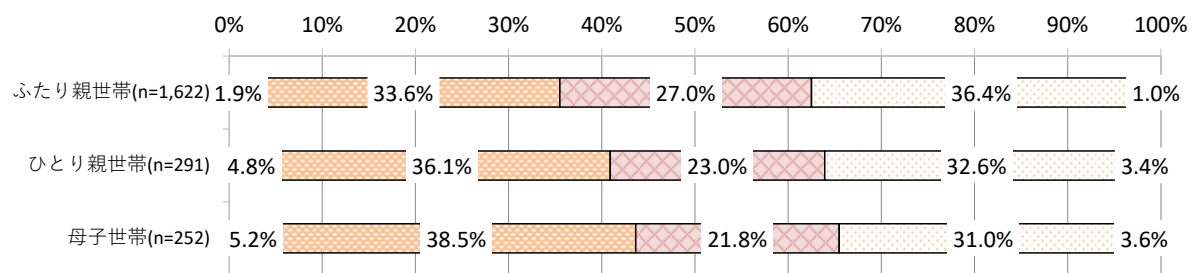
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 1.9%、「ひとり親世帯」全体では 4.8%、「母子世帯」のみでは 5.2%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、33.6%、36.1%、38.5%となっている。



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答

(3) 何でも相談できる場所

中学生票問 18

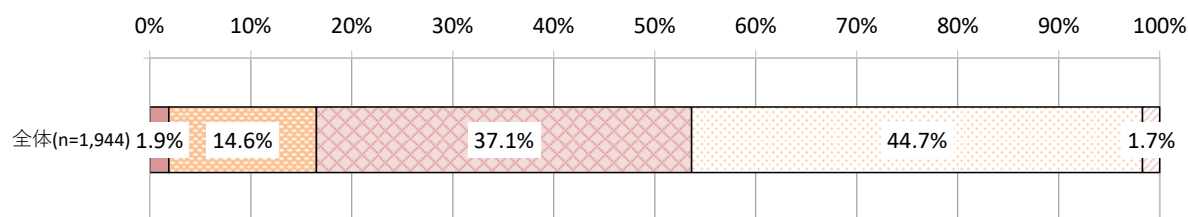
あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

c.(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)

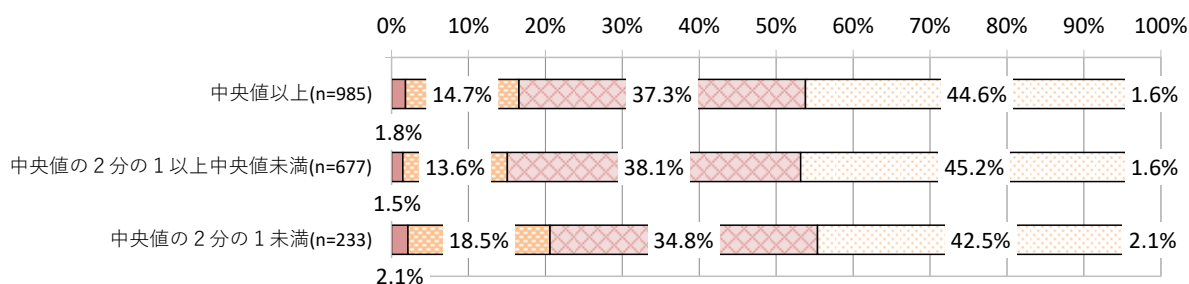
支援制度・居場所等の利用状況について、「何でも相談できる場所」に関しては、「利用したことがある」が1.9%、「あれば利用したいと思う」が14.6%、「今後も利用したいと思わない」が37.1%、「今後も利用したいかどうか分からない」が44.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では1.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では1.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.1%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、14.7%、13.6%、18.5%となっている。

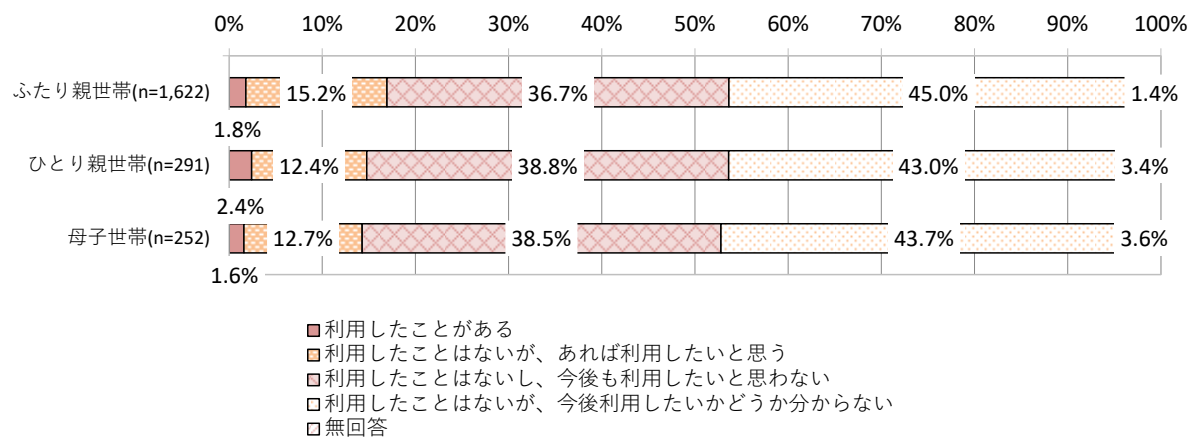
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では1.8%、「ひとり親世帯」全体では2.4%、「母子世帯」のみでは1.6%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、15.2%、12.4%、12.7%となっている。



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



(4) 子ども宅食・フードバンク

中学生票問 18

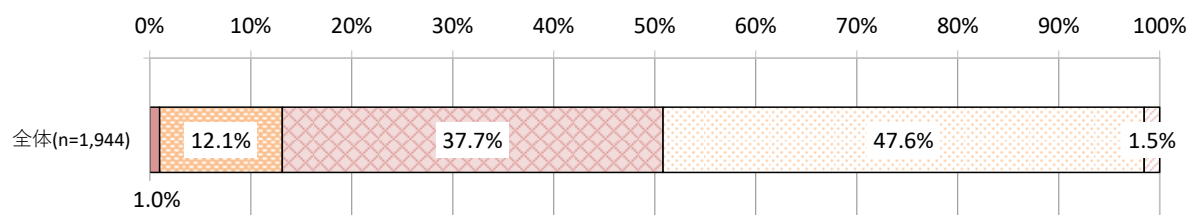
あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

d. 子ども宅食・フードバンク

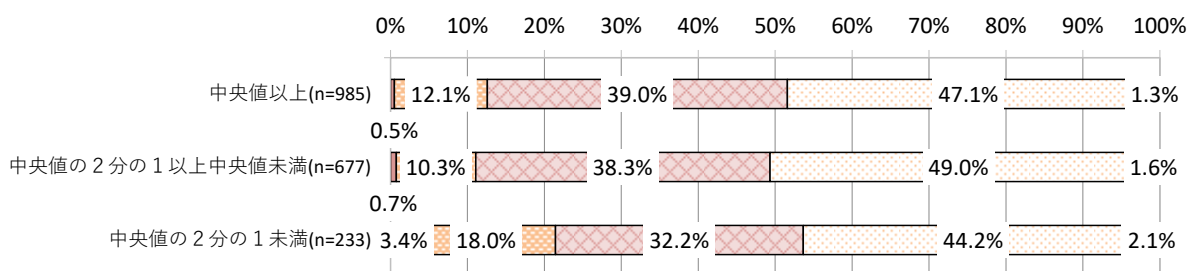
支援制度・居場所等の利用状況について、「子ども宅食・フードバンク」に関しては、「利用したことがある」が1.0%、「あれば利用したいと思う」が12.1%、「今後も利用したいと思わない」が37.7%、「今後も利用したいかどうか分からない」が47.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では0.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では0.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では3.4%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、12.1%、10.3%、18.0%となっている。

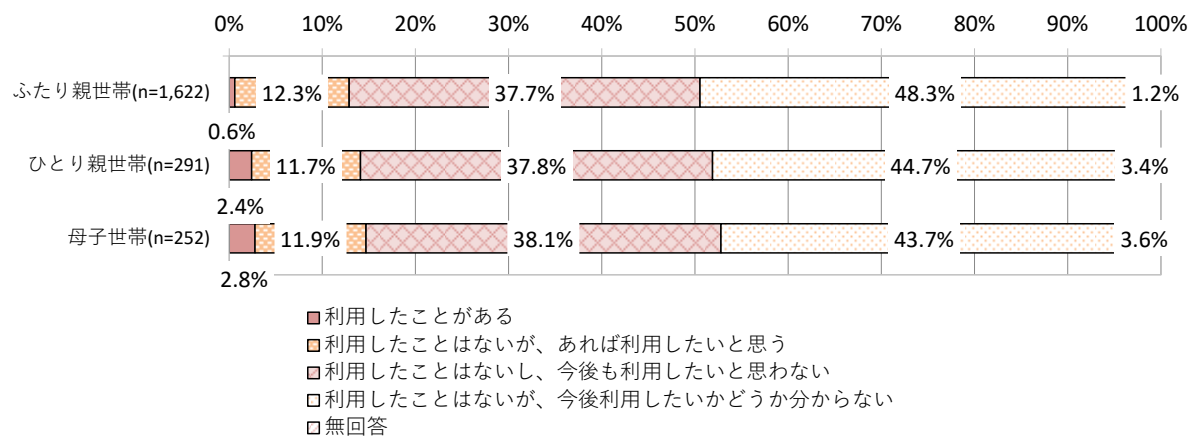
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では0.6%、「ひとり親世帯」全体では2.4%、「母子世帯」のみでは2.8%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、12.3%、11.7%、11.9%となっている。



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



(5) スクールソーシャルワーカー

中学生票問 18

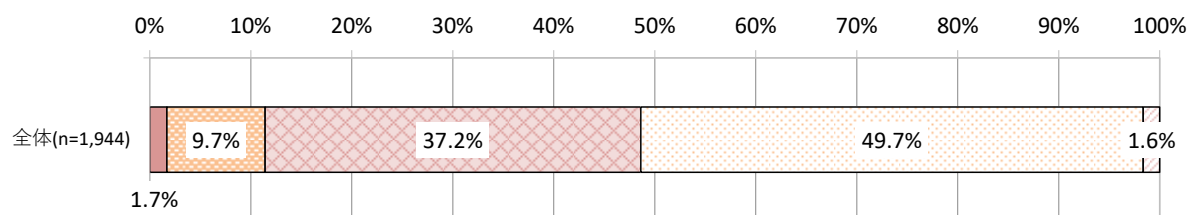
あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

e. スクールソーシャルワーカー

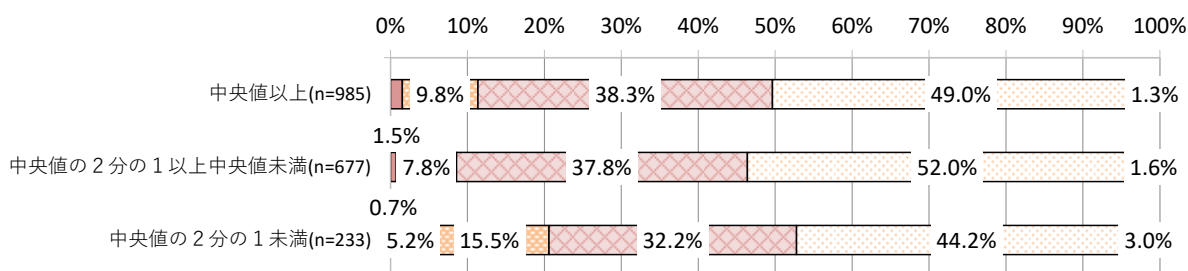
支援制度・居場所等の利用状況について、「スクールソーシャルワーカー」に関しては、「利用したことがある」が 1.7%、「あれば利用したいと思う」が 9.7%、「今後も利用したいと思わない」が 37.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 49.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 1.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 3.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 4.0%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、9.9%、9.6%、9.9%となっている。

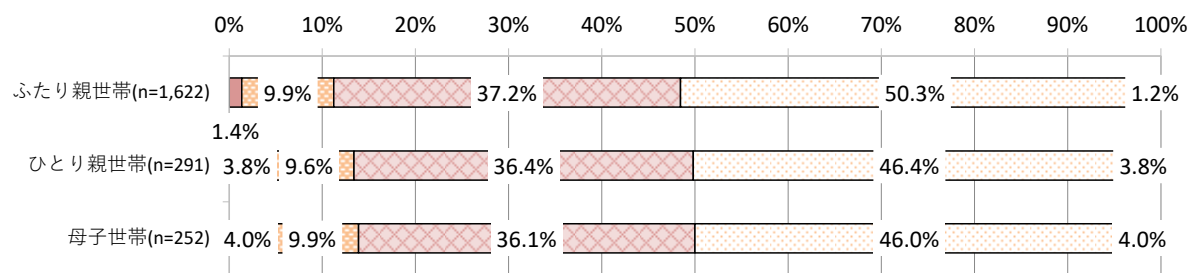
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 1.5%、「ひとり親世帯」全体では 0.7%、「母子世帯」のみでは 5.2%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、9.8%、7.8%、15.5%となっている。



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、あれば利用したいと思う
- 利用したことはないし、今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない
- 無回答

(6) 支援制度・居場所等の利用による変化

中学生票問 19

支援利用の有無の間で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、変化がありましたか。(MA)

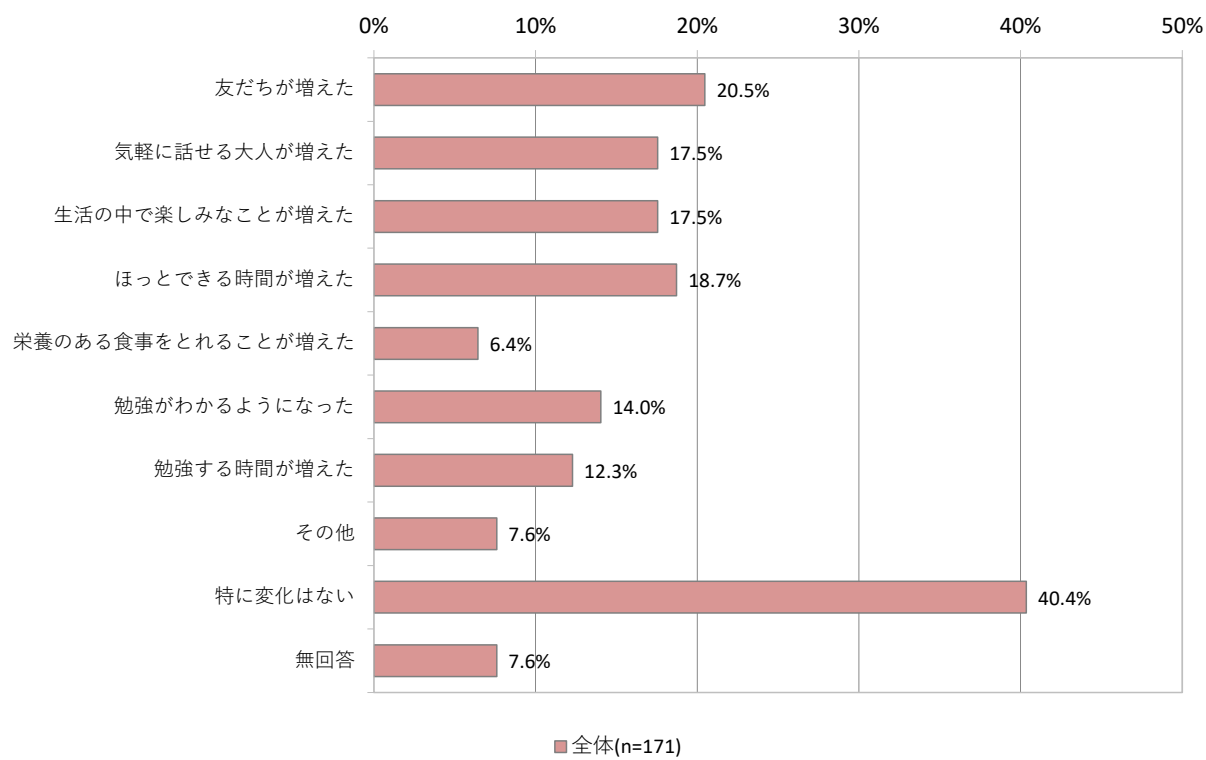
いずれかの支援制度・居場所等を利用したことがある場合に、利用による変化をどのように考えているかについて集計を行った。

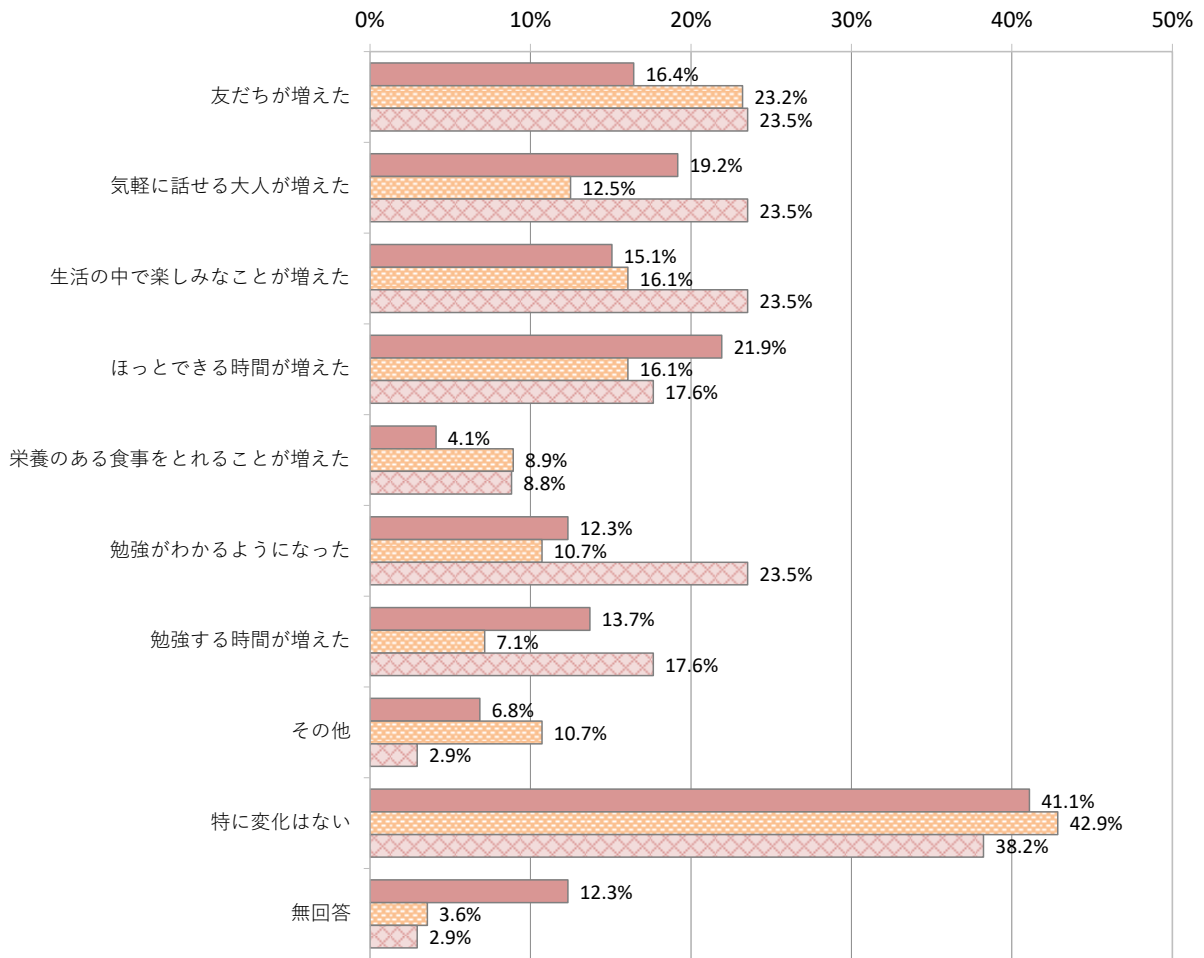
「特に変化はない」以外の回答では、「友だちが増えた」が 20.5%、「ほっとできる時間が増えた」が 18.7%、「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」が 17.5% となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「生活の中で楽しみなことが増えた」「勉強がわかるようになった」の割合が 23.5%で、それぞれ他の世帯と比べて高くなっている。

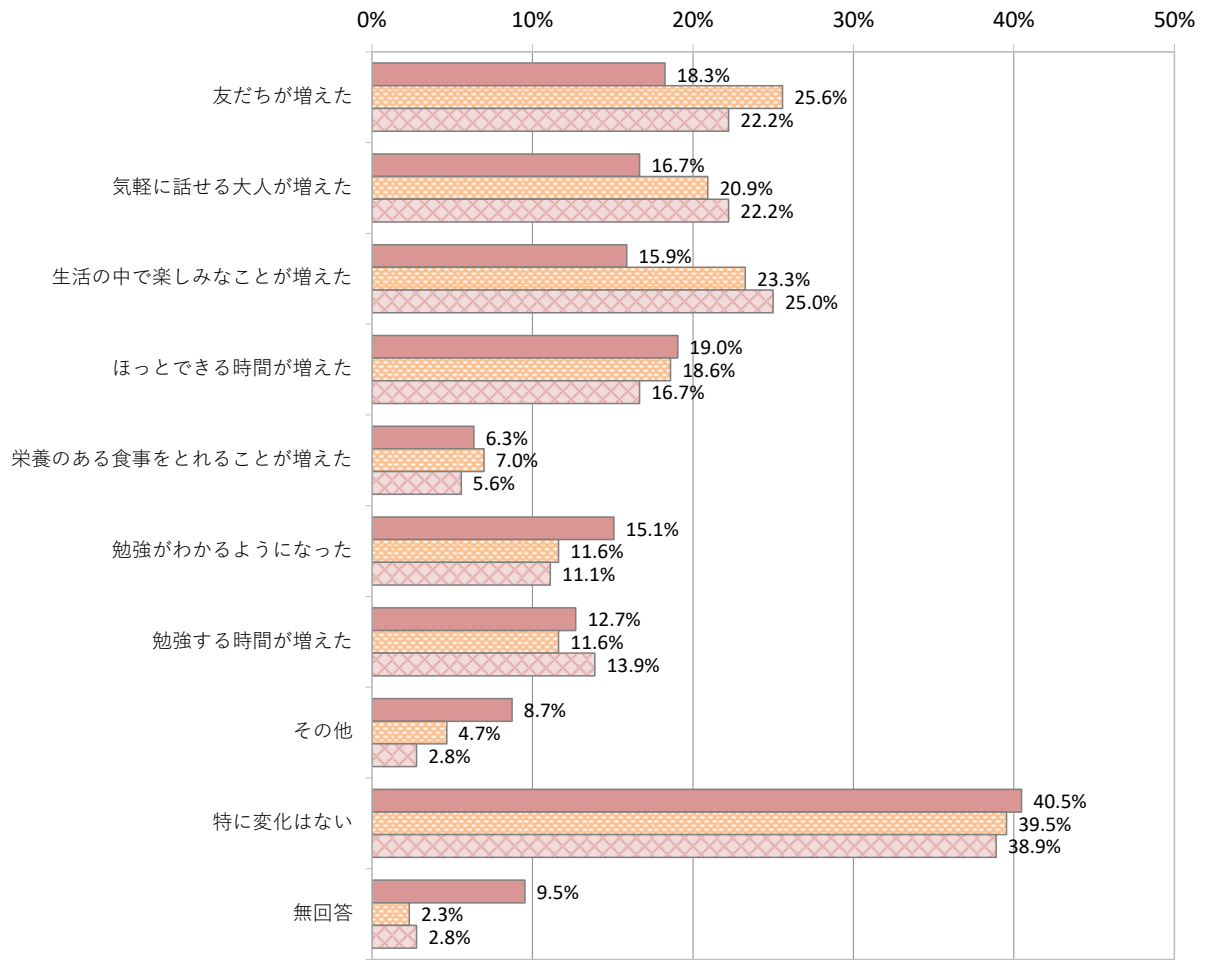
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「友だちが増えた」の割合が 25.6%、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 23.3%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

また、利用した支援制度・利用場所の内容別に集計すると、「(自分や友だちの家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」を利用したことがある場合は、「特に変化はない」の回答割合が 57.1%となっている。「勉強を無料又は低額でみてくれる場所」を利用したことがある場合は、「勉強がわかるようになった」の回答割合が 40.4%、「勉強する時間が増えた」の回答割合が 31.9%となっている。「何でも相談できる場所」を利用したことがある場合は、「ほっとできる時間が増えた」の回答割合が 27.0%となっている。「子ども宅食・フードバンク」を利用したことがある場合は、「特に変化はない」の回答割合が 52.6%となっている。「スクールソーシャルワーカー」を利用したことがある場合は、「ほっとできる時間が増えた」の回答割合が 33.3%となっている。

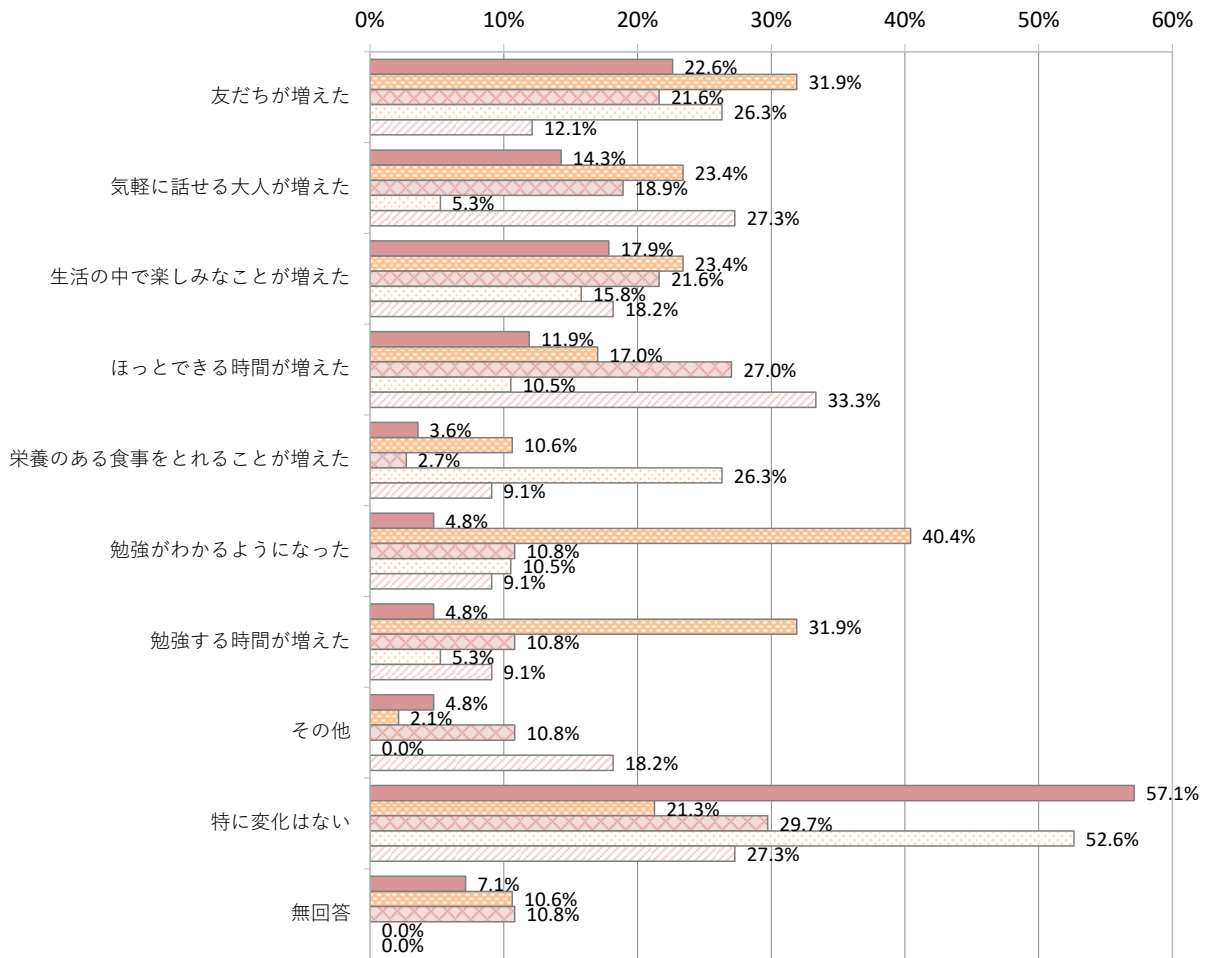




■ 中央値以上(n=73) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=56) ■ 中央値の2分の1未満(n=34)



■ふたり親世帯(n=126) ■ひとり親世帯(n=43) ■母子世帯(n=36)



- (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (こども食堂など) (n=84)
- 勉強を無料又は低額でみてくれる場所(n=47)
- (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) (n=37)
- こども宅食・フードバンク(n=19)
- スクールソーシャルワーカー(n=33)

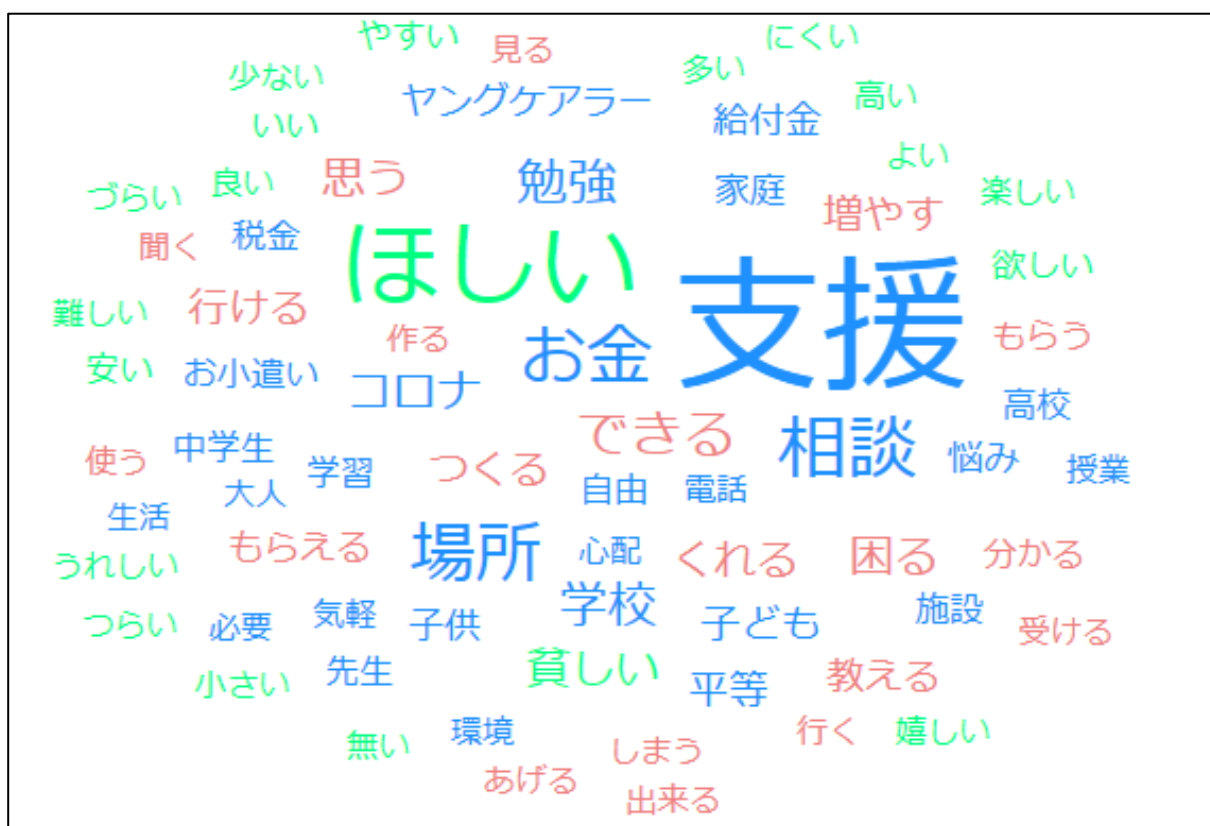
(7) 必要な支援

中学生票問 22

あなたは、どのような支援があるとよいと思いますか。自由に記入してください。(自由記入)

あるとよいと思う支援について、無料又は低額で勉強を教えてくれる場所や不登校の子どもが通うことのできる場所、気軽に相談できる相談窓口の設置、経済的支援などの回答が多くあった。

また、回答内容について、AIを活用した文書解析(テキストマイニング)を実施したところ、結果は以下のとおりとなった。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<http://textmining.userlocal.jp/>) による分析結果

3 参考資料

3.1. 調査票

3.1.1. 保護者票

みやざきけん こ せいかつじょうきょうちょうさ
宮崎県子どもの生活状況調査

【保護者票】

[アンケートご協力のお願い]

- この調査は、中学2年生のお子さんがいいらっしゃる保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、宮崎県が実施するものです。調査の結果を子育て世帯等への施策に役立てることを目的に実施いたしますので、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。
- この調査は、市町村の協力を得て無作為に抽出した約半数の世帯を対象に実施しています。
- この調査票は、中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- 中学2年生のお子さんが2人以上いる場合は、どなたかお一人に同封の「中学生票」をお渡しいただき、その回答するお子さんについてご回答をお願いします。
- 回答は、回答の番号に○をつけていただくか、または記入してください。15分ほどでお答えいただける内容です。
- この調査票は、調査の目的以外には使用しません。
- この調査票は無記名でご提出いただきますので、どなたがお答えになったかは特定されず、個別の調査票に関する公表は一切行いません。
- 令和4年11月30日（水）**までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

○インターネットで回答（パソコンやスマートフォンを利用した回答）

下の URL からインターネットを使って回答してください。

<https://enquete.cc/q/miyazakioya22>

調査票番号	
-------	--

右のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ってアクセスすることもできます。



○紙の調査票で回答（※ご記入いただいた調査票は、お子さんの調査票を入れた水色の封筒といっしょに大きい封筒に入れ、他の人に見られないようにのりやセロハンテープで封をして、近くの郵便ポストに入れてください。）

- 調査に関してのお問合せは、以下までお願いします。

- 調査実施機関（調査の回答方法に関することなど）
協同組合鹿児島みらい研究所 宮崎県調査担当
電話：099-812-1691 E-mail：info@miraiken.org
- 調査実施主体（調査の実施に関することなど）
宮崎県福祉保健部福祉保健課 保護担当
電話：0985-26-7075 E-mail：fukushihoken@pref.miyazaki.lg.jp

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親にかわる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1 母親	2 父親
3 祖父母	4 その他

問2 あなたがお住まいの市町村をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1 宮崎市	8 西都市	15 新富町	22 椎葉村
2 都城市	9 えびの市	16 西米良村	23 美郷町
3 延岡市	10 三股町	17 木城町	24 高千穂町
4 日南市	11 高原町	18 川南町	25 日之影町
5 小林市	12 国富町	19 都農町	26 五ヶ瀬町
6 日向市	13 綾町	20 門川町	
7 串間市	14 高鍋町	21 諸塚村	

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人			4 4人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	5 5人
0 いない		0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人	ひとり	2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親	歳	父親	歳	母親・父親にかわる保護者	歳
----	---	----	---	--------------	---

問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | お子さんの母親が単身赴任中 | 2 | お子さんの父親が単身赴任中 |
| 3 | その他 | 4 | 単身赴任中の者はいない |

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

2
に
○
を
つ
け
た
場
合
の
み
↓

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 結婚している(再婚や事実婚を含む。) |
| 2 | 離婚 |
| 3 | 死別 |
| 4 | 未婚 |
| 5 | わからない |
| 6 | いない |

問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 取り決めをしており、受け取っている |
| 2 | 特に取り決めはしていないが、受け取っている |
| 3 | 取り決めをしているが、受け取っていない |
| 4 | 取り決めをしておらず、受け取っていない |

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 日本語のみを使用している |
| 2 | 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い |
| 3 | 日本語以外の言語を使うことが多い |

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。(a,b,c それぞれについて、あてはまるものひとつに○) (それぞれいらない場合には「いない」に○をつけてください。)

	a) 母親	b) 父親	c) 母親・父親にかわる保護者
中学のみ	1	1	1
中学、高校	2	2	2
中学、高校、専門学校	3	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4	4
中学、高校、短大	5	5	5
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学	6	6	6
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	7	7	7
その他	8	8	8
わからない	9	9	9
いない	10	10	10

問10 お子さんの親又は親にかわる保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a,b,c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親	c) 母親・父親にかわる保護者
正社員・正規職員・会社役員	1	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5	5
わからない	6	6	6
いない	7	7	7

5に○をつけた場合のみ

問 1 1 前問で「5 働いていない」と答えた場合、最も主な理由を教えてください。

(a,b,c それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 母親	b) 父親	c) 母親・ 父親にかわ る保護者
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1	1
子育てを優先したため	2	2	2
子どもが病気・障がいのため	3	3	3
その他の家族の介護・介助のため	4	4	4
自分の病気や障害のため	5	5	5
通学しているため	6	6	6
その他の理由	7	7	7

問 1 2 お子さんが 0～2 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問 1 3 お子さんが 3～5 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
 (a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
e) ニュースの話をする	1	2	3	4
f) SNS等の話をする	1	2	3	4
g) 夕食は子どもに作ってもらう	1	2	3	4
h) 夕食は一緒に食べる	1	2	3	4

問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

※新型コロナウイルス感染症拡大後（2020年2月以降）、学校行事などが休止している場合は、それ以前の状況をお答えください。

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4
c) 部活や校外活動に参加している	1	2	3	4

問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるものひとつに○)

- 1 中学卒業後は進学しない
- 2 高校
- 3 高校、専門学校
- 4 5年制の高等専門学校
- 5 高校、短大
- 6 高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- 7 高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問18に進んでください。

問 17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。
(1～6については、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 親・保護者が希望しているから
- 3 一般的な進路だと思うから
- 4 お子さんの学力から考えて
- 5 家庭の経済的な状況から考えて
- 6 その他
- 7 特に理由はない

問 18 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄の相談	c) いざという時のお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○

問 19 あなたは、現在の暮らしの経済的な状況をどのように感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

問20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※令和3年(2021年)の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入(定期収入、賞与等)

・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)

・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)

・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)

・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家、土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等、相続による財産取得分は除く。)

・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

- 1 50万円未満
- 2 50~100万円未満
- 3 100~150万円未満
- 4 150~200万円未満
- 5 200~250万円未満
- 6 250~300万円未満
- 7 300~350万円未満
- 8 350~400万円未満
- 9 400~450万円未満
- 10 450~500万円未満
- 11 500~600万円未満
- 12 600~700万円未満
- 13 700~800万円未満
- 14 800~900万円未満
- 15 900~1000万円未満
- 16 1000万円以上

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(※)は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

※嗜好品とは、栄養分として必要でない、好きで食べたり飲んだりする、お酒やタバコ、コーヒーなど。

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問24 次のa)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。
(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をしても面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

0：まったく満足していない						10：十分に満足している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問26 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。

(a~g それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をするこ	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、めめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
g) 家にいる時間	1	2	3

お知らせ

※宮崎県では、進学・就職に関する支援制度をまとめた「桜さく成長応援ガイド」を作成しています。県内全ての中学生・高校生に配布していますので、お子さんといっしょにぜひご利用ください。

桜さく成長応援ガイドのQRコード・・・



※生活にお困りの皆様に支援制度に関する情報をお届けする特設サイトをぜひご利用ください。

ミナテラスみやざき 検索



問27 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～eそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑥のあてはまるもの1つに○)

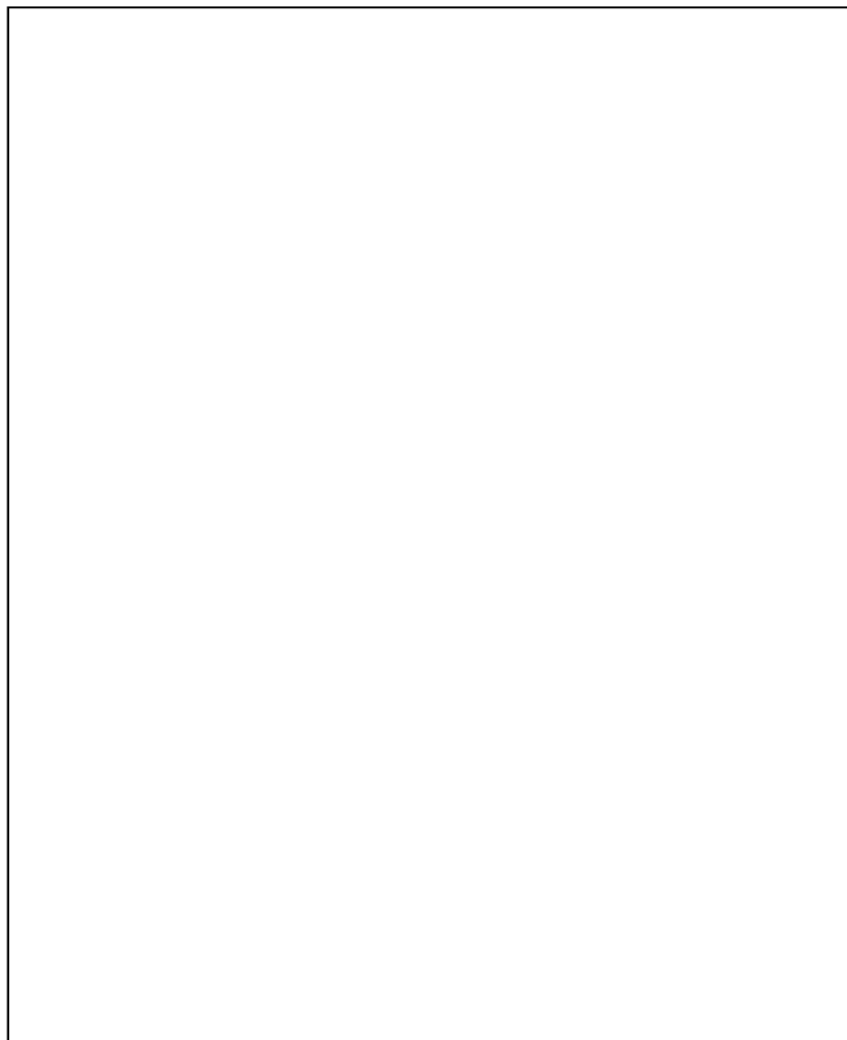
	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の自立 支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ たから	①	①	①	①	①
これまで利用が必要な状況にな ったから	②	②	②	②	②
利用はできるが、特に利用した と思わなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、今までこの支援 制度を知らなかったから	④	④	④	④	④
利用したいが、手続がわからな かったり、利用しにくいから	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
それ以外の理由	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥

①～⑥のあてはまるもの1つに○

(参考)

- ※1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問 2 8 あなたは、問 2 7 の制度以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。
自由に記入してください。



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

3.1.2. 中学生票

みやざきけん こ せいかつじょうきょうちようさ
宮崎県子どもの生活状況調査

ちゅうがくせいひょう
【中学生票】

[アンケートご協力お願い]


- この調査は、中学2年生を対象に、生活状況などについてお聞きするため、宮崎県が実施するものです。調査の結果を子育て世帯等への支援に役立てることを目的としていますので、ぜひ協力いただきますようお願いいたします。
- この調査は、市町村の協力を得て無作為に抽出した約半数の世帯を対象に実施しています。
- 家庭内に双子など対象者が2人以上いる場合は、どなたか1人がご回答ください。
- この調査票は、中学2年生の方がご自身で書いてください。ご自分の考えで答えていただき、おうちの方には見せないでください。
- あなたの思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまるもの1つに○」や「あてはまるものすべてに○」などと書いてありますので、それにしがってください。
- この調査票は調査の目的以外には使用しません。
- この調査票は名前を書かずに提出していただきますので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。
- 令和4年11月30日(水)までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

○インターネットで回答 (パソコンやスマートフォンを利用した回答)
下の URL からインターネットを使って回答してください。

<https://enquete.cc/q/miyazakikodomo22>

調査票番号	
-------	--

右の QR コードをスマートフォンやタブレットで読み取ってアクセスすることもできます。



○紙の調査票で回答 (全部書き終わったら、自分で水色の封筒に入れて、のりやセロハンテープでどておうちの方に渡してください。おうちの方に郵便ポストに入れていただきます。)

- 調査についてのお問合せは、以下までお願いします。

■ 調査実施機関 (調査の回答方法に関することなど) 協同組合鹿児島みらい研究所 宮崎県調査担当 電話：099-812-1691 E-mail：info@miraiken.org
■ 調査実施主体 (調査の実施に関することなど) 宮崎県福祉保健部福祉保健課 保護担当 電話：0985-26-7075 E-mail：fukushihoken@pref.miyazaki.lg.jp

1

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
 (a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは学校にどのくらい通っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 毎日(週5日) | 2 週3～4日 |
| 3 週1～2日 | 4 ほとんど通っていない |

問5-2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きます。
いつごろから、授業がわからないことがあようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 小学1・2年生のころ
- 2 小学3・4年生のころ
- 3 小学5・6年生のころ
- 4 中学1年生のころ
- 5 中学2年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学卒業後は進学しない
- 2 高校
- 3 高校、専門学校
- 4 5年制の高等専門学校
- 5 高校、短大
- 6 高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 7 高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友だちがそうしているから
- 6 経済的なことを考えて
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 参加している →問11に進んでください。
2 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
2 塾や習い事が忙しいから
3 費用がかかるから
4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 一緒にいる友だちがいないから
6 その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5~6日	週3~4日	週1~2日、 ほとんど食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4
	毎回食べる	2回に1回く	3回に1回く	ほとんど食べない
d) 土・日曜日・祝日の昼食	1	2	3	4

問1 1-2 あなたは主に誰と食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-------|
| 1 家族全員 | 2 親 |
| 3 きょうだい | 4 その他 |
| 5 1人で食事をしている | |

問1 2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | |
|------------------|
| 1 そうである |
| 2 どちらかといえばそうである |
| 3 どちらかといえばそうではない |
| 4 そうではない |

問1 3 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思っている人はだれですか。

(1～10については、あてはまるものすべてに○、10は記述してください)

- | |
|------------------------------|
| 1 親 |
| 2 きょうだい |
| 3 祖父母など |
| 4 学校の先生 |
| 5 学校の友だち |
| 6 学校外の友だち |
| 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど |
| 8 塾・習い事の先生、地域の人など |
| 9 ネットで知り合った人 |
| 10 その他 () |
| 11 だれにも相談できない、相談したくない |

問1 4 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない					10 : 十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。
(a~qそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の人たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んですすんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたいは好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3
p) 私は、学力が低下している。	1	2	3
q) 私は、体力が低下している。	1	2	3

問16 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。

(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 えた	減 った	変 わ ら な い
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3
h) ずっと家にいると息が詰まったりすること	1	2	3

問17 あなたは今までに、以下のa~hのようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。
(あてはまるもの1つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだけれども愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を大量に飲んだり麻薬を使ったりして、自分の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0個)
- 1 1個あてはまる
- 2 2個あてはまる
- 3 3個あてはまる
- 4 4個あてはまる
- 5 5個あてはまる
- 6 6個あてはまる
- 7 7個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8個)

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、宮崎県子ども・若者総合相談センター わかば(子ども相談ダイヤル(18歳まで通話無料)0120-730-130)、「チャイルドライン」(フリーダイヤル:0120-99-7777)、「24時間子供SOSダイヤル」(フリーダイヤル:0120-078310)に話してみてください。

問18 あなたは、次の a～e のような場所や支援を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		思えば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない
a) (自分や友だちの家以外で) 夕ごはんを無料で安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
b) 勉強を無料又は低額でみてくれる場所	1	2	3	4
c) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4
d) こども宅食・フードバンク	1	2	3	4
e) スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4

問19 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

3.2. 集計表及び自由回答一覧

3.2.1. 保護者票

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
母親	1,466	678	544	203	1,199	252	252
	75.4%	68.8%	80.4%	87.1%	73.9%	86.6%	100.0%
父親	449	300	119	25	409	32	0
	23.1%	30.5%	17.6%	10.7%	25.2%	11.0%	0.0%
祖父母	11	4	5	2	4	4	0
	0.6%	0.4%	0.7%	0.9%	0.2%	1.4%	0.0%
その他	4	1	1	0	2	0	0
	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
無回答	14	2	8	3	8	3	0
	0.7%	0.2%	1.2%	1.3%	0.5%	1.0%	0.0%

問2 あなたがお住まいの市町村をお答えください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
宮崎市	627 32.3%	356 36.1%	201 29.7%	60 25.8%	536 33.0%	88 30.2%	76 30.2%
都城市	214 11.0%	100 10.2%	80 11.8%	31 13.3%	182 11.2%	28 9.6%	26 10.3%
延岡市	337 17.3%	163 16.5%	113 16.7%	42 18.0%	264 16.3%	66 22.7%	58 23.0%
日南市	64 3.3%	37 3.8%	18 2.7%	9 3.9%	59 3.6%	5 1.7%	4 1.6%
小林市	49 2.5%	26 2.6%	16 2.4%	5 2.1%	38 2.3%	10 3.4%	9 3.6%
日向市	76 3.9%	43 4.4%	24 3.5%	5 2.1%	66 4.1%	7 2.4%	6 2.4%
串間市	30 1.5%	14 1.4%	10 1.5%	5 2.1%	21 1.3%	8 2.7%	8 3.2%
西都市	26 1.3%	10 1.0%	11 1.6%	5 2.1%	25 1.5%	1 0.3%	1 0.4%
えびの市	30 1.5%	8 0.8%	17 2.5%	3 1.3%	23 1.4%	7 2.4%	7 2.8%
三股町	47 2.4%	19 1.9%	23 3.4%	5 2.1%	42 2.6%	4 1.4%	3 1.2%
高原町	16 0.8%	4 0.4%	8 1.2%	3 1.3%	14 0.9%	2 0.7%	2 0.8%
国富町	48 2.5%	25 2.5%	17 2.5%	6 2.6%	40 2.5%	8 2.7%	7 2.8%
綾町	21 1.1%	5 0.5%	11 1.6%	5 2.1%	20 1.2%	1 0.3%	1 0.4%
高鍋町	61 3.1%	38 3.9%	15 2.2%	7 3.0%	45 2.8%	14 4.8%	11 4.4%
新富町	58 3.0%	28 2.8%	21 3.1%	8 3.4%	49 3.0%	9 3.1%	7 2.8%
西米良村	6 0.3%	1 0.1%	3 0.4%	2 0.9%	4 0.2%	2 0.7%	2 0.8%
木城町	20 1.0%	15 1.5%	5 0.7%	0 0.0%	19 1.2%	1 0.3%	1 0.4%
川南町	57 2.9%	26 2.6%	25 3.7%	6 2.6%	49 3.0%	6 2.1%	5 2.0%
都農町	23 1.2%	12 1.2%	9 1.3%	2 0.9%	22 1.4%	1 0.3%	1 0.4%
門川町	43 2.2%	19 1.9%	16 2.4%	7 3.0%	32 2.0%	9 3.1%	8 3.2%
諸塚村	4 0.2%	2 0.2%	1 0.1%	1 0.4%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
椎葉村	10 0.5%	2 0.2%	4 0.6%	4 1.7%	9 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
美郷町	15 0.8%	11 1.1%	2 0.3%	2 0.9%	13 0.8%	2 0.7%	1 0.4%
高千穂町	37 1.9%	12 1.2%	15 2.2%	7 3.0%	29 1.8%	7 2.4%	5 2.0%
日之影町	9 0.5%	4 0.4%	5 0.7%	0 0.0%	8 0.5%	1 0.3%	1 0.4%
五ヶ瀬町	8 0.4%	4 0.4%	1 0.1%	2 0.9%	6 0.4%	2 0.7%	2 0.8%
無回答	8 0.4%	1 0.1%	6 0.9%	1 0.4%	3 0.2%	2 0.7%	0 0.0%

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

a) 祖母

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	1,614	868	541	175	1,388	207	184
	83.0%	88.1%	79.9%	75.1%	85.6%	71.1%	73.0%
1人	234	79	95	50	157	69	56
	12.0%	8.0%	14.0%	21.5%	9.7%	23.7%	22.2%
2人	16	6	7	3	13	1	1
	0.8%	0.6%	1.0%	1.3%	0.8%	0.3%	0.4%
無回答	80	32	34	5	64	14	11
	4.1%	3.2%	5.0%	2.1%	3.9%	4.8%	4.4%

b) 祖父

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	1,694	896	577	189	1,439	234	205
	87.1%	91.0%	85.2%	81.1%	88.7%	80.4%	81.3%
1人	153	51	60	35	108	40	33
	7.9%	5.2%	8.9%	15.0%	6.7%	13.7%	13.1%
2人	10	3	4	3	8	0	0
	0.5%	0.3%	0.6%	1.3%	0.5%	0.0%	0.0%
無回答	87	35	36	6	67	17	14
	4.5%	3.6%	5.3%	2.6%	4.1%	5.8%	5.6%

c) 母親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	21	10	6	5	7	13	2
	1.1%	1.0%	0.9%	2.1%	0.4%	4.5%	0.8%
1人	1,907	968	667	227	1,606	273	248
	98.1%	98.3%	98.5%	97.4%	99.0%	93.8%	98.4%
無回答	16	7	4	1	9	5	2
	0.8%	0.7%	0.6%	0.4%	0.6%	1.7%	0.8%

d) 父親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	303	43	126	119	48	242	236
	15.6%	4.4%	18.6%	51.1%	3.0%	83.2%	93.7%
1人	1,614	938	539	108	1,564	33	1
	83.0%	95.2%	79.6%	46.4%	96.4%	11.3%	0.4%
無回答	27	4	12	6	10	16	15
	1.4%	0.4%	1.8%	2.6%	0.6%	5.5%	6.0%

e) 姉・兄

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	944	457	350	112	763	164	144
	48.6%	46.4%	51.7%	48.1%	47.0%	56.4%	57.1%
1人	691	378	230	74	601	83	70
	35.5%	38.4%	34.0%	31.8%	37.1%	28.5%	27.8%
2人	202	114	55	28	178	19	16
	10.4%	11.6%	8.1%	12.0%	11.0%	6.5%	6.3%
3人	34	10	16	8	24	10	9
	1.7%	1.0%	2.4%	3.4%	1.5%	3.4%	3.6%
4人以上	9	2	3	4	9	0	0
	0.5%	0.2%	0.4%	1.7%	0.6%	0.0%	0.0%
無回答	64	24	23	7	47	15	13
	3.3%	2.4%	3.4%	3.0%	2.9%	5.2%	5.2%

f) 妹・弟

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いない	885	455	306	106	700	168	144
	45.5%	46.2%	45.2%	45.5%	43.2%	57.7%	57.1%
1人	635	336	214	66	556	72	66
	32.7%	34.1%	31.6%	28.3%	34.3%	24.7%	26.2%
2人	273	130	101	36	239	29	25
	14.0%	13.2%	14.9%	15.5%	14.7%	10.0%	9.9%
3人	68	25	27	15	58	9	9
	3.5%	2.5%	4.0%	6.4%	3.6%	3.1%	3.6%
4人以上	17	4	7	5	17	0	0
	0.9%	0.4%	1.0%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%
無回答	66	35	22	5	52	13	8
	3.4%	3.6%	3.2%	2.1%	3.2%	4.5%	3.2%

g) その他

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いない	1,778 91.5%	911 92.5%	617 91.1%	214 91.8%	1,492 92.0%	261 89.7%	228 90.5%
1人	18 0.9%	6 0.6%	9 1.3%	3 1.3%	11 0.7%	7 2.4%	7 2.8%
2人	8 0.4%	4 0.4%	2 0.3%	2 0.9%	6 0.4%	1 0.3%	0 0.0%
3人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
4人以上	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	139 7.2%	64 6.5%	48 7.1%	14 6.0%	112 6.9%	22 7.6%	17 6.7%

h) 合計

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
2人	69 3.5%	13 1.3%	35 5.2%	18 7.7%	9 0.6%	60 20.6%	54 21.4%
3人	274 14.1%	124 12.6%	105 15.5%	38 16.3%	181 11.2%	91 31.3%	82 32.5%
4人	709 36.5%	403 40.9%	226 33.4%	70 30.0%	631 38.9%	69 23.7%	58 23.0%
5人	542 27.9%	319 32.4%	166 24.5%	50 21.5%	497 30.6%	38 13.1%	32 12.7%
6人	194 10.0%	86 8.7%	81 12.0%	22 9.4%	178 11.0%	12 4.1%	10 4.0%
7人	70 3.6%	21 2.1%	33 4.9%	15 6.4%	65 4.0%	4 1.4%	3 1.2%
8人	21 1.1%	6 0.6%	5 0.7%	9 3.9%	20 1.2%	1 0.3%	1 0.4%
9人	4 0.2%	0 0.0%	2 0.3%	2 0.9%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
10人以上	7 0.4%	2 0.2%	3 0.4%	1 0.4%	6 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	54 2.8%	11 1.1%	21 3.1%	8 3.4%	31 1.9%	16 5.5%	12 4.8%

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。

※母親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
20歳代以下	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	317 16.3%	99 10.1%	143 21.1%	65 27.9%	235 14.5%	77 26.5%	72 28.6%
40歳代	1,318 67.8%	711 72.2%	448 66.2%	131 56.2%	1,152 71.0%	151 51.9%	147 58.3%
50歳代	260 13.4%	156 15.8%	69 10.2%	31 13.3%	223 13.7%	33 11.3%	33 13.1%
60歳以上	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
いない、わからない	13 0.7%	6 0.6%	4 0.6%	2 0.9%	1 0.1%	12 4.1%	0 0.0%
無回答	35 1.8%	12 1.2%	13 1.9%	4 1.7%	10 0.6%	18 6.2%	0 0.0%

※父親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
20歳代以下	3 0.2%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.9%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	208 10.7%	81 8.2%	95 14.0%	29 12.4%	189 11.7%	17 5.8%	7 2.8%
40歳代	1,091 56.1%	652 66.2%	350 51.7%	71 30.5%	1,040 64.1%	39 13.4%	20 7.9%
50歳代	353 18.2%	210 21.3%	112 16.5%	24 10.3%	338 20.8%	10 3.4%	4 1.6%
60歳以上	38 2.0%	16 1.6%	14 2.1%	5 2.1%	37 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
いない、わからない	120 6.2%	11 1.1%	58 8.6%	49 21.0%	4 0.2%	113 38.8%	111 44.0%
無回答	131 6.7%	14 1.4%	48 7.1%	53 22.7%	11 0.7%	112 38.5%	110 43.7%

※母親・父親にかわる保護者

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
20歳代以下	6 0.3%	3 0.3%	3 0.4%	0 0.0%	6 0.4%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	3 0.2%	0 0.0%	2 0.3%	1 0.4%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
40歳代	11 0.6%	1 0.1%	6 0.9%	4 1.7%	5 0.3%	6 2.1%	6 2.4%
50歳代	6 0.3%	0 0.0%	4 0.6%	2 0.9%	2 0.1%	3 1.0%	2 0.8%
60歳以上	66 3.4%	19 1.9%	28 4.1%	14 6.0%	48 3.0%	15 5.2%	12 4.8%
いない、わからない	778 40.0%	428 43.5%	256 37.8%	88 37.8%	655 40.4%	115 39.5%	102 40.5%
無回答	1,074 55.2%	534 54.2%	378 55.8%	124 53.2%	904 55.7%	152 52.2%	130 51.6%

問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
お子さんの母親が単身赴任中	3 0.2%	2 0.2%	0 0.0%	1 0.4%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
お子さんの父親が単身赴任中	107 5.5%	81 8.2%	19 2.8%	4 1.7%	105 6.5%	1 0.3%	1 0.4%
その他	39 2.0%	23 2.3%	11 1.6%	2 0.9%	34 2.1%	3 1.0%	1 0.4%
単身赴任中の者はいない	1,763 90.7%	873 88.6%	631 93.2%	220 94.4%	1,466 90.4%	274 94.2%	239 94.8%
無回答	35 1.8%	9 0.9%	16 2.4%	6 2.6%	17 1.0%	13 4.5%	11 4.4%

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	1,622	940	536	115	1,622	0	0
	83.4%	95.4%	79.2%	49.4%	100.0%	0.0%	0.0%
離婚	251	28	112	100	0	251	221
	12.9%	2.8%	16.5%	42.9%	0.0%	86.3%	87.7%
死別	23	4	8	10	0	23	17
	1.2%	0.4%	1.2%	4.3%	0.0%	7.9%	6.7%
未婚	17	2	9	5	0	17	14
	0.9%	0.2%	1.3%	2.1%	0.0%	5.8%	5.6%
わからない	2	0	1	0	0	0	0
	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いない	23	9	8	3	0	0	0
	1.2%	0.9%	1.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6	2	3	0	0	0	0
	0.3%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	251	28	112	100	0	251	221
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	64	11	29	21	0	64	62
	25.5%	39.3%	25.9%	21.0%	-	25.5%	28.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3	0	1	2	0	3	3
	1.2%	0.0%	0.9%	2.0%	-	1.2%	1.4%
取り決めをしているが、受け取っていない	51	3	27	21	0	51	47
	20.3%	10.7%	24.1%	21.0%	-	20.3%	21.3%
取り決めをしておらず、受け取っていない	132	14	54	56	0	132	109
	52.6%	50.0%	48.2%	56.0%	-	52.6%	49.3%
無回答	1	0	1	0	0	1	0
	0.4%	0.0%	0.9%	0.0%	-	0.4%	0.0%

問8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
日本語のみを使用している	1,859 95.6%	947 96.1%	650 96.0%	216 92.7%	1,558 96.1%	276 94.8%	239 94.8%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	60 3.1%	26 2.6%	17 2.5%	16 6.9%	46 2.8%	14 4.8%	12 4.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	24 1.2%	12 1.2%	9 1.3%	1 0.4%	17 1.0%	1 0.3%	1 0.4%

問9 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。母親・父親にかわる保護者の方がおられる場合は、その方についてお答えください。

a) 母親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
中学のみ	70 3.6%	15 1.5%	29 4.3%	22 9.4%	40 2.5%	27 9.3%	25 9.9%
中学、高校	684 35.2%	260 26.4%	284 41.9%	116 49.8%	564 34.8%	115 39.5%	104 41.3%
中学、高校、専門学校	390 20.1%	196 19.9%	142 21.0%	43 18.5%	337 20.8%	50 17.2%	49 19.4%
中学、5年制の高等専門学校	20 1.0%	14 1.4%	4 0.6%	2 0.9%	15 0.9%	5 1.7%	5 2.0%
中学、高校、短大	367 18.9%	209 21.2%	124 18.3%	29 12.4%	320 19.7%	36 12.4%	36 14.3%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	286 14.7%	216 21.9%	56 8.3%	10 4.3%	262 16.2%	24 8.2%	23 9.1%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	85 4.4%	63 6.4%	16 2.4%	6 2.6%	73 4.5%	8 2.7%	8 3.2%
その他	8 0.4%	2 0.2%	5 0.7%	1 0.4%	6 0.4%	2 0.7%	2 0.8%
わからない	2 0.1%	0 0.0%	2 0.3%	0 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
いない	12 0.6%	5 0.5%	3 0.4%	2 0.9%	0 0.0%	11 3.8%	0 0.0%
無回答	20 1.0%	5 0.5%	12 1.8%	2 0.9%	3 0.2%	13 4.5%	0 0.0%

b) 父親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
中学のみ	79	22	36	20	73	5	3
	4.1%	2.2%	5.3%	8.6%	4.5%	1.7%	1.2%
中学、高校	616	288	250	64	568	42	23
	31.7%	29.2%	36.9%	27.5%	35.0%	14.4%	9.1%
中学、高校、専門学校	310	155	122	25	288	17	12
	15.9%	15.7%	18.0%	10.7%	17.8%	5.8%	4.8%
中学、5年制の高等専門学校	12	6	4	2	12	0	0
	0.6%	0.6%	0.6%	0.9%	0.7%	0.0%	0.0%
中学、高校、短大	96	42	41	7	90	4	2
	4.9%	4.3%	6.1%	3.0%	5.5%	1.4%	0.8%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	440	324	94	15	429	7	3
	22.6%	32.9%	13.9%	6.4%	26.4%	2.4%	1.2%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	154	124	22	7	141	8	5
	7.9%	12.6%	3.2%	3.0%	8.7%	2.7%	2.0%
その他	8	7	1	0	8	0	0
	0.4%	0.7%	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
わからない	7	1	4	1	2	5	5
	0.4%	0.1%	0.6%	0.4%	0.1%	1.7%	2.0%
いない	121	11	54	54	1	117	115
	6.2%	1.1%	8.0%	23.2%	0.1%	40.2%	45.6%
無回答	101	5	49	38	10	86	84
	5.2%	0.5%	7.2%	16.3%	0.6%	29.6%	33.3%

c) 母親・父親にかわる保護者

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
中学のみ	14	1	8	4	11	3	3
	0.7%	0.1%	1.2%	1.7%	0.7%	1.0%	1.2%
中学、高校	48	13	24	9	38	7	5
	2.5%	1.3%	3.5%	3.9%	2.3%	2.4%	2.0%
中学、高校、専門学校	14	3	4	7	9	4	2
	0.7%	0.3%	0.6%	3.0%	0.6%	1.4%	0.8%
中学、5年制の高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学、高校、短大	13	8	4	1	9	4	3
	0.7%	0.8%	0.6%	0.4%	0.6%	1.4%	1.2%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	6	4	0	1	5	1	1
	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	4	2	1	1	2	0	0
	0.2%	0.2%	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
その他	5	0	2	2	3	1	1
	0.3%	0.0%	0.3%	0.9%	0.2%	0.3%	0.4%
わからない	22	4	8	7	14	7	7
	1.1%	0.4%	1.2%	3.0%	0.9%	2.4%	2.8%
いない	801	445	258	92	663	127	115
	41.2%	45.2%	38.1%	39.5%	40.9%	43.6%	45.6%
無回答	1,017	505	368	109	868	137	115
	52.3%	51.3%	54.4%	46.8%	53.5%	47.1%	45.6%

問10 お子さんの親又は親にかわる保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

a) 母親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
正社員・正規職員・会社役員	747 38.4%	453 46.0%	229 33.8%	54 23.2%	600 37.0%	133 45.7%	127 50.4%
嘱託・契約社員・派遣職員	153 7.9%	74 7.5%	51 7.5%	24 10.3%	123 7.6%	29 10.0%	29 11.5%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	648 33.3%	304 30.9%	255 37.7%	79 33.9%	585 36.1%	57 19.6%	55 21.8%
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	155 8.0%	46 4.7%	63 9.3%	38 16.3%	140 8.6%	14 4.8%	14 5.6%
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	194 10.0%	91 9.2%	59 8.7%	32 13.7%	166 10.2%	25 8.6%	24 9.5%
わからない	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%
いない	17 0.9%	7 0.7%	6 0.9%	2 0.9%	1 0.1%	15 5.2%	1 0.4%
無回答	29 1.5%	10 1.0%	14 2.1%	3 1.3%	7 0.4%	17 5.8%	2 0.8%

b) 父親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
正社員・正規職員・会社役員	1,409 72.5%	880 89.3%	437 64.5%	67 28.8%	1,338 82.5%	54 18.6%	25 9.9%
嘱託・契約社員・派遣職員	29 1.5%	5 0.5%	19 2.8%	5 2.1%	26 1.6%	1 0.3%	1 0.4%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	16 0.8%	2 0.2%	9 1.3%	3 1.3%	13 0.8%	1 0.3%	1 0.4%
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	226 11.6%	75 7.6%	96 14.2%	49 21.0%	216 13.3%	8 2.7%	3 1.2%
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	21 1.1%	3 0.3%	9 1.3%	7 3.0%	19 1.2%	2 0.7%	1 0.4%
わからない	13 0.7%	2 0.2%	4 0.6%	6 2.6%	1 0.1%	12 4.1%	12 4.8%
いない	125 6.4%	12 1.2%	54 8.0%	55 23.6%	2 0.1%	120 41.2%	118 46.8%
無回答	105 5.4%	6 0.6%	49 7.2%	41 17.6%	7 0.4%	93 32.0%	91 36.1%

c) 母親・父親にかわる保護者

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
正社員・正規職員・会社役員	20 1.0%	7 0.7%	2 0.3%	9 3.9%	12 0.7%	6 2.1%	6 2.4%
嘱託・契約社員・派遣職員	4 0.2%	2 0.2%	2 0.3%	0 0.0%	3 0.2%	1 0.3%	0 0.0%
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	31 1.6%	6 0.6%	16 2.4%	7 3.0%	21 1.3%	8 2.7%	6 2.4%
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	21 1.1%	6 0.6%	10 1.5%	3 1.3%	15 0.9%	4 1.4%	2 0.8%
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	30 1.5%	11 1.1%	9 1.3%	8 3.4%	24 1.5%	6 2.1%	6 2.4%
わからない	12 0.6%	1 0.1%	6 0.9%	5 2.1%	7 0.4%	4 1.4%	4 1.6%
いない	804 41.4%	448 45.5%	261 38.6%	90 38.6%	664 40.9%	129 44.3%	117 46.4%
無回答	1,022 52.6%	504 51.2%	371 54.8%	111 47.6%	876 54.0%	133 45.7%	111 44.0%

問11 前問で「5 働いていない」と答えた場合、最も主な理由を教えてください。

a) 母親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	194 100.0%	91 100.0%	59 100.0%	32 100.0%	166 100.0%	25 100.0%	24 100.0%
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	29 14.9%	11 12.1%	12 20.3%	4 12.5%	26 15.7%	3 12.0%	3 12.5%
子育てを優先したいため	75 38.7%	52 57.1%	18 30.5%	4 12.5%	74 44.6%	1 4.0%	1 4.2%
子どもが病気・障がいのため	4 2.1%	1 1.1%	2 3.4%	1 3.1%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%
その他の家族の介護・介助のため	4 2.1%	2 2.2%	1 1.7%	1 3.1%	3 1.8%	1 4.0%	1 4.2%
自分の病気や障害のため	34 17.5%	6 6.6%	9 15.3%	15 46.9%	17 10.2%	15 60.0%	14 58.3%
通学しているため	5 2.6%	0 0.0%	4 6.8%	1 3.1%	3 1.8%	2 8.0%	2 8.3%
その他の理由	30 15.5%	12 13.2%	9 15.3%	5 15.6%	27 16.3%	3 12.0%	3 12.5%
無回答	13 6.7%	7 7.7%	4 6.8%	1 3.1%	12 7.2%	0 0.0%	0 0.0%

b) 父親

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	21 100.0%	3 100.0%	9 100.0%	7 100.0%	19 100.0%	2 100.0%	1 100.0%
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	3 14.3%	0 0.0%	1 11.1%	2 28.6%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%
子育てを優先したいため	1 4.8%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
子どもが病気・障がいのため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の家族の介護・介助のため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
自分の病気や障害のため	8 38.1%	1 33.3%	4 44.4%	2 28.6%	7 36.8%	1 50.0%	1 100.0%
通学しているため	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他の理由	7 33.3%	2 66.7%	2 22.2%	2 28.6%	6 31.6%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	1 4.8%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%

c) 母親・父親にかわる保護者

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	30 100.0%	11 100.0%	9 100.0%	8 100.0%	24 100.0%	6 100.0%	6 100.0%
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
子育てを優先したいため	1 3.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
子どもが病気・障がいのため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の家族の介護・介助のため	2 6.7%	0 0.0%	1 11.1%	1 12.5%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
自分の病気や障害のため	4 13.3%	1 9.1%	2 22.2%	1 12.5%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
通学しているため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の理由	20 66.7%	9 81.8%	4 44.4%	6 75.0%	15 62.5%	5 83.3%	5 83.3%
無回答	3 10.0%	1 9.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%

問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
認可保育所・認定こども園	1,057 54.4%	516 52.4%	377 55.7%	142 60.9%	861 53.1%	178 61.2%	157 62.3%
その他の教育・保育等の施設	104 5.3%	56 5.7%	37 5.5%	10 4.3%	85 5.2%	19 6.5%	18 7.1%
親・親族以外の個人	23 1.2%	11 1.1%	8 1.2%	2 0.9%	18 1.1%	5 1.7%	4 1.6%
もっぱら親・親族が面倒を見ていた	734 37.8%	393 39.9%	243 35.9%	75 32.2%	641 39.5%	82 28.2%	68 27.0%
その他	18 0.9%	8 0.8%	7 1.0%	3 1.3%	12 0.7%	5 1.7%	3 1.2%
無回答	8 0.4%	1 0.1%	5 0.7%	1 0.4%	5 0.3%	2 0.7%	2 0.8%

問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
幼稚園・認可保育所・認定こども園	1,793 92.2%	926 94.0%	619 91.4%	202 86.7%	1,507 92.9%	257 88.3%	223 88.5%
その他の教育・保育等の施設	101 5.2%	43 4.4%	37 5.5%	20 8.6%	81 5.0%	20 6.9%	18 7.1%
親・親族以外の個人	4 0.2%	1 0.1%	3 0.4%	0 0.0%	2 0.1%	2 0.7%	1 0.4%
もっぱら親・親族が面倒を見ていた	33 1.7%	13 1.3%	10 1.5%	9 3.9%	24 1.5%	8 2.7%	6 2.4%
その他	7 0.4%	0 0.0%	4 0.6%	2 0.9%	2 0.1%	4 1.4%	4 1.6%
無回答	6 0.3%	2 0.2%	4 0.6%	0 0.0%	6 0.4%	0 0.0%	0 0.0%

問14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	508 26.1%	277 28.1%	156 23.0%	61 26.2%	441 27.2%	57 19.6%	51 20.2%
どちらかといえば、あてはまる	790 40.6%	413 41.9%	271 40.0%	90 38.6%	677 41.7%	105 36.1%	93 36.9%
どちらかといえば、あてはまらない	412 21.2%	190 19.3%	160 23.6%	50 21.5%	328 20.2%	79 27.1%	67 26.6%
あてはまらない	227 11.7%	104 10.6%	86 12.7%	31 13.3%	171 10.5%	49 16.8%	40 15.9%
無回答	7 0.4%	1 0.1%	4 0.6%	1 0.4%	5 0.3%	1 0.3%	1 0.4%

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	386 19.9%	225 22.8%	118 17.4%	34 14.6%	333 20.5%	49 16.8%	44 17.5%
どちらかといえば、あてはまる	736 37.9%	396 40.2%	241 35.6%	84 36.1%	633 39.0%	89 30.6%	83 32.9%
どちらかといえば、あてはまらない	513 26.4%	236 24.0%	188 27.8%	73 31.3%	426 26.3%	79 27.1%	69 27.4%
あてはまらない	302 15.5%	128 13.0%	127 18.8%	39 16.7%	226 13.9%	72 24.7%	54 21.4%
無回答	7 0.4%	0 0.0%	3 0.4%	3 1.3%	4 0.2%	2 0.7%	2 0.8%

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	795 40.9%	449 45.6%	252 37.2%	80 34.3%	681 42.0%	101 34.7%	94 37.3%
どちらかといえば、あてはまる	694 35.7%	347 35.2%	243 35.9%	91 39.1%	583 35.9%	101 34.7%	87 34.5%
どちらかといえば、あてはまらない	352 18.1%	161 16.3%	138 20.4%	39 16.7%	293 18.1%	55 18.9%	44 17.5%
あてはまらない	95 4.9%	25 2.5%	44 6.5%	21 9.0%	61 3.8%	33 11.3%	27 10.7%
無回答	8 0.4%	3 0.3%	0 0.0%	2 0.9%	4 0.2%	1 0.3%	0 0.0%

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	916 47.1%	489 49.6%	320 47.3%	88 37.8%	785 48.4%	118 40.5%	108 42.9%
どちらかといえば、あてはまる	675 34.7%	329 33.4%	249 36.8%	75 32.2%	565 34.8%	97 33.3%	85 33.7%
どちらかといえば、あてはまらない	259 13.3%	128 13.0%	75 11.1%	52 22.3%	206 12.7%	52 17.9%	41 16.3%
あてはまらない	89 4.6%	39 4.0%	32 4.7%	16 6.9%	63 3.9%	24 8.2%	18 7.1%
無回答	5 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.9%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

e) ニュースの話をする

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	561 28.9%	292 29.6%	187 27.6%	66 28.3%	489 30.1%	64 22.0%	61 24.2%
どちらかといえば、あてはまる	888 45.7%	470 47.7%	297 43.9%	96 41.2%	728 44.9%	145 49.8%	126 50.0%
どちらかといえば、あてはまらない	366 18.8%	169 17.2%	142 21.0%	49 21.0%	304 18.7%	58 19.9%	45 17.9%
あてはまらない	126 6.5%	53 5.4%	51 7.5%	21 9.0%	99 6.1%	24 8.2%	20 7.9%
無回答	3 0.2%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%

f) SNS 等の話をする

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	525 27.0%	256 26.0%	190 28.1%	70 30.0%	442 27.3%	76 26.1%	67 26.6%
どちらかといえば、あてはまる	816 42.0%	416 42.2%	281 41.5%	97 41.6%	669 41.2%	135 46.4%	120 47.6%
どちらかといえば、あてはまらない	416 21.4%	233 23.7%	136 20.1%	35 15.0%	367 22.6%	45 15.5%	36 14.3%
あてはまらない	185 9.5%	80 8.1%	70 10.3%	30 12.9%	143 8.8%	35 12.0%	29 11.5%
無回答	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%

g) 夕食は子どもに作ってもらう

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	16 0.8%	5 0.5%	4 0.6%	6 2.6%	9 0.6%	6 2.1%	6 2.4%
どちらかといえば、あてはまる	78 4.0%	30 3.0%	27 4.0%	18 7.7%	60 3.7%	16 5.5%	13 5.2%
どちらかといえば、あてはまらない	349 18.0%	167 17.0%	125 18.5%	50 21.5%	289 17.8%	57 19.6%	48 19.0%
あてはまらない	1,497 77.0%	782 79.4%	520 76.8%	158 67.8%	1,261 77.7%	212 72.9%	185 73.4%
無回答	4 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.4%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

h) 夕食は一緒に食べる

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまる	1,399 72.0%	691 70.2%	503 74.3%	170 73.0%	1,188 73.2%	189 64.9%	170 67.5%
どちらかといえば、あてはまる	417 21.5%	234 23.8%	131 19.4%	42 18.0%	344 21.2%	67 23.0%	57 22.6%
どちらかといえば、あてはまらない	99 5.1%	49 5.0%	34 5.0%	15 6.4%	70 4.3%	28 9.6%	21 8.3%
あてはまらない	27 1.4%	11 1.1%	9 1.3%	5 2.1%	19 1.2%	7 2.4%	4 1.6%
無回答	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%

問15 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
よく参加している	1,542 79.3%	805 81.7%	537 79.3%	173 74.2%	1,317 81.2%	204 70.1%	186 73.8%
ときどき参加している	303 15.6%	146 14.8%	104 15.4%	39 16.7%	244 15.0%	56 19.2%	44 17.5%
あまり参加していない	72 3.7%	26 2.6%	27 4.0%	16 6.9%	45 2.8%	24 8.2%	16 6.3%
まったく参加していない	22 1.1%	7 0.7%	8 1.2%	4 1.7%	13 0.8%	6 2.1%	5 2.0%
無回答	5 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.4%	3 0.2%	1 0.3%	1 0.4%

b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
よく参加している	753 38.7%	418 42.4%	238 35.2%	81 34.8%	656 40.4%	87 29.9%	80 31.7%
ときどき参加している	696 35.8%	360 36.5%	249 36.8%	74 31.8%	604 37.2%	84 28.9%	71 28.2%
あまり参加していない	353 18.2%	154 15.6%	139 20.5%	48 20.6%	264 16.3%	82 28.2%	71 28.2%
まったく参加していない	137 7.0%	50 5.1%	51 7.5%	29 12.4%	94 5.8%	37 12.7%	29 11.5%
無回答	5 0.3%	3 0.3%	0 0.0%	1 0.4%	4 0.2%	1 0.3%	1 0.4%

c) 部活や校外活動に参加している

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
よく参加している	1,078 55.5%	590 59.9%	356 52.6%	107 45.9%	932 57.5%	132 45.4%	116 46.0%
ときどき参加している	447 23.0%	222 22.5%	172 25.4%	46 19.7%	372 22.9%	66 22.7%	56 22.2%
あまり参加していない	188 9.7%	91 9.2%	66 9.7%	26 11.2%	155 9.6%	30 10.3%	28 11.1%
まったく参加していない	220 11.3%	78 7.9%	82 12.1%	50 21.5%	155 9.6%	61 21.0%	50 19.8%
無回答	11 0.6%	4 0.4%	1 0.1%	4 1.7%	8 0.5%	2 0.7%	2 0.8%

問16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
中学卒業後は進学しない	4 0.2%	2 0.2%	0 0.0%	2 0.9%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
高校	582 29.9%	207 21.0%	232 34.3%	124 53.2%	442 27.3%	130 44.7%	110 43.7%
高校、専門学校	274 14.1%	116 11.8%	115 17.0%	36 15.5%	218 13.4%	50 17.2%	44 17.5%
5年制の高等専門学校	18 0.9%	9 0.9%	8 1.2%	0 0.0%	16 1.0%	2 0.7%	2 0.8%
高校、短大	77 4.0%	34 3.5%	34 5.0%	7 3.0%	64 3.9%	12 4.1%	11 4.4%
高校（または5年制の高等専門学校）、大学	738 38.0%	482 48.9%	207 30.6%	37 15.9%	676 41.7%	56 19.2%	51 20.2%
高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	90 4.6%	69 7.0%	18 2.7%	3 1.3%	78 4.8%	8 2.7%	6 2.4%
その他	8 0.4%	4 0.4%	3 0.4%	0 0.0%	7 0.4%	1 0.3%	1 0.4%
まだわからない	143 7.4%	61 6.2%	56 8.3%	22 9.4%	112 6.9%	28 9.6%	24 9.5%
無回答	10 0.5%	1 0.1%	4 0.6%	2 0.9%	5 0.3%	4 1.4%	3 1.2%

問17 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,791 100.0%	923 100.0%	617 100.0%	209 100.0%	1,505 100.0%	259 100.0%	225 100.0%
お子さんがそう希望しているから	1,092 61.0%	570 61.8%	375 60.8%	123 58.9%	930 61.8%	146 56.4%	129 57.3%
親・保護者が希望しているから	519 29.0%	295 32.0%	168 27.2%	47 22.5%	453 30.1%	58 22.4%	51 22.7%
一般的な進路だと思うから	466 26.0%	240 26.0%	160 25.9%	56 26.8%	383 25.4%	75 29.0%	63 28.0%
お子さんの学力から考えて	435 24.3%	264 28.6%	127 20.6%	36 17.2%	382 25.4%	49 18.9%	45 20.0%
家庭の経済的な状況から考えて	140 7.8%	61 6.6%	50 8.1%	27 12.9%	100 6.6%	36 13.9%	33 14.7%
その他	27 1.5%	12 1.3%	8 1.3%	6 2.9%	20 1.3%	6 2.3%	4 1.8%
特に理由はない	68 3.8%	37 4.0%	24 3.9%	6 2.9%	60 4.0%	7 2.7%	7 3.1%
無回答	35 2.0%	12 1.3%	11 1.8%	6 2.9%	26 1.7%	8 3.1%	6 2.7%

問18① あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

a) 子育てに関する相談

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
頼れる人がいる	1,759 90.5%	899 91.3%	619 91.4%	202 86.7%	1,480 91.2%	254 87.3%	226 89.7%
いない	75 3.9%	31 3.1%	24 3.5%	18 7.7%	53 3.3%	19 6.5%	14 5.6%
そのことでは人に頼らない	87 4.5%	48 4.9%	29 4.3%	10 4.3%	71 4.4%	14 4.8%	10 4.0%
無回答	23 1.2%	7 0.7%	5 0.7%	3 1.3%	18 1.1%	4 1.4%	2 0.8%

b) 重要な事柄の相談

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
頼れる人がいる	1,749	899	613	198	1,479	245	216
	90.0%	91.3%	90.5%	85.0%	91.2%	84.2%	85.7%
いない	87	30	34	21	56	28	24
	4.5%	3.0%	5.0%	9.0%	3.5%	9.6%	9.5%
そのことでは人に頼らない	80	47	24	9	65	13	9
	4.1%	4.8%	3.5%	3.9%	4.0%	4.5%	3.6%
無回答	28	9	6	5	22	5	3
	1.4%	0.9%	0.9%	2.1%	1.4%	1.7%	1.2%

c) いざという時のお金の援助

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
頼れる人がいる	1,222	620	437	135	1,046	159	139
	62.9%	62.9%	64.5%	57.9%	64.5%	54.6%	55.2%
いない	293	98	124	65	202	82	72
	15.1%	9.9%	18.3%	27.9%	12.5%	28.2%	28.6%
そのことでは人に頼らない	390	252	107	26	345	42	35
	20.1%	25.6%	15.8%	11.2%	21.3%	14.4%	13.9%
無回答	39	15	9	7	29	8	6
	2.0%	1.5%	1.3%	3.0%	1.8%	2.7%	2.4%

問18② 前問で「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

a) 子育てに関する相談

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,759 100.0%	899 100.0%	619 100.0%	202 100.0%	1,480 100.0%	254 100.0%	226 100.0%
家族・親族	1,595 90.7%	824 91.7%	564 91.1%	173 85.6%	1,357 91.7%	215 84.6%	189 83.6%
友人・知人	960 54.6%	498 55.4%	340 54.9%	103 51.0%	817 55.2%	134 52.8%	128 56.6%
近所の人	100 5.7%	56 6.2%	29 4.7%	13 6.4%	88 5.9%	10 3.9%	10 4.4%
職場の人	530 30.1%	296 32.9%	179 28.9%	47 23.3%	453 30.6%	70 27.6%	64 28.3%
民生委員・児童委員	17 1.0%	5 0.6%	6 1.0%	6 3.0%	11 0.7%	5 2.0%	5 2.2%
相談・支援機関や福祉の人	70 4.0%	25 2.8%	26 4.2%	19 9.4%	52 3.5%	16 6.3%	15 6.6%
その他	27 1.5%	6 0.7%	9 1.5%	11 5.4%	13 0.9%	12 4.7%	12 5.3%
無回答	27 1.5%	12 1.3%	10 1.6%	5 2.5%	25 1.7%	2 0.8%	2 0.9%

b) 重要な事柄の相談

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,749 100.0%	899 100.0%	613 100.0%	198 100.0%	1,479 100.0%	245 100.0%	216 100.0%
家族・親族	1,641 93.8%	857 95.3%	573 93.5%	174 87.9%	1,402 94.8%	216 88.2%	190 88.0%
友人・知人	518 29.6%	268 29.8%	179 29.2%	61 30.8%	423 28.6%	89 36.3%	83 38.4%
近所の人	22 1.3%	9 1.0%	6 1.0%	5 2.5%	17 1.1%	4 1.6%	4 1.9%
職場の人	172 9.8%	106 11.8%	52 8.5%	12 6.1%	146 9.9%	23 9.4%	19 8.8%
民生委員・児童委員	2 0.1%	0 0.0%	2 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
相談・支援機関や福祉の人	29 1.7%	11 1.2%	9 1.5%	9 4.5%	18 1.2%	10 4.1%	9 4.2%
その他	18 1.0%	3 0.3%	7 1.1%	7 3.5%	7 0.5%	9 3.7%	9 4.2%
無回答	26 1.5%	11 1.2%	11 1.8%	4 2.0%	23 1.6%	3 1.2%	3 1.4%

c) いざという時のお金の援助

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,222 100.0%	620 100.0%	437 100.0%	135 100.0%	1,046 100.0%	159 100.0%	139 100.0%
家族・親族	1,185 97.0%	605 97.6%	422 96.6%	129 95.6%	1,017 97.2%	152 95.6%	133 95.7%
友人・知人	47 3.8%	14 2.3%	19 4.3%	11 8.1%	32 3.1%	13 8.2%	13 9.4%
近所の人	3 0.2%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.7%	1 0.1%	1 0.6%	1 0.7%
職場の人	13 1.1%	6 1.0%	6 1.4%	1 0.7%	10 1.0%	2 1.3%	1 0.7%
民生委員・児童委員	2 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.7%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
相談・支援機関や福祉の人	12 1.0%	1 0.2%	5 1.1%	6 4.4%	6 0.6%	5 3.1%	3 2.2%
その他	17 1.4%	3 0.5%	8 1.8%	5 3.7%	9 0.9%	6 3.8%	6 4.3%
無回答	20 1.6%	11 1.8%	7 1.6%	2 1.5%	19 1.8%	1 0.6%	0 0.0%

問19 あなたは、現在の暮らしの経済的な状況をどのように感じていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
大変ゆとりがある	28 1.4%	24 2.4%	2 0.3%	2 0.9%	24 1.5%	1 0.3%	1 0.4%
ゆとりがある	201 10.3%	170 17.3%	27 4.0%	2 0.9%	188 11.6%	10 3.4%	8 3.2%
ふつう	1,114 57.3%	658 66.8%	373 55.1%	61 26.2%	982 60.5%	115 39.5%	96 38.1%
苦しい	432 22.2%	107 10.9%	211 31.2%	106 45.5%	319 19.7%	111 38.1%	98 38.9%
大変苦しい	153 7.9%	23 2.3%	59 8.7%	62 26.6%	98 6.0%	50 17.2%	47 18.7%
無回答	16 0.8%	3 0.3%	5 0.7%	0 0.0%	11 0.7%	4 1.4%	2 0.8%

問20 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
50万円未満	19 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 8.2%	8 0.5%	11 3.8%	11 4.4%
50～100万円未満	26 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	25 10.7%	7 0.4%	19 6.5%	18 7.1%
100～150万円未満	51 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	51 21.9%	11 0.7%	40 13.7%	39 15.5%
150～200万円未満	82 4.2%	0 0.0%	14 2.1%	67 28.8%	37 2.3%	45 15.5%	43 17.1%
200～250万円未満	86 4.4%	0 0.0%	37 5.5%	48 20.6%	43 2.7%	41 14.1%	37 14.7%
250～300万円未満	107 5.5%	0 0.0%	89 13.1%	18 7.7%	69 4.3%	36 12.4%	33 13.1%
300～350万円未満	101 5.2%	0 0.0%	96 14.2%	5 2.1%	77 4.7%	21 7.2%	15 6.0%
350～400万円未満	121 6.2%	4 0.4%	116 17.1%	0 0.0%	103 6.4%	17 5.8%	13 5.2%
400～450万円未満	135 6.9%	1 0.1%	132 19.5%	0 0.0%	120 7.4%	12 4.1%	10 4.0%
450～500万円未満	163 8.4%	26 2.6%	137 20.2%	0 0.0%	146 9.0%	14 4.8%	10 4.0%
500～600万円未満	228 11.7%	179 18.2%	49 7.2%	0 0.0%	215 13.3%	10 3.4%	5 2.0%
600～700万円未満	222 11.4%	217 22.0%	5 0.7%	0 0.0%	216 13.3%	5 1.7%	2 0.8%
700～800万円未満	191 9.8%	189 19.2%	2 0.3%	0 0.0%	182 11.2%	5 1.7%	4 1.6%
800～900万円未満	125 6.4%	124 12.6%	0 0.0%	0 0.0%	122 7.5%	1 0.3%	1 0.4%
900～1000万円未満	89 4.6%	88 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	86 5.3%	2 0.7%	1 0.4%
1000万円以上	158 8.1%	157 15.9%	0 0.0%	0 0.0%	155 9.6%	2 0.7%	1 0.4%
無回答	40 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 1.5%	10 3.4%	9 3.6%

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
よくあった	43 2.2%	4 0.4%	13 1.9%	22 9.4%	25 1.5%	17 5.8%	14 5.6%
ときどきあった	105 5.4%	15 1.5%	46 6.8%	39 16.7%	66 4.1%	34 11.7%	33 13.1%
まれにあった	189 9.7%	41 4.2%	87 12.9%	58 24.9%	126 7.8%	62 21.3%	56 22.2%
まったくなかった	1,597 82.2%	925 93.9%	530 78.3%	114 48.9%	1,399 86.3%	176 60.5%	148 58.7%
無回答	10 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	6 0.4%	2 0.7%	1 0.4%

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
よくあった	58 3.0%	5 0.5%	23 3.4%	28 12.0%	36 2.2%	21 7.2%	20 7.9%
ときどきあった	122 6.3%	17 1.7%	49 7.2%	51 21.9%	75 4.6%	42 14.4%	38 15.1%
まれにあった	220 11.3%	64 6.5%	106 15.7%	45 19.3%	161 9.9%	58 19.9%	56 22.2%
まったくなかった	1,529 78.7%	895 90.9%	492 72.7%	109 46.8%	1,338 82.5%	169 58.1%	137 54.4%
無回答	15 0.8%	4 0.4%	7 1.0%	0 0.0%	12 0.7%	1 0.3%	1 0.4%

問23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
電気料金	113 5.8%	14 1.4%	40 5.9%	56 24.0%	67 4.1%	43 14.8%	40 15.9%
ガス料金	80 4.1%	7 0.7%	28 4.1%	42 18.0%	46 2.8%	32 11.0%	31 12.3%
水道料金	95 4.9%	15 1.5%	34 5.0%	46 19.7%	62 3.8%	32 11.0%	30 11.9%
あてはまるものはない	1,779 91.5%	961 97.6%	615 90.8%	162 69.5%	1,519 93.6%	236 81.1%	201 79.8%
無回答	14 0.7%	4 0.4%	6 0.9%	1 0.4%	10 0.6%	2 0.7%	2 0.8%

問24 次のa)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a) 神経過敏に感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	89 4.6%	24 2.4%	35 5.2%	27 11.6%	56 3.5%	30 10.3%	26 10.3%
たいてい	136 7.0%	49 5.0%	61 9.0%	21 9.0%	108 6.7%	28 9.6%	25 9.9%
ときどき	436 22.4%	193 19.6%	159 23.5%	74 31.8%	343 21.1%	83 28.5%	75 29.8%
少しだけ	456 23.5%	233 23.7%	173 25.6%	42 18.0%	390 24.0%	62 21.3%	55 21.8%
まったくない	812 41.8%	479 48.6%	246 36.3%	68 29.2%	714 44.0%	86 29.6%	69 27.4%
無回答	15 0.8%	7 0.7%	3 0.4%	1 0.4%	11 0.7%	2 0.7%	2 0.8%

b) 絶望的だと感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	40 2.1%	9 0.9%	17 2.5%	11 4.7%	25 1.5%	13 4.5%	9 3.6%
たいてい	56 2.9%	17 1.7%	20 3.0%	17 7.3%	40 2.5%	16 5.5%	15 6.0%
ときどき	177 9.1%	55 5.6%	77 11.4%	44 18.9%	131 8.1%	42 14.4%	40 15.9%
少しだけ	309 15.9%	126 12.8%	129 19.1%	43 18.5%	251 15.5%	56 19.2%	49 19.4%
まったくない	1,344 69.1%	773 78.5%	428 63.2%	116 49.8%	1,161 71.6%	162 55.7%	137 54.4%
無回答	18 0.9%	5 0.5%	6 0.9%	2 0.9%	14 0.9%	2 0.7%	2 0.8%

c) そろそろ、落ち着かなく感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	43 2.2%	12 1.2%	14 2.1%	14 6.0%	27 1.7%	15 5.2%	13 5.2%
たいてい	62 3.2%	22 2.2%	25 3.7%	13 5.6%	45 2.8%	16 5.5%	16 6.3%
ときどき	281 14.5%	104 10.6%	120 17.7%	54 23.2%	222 13.7%	54 18.6%	47 18.7%
少しだけ	463 23.8%	231 23.5%	158 23.3%	63 27.0%	386 23.8%	72 24.7%	64 25.4%
まったくない	1,079 55.5%	611 62.0%	356 52.6%	87 37.3%	930 57.3%	132 45.4%	110 43.7%
無回答	16 0.8%	5 0.5%	4 0.6%	2 0.9%	12 0.7%	2 0.7%	2 0.8%

d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	53 2.7%	12 1.2%	21 3.1%	16 6.9%	32 2.0%	19 6.5%	15 6.0%
たいてい	100 5.1%	34 3.5%	38 5.6%	27 11.6%	76 4.7%	24 8.2%	20 7.9%
ときどき	352 18.1%	133 13.5%	145 21.4%	66 28.3%	275 17.0%	71 24.4%	67 26.6%
少しだけ	480 24.7%	252 25.6%	173 25.6%	48 20.6%	404 24.9%	70 24.1%	60 23.8%
まったくない	943 48.5%	546 55.4%	297 43.9%	75 32.2%	823 50.7%	105 36.1%	88 34.9%
無回答	16 0.8%	8 0.8%	3 0.4%	1 0.4%	12 0.7%	2 0.7%	2 0.8%

e) 何をするのも面倒だと感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	82 4.2%	16 1.6%	37 5.5%	24 10.3%	53 3.3%	27 9.3%	23 9.1%
たいてい	110 5.7%	44 4.5%	49 7.2%	16 6.9%	83 5.1%	25 8.6%	22 8.7%
ときどき	426 21.9%	187 19.0%	161 23.8%	70 30.0%	332 20.5%	87 29.9%	79 31.3%
少しだけ	609 31.3%	309 31.4%	222 32.8%	64 27.5%	518 31.9%	86 29.6%	74 29.4%
まったくない	703 36.2%	424 43.0%	204 30.1%	58 24.9%	626 38.6%	64 22.0%	52 20.6%
無回答	14 0.7%	5 0.5%	4 0.6%	1 0.4%	10 0.6%	2 0.7%	2 0.8%

f) 自分は価値のない人間だと感じた

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつも	68 3.5%	17 1.7%	21 3.1%	25 10.7%	38 2.3%	26 8.9%	23 9.1%
たいてい	48 2.5%	18 1.8%	20 3.0%	8 3.4%	36 2.2%	12 4.1%	12 4.8%
ときどき	201 10.3%	75 7.6%	83 12.3%	39 16.7%	153 9.4%	46 15.8%	42 16.7%
少しだけ	327 16.8%	143 14.5%	134 19.8%	42 18.0%	269 16.6%	52 17.9%	46 18.3%
まったくない	1,285 66.1%	727 73.8%	415 61.3%	117 50.2%	1,115 68.7%	153 52.6%	127 50.4%
無回答	15 0.8%	5 0.5%	4 0.6%	2 0.9%	11 0.7%	2 0.7%	2 0.8%

問25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」していないから「10」に満足している)の数字の中から1つお選びください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
0:まったく満足していない	32 1.6%	7 0.7%	12 1.8%	10 4.3%	20 1.2%	10 3.4%	7 2.8%
1	36 1.9%	6 0.6%	14 2.1%	14 6.0%	24 1.5%	11 3.8%	9 3.6%
2	64 3.3%	23 2.3%	21 3.1%	18 7.7%	48 3.0%	15 5.2%	14 5.6%
3	134 6.9%	41 4.2%	70 10.3%	21 9.0%	100 6.2%	31 10.7%	27 10.7%
4	128 6.6%	44 4.5%	60 8.9%	21 9.0%	102 6.3%	25 8.6%	23 9.1%
5	342 17.6%	135 13.7%	144 21.3%	55 23.6%	270 16.6%	68 23.4%	59 23.4%
6	160 8.2%	76 7.7%	53 7.8%	29 12.4%	129 8.0%	30 10.3%	25 9.9%
7	332 17.1%	183 18.6%	119 17.6%	24 10.3%	287 17.7%	40 13.7%	34 13.5%
8	366 18.8%	241 24.5%	100 14.8%	20 8.6%	331 20.4%	31 10.7%	26 10.3%
9	142 7.3%	101 10.3%	30 4.4%	6 2.6%	129 8.0%	11 3.8%	11 4.4%
10:十分に満足している	185 9.5%	122 12.4%	44 6.5%	13 5.6%	169 10.4%	11 3.8%	10 4.0%
無回答	23 1.2%	6 0.6%	10 1.5%	2 0.9%	13 0.8%	8 2.7%	7 2.8%

問26 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。

a) 世帯全体の収入の変化

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	96 4.9%	63 6.4%	24 3.5%	7 3.0%	88 5.4%	8 2.7%	6 2.4%
減った	502 25.8%	140 14.2%	231 34.1%	114 48.9%	401 24.7%	91 31.3%	81 32.1%
変わらない	1,330 68.4%	777 78.9%	416 61.4%	111 47.6%	1,125 69.4%	186 63.9%	161 63.9%
無回答	16 0.8%	5 0.5%	6 0.9%	1 0.4%	8 0.5%	6 2.1%	4 1.6%

b) 生活に必要な支出の変化

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	1,171 60.2%	529 53.7%	451 66.6%	168 72.1%	964 59.4%	192 66.0%	167 66.3%
減った	79 4.1%	38 3.9%	25 3.7%	13 5.6%	55 3.4%	22 7.6%	18 7.1%
変わらない	679 34.9%	412 41.8%	196 29.0%	52 22.3%	594 36.6%	73 25.1%	64 25.4%
無回答	15 0.8%	6 0.6%	5 0.7%	0 0.0%	9 0.6%	4 1.4%	3 1.2%

c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	307 15.8%	66 6.7%	137 20.2%	97 41.6%	222 13.7%	80 27.5%	73 29.0%
減った	56 2.9%	16 1.6%	24 3.5%	11 4.7%	39 2.4%	14 4.8%	12 4.8%
変わらない	1,560 80.2%	897 91.1%	507 74.9%	123 52.8%	1,348 83.1%	191 65.6%	163 64.7%
無回答	21 1.1%	6 0.6%	9 1.3%	2 0.9%	13 0.8%	6 2.1%	4 1.6%

d) お子さんと話をすること

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	423 21.8%	184 18.7%	152 22.5%	79 33.9%	338 20.8%	80 27.5%	71 28.2%
減った	80 4.1%	34 3.5%	29 4.3%	14 6.0%	57 3.5%	18 6.2%	15 6.0%
変わらない	1,424 73.3%	760 77.2%	490 72.4%	140 60.1%	1,217 75.0%	188 64.6%	163 64.7%
無回答	17 0.9%	7 0.7%	6 0.9%	0 0.0%	10 0.6%	5 1.7%	3 1.2%

e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	247 12.7%	95 9.6%	98 14.5%	48 20.6%	200 12.3%	41 14.1%	36 14.3%
減った	85 4.4%	31 3.1%	30 4.4%	23 9.9%	65 4.0%	18 6.2%	16 6.3%
変わらない	1,593 81.9%	853 86.6%	541 79.9%	162 69.5%	1,348 83.1%	225 77.3%	195 77.4%
無回答	19 1.0%	6 0.6%	8 1.2%	0 0.0%	9 0.6%	7 2.4%	5 2.0%

f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	633 32.6%	254 25.8%	257 38.0%	103 44.2%	507 31.3%	118 40.5%	108 42.9%
減った	46 2.4%	19 1.9%	11 1.6%	16 6.9%	36 2.2%	9 3.1%	8 3.2%
変わらない	1,247 64.1%	707 71.8%	402 59.4%	114 48.9%	1,070 66.0%	158 54.3%	132 52.4%
無回答	18 0.9%	5 0.5%	7 1.0%	0 0.0%	9 0.6%	6 2.1%	4 1.6%

g) 家にいる時間

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	922 47.4%	490 49.7%	315 46.5%	101 43.3%	790 48.7%	124 42.6%	111 44.0%
減った	117 6.0%	48 4.9%	45 6.6%	20 8.6%	87 5.4%	27 9.3%	25 9.9%
変わらない	889 45.7%	443 45.0%	310 45.8%	112 48.1%	738 45.5%	134 46.0%	112 44.4%
無回答	16 0.8%	4 0.4%	7 1.0%	0 0.0%	7 0.4%	6 2.1%	4 1.6%

問27-1 あなたのご家庭では、「就学援助」をこれまでに利用したことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
現在利用している	269 13.8%	17 1.7%	117 17.3%	126 54.1%	113 7.0%	151 51.9%	144 57.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	60 3.1%	22 2.2%	24 3.5%	14 6.0%	40 2.5%	19 6.5%	19 7.5%
利用したことがない	1,567 80.6%	935 94.9%	518 76.5%	82 35.2%	1,443 89.0%	102 35.1%	75 29.8%
無回答	48 2.5%	11 1.1%	18 2.7%	11 4.7%	26 1.6%	19 6.5%	14 5.6%

問27-1-1 就学援助を利用したことがない場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,567 100.0%	935 100.0%	518 100.0%	82 100.0%	1,443 100.0%	102 100.0%	75 100.0%
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	919 58.6%	586 62.7%	282 54.4%	35 42.7%	859 59.5%	47 46.1%	30 40.0%
これまで利用が必要な状況になかったから	449 28.7%	268 28.7%	148 28.6%	26 31.7%	412 28.6%	32 31.4%	26 34.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	14 0.9%	2 0.2%	5 1.0%	7 8.5%	10 0.7%	4 3.9%	4 5.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	7 0.4%	1 0.1%	3 0.6%	3 3.7%	5 0.3%	2 2.0%	2 2.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	21 1.3%	2 0.2%	15 2.9%	3 3.7%	15 1.0%	6 5.9%	5 6.7%
それ以外の理由	25 1.6%	11 1.2%	10 1.9%	2 2.4%	18 1.2%	3 2.9%	2 2.7%
無回答	132 8.4%	65 7.0%	55 10.6%	6 7.3%	124 8.6%	8 7.8%	6 8.0%

問27-2 あなたのご家庭では、「生活保護」をこれまでに利用したことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
現在利用している	237 12.2%	157 15.9%	64 9.5%	14 6.0%	219 13.5%	16 5.5%	12 4.8%
現在利用していないが、以前利用したことがある	144 7.4%	98 9.9%	36 5.3%	10 4.3%	128 7.9%	14 4.8%	12 4.8%
利用したことがない	1,362 70.1%	694 70.5%	487 71.9%	145 62.2%	1,167 71.9%	177 60.8%	156 61.9%
無回答	201 10.3%	36 3.7%	90 13.3%	64 27.5%	108 6.7%	84 28.9%	72 28.6%

問27-2-1 生活保護を利用したことがない場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,362 100.0%	694 100.0%	487 100.0%	145 100.0%	1,167 100.0%	177 100.0%	156 100.0%
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	810 59.5%	453 65.3%	268 55.0%	70 48.3%	703 60.2%	96 54.2%	82 52.6%
これまで利用が必要な状況になかったから	344 25.3%	163 23.5%	140 28.7%	32 22.1%	297 25.4%	42 23.7%	37 23.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	11 0.8%	3 0.4%	2 0.4%	6 4.1%	5 0.4%	6 3.4%	6 3.8%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2 0.1%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.7%	1 0.1%	1 0.6%	1 0.6%
それ以外の理由	26 1.9%	5 0.7%	9 1.8%	11 7.6%	12 1.0%	12 6.8%	12 7.7%
無回答	169 12.4%	70 10.1%	67 13.8%	25 17.2%	149 12.8%	20 11.3%	18 11.5%

問27-3 あなたのご家庭では、「生活困窮者の自立支援相談窓口」をこれまでに利用したことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
現在利用している	8 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 3.0%	2 0.1%	6 2.1%	6 2.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	16 0.8%	1 0.1%	4 0.6%	11 4.7%	10 0.6%	6 2.1%	5 2.0%
利用したことがない	1,820 93.6%	970 98.5%	631 93.2%	182 78.1%	1,560 96.2%	234 80.4%	204 81.0%
無回答	100 5.1%	14 1.4%	42 6.2%	33 14.2%	50 3.1%	45 15.5%	37 14.7%

問27-3-1 生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,820 100.0%	970 100.0%	631 100.0%	182 100.0%	1,560 100.0%	234 100.0%	204 100.0%
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	972 53.4%	566 58.4%	316 50.1%	72 39.6%	874 56.0%	82 35.0%	68 33.3%
これまで利用が必要な状況になかったから	487 26.8%	272 28.0%	174 27.6%	32 17.6%	433 27.8%	48 20.5%	41 20.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12 0.7%	2 0.2%	5 0.8%	5 2.7%	5 0.3%	7 3.0%	7 3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	11 0.6%	1 0.1%	3 0.5%	7 3.8%	4 0.3%	7 3.0%	7 3.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	11 0.6%	0 0.0%	3 0.5%	8 4.4%	6 0.4%	5 2.1%	4 2.0%
それ以外の理由	35 1.9%	9 0.9%	14 2.2%	11 6.0%	19 1.2%	12 5.1%	12 5.9%
無回答	292 16.0%	120 12.4%	116 18.4%	47 25.8%	219 14.0%	73 31.2%	65 31.9%

問27-4 あなたのご家庭では、「児童扶養手当」をこれまでに利用したことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
現在利用している	473 24.3%	181 18.4%	174 25.7%	108 46.4%	272 16.8%	193 66.3%	176 69.8%
現在利用していないが、以前利用したことがある	244 12.6%	144 14.6%	67 9.9%	30 12.9%	194 12.0%	46 15.8%	41 16.3%
利用したことがない	1,136 58.4%	643 65.3%	397 58.6%	68 29.2%	1,091 67.3%	32 11.0%	21 8.3%
無回答	91 4.7%	17 1.7%	39 5.8%	27 11.6%	65 4.0%	20 6.9%	14 5.6%

問27-4-1 児童扶養手当を利用したことがない場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,136 100.0%	643 100.0%	397 100.0%	68 100.0%	1,091 100.0%	32 100.0%	21 100.0%
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	717 63.1%	433 67.3%	234 58.9%	34 50.0%	686 62.9%	23 71.9%	15 71.4%
これまで利用が必要な状況になかったから	265 23.3%	144 22.4%	99 24.9%	17 25.0%	256 23.5%	5 15.6%	3 14.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4 0.4%	1 0.2%	3 0.8%	0 0.0%	3 0.3%	1 3.1%	0 0.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3 0.3%	0 0.0%	3 0.8%	0 0.0%	3 0.3%	0 0.0%	0 0.0%
それ以外の理由	16 1.4%	4 0.6%	5 1.3%	6 8.8%	12 1.1%	3 9.4%	3 14.3%
無回答	131 11.5%	61 9.5%	53 13.4%	11 16.2%	131 12.0%	0 0.0%	0 0.0%

問27-5 あなたのご家庭では、「母子家庭等就業・自立支援センター」をこれまでに利用したことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
現在利用している	5 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	4 1.7%	1 0.1%	4 1.4%	3 1.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	22 1.1%	3 0.3%	7 1.0%	12 5.2%	8 0.5%	14 4.8%	14 5.6%
利用したことがない	1,808 93.0%	967 98.2%	627 92.6%	177 76.0%	1,558 96.1%	224 77.0%	194 77.0%
無回答	109 5.6%	15 1.5%	42 6.2%	40 17.2%	55 3.4%	49 16.8%	41 16.3%

問27-5-1 母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがない場合、その理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,808 100.0%	967 100.0%	627 100.0%	177 100.0%	1,558 100.0%	224 100.0%	194 100.0%
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	1,003 55.5%	597 61.7%	330 52.6%	61 34.5%	935 60.0%	54 24.1%	37 19.1%
これまで利用が必要な状況になかったから	524 29.0%	282 29.2%	184 29.3%	49 27.7%	435 27.9%	85 37.9%	77 39.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	22 1.2%	2 0.2%	9 1.4%	11 6.2%	6 0.4%	16 7.1%	16 8.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	13 0.7%	1 0.1%	6 1.0%	6 3.4%	5 0.3%	7 3.1%	7 3.6%
利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから	19 1.1%	1 0.1%	5 0.8%	12 6.8%	5 0.3%	14 6.3%	12 6.2%
それ以外の理由	56 3.1%	13 1.3%	20 3.2%	20 11.3%	26 1.7%	25 11.2%	24 12.4%
無回答	171 9.5%	71 7.3%	73 11.6%	18 10.2%	146 9.4%	23 10.3%	21 10.8%

問28 あなたは、問27の制度以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。自由に記入してください。

・(等価世帯収入別) 中央値2分の1未満×(世帯の状況別) 母子世帯

<p>・塾に通わせたくても、通わせられない。(フリースクールが無料であるとよい) ・養育費を代理で請求してくれる機関(DVで相手と連絡がとれない) ・食料援助 ・生活保護要件をゆるやかにしてほしい。 ・学校校区をなくしてほしい(いじめ、不登校児がいます) ・引越ししないと転校できない→借金→生活苦→子どもが我慢 このパターンで今とても辛いです ・学校で居てもよい場所がほしい。</p>
<p>1年半前より、自営業になり、収入減や借入(開業資金)があり、サラリーマン時代の貯蓄はなくなり、大変な面は多いですが、十分支援を受けていると思っています。ただ、家が古いせいか、電気、ガスの料金は節約しても中々料金変わらず、自宅でご飯作っており、スーパーに買物に行っても、値上げ値上げで以前より500円~800円ぐらい高いです。それが、なんぼ節約しても、してもどうにもならない現状に嫌気がさす時があります。だったら、ホットモットでおかずのみ買う方が安い時があり、そうしようかと思いますが、私自身も子供もスーパーのそうざいや、冷凍ものを好まない為作ります。どこにどうぶつけてよいかわからず、ただただ安い野菜・肉 etc. 買って考えて作るしかありません。</p>
<p>今現在、児童手当・児童扶養手当・就学援助制度を利用させていただいており大変助かっております。医療費についても大変助かっております。できる限り給与内で生活し、児童手当・児童扶養手当は将来の学費として基本貯めておくことができしております。友人より食料支援がうけられる(もちろん条件に合えば)NPO法人を先日教えてもらい藁にもすがるとの思いで申込み、この度支援頂くこととなりました。食糧支援、本当に助かります。普段知り合いから頂いた古米(知り合いがいうには、古々々米…w)を虫をよけよけ、よく洗い炊いているのですが、先日あったお弁当の日に食糧支援で頂いた新米をもたせたら「ごはんが違った!!」と喜んでましたw 隣の芝生は青く見えるだけできつとどこの家庭も同じような生活をしているんでしょうが、この制度を知って本当に助かりました。情報過多の時代ですが、必要な情報にたどりつきにくくて…しかし公になってしまうと(なりすぎると)悪知恵が働く人まで知れ渡ってしまうし、なんともですね。児童扶養手当不正受給の方ちらほら聞きますが、自分の生活で手いっぱいなので、相手にする気にもなれませんし…すみません…最後というか全部ほぼ愚痴になってしまいました。もっと頑張ります。他県で英検の受験料補助(免除?支援?)があるところがあると伺いました。教育系の補助、支援あるといいですね(^)(私が知らないだけかもしれません)</p>
<p>色々な手当でも助かりますが、1人親世帯に住みやすい環境も必要だと思います。収入の関係で高校までしか行かせれないという事もあります。行かせても多額な借金が残るのも困ります。これから先色々考える事もあるのでそのような支援があると助かります。</p>
<p>学習の支援 他の子達が塾に通うなか、経済的な理由で通わせることが出来ない。</p>
<p>家族のものが自死した時、残された家族の心のケア。誰にも言えない状況で毎日を過ごし、身体にも悪い。宮崎市にはあるようだが、他の市で取り組みがあるのか知らない。あまり近いとバレてしまうのではないかとも思うので行きにくい。子供には知られたくない。</p>
<p>看護職や介護職の支援(返金不要等の)は良く聞かすが、専門職のものは少ない。子供が美容師の専門の科に行っているが、専門的な職に対する支援もしてほしい。片親なので、私立はつらいので。</p>

現在、医療費が中学卒業まで無料ですが、高校で子供にお金がかかるので、高校卒業まで医療費を無料にしてもらいたい。

現在、大学4年生、大学1年生、中2の3人を扶養しています。学費の免除を受けたり、子供の希望する学業をさせたいという思いは母子家庭でも強く思います。県外での大学で理系を希望すれば、学費、諸経費は高額になり、利用できる支援を自身でも調べて利用させていただいています。子供の未来をつぶすようなことはさけないので、「こんな支援がありますよ」とわかりやすく、みなさんが利用できるようにしていただけるとありがたいです。

高校進学（子の）まで又は卒業までの何らかの支援があるとありがたいです。

就学援助を利用していますが、5年生の娘がむかばき宿泊学習へ行ったのですが、バス代しか出ませんと言われました。宿泊なのに…と思いましたがすごく高い金額ではないのですが、返金があると思っていたので他のやりくりになり大変でした。次は12月に中2の子の修学旅行があります。これもバス代のみになるのかな…と思うと不安です。（66,000円支払っているのでイタイです…）下着や旅行の準備などにもお金がかかるので心配しかありません。おこづかい…みんなと同じ位持たせてあげれるかな…とか思ってしまいますよね。本当はUSJだったのですが、九州になったので親としては心の中で喜んでます。USJだったらおこづかいも増やさないといけなかった（ゴハン代がいるので）ので…。ただ、この子が高校生に上がると就学援助も給食もなくなるし、ケータイも必要かなと思うと、怖いです。部活もしたいと言っているし、付き合いも増えるだろうし、どこからお金が出てくるのか…と考えています。ひとり親で3人を育てているのですが、2年後は本当に不安です。下の子がまだ未就学児なので土・日・祝日が休みの職場にいますが、給料の変化はないですが、物価は上がり、支払いは毎月不安です。買えないものは買わないように大事なことはしっかりと支払うようにしているのですが、借金はないですが、余裕はありません。時間に追われながら日々過ごしているので、気持ちにも余裕はありません。ひとり親の手当を多くしてもらえたらいいな…と思います。生活保護を利用しようとは思えません。だけど、がんばっても給料は変化なし、支払いは増え、時間も心にも余裕はない…もちろん子供達との時間もありません。悲しくなります。不正受給や偽装離婚しているところもあります。うらやましいです。がんばってばかみたいだなと思う時もあります。お金の支援がむずかしいのであれば、物資の支援などがあればいいなあとと思います。ノートやえんぴつ、生理用品、お米や缶づめなどそういった物での支援があるといいなあとと思います。1番の支援は、母子家庭の県・市営住宅の無料化だと思います。家賃がやっぱりきついで、手当として出すよりかは、不正受給や偽装離婚にも県・市営住宅だときびしい目があると思うのでいいと思いました。ただ、私の知っている不正受給や偽装離婚の方は持家でしている方が数名いるので…無料化にしてもバレないですね。でも私は無料化になるとうれいします。本当のひとり親が普通に生活できる程の収入を得るには、土・日・祝日も働かないとムリです。子供との時間は減ります。自分の時間も普通のときでさええないのに…これ以上どうしたらいいのかと思っています。宮崎は物価指数が低いので手当でも減らせていますが、値上げや支払い等、都会と変わらないと思いますし、都会は他で手当でもあるので…宮崎も他県同様の手当や支援をお願いしたいです。貧困から抜け出す為に今資格取得をする為大学に行っています。ひとり親は大変ですし、バカにもされるし、心の拠りどころもありません。子供だけでも普通の子として学校へ行かせたいですし、食べさせてあげたいです。手当増もですが、不正受給をする人が減ることも願います。ひとり親の大変さをわかってほしいとは思いますが、せめて悪口だけはやめてほしいものです。いろんな支援なども教えていただけたら助かります。知らないことばかりです。（ひとり親歴7年なのに…）雑ですみません。

<p>食料、日用品の支援子供に対しての学校に関する助成、給付は一世帯に〇〇円～はやめてほしいです。子供の人数も違いますので、出費の大きさも全く違います。子供1人に対しての給付をしてほしいです。制度とは関係ないのですが自転車を通る場所がなさすぎて安全に登校できていないと思います。もう少し自転車、歩行者用の安全な交通場所、交通通り？を作ってもらいたいです。学校の給食で、栄養・バランス重視しすぎて、子供からしておいしく楽しい給食ではないと思います。エネルギー源が少なすぎると思います。現代の子に合わせた規則改善をしてほしいです。現代の子の能力を潰しています。学校のルールが古すぎます。全てに更新してあげてほしいです。生きやすい環境作りを…生きづらい環境を大人が作りあげてます。</p>
<p>食料品などの支援もあると助かります</p>
<p>生活の苦しい家庭への支援（金銭的なもの、物資） ひとり親家庭、子供の多い家庭への支援 ※世の中では、生活の苦しい家庭ばかり支援を受けて、ずるい等、言われていますが、本当に苦しいです。消費者金融へ行かなくては…と思った事もあります。国からの支援等、いただいています。正直、子供が多いとすぐなくなります。県独自の支援等があれば、とも思いません。毎日がぎりぎりの生活です。</p>
<p>制度に関しては、ありがたく利用しています。ですが、就学援助制度は、同居親族の関係で却下されました。現実、同居親族の収入があっても個々の収入であって、援助してもらえない訳ではありません。小学校でも、10万ほど制服などで出費がありましたし、中学校でも10万以上はかかります。すべて借金です。就学援助の制度の規定内容を見直せたら、すごく助かるお母さん多いのではないのでしょうか？</p>
<p>短時間勤務の方への手当の支給。仕事や学校で必要な物を買える様に手当を支給してほしい。資格等を無料で勉強出来る様にしてほしい。</p>
<p>地域で無料又は低料金で子供の学習支援（塾とか）をしてくれるところがあると助かります。</p>
<p>ひとり親支援は、実際相談したことがあるが、相談をして、余計おちこんだ。ひとり親はむくわれぬ。といつも思う。人権がない。</p>
<p>物価の上昇で将来を不安に思う日々が続いています。今は、何とか生活できていますが、このまま物価の上昇が続くと、じわじわ生活もきびしくなっていくと思います。一時的ではなく、継続的な支援がほしいです。</p>
<p>不登校に対して柔軟な対応をしてもらえる様な支援が欲しいと思う。学校に行っていないけれど、どこまで担任に頼っているのか…どこまで町の支援の方に話しを聞いてもらっているのか…時々、孤立した気分になる。子供には「大丈夫！！」と言いながら不安でいっぱいになる。今年は就学援助を受けず、給食を止めてもらい、2万円ほどの学級費等は支払ったが、少々大変だった。不登校なのに援助してもらおうわけにはいかないと思っての事。いくらお金の相談が出来る人がいると言えど、70才の父に頼れるわけもない。</p>
<p>法律や、社会福祉制度を学べる場所 具体的に進学したら、どのくらい費用がかかって、どんな支援を受けられるのか。また、どんな事をしないといけないのか。ままの塾の回数を増やしてほしい</p>
<p>母子家庭等就業などの制度はあるのは知っていたが勤務条件などを見た時に、なかなか良い条件がない。（勤務時間、休日など）また、実際に母子家庭だと伝えるとあまり良い対応をされない。母子家庭等就業をもっと充実させてもらいたい。</p>

母子寮があったり、今だに就職先で母子なんですね～って言われ、熱が出た時は誰が見てくれますか？って必ず言われる企業が多いので何も感じない、言わない企業が増えて欲しい事です。
マイナンバーと養育費の金額を連携してほしい。元夫は自営業で申告の金額をちょろまかしている（1/5ぐらいにしているのではないのでしょうか。）私が受け取れる養育費の金額があまりにも低すぎる。元夫は離婚して新しい車に買い替え、家もリフォームしたりなど、そして子供に会えば、いいパパ気取りで贅沢させているので子供たちはメロメロ。私が制服や、修学旅行の金額など払っています。父と同居しているのですが、父が大きな借金もちの高収入です。それでひとり親の援助が受けられない。父からはもらってません、お金。どうにかならないですかねえ。
まともな生活が安心して送れるように、生活困窮者や母子家庭に支援してもらいたいです。（1人10万支援を再度希望します。）
娘が2年間専門学校で県外でしたのでマンションに住んでいました。しかし、学生に支給されることが何度かあったのですが、その専門学校によっては支給されずでした。娘の通っていたところは、支給されず、ずっと仕送りなどを続けていたため、実家全体にお金が苦しい状態が続き苦労しました。今後、そのような苦しむ学生、家庭が出ないよう、差別なく学生さんに支給してほしいです。
私自身が軽度のうつ。娘（中2）は軽度のパニック障害、スペクトラム。不登校、送迎…。正社員では働けず、パートで朝から夜まで。先が見えない。病気?!が軽度な為、何の支援も受けられない。
高校大学全額免除
支援、制度、利用方法と対象者がよくわかりません。
片親でなくても苦しい家庭があるので、片親でなくても収入に応じて支援があればよい。家庭の状況に関わらず子どもの進路の幅をもっと広がるような制度がほしい。
母子手当の額が増えること。ある程度の収入のラインを高くする。値上げばかりで、出費は増えるので稼いでも母子手当が減額になるのなら、子供の習い事などを辞めさせるしか方法がありません。

- ・（等価世帯収入別）中央値2分の1未満×（世帯の状況別）ふたり親世帯

（母回答）現在就学援助を受けているが、1回立て替えて、後から還ってくるシステムをやめてほしい。直接「学校長振込み」にしてもらいたい。現在通っている学校は、学用品費は半年・1年払いですが、振り込む金額が大きいので、家計が厳しくなりがちだから。進学をするにあたって、学費などは母子家庭は、助成があったりするけど、寮に住む子もいるわけだし学費&寮費の助成制度があればいいと思う。私も含めて世の中のシングルマザーや低所得者にもっと「こんな支援がありますよ」「今、こんな支援を受けられる時期ですよ。」とわかりやすい通知がほしい。例→「母子寡婦貸出金」など、国や自治体で行っている支援制度を、詳しく通知。
・子どもの学費は、すべて無料になると良いと思う。（給食費も）・子ども手当を高校までしてほしい。

18 才まで医療費自己負担なし給食費無償化 IT 機材の無償化又は補助等教科書等（制服等も含む）の無償化、補助
綾町の場合、農業が盛んなので、もし捨てるような野菜が出たら、恵まれない家庭の方にあげることができる仕組みをつくってほしい。もらった人も時間のある時お礼で草とりなど少しお手伝いで気持ちをお返しする仕組みがあるとすてきだしいなと思う。
色々な支援があるようですがどのようなものがあるのかを知る機会がないです。
家庭内別居 お金を入れてくれない現状。口もきかない。
義務教育・高校期間における教育費、医療費等生活における支援（子育て世帯全体）
給食費等の免除
給食費の無償化修学旅行などの高額支出への補助、中学や高校の制服や、カバンのリユース（それぞれの学校で、卒業時に卒業生から預かり、中古でもよいとされる家庭で活用する）※ちなみに、綾幼稚園（こども園）では、制服やブラウス、通園バッグの中古は園が保有し、希望者に貸し出してくれる）スバラシイ～！！高校生の通学援助！！（これは綾などの郊外地域は特に）よろしくお願いします。
高校・大学進学に関する支援住んでいる地域に高校がない為、親元を離れての進学となり自治体の援助もあるにはあるが、正直足りない、苦しい状況。兄弟で進学も重なるので、この先不安で仕方がない（特に大学進学が→奨学金制度もあるが、正直どれも返済義務があり、将来子供を奨学金難民にさせたくないと思う。もちろん親の私達も）学びたい子供達に、夢をあきらめさせなくてもよい、もっと誰でも利用できる優しい支援・制度を作りたいです。どうか、宜しくお願い致します。生きていきやすい世の中にして下さい！
高校生になっても児童手当があるととても助かります。
子供達の学べる場所があったらいいなとずっと思っています。以前は、ひとり親で生活も苦しく子供達を塾に通わせることも、部活動でさえさせることができませんでした。現在も、生活に余裕はなく塾に通わせてません。兄妹も多く、部屋も小さな妹と一緒にの為なかなかゆっくり勉強できません。親としては申し訳なきで一杯です。でも近くに子供達が集まって勉強できる場所（図書館以外→遠いので…）、できれば、小・中・高校生が利用できて、分からないことを上の子供達が教えてあげる、そんな場所があったらと思っています。経済的な理由で学べない子供達が少しでも学ぶことの楽しさを知ってもらえるといいなと思います。そんな支援ができることを願ってます！！
子供1人1人、大人1人1人にお金や物資などの支援が定期的にあると良いと思った。低所得者などに。
支援とまでは言わなくても子どもの洋服代は結構かかります。サイズもすぐ変わるし高級な物を買わなくても上下一枚ずつ持っていれば良いわけでもないの、地域のちょっとしたイベントでも、きれなくなった服、着なくなった服を持ちより、好きな物（服）と交換できるバザーのような場でもあってくれたら良いなあとと思います。高校生も児童手当の対象にしてほしいです。

<p>就学援助だけでは、学校にかかる経費（PTA 会費等）まかなえきれない。一カ月、給食費約 5000 円に+諸経費 4000 円前後に対し月々の援助費は給食費のみ。別日に入金されるが足りない。学校入学時にかかる費用も実質不足する。</p>
<p>収入はあるが、子供の人数、学年等をふまえてこのくらいの援助があると助かるような支援制度。後々に返していく事ができるのも有りだと思う。（収入はあっても支払うものがどの家庭にもあるからです）双子、年子、学年別にいてサイズは上がっていく為に、学校の指定の体操服、ジャージ、くつは、半額で購入できる等地域全体で支援があるといいのではないかと。日南市は、子ども医療助成で1ヶ月1,000円支払い。中学生まで18才とかでもいいですけど…無料化希望の家庭多いです…ここは、支援してほしいです。3人いたら3,000円なので。5人いたら5,000円の話も聞きました。ほんと一に助かる部分です。</p>
<p>主人が何年前かに仕事をやめたときに、支払わないといけない保険料が収入もない貯金もない状態で金額すごくてさらに生活できない事になって大変すぎたので、後で免除とかにはなったが、そういうのが1回も支払う事なくスムーズにできたらいいと思った。今高校生がいて高校の援助の案内もあったが、案内の内容は住民税非課税世帯となっていたがあてはまらず申請できなかったが、あてはまらない世帯でもうちは生活が苦しくもう少し他の条件もあってあてはまる申請できる家庭を増やしてほしいと思った。</p>
<p>すみませんが、両親いるところは母子家庭などのりようをしたことありますか？等の質問はいろいろなと思われま。理由を聞く意味があるのかもわからないです。調査の結果を子育て世帯等の施策に役立てる目的に使用していますが、こんなに質問が多すぎると回答したくなくなります。母子家庭・父子家庭・両親いる家庭にわけての質問ならまだわかりますが、すべてが一緒の回答欄にあるのもどうかと思います。そしてなによりこの文字が読みづらくて、疲れてきます。改善の余地がありすぎて、回答するのも疲れてきます。もっと簡潔にわかりやすくしたほうがいいと思います。</p>
<p>正社員で働いている人が病気や事故でまともに働けなくなって傷病手当というものがあるが、それだけでは生活できない。その看病で家族も働けず、そういった補償があれば良いと思う。同居している子、せめて高校生くらいまでは何かとお金がかかるから医療費などもう少し免除してほしい。</p>
<p>大学授業料無償化</p>
<p>中学校、高校は部活動にかかる支出が多い。決まって、メーカーの活動着を何着もつくらせさせる。制服も体操服も何もかも高い。どれだけ家計にひびいているか。本当に苦しい。子供には部活をさせてあげたいが、大人並みの活動費が家計を苦しめる。本当に部活動のあり方を考えてほしい。</p>
<p>まだまだ収入も安定しないなか、子供がいる、いない関係なく、お金の支援は必要だとすごく感じています。国民、平等に苦しめない生活を送れる安心が必要です。私みたいに働けなくなり、でも子供3人いて主人がいると受けれる支援はほとんどないです。本心、コロナはまだ続いています。第八波だって来るはず。このままの支援状態だと自殺する人も増え続けます。国は、余計な所ではお金をたくさん使うのに、本当に苦しんでいる私達、庶民を見捨ててますよね？そんな国は、先が不安で仕方ないです。※ちゃんとした金融支援をお願いします。</p>
<p>良い制度があったとしても利用しにくい。情報が入りにくく知らないことのほうが大きい。</p>

<p>離婚はしていませんけど、家庭の事情で主人とは別居。市が違う為、何かと不自由です。生計も、私が働くお給料。生活面に苦しいです。離婚はしてなくても、別居での生計をしてる母親に支援があると助かります!!更年期障害になり、現在無職で失業保険の手続きをしました。更年期障害の人にも、支援して欲しいです!!働きたくても、体調が悪く働けないので更年期障害の人に、支援していただきたいです!!</p>
<p>具体的に、米、魚、肉など選択できて困っている人がもらえるようにする。コロナ禍で流行した時期だけ子ども手当に少しだけ給付金がつくなど。</p>
<p>児童手当等だけでなく、継続的な支援があると良い。また、他県と比べて、宮崎市は子育てに関する支援がとても手薄に思います。知事、市長はもう少し子育ての大変さを知るべき。お金の余裕があるから、苦労が分からないのだと思います。根本的な所が分かっていない方に支援制度の提案など無意味。</p>
<p>制服のお下がり事業</p>
<p>対象外の世帯になる事が多いので、対象外の世帯には、金銭でなくてもいいのでクーポン券の配布や、プレミアム商品券などを増やしてほしい。</p>

・(等価世帯収入別) 中央値 2 分の 1 以上中央値未満×(世帯の状況別) 母子世帯

<p>R3 年度は収入があり(退職金) 児童扶養手当も一部支給停止になりました。ですが、今年度になって収入が、急激に減り、支出もかなり増えている状態です。緊急措置の様な制度があるとかなり助かります。又、就学援助も、全て、前年度の収入で見られてしまい、本当に必要で助けていただきたいくても、上限でひっかかり、認定を受けてもないのとほとんど変わりがなく、とても苦しいです。コロナ…物価高騰、ガソリン代、電気代全てが値上がりし、今の収入では、とても苦しく、満足に食べさせてあげることができません。周りには、児童扶養手当をもらいながら、彼氏の方と一緒に住まわれている人がいるので、そういう方を見てると、とても辛くなります。子供の中には、自閉症スペクトラムを持っている子もおり、放課後デイサービスの利用はありがたいし必要ですが、その利用料も支払いが苦しい状況です。療育手帳もあてはまらず、本当にグレーゾーンです。こんな状況でも、助けていただける制度や、一時的に助けていただける制度ができると、大変ありがたいです。まじめに、真剣に子育てしている人が、むくわれる様な支援をよろしく願います。</p>
<p>金銭面の心配もなく進学できる支援</p>
<p>現在、扶養手当や就学援助を受けており、大変助かっています。が、ひとり親で、子供 2 人を育てているので、正社員として働かなければ、経済的に厳しく、私が夜、仕事から帰宅するまでは、実母(子供達の祖母)に来てもらい、子供達の世話をお願いしています。ただ、実母も年齢的に体力の衰えが見られ、病気の実父(子供たちの祖父)の世話もしているので、申し訳なく思っています。もし、近所に、無料か低料金で、自分が仕事から帰るまで子供を預かってくれる場所があると助かるなと思います。(現在小 2 の娘は児童クラブで放課後過ごしていますが、午後 6 時までしか預けられないので…) 料金をプラスすることで、栄養のバランスのとれた夕食を提供していただけるとよりありがたいなと思います。(仕事の昼休憩中に家に戻り、夕食の準備をしています。やはり時間が無く、総菜を買うことも多いですし、全く休憩ができない日も多いです)</p>

<p>高校・大学への進学の際の給付型の奨学金が増えると良いと思いました。母子家庭でも落ちたら受けられないので、条件をもう少し下げてもらいたいです。田舎なので、そこまでお金がかからない事もあります（水道代タダ、米もタダなど）。進学した際にそこでお金がかかってくる事があるのでそういった支援がもっと増えるとありがたいです。実家ぐらしがいつまでできるかわからないので、そうなった時は、まだまだお金がかかるのだと思うと心配です。あと、町内にうけれる（塾）的なものがあるといいなと思います。※教育委員会が主催するものとは別で個人でいける様な…</p>
<p>子供が高校や大学に行くにあたって一番お金がかかるが、手当などなくなるものもあるため、不安を感じる。</p>
<p>子どもが高校より先の学校（大学など）へ進学したいと言った時の、相談支援などがあると良いと思う。（父親へ支援をお願いしても難しそうなので…）</p>
<p>子どもが小さいうちは、子ども手当や児童扶養手当の額も大きかったが、子どもが大きくなる（中学や高校）なるにつれ額が低くなる為、色々考える事が多い。子どもが大きくなる程、学校に納める校納金や進学の為のお金、参考書代、模試代、検定代、食費など現実的には今のほうが経済的には大変である。給食費は免除になるが校納金は免除にならない。子どもが大きくなってからも支援してもらえ制度が欲しい。</p>
<p>支援制度があっても同居等していると利用できないことがあるので本当に必要であっても意味がなかったりすると思う。それに、どんな支援制度があるかも知らないし自分で周りにきいたりとか調べたりしても支援がわかりにくくて最後まで見る気になれなかったりだった。理解できなかった。子に関してもそうだと思う。簡単に利用できないし誰を信用できるかなんてわからない。発達障害の子をもっと周りも理解できないだろうし気がひける事が多いからわからない事だらけだ。だから、わかりやすく、子でも理解できるような文章だったり絵等でもわかりやすさが大事なのかなと思う。</p>
<p>支援等々の制度を利用しようとする、手続きがめんどうなため制度利用をあきらめてしまっている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。手続きが毎年必要なのもどうかと思います。制度を悪用している人がいるのもどうでしょうか。必要な人とどいていないのもどうでしょうか。</p>
<p>仕事と子育て（部活動の送迎等）で大変忙しく休まる時がありません。仕事、激務で時間外労働が1月45時間以上になる月もあります。休みの日は、子供達の送迎に追われ身体が1つじゃ足りません。何かいい支援はありませんか？</p>
<p>児童扶養手当の金額を上げて、2か月に1回ではなく、月1回（毎月）にしてほしい。1人親世帯でも思ってる、通いたい学校に通わせる為に団地を選びたいがなかなか入居できないので（地域によっては団地がない…）、アパートでも少し支援してもらえると助かります。</p>
<p>収入に関係なく、母子家庭にはすべてのことに援助してほしいです。</p>
<p>水道代の減免（東京は実施している）、住宅手当支援</p>
<p>生活の物価が上がっている、母子家庭に物資の提供してくれる支援があるといいと思う。親と同居している母子家庭でも家庭不和で悩んでいる母親もいるので、そういう相談を気軽に出来て、アドバイスや、一緒になってやってくれたりする支援もあればうれしいと思う。今の時代、ワンオペ育児になりやすく、相談できる人もいない人はたくさんいると思います。</p>
<p>低所得者には家賃も全額補助</p>

<p>日南市は特に家賃が高いと感じる。空家も売買ではなく、賃貸にすれば入居したい方は多くいると思う。家賃補助というはっきりとした名目で支援があると、大変助かる。</p>
<p>ひとり親世帯の大学・専門学校等の学費、生活支援金</p>
<p>福利厚生が無い個人事業主、農家等でのパート勤務でも病気やケガ等で仕事が出来なくなった場合の補償が欲しいです。有給休暇も無い為ギリギリの体調でも働かざるを得なく年々不安がつつります。</p>
<p>不登校、ひきこもりの学習支援がほしい。外ではあるが、そもそも、外にあまり出ない、一人で行動できないので、家まで来てくれる、オンラインなどの支援がほしい。学習の遅れで、ますます学校に行きたがらず、同年代との関わりもなく、身内の中だけで大人になっていくのが怖い。発達障害もあるが手帳をもらえないので支援もあまりない。生活保護で車をもてないのでどこかに移動するのも1日がかかりになって外に出たがらない。たまに学校に行く付き添いで一緒に歩いて行くが、周りの目を気にする性格なのでハードルが高くなりやすい。どうにかしたいがどうにもならない。</p>
<p>フルで働きたくても家庭の事情で働けない人は少なくないと思うので、例えば短時間や日数の少ないパートでも厚生年金や社会保険に加入できるようにしてもらいたいです。</p>
<p>母子家庭だが、子供の進学などにともない、引っ越し等の支援、住居の案内などがあると良い。市営（集合住宅）は、人づきあいなど、以前トラブルに巻き込まれた事があり、一戸建てが希望である。非課税世帯でなくても、養育費をもらえていない（支援を受けられない）等で、進学への不安がある。（金銭面）収入を上げると税がかかり、非課税で受けれる支援を受けられなくなるので、収入を上げたいが支援を受けられないという不安があり、今後、高校入学への不安がある。</p>
<p>母子家庭の母親の予防接種の助成</p>
<p>母子手当の支給を毎月にしてほしい</p>
<p>学校にいない子供のフリースクール送迎サービス</p>
<p>学生服や部活用品の基本的に必要なものは無料にしてほしい 部活を始めるのにユニフォーム等で4万だった</p>
<p>教育費や医療費を高校生まで無料化</p>
<p>私立学校への補助</p>
<p>児童扶養手当の基準や支援が、前年度収入によってですが極端だと感じています。今 児童扶養手当や就学援助は我が家は 受けていませんが、中高や大学からがいちばん支援が必要な時期だと思います。これからを考えると、とても 不安になります。</p>
<p>住民税、家賃などの緩和</p>
<p>無料学習支援の充実</p>

- ・(等価世帯収入別) 中央値 2 分の 1 以上中央値未満×(世帯の状況別) 父子世帯

<ul style="list-style-type: none"> ・一人親の PTA の強制参加の免除・子供の習い事の協力支援制度・もっと気軽に出来る相談窓口・学習がおこなっている生徒の学習支援(塾は金額が高すぎる)
<p>27 の制度が提示されていないのにどのような支援がといわれても、分かりません。このアンケートの意がわかりかねますが、市、県、国がどういう風なビジョンの元、取込みをして行きたいのかまずそれを、明確にしていきたい。</p>
<p>子育ては大きくなるほど費用がかかります。地域によっては給食費が無料の所もあります。せめて高校卒業するまで色々と支援が必要だと思います。</p>
<p>別にありません。1 人親になったのが最近なので、支援制度がわかりません。</p>
<p>父子家庭の補助制度が出来てほしい</p>

- ・(等価世帯収入別) 中央値 2 分の 1 以上中央値未満×(世帯の状況別) ひとり親世帯(その他・不明)

<p>児童扶養手当の金額が低い。働けば収入が増えて手当が減るなど。意味がわからない!! いつまでも苦しい。3 人扶養していても 1 人の金額ときほど変わらない。「制度はそのままでも良いが内容を充実してほしい。」今の制度で満足していないのに他の支援など期待しません。</p>

- ・(等価世帯収入別) 中央値 2 分の 1 以上中央値未満×(世帯の状況別) ふたり親世帯

<ul style="list-style-type: none"> ・17 才まで医療費の無料 ・相談しにくいような事でも、何でも相談ができる空間作りをしてほしい…。
<ul style="list-style-type: none"> ・親ガチャに関係なく平等に教育等を受けれるよう支援してほしい。 例 ・給食費の補助(無料化等) ・検定等の費用補助(積極的に受験できるように) ・スポーツの優秀な児童に対して、一流の指導を受ける機会(それに係る費用の補助) ・障害等のある児童に対してのサポートの充実 ・保護者に対しての支援というよりは、児童に対して直接還元できるような制度
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行けない子供の支援。通信制。 ・学校が合わなくて、転校等する時の支援。(制服など出費が大変) 転勤が多いのでそれも含めて。 ・学校の規則改正(髪・くつなどもっと自由で良いと思う) ・転校して、セーラー服の形が違ってても、そのまま利用できるようにしてほしい。支援とは別かもしれませんが。
<ul style="list-style-type: none"> ・給食の無料 ・高校までの医療費無料 ・児童手当を高校まで
<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化 ・制服の無償化(体操服、カバン、靴) ・下着や靴下の指定をなくす(指定されると買わないといけない)
<ul style="list-style-type: none"> ・給食費無償化 ・高校・大学資金の無償化、または支援(助成金など) これから 3 人の子どもを大学に行かせてあげたいですが、お金のことを考えると不安です。(子どもが希望すればですが…)。働いてはいますがなかなか貯金はできません。家庭の状況で子ども達の希望する進路をあきらめないといけないということがあってはかわいそうです。どんな家庭の子どもでも夢をお金のことであきらめることがないよう支援があるといいと思います。

<p>・高校・大学進学金支援→本当にお金が必要となるのは中学校卒業後からだと思います。子供の学力低下…と言われているが、それなりに国からの支援が必要 ・給食費無料 ・子供手当など所得制限なしの支給</p>
<p>・高校生まで医療費の負担をへらしてほしい。(部活などのケガで、お金がかかるから) ・私立中へ通う子への学費の援助。</p>
<p>・高校生も、医療費無償化してほしい。成人から 3 割で。 ・大学も無償化 (学費など) ・低所得の人の年間収入額をもう少し上にあげてほしい。私たちのような中間層が一番きつような気がする。年間 400~500 万ぐらいの人はきつい。(物が値上げされてるし。)</p>
<p>・子供が、高校、中学、小学、保育園とみんなお金が必要な状態です。保育園で 3 才を 8 月に…制度では次年度の 4 月から、無料ということで、保育料見直しの期間に入り、金額は 4 万 2000 円と 5000 円 UP に…子供が多い世帯には、少し子供手当など別の援助をして助けてほしいです。上 2 人も、修学旅行が重なり、厳しいです。 ・特に日向は、あまりそういう所に関心が全くないと思います。 ・非課税世帯ばかりでなく、日向は子供が多いです。そこに目を付けて支援してほしいです。</p>
<p>・生活保護を受けている方の見直し。本当に生活が困難で受給している方と、ケータイや車を所有し、パチンコ代として受給している人などちゃんと見直ししてほしいです。 ・生活保護や就学援助をふんばって支援されずに、ギリギリで生活している家庭への支援をもらえたらもう少し生活が楽になると思います。中学 2 年生で部活や修学旅行、背が伸びる為くつや洋服のサイズアップ、食欲も増え、食材も質より量を考えます。収入を増やす事も考えますが、試合や練習にも送迎や付添が必要で時間も足りません。足りない、足りないと言いたくはないから、自分達の生活はご飯が食べれるだけまだ大丈夫と言いきかせ、生活をしています。お給料がもう少し上がれば。食材やガソリン代がもっと下がれば。貯金になる位の余裕があれば…。という愚痴を書かせてもらいました。</p>
<p>・ひとり親世帯 (小さい子ども) の相談機関は充実しているように感じますが、中学生以上で共働きの母 (父) 親等が気軽に相談できる場所があればいいなと思います。介護や自身の病気などと向き合わなければならず、子育ても…となるとどこに相談したらよいのか…? と。(すでにあつたらすみません)。 ・お金の相談も気軽にできるところがあれば…と思います。問 27 を見ていると生活困窮者じゃないと相談しづらいのかなと感じたり…。小学生の間から、金銭的なことを相談できたらいいな…と思います。(FP さんとか…ライフプランとか…)</p>
<p>・物価高で収入は同じなのに生活にゆとりがない。特に子育て世帯への給付金があるとよい ・断水などで出費がかさんだ。何の給付もなかった</p>
<p>1. もっと勉強をしたいと思う子のための、無料の学習支援制度 (高いレベル) 例: 偏差値 65~70 の児童対象 (中学生) 2. 書店や塾で購入した使用済みの問題集や教材が欲しい。(書き込み可) 3. 高校の備品等のお下がり (記名や、使い込んでいても可) 4. 漢検英検数検の教材のお下がりが欲しい (記名や記入他、使い込んでいても可)</p>
<p>①親が仕事でいけない場合の子供の病院付き添い ②子供の病気の看病で仕事に行けない際の休業補償</p>
<p>生きていきやすい安心して病気と向きあうことのできる様な制度が加わる事を願っております。</p>

<p>一時金支給は本当に一時的なものなので、賛成しかねる。国の借金ばかり増やして、老後の自分たち、子供たちを苦しめるばかり。〇〇大学卒のおえらいさんが考える政策なのに、「いいね！」と思えたものがない。もっと現場の声を生かしてほしいが、届かない。知り合いの議員さんに勇気をもって話をしても、上が許可しない。市町村も国と同じ。</p>
<p>今の子供達には、学習の面で差をつけない様に高校までは医療費の免除、学校には無償で登校出来る、制服、給食、本などいっさいを市県国から支給。差別を作らない様にする。子育ての期間のみ、いろいろな税金の免除といった子育ての間の親の負担の軽減・支援があれば良いと思います。</p>
<p>医療費の軽減</p>
<p>医療費の負担を0にしてほしい</p>
<p>医療費負担の県、全国の支援の統一化。地域により様々なのは、同じ子育て世代として損をしているよう。生活困窮者だけでなく、全ての親に対しての学業の支援など。子どもが自由に安全に安心して遊べる戸外空間の増設。(都会や一部地域のみならず、地方などにも子どもが行きたくなる場所の提供) 学校内だけでなく、それぞれの地域の学校同士で交流を増やす機会の保障。(特に特別支援学校との交流など) 土、日や長期休み等に、地域の会社などへの社会科見学事業を希望者のみ実施するなど。(見学、体験など興味ある内容で。)</p>
<p>色々と支援の形がありますが、結局「非課税者」「母子家庭」「1人親」、2人で頑張って働いて税金払っても非課税者ばかりがいい思いをしている。2人親がそろっていても助けてほしい時はみんな同じ!! なにかと言うと「非課税者対象」が多すぎる。納得いかない。子育て世代みんな平等に!!</p>
<p>色々な支援がありますが、ほとんどが受けられません。それぞれに条件があり、どの支援もシングルマザーしか受けられないんじゃないかというものばかりです。子供がいれば出ていくお金は一緒かそれ以上なのに、平等ではない制度ばかりだと思います。シングルだろうが両親いようが、子供を育てる事に変わりはないので、ちゃんとみんなが受けれるのが本当の支援だと思います。今の時代、子供がいれば損なので、ちゃんとずっと楽しく子育てできる余裕な生活をください。</p>
<p>大人も医療保険制度を増やしてほしい。固定資産税の減税。</p>
<p>海外の留学生には国は税金を使って援助している。税金の支払いもなく、日本だけ海外の留学生に対して支援が高い。日本の将来を考えると、今の子供は日本の将来を支える人材、大人になる宝だと思います。現在の大学生や学生は、学資ローンや奨学金を利用し、学生、仕事についても、返済で生活が大変な状況だとあります。利子が低いものを事業としてするのではなく、日本の経済のためにも、今の子供たち全てが生活面にも、学業の差もせず、平等に受けることができるよう支援が必要と思う。大学の入学金無料や、授業料の減額は必要であり、海外の留学生より、手厚い援助、支援すべきだと思います。高校の授業料の負担は、申請、県(国)より支援があるが、毎月の出費は昔以上にあり、何も変わらない。貧困差で学業を学べない子もいると、日本の将来もない。税金の使い方、もっと考えてほしい。</p>
<p>各個人に手当てを支援するのではなく、学校の給食費の無償化など全体的な支援に回したほうが良いと思います。子供に対しての手当てなのに子供ではなく親の都合で使う方も多いのではないかと思います。(もちろん全ての方がそうではないと思いますが。)</p>
<p>学生の間は、病院の通院費を安くする支援</p>

<p>学校にかかる費用の免除 学費、修学旅行、給食費高騰化で、おこづかいがあるといいくらいの要望が出て来たため、給料では貯金すらも厳しい生活のため、高校にあがる費用をどうにかしてほしい。</p>
<p>給食の無償化 小～高までの学費無償化 専、短大、大学進学支援、学費免除→どんどん値上げしています。収入は減り、物価は上がり、教育費も高騰しています。税金も収入・支出からも増税され、子育てがしづらいです。余裕なんてないです。子どもは社会の宝です。社会からの預かりものと思い子育てしています。本格的に子ども・子育て世帯への支援に力を入れないと日本の将来は危ういと感じています。努力しても報われない親世代と思っています。</p>
<p>給食費の支援があると助かります。</p>
<p>給食費の無償化高校生までの医療費の補助</p>
<p>給食費無料 高校バス補助 高校生まで医療費無料 低価格の塾</p>
<p>金銭面の援助が必ず必要です。コロナ禍で収入が減っている為そう長くは持ちません。</p>
<p>国の支援は小さい子供に対する事が多く、それより現在、大学、専門学校などまだ学生の子供への支援をしてほしい。学費、生活費が高くて困っています。子供が大きくなればなるほどお金がかかります。</p>
<p>現在、自転車での通学ですが、小学校はバス通学でした。バス通学は宮交バスですが、スクールバス等あれば助かります。(永谷地区)</p>
<p>現在は長男が大学となり別世帯だが、3人の子供達が高、中、小と食べ盛りなので、食品や学用品の支援があると良いと思った。又、夫がギャンブルで借金をしてしまっており、義父母と私で返済したが、収入とは別にそのような事状(情)を抱えてても支援の対象から外されるので辛い。民生委員さんには伝え、就学援助などを申請したがダメだった。</p>
<p>県民全員に行う生活補助</p>
<p>県民だけではなく、海外から渡航された家族(外国人)のサポート体制を整える制度を作ってほしいと願います。生活面、仕事、学校、心身面など。</p>
<p>高校、大学までの経済支援があると、子供の将来の目標も幅広く広がるので議案であげていただきたいです。</p>
<p>高校進学の支援があるとよい。私立に行くと月謝が高いので、交通費を少しでも安くなる制度があると良いです。</p>
<p>高校生になってからの通学費が心配になります。新富町はとにかく不便なので、通学費の支援があるといいのになと思います。塾も行ってる子、行けない子(経済的に)に差がある様に感じます。みんなが平等に勉強ができる様に。中学校の先生にも負担もかけられないので、外部からも雇って夕方から勉強会などあるといいのになと思います。入学時の制服の購入時にはクーポンなどみんなもらい、入学時の負担を減らしてほしいです。コロナの時は家族みんな10日間家にいたり、濃厚接触で家に居る時間が多く、食費に使うお金の負担が大きい。新富町の給食費無料は助かります。学校のPTA会費、教材費も高すぎて負担が多いので支援してほしいです。</p>
<p>高校生まで医療費の補助があるとありがたいです。</p>

<p>高校生までは児童手当があった方がいいです。塾や、交通費などにとってもお金がかかります。</p>
<p>高校入学してからが一番お金がかかるので児童手当を高校卒業までにしてほしい。医療費援助も含め。</p>
<p>高校まで医療費の助成があってほしい</p>
<p>交通の便でバスや電車の本数を、通学や通勤の時間帯は増やしてほしい。(数が少なすぎる!!)</p>
<p>公立学校と私立学校で教育のクオリティに差が出ている。学費をかけられない家庭では、公立高校を選択するしかないため、進学を考えた場合不利になっていると思います。子供達には、金銭的なことは気にせず、自由に進学できる支援があるといいと思います。また ADHD など療育が必要な子供達が増えている印象がありますが、地方都市では支援施設がなく、SST が受けられない。ADHD などの診断が出ていなくても SST (ソーシャルスキルトレーニング) などを気楽に早い段階から行うことができる環境があればいいのにといつも感じていました。</p>
<p>個人のレベルに応じた学習カリキュラムの新設 地域毎に老若男女が集える場所 (不登校児含) 一人暮らしの老人、若者のワーキングスペース 寺子屋 子ども食堂 障がい児者支援 困りごとがあり就労困難な人 (母親等) がフレックスに働ける場 障がい児のいる家庭・不登校児のいる家庭・社会に適合し難い人・介護の為 etc. …地域活性体験型ゾーン→子どもたちの将来の活路を見出す場 とにかく、これからの時代に沿った変革をもたらす新たな個々人の特性を活かした地域創生と人類共生を目指し、豊かな自然を活かしたライフスタイルを提案してはどうでしょうか? 「豊かな心を持つ子どもたちへ」</p>
<p>子供 15 歳まで医療費無料、高校無償化、大学補助金制度充実</p>
<p>子供が多い家庭への支援をもっとしてほしい。保育園の費用は支援してもらい大変助かっているが、(私の知るかぎり) 小学・中学・高校は何もなく、大学を目指す姉のための貯蓄ができない。</p>
<p>子供食堂など、子供だけでは遠くて行けない。場所・日時・費用がわかりにくく、利用したくても 1 度も利用できなかったもので、学校の使用していない夜間 (放課後) や、土日祝日をフリースペースとして開放してほしい。そこで無料の学習支援や運動レク、食堂等していただきたいです。またそこに、体操服や、学生服等の使用しなくなった物の寄付又は安く購入できたら良いです。特に学校指定の物は高いので、指定をゆるくするか無くすなど選択の幅を広げてほしいです。SDGs コーナーを設置し、読まなくなった本や参考書、部活の品等、卒業生や在校生から新入生へリサイクルできたら、保護者の負担も減り助かります。どうぞ宜しくお願いいたします。</p>
<p>子供達の教育費用に関しては、援助や手当ではなくて、教育にかかる費用をとりあえず高校まで早く無償化してほしい。教育費の無償化は、宮崎県における少子化歯止めにもなるでしょう。他県からの子育て世代の移住が進めば、宮崎県の人口も増えて納税額も増えていくと思います。日本は先進国 G7 の中でも断トツで子供達にかかる教育費用が少ない。宮崎県の子供達のために働いている県職員の方ならご存じの事だと思います。教育費用の無償化をよろしく願い申し上げます。</p>
<p>子ども手当を高校まで続けてほしいと思います。</p>

<p>子供にかかる費用は高校生になってからのほうがたくさんかかるので、医療費や児童手当を高校卒業までにしてほしい。</p>
<p>子供の医療費助成の期間を高校3年生までにしてほしい。せめて持病の治療費だけでも助成していただけると助かります。</p>
<p>子供の特性に合わせた学校（中等教育学校も含む）へ進学させたいが、親の収入によって不可能な為、教育費のかからない制度があると助かる。（大学・高校は特待生で費用はほぼかかっていないが）</p>
<p>子供一人につき、毎月の支援がほしいお金を気にせずに子供が色々な事を学べる所 共働きの家庭がバカを見る時代、母子家庭の方が援助を受けやすい時代、共働き家庭で、子供が3人以上の家庭への支援をもっと充実してほしい</p>
<p>これから、高校進学を考えています。特に大学進学には、かなりお金がかかると思うので不安です。もう少し、奨学金制度など、見直していただきたいです。これから、大事な日本の未来を担っていく子供たちへ希望が持てる支援をよろしくお願いします。</p>
<p>コロナ感染の状況が毎日続いている時代に、収入が減って生活が厳しい世帯の方たちへの特別給付金の制度が、年に1・2回あるとだいぶ助かるのではないかと思います。</p>
<p>コロナ給付金は、飲食店や旅行代理店、困窮者など決まった分野にしか回っておらず、経済対策があまりとれていないように強く感じます。もっと若い人たちの支援をしていかないと、日本をこれから回していく力になれないと思います。未来ある人たちへの支援をお願いします。</p>
<p>コロナになった為賞与がなくなり生活が苦しくなった事で、子供達に必要とする学校用品等を揃えるのに苦労した。援助がなくとても苦しく、気持ちも落ち込むことでメンタルの変化や食事の変化により体重も減った。市民にもがんばって生活している者がいることを知ってもらいたい。相談できるサービス等があると良いのではないのでしょうか？一般企業に勤める、納税を納める、学校行事への参加、これだけでも精一杯です。コロナ対策のない前の生活に1日も早く戻りたい。つらい。進学についても無償（学業できる環境作り）。離婚を考えたこともあるので、本当苦しいです。納税の期日に支払いもできず申し訳ないと思っています。</p>
<p>コロナの影響で主人が前の職場を退職しました。ここ1年の調査ということだったので、少しながらの退職金があった為、食料が買えないということはなかったんですが、退職金も底をつくのは目に見えています。高2、中2の子供がいるので、今は大丈夫でも進学する頃のことを考えると不安でいっぱいです。正直不安しかありません。前向きな性格なので、家族に出さないようななんとかやっていますが、学費や生活面での支援がどれだけあるのか知らないの、教えていただけるものがあると良いなと思います。利用できるものを知ってるのと知らないのでは大きく違うと思いますので、色々頼りたいです。</p>
<p>左記のような支援があり、対象の方はその支援に助けられていると思う。</p>
<p>支援とはまた違うが、仕事をしていて時給は上がっているのに、扶養の関係で収入を増やすことができず働く時間を調整してます。収入は変化なし、少し減った位です。これから進学等して、子供に気にすることなく色々挑戦してもらいたい。そのためにも働いているのにこれでは何も変わりません。社会保険に入ったら将来的には良いのかもしれませんが、今はどうなのでしょう…と考えてしまいます。あまり関係ないことすみません。お金がないとやはり学校進学等が大変じゃないか不安です。</p>

<p>時給、給料を上げてほしい。働いているときの労働基準などを見直してほしい。法律には書いてあるものの会社はそれをきちんとしてくれない</p>
<p>実際、学費が必要になるのは、大学進学から卒業までの時期だと感じる。(自宅以外だと更に資金が必要)大学の学費の支援があると助かると思う。</p>
<p>児童手当は中学生までですが、高校まで延ばしてほしい。高校になると食べる量ももっと増え、生活費が増える。</p>
<p>児童扶養手当の様にひとり親への支援があるのは対象者にとってはとても助かる事と思います。しかし、ひとり親の支援はよくありますが、両親がいても働き方や収入によっては大変な所も多いです。反対にひとり親の方の方が、ゆとりある生活を送っている事が多い様に見受けられます。両親がいても様々な理由で大変な生活状況にある子ども、家庭もあります。どの家庭にでも支えとなる支援を望みます。</p>
<p>就学援助など自ら申請しないと支援されないような制度ではなく、自治体が対象の世帯には援助できるようなシステムにしてほしい。例えば、高校のように全員書類を提出して、該当になる、ならないの結果が通知されるように。給食費などは、一律して自治体支援、または児童手当からの天引きなど、収入に応じてではない同じ条件にしてもらいたい。申請する事自体が、むずかしい家庭もあり、平等ではないと思う。母子家庭(ひとり親世帯)以外にも、2人保護者がいても、低所得の世帯はたくさんあると思う。ひとり親世帯だけの援助は、考えていただきたい。</p>
<p>自由に大学に行けるようにもう少し充実した奨学金が欲しい。</p>
<p>収入など関係なく、習い事ができるよう、ある程度の支援をしてほしい</p>
<p>塾などに行けない経済的に余裕の無い家庭の子どもが学校が終わってから学習できる場所</p>
<p>小→中→高→大と進学していくにつれかかるお金の費用もケタ違いに上がっていくので、高校生、大学生にも何か支援していただけたらとても助かります</p>
<p>小・中学校の給食費などの国からの支援。全面無料化してほしい</p>
<p>正直、保育園生の頃、平成18年生まれくらいの子供を持つ親は、保育料も高く、月に2人で6万ほど払っていました。今の親は、その分貯金もできるのでいいなあと感じます。長女が高校になり、交通費等すごくお金がかかります。一人親の方も大変かもしれませんが、二人で働いても大変な世帯もあることを考えて下さるとありがたいです。高校はアルバイトもできません。高校、大学生、専門学生等に支援があるべきだと思います。食費も幼児よりすごくかかります。よろしく願いいたします。</p>
<p>小中学生の給食費の公費での負担。</p>
<p>小中学生みたいに高校生にも子ども医療費助成制度があると非常に助かるなど思いました。</p>
<p>小中学校の給食の無料化 新富町は実施していて、皆さん大変助かっています。学校に行きやすいです。</p>
<p>全ての方に当てはまる事ですが…。物価高となり、食費がかなり高くなっています。高校受験、入学金、制服代など、出費の事を考えると、不安になっています。今、ギリギリの生活で、子供の行きたい高校に出してあげられないかも、と考えると…。親も高齢ですし…。どんな支援があるのかも、正直分かりません。</p>

<p>大学に行く為にはお金がすごくかかります。ですので、大学へ行く為の（大学へ行きたい人の為に）、支援をお願いしたいです。</p>
<p>大学にかかる費用を支援してほしい</p>
<p>大学の就学援助など制度にぎりぎりでは当てはまらず、子供の進学などでお金がかかりすぎ、将来が不安である。子供にかかるお金は平等に援助をすべきだと思う。母子家庭世帯は私立でも選ぶことができるが、その選択ができないのは不平等すぎる。</p>
<p>大学までの無償化子育てに費用がかかりすぎるので少子化にもつながるのではと思うので</p>
<p>高崎町在住です。高校進学にあたって、電車通学が必須となります。（都城市内、小林市内に進学するにあたって）定期代なども必要となります。お弁当もいります。高校生になると子ども手当がなくなる意味が分かりません。高校生になると中学校よりもお金がかかります。高校生まで手当があれば…と皆言ってます。高校生にも支援があればいいと思います。もう少し子育て世代を応援するシステムが必要です。子供が多い程貧しくなります…どうにかするべきです。どんどん少子化が加速する一方です。</p>
<p>多子世帯への支援が必要です。子ども5人いますが、子どもが多くなると、普通一般的な収入を得ていても、金銭的な工面がとてもネックに感じます。食費だけでも相当な額が必要です。給食費は、第3子以降は補助があると有り難いです。また、修学旅行費も、中学生になると高額ですので、第3子以降は補助していただくと、とても助かります。出産一時金など、一時的な補助ではなく、子どもが育ち上がるまで、長い目で見た補助を希望します。部活をするにも、道具やユニフォーム…高額が必要となりました。部活をする際の費用の補助も欲しい所です。物価や光熱費が値上がり、子どもも大きくなるにつれいろいろとお金が必要で、不安しかありません。給料も上がらず子育てのしにくさをとても感じます。</p>
<p>チャンスは、子供たちには平等にあるべきだと思う。</p>
<p>電車、バス（定期）の助成があって欲しい。</p>
<p>問27の質問と関係のない事かもしれませんが、不登校の子供（子供同士・親同士）についての情報共有できる所（交流できる場所）、教育施設の設置等学校以外に進路相談、生活支援施設があると良い→学校担任やスクールソーシャルワーカーさんもいらっしゃいますが、沢山の子供達を実際受け持っており、相談しづらい事がある。</p>
<p>どのような支援があるとよいかは、思いつきませんが…我が子が保育園、幼稚園に通っていた頃に比べると現状、子育て支援が充実されているし、保育料も無償化になっているので、羨ましく思います。2人預けていると、保育料が占める割合が大きかったです。</p>
<p>夏休み、冬休みなど、登録なしに自由に学習を教えてくれる場を供給してくれたらいいなあと思います。</p>
<p>非課税世帯ばかりではなく支援してほしい。困ってるのはみんな一緒。</p>
<p>部活の保護者会の会計をしていた際に部費が払えないご家庭があった。直接お会いしたわけではないので家庭の状況は不明だが兄妹も多く金銭的に困っていた様子。その子はその後不登校になったそう。学校側と役場の福祉担当での連携ができたらと思う。制度ではないですが…</p>

<p>福祉・医療の無償化学用品等必ず購入して下さいというような方法ではなく算数セットやえのぐ・クレヨン・ねんど等学校に備品としてセットしてほしい。購入して使用しなくなっておさがりもできずに捨てるだけで、現在の考え方としてもったいない。リモートワークのようなデジタル化が進んでいるので、修学旅行で長崎や沖縄など現地に行かなければ学べないわけではないので、修学旅行のあり方を考えなおしてほしい（デジタルデトックスキャンプ、イングリッシュキャンプのようなものの方が学べる）</p>
<p>物価高騰になり物が買えないです。給料も安いし、一律給付があると助かります。</p>
<p>不登校の子が無理なく通える施設を作って、学校の先生とその施設の連携と施設のスタッフの充実。子どもの話を聞いていると、先生方がイライラされていることが多いような感じを受けます。実際はどうか分かりませんが、そのことが不登校へとつながることもありうるのではと考えてしまいます。先生方の負担軽減策、早急に希望します。</p>
<p>勉強の支援があると助かります。</p>
<p>保育、幼稚園から中学までの給食費の無料化をお願いしたいです。生活が苦しいと栄養バランスよりも満腹感を優先してしまうことがあります。1日1回バランスのとれた食事を無償で提供していただくと大変助かります。</p>
<p>北欧みたいに消費税を使って子供の教育費を大学まで無料にしてほしいです。</p>
<p>毎月、食料を食べる事が出来ない状態です。たすけて下さい…</p>
<p>町や県が設ける、小中学生が入りやすく、勉強したり少しおしゃべりできるような場所（町立図書館は、勉強するには手狭な為）</p>
<p>都城市のプレミアム付スマイル商品券は大変助かった。毎月ほしいくらいありがたい。</p>
<p>宮崎県は子育て世帯が住みやすい地域とはいいづらと思う。社会から支援を受ける世帯はほとんどが、非課税世帯やひとり親世帯、社会を主に支えている両親の子育て世帯や子供のいない働きざかり世帯に社会は少しもやさしくない。両親いたとしても多子世帯や様々な原因で満足のいく子育てができていない世帯が多いと思う。ひとり親世帯や非課税世帯、生活保護世帯ばかりでなく子育て世帯すべての家庭に目を向けてほしいものです。</p>
<p>無料で通える塾があると助かります。（子供の）理由 母親 給料支給 171049→手取 122000 ぐらい 父親 給料支給 180000→手取 160000 ぐらい、1人あたりもし塾に行くとして月/15000円、今現在学校給食 5000円 3人合計 15000円、学級費 2000円・3000円・5000円、オール電化 9800円、水道 3800円、家庭の月の食費 70000円、学資保険など3人分医療保険付 14000円。毎月正直キツイです。家のローン月々55800円ぐらい</p>
<p>リモートでリアルタイムで授業が受けれると良い。</p>
<p>わかりやすく、使いやすい支援。どれもこれもわかりにくく、どうすればいいかまったくわかりません。</p>
<p>私の子の一人が学習障害（すでに発達障害の診断を受けてますが、普通学級に在籍中）です。軽度なので、おそらく高校受験はすると思います。学習障害の子をわかるまで教えてくれる塾は、このあたりにはないと思いますし、あってもうちは子供も多く高い授業料は出せません。そういった子を教えてくれる学習支援の教室があったらいいと思います。</p>
<p>医療費無料を高校生までにしてほしい。給食費などの負担を減らしてほしい。</p>

<p>各制度に該当する可能性がある世帯に対し、自治体が積極的に関わるべき。まずは制度を利用するかしないかの選択を、該当世帯にさせるところから始めるべき。該当する世帯ほど時間に余裕がなく、制度を知る機会がない。「申し出がないから必要ないということだよー」ではあまりに情けない。お給料もらっているんですよね？ その困窮世帯からも間接的に税金という形で。そしてそのお金で iPhone を持ち、電気自動車に乗り、スタバを楽しんでいる。情けない。</p>
<p>学校に行きづらい子が、学校に行かずに学習できる施設。</p>
<p>結局支援されるのは母子家庭や非課税世帯や生活保護世帯とかばかりで、収入があるから支援しなくて大丈夫と思われているが、実際子どもが3人いて、大学進学や修学旅行やその他にもコロナで収入が減ったり借金もあるのに、それは分かってもらえない。もう少し支援する方法や、支援対象を考えてほしいと思う。</p>
<p>高校生までの医療費の助成</p>
<p>高校生まで医療費免除できるような</p>
<p>高校卒業まで医療費の支援があると助かります。</p>
<p>子どもが不登校です。フリースクールなどに通う場合の支援があるといいです。</p>
<p>支援が必要な世帯には、連絡して申請法を教えてください。</p>
<p>私がそうですが、こどもと一緒に過ごす時間が大事だと優先させて短時間パートなどの少ない収入で生活が大変だけど、なんとか頑張ってます。こどもたちに時間をかけて愛情をと思うと短時間パートしかなく、少ない収入になり、自分たちの生活が苦しくなります。コロナ支援でひとり親世帯ばかり支援がありましたが、低収入の家庭にも同じような支援をしてほしいです。また働くことは大事だと思いますが、3才まではこどもの成長を親がみれる世の中になってほしいです。なぜかという、二度と戻ってこない大事な我が子の成長を、親ではなく保育士さんにしてもらってます。我が子の初めて発する言葉や歩く姿を、母ではなく保育士さんがみるのです。悲しいなと思いますが、収入がなければ仕方ないです。だからこそ全国のお父さんの収入をあげてほしいです。お父さんの収入が十分であればお母さんは子育てに専念できるのでお母さんは働かなくていいし、そして、お父さんが稼いでと思うと旦那さんを大事にできて、離婚率も下がると思うからです。そんな制度がほしいです。両親が働かないと生活ができない世の中にしてしまった国のやり方の代償はおおきいと思います。</p>
<p>児童手当をもう少し増やしてほしい。習い事など、近場の公的機関で、格安或いは無料で行ってほしい。</p>
<p>小学校、中学校、高校入学時の教材を揃えるための支援金。児童手当とは別。</p>
<p>身内の孤独死があり数日経過してました。単身や1人暮らしの方へプライバシーも守りつつ、いざという時に、安否確認のような早く気づけるような家族間、もしくはご近所でありたいと感じました。</p>
<p>制服や体操服など、学校で必要な物の支援をしていただきたいです。成長著しく、制服の補正、買い替えなどお金がかかります。</p>
<p>生活費不足補填金支援制度があると良い</p>
<p>値上げになってる費用 水道光熱費</p>

中学生以上になった方が、子供のために使うお金が非常に増える。進学に伴うお金、塾代、部活代、バス代、携帯代、お小遣いなど。そんなのいらないと思われるかもしれないが、子供には子供の世界があり、取り上げるわけにはいかないのが現状。多少親が無理をしてでも、子供のためにお金を使ってしまう。さらに、身体の成長に伴い、病院への受診も増えた。なぜ、児童手当は15歳までなのか。疑問でならない。お金がかかるのはそれからなのに。大学への進学を考えても不安でならない。せつかく夢をもってるのに、その夢のための大学へ行かせてあげられるのか分からなく不安だ。

中間層です 生活にゆとりはありません。いつも買い物をする時は子供、夫を優先し自分は最後です。当たり前だと思生活しています。ふるさと納税等で県や市にゆとりが出来たら高校生、大学生をもつ親世代へのサポートがほしいです。子供が小さい時は目は離せませんが大きなお金はそんなにかかりません。中、高校生がいるのですが食費に塾に部活動費に生活費、けして贅沢してませんが、子供が大学生になるとお金を借りないと生活出来ない気がしています。助けて下さい

朝食支援が学校であるといいなと思う。

夫への恐怖心があるため、生活費に関する相談ができない母親への相談支援

物資の値上がりが続いて家計が苦しくなっているため、1人10万給付金があってほしい。子供の物が買えるように児童手当の金額をあげてほしい。修学旅行代を少し援助してほしい。中学生の制服、体操着、カバン、スリッパなど無料にしてほしい。

両親がともに障害を持っている場合の、子どもも一緒に使える「外出支援」 現在の“障害福祉サービス”にある「外出支援」では、子どもを“福祉車輦”と一緒に乗せて外出することが出来ません。特に、子どものもの(洋服など)を買いに行く時に困っています。

- ・(等価世帯収入別) 中央値2分の1以上中央値未満×(世帯の状況別) その他・不明

介護手当

祖父が子育てをする場合の支援を増やしてほしい。親(父母)ではなくても様々な手続きができるようにしてもらいたい。

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) 母子世帯

業務上、ひとり親の貧困世帯とのつながりがあります。いつも思うのは貧困(生活困窮)世帯ほど、猫や動物(犬)などがいます。家にその動物のふんなどが散らかっており、仔猫(手術しないため)も多数います。その動物の避妊、去勢費用の援助はないでしょうか? 幼い児童がその家で生活していると、衛生環境としても大変悪く、一応指導はしているのですが、その意識が低い方も多く困っています。

特にありません。高等技能給付金の制度のお陰で看護師の免許をとれたので非常に助かりました。

・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) 父子世帯

ひとり親世帯だと学校の休日、昼食が必要な時に宅配の支援があれば良いなと思う(※子ども食堂だと、子ども達は恥ずかしくて行きたくないと言っていました) 父子家庭は、収入で条件を満たしてはいてなく、支援を受けられていない。せめて医療費助成等は収入関係なくあったらいいと思う(体調が悪くても無理をする事が多い)
収入だけで判別しない高校・大学等の就学支援制度
就学援助の制度がどのような制度なのかよく知りません。学用品補助だけではなく学校生活を送るために色々な物を援助する制度があるといいと思います。どんな制度があるのか知らない人多いのかなと思います。

・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) ふたり親世帯

・給食費の無料化 ・制服の無料化 ・副教材費の無料化
・高校生以下の子どもの通院に係る費用に対する無償化制度 ・幼児から高校生以下の子どもたちが地域の住民と交流を図れる機会の増設(地域主催の祭りやイベントへの助成)
・高校卒業迄の児童手当延長 ・高校卒業迄の医療費 350 円の延長 ・高校入学金の支援
・子育て世代で父親か母親が病気になった場合(入院などが必要な時)に利用できるサービスなどがあるとよいと思う。 ・不登校の子どもに対する支援を積極的にしてほしい。 ・児童手当はありがたいが、給食費の方にまわしてもらった方がいい気がする。 ・就学援助は申請制ではなく、色々な年齢の入学前の子どもに必ずあるとよいと思う。(年収が高い人はなしでもいいと思うが) 制服購入などで、かなり負担が大きいので、一セットは支給されるとか、かばん代はなしとか。今から子供はどんどん少なくなるし、みんなが産んで育てたいと思える、お金の心配なく産み育てられる世の中になってほしい。きちんと育てば立派な大人になりしっかり納税してくれるのだから。お年寄りばかりでなく子供(若い人)を大事にしてほしい。☆医療費のムダが多すぎる。宮崎市の子供無料はやりすぎ。1回 500 円くらいでもとってよいと思う。ムダな受診は控えるべき。
・子ども医療費の支援 ・制服等購入の支援 ・学用品購入の支援 ・通学費の支援
・子供手当の額は増やしてほしい。※色々な物が高騰してる中、子供にかかる養育費にもお金がかかる為 ・日南市の市県民税は高いと思います。
・支援の前に所得で何でも決めないでほしいです。多胎児・障害児が居て大変な家もあります。 ・発達障害の子供に対しての支援をどうにかしてほしいです。暴力的な子の一時的預かりなど、どこに相談にしても「行ける所には行かれたんですね」と言われたり、児相へ行っても何の解決にもならなかったりと、家族が追い詰められています。学校などでも、先生の判断(周りに状況など確認せず)でひどいことになった事もあります。

<p>・世帯収入が多い方になるため、高校の授業料が無償にならない。子供がたくさんいるので、支出も多い。収入が多いからといって裕福とは限らない。収入のほとんどを税金でとられるため手元にはほとんど残らない。一番損をする世帯だと思う。子供を産めというのなら、もっと助けてほしい!!4人も産んだのに高校も無料にならず、市民税も安くならず、税金を払うために働いているように思う。子供の数を増やしてほしいなら、高校、大学まで援助するべきだ!!</p> <p>・収入が少なくても、子供が少ない家庭の方が裕福な生活をしている。こんな状況は絶対おかしい。子供がいる方がお得だと思わせるような制度を作らなければ、子供は増えない。</p> <p>・小さい子供がいる家庭に補助をたくさん出す傾向があるが、一番お金がかかるのは中学・高校生以上だ!大学生なんてもっと大変。小さい子ばかりではなく、大きい子ももっと援助してほしい!!</p> <p>・非課税世帯ばかり、コロナになって補助しているが、税金をちゃんと払っている世帯をしっかり守ってほしい。コロナになって非課税世帯になった世帯なら理解できるが、もともと非課税世帯だった世帯にお金をくぼる理由がわからない。税金を払っている私達が援助されない理由もわからない。とにかく不公平!!子供が多い世帯を助けてほしい!!</p>
<p>・全世帯…非課税のところにも支給・給付をしてほしい。収入が高くて…1カ月1カ月の生活が出来ない</p> <p>・給食費を無料化してほしい</p> <p>・学校・学級で、いじめがあるのに…いじめてる側の意見を聞いて、いじめはない、勘違い、気にしすぎ等の判断はおかしい。現にある、「してる」からこそ…苦しんでる生徒がいるのに…</p>
<p>・部活動等の部費の援助(部によっては遠征など負担が大きい活動がある)</p> <p>・自転車通学者の為に補助金(自宅から国道まで坂道が続き、普通自転車ではかなり時間がかかる為、電動自転車を使用している)</p> <p>・制服等の購入補助(2着目半額など)、予備としてもおきたいが、高額な為、最低限だけとなっている。</p> <p>・学校毎の取り組みになるとと思いますが、卒業生等の制服、ジャージ等の回収、希望者への寄付</p>
<p>・町内に病後時保育があるといい。(もしくは日向市の病後時保育利用料金が安いといい)</p> <p>・児童クラブの利用時間が18時半~19時まで利用できると良かった(18時以降は別料金がかかるなどの項目があっても利用できるといい)</p>
<p>18才まで医療費無償化、高校(私立も県立も)無償化↓むりなら子供手当を高校生までにしてほしい。保育料無償化なら、小さいうちより大きくなるにつれて、入学用品代など高く金銭的負担が大きい。</p>
<p>27の制度にあてはまらない人にも支援してほしい。なぜ、1人親だけいろいろと制度が使えるのかわからない。大変なのはみんな同じ。18才まで医療費を補助してほしい。他県では18才までである。</p>
<p>3才からは保育料が無償化になったので、小、中、高も何かとお金がかかるので、もっと補助があってもいいと感じます。(医療費など…)</p>
<p>4年大学、短期大学の学費無償化。入学金はあっても良いと思うが、授業料は国公立大学…無償化、私立大学…学部によって変動(できれば無償化)</p>
<p>アンケートに答えながら、すべての子供たちが守られてほしいと思いました。</p>
<p>いくら収入があっても子どもが多いとそれなりに出費が多いです。しかも中学・高校と年齢が上がるにつれ出費がどんどん増加して行くので支援があると良い。高校卒業するまでは医療費の支援。子どもが4人以上いる家庭だと6人乗りの車が限られているので、大きな車を購入する資金の支援。子どもがもっと学習したいと思える環境を整えてほしい。</p>

<p>一時的な金銭的支援よりも学童を持つ親が失業等で収入を失った場合の就職活動支援など。また結婚の晩婚化が進むにつれ、子供の大学入学と親の定年時期が重なり、学費負担が大きくなりますので、地方自治体レベルではなく国が中心となり、支援を考えるべきなのではと感じております。少子化により子供たちは国家の宝です。国の将来を考えるのであれば超高齢化社会の老人に選挙の票かせぎのバラまきをするのではなく、税負担と子供達への還元をバランス良く考えなければ新興国以下に成り下がったこの日本国の将来は無いと考えております。</p>
<p>医療費支援（高校生まで）</p>
<p>医療費の無料化の年齢を上げてほしい</p>
<p>いろんな制度や支援がありますが、1人の年収ではなく、世帯年収で対象を決めてほしい。ときどき不公平を感じている。</p>
<p>お金貸してください。この2年間で収入がへり、借入が増えています。いずれ生活が破綻するだろうと思いつつも借りています。夫の手取り月多いときで10万程へりました。子供の習い事などやめればいいのかもかもしれませんが長年やってきたものを親の都合でやめさせるものもつらいです。</p>
<p>お節介お婆さん、お節介おじさん軍団の創設。あいさつから始めて、みんなあなたのことを見ているよというメッセージを伝え、異変に気づいたときに精神のゲートキーパーのように相談窓口へつなげる。または、昔の駄菓子屋ならぬおやつステーション。民業を圧迫しない程度に安い価格でお菓子配布。来てくれる子どもたちと会話の中で見守り。</p>
<p>海外留学やワーホリ支援</p>
<p>学費無償化（大学まで）</p>
<p>学校に行きたくても行けない子の為の支援。登校できない子に対し、学校からのサポートがなさすぎると感じています。学校は、行ける子（通える子）だけが学習できる場なんだと痛感しています。先生が忙しいのは重々承知していますが、職業や学習、進学についての指導が受けられず、子供の将来が心配です。”学校外に”ではなく”学校で”サポートしていただけないものでしょうか。学校に行けない子の中には、学校が好きな子もいます。</p>
<p>学校になじめない子が気軽に行けるフリースクールが近くにあるといい。</p>
<p>学校の制服を見直してほしい。成長期で中学生高校生特にサイズが変わる時期に高すぎる。ユニクロ等価格も低いもので制服考えてほしい。今の制服高すぎる。</p>

<p>義務教育期間（小1～中3）の制服等の購入金額の一部を支援していただく制度。〈すべての世帯対象〉 〈学力向上支援制度〉例えば…部活をしないリフレッシュ DAY や部活ができない日（週一回程度ある）のPM時限を、教師OBや、講師（学習塾、教員免許取得者）を教育委員会が採用し、各学校の教員に代わりに補備する制度。※学校教員の負担軽減になる。各教科をより深く学び理解できる様になり授業の遅れも減ると思われる。 〈競技力向上支援制度〉部活へ各市町村が、外部の方を採用し指導する制度も必要だと思うが、競技全体の底上げをするために県全体、市町村エリア県北、中、南エリア等で、専門委員を中心に合同練習や大会を実施するための制度。※予算の増額。大会を実施しやすい授業日程の作成、大会に伴う施設の優先利用。各競技のトップチームを招聘し学ぶ機会を作る。 〈海外研修支援制度〉他国の文化、歴史、生活を知る事で将来へ繋げる教育の一つ。各市町村レベルでは、姉妹都市へ数日間の旅程で行っているが、希望者のみになっている。希望ではなく、先生の判断、推薦で各学校（2年生の夏と冬）あたりに多くの学生を学ばせる。※費用が各家庭負担になっているから、消極的になるため制度化し、学生に見分を広めてもらう</p>
<p>義務教育期間の給食費や諸々の日用品の完全無料化。こども手当等の支給よりは給食費等を無料にしてほしい。</p>
<p>義務教育終了まで補助金（子ども手当以外）がほしい。給食費の補助（子供が多ければ多いほど負担） ・子供が増えるはずがない ・少子化対策を本当にしたいなら ・子育て世代に話を聞かないから、うわべだけの支援しかできていない。よろしく願い致します。</p>
<p>給食費が無料になってほしい。</p>
<p>給食費の無償化</p>
<p>給食費無償化</p>
<p>給付金等も、高校生までを対象にする事が多いが、実際、お金がかかるのは、赤ちゃんよりも上級学校に行っている子供だと思う。専門学校や、大学生にも有益になる税金の使い方をしてはどうだろうか？</p>
<p>共働家庭に対する支援。例えば、PTA活動や、学校での活動の免除 ※ほぼPTA加入が強制となっているため。また、参観日等の配慮など、金銭面でなく、時間等の配慮がいただけるような、支援、活動を期待します。</p>
<p>業務お疲れ様です。より良い福祉環境確立のため頑張ってください。よろしく願いします。</p>
<p>現在、子ども手当を頂いています。ただ、赤ちゃんから中学生まで充分助かりましたが、本当にお金がかかるのは、高校生になってからでした。例えば、高校までバス通（半月で7万円、町の補助約2万）、塾代（月7000円だったのが高校は1万3000円となった）。私の住む町は、高校から医療費が3割負担となる（中学までは無償）。高校の授業料、部活費用も高くなる。大学資金など貯めないといけなくなる。我が家は核家族なので、子供の都合で私はパートでしか働けませんでした。今、夫婦で働いて貯めたお金は、家のローンと子ども達の為にほぼ使ってしまったので、自分たちの老後資金を貯めることが出来ません。本当は、もっと子どもと一緒にいたいけど、それが出来なかった。子ども達が充分な親の愛情を感じているか自信がありません。こんな事を考えるのは、私だけではないはず…。もっと子育てしやすい日本にならないと、将来が心配です。</p>

<p>現在、幼保無償化になり、幼少期にお金がかかりませんが、その分、子育てにお金をかけているかという、親の満足、必要以上のものを欲する様にある。幼少期の教育が、その後に大きく影響し、更に、社会へ貢献できる人間を育てていけないといけないと思う。直接的に学習や、人間育成にかかわる支援に当てられる仕組みにしてほしい。ただただ親の満足になっている。私たち世代はパート代は全て保育料。小学・中学と塾代。高校も塾、部活、そして大学へ。現在2人。全ては慎ましく生活して工面しています。先々、社会の1員として役立つように。お金の使い方の工夫をしてほしい。</p>
<p>現在は高校無償化にもなったり、保育園や幼稚園についても無償化されているため、子育てに関する支援は充実していると感じます。個人的に働いて子育てしている身として思うのは、高校についても給食を実施してもらえるといいのとは常々思っています。</p>
<p>高校、専門学校、大学受験の受験料の支援。修学旅行の旅費の支援</p>
<p>高校・大学生にも手当（児童手当）のようなものがあるとよいと思う。高校は、学費は免除になっているが、その他にかかる費用がかなり多い。この先に不安を感じる。大学に行きたいと言われたとき、行きたい大学に行かせてあげる自信がない。</p>
<p>高校学費の無償化 収入があっても子育てには費用がかかるし、収入によって援助額に差があるのは、納得いかない部分もある。今はほとんどの子供が高校に行っている。学費くらいは平等でよいと思う。</p>
<p>高校からの経済的な支援制度の導入</p>
<p>高校生まで医療費の助成があると助かる。</p>
<p>高校生までの医療費援助</p>
<p>高校卒業までの学費、教材費、給食費などの無償化</p>
<p>高校入学に必要な支援（定期代など…）や、大学に行きたいとは子供に言われるけど、行かせることができるか不安です。</p>
<p>高校の授業料免除大学の授業料、生活費援助（奨学金は将来返済する本人の負担が大きい）</p>
<p>高校まで医療支援 学費支援</p>
<p>高校までの手当があると良いと思います</p>
<p>公的な学力支援・夜間の教室（放課後など）利用した塾、オンライン授業。</p>
<p>子育てに関して何も支援を受けてません。受ける必要もありません。親も、ただ子供を育てるために一生懸命仕事をして働いているのに、親の所得ですべての子供に平等に子育て給付金は与えられませんでした。（岸田内閣）少子化の今、子供を大切にしなければならないと思います。私たちも今は、両親共働きで元気に過ごせているが、いつ事故にあったり病気になったりするかわかりません。平等に与えられるものは、どんな家庭の子供でも差をつけないでほしいです。今は、使わなくても将来のために役立てることができます。私自身、親の所得の都合で将来の進学とかいろいろ妥協したところがあります。そのようなことが自分の子供にはないよう仕事をしています。県の方に言ってもどうもできないと思いますが、子供1人1人を平等に扱ってほしいです。</p>

<p>子育てをしていく中で、様々な支援があるのは本当にありがたいことだと思います。また、ありがたいことに、病気になったときの治療費の補助なども、とても助かっています。（我が子は2人とも定期的に病院に通っているため。）ただ、子どもが病気で休む、学校関係の行事のため仕事を休むなど、仕事との両立はやはり大変だと感じる。現在はパートで時間にゆとりができたが、本当はフルで働きたい気持ちもあります。病後児保育、子育てサポーターなど、頼れるところはありますが、親として、心理的な部分で、自分で看病してあげたい気持ち強いのが本音です。共働きがあたりまえの時代ですが、親のどちらかが時間に余裕のある生活ができることが、本当は子育てには大切だなと思います。具体的でなくすみません。</p>
<p>子どもが多い家庭の給食費の減額。学校のPTA会費や学級費を含めると、小中で3人行っていて毎月2万円以上かかるため負担になる。</p>
<p>子供が高校に行くまで、中～高、部活でもお金がすごくかかります。応援したいし、力を入れてたくても収入が中間位の人だと支援もなく進学するにも、選択する道が少なくなります。こうやってアンケートをとるなら、ちゃんと何かにつながるようにして欲しいです。</p>
<p>子供が小さいうち保育園、幼稚園のときだけでなく、むしろ、中学、高校、大学となるにつれ、支出も大きくなると思う。その点支援してもらえると進学もスムーズに決めていけると思う。医療費についても高校生まで支援してもらえるといいと思う。1人親世帯に対する支援ばかりが手厚く思う。1人親になるにもそれぞれ理由があり、2人親でも決して余裕があるわけではないので見直ししてほしい。</p>
<p>子どもが小さい時に預かってくれる制度（短時間）子どもが学校に行きたくなくなった時に子供の心理他みてもらえるカウンセリング、待たずに心配な時に対応してもらえる様などところがあるといいかと思えます。スクールカウンセリングにつながるまで、学校を通しての申し込みや待ち時間がかかるため。</p>
<p>子どもたちが学校以外で集まれる居場所</p>
<p>子供達の未来を自ら選択するため、高校・大学などの費用無償にするなどの支援県外へ進学する際に寮やアパートなど借用する費用の支援。子育てに関する医療費用を扶養（大学まで）している間無料とする支援</p>
<p>子どもの支援に関しては所得制限を廃止してほしい。頑張っている親が報われない。私立高校を選択肢から外さざるを得ないのは不平等だ。</p>
<p>子どもの支援は平等にしてほしい</p>
<p>子どもの人数に合わせた手当て。3人目から増額等。3人目大学無料。</p>
<p>困っている人が自分から相談するのはハードルが高い。市や県が、児童手当などの情報から積極的に働きかけるべきだと思う。支援や相談窓口の存在すら知らない人が多い。自分たちから持ちかけないと支援してくれない。そして支援や決定までに時間がかかりすぎる。TVCMや学校などを通じて、積極的にこういう支援がありますということをアピールするべきだと思う。</p>
<p>コロナ禍で支給された現金支給（子ども一人に10万円）のような制度があると助かる。（子育て世帯に対して）年の差が離れた子供でも適用されるような保育料の減免制度（特に0～2歳時）</p>
<p>コロナの様な場合は、市民全員への同じ援助が必要</p>

<p>今回の対象の子供ではないが、中2の妹が難病指定のクローン病で、食事（食べ物）に制限があります。給食のメニュー（脂質が高いのがダメです）で食べれない日はお弁当を持たせませす。お弁当の日の分は、給食費の請求はなく助かっていますが、食費の方はかかります。少しでも何か補助等があるといいなと思います。クローン病は小中学生にはあまりいないのかなと思います…医療費はかからないので非常に助かっています。</p>
<p>最近、ひとり親や非課税対象の支援が目立ちます。我が家は対象外なので、全く受けられませんが、子どもは4人、高・中・小と大変なのは同じです。収入じゃなく、子どもの人数でも対象になるといいです。私立の高校（看護）に行きたい我が子は、年収等でまともな月の授業料になります…みんなが幸せに過ごせる事が1番です。</p>
<p>昨今の値上げラッシュに対策として手当てが欲しい（電気、ガス、水道、ガソリン、食料品 etc.）</p>
<p>支援制度は大変充実していると思います。</p>
<p>支援の話ではありませんが、お金があっても、衣服が買えても、子どもが笑顔で学校へ行けないと何も幸せではありません。いじめがなくなりますように。</p>
<p>支援も必要な制度であると思います。しかし、現在妻が、子供の為（小、中、高でそれぞれの部活、習い事の送り迎え…他）に仕事を退職することになり、世帯収入が減少した為、経済的困窮とまではいかないものの、ちょっとした贅沢な事（イベント）の回数は明らかに減りました。子供を育てることはお金が掛かります。せめて所得控除をもう少し多くしてもらえると子供の教育にお金をかけることが出来るのではないかと思うところです。</p>
<p>児童館のような放課後預けられる施設の充実 時間の延長能力はあるのに経済的理由により進学ができなかったり、選択肢が狭まることなくような支援（奨学金制度があるが、子ども自身への負担が大きいから親としてはススメたくない。） 様々な免許取得に対する経済支援</p>
<p>児童手当にとっても助けられていますが、子供が高校生になると支給されなくなります。（子供医療費の助成も） 高校に進学した場合、今まで同様、支給してもらえると助かります。</p>
<p>児童手当の所得制限撤廃！！もしくは世帯収入での所得制限に！！</p>
<p>児童手当や高校授業料など、年収によって減らされたり、対象から外されるのは困るし、腹が立つ!! ほとんどの人が対象で受け取っている物を、同じくらい子育てを頑張って大変な思いをしているのに、制限をかけられてもらえない!! ギリギリでオーバーしていると、支出の方が負担になり、ギリギリで対象内の人より負担が大きい。高校を選ぶのにも、私立では授業料全額支払うため、とてもではないが行かせられず、選べないので子供の選択肢を減らしてしまい申し訳なく思ってしまう。3人分!! 支援を必要としない人などは良いと思うが、子育て中にあれば助かる（他の人はもらっている支援金）支援は、きちんと受けてほしい!! 税金はちゃんと支払っているのだから、子供のために使うお金はください!! 高校の授業料を人より倍払って、その分制服はお下がりをお願いしたり、習い事を制限させているのが現状です!!</p>
<p>児童手当や病院にかかるお金など高校生くらいまではあってほしい</p>
<p>児童手当をさらに充実させてほしいです。（金額・期間等）</p>
<p>児童手当をなくし、給食費として支給（学校納入）してほしいと思った</p>
<p>児童手当を増やしてほしい（高校生への手当ての支援等）</p>

自分ではありませんが、仕事等で見るひとり親家庭には、気軽なかつ多様で身近な相談先がもっとあればよいかもしれないと思います（小学校の窓口の仕事上思ったことです）
就学援助を受けてる家庭の給食費だけ援助するのでなく、小学生－中学生は全体で給食費無償化や全体で半額負担とかにしてほしい。
就学支援金について、世帯収入によって受けられる金額が違うのはおかしい
就職したいけど出来ない場合（精神的等）の一定期間の支援（子どもの自立支援）
収入に対してではなく、子供に平等に支援があればいいと思う。母子家庭の方、父子家庭の方の方が子供に習い事をよくさせていたり、たくさん支援があるが、共働きでもコロナで収入が減ったりして苦しんでいる人達は、前年度の収入に対しての支援なので、あてはまらず周りに苦しんでいる人がいる。今が一番大変なのに、子供に対しても苦しい思いなどをさせて悩んでいる人がいるので、もっと声をあげられない人やギリギリ支援が受けられない人たちに対して、福祉が対応してほしいです。
出身高校が宮崎県内であった場合に、宮崎県内の専門学校や大学へ進学の場合、補助金が出る制度
小・中学校の給食無料化
所得制限有りの給付金はやめてほしい。収入があっても生活が楽なわけではない。何の為に税金の支払いをしているか解らない。特に子供に関する支給は平等であるべき。
私立高校学費支援など、子供達が学ぶ場所、事、物、全て！
私立高校の学費の支援の年収が 590 万円以下が安いけど、細かく設定してほしい！！300 万～400 万いくら、400 万～500 万いくら、500 万～600 万いくら、600 万～700 万いくら。5000 円ずつくらい差をつけて支援してほしい。あまりにも学費に差がありすぎて困る。
私立高校無償化といっているが、共働きの多いこの時代はずれる家庭が多いと思います。もう少し幅を広げてほしい。共働きの理由は何なのかも含めて、見なおしていただけるといいのではないだろうか。
すべて税金なんだから有効に使ってほしい。所得制限するのはおかしい。給食費の無料化等、平等にしてほしい。生活保護をもらいながらパチンコしている人達の為に働いて税金収めているわけではないのだから！公務員の備品等無駄使い、無駄な経費が多すぎる。見直すべきでは？この紙代、郵送代も無駄。入力者の人件費も。アンケートをとったならちゃんといかしてほしい。アンケートの結果はこうでしたでおわらせないでほしい。アンケートとっただけで満足するな。
すべての学生に平等に学習の支援 学校以外の無料で学習出来る場所、講師の提供 学校だけでは理解出来ない子の為に。塾だと高額な月謝がかかるから…宮崎市内だけではなく町や村などに。
生活のためにフルタイム、正社員で働きたいが、小さな子供もいるために 8～17 時以外の仕事を探すことはできない。児童館も 8：00～で仕事に間に合わない。病気になったら休まなくてはならない。子供に満足に学校（専門学校、大学）に行かせるためにも、学童の時間を長くしてほしいです。高校などの情報もたくさん欲しいです。仕事の選ぶキッカケを子供に与えてほしいです。コロナで友達との交流もなくなったので、子供が無料であつまる場所もほしいです。

生活保護について 医療費無料は、生活保護支給額以下の年金受給者と比較しても優遇されすぎていて、改善が必要と思う。国の医療費財政圧迫に大きな要因ではないでしょうか？ここに書く内容ではないと思いますが…。
成人まで医療費を助成してほしい
制度があっても、利用までに至らない人がいる。(制度を知らない、SOS が出せない人など) 〈必要なもの〉そのような人に情報が届くような方法 SOS が出せるように、小さい頃からの教育や親の関わり方(自分の状況を理解する力、困った時は助けを求めていいんだよ、という考え方) 相談したが、残念な結果だった(否定された、怒られた、差別された)ということがないように、市民の意識改革、教育。
制度そのものは十分だと思います。逆に、この制度を不正に利用している人が本当にたくさん居ることに怒りを覚えます。籍は抜いていながら一緒に暮らし母子手当を受給したり、生保を受給しながら一般の人よりぜいたくをしたり、「ただやかい、食わないよ」「ジツとしちよって金が入るかい、買っちゃるわ」とか、パートさんでも、あんまりシフト入れないでくださいねえ、はみ出ると手当が減っちゃうから、と人手不足でも出勤してくれないなど。もっと審査や中途調査など、厳しくしてほしいと思います!!
制度や支援があっても所得制限で受けられないことがある。所得制限がない子育て支援、給付金があってほしい
制服や体育着等、学校で必要な物(特に衣類)の現物支給が出来るような支援があるとよいと思います。
制服や体操服が小さくなった時に大きいものを譲り受けられる様なバザー的な支援
世帯収入が一定以上あるともらえないものが多い。収入が多いからと言っても大変な事には変わりはないし、子供に関する事は、子供には平等に支援してほしい。一定の所得制限を無くしてほしい。子供達全員に平等な支援が欲しい。
世帯収入に関係なく子どもに対して支援があるべきと思います
相談窓口などなかなかする(勇気など)人がいないと思います。私の地区でも、毎日9時ごろ学校へ登校する子や、あきらかに様子がおかしい子などいます。地区などで小、中、高校などを見回ったり様子をうかがったり、話しをしたり、そういった団体?班?を作ったらいいのかな? またそこから困った人に話を聞き、色々な(どの様な支援があったらいいのか)を聞いていった方がよいのかと…
それぞれの支援の内容がわからないので、答えられない。この質問は支援の内容を示さず、かなり不親切な質問である。紙に書いてある支援の内容も漠然とした書き方であり、答えにくい。
大学学費の無償化
大学生や元教師の高齢者などが勉強を教える寺子屋的な場所(公民館や地域センター活用)
大学生を持つ親としての支援をしていただきたい
大学にかかる費用の援助
大学返還不要の奨学金

<p>大学まで授業料無償化になると、本当に勉強したい子たちが大学にもっと入りやすくなる。経済的な理由で、大学に行かせる余裕がないが、そのような制度や何か別な制度で近いものがあるとよいと思う。</p>
<p>大学まで費用の無償化</p>
<p>大学無償化</p>
<p>大学無償化制度（世帯所得に関係なく）</p>
<p>多子世帯手当</p>
<p>だれでも希望する高校、大学に行ける就学援助をしてほしいです。大学進学時は、学費以外の生活費がかかるので、生活費も援助していただくと、もっと進学できる子が増えると感じました。キャリアプランなど、仕事を意識した教育制度を拡充してほしい。社会人として自立できなければ、次の要支援者が生まれるだけ。大人がしっかり大人になれる社会を。</p>
<p>地域に子ども食堂があるといいなと思います。学校にはごはんを食べずに登校する子もいます。でも、親が自立して、子どもにごはんを食べさせてあげられるような仕組みが必要かなと思います。むずかしいです…。</p>
<p>中学、高校入学時の支援金→とてもお金がかかるため。それ以上の進学にもお金がかかるため、可能なかぎりの支援。</p>
<p>中学 2 年対象の調査なので、どうしてないのかと思いましたが、中学生や高校生の割引制度（官民のサービス等）がないのでは良いと思います。※親子で利用の場合 ex、親子で旅行や食事したときの中高校生割引等父子、母子家庭、父母以外の親族と生活している子どもを対象としたヘルパー、食事提供サービスの補助があると良いと思います。ヤングケアラーの防止のため、障がい者の親が子育て（特に、子どもの通院）で利用できる福祉タクシー補助があると良いと思います。不登校児のためのオンライン学習支援があると良いと思います。視聴して確認問題をすれば出席扱いとするような…</p>
<p>中学校までは、全世帯に就学援助があってもいいのではないかなと思う。中学校は、制服代もけっこう出費になるし、体も大きくなるので買い替えも必要になる。</p>
<p>定期的に食材が届くシステム？</p>
<p>転職先で職場の人間関係で適応障害になり退職しました。その人が怖くて辞めると言うことができず心を壊しました。家族に迷惑をかけたくないと家族に相談もできませんでした。（家族に話したら、すぐに辞めなさいと言われ病院へ行き、辞めることができました。）パッと見は苦しんでいないように見えて、実は苦しんでいる人はいると思います。〇〇テレフォンサービス等ありますが、敷居が高いです。本人が特定されずに、困り事をアンケート形式で答えていて、どのような支援があるかを教えてくれるサイトがあって、その支援の具体的内容を知ることができれば、1 歩踏み出す勇気が出ると思います。苦しんでいる人は、多分、人とのコミュニケーションを避けがちになります。支援を受けるための支援が必要なんじゃないかなと思います。プライドとかよりも、自分がそれに該当するのか不安で、ただ怖かった。電話口で否定されたらどうしようと身構えてしまう。まずはコミュニケーションなしで解決策を知れたら、相談する勇気が出る人もいると思います。</p>

<p>問 27 の制度があることを知らない、知ることができない人が意外にいると思う。制度の認知度を上げることが大事だと思う。親に頼ることができない子供達は、無知であるために、親切にしてくれそうな悪人に関わりをもつことになる。相談できるところがここにあるよと誰もがわかるような、明るい雰囲気のお店を設けたり、SNS から発信していく。若者からの意見をまとめて対策してみる。苦しい、つらいという声をきいてくれる場所作りをお願いします。</p>
<p>問 27 の制度を中学生までに知っておく。もしくは、困った時にどこへ相談に行けばよいのか知っておく。</p>
<p>特になし。制度の制定より減税の方が助かる。</p>
<p>働く事へのモチベーションをあげる教育。宮崎県民は楽をする、頑張らない、向上心がない人達が多すぎると思う。支援ではなく支援せずともみなが向上心希望を持てる社会づくりに目を向けてほしい</p>
<p>発達障害（昔でいうアスペルガー）も使える制度がほしい（IQ で切られる）。↑今回の調査の主旨とずれると思いますが…。 日常生活用具給付の幅を広げてほしい。生活が苦しくなってくるとこういうところをけずることになりそうです。</p>
<p>ひとり親世帯ではないけど、子供が 4 人いて、子供の進路への費用や支援や説明を受けることができれば、早い段階で進路への道すじが分かると思う。経済的なことを考えて、どの進路なら進ませてあげられるか知りたい。</p>
<p>一人親世帯や非課税世帯への援助ばかりで、共働き世帯でも苦しい状況にある世帯が多いことを行政はもっと知るべきであると思う。</p>
<p>ひとり親世帯ばかりではなく、両親そろっている家庭にもいろいろな制度があると良いと思う。両親そろって働いていても生活が大変な時はあるし、子どもを育てるのにお金がかかる事は変わりはないと思う。ひとり親世帯の人たちの中でも、いろいろな制度を利用して、コロナ対策でのお金をもらっていて不公平な気がする。</p>
<p>ひとり親の方ばかりが支援されてる世の中になっているように思えます。ひとり親になった理由もさまざまでしょう。ですが、頑張ってる人ばかりが税金を支払って、困ったときには非課税ではないから対象にならない。そんな話がたくさんです。そこから平等な世の中を作っていくってほしいです。非課税がいいから児童扶養手当のために仕事時間を減らして、働かない。おかしいと思います。もっと頑張ってる人にも目を向けるべきだと思います。離婚しても自立して働くことの大切さを知ってほしいです。</p>
<p>病気や精神的な原因で家事等出来ない時に支援出来る制度があればと思います。経済的に余裕がある人は、お手伝い等雇えると思いますが、ない方は子どもが代わってしたり、子どもがいない人はほったらかしだったりなのかなど。（ヤングケアラーはもちろんですが、そうでない人（子どもがいない人）も助けてあげられるといいなと思います）長期でなくても 1 週間程の短期から、支援出来たらいいです。あと、中学の部活についてですが、現在の部活はどの活動においてもユニフォーム代等における金銭的負担が大きく、経済的弱者は入りたくても入りにくいものとなっている気がします。もちろん勉強が大事ではあるのですが、そのような子どもは、ずっと体育的文化的な活動がやりたくても、学びたくても出来ないのかなど考えたりしています。中学のクラブ活動もなくなり、学ぶ機会が減ってしまったのも気になります。せっかく学校という平等に学べる場があるので、やりたい子どもは参加出来るような支援はないかと思います。</p>

<p>病後児保育の充実 預け入れの人数が少なすぎる。</p>
<p>貧困世帯への貸付制度（低金利、用途自由）※経験上、貧困は連鎖する傾向があり、貧困がその子供の学力低下に多少なりとも繋がっているように思う。本当に困っている世帯へ支援する制度を設ける必要性を感じるものの具体案が…</p>
<p>ファミサポのように、低額での家事援助支援。低所得層やひとり親家庭はもちろんだが、一般家庭の親も、仕事や介護、兄弟姉妹の世話や用事等で忙しく、日々の生活に追われている。親に家事援助があれば、家事に費やす時間が短縮され、我が子に関われる時間が増やせると思う。</p>
<p>部活の送迎 送迎の負担があり、部活に入るのを辞めてしまう子供がいる事を理解してほしい。中学校の部活で学ぶ事は沢山あるが、一部の熱心な保護者の存在で、送迎できない事を（月に何度も練習の時も見に行かないといけない雰囲気）、自分のせいにはしないでほしい。強いチームを目指してテスト前もコロナの時も、特例をもらって、練習させないでほしい。「〇〇部は特別だから」という話を聞くとうんざりします。結果の出ない部活でも、とても素晴らしい子供達・保護者が沢山いらっしゃいます。もっと、子供達が自由に好きな部活を選び、続ける事が出来る学生生活になってほしいです。親が沢山のお金や手をかける事をしなくても、子供達はもっと自発的に行動して結果を出せると思います。</p>
<p>双子だったので、必要なお金は、いつも2倍でした。一度に買うものも多いので支援があると良かったです。小さい頃病気をよくしていたのでなかなか働くことができなかったのも子どもが悪い時の有休・病後児保育がたくさんあると良い。</p>
<p>物価高により支出が増えています。育ち盛りの子供たちがいるので食料の購入を減らすわけにはいかないです。そういう実情に対する現実的な、直接的な支援があるとよいと思います。</p>
<p>不登校の子どもを教える保護者が気軽に相談できる窓口があると良い。不登校の子ども達が学べる場がもっと充実していると良いと思います。</p>
<p>保護者票と中学生票を同時（同じ所）に送付する仕組みは大丈夫でしょうか？ 提出用封筒を別にしたとしても、中学生票に本音を記入できない子どももいると思います。書きたくても書けない子ども側に立って、実施していただけたらと思います。（そのような家庭へは送付していないのなら問題はありませんが。）</p>
<p>補助や手当を支給する様な支援制度は、逆に利用する者が発生する。何故生活が苦しいかと云うと、共働きをしたくても子供の病気・クラブ活動・塾・送迎等で短時間収入しか得られないから。老人ホーム施設開放預かり+こども食堂など、親が働く時間を取れる制度があると良い。働かない（働けるのに働かない）家庭まで恩恵を受ける制度は見直すべき</p>

<p>まず、支援として、現金支給を止めた方がよい。結果的に保護者が使い、貧困の子供たちへは何も役立たず、生活状況としては外食や親のギャンブル、仕事をしない等の悪循環でしかない。その為にも、小、中、高と義務教育とし、昼の給食費の支援、学費の支援を行い、全ての子供達が平等に学習を受けられ、昼食だけでも食育を受けられる様にした方が良い。その際は、各家庭に現金支給せず、県、市町村より学校へ直接支給という形が望ましい。旅行支援等不要だと思う。現に私は看護師、夫は運輸関係で、コロナ禍仕事も休めず他スタッフが感染し、休んでしまっても毎日奮闘して働いてきました。収入は持続していますが、むしろ頑張ってきた人へのご褒美があってもよいくらいだと思いますが、子供の為に働くのは当たり前です。支援に頼ろうとする親に支給するのではなく、子供たちが直接受け取れる方法を検討して下さい。コロナで受け取った保険金で潤っているのは働かない親だけです。ネット買い物で使い、子供たちの欲しいものは買ってもらえません。どうか、この声が届きますように。</p>
<p>民事救済措置 宮崎市すべての住民に対して、借金などの理由で困窮した世帯（個人）に対し、無条件で（状況に応じて）20～30万円の貸出をする。1度限りで。返済の期間は（2年、3年）以内。言う事を聞かない人は差し押さえ等を実施する。←この時点で助けていますので、助けようが無い。逃げられないよう県とも連携して情報を掴む。返さない人には懲罰刑。状況が良くなる世帯（個人）が出て来るかもです。無利子（税金なので）月5000～月1万の返済条件保証人は、身内も可。</p>
<p>無料で通える学習塾部活動で使う道具等のリサイクル？（制服のリサイクルみたいな）の普及。学校指定のもの（制服、体操服、くつ）などの値下げ、又は廃止。制服→特になくてもよいと思う。3年間しか使わないのにとっても高い。いらないと思う。（着ない、使わない自由もありで）子育てにお金がかかりすぎる。中学、高校がお金のかけ時だとも思うけど、「経済格差＝学力格差」は確かに存在する。少しでも子どもにチャンスを与えてあげられるように無駄なものは思いきってなくしてもよいのでは？！ 制服、髪型などのしぼりをなくせば生活指導にかかる先生の時間を授業にも使ってもらえると思う。誰もが子育てしやすい宮崎県にしてください。よろしく願います。</p>
<p>一人の収入で制度対象外とするのではなく、家族全体の収入に対して、扶養家族が何人いるか、学費がどの程度かかっているかなど、考慮してほしい。高校の補助も、主人の単身赴任手当等が去年は出たので今年を対象外となったが、実質、大学生・高校生・中学生・幼児の家族構成および単身赴任で二世帯分の光熱費、移動旅費などがかかり、出費は増えている。共働きで、二人分の収入の方が明らかに多いのに高校の補助もでて、羨ましいと思ってしまう。</p>
<p>義務教育が終わった後、高校生としても学生であることには変わりなく、出費はかさむ一方なので、医療費などある程度の支援があってもいいと思う。</p>
<p>義務教育期間を含め、出産から中学卒業までの教育・生活に関するものへの無料化。また、生活困窮者への補助。できれば、高校の無料化。</p>
<p>給食費支援</p>
<p>給食費無償化 高校授業料完全無償化（所得制限引き上げ） 双生児世帯への支援</p>
<p>教養等の直接的な生活にかかわる以外の知的生産性を高めさせる。モラル教育など。</p>
<p>極端ですが、育てられない経済状況、能力的に育てられない人には産児制限をしてほしいと思います。中絶して命が失われることより、産まれてきて辛い状況で生きなければならないほうがよほど残酷だと思います。</p>

県内の学習環境改善のために学習支援制度があってほしい。
現金をそのまま渡す支援ではなく、資金使途が決まっている援助などがよいと思う。学生服や給食費、教材費等。
高校まで医療費支援 インフルエンザワクチンの無料化
高校まで医療費負担の控除
高校給食制度
高校生以下医療費無料、高校生以下学費無料
子どもがいる家庭には収入に応じて補助をした方がよい
子どもに軽度の発達障がいがある。学校の先生には良くしていただいているが、発達障がいに起因するこまり感（朝、起きれない、忘れ物多い、しかられることが苦手等）を理解してもらうことは困難に感じている。理解してもらうことが一番の支援になると思うが、そこが一番難しく感じる。
子どもに障害がある子がいる場合など、パートの短時間の就職先を斡旋するシステムがあればよい。
子供三人のいる家庭の学費、養育費の援助が増えてほしい。ガソリン代の補助が欲しいです。
児童手当につきまして、同じ税金を払っている、寧ろ多く払っている世帯に対して所得制限を設ける事に納得出来ません。先般の R3.12 月に給付した臨時特別給付金につきましても、もらえる子供とももらえない子供を差別する事は個人的には許せません。制度・支援を考える前に、子供を差別する事は有ってはならないと考えます。差別の根底が無くならない限り、子供が本当に平等でない限り、正直支援の拡充は無意味だと考えます。これから社会に進出する子供は海外で暮らす事、福利厚生が手厚い国への移住が増えていくと思います。
児童手当を所得で制限すべきではないと思う。子供は平等であるべき
自動車税軽減制度や所得税軽減制度、今まで以上の固定資産税軽減制度など。やはり税金を払う額を減らせる制度があると良いと思う。ただ、コロナ禍での飲食店ばら撒きのような特定の人だけが貰えるような制度ではなく、全員が平等に受けれる制度が必要だと思う。少子高齢化のために、税収を増やしたいのはもちろん分かるが、今の若い人たちこそ税金を払いたくない意識は強いと思う。自分達の世代は、今までの先人たちも皆んな払ってきたから～といった流れでずるずる払うと思うが、今の若い人たちにはその理屈は通用せず、ただの損得勘定で動くと思う。
収入制限なく、子供の教育に使えるしえんがあるといい。
習い事支援
住んでいる市町村以外の所に就学する場合の通学費や学費の支援
所得制限なしの私立高校在学手当。
所得制限のない一律の子ども手当。何事にも所得制限がつき子供の権利、人権を奪われるこの国には絶望しかないし、行政など全く信用、信頼しない。価値なし。
所得制限を設けずに一律の支援をしてほしい。所得が上がってもその分税金が増え、国からの補助金等は貰えなくなるので、結果生活は苦しくなります。

<p>制度については何もありませんが、このアンケートのふりがなが漢字の横にあるので、とても読みにくかったです。</p>
<p>制度も支援も極端すぎる。両親揃って正社員であれば、ほとんどの制度には当てはまらない。うちのように三つ子の中学生を育ててる家庭は一度の支出が多い。それでも入学準備、修学旅行などなど支援は受けられない。課税世帯、非課税世帯の基準も意味も分からない。</p>
<p>多子世帯への援助を、「子供3人以上」と一区切りにするのではなく、「4人」「5人」など、もっと細かく援助・控除してほしい。単に収入だけで言えば世帯収入は高い方であっても、子供の人数が多いと低所得世帯とあまり変わらない場合もあるうえ、援助も受けられず、支出がギリギリのことがある。</p>
<p>大学の学費、生活費の支援</p>
<p>大学進学における、返済不要奨学金制度の拡充。</p>
<p>単身赴任者のいる世帯は二重に生活費がかかります。物価等も上がり支出だけが増えている状況です。うちのような形の世帯に向けた支援があるといいなと思います。</p>
<p>中高大の学費の無償化と未成年の医療費負担を減らす。</p>
<p>中山間部から高校に行く場合は、寮に入るか下宿が主になるのでその助成。</p>
<p>通学に係る費用への支援 通学に係る交通機関の整備 寮生活に係る費用への支援</p>
<p>特にありません。国の制度で満足しています。</p>
<p>日之影町は小中学校に通級がありません。困り感のある生徒はいるのですが、少人数のため、開設にいたらないのかなと思います。できたら、いいなと思います。</p>
<p>発達障害やグレーゾーンの公的訓練や検査の拡充 発達障害やグレーゾーンの子供の県立高校でのサポート</p>
<p>非課税世帯ばかり給付の対象だが、自分たちも収入が減り、かなり厳しい。</p>
<p>病気で長期入院が必要になった場合の、残された家族へのサポート制度</p>
<p>貧困問題など、もっと行政が教育現場に踏み込んでほしい。どうしようもない状況にありながら、自ら助けを求める方法もしらず、知っても動けない、動かない人も多くいる。そんな家庭で犠牲になっている子どもに手を差し伸べるシステムを希望します。</p>
<p>不登校生の校外学習支援と費用補助（個人ですると、中学以外にもお金がかかることになるので）</p>
<p>未成年は、医療費無料。学費無料。</p>
<p>民間の動画学習を自宅で受講できる支援があるといいと思う。</p>
<p>無料の家事支援制度</p>

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) その他・不明

・児童扶養手当を中学までじゃなく、高校までに伸ばしてほしい(受け取れる期間)※高校に入っている方が、支出(学校部活等)が増え、生活がきつい。 ・学校への支出(給食費等)をもう少し県、市、国の方で支援してほしい。(3人子供がいる為、支出額が大きすぎる)

学童保育についての支援!!

- ・(等価世帯収入別) 不明×(世帯の状況別) 母子世帯

更年期や五十肩を発症し、精神的にも体力的にも限界を感じる事があった。仕事が出来ない状況が肉体的、体力的、精神的に休みたくても休めず、休めば誰かに迷惑がかかるし、行っても役にたたず、親としても行事的に365日休みがない。年に1度でも母親である事を忘れ、お金の事を忘れ、子供と旅行に行きたい。コロナ禍で卒業旅行にも行けず、家にも余裕がないので、思い出もつくれなかった。旅行支援があると良いと思う。市内でもかまわないので、育児や家事から開放されたい。

塾のような学べる所が安くであったらいいなと思う

- ・(等価世帯収入別) 不明×(世帯の状況別) ふたり親世帯

小・中学校で放課後に補習の受けれる支援と言えるかどうか分かりませんが、働いている親は学童を学校でしてほしいと思う人もいます。

未成年の医療費を安く。生理用品、マスク消毒等の配布

- ・(等価世帯収入別) 不明×(世帯の状況別) その他・不明

アンケートに回答している私の、この子との関係を図に示します。同居しているのは祖父母です。祖父母は共に障害をもっています。祖父は言葉がしゃべれず、祖母は統合失調症、母も統合失調症にて入院中。

3.2.2. 中学生票

問1 あなたの性別を教えてください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
男	905 46.6%	487 49.4%	286 42.2%	109 46.8%	757 46.7%	130 44.7%	107 42.5%
女	981 50.5%	477 48.4%	368 54.4%	112 48.1%	820 50.6%	148 50.9%	133 52.8%
その他・答えたくない	27 1.4%	9 0.9%	12 1.8%	6 2.6%	21 1.3%	6 2.1%	5 2.0%
無回答	31 1.6%	12 1.2%	11 1.6%	6 2.6%	24 1.5%	7 2.4%	7 2.8%

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
自分で勉強する	1,579 81.2%	805 81.7%	559 82.6%	178 76.4%	1,328 81.9%	226 77.7%	196 77.8%
塾で勉強する	531 27.3%	331 33.6%	162 23.9%	32 13.7%	458 28.2%	66 22.7%	60 23.8%
学校の補習を受ける	27 1.4%	10 1.0%	11 1.6%	6 2.6%	22 1.4%	3 1.0%	3 1.2%
家庭教師に教えてもらう	14 0.7%	12 1.2%	1 0.1%	0 0.0%	12 0.7%	1 0.3%	0 0.0%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	4 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.4%	1 0.1%	3 1.0%	3 1.2%
家の人に教えてもらう	404 20.8%	217 22.0%	136 20.1%	36 15.5%	353 21.8%	47 16.2%	42 16.7%
友達と勉強する	532 27.4%	255 25.9%	202 29.8%	67 28.8%	442 27.3%	85 29.2%	78 31.0%
その他	55 2.8%	27 2.7%	19 2.8%	6 2.6%	47 2.9%	7 2.4%	6 2.4%
学校の授業以外で勉強はしない	102 5.2%	36 3.7%	36 5.3%	24 10.3%	80 4.9%	20 6.9%	17 6.7%
無回答	27 1.4%	10 1.0%	10 1.5%	5 2.1%	22 1.4%	5 1.7%	4 1.6%

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

a) 学校がある日(月～金曜日)

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
まったくしない	73 3.8%	26 2.6%	25 3.7%	19 8.2%	54 3.3%	17 5.8%	15 6.0%
30分より少ない	251 12.9%	118 12.0%	91 13.4%	33 14.2%	208 12.8%	37 12.7%	32 12.7%
30分以上、1時間より少ない	580 29.8%	292 29.6%	202 29.8%	78 33.5%	481 29.7%	93 32.0%	77 30.6%
1時間以上、2時間より少ない	707 36.4%	366 37.2%	250 36.9%	70 30.0%	598 36.9%	102 35.1%	93 36.9%
2時間以上、3時間より少ない	243 12.5%	135 13.7%	82 12.1%	21 9.0%	208 12.8%	28 9.6%	23 9.1%
3時間以上	61 3.1%	36 3.7%	18 2.7%	6 2.6%	50 3.1%	8 2.7%	7 2.8%
無回答	29 1.5%	12 1.2%	9 1.3%	6 2.6%	23 1.4%	6 2.1%	5 2.0%

b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
まったくしない	155 8.0%	54 5.5%	56 8.3%	38 16.3%	112 6.9%	38 13.1%	35 13.9%
30分より少ない	266 13.7%	129 13.1%	90 13.3%	41 17.6%	221 13.6%	40 13.7%	35 13.9%
30分以上、1時間より少ない	433 22.3%	221 22.4%	153 22.6%	50 21.5%	352 21.7%	76 26.1%	66 26.2%
1時間以上、2時間より少ない	585 30.1%	297 30.2%	206 30.4%	65 27.9%	500 30.8%	77 26.5%	63 25.0%
2時間以上、3時間より少ない	319 16.4%	186 18.9%	105 15.5%	24 10.3%	279 17.2%	35 12.0%	31 12.3%
3時間以上	147 7.6%	80 8.1%	54 8.0%	9 3.9%	129 8.0%	15 5.2%	14 5.6%
無回答	39 2.0%	18 1.8%	13 1.9%	6 2.6%	29 1.8%	10 3.4%	8 3.2%

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上のほう	358	220	109	21	317	33	31
	18.4%	22.3%	16.1%	9.0%	19.5%	11.3%	12.3%
やや上のほう	431	244	146	32	386	44	39
	22.2%	24.8%	21.6%	13.7%	23.8%	15.1%	15.5%
まん中あたり	508	275	172	49	429	72	62
	26.1%	27.9%	25.4%	21.0%	26.4%	24.7%	24.6%
やや下のほう	248	113	91	37	200	45	38
	12.8%	11.5%	13.4%	15.9%	12.3%	15.5%	15.1%
下のほう	316	107	126	71	232	74	61
	16.3%	10.9%	18.6%	30.5%	14.3%	25.4%	24.2%
わからない	74	23	31	20	52	20	19
	3.8%	2.3%	4.6%	8.6%	3.2%	6.9%	7.5%
無回答	9	3	2	3	6	3	2
	0.5%	0.3%	0.3%	1.3%	0.4%	1.0%	0.8%

問5. あなたは学校にどのくらい通っていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
毎日（週5日）	1,835	944	640	207	1,553	254	221
	94.4%	95.8%	94.5%	88.8%	95.7%	87.3%	87.7%
週3～4日	49	20	16	10	32	17	14
	2.5%	2.0%	2.4%	4.3%	2.0%	5.8%	5.6%
週1～2日	17	4	7	5	11	4	2
	0.9%	0.4%	1.0%	2.1%	0.7%	1.4%	0.8%
ほとんど通っていない	38	14	12	11	23	14	13
	2.0%	1.4%	1.8%	4.7%	1.4%	4.8%	5.2%
無回答	5	3	2	0	3	2	2
	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.7%	0.8%

問5-2 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
いつもわかる	252 13.0%	163 16.5%	71 10.5%	14 6.0%	224 13.8%	23 7.9%	20 7.9%
だいたいわかる	781 40.2%	425 43.1%	261 38.6%	74 31.8%	667 41.1%	103 35.4%	91 36.1%
教科によってはわからないことがある	727 37.4%	322 32.7%	283 41.8%	102 43.8%	596 36.7%	121 41.6%	104 41.3%
わからないことが多い	120 6.2%	53 5.4%	42 6.2%	22 9.4%	92 5.7%	26 8.9%	22 8.7%
ほとんどわからない	58 3.0%	20 2.0%	19 2.8%	18 7.7%	40 2.5%	15 5.2%	13 5.2%
無回答	6 0.3%	2 0.2%	1 0.1%	3 1.3%	3 0.2%	3 1.0%	2 0.8%

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがありますようになりましたか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	905 100.0%	395 100.0%	344 100.0%	142 100.0%	728 100.0%	162 100.0%	139 100.0%
小学1・2年生のころ	30 3.3%	10 2.5%	14 4.1%	5 3.5%	28 3.8%	2 1.2%	2 1.4%
小学3・4年生のころ	56 6.2%	25 6.3%	18 5.2%	11 7.7%	41 5.6%	13 8.0%	9 6.5%
小学5・6年生のころ	166 18.3%	71 18.0%	68 19.8%	26 18.3%	132 18.1%	33 20.4%	28 20.1%
中学1年生のころ	438 48.4%	194 49.1%	162 47.1%	72 50.7%	348 47.8%	81 50.0%	70 50.4%
中学2年生になってから	209 23.1%	92 23.3%	80 23.3%	27 19.0%	175 24.0%	31 19.1%	29 20.9%
無回答	6 0.7%	3 0.8%	2 0.6%	1 0.7%	4 0.5%	2 1.2%	1 0.7%

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
中学卒業後は進学しない	3 0.2%	0 0.0%	2 0.3%	1 0.4%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
高校	893 45.9%	420 42.6%	321 47.4%	129 55.4%	735 45.3%	146 50.2%	127 50.4%
高校、専門学校	183 9.4%	79 8.0%	73 10.8%	25 10.7%	145 8.9%	34 11.7%	29 11.5%
5年制の高等専門学校	19 1.0%	13 1.3%	5 0.7%	1 0.4%	18 1.1%	1 0.3%	1 0.4%
高校、短大	46 2.4%	24 2.4%	17 2.5%	4 1.7%	39 2.4%	6 2.1%	5 2.0%
高校（または5年制の高等専門学校）、大学	439 22.6%	273 27.7%	130 19.2%	27 11.6%	391 24.1%	43 14.8%	39 15.5%
高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	74 3.8%	47 4.8%	24 3.5%	2 0.9%	69 4.3%	4 1.4%	4 1.6%
その他	9 0.5%	3 0.3%	3 0.4%	3 1.3%	7 0.4%	2 0.7%	1 0.4%
まだわからない	272 14.0%	123 12.5%	101 14.9%	39 16.7%	211 13.0%	53 18.2%	45 17.9%
無回答	6 0.3%	3 0.3%	1 0.1%	2 0.9%	4 0.2%	2 0.7%	1 0.4%

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,666 100.0%	859 100.0%	575 100.0%	192 100.0%	1,407 100.0%	236 100.0%	206 100.0%
希望する学校や職業があるから	968 58.1%	496 57.7%	336 58.4%	115 59.9%	812 57.7%	143 60.6%	125 60.7%
自分の成績から考えて	316 19.0%	167 19.4%	120 20.9%	25 13.0%	271 19.3%	40 16.9%	31 15.0%
親がそう言っているから	275 16.5%	163 19.0%	79 13.7%	27 14.1%	233 16.6%	37 15.7%	31 15.0%
兄・姉がそうしているから	159 9.5%	90 10.5%	52 9.0%	14 7.3%	139 9.9%	19 8.1%	17 8.3%
まわりの先輩や友だちがそうしているから	133 8.0%	73 8.5%	48 8.3%	11 5.7%	111 7.9%	20 8.5%	17 8.3%
経済的なことを考えて	134 8.0%	65 7.6%	53 9.2%	15 7.8%	117 8.3%	17 7.2%	14 6.8%
早く働く必要があるから	42 2.5%	13 1.5%	23 4.0%	5 2.6%	32 2.3%	9 3.8%	9 4.4%
その他	64 3.8%	32 3.7%	26 4.5%	4 2.1%	56 4.0%	6 2.5%	6 2.9%
とくに理由はない	230 13.8%	125 14.6%	69 12.0%	31 16.1%	195 13.9%	33 14.0%	29 14.1%
無回答	14 0.8%	7 0.8%	5 0.9%	0 0.0%	12 0.9%	1 0.4%	1 0.5%

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
参加している	1,656 85.2%	889 90.3%	565 83.5%	165 70.8%	1,417 87.4%	215 73.9%	188 74.6%
参加していない	284 14.6%	94 9.5%	110 16.2%	68 29.2%	201 12.4%	76 26.1%	64 25.4%
無回答	4 0.2%	2 0.2%	2 0.3%	0 0.0%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	284 100.0%	94 100.0%	110 100.0%	68 100.0%	201 100.0%	76 100.0%	64 100.0%
入りたいクラブ・部活動がないから	143 50.4%	57 60.6%	51 46.4%	28 41.2%	101 50.2%	40 52.6%	32 50.0%
塾や習い事が忙しいから	35 12.3%	12 12.8%	19 17.3%	3 4.4%	29 14.4%	6 7.9%	5 7.8%
費用がかかるから	33 11.6%	5 5.3%	12 10.9%	15 22.1%	19 9.5%	14 18.4%	11 17.2%
家の事情(家族の世話、家事など)があるから	25 8.8%	4 4.3%	10 9.1%	11 16.2%	16 8.0%	9 11.8%	9 14.1%
一緒にいる友だちがないから	17 6.0%	8 8.5%	4 3.6%	3 4.4%	12 6.0%	5 6.6%	5 7.8%
その他	94 33.1%	28 29.8%	36 32.7%	26 38.2%	68 33.8%	21 27.6%	20 31.3%
無回答	8 2.8%	3 3.2%	5 4.5%	0 0.0%	5 2.5%	3 3.9%	2 3.1%

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

a) 朝食

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
毎日食べる(週7日)	1,615 83.1%	853 86.6%	550 81.2%	170 73.0%	1,385 85.4%	204 70.1%	179 71.0%
週5~6日	182 9.4%	78 7.9%	73 10.8%	28 12.0%	139 8.6%	41 14.1%	37 14.7%
週3~4日	59 3.0%	22 2.2%	19 2.8%	16 6.9%	39 2.4%	18 6.2%	16 6.3%
週1~2日、ほとんど食べない	84 4.3%	29 2.9%	34 5.0%	19 8.2%	55 3.4%	28 9.6%	20 7.9%
無回答	4 0.2%	3 0.3%	1 0.1%	0 0.0%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

b) 夕食

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
毎日食べる（週7日）	1,899 97.7%	961 97.6%	666 98.4%	224 96.1%	1,590 98.0%	278 95.5%	241 95.6%
週5～6日	31 1.6%	17 1.7%	7 1.0%	6 2.6%	21 1.3%	10 3.4%	10 4.0%
週3～4日	4 0.2%	2 0.2%	2 0.3%	0 0.0%	3 0.2%	1 0.3%	0 0.0%
週1～2日、ほとんど食べない	5 0.3%	2 0.2%	1 0.1%	2 0.9%	4 0.2%	1 0.3%	0 0.0%
無回答	5 0.3%	3 0.3%	1 0.1%	1 0.4%	4 0.2%	1 0.3%	1 0.4%

c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
毎日食べる（週7日）	1,681 86.5%	873 88.6%	582 86.0%	184 79.0%	1,428 88.0%	226 77.7%	193 76.6%
週5～6日	173 8.9%	91 9.2%	53 7.8%	26 11.2%	132 8.1%	38 13.1%	34 13.5%
週3～4日	62 3.2%	14 1.4%	34 5.0%	10 4.3%	43 2.7%	19 6.5%	18 7.1%
週1～2日、ほとんど食べない	20 1.0%	4 0.4%	6 0.9%	10 4.3%	12 0.7%	7 2.4%	6 2.4%
無回答	8 0.4%	3 0.3%	2 0.3%	3 1.3%	7 0.4%	1 0.3%	1 0.4%

d) 土・日曜日・祝日の昼食

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
毎回食べる	1,767 90.9%	914 92.8%	610 90.1%	200 85.8%	1,497 92.3%	242 83.2%	208 82.5%
2回に1回くらい	138 7.1%	60 6.1%	54 8.0%	20 8.6%	103 6.4%	33 11.3%	30 11.9%
3回に1回くらい	21 1.1%	6 0.6%	9 1.3%	5 2.1%	13 0.8%	8 2.7%	7 2.8%
ほとんど食べない	17 0.9%	4 0.4%	4 0.6%	8 3.4%	8 0.5%	8 2.7%	7 2.8%
無回答	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%

問1 1-2 あなたは主に誰と食事をしていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
家族全員	1,437 73.9%	744 75.5%	493 72.8%	165 70.8%	1,221 75.3%	189 64.9%	165 65.5%
親	301 15.5%	146 14.8%	113 16.7%	34 14.6%	236 14.5%	64 22.0%	58 23.0%
きょうだい	93 4.8%	40 4.1%	35 5.2%	15 6.4%	80 4.9%	13 4.5%	12 4.8%
その他	33 1.7%	17 1.7%	10 1.5%	4 1.7%	24 1.5%	8 2.7%	5 2.0%
1人で食事をしている	68 3.5%	32 3.2%	22 3.2%	13 5.6%	51 3.1%	15 5.2%	10 4.0%
無回答	12 0.6%	6 0.6%	4 0.6%	2 0.9%	10 0.6%	2 0.7%	2 0.8%

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
そうである	657 33.8%	352 35.7%	219 32.3%	67 28.8%	563 34.7%	80 27.5%	69 27.4%
どちらかといえばそうである	985 50.7%	484 49.1%	352 52.0%	128 54.9%	815 50.2%	158 54.3%	136 54.0%
どちらかといえばそうではない	200 10.3%	109 11.1%	70 10.3%	17 7.3%	168 10.4%	29 10.0%	25 9.9%
そうではない	101 5.2%	39 4.0%	36 5.3%	21 9.0%	75 4.6%	24 8.2%	22 8.7%
無回答	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%

問13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
親	1,350 69.4%	687 69.7%	467 69.0%	158 67.8%	1,144 70.5%	184 63.2%	164 65.1%
きょうだい	441 22.7%	226 22.9%	148 21.9%	56 24.0%	388 23.9%	47 16.2%	41 16.3%
祖父母など	284 14.6%	147 14.9%	97 14.3%	34 14.6%	223 13.7%	55 18.9%	47 18.7%
学校の先生	500 25.7%	262 26.6%	167 24.7%	55 23.6%	434 26.8%	61 21.0%	54 21.4%
学校の友だち	1,319 67.8%	679 68.9%	464 68.5%	147 63.1%	1,113 68.6%	185 63.6%	159 63.1%
学校外の友だち	211 10.9%	110 11.2%	67 9.9%	30 12.9%	166 10.2%	41 14.1%	36 14.3%
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	51 2.6%	24 2.4%	18 2.7%	8 3.4%	38 2.3%	13 4.5%	11 4.4%
塾・習い事の先生、地域の人など	71 3.7%	40 4.1%	22 3.2%	8 3.4%	58 3.6%	13 4.5%	11 4.4%
ネットで知り合った人	72 3.7%	29 2.9%	29 4.3%	12 5.2%	60 3.7%	12 4.1%	9 3.6%
その他	38 2.0%	13 1.3%	18 2.7%	4 1.7%	24 1.5%	12 4.1%	11 4.4%
だれにも相談できない、相談したくない	150 7.7%	76 7.7%	49 7.2%	20 8.6%	122 7.5%	25 8.6%	22 8.7%
無回答	15 0.8%	9 0.9%	1 0.1%	5 2.1%	12 0.7%	3 1.0%	2 0.8%

問14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
0：まったく満足していない	18 0.9%	6 0.6%	7 1.0%	5 2.1%	14 0.9%	4 1.4%	4 1.6%
1	15 0.8%	9 0.9%	3 0.4%	3 1.3%	11 0.7%	3 1.0%	2 0.8%
2	29 1.5%	16 1.6%	10 1.5%	3 1.3%	25 1.5%	4 1.4%	4 1.6%
3	63 3.2%	26 2.6%	27 4.0%	8 3.4%	49 3.0%	12 4.1%	12 4.8%
4	103 5.3%	51 5.2%	29 4.3%	19 8.2%	81 5.0%	20 6.9%	19 7.5%
5	245 12.6%	114 11.6%	89 13.1%	35 15.0%	208 12.8%	33 11.3%	27 10.7%
6	134 6.9%	59 6.0%	57 8.4%	17 7.3%	110 6.8%	23 7.9%	20 7.9%
7	240 12.3%	133 13.5%	80 11.8%	17 7.3%	202 12.5%	36 12.4%	29 11.5%
8	388 20.0%	204 20.7%	130 19.2%	46 19.7%	326 20.1%	57 19.6%	50 19.8%
9	257 13.2%	136 13.8%	85 12.6%	30 12.9%	218 13.4%	35 12.0%	29 11.5%
10：十分に満足している	445 22.9%	229 23.2%	157 23.2%	48 20.6%	373 23.0%	62 21.3%	54 21.4%
無回答	7 0.4%	2 0.2%	3 0.4%	2 0.9%	5 0.3%	2 0.7%	2 0.8%

問15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	68 3.5%	32 3.2%	27 4.0%	8 3.4%	56 3.5%	11 3.8%	9 3.6%
まああてはまる	854 43.9%	427 43.4%	281 41.5%	121 51.9%	708 43.6%	132 45.4%	113 44.8%
あてはまる	1,015 52.2%	522 53.0%	366 54.1%	104 44.6%	852 52.5%	147 50.5%	130 51.6%
無回答	7 0.4%	4 0.4%	3 0.4%	0 0.0%	6 0.4%	1 0.3%	0 0.0%

b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,172 60.3%	621 63.0%	406 60.0%	120 51.5%	1,006 62.0%	148 50.9%	127 50.4%
まああてはまる	499 25.7%	235 23.9%	175 25.8%	72 30.9%	400 24.7%	92 31.6%	82 32.5%
あてはまる	267 13.7%	126 12.8%	93 13.7%	41 17.6%	211 13.0%	50 17.2%	43 17.1%
無回答	6 0.3%	3 0.3%	3 0.4%	0 0.0%	5 0.3%	1 0.3%	0 0.0%

c) 私は、他の人たちと、よく分け合う

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	506 26.0%	268 27.2%	173 25.6%	53 22.7%	427 26.3%	73 25.1%	61 24.2%
まああてはまる	892 45.9%	453 46.0%	297 43.9%	120 51.5%	735 45.3%	141 48.5%	125 49.6%
あてはまる	540 27.8%	262 26.6%	204 30.1%	59 25.3%	456 28.1%	75 25.8%	65 25.8%
無回答	6 0.3%	2 0.2%	3 0.4%	1 0.4%	4 0.2%	2 0.7%	1 0.4%

d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,506 77.5%	772 78.4%	537 79.3%	161 69.1%	1,271 78.4%	218 74.9%	189 75.0%
まああてはまる	311 16.0%	153 15.5%	95 14.0%	52 22.3%	250 15.4%	51 17.5%	42 16.7%
あてはまる	119 6.1%	57 5.8%	42 6.2%	19 8.2%	96 5.9%	19 6.5%	19 7.5%
無回答	8 0.4%	3 0.3%	3 0.4%	1 0.4%	5 0.3%	3 1.0%	2 0.8%

e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,070 55.0%	561 57.0%	356 52.6%	123 52.8%	902 55.6%	151 51.9%	129 51.2%
まああてはまる	582 29.9%	289 29.3%	216 31.9%	66 28.3%	481 29.7%	94 32.3%	80 31.7%
あてはまる	284 14.6%	131 13.3%	101 14.9%	44 18.9%	232 14.3%	45 15.5%	43 17.1%
無回答	8 0.4%	4 0.4%	4 0.6%	0 0.0%	7 0.4%	1 0.3%	0 0.0%

f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	202 10.4%	102 10.4%	70 10.3%	27 11.6%	166 10.2%	31 10.7%	28 11.1%
まああてはまる	1,098 56.5%	560 56.9%	385 56.9%	131 56.2%	926 57.1%	154 52.9%	132 52.4%
あてはまる	631 32.5%	318 32.3%	218 32.2%	71 30.5%	521 32.1%	102 35.1%	89 35.3%
無回答	13 0.7%	5 0.5%	4 0.6%	4 1.7%	9 0.6%	4 1.4%	3 1.2%

g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	105 5.4%	54 5.5%	35 5.2%	14 6.0%	86 5.3%	17 5.8%	13 5.2%
まああてはまる	162 8.3%	74 7.5%	51 7.5%	30 12.9%	125 7.7%	33 11.3%	30 11.9%
あてはまる	1,670 85.9%	855 86.8%	587 86.7%	188 80.7%	1,406 86.7%	239 82.1%	208 82.5%
無回答	7 0.4%	2 0.2%	4 0.6%	1 0.4%	5 0.3%	2 0.7%	1 0.4%

h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,178 60.6%	614 62.3%	404 59.7%	130 55.8%	980 60.4%	177 60.8%	153 60.7%
まああてはまる	512 26.3%	244 24.8%	187 27.6%	69 29.6%	430 26.5%	74 25.4%	65 25.8%
あてはまる	243 12.5%	122 12.4%	81 12.0%	33 14.2%	204 12.6%	37 12.7%	33 13.1%
無回答	11 0.6%	5 0.5%	5 0.7%	1 0.4%	8 0.5%	3 1.0%	1 0.4%

i) 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたいは好かれている。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	218 11.2%	90 9.1%	84 12.4%	37 15.9%	180 11.1%	34 11.7%	30 11.9%
まああてはまる	1,136 58.4%	579 58.8%	390 57.6%	137 58.8%	941 58.0%	177 60.8%	151 59.9%
あてはまる	577 29.7%	311 31.6%	198 29.2%	56 24.0%	491 30.3%	77 26.5%	70 27.8%
無回答	13 0.7%	5 0.5%	5 0.7%	3 1.3%	10 0.6%	3 1.0%	1 0.4%

j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	551 28.3%	295 29.9%	180 26.6%	63 27.0%	471 29.0%	69 23.7%	62 24.6%
まああてはまる	781 40.2%	406 41.2%	280 41.4%	74 31.8%	655 40.4%	115 39.5%	96 38.1%
あてはまる	603 31.0%	279 28.3%	213 31.5%	96 41.2%	489 30.1%	105 36.1%	94 37.3%
無回答	9 0.5%	5 0.5%	4 0.6%	0 0.0%	7 0.4%	2 0.7%	0 0.0%

k) 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	93 4.8%	47 4.8%	32 4.7%	10 4.3%	78 4.8%	14 4.8%	10 4.0%
まああてはまる	678 34.9%	340 34.5%	234 34.6%	92 39.5%	566 34.9%	98 33.7%	86 34.1%
あてはまる	1,168 60.1%	596 60.5%	408 60.3%	131 56.2%	974 60.0%	178 61.2%	156 61.9%
無回答	5 0.3%	2 0.2%	3 0.4%	0 0.0%	4 0.2%	1 0.3%	0 0.0%

l) 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,569 80.7%	809 82.1%	547 80.8%	171 73.4%	1,318 81.3%	227 78.0%	197 78.2%
まああてはまる	284 14.6%	137 13.9%	96 14.2%	44 18.9%	230 14.2%	48 16.5%	41 16.3%
あてはまる	80 4.1%	33 3.4%	31 4.6%	16 6.9%	65 4.0%	14 4.8%	13 5.2%
無回答	11 0.6%	6 0.6%	3 0.4%	2 0.9%	9 0.6%	2 0.7%	1 0.4%

m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	417 21.5%	214 21.7%	141 20.8%	54 23.2%	346 21.3%	67 23.0%	58 23.0%
まああてはまる	1,092 56.2%	549 55.7%	379 56.0%	136 58.4%	902 55.6%	170 58.4%	150 59.5%
あてはまる	429 22.1%	220 22.3%	154 22.7%	42 18.0%	370 22.8%	52 17.9%	43 17.1%
無回答	6 0.3%	2 0.2%	3 0.4%	1 0.4%	4 0.2%	2 0.7%	1 0.4%

n) 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,171 60.2%	624 63.4%	395 58.3%	129 55.4%	986 60.8%	166 57.0%	143 56.7%
まああてはまる	593 30.5%	284 28.8%	213 31.5%	75 32.2%	487 30.0%	97 33.3%	83 32.9%
あてはまる	171 8.8%	74 7.5%	65 9.6%	27 11.6%	142 8.8%	26 8.9%	25 9.9%
無回答	9 0.5%	3 0.3%	4 0.6%	2 0.9%	7 0.4%	2 0.7%	1 0.4%

o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,152 59.3%	596 60.5%	399 58.9%	129 55.4%	971 59.9%	166 57.0%	148 58.7%
まああてはまる	523 26.9%	258 26.2%	184 27.2%	65 27.9%	424 26.1%	87 29.9%	70 27.8%
あてはまる	262 13.5%	129 13.1%	90 13.3%	38 16.3%	222 13.7%	36 12.4%	33 13.1%
無回答	7 0.4%	2 0.2%	4 0.6%	1 0.4%	5 0.3%	2 0.7%	1 0.4%

p) 私は、学力が低下している。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	838 43.1%	459 46.6%	281 41.5%	76 32.6%	720 44.4%	103 35.4%	89 35.3%
まああてはまる	666 34.3%	326 33.1%	239 35.3%	86 36.9%	562 34.6%	94 32.3%	81 32.1%
あてはまる	431 22.2%	194 19.7%	154 22.7%	71 30.5%	333 20.5%	92 31.6%	82 32.5%
無回答	9 0.5%	6 0.6%	3 0.4%	0 0.0%	7 0.4%	2 0.7%	0 0.0%

q) 私は、体力が低下している。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
あてはまらない	1,165 59.9%	632 64.2%	387 57.2%	118 50.6%	990 61.0%	157 54.0%	133 52.8%
まああてはまる	474 24.4%	218 22.1%	174 25.7%	70 30.0%	391 24.1%	73 25.1%	66 26.2%
あてはまる	298 15.3%	131 13.3%	113 16.7%	45 19.3%	236 14.5%	59 20.3%	53 21.0%
無回答	7 0.4%	4 0.4%	3 0.4%	0 0.0%	5 0.3%	2 0.7%	0 0.0%

問16 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。

a) 学校の授業以外で勉強する時間

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	386 19.9%	225 22.8%	122 18.0%	35 15.0%	332 20.5%	45 15.5%	36 14.3%
減った	224 11.5%	96 9.7%	75 11.1%	42 18.0%	178 11.0%	41 14.1%	37 14.7%
変わらない	1,322 68.0%	662 67.2%	473 69.9%	153 65.7%	1,104 68.1%	201 69.1%	176 69.8%
無回答	12 0.6%	2 0.2%	7 1.0%	3 1.3%	8 0.5%	4 1.4%	3 1.2%

b) 学校の授業がわからないと感じること

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	519 26.7%	226 22.9%	192 28.4%	90 38.6%	405 25.0%	103 35.4%	90 35.7%
減った	177 9.1%	94 9.5%	55 8.1%	21 9.0%	154 9.5%	20 6.9%	17 6.7%
変わらない	1,233 63.4%	663 67.3%	421 62.2%	118 50.6%	1,054 65.0%	162 55.7%	140 55.6%
無回答	15 0.8%	2 0.2%	9 1.3%	4 1.7%	9 0.6%	6 2.1%	5 2.0%

c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	332 17.1%	177 18.0%	108 16.0%	40 17.2%	281 17.3%	46 15.8%	40 15.9%
減った	670 34.5%	370 37.6%	219 32.3%	75 32.2%	571 35.2%	87 29.9%	80 31.7%
変わらない	922 47.4%	435 44.2%	338 49.9%	115 49.4%	757 46.7%	151 51.9%	126 50.0%
無回答	20 1.0%	3 0.3%	12 1.8%	3 1.3%	13 0.8%	7 2.4%	6 2.4%

d) 食事を抜く回数

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	113 5.8%	50 5.1%	38 5.6%	20 8.6%	83 5.1%	25 8.6%	23 9.1%
減った	95 4.9%	39 4.0%	33 4.9%	21 9.0%	76 4.7%	18 6.2%	15 6.0%
変わらない	1,720 88.5%	893 90.7%	599 88.5%	187 80.3%	1,453 89.6%	242 83.2%	209 82.9%
無回答	16 0.8%	3 0.3%	7 1.0%	5 2.1%	10 0.6%	6 2.1%	5 2.0%

e) 夜遅くまで起きている回数

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
増えた	706 36.3%	356 36.1%	250 36.9%	82 35.2%	580 35.8%	117 40.2%	104 41.3%
減った	116 6.0%	39 4.0%	45 6.6%	25 10.7%	83 5.1%	30 10.3%	24 9.5%
変わらない	1,110 57.1%	587 59.6%	376 55.5%	124 53.2%	950 58.6%	141 48.5%	122 48.4%
無回答	12 0.6%	3 0.3%	6 0.9%	2 0.9%	9 0.6%	3 1.0%	2 0.8%

f) 親以外の大人や友達と話をすること

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
増えた	549	264	194	71	447	92	77
	28.2%	26.8%	28.7%	30.5%	27.6%	31.6%	30.6%
減った	239	125	76	36	194	39	34
	12.3%	12.7%	11.2%	15.5%	12.0%	13.4%	13.5%
変わらない	1,142	592	400	123	971	156	138
	58.7%	60.1%	59.1%	52.8%	59.9%	53.6%	54.8%
無回答	14	4	7	3	10	4	3
	0.7%	0.4%	1.0%	1.3%	0.6%	1.4%	1.2%

g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
増えた	522	253	184	69	430	82	75
	26.9%	25.7%	27.2%	29.6%	26.5%	28.2%	29.8%
減った	163	70	64	23	132	29	24
	8.4%	7.1%	9.5%	9.9%	8.1%	10.0%	9.5%
変わらない	1,246	658	422	139	1,051	177	151
	64.1%	66.8%	62.3%	59.7%	64.8%	60.8%	59.9%
無回答	13	4	7	2	9	3	2
	0.7%	0.4%	1.0%	0.9%	0.6%	1.0%	0.8%

h) ずっと家にいると息が詰まったりすること

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944	985	677	233	1,622	291	252
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
増えた	217	109	78	27	174	39	36
	11.2%	11.1%	11.5%	11.6%	10.7%	13.4%	14.3%
減った	186	89	70	23	156	28	23
	9.6%	9.0%	10.3%	9.9%	9.6%	9.6%	9.1%
変わらない	1,528	784	522	180	1,284	220	190
	78.6%	79.6%	77.1%	77.3%	79.2%	75.6%	75.4%
無回答	13	3	7	3	8	4	3
	0.7%	0.3%	1.0%	1.3%	0.5%	1.4%	1.2%

問17 あなたは今までに、以下のa~hのようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。

- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を大量に飲んだり麻薬を使ったりして、自分の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
ひとつもあてはまらない(0個)	1,484 76.3%	845 85.8%	483 71.3%	120 51.5%	1,364 84.1%	95 32.6%	81 32.1%
1個あてはまる	289 14.9%	72 7.3%	137 20.2%	71 30.5%	134 8.3%	153 52.6%	134 53.2%
2個あてはまる	74 3.8%	32 3.2%	19 2.8%	20 8.6%	48 3.0%	24 8.2%	22 8.7%
3個あてはまる	34 1.7%	13 1.3%	10 1.5%	11 4.7%	23 1.4%	10 3.4%	8 3.2%
4個あてはまる	17 0.9%	6 0.6%	4 0.6%	7 3.0%	13 0.8%	3 1.0%	2 0.8%
5個あてはまる	4 0.2%	2 0.2%	1 0.1%	1 0.4%	4 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
6個あてはまる	3 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.7%	1 0.4%
7個あてはまる	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
すべてあてはまる(8個)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	39 2.0%	14 1.4%	22 3.2%	3 1.3%	35 2.2%	4 1.4%	4 1.6%

問18 あなたは、次のa～eのような場所や支援を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

a) (自分や友だちの家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
利用したことがある	84 4.3%	36 3.7%	32 4.7%	13 5.6%	66 4.1%	16 5.5%	12 4.8%
利用したことはないが、あれば利用したいと思う	369 19.0%	180 18.3%	132 19.5%	50 21.5%	314 19.4%	54 18.6%	49 19.4%
利用したことはないし、今後も利用したいと思わない	636 32.7%	336 34.1%	222 32.8%	68 29.2%	542 33.4%	84 28.9%	72 28.6%
利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない	829 42.6%	422 42.8%	282 41.7%	97 41.6%	685 42.2%	127 43.6%	110 43.7%
無回答	26 1.3%	11 1.1%	9 1.3%	5 2.1%	15 0.9%	10 3.4%	9 3.6%

b) 勉強を無料又は低額でみてくれる場所

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
利用したことがある	47 2.4%	17 1.7%	14 2.1%	13 5.6%	31 1.9%	14 4.8%	13 5.2%
利用したことはないが、あれば利用したいと思う	655 33.7%	304 30.9%	240 35.5%	93 39.9%	545 33.6%	105 36.1%	97 38.5%
利用したことはないし、今後も利用したいと思わない	515 26.5%	291 29.5%	164 24.2%	52 22.3%	438 27.0%	67 23.0%	55 21.8%
利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない	699 36.0%	359 36.4%	249 36.8%	72 30.9%	591 36.4%	95 32.6%	78 31.0%
無回答	28 1.4%	14 1.4%	10 1.5%	3 1.3%	17 1.0%	10 3.4%	9 3.6%

c) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
利用したことがある	37 1.9%	18 1.8%	10 1.5%	5 2.1%	29 1.8%	7 2.4%	4 1.6%
利用したことはないが、あれば利用したいと思う	284 14.6%	145 14.7%	92 13.6%	43 18.5%	246 15.2%	36 12.4%	32 12.7%
利用したことはないし、今後も利用したいと思わない	722 37.1%	367 37.3%	258 38.1%	81 34.8%	595 36.7%	113 38.8%	97 38.5%
利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない	868 44.7%	439 44.6%	306 45.2%	99 42.5%	730 45.0%	125 43.0%	110 43.7%
無回答	33 1.7%	16 1.6%	11 1.6%	5 2.1%	22 1.4%	10 3.4%	9 3.6%

d) こども宅食・フードバンク

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
利用したことがある	19 1.0%	5 0.5%	5 0.7%	8 3.4%	10 0.6%	7 2.4%	7 2.8%
利用したことはないが、あれば利用したいと思う	236 12.1%	119 12.1%	70 10.3%	42 18.0%	199 12.3%	34 11.7%	30 11.9%
利用したことはないし、今後も利用したいと思わない	733 37.7%	384 39.0%	259 38.3%	75 32.2%	611 37.7%	110 37.8%	96 38.1%
利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない	926 47.6%	464 47.1%	332 49.0%	103 44.2%	783 48.3%	130 44.7%	110 43.7%
無回答	30 1.5%	13 1.3%	11 1.6%	5 2.1%	19 1.2%	10 3.4%	9 3.6%

e) スクールソーシャルワーカー

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
利用したことがある	33 1.7%	15 1.5%	5 0.7%	12 5.2%	22 1.4%	11 3.8%	10 4.0%
利用したことはないが、あれば利用したいと思う	189 9.7%	97 9.8%	53 7.8%	36 15.5%	160 9.9%	28 9.6%	25 9.9%
利用したことはないし、今後も利用したいと思わない	723 37.2%	377 38.3%	256 37.8%	75 32.2%	604 37.2%	106 36.4%	91 36.1%
利用したことはないが、今後利用したいかどうか分からない	967 49.7%	483 49.0%	352 52.0%	103 44.2%	816 50.3%	135 46.4%	116 46.0%
無回答	32 1.6%	13 1.3%	11 1.6%	7 3.0%	20 1.2%	11 3.8%	10 4.0%

問19 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	171 100.0%	73 100.0%	56 100.0%	34 100.0%	126 100.0%	43 100.0%	36 100.0%
友だちが増えた	35 20.5%	12 16.4%	13 23.2%	8 23.5%	23 18.3%	11 25.6%	8 22.2%
気軽に話せる大人が増えた	30 17.5%	14 19.2%	7 12.5%	8 23.5%	21 16.7%	9 20.9%	8 22.2%
生活の中で楽しみなことが増えた	30 17.5%	11 15.1%	9 16.1%	8 23.5%	20 15.9%	10 23.3%	9 25.0%
ほっとできる時間が増えた	32 18.7%	16 21.9%	9 16.1%	6 17.6%	24 19.0%	8 18.6%	6 16.7%
栄養のある食事をとれることが増えた	11 6.4%	3 4.1%	5 8.9%	3 8.8%	8 6.3%	3 7.0%	2 5.6%
勉強がわかるようになった	24 14.0%	9 12.3%	6 10.7%	8 23.5%	19 15.1%	5 11.6%	4 11.1%
勉強する時間が増えた	21 12.3%	10 13.7%	4 7.1%	6 17.6%	16 12.7%	5 11.6%	5 13.9%
その他	13 7.6%	5 6.8%	6 10.7%	1 2.9%	11 8.7%	2 4.7%	1 2.8%
特に変化はない	69 40.4%	30 41.1%	24 42.9%	13 38.2%	51 40.5%	17 39.5%	14 38.9%
無回答	13 7.6%	9 12.3%	2 3.6%	1 2.9%	12 9.5%	1 2.3%	1 2.8%

問20 あなたは、自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,944 100.0%	985 100.0%	677 100.0%	233 100.0%	1,622 100.0%	291 100.0%	252 100.0%
ある	1,674 86.1%	863 87.6%	583 86.1%	189 81.1%	1,407 86.7%	243 83.5%	211 83.7%
ない	248 12.8%	112 11.4%	87 12.9%	40 17.2%	202 12.5%	40 13.7%	33 13.1%
無回答	22 1.1%	10 1.0%	7 1.0%	4 1.7%	13 0.8%	8 2.7%	8 3.2%

問21 前の質問で「1 ある」と答えた人にお聞きします。その金額はどのくらいですか。

	単純集計	等価世帯収入の水準別			世帯の状況別		
	全体	中央値以上	中央値2分の1以上中央値未満	中央値2分の1未満	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ
サンプル数	1,674 100.0%	863 100.0%	583 100.0%	189 100.0%	1,407 100.0%	243 100.0%	211 100.0%
1,000円未満	160 9.6%	78 9.0%	60 10.3%	19 10.1%	136 9.7%	21 8.6%	20 9.5%
1,000円～5,000円未満	986 58.9%	489 56.7%	346 59.3%	118 62.4%	814 57.9%	157 64.6%	133 63.0%
5,000円～10,000円未満	227 13.6%	126 14.6%	73 12.5%	25 13.2%	193 13.7%	32 13.2%	29 13.7%
10,000円以上	297 17.7%	168 19.5%	102 17.5%	27 14.3%	261 18.6%	32 13.2%	28 13.3%
無回答	4 0.2%	2 0.2%	2 0.3%	0 0.0%	3 0.2%	1 0.4%	1 0.5%

問28 あなたは、どのような支援があるとよいと思いますか。自由に記入してください。

・(等価世帯収入別) 中央値2分の1未満×(世帯の状況別) 母子世帯

家の近くに、幼稚園児や小学生が遊べるレベルの遊具やアスレチックじゃなくて、中学生や高校生たちが楽しめるようなレベルのアスレチックがある公園をつかってほしい。全学校の髪の色をなくしてほしい。
お金があるといいと思う
お金をください(1人10万円)
お金を出してくれる
学習支援があれば嬉しい。塾がお金がかかるからお母さんに負担をかけたくない。
片親で何か働けない理由がある家庭への支援
受験生を集めるやつ食べ放題(パフェ多めの)
友達と会えるところ
ノラ猫などの飼い主がいない動物達が安全・安心に過ごせる場所、引き取ってくれる場所の支援
母は収入ゼロ(病気で働いていない)で、お金には余裕がありません。フードバンクを利用したいけど、「塾行ってるお金あるんでしょ」みたいになるから利用しづらい。でも勉強もがんばりたい…。そこらへんの支援のお金の見直しをしてほしい。
1人親の家庭に、お金を支援してほしい。
勉強を教えてくれる所。塾に通うのはお金がいるので。高校の受験があるので心配です。
ボランティアなどを増やしたりする
無料で遊べたり、本を読んだりできる場所。

無料で食べ物を提供する支援
安くおやつが買える駄菓子屋さんとかが増えたらいい
学校以外で近場でフリースクールがあるとよい。
県外高校のオープンスクールの支援金
助かる！！
労働時間にあった給料が支給される

・（等価世帯収入別）中央値2分の1未満×（世帯の状況別）ふたり親世帯

・ヤングケアラーを支える活動 ・部活動がしやすい環境
お金が少ない家にお金をあげる支援。胃が痛い人に胃薬をあげる支援。
返さなくてもいいお金の支援 車やピアノなどの売ればお金になるものを手放さなくても、金銭的な支援をしてくれるもの→父も母も仕事に車が必要だから手放せないけど、車があるなら売らないと生活保護を受けられないと言われた。父は借金もあって、よくお金のことでため息をついているから、助けてあげたい
家族を介護している小・中・高生に支援ができるとよいと思います。
経済的に厳しい家に、多くのお金を振り込む。
現金の給付、または支援。
高校授業料無料
高校まで児童手当があってほしいです。（理由）高校でもお金を使うから。
子育て支援 英検、漢検の全額免除などを増やすと良いと思う。
子どもが食事をする事ができる食堂
子ども達に、得のあるように地域が回る事ができる支援
子どもを子育てする支援があるといい。
生活に困っている人や悩んでいる人の支援。
中学生でもバイトできる場所
フリースクールを学校ではなく別の場所につくってほしい。もっと増やしてほしい。中学校の生徒の数が多すぎるので、新しく建ててほしい。
僕達こどもに親が使える給付金を支援してほしいです。
ボランティア活動ごみ拾い
みんな手話、指文字ができる
無料で食料を提供したりする
無料の塾などの勉強を教えてくれる場所
個人に、分からない教科を教えてくれること 個人の悩みを相談する事ができること

子供に月に一度お金を支援してほしい
塾以外に勉強をおしえてくれるところを増やしてほしい
貧困の人に食べ物をあげたりするようなこと
無料で子供だけで寝れる場所をつくる

・(等価世帯収入別) 中央値2分の1以上中央値未満×(世帯の状況別) 母子世帯

・ご飯などで困っている人を助けてくれる ・お金に困っている人を助けてくれる ・家のことで困っている人を助ける
1人になれる場所を設けてほしい
いじめなどが原因で不登校の子たちに、個別で勉強を学ぶ場所をもうける
いじめられていたりするときに、電話だけじゃなく、実際にあって話をしたい人もいると思うから、窓口とか作ったほうがいいと思う。
一緒に何かをできる場所(ゲームとか勉強とか生活)
今の自分には支援は必要無いと思います。
お金
お金に関係なく、自分の好きな道にいける支援をしてほしい。
お手伝い1回10円
学校に行けない子でも勉強できるような場所 授業の理解度別の教室と先生
給食費無料
公共の場などでどういった支援があるかなどの周知をしっかりとったほうがいいと思う。
困っている人が少しでも楽になれるように、一緒に解決してくれるような少しおせっかいな支援。
コロナに関係すること
支援とは違うかもしれないけど、学校内で先生が生徒に対して暴言、軽い暴力みたいなことをするのを見た。どうすればいいかわからないので、生徒にアンケートを学校でとってほしい。やめさせてほしい。
中学生まで無料で利用できる飲食店やショッピングモール 本を読める所
手伝い・片付け・掃除・町の掃除など
登校するときに、誰か送ってほしい。10時と3時に軽食の時間がほしい。
なくてもいいと思っています。
勉強をできる環境を提供してもらえ。

母子世帯や父子世帯などの1人親世帯の人を対象として、食堂やレストランの割引、電車やバスなどの交通費を安くするなどの支援があればうれしい。こちらこそありがとうございました。お疲れ様です。
まず経済を立て直して物価を下げてください。話はそれからです。
一人親世帯は特にだけど、少しでもいいからお金を普及した方が良いと思う。
進路が決まらない、分からないから、職業紹介 詳しい話聞ける場。
中学、高校、大学はすごくお金を使うから、学校に入る時のお金、授業料を無料にしてほしい。

- ・(等価世帯収入別) 中央値2分の1以上中央値未満×(世帯の状況別) 父子世帯

いつでも電話できるところ。
通信機器の詳しい使い方(小学3年生まで)
つらい生活をしている人を助けるような支援

- ・(等価世帯収入別) 中央値2分の1以上中央値未満×(世帯の状況別) ふたり親世帯

「自分は〇〇ができない。」もしくは「〇〇を成功した体験が無いからそれが心配」などがあるとする。そんなときに、1. なぜできないと思うのかを悩みを抱えている人に聞き、受け入れる 2. 次に悩みを抱えている人からすると客観的な意見である、相談を聞いている人がそれに対して自分の意見を言う 3. 悩みを抱えている人にじっくり考えてもらって決断の手伝いをする。1、2、3(話し合い方の例)など「なぜか心配だ」などの複雑な悩みを長期間で同じ人がサポートできる相談できる場所を作る。
10万円
13才以上の人に、選挙権が与えられる支援
遊べる場所がもっとほしい 中学生が(スケボーとか)先生以外に勉強教えてくれる所
姉弟が多くいつも家庭でお金の話が出ます。行きたい高校にも行けるかわからない状況なので、姉弟が多い家族や、お金に困っている人たちがみんなと同じように生活できるように、市や県が、もっとこまっている人がいるという事を頭にいれ、高校生になる子どもがいる家庭に給付金を出すなど少しは考えてみてはどうでしょうか?世の中には「ヤングケアラー」という介護を担わざるを得ない状況で家族の世話をを行う子どもが多くおり、宮崎県はまだ行政の支援が十分に進んでいないので、すべての子どもたちがみんな平等な教育や勉強ができるような環境をつくってほしいです。
家の経済を支援する制度。安くでレベルの高い勉強ができる支援(制度)
行きたいときに行けて、1対1で無料で勉強を教えてくれる場所があってほしい!←お菓子とか出たら嬉しいです。
いじめなどで学校に行けてない人の為に気安く安全に勉強が出来て友達をつくれる施設があればいいと思います。

いじめられている人が親と一緒に相談できる支援
今、物価高騰で買う物も買えないです。支援があるとうれしいです。
今の生活に満足しているので思いつきません。
今のままでも私はいいと思います。なので、特にありません。
いろんなことが起きる前に助ける支援
いろんなことの体験サービス
インフルエンザワクチンを 200 円にしてほしい。高校生にも子供手当がほしい。←応援してほしい。
嬉しい事でも悲しい事でも、なんでも話を聞いてくれて、否定しないような電話や施設。家にいるのが疲れた時にフラッと行ける第2の家のような場所
大きい図書館が欲しい。
お金
お金があまりなくても住める家 働く場所がない人がだれでも簡単に働ける場所 運動をする習い事に通えない人でも安くで通わせてくれる場所
お金が足りてない子供がいる家庭に支援する
お金がない人が、お金を借りたり、もらえたりできる
お金がなくて貧乏な所もあると思うので、授業料など子どもにかかる費用を減らしてほしい。
お金に困っている人がいたら、子どもがいる場合、お金や文房具などの寄付
お金について満足していない子たちに、月にせめて 1500 円くらい渡せる支援があると良い。世の中には色々な事情があってお小遣いがもらえず、友達と遊ぶ時に自分だけできないことがあったりすると、その子も少し嫌な気持ちになってしまい、不満が募ってしまいます。皆が平等になるためにもこの支援を実行してほしいです。
お金を配る 物を安くする
お小遣いの増額
同じ中学校で、入学した時から不登校で会ったことのない人とたくさん交流して遊べる。
同じような不安や悩みを抱えている人と気軽に話すことのできる場を作る支援。誰とも会話しなくても落ちついて過ごせる場所がほしい。
親が仕事でいない時とか、休日でも無償で子供を見てくれる支援センター
親の居ない子供達と一緒に住める場所の設営
親の手取りの給料の分で色んな支援の基準にする
親より、学校の先生をもう一度見直す制度
お金 生活費
お金がもらえる

お金が無くて困ってる人にお金が支給される支援
お小遣い
学費にかかるお金の免除
学費をサポートしてくれる支援
家族一人につき 10 万の支援
学校での個人面談など
学校に行かなくても、授業を受けたのと同じ扱いになるような、通信制のシステム。学校で大勢の人の中にいる事が苦手な人はたくさんいると思うから。
学校に行くのが不安で 1 年生の時はあまり行けませんでした。コロナで保健室にも行けなく、先生も忙しいので、(学校に) 話せる大人がいてほしい。一年生の頃は、ちがう中学校に行っていました。
学校に購買部、使っていない施設、学校等の貸し出し
学校の授業の様子とか授業の解説をしてくれる動画を自宅で見たい！
給付金の無料配布があると誰もが助かると思います。
教育
教育環境の支援
教育支援 難民支援 貧困
きょうだいが多いので、お金がほしいです。服も、3か月に1回ぐらいしか買ってもらえません。
金
国からの金をもっと UP してほしい。金欲しい
高校の義務教育化←誰でも、好きな高校に入れるようにしたい。教育委員会が、学校の先生についてのアンケートを生徒にやらせる。
高校の授業料無料 高校のお弁当を廃止して給食にする 塾にみんなが行けるようにする
高校まで医療費が無料になる
高校まで義務教育にする制度をつくる支援
高校までの義務教育
高齢者で車の免許を返上した人に、バスやタクシーの無料になる提供。
子供が多いところへの支援
子どもが自由に遊んだり過ごせたり出来ない人向けに、こういうことができる支援を作ると良いと思う。
子供だけでするワークショップ(司会なども子供、大人は見守る)子供だけでも無料で泊まれる所(食事有で大人は店員以外立ち入り禁止)(話は可能)

子どもたち（同年代も含め）皆が楽しく過ごせる工夫や、いじめに対する意識を知ってもらう機会があるといいと思います。
子供と親との関わり増やせるもの
子供の教育支援があるといいと思う。上がり続ける税金に対して、親達の仕事の給料は変わっていないので、給料を増やしてくれるような支援がほしい。
子供保護センター 気軽に行ける相談所
困っている人お助け屋さん 前の質問にあった子ども食堂 嫌になったら切ったりしてもいい相談電話 個室図書館→不登校の人も行きやすいから （カラオケみたいな）壁あり→人目につかない！！
コロナ禍で親がお金で困っているから、お金の支援（？）があるといいと思います。
衣、食、住が完璧な支援
こんなふうに悩みがないかをアンケートなどにして答えてもらい、相談したい子だけが相談できる場所をつくる。
支援があればよいと思う。
自分の得意な事が思う存分出せたりできるところ勉強を見たりしてくれるところ（無料で!!）気軽に相談できるところ
自分の分からない教科が分かるような勉強（学習）をしたいので、問 18 のb) のような所があるといいと思います。ちなみに塾に行っても、成績は上がりません。小学校では、通級をしてましたが、中学では先生に分からないことは聞いていても、成績は変わりません。
集中して勉強ができる場所
自由に使えるスマートフォンなどの端末を1人1台支給する。又は、そうできる権利を与える。
自由勉強スペースを作る
塾以外で勉強を無料で見てくれる場所。1カ月に1回くらい、地区で子ども食堂に無料か安くで行ける場所。部活をしている人は、無料でコートを貸し出してくれる。同じ年くらいの子を集めて、勉強会を開けば、楽しく勉強することができると思う。コロナ対策をして、イベントは行った方が、人との交流も増える。体力が落ちないように、ウォーキング会などをする。
宿題の免除・リモート授業の通常化・直接相談できる窓口
宿題をなくしてほしい。
少人数教室を増やす塾の費用を安くする。まず、税金をなくす。なくせなかったとしても、国葬などしないでほしい。〇〇くん、〇〇さんの差別用語をなくす。LGBTQ の講話などをふやす。
食事と寝る場所はとても大切なので、その2つを小さい子供で生活に困っているという人に与えてあげられるような支援。
新型コロナの感染対策を進めること。
信号機を増やせー

進路に対する援助
住んでいる所の近くにまだたくさん塾を増やしてほしい
精神がズタボロ、心の病気を抱えている人が通える支援 無料で塾のような、勉強ができる。
全国にいる中学生を対象とした政府からのお小遣いはいふ
相談窓口（電話やメール）で、大人に相談するものは多くあると思います。しかし中学生が相談にのってくれるというものもあっていいのかな、と思います。大人は外からしか答えられないけど中学生は学校に通う者として、よい相談ができるのでは？
ちゃんとした子ども支援
中学校にも学童やスクールバスがあってほしい。
辛いと思っている人たちは、話すこととかがこわいと感じる人が多いと思うから、SOS に気づいてあげられるように、授業でこんなしぐさがあるなどと教えてほしい。私みたいな幸せな人が増えることをしてほしい。
低額で勉強できる場所
図書カード、テレホンカード、QUO カードを子どもに支給してほしい
友達関係に関する支援
トランスジェンダーや平等など
悩みをなんでも聞いてくれる場所
なるべく自由にさせてほしい。
苦手なところを、復習できる、プリントなどの教材に関しての支援。
ネットでかんたんに相談できるもの
病気になったら、病院代や交通費などをもらいたい。外に出られなかったら食料を支援してもらいたい。
勉強が自由にできる場所。
勉強を教えてくれる支援
勉強を教えてもらえる場所（人）。
勉強をサポートしてくれる
勉強を見てくれる 相談を聞いてくれる
勉強を無料、又は低額で教えてくれるような支援。
勉強を無料で受けられるところ
勉強を無料で教えてくれる支援
勉強を無料で教えてくれる所 自習室
勉強を無料で見てくれる支援（気軽に行ける場所）

勉強を無料とかでみてくれる（教えてくれる）支援
募金
毎月給付金 3 万ほしい
毎日お金のはいきゅう
貧しい家に給付金を送る支援
貧しい家庭でも好きな習い事ができるような支援
貧しい家庭の人たちが欲しいものを買うために必要なお金を集め、支援する。
周りの人たちと学校などで上手に付き合えない人や、クラスなどで 1 人になってしまう人に対して、その事をそうなっている人たちが気軽に相談しやすい場所。また、その環境に生きづらさがある人達のための、少人数の学校。発達障害（人と上手に付き合えない・勉強の理解ができない・多動がある）が疑われる人たちが気軽に相談できたり、学べたり、働ける支援。それと、家庭に小さな赤ちゃんがいて、その家にいる、学生が自分のやりたいことが自由にできるような支援。また、その赤ちゃんなどで、大人も苦しい状況である人たちが気軽に支援できる所。
みんなが安心して暮らせる
みんなが楽しい場所を作ってほしい。
みんなが平等に生活できる支援を作ったらよいと思う
みんな親切でより良い支援がいい
みんなで勉強できる場所
無料で勉強を教えてくれる施設のようなもの
ヤングケアラーに対しての支援（病気の人とかには入院費など）
ヤングケアラーの人を支援する取り組み。
豊かに暮らせてない子供のために、募金をして集まったお金を寄付するなどの支援
よく困った時はこの番号に電話して下さいとある貼り紙を見かけるけれど、それすらも怖くてできない子もいると思うからなんとかしてほしいとは思（ムチャぶりだとは思）。私は最近仲の良い友達と 3 人で学校を楽しんでいたけれど、ある女の子が割って中に入ってきて、仲の良い友達と会話している時にしょっちゅう会話どろぼうされてるし、その友達となんかしている時にも割って入ってきて、その友達を連れてどっかに行くし、そのせいでもう学校に行くの疲れたし、もうつらくて仕方がなくてどうしようもないから、少しでも心が軽くなるような支援があってほしい。
世の中、苦しんでいる人を助けたいと思う。（寄付など）
夜に赤ちゃんを預かってくれる施設があるといいと思います。
運動・練習が無料でできる場所が増えてほしい
家が貧しく、制服や、体育着を毎日洗えていない友達が周りにいるので、制服や体育着の無料クリーニングサービス(支援)があると良いと思う。

共働きの家庭が多いので送り迎えなどの代行サービスがあるとよいと思う
古本など配る支援
子供が安心して楽しくいれる場所
支援とは違くなるかもしれないけど、コロナ禍でなくなったり小規模になったりしたことによって思い出が少なくなっていたり、あっても深く残るものではなくなっていること。また、ネットで相談したり、電話でしたりして相談することができるようになってきていいと思う。だけど、相談したいと思っても、スマホや電話を持ってない、使わせてもらえない人も少なくないと思う。相談できる場所がない人もいると思う。誰でもできるようにしてほしい。解決策は出にくいと思いますが、こういうことがある事を視野に入れてほしいです。以上です。ありがとうございました。
性別(服装、髪型など)に関することを気軽に相談できる場所がほしいです
勉強を一緒にしてくれる、する気を起こさせてくれる支援。きのこを給食に出さない支援。ゴミ拾い day。

- ・(等価世帯収入別) 中央値 2 分の 1 以上中央値未満×(世帯の状況別) その他・不明

第一は、未成年には衣食住が保障されてほしい。第二は、教育(主に学習)を受けられる環境を整えてほしい。
ヤングケアラーの人たちにお金や食べ物をあげたり、手伝いの人を派遣したりする支援。お金がなくて困っている人たちに食べ物などをそれぞれに配る

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) 母子世帯

クラスのみなどと違うところで授業を受けたい。しばらく(2ヶ月くらい)学校とは違うところで勉強したい。

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) 父子世帯

スポーツで高校に進学したいが、寮とかお金がかかるので、そういう支援があればいい。

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) ひとり親世帯(その他・不明)

未成年に五万円支給する

- ・(等価世帯収入別) 中央値以上×(世帯の状況別) ふたり親世帯

<p>(お小遣いについて) もし支援してくれるとしても、そのお金は税金であると思うし、お金をもらっても無駄づかいをする人もいると思うので、私は支援しなくても良いと思います。(勉強について) 家の近くに図書館などないので遠くまで行かなければならない事。もしできるならば、無料で学生さんが使える勉強場所が欲しいです。理由: 兄弟の声、テレビがうるさく自室でも集中できないため。家庭の事も考えて金銭面はなるべく抑えたいため。地元の大学生さんに勉強を教えてもらうこと→塾はお金がかかるし、学校の先生も人手が足りず忙しい。例: 南九州大学の生徒さんなど…</p>
<p>(支援ではないかもしれませんが) 私の友達に全性愛者の子がいます。その子はよく「恋人ができた、と言ったら、当たり前「彼氏?彼女?」と聞かれる世界に行きたい。」と言います。全ての人が生きやすい世界にしてほしいです。</p>
<p>・早朝から深夜まで使える無料の学習室</p>
<p>1日だけ泊めてくれる施設</p>
<p>当たり前のことが出来ていない人への支援</p>
<p>あまりご飯を食べられていない人に、賞味期限が近い食材でもいいからあげる</p>
<p>あまり話したことのない人などと遊んだり、勉強したりする会。</p>
<p>家用のタブレットがほしいです。</p>
<p>いじめっこといじめられっこ両方の声が聞ける所を作ってほしい。(理由 わたしがどうすればよいのか、どうしたら満足なのか分からないから)</p>
<p>いじめなどの相談をできる電話センター</p>
<p>今のままで良いと思う</p>
<p>お金の支援 だれでも快適に生活できる支援病院を みんなお金を気にせず使える支援</p>
<p>お金のない子ども達が自由に遊べる場所がほしい!! → (ボール遊び、おままごと、スポーツ) お手伝い(ボランティア→そうじ、片づけ、草とり) をしたら、おこづかいがもらえる!!</p>
<p>お金を与える</p>
<p>お金を提供してくれるところ</p>
<p>お金をもらえる支援</p>
<p>お小遣い</p>
<p>お小遣いが欲しいです</p>
<p>同じ学年・年齢の人たちと交流できるイベント。</p>
<p>親がいなかったり、貧しい子どもたち(子ども全般)に、ある特定の場所や地域でお手伝いをするとお小遣いをあげる。</p>

<p>親や友だち、先生にも相談したくない悩みが私にやってくると考えたら、私は2人きりと電話をするのが嫌いで、泣くことがあるので、電話じゃない、手紙でやりとりできる相談支援がいいと思う。そして、手紙を書けるスペースなどを学校に置くと相談しやすいと思う。ヤングケアラーに対する支援、学校でアンケートをしたり、CMを見たり知って、少なくしたいと思った。相談をするのは勇気がいることで、特に私みたいな子どもは自分が頑張れば良いと思って相談しにくそう。ケアしてもらってる家族からも相談しやすいようにした方が良いと思う。できれば学校とかである家庭訪問をする。望まない妊娠をしてしまった人への支援、中絶はやらない方がもちろん良い。でも中学生とか若い時にしてしまったら、産むのはなかなか難しいと思うし、お金をかけて中絶するのも大変。18歳未満で妊娠をしてしまった人への対応として、中絶費を減らし、教育に力を入れる。良いのか悪いのか、よく分からないけど、赤ちゃんポストを少し増やす。やっぱり望まれないで生まれても次のチャンスをつかめるきっかけをあげたい。</p>
<p>お小遣いを増やす。スマホなどの連絡手段を与える。</p>
<p>外国の人たちの中で十分に食べ物や水をとれない人たち用に募金するべきだと思う。</p>
<p>学習にかんする支えん</p>
<p>学習面、生活面の支援</p>
<p>学生支援</p>
<p>学生の間での医療費の軽減</p>
<p>学校で「様々な家庭があること」「それをどう解決すればいいか」を考える授業を行い、みんなに知ってもらおう。また、考えたり、相談できるきっかけをつくる。</p>
<p>学校で勉強について来れない人や理解するのが難しい人のために、分かりやすく、その人のペースで学習をする支援。(無料で)</p>
<p>学校に行きづらい人たちが、行きやすくなる学校にする支援</p>
<p>学校に行けない人に勉強を教える場所(学校に行けない人だけが行ける所)</p>
<p>学校に居残りできる時間をつくってほしい。家ではマンガやゲームなどあって集中して勉強できていないから学校でしたほうが良い。30分ぐらい</p>
<p>学校に1人は必ず、悩みを相談できる人をおくこと。</p>
<p>学校のグラウンドを整備してほしい</p>
<p>学校の先生で、友人を理不尽に怒る先生がいる。友人を守るのに先生と言ひあいになってしまうことも多々あり、その先生の教科が嫌いになってしまいそうです。先生への怒りや不満を気軽に聞いてもらえる場所が身近にほしいです。メンタルが強くない友人が心配です。</p>
<p>気軽に來れて、勉強したり、遊ぶことができる場所</p>
<p>気軽に悩みを話せる場所が欲しいです。電話越しだと、どうしても相手の声色をうかがってしまいます。インターネット上で気軽に相談できる場所が欲しいです。</p>
<p>寄付金</p>
<p>給付金</p>

給付金
給付金
給付金です。理由は、ぼくはもらえなかったからです。
教育支援
近所におさがりをくれる人、または姉、兄がいないと制服を購入しないといけませんが、学校の制服や清掃着、体育着、ジャージなどを購入するのにたくさんのお金がかかるので、その料金を援助してくれるような支援があるといいなと思います。
金銭的な支援
経済面：ある地域での1人あたりの平均に届いていない人に対して、補うことにより、平等な社会に近づける。
減税県や市のお金の増額
公園がもっとあったほうがいい。
公園など、広場をつくる。
高校生も医療費を負担してほしい（国や政府が）
交通整備
公立中学校と、私立中学校の先生の生徒に対するサポートに差を感じ、私立中学校がうらやましくなる事があります。公立中の先生は、心からの愛情を持っている先生が少なく感じます。先生という立場にもう少し自覚を持ってほしいと、残念に感じる事があります。教員採用試験でしっかりみてほしいです。
子が恐れる人から守ってくれる場所があればいいなとよく思います。
国内や海外にいる衣食住が整っていない人たちの支援
心がしずんでいる人の相談にのるようなもの
子どもが自由に楽しめるようなテーマパークのようなものをつくってほしい。
子供だけで行けて、友達と自由に勉強できるスペースがほしい。（図書館は、いや）近所にほしい。マックとか、ジョイフルなどやりづらいけど。似てる感じがいい。※気軽に行けるところ
子供達に何かあった時にいつでも出入りできる家をつくる。（できるだけ大きにならないようにする）出席日数の足りない子でも、高校などで問題なく入学出来るようにしてほしい。
子どもにお小づかいを支給する
子どものための宿泊施設
子どもの人数に応じて、給付金がほしい。（親が稼いでいても、子どもが多いと、お金に困ってしまうから）

<p>子供へのサービス 問 18 のような→どこにあるのか知らないし、他人の多いところに行きたくない→存在を知らせる デメリットを超えるようなメリットをつくる。相談ダイヤルとかもあるけど、あんまり話せないし、迷惑かけるだけとか、そもそも話したって特に自分のまわりの環境が変わるわけでもないとかの理由でしにくかったり、みんなはそんなことをしていないというような同調圧力に負けている人が多く、意味があるのかどうか分からない。</p>
<p>困っている子供が自由に相談できる場所</p>
<p>困っている人中心の支援ばかりだと思うので、困っていない人への支援が少しでもないと、公平というものが無い気がします。(すみません…抽象的で…) 今一度、公平と平等の違いを明確にする必要があると思います。(図あり)</p>
<p>ゴミ拾いしている人のためになる支援 いいことをしている人がやって良かったって思えるような支援 お金のない人でも本が読める、買えるような支援</p>
<p>コロナ拡大で物価が上がったので、給料を上げる。</p>
<p>コロナで学校が一度でも休校などになり、勉強量(授業量)が減った家庭に 5000~10000 円の給付金配布をしてほしい。</p>
<p>コロナの給付金など困っている人にお金をあげた方がいいと思う</p>
<p>ご飯 洋服 学校</p>
<p>ご飯、教材、洋服、勉強するための道具</p>
<p>ご飯を届ける</p>
<p>サードプレイスと呼ばれる、子供が大人の人か年上の人と交流したり、何か遊びとして、息抜きができるような場所を作る。へき地に対しても、ここと同じぐらいの支援があるといい。</p>
<p>支援ではないんですけど、2 つ提案があります。1 つ目は、高いところをもっと増やした方がいいか?と思います。なぜかという、南海トラフ巨大地震がいつ起こるか分からない状態で、場所によってはとても高い波がきたりするので、その地域にそれ以下の避難場所があったりして、逃げて助からないのでは?と思いました。2 つ目は、最近ミサイルが北朝鮮から沢山飛んできているけど、もし宮崎に落ちたとなったら、どこに逃げればいいのか?と思いました。ミサイルが落ちたら、家や建物に逃げても助からないんじゃないかと思い、もし落ちてきたらとても心配です。何か、それに対しての対策や、地下?とかがあったら安心かもと思いました。これが私の今気になっていることです。福祉保健とは関係ないことすみません!</p>
<p>支援というか、大人が一切いない場所(部屋)で、同い年の子供だけで話すことができる時間がほしいと思う。理由:自分の悩みをうちあける時、大人がいるとうちあけずらい人もいるから。また、たくさん同い年の人たちが話を聞いてくれることで精神的にも安心することができると思ったから</p>
<p>仕事に就きたくても就けず、お金が無くなり、家を無くし、生きることが難しいという人への生活支援。(ホームレスなど)</p>
<p>室内スケートパークを無料で使用できる</p>
<p>児童手当や高校無償化は全員に当てはめてほしい。所得制限は不公平だと思う</p>
<p>自分がおくびょうだとしても、社会が怖かったとしても、それを忘れられるようなところ。</p>

自分が思っていることを言うだけでなく、たまったストレスを発散できる場所。(無料または低額で通えるスポーツジムとか…)
自分には必要ない
自分の好きな事を認めてくれる場所
自分の短所を見つけ出し、対処の仕方を教えてくれる支援
集中して勉強などができるような場所
自由に通える学校
塾に行かなくても実力が上げられる学力支援。
塾を無料で受けれる 私立高校学費の無料化
受験料の免除
障害がある人は必ず支援教室で学習してもらおう。親が決める権利はなし→(障害があつて暴力があると嫌だから)
小学校では、人を呼び捨てしないとされていたが、中学生になって呼び捨てをする先生が増えた。
私立高校の学費を下げしてほしい。経済的な問題で、私立高校に行けない人も少なくないのだと思う。
少しお金がもらえる
すこしでも辛いと感じてそれを誰かに話したい、相談したいと思ったときに、学校の先生や大人(親・相談センターなどの方)、リアルな友達でもなく同じような悩みをかかえた顔もなにも知らない同い年同士で電話で話せるシステムのものがあれば、誰にも心配かけたくないという思いゆえに相談できず苦しんでいる子も少しは楽になるんじゃないのかなーと思いました。(相談センターの子供版みたいな)
すべての人が幸せになれるような支援
スポーツを無料、または低額で見てくれる支援(分かりづらくてすみません)
税金を上げて物価を下げてほしい
世界中でホームレスしている人たちのために募金をして、食事など作って差し入れすればいいと思った。
積極的に子供と接するカウンセラー
相談できる場所
だいたい同じ世代(学生とか)と自由に話せる場があると、先輩への相談、色々な情報の共有、友達の輪の拡大などができていいと思います。
助け合いをする支援
タブレット(学校用)で本が読める ぶんぼうぐの配布
食べ物を食べることのできない子ども達に、食料を提供する。

誰でも気軽に相談できる。
誰でも気軽にどんなことでも相談を聞いてくれる施設（家の近くや学校の近く） 困っている事があったら助けてくれる何でも屋みたいな人 使わないものを必要に思っている人に渡すことを呼びかけたりするアプリ
誰にでも相談ができて、人と人が支えあえるような支援があってほしい。どんなことでも、無料や低額でできて、人がありがたいと思う支援。
地域のおじいちゃんおばあちゃんとふれ合う時間がほしい。無料の学習教室（毎日教えてくれる所）がほしい
小さい学校でもいろんな部活ができるようにしてほしい。（文化部等）
中学校に入ってすぐのころ、かばんの中で水筒をこぼしてしまいました。かばんが高いので、母がひやひやしていました。制服やかばんが高価なことを知りました。安くなるように援助があるといいです。
つらいことがあったら、紙に書いてポストに入れるような取り組み。紙に書くだけでもスッキリする。
電気代などが高くなってきているから、電気代などを少しでも減らせるような支援（お金）
電話やメールでの相談だけではなく、実際に、学校に来て、1人1人に相談をする
電話やメールの相談
問 17 等で、あてはまるものに○をつけたくても、親などが近くにいる書く勇気がない。書いても送ることができない。見られたらもっとよくない扱いを受ける人も中にはいると思うので（携帯ももたせてもらえていない人など）、そういう人が安心して書ける場所が他にあるといいと思いました。（学校で調べる、学校にも行けていない人では、家に訪問するなど何か安心できる所で!!）
図書館以外に無料で友達と勉強ができる施設がほしい。
図書館のように無料で勉強できるスペース いじめた人やいじめられた人、テストで1番だった人や最下位だった人、同じ学校の卒業した先輩など、いろいろな人と話せて、どんな考え方を持っているか共有しあえる所
友達などと、雑談できるスペースがほしい。遊び場を増やす。近場。
共働き世帯への、金銭的支援
ドラえもんがいるといい！
どんなうれしい話も、悲しい話も聞いてくれるような、場所とか。
どんなに小さなことでも、対処してくれるところ。悩みを簡単に書けたり、言えたりするところ。→相談するのもためらったりする人がいるから、いつでも誰でも相談したいと思えるところがあるとよいと思う。

<p>どんな人でも気軽に相談できる、話を聞いてくれる場所。なるべく自分の悩みの原因に遠い人、関わるできない人、関わってない人に話を聞いてもらいたい。先生とかだと、原因に関わっている人と話し合うこともできると勝手に考えてしまう。どんな形をとっても絶対に相手と接点のない人、学校の先生などと接点がない人と相談できる場所を身近な、親にバレないような所(インターネット、SNS)で悩みを抱えている人同士が相談し合うことのできる場所を作ってほしい。</p>
<p>懐かしのアイドル(70年代)のグッズを子供が手軽に手に入れられるところをつくってほしい。プロマイドや雑誌、写真集などがあると良い。そういうところがあると、人生がさらに楽しくなる人が増えると思う。</p>
<p>何でも受け付ける所 みんなを笑顔にさせる所がいい。</p>
<p>何でも聞いて相談にのってくれる場所 無料で勉強ができる場所</p>
<p>年収で決めない平等な支援</p>
<p>美術部の支援</p>
<p>人の好きなことを見つける支援</p>
<p>一人親に支援策 子どもの学費を30%負担するとよいと考える</p>
<p>貧困で悩んでいる人に支援する</p>
<p>貧困の人たちに支援をする。</p>
<p>部活動の活動支援</p>
<p>部活の道具等の支援 学校備品購入の補助 学校のトイレをきれいにしてほしい 部活動で活躍できる場所、イベント等をつくってほしい。</p>
<p>部活を専門的に教えてくれる先生</p>
<p>不登校の子のためのテキスト、分かりやすい資料。</p>
<p>不登校の人に対して教育が受けられるようになる支援があるといいと思います。調査票の作成、ありがとうございます。自分の回答が役に立つといいなと思います。</p>
<p>文具の支給</p>
<p>勉強ができる場所を増やしてほしい</p>
<p>勉強で追いつけていないところを補ってくれるところがあればいいと思う。</p>
<p>勉強やスポーツのことについても、私達に勉強方法などの、助けとなるものが見えられるような支援。</p>
<p>勉強を教えてくれる</p>
<p>勉強を教えてくれるところがあるといいな。</p>
<p>ホームレスに対して税金を使う。経済的に困っている人に税金を使う。</p>
<p>本当に悩みを抱えている人は、誰にも話せないと思うので、そんな人が少しでも過ごしやすい環境づくりができていけると良いと思います。</p>

身内や同級生等から離れたい時に避難しやすい施設
みんなが楽しく生活できるような支援
みんなに HIV のこと、恐ろしさが広まってないため、コンドームの無料配布等（海外では良くあるらしい。）
無料でご飯を食べれる場所をもっと増やした方がいいと思う。
無料で食べれるレストランとかを作って、その代わり皿洗いとかをしてもらう。
無料で入れる保育園（できるだけたくさん入れる） 児童クラブ（安くて、高学年でも受け入れてくれる） 使わない文房具、ノート類を集めて、無料でくばる支援
無料で勉強を教えてくれる場所
無料のサッカー、バスケット施設貸し出し可能なロードバイク
無料又は低額で洋服や靴を買える場所
メンタルヘルスケア どんな人でも自由に使える場所をつくる支援
もう少し外灯を増やしてほしい
もっと自由な時間を忙しい時間（例：休日の部活の試合の後）とかに 月曜日を休みにしてほしい。
もっとたくさんの方が平等に支援を受けられたほうがよいと思う。
物の物価を安くしてほしい。
休んでた日の勉強をいつでも教えてくれる場所。（学校に）睡眠不足の人用の学校、職場での寝れる場所。
ヤングケアラーに対する支援 障害者・高齢者などに対する支援
世の中は金だから、とりあえずお金が無くて生活が不自由な人を減らすために、お金がかせげるようになる大人まで（高校生まで）は義務教育にする。そして、そういう人たちがお金をかせげるようになると、小中学生のときに払えなかった分のお金を返金していけるようになるから、現在、義務教育である小中学校で使う少しのお金でも、その時限り支援金を借りたりできるようにする。要は小中学校までが義務教育なのを高校まで引き延ばし、お金に困っている子供から減らす政策
留学の支援
ロードバイクが走れる道路を増やしてほしい。道をきれいにしてほしい。ごつごつしているとサドルがケツにあたってケツが痛いから。
若い世代（学生に年が近い人）を中心とした相談所
私は、ユニセフなどの募金をもっとしたほうが良いと思います。なぜなら、世界には苦しんでいる子供がたくさんいるからです。
家事を手伝う支援（ヤングケアラーの人たちにむけて）
家族と触れ合う時間を増やすような支援をしてほしい

学校に、匿名で相談できる場所を作ること。
学校に行きたくない人に別室やそういう人のための学校
学校のものや部活で使うものを買うための補助金が欲しい。
学校の授業をもう少し分かりやすくしてほしい
顔や表情を見せずに個人情報を伏せた平等な支援
給付金
現金給付
古着（着たけどまだきれいな服）の支援
好きな時に行けて、好きな時に帰れて、個室で先生方が教えてくれるところ
校則を見直す
国民からたくさん税金とって、これから私たちのような子供が払っていくとするならば、子供への保障を増やすべき。現金や電子マネーなどでの振込などが望ましいと思う。
支援より公立の学校の校則の確認をしてほしい
私立学校に通う JR の交通費の補助をもらいたい
自分(じぶん)で自由(じゆう)に使(つか)えるお金(かね) (お小遣(こづかい))
自分の学力を測り、個人の希望からこの先の進路、その人に合う学校、また就職についてを相談できる場所。今は使用されていない土地などに、仮設住宅を設ける。またこのような場所に、かぜや骨折などを低額で診てもらえる小さい病院を設置する。
自分は特に必要としていませんが、支援として求めたいことは、多分、都会の方や町の方に行くとか家出をした人が多くいると思います。そういうときは親の心配を思って連絡するというのが適切だと思いますが、もし、家で暴力を振るわれて出てきたという人もいるのではと思います。そしてその家庭の保護者の方がもし捕まったときとかにその家庭のこどもを引き取ってくれた家庭に、こういう必要な場面で税金を使ってお金や食材の支援をしてあげると施設に入る子どもも少なくなるしいいと思った。
塾で習ってるでしよみたいな考えを無くしてほしい。テストの結果で決められてほしくない。 友達同士の交流
障害者に対しての段差をなくすことや、気配り。老人に対しての支援制度。
障害者の方や不登校で勉強ができていない方達に勉強のできる環境を作ってほしいと思います
親の意思で子供にワクチンを打たせないで！
親を無くした子供の衣食住を支援する
図書館の学習スペースを増やしてほしい。
制服が半額
静かで集中してテスト勉強や自学ができる所が欲しい。
税金をなくす

全国認証飲食店というチケットの再配布
体操服が購入出来ない友達がいるので、ずっとお下がりの体操服で恥ずかしそうにしている。補助金があれば体操服が買えるのではないかと思う
誰もが相談しやすい場所（環境）をつくる。
美味しいものを食べれる場所
勉強が難しいので教えてくれるところがあったらいいなと思いました
僕は電話では無く、LINEのような書き込みでの相談が出来ればもっと楽になるのかなと思います。欲を言えば、家族には秘密でバレずにやり取りが出来れば嬉しいです。なるべく周りに迷惑をかけず、全てを一人で完結させることが出来ると、僕も気が楽になると思います。
毎月県から 5000 円くらいお金が貰いたい
無料でスマホ配布
無料の塾

- ・（等価世帯収入別）中央値以上×（世帯の状況別）その他・不明

お金に困っている人にお金の支援をすると良いと思います。
病気の人を支える支援。

- ・（等価世帯収入別）不明×（世帯の状況別）母子世帯

無料で勉強ができるところがあると良いと思う。

- ・（等価世帯収入別）不明×（世帯の状況別）父子世帯

家庭内のことをもっと分かりやすくする環境支援があると良いと思う。

- ・（等価世帯収入別）不明×（世帯の状況別）ふたり親世帯

親が仕事などで遅くなる時に、一緒に晩ご飯を食べてくれるような支援
食に困っている人に無料で食べ物を提供する
なやみのそうだん場所を増やす。
勉強を教えてくれるところ
前のページであった a. b. c に行った人たちに対して差別がまだ少しあるので、そういうのをなくすためにも、誰もがいきやすく（入りやすく）する取り組みをするべきであると思う。
無料で勉強を教える所
もっと友達と交流できる行事！

3.3. 収入の水準に関する参考資料

3.3.1. 等価世帯収入の算出

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- 上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

●等価世帯収入の中央値：245.97万円、等価世帯収入の中央値の2分の1：122.98万円

等価世帯収入	世帯	有効%	累積%
10.21	1	0.1	0.1
11.18	3	0.2	0.2
12.5	5	0.3	0.5
14.43	5	0.3	0.7
17.68	5	0.3	1.0
30.62	2	0.1	1.1
33.54	10	0.5	1.6
37.5	3	0.2	1.8
43.3	6	0.3	2.1
44.19	1	0.1	2.2
47.25	2	0.1	2.3
51.03	4	0.2	2.5
53.03	4	0.2	2.7
55.9	5	0.3	3.0
58.33	1	0.1	3.0
61.87	2	0.1	3.1
62.5	14	0.7	3.9
71.15	1	0.1	3.9
71.44	6	0.3	4.2
72.17	13	0.7	4.9
78.26	20	1.1	6.0
79.55	2	0.1	6.1
85.04	4	0.2	6.3
87.5	24	1.3	7.5
88.39	12	0.6	8.2
91.86	4	0.2	8.4
97.23	5	0.3	8.7
100.62	12	0.6	9.3
101.04	14	0.7	10.0
103.94	7	0.4	10.4
108.33	1	0.1	10.4
112.27	6	0.3	10.8
112.5	25	1.3	12.1
114.9	1	0.1	12.1
122.84	3	0.2	12.3

等価世帯収入	世帯	有効%	累積%
122.98	26	1.4	13.7
123.74	14	0.7	14.4
129.9	25	1.3	15.7
132.68	6	0.3	16.0
137.5	28	1.5	17.5
141.74	7	0.4	17.9
145.34	24	1.3	19.2
150.26	1	0.1	19.2
153.09	14	0.7	19.9
158.33	1	0.1	20.0
158.77	26	1.4	21.4
159.1	12	0.6	22.0
160.63	3	0.2	22.2
162.5	41	2.2	24.3
167.71	26	1.4	25.7
167.94	1	0.1	25.8
173.51	16	0.8	26.6
173.93	1	0.1	26.6
179.53	4	0.2	26.9
183.33	1	0.1	26.9
187.5	48	2.5	29.4
187.64	17	0.9	30.3
190.07	45	2.4	32.7
193.92	17	0.9	33.6
194.45	11	0.6	34.2
207.88	15	0.8	35.0
212.43	50	2.6	37.6
212.5	47	2.5	40.1
216.51	21	1.1	41.2
224.54	30	1.6	42.8
229.81	9	0.5	43.3
237.17	2	0.1	43.4
237.5	64	3.4	46.8
245.37	20	1.1	47.8
245.68	4	0.2	48.0

等価世帯収入	世帯	有効%	累積%
245.97	66	3.5	51.5
265.17	5	0.3	51.8
265.36	31	1.6	53.4
274.24	22	1.2	54.6
275	91	4.8	59.4
283.47	8	0.4	59.8
290.69	72	3.8	63.6
300.42	2	0.1	63.7
300.52	2	0.1	63.8
306.19	20	1.1	64.9
317.54	20	1.1	65.9
321.27	7	0.4	66.3
325	87	4.6	70.9
335.41	63	3.3	74.2
335.88	6	0.3	74.5
347.01	11	0.6	75.1
359.07	3	0.2	75.3
371.23	2	0.1	75.4
375	78	4.1	79.5
375.28	27	1.4	80.9
380.13	42	2.2	83.1
387.84	11	0.6	83.7
388.91	2	0.1	83.8
396.86	3	0.2	84.0
424.85	26	1.4	85.3
425	48	2.5	87.9
428.66	14	0.7	88.6
433.01	17	0.9	89.5
469.57	50	2.6	92.1
475	34	1.8	93.9
490.75	15	0.8	94.7
525	72	3.8	98.5
530.33	2	0.1	98.6
548.48	9	0.5	99.1
606.22	16	0.8	99.9
671.75	1	0.1	100.0

宮崎県子どもの生活状況調査 報告書

令和5年3月

発行 宮崎県 福祉保健部 福祉保健課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

TEL : 0985-26-7075